鹿島・藤津地区衛生施設組合　殿

「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事

工事用図面

土木建築図面
(意匠図, 構造図, 設備図)

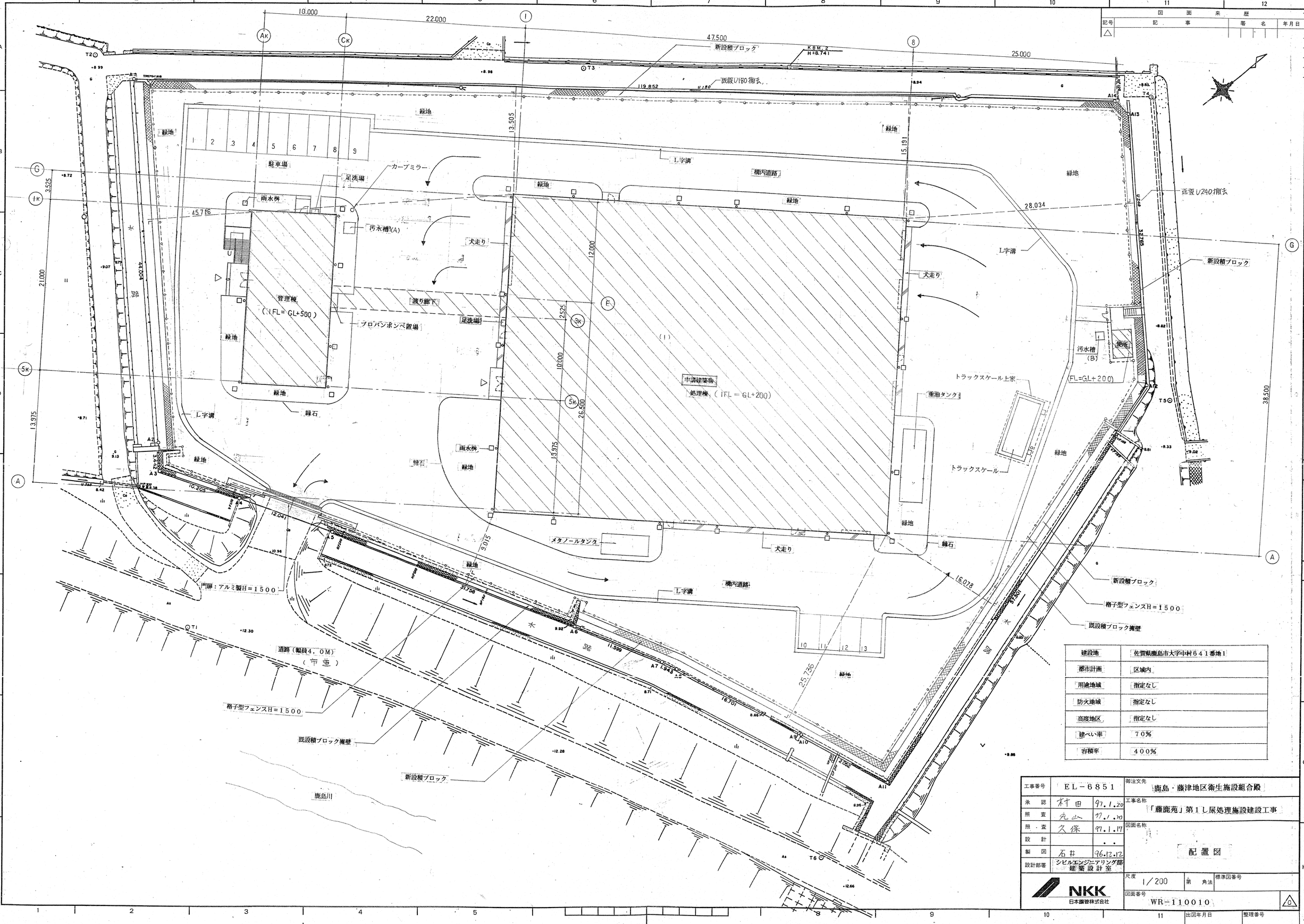
NKK
日本鋼管株式会社

意匠　共通図	
WR-110010	配置図
WR-110020	面積表
WR-110030	特記仕様書－１
WR-110040	特記仕様書－２
処理棟　意匠図	
WR-111010	仕上表－１
WR-111020	仕上表－２
WR-111031	処理棟 地下１階平面図
WR-111041	処理棟 １階平面図
WR-111051	処理棟 ２階・３階平面図
WR-111060	処理棟 立面図－１
WR-111070	処理棟 立面図－２
WR-111080	処理棟 断面図
WR-111090	処理棟 矩計図
WR-111100	処理棟 階段詳細図－１
WR-111110	処理棟 階段詳細図－２
WR-111120	処理棟 平面詳細図－１ （ＢＦ－１）
WR-111130	処理棟 平面詳細図－２ （ＢＦ－２）
WR-111140	処理棟 平面詳細図－３ （ＢＦ－３）
WR-111150	処理棟 平面詳細図－４ （１Ｆ－１）
WR-111160	処理棟 平面詳細図－５ （１Ｆ－２）
WR-111170	処理棟 平面詳細図－６ （１Ｆ－３）
WR-111180	処理棟 平面詳細図－７ （１Ｆ－４）
WR-111190	処理棟 平面詳細図－８ （２Ｆ－１）
WR-111200	処理棟 平面詳細図－９ （２Ｆ－２）
WR-111210	処理棟 平面詳細図－１０ （２Ｆ－３）
WR-111220	処理棟 平面詳細図－１１ （２Ｆ－４）
WR-111230	処理棟 平面詳細図－１２ （３Ｆ）
WR-111240	処理棟 建具表－１
WR-111250	処理棟 建具表－２
WR-111260	処理棟 建具表－３
WR-111270	処理棟 建具表－４
WR-111280	処理棟 建具表－５
WR-111290	処理棟 建具表－６
WR-111300	処理棟 部分詳細図－１
WR-111310	処理棟 部分詳細図－２
WR-111320	処理棟 部分詳細図－３
WR-111330	処理棟 部分詳細図－４
WR-111340	処理棟 部分詳細図－５
WR-111350	処理棟 部分詳細図－６
WR-111360	処理棟 展開図－１
WR-111370	処理棟 展開図－２
WR-111380	処理棟 展開図－３
WR-111390	処理棟 展開図－４
WR-111400	処理棟 天井伏図
WR-111410	処理棟 ダムウエーター設備図
管理棟及び渡り廊下　意匠図	
WR-112010	管理棟 仕上表
WR-112021	管理棟 １・２階・屋根平面図
WR-112030	管理棟 立面図
WR-112040	管理棟・渡り廊下 断面図
WR-112050	管理棟 矩計図
WR-112060	管理棟 階段詳細図
WR-112070	管理棟 １階平面詳細図
WR-112080	管理棟 ２階平面詳細図
WR-112090	管理棟 渡り廊下詳細図
WR-112100	管理棟 建具表－１
WR-112110	管理棟 建具表－２

WR-112120	管理棟 建具表－3	構造　共通図		WR-121010	処理棟 杭伏図	WR-121230	処理棟 地下壁配筋要領図
WR-112130	管理棟 展開図－1	WR-120010	RC造配筋基準図(1)	WR-121020	処理棟 耐圧版伏図	WR-121240	処理棟 煙突・臭突詳細図
WR-112140	管理棟 展開図－2	WR-120020	RC造配筋基準図(2)	WR-121030	処理棟 B1階梁伏図	WR-121310	処理棟 機械基礎標準図
WR-112150	管理棟 展開図－3	WR-120030	RC造配筋基準図(3)	WR-121040	処理棟 1階梁伏図	WR-121330	処理棟 B1階機器基礎配置図
WR-112160	管理棟 展開図－4	WR-120040	RC造配筋基準図(4)	WR-121050	処理棟 2階・3階梁伏図	WR-121340	処理棟 1階機器基礎配置図
WR-112170	管理棟 展開図－5	WR-120050	RC造配筋基準図(5)	WR-121060	処理棟 R階梁伏図	WR-121350	処理棟 2階機器基礎配置図
WR-112180	管理棟 天井伏図	WR-120060	RC造配筋基準図(6)	WR-121070	処理棟 軸組図(1)	WR-121360	処理棟 B1階機械基礎詳細図(1)
外構関係　意匠図		WR-120070	RC造配筋基準図(7)	WR-121080	処理棟 軸組図(2)	WR-121370	処理棟 B1階機械基礎詳細図(2)
WR-113010	外構 外構図－1	WR-120080	S造設計基準図	WR-121090	処理棟 軸組図(3)	WR-121380	処理棟 B1階機械基礎詳細図(3)
WR-113020	外構 外構図－2	WR-120090	S造基準詳細図(1)	WR-121110	処理棟 基礎・地中梁リスト	WR-121390	処理棟 1階機械基礎詳細図(1)
WR-113030	外構 外構図－3	WR-120100	S造基準詳細図(2)	WR-121120	処理棟 耐圧版・地下壁リスト	WR-121400	処理棟 1階機械基礎詳細図(2)
WR-113040	外構 外構図－4	WR-120110	溶接基準図	WR-121130	処理棟 柱リスト	WR-121410	処理棟 1階機械基礎詳細図(3)
WR-113050	外構 外構図－5	WR-120120	NKK Cデッキ合成スラブ設計施工標準図	WR-121140	処理棟 コンクリート柱心線図	WR-121420	処理棟 2階機械基礎詳細図(1)
		WR-120130	地質柱状図-1	WR-121150	処理棟 大梁リスト	WR-121430	処理棟 2階機械基礎詳細図(2)
		WR-120140	地質柱状図-2	WR-121160	処理棟 小梁・床版・壁リスト	WR-121440	処理棟 2階機械基礎詳細図(3)
		処理棟　構造図		WR-121210	処理棟 ３通り架構配筋詳細図	WR-121450	処理棟 吊フック,ホイストレール基準図

管理棟及び渡り廊下　構造図	
WR-122010	管理棟 杭・基礎・梁伏図
WR-122020	管理棟 軸組図(1)
WR-122030	管理棟 軸組図(2)
WR-122110	管理棟 基礎・地中梁・大梁リスト
WR-122120	管理棟 柱リスト・柱心線図
WR-122130	管理棟 小梁・床版・壁リスト
WR-122310	渡り廊下 梁伏図，軸組図
WR-122320	渡り廊下 S造柱・大梁リスト
WR-122330	渡り廊下 S造小梁・耐風梁・間柱リスト
WR-122340	渡り廊下 S造ブレースリスト
WR-122350	渡り廊下 鉄骨詳細図
外構関係　構造図	
WR-123010	メタノールタンク 杭伏図・配筋図
設備図　建築機械設備	
WR-140000	建築機械設備 特記仕様書
WR-140100	建築機械設備 配置図
WR-141000	建築機械設備 給排水設備　機器表
WR-141100	建築機械設備 給排水設備　器具表
WR-141200	建築機械設備 給排水設備　系統図・凡例
WR-141310	建築機械設備 給排水設備 処理棟　地下１階平面図
WR-141410	建築機械設備 給排水設備 処理棟　１階平面図
WR-141510	建築機械設備 給排水設備 処理棟　２・３階平面図
WR-141620	建築機械設備 給排水設備 管理棟　１・２階平面図
WR-141700	建築機械設備 給排水設備 平面詳細図
WR-142000	建築機械設備 空調設備　機器表
WR-142100	建築機械設備 空調設備　系統図・凡例
WR-142210	建築機械設備 空調設備 処理棟　１階平面図
WR-142310	建築機械設備 空調設備 処理棟　２・３階平面図
WR-142420	建築機械設備 空調設備 管理棟　１・２階平面図
WR-143000	建築機械設備 換気設備　機器表
WR-143100	建築機械設備 換気設備　系統図・凡例
WR-143210	建築機械設備 換気設備 地下１階平面図
WR-143310	建築機械設備 換気設備 処理棟　１階平面図
WR-143410	建築機械設備 換気設備 処理棟　２・３階平面図
WR-143520	建築機械設備 換気設備 管理棟　１・２階平面図
設備図　建築電気設備	
WR-145000	建築電気設備 特記仕様書
WR-145100	建築電気設備 配置図
WR-145200	建築電気設備 凡例
WR-145300	建築電気設備 系統図-1
WR-145400	建築電気設備 系統図-2
WR-145500	建築電気設備 動力盤結線図
WR-145600	建築電気設備 分電盤結線図
WR-146010	建築電気設備 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 処理棟　地下１階平面図
WR-146110	建築電気設備 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 処理棟　１階平面図
WR-146210	建築電気設備 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 処理棟　２・３階平面図
WR-146320	建築電気設備 幹線・動力・ｺﾝｾﾝﾄ設備 管理棟　１・２階平面図
WR-147000	建築電気設備 照明器具姿図
WR-147110	建築電気設備 照明設備 処理棟　地下１階平面図
WR-147210	建築電気設備 照明設備 処理棟　１階平面図
WR-147310	建築電気設備 照明設備 処理棟　２・３階平面図
WR-147420	建築電気設備 照明設備 管理棟　１・２階平面図
WR-148010	建築電気設備 弱電設備 処理棟　地下１階平面図
WR-148110	建築電気設備 弱電設備 処理棟　１階平面図
WR-148210	建築電気設備 弱電設備 処理棟　２・３階平面図
WR-148320	建築電気設備 弱電設備 管理棟　１・２階平面図
WR-149000	建築電気設備 自動火災報知設備　凡例・系統図
WR-149110	建築電気設備 自動火災報知設備 処理棟　地下１階平面図
WR-149210	建築電気設備 自動火災報知設備 処理棟　１階平面図
WR-149310	建築電気設備 自動火災報知設備 処理棟　２・３階平面図
WR-149420	建築電気設備 自動火災報知設備 管理棟　１・２階平面図
WR-149610	建築電気設備 避雷針設備 処理棟　屋根伏図・１Ｆ平面図
WR-149710	建築電気設備 避雷針設備 処理棟　立面図

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



建設地	佐賀県鹿島市大字中村６４１番地１
都市計画	区域内
用途地域	指定なし
防火地域	指定なし
高度地区	指定なし
建ぺい率	７０％
容積率	４００％

工事番号	EL－6851	
承認	村田	97.1.20
照査	丸山	97.1.20
照・査	久保	97.1.17
設計		・・
製図	石井	96.12.12
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称：「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事

図面名称：配置図

尺度：1／200　第　角法　標準図番号

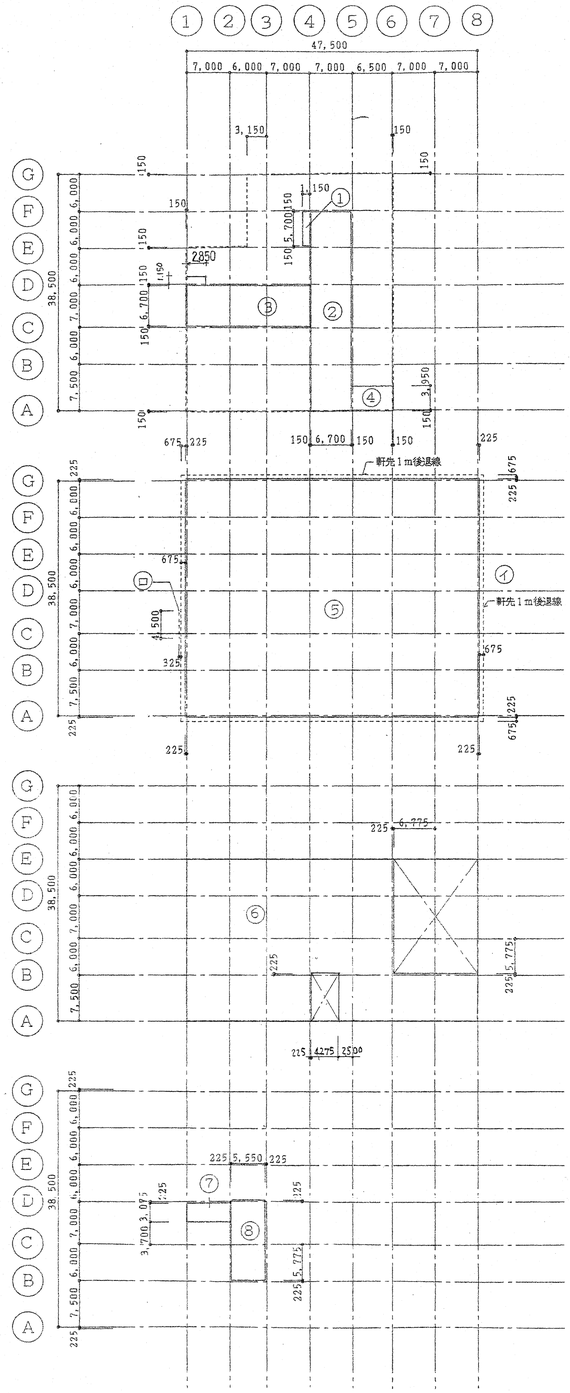
図面番号：WR－110010　△0

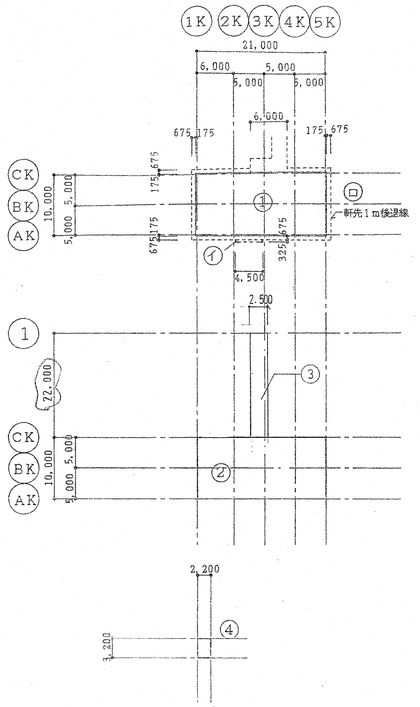
出図年月日　整理番号

A1

3/24

NES NS3016A △





処理棟	
地下1階床面積	
①	1.150X5.700=6.555
②	6.700X32.500=217.750
③	20.300X6.700+3.0X1.3=139.91
④	6.800X4.100=27.880
	392.095

水槽面積	
	33.800X38.800-10.000X12.000
	-392.095
	799.345

1階床面積	
⑤	47.950X38.950=1,867.653
	1,867.653

軒先建築面積	
㋑	0.675X(38.500+0.225X2+0.675X2)X2=54.405
	(47.500+0.225X2)X0.675X2=64.733
㋺	0.325X4.500=1.463
	120.601

2階床面積	
⑥	47.500X26.500=1,258.750
	-4275 X7.725-13.775X18.775=-291.650
	967.100

3階床面積	
⑦	7.225X3.075=22.217
⑧	5.550X13.000=72.150
	94.367

敷地面積	
	7,504.22 ㎡

管理棟	
1階床面積	
①	21.350x10.350=220.973
	220.973

軒先建築面積	
㋑	4.500X0.325=1.463
㋺	(21.000+0.85X2+15.000+0.85X2)X0.675
	=26.595
	0.675X(10.000+0.175X2)X2=13.973
	42.031

2階床面積	
②	21.000X10.000=210.000
	210.000

渡り廊下	
③	2.500 x 22.000 = 55.000
	55.000

公衆便所	
④	2,200X3,200=7.040
	7.040

トラックスケール 建築面積	
⑤	3,500X6,000=21.000
	21.000

床面積	処理棟	管理棟	渡り廊下		公衆便所	トラックスケール
地下1階	392.095	———	———		———	———
1階	1,867.653	220.973	———		7.040	———
2階	967.100	210.000	55.000		———	———
3階	94.367	———	———		———	———
小計	3321.215	430.973	55.000		7.040	
計	3807.188				7.040	———
合計	3814.228 ㎡					

建築面積		
処理棟	1,867.653+120.601=1,988.254	
管理棟	220.973+42.031=263.004	2,306.258
渡り廊下	55.000	
公衆便所	7.040	
トラックスケール	21.000	28.040
合計	2334.298 ㎡	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1	渡り廊下面積変更	梅 林	97.9.2

工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.1.20	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	A.A	97.1.10	
照査	久保	97.1.17	図面名称 面積表
設計		・・	
製図	石井	96.12.12	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/500 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR−110020 △1
			出図年月日 整理番号

H3/24

NES NF3706A-A

工事仕様書

建築工事

本工事は、図面、設計及び下記仕様書に寄り施工する。

1．現場説明書及び、現場説明に対する質問回答書
2．特記仕様
3．建設大臣　官房長官庁　営繕部整修　建築工事共通仕様書　（平成5年度版）（以下「共通仕様書」という。）

工事特記仕様書

凡　例

（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。特記事項は⊕印のついたものを適用する。
⊙印のない場合は、＊印の有るものを適用する。⊙と＊印の有る場合は共に適用する。

（2）特記事項に記載の（）内表示番号は、共通仕用書の当該項目又は当該表を示す。

一般共通事項

章	項目	特記事項
1	① 建築材料等	ＪＩＳ　ＪＡＳＳ規格品、特記した製造所、商品、及び施工業者によるもの、又は同等品とする。
	② 特別な材料の工法	共通仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。ただし、資料を提出し監督員の承諾を得る。
	③ 発生材の処理	・構外搬出適切処理　・発生材調書と共に監督員に引き渡す　（1．1．10） ・構内に集積　・監督員の支持により処理　（1．5．3）
	4．電気組当技術者	・適用する　・適用しない　（1．5．2）
	⑤ 技能士の適用	・適用する職種
	⑥ 設備工事との取合い	鉄筋コンクリート部の壁、床に埋込み又は貫通する型枠　（盤類、消火栓、大便器等）入れは（＊本工事　別途工事）とする。 設備関係のスリーブは、　・別途　＊含む 設備用スリーブ及び型枠の開口部の補強鉄筋は　（＊本工事　・別途工事）とする。 埋込型器具類の壁及び天井の下地の切り込み及び補強は　（＊本工事　・別途工事）とし、壁、及び天井のボード類の切り込みは　（＊本工事　・別途工事）とする。 設備機器の位置取り合いなどの検討できる施工図を提出し監督員の承諾を得る。
	⑦ 工事写真等	工事施工状況写真を　部提出する。・別記指示による。 工事完成写真を　部提出する。　完成写真はカラー写真とする。
	⑧ 特別完成写真	写真専門業者の撮影した外観カラー写真　部提出する。（プロニー版ネガ共） 別途指示　大きさ　・半紙　・四つ切り　・六つ切り
	⑨ 完成図など	別途指示　下記のものを作成し提出する。（1．6．2） ・案内図及び配置図　・平面図　・立面図　・断面図 ・施工図一式　・仕上げ表　・建物の保全に関する説明書　・他一式
2	1 監督員事業所等	・監督員事業所　・1号　・2号　・3号　・4号　・5号　㎡（2．3．3）
	② 仮設工事 2 監督用備品等	別途指示 ・仮設事務所の中に監督用空間を　㎡　程度確保する。 監督用備品として、下記のものを工事期間中常備する。 ・保安帽　・雨具　・長靴　足
	3 工事用水	構内既存の施設　・利用できる（・有償　・無償）　・利用できない
	4 工事用電力	構内既存の施設　・利用できる（・有償　・無償）　・利用できない
	5 仮設建物等	現場事務所、倉庫、下小屋等の仮設建物の位置はあらかじめ監督員の承諾を受ける。
3	① 埋戻し及び盛土	・A種　⊙B種
	② 残土処分	別途指示 ・構内指示の場所　（・直ならし　・たい積）　（3．2．1） ・構外指示の場所　（・直ならし　・たい積）　（3．2．5） ・構外搬出積出処理
4	① 既製くい地業	くいの種類　（4．2．1）（4．3．1） ・遠心力鉄筋コンクリートくい　・1種 ・プレストレストコンクリートくい　・A種 ・高強度プレストレストコンクリートくい（・認定品　・ＪＩＳ規格品） ・A種　・B種　・C種 ・外殻鋼管付コンクリートくい（認定品）鋼管厚（　）mm ・鋼管くい　鋼管厚（　）mm 構造図による

（4．2．1）

	くい径（mm∅）	長さ（m）	継手箇所数	長期設計支持力（t／本）	本数（セット数）
試験くい					

継手　＊アーク溶接　（4．2．3）
先端部形状　・閉そく形　・閉そく平たん形　・開放形　（4．3．1）（4．2．1）
くいの施工法　・打撃工法　（4．2．2）
・セメントミルク工法
ハンマー種別　・ディーゼルハンマー　・ドロップハンマー
・＊油圧ハンマー
バイブルドライバー　＊ハンマー直結三点支持式
（プレボーリングの場合にはオーガー併用とする）
・ブーム式　・ポータブル式
プレボーリング　オーガー径　320　350　400　450
プレボーリング長　＊くい長　2．0m
ベントナイト安定液　＊使用する　・使用しない

地業工事

4	2 場所打ちコンクリートくい地業	コンクリートの種別　・A種　・B種 掘削工法　・アースドリル工法　＊安定液使用　・無水掘削 ・リバース工法　（4．4．1表） ・オールケーシング工法　孔内の水張り（4．4．4） ＊行なう　・行なわない
	3 打撃工法支持力算定方法	昭和46年1月29日　建設省告示第111号 （改正昭和53年10月20日　建設省告示第1623号）による。（4．5．3）
	④ 地業	種別　・割り石地業　・栗石地業　⊙砂利地業　（4．6．1）（4．7．1）
	⑤ 捨てコンクリート	強度試験　＊省略する　・実施する

鉄筋工事

5	1 鉄筋の種別（1～7 構造図による）	＊異形鉄筋　＊A種　・B種　（5．1．1） 丸鋼　（＊A類　B類）
	2 溶接金網	＊図示による　（5．1．2）
	3 鉄筋の継手	・重ね継手　・ガス圧接（19mm以上）　（5．2．1）
	4 圧検完了後の検査	＊引張試験　・超音波探傷試験　（5．10．4）
	5 耐久上不利な場所の最小かぶり厚さ	＊図示による　（5．2．2）
	6 壁開口部の補強	＊図示による　（5．6．1）
	7 設貫通孔の補強	＊図示による　（5．9．1）

コンクリート工事

6	① レデーミクストコンクリート	類別　＊Ⅰ類　Ⅱ類　（6．1．1表）
	② セメントの種類	＊普通ポルトランドセメント　・混合セメントのA種　（6．2．1） ・高炉セメントB種　・早強ポルトランドセメント
	③ コンクリートの骨材（軽量コンクリートを除く）	粗骨材　＊砂利　⊙砕石（種類＊A　）　（6．2．2） ・砂利と砕石の混合（　／wt） 細骨材　＊洗砂
	④ 混和材料	＊混和材　＊ＪＩＳ－Ａ６２０４によるAE剤、AE減水材標準形の1種　（6．2．4） ・混和材　＊フライアッシュ
	⑤ コンクリート中のアルカリ総量	骨材は「骨材のアルカリシリカ反応性試験（化学法、モルタルバー法）　（6．2．2） ＪＩＳ－Ａ－５３０８」による試験による安全と認められた骨材を使用する。（6．4．4） ただし、安全と認められないものを使用する場合は、コンクリート中のアルカリ量がR20換算で3．0kg／㎥以下のコンクリートを使用する。

⑥ コンクリート

設計基準強度kg／cm	施工箇所	備考
構造図による		
同上	土地造成（1F含む）	ベストン A 入り（又は同等品）

	普通コンクリート	
	水密コンクリート	
⑦ 無筋コンクリート	＊6．9．1表による。 ⊙A種（180kg／cm　）施工箇所　捨コンクリート	
⑧ セパレータ	強度試験　＊省略する　・実施する 打ち放し部は全て木コン、地下部は防水セパレータ使用とする。	
⑨ 床コンクリートこて仕上げ		

種別	施工箇所
⊙A種	一般仕上面、駐車場下地
⊙B種	一般屋根アスファルト防水下地

⑩ コンクリート打放し仕上げ　原さの（　）内は数値は台板の厚さとする。（6．14．1表）

種別	コーン穴の仕上面	厚さ	施工箇所
⊙A種	・面うち　⊙面と同一	（15m／m）	外壁
⊙B種	・面うち　⊙面と同一	（12m／m）	内壁
・C種		（12m／m）	

鉄骨工事（配合等は構造図による）

7	1 鋼材	（7．2．1）（7．9．2）

材質	品名又は使用箇所	規格等
SS400		・ＪＩＳ規格品　・規格に合格するもの
SM490		・ＪＩＳ規格品　・規格に合格するもの
		・ＪＩＳ規格品　・規格に合格するもの

2 高力ボルト　・ＪＩＳの高力ボルト　（セットの種類　＊2種（F10T））　（7．2．2）
・特殊高力ボルト　（セットの種類　＊2種（F10T）建築基準法による認定品）
・溶融亜鉛メッキ高力ボルト　（セットの種類　＊1種A（F8T）建築基準法による認定品）

3 溶接完了後の検査　（7．5．8）

試験の種別	試験箇所及び試験数
・超音波探傷試験	

4 鉄面の素地ごしらえ　種別　・A種　・B種　＊C種　（17．2．2表）
5 錆止め塗料　種別　・A種　・B種　（17．3．1表）
6 耐火被覆　種別　（7．7．1）　所要性能
7 アンカーボルトの保持及び埋込み　工法　・A種　⊙B種　・C種　（7．8．1表）
8 柱底ならし　工法　・A種　⊙B種　（7．8．2表）
9 鉄骨の製作工場　・監督員の承認する製作工場（施工計画書を提出する）
・「溶接作業判定基準」に適合する製作工場を行なう製作工場又は建設省告示第1103号に基づき建設大臣が認定した製作工場

ブロック・ALCパネル工事

8	① 空胴コンクリートブロックの種別	（8．1．2）

施工箇所	種別	厚さ
ライニング	規格品　A　種	100
	規格品　種	

② 瓦葺　普通瓦　ＪＩＳＲ1250　＊2種　・3種　（8．3．2）
耐火瓦　＊ＪＩＳR2304の規格品（・8種　・9種）
＊水セメント比（強度上）　65　／wt以下　（8．4．3）

③ プレキャストコンクリートの調合　設計基準強度　Fe　（kg／cm²）
＊許容荷重及び耐火時間を指定する場合は下表による。　（8．5．2）

施工箇所	厚さ	許容荷重	耐火時間
外壁	100		
屋根			
間仕切	100		

④ ALCパネルの種類
⑤ 工法　＊横入筋工法　・スライド工法

防水工事

9	① アスファルト防水	（9．1．1表）～（9．1．6表）

施工箇所	種別
屋根	露出防水　D-1
浴室	E-1
便所	E-2

② 合成高分子ルーフィング防水　（9．2．3）

施工箇所	種別	厚さ（粘着層を含まない）
	加硫ゴム系	・1．0　＊1．2　・1．5　・2．0
	非加硫ゴム系	＊1．5　・2．0
	塩化ビニル樹脂系	＊2．0

③ 浸透性防水　⊙無機質浸透性　5kP 工法（パシテクノス 又は同等品）
④ 塗膜防水　（9．3．2）

施工箇所	種別

⑤ シーリング用材料　（9．4．1表）

種別	施工箇所
・A種	
・B種	
⊙C種	外部建具周り外部水回り、ガラスシーリング、金属板パネル目地
・D種	
⊙B種	ALC 目地

⑥ 防水の保証等　＊防水工事は、防水工事業協同組合員の施工とし、請負者は防水工事業協同組合と連名の保証書を提出する。
ただし、傾員が認めた場合は組合員外の施工とすることができる。
この場合は、請負者と施工者との連名の保証書とする。
保証期間　⊙アスファルト防水　10年間
・合成高分子ルーフィング防水　10年間

石工事

10	① テラゾブロック張り	＊大理石　⊙花こう岩　（10．4．2）

タイル工事

11	① 陶器質タイル張り	張付工法及び形状、寸法、種別等　（11．1．1～11．1．3）

施工箇所	タイルの種別・品質	形状寸法	工法	役物使用	その他
一般壁	磁器質 施釉	50 □			
玄関床	磁器質 無釉	150 □			
便所床	磁器質 無釉	50 □			
壁（便所浴室）	半磁器質 施釉	100 □			

② 磁器質タイル型枠先付け　工法及び形状、寸法、種別　（11．2．1～11．2．3）

施工箇所	タイルの種別・品質	形状寸法	工法	役物使用	その他

木工事

12	① 木材	木材の含水率　＊A種　・B種　（12．1．1表） 造作材の等級　＊A種　・B種　（12．1．2表） 代用樹種　＊代用樹種を認める。　（12．1．3表） ・代用樹種を認めない箇所
	② 表面仕上げ	表面仕上の程度　・A種　＊B種　・C種　（12．1．4表）
	3 化粧梁造作用集成材	化粧単板の樹種　厚さ　㎜　（12．1．6）
	④ 造作用集成材	集成材を構成する単材の樹種　⊙たも　厚さ　㎜　（12．1．7）
	5 防ぎ処理	防ぎ処理　・処理する。　（12．1．13） ・処理しない。

屋根及びトイ工事

13	① 長尺亜鉛メッキ鋼板ぶき及び折板ぶき（ステンレス板を含む）	材種　・塗装溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯　（13．1．2） ・溶融亜鉛メッキ鋼板及び鋼帯 ・ポリ塩化ビニール（塩化ビニール樹脂）金属積層板 ⊙フッ素 材料指定 金属板 屋根ぶき形式　・かわら棟ぶき（心木なし）　（13．1．1）（13．2．2） （雪止受金物の取付く部分は長さ300㎜の心木を入れる。） ・平ぶき　t＝ ・折板ぶき　t＝ ・種類　山高　・150㎜程度　・170㎜程度 板厚　㎜　㎜ （13．1．2）（13．2．2）
	2 波形石綿スレートぶき	形状　・大波　・中波　・小波　・リブ波　（13．3．1） 施工地域　・一般地域　・多雪地域　・強風地域　（13．3．2）
	③ トイ	材種（タテトイ）・配管用管（白）⊙カラー硬質塩化ビニール管　（13．4．1表） 防露　・13．4．4表による。　（13．4．7） 掃除口　・有　⊙無　（13．4．2表）（13．4．3表） トイ受金物　⊙13．4．1（b）による。 箱樋　⊙オリエンタルメタル

金属工事

14	① アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理	（14．2．1表）

種別	施工箇所	種別	施工箇所
B-2	サッシ　他		

② 鉄の亜鉛メッキ　（14．2．2表）（14．2．3表）（14．2．4表）

施工箇所	亜鉛メッキの類別	付着量の種別
	⊙A類	・A種　⊙B種
	・B類	・A種　・B種　・C種

③ 手摺り及びタラップ　試験　・行なう　・行なわない　（14．2．3表）
⊙鉄（亜鉛メッキ14．2．3のA類B種）　（14．2．4表）
（14．2．3表）
⊙ステンレスSUS304
④ 金属成形板張り　（14．2．1表）（14．7．1）

材料		
伸縮継手の設置		
表面処理		
施工箇所		

⑤ アルミニウム製笠木　部材の種類　・250形　・350形　（14．8．3）
表面処理　・A－1種　⊙B－2種
固定金具間隔　600程度　300程度　⊙1300程度

左官工事

15	1 防火材料	屋内の壁及び天井の仕上げは不燃、準不燃又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示の有るものとする。
	② 仕上塗材仕上げ	薄付け仕上げ塗材　（15．6．1）（15．6．1表）（15．6．4）

種類（呼び名）	仕上げ	工法
・外装薄塗材C		＊吹付け
・内装薄塗材C		
・外装薄塗材E	・砂壁状 ・着色骨材砂壁状	・吹付け ・ローラ塗り
・内装薄塗材E	・砂壁状ジュラク	・吹付け ・ローラ塗り
・内装薄塗材S1		・吹付け ・ローラ塗り

厚付け仕上げ塗装

種類（呼び名）	仕上げ	工法
・外装厚塗材C	・模様吹き	・吹付け
・外装厚塗材E	・凸部処理	・こて

複層仕上げ塗材

種類（呼び名）	仕上げ	工法	上塗材
・複層塗材CE			
・複層塗材E	・ゆず肌	・吹付け	・メタリック
・複層塗材RS	・凸部処理	・ローラ塗り	・ウレタン
・複層塗材RE	・凸凹模様		・光沢
・複層塗材S			

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 特記仕様書－1
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度　第　角法　標準図番号
図面番号 WR－110030－　D
出図年月日　整理番号

3/24

15 左官工事

3 吹付材吹付け　軽量骨材吹付材吹付け　(15.7.1)

種類	仕上げ厚さ(mm)
*吹付用軽量骨材仕上塗材	*5
・	・

ロックウール吹付け　(15.7.2)

色彩	厚さ(mm)	
・着色	・10	・15
・現色	・20	・30

16 建具工事

① アルミニウム製建具　類別　・A類　*B類　(16.2.1)～(16.2.3)
耐風圧(kg/m²)　*280以下
気密性による等級　*8　・2
水密性による等級　・25　*35　・50
表面処理　外部建具　*B－1種　⊙B－2種(色彩　・ブロンズ系(濃)　・　)
内部建具　*C－1種　・C－2種(色彩　・ブロンズ系(濃)　・　)

② 鋼製建具　亜鉛の最小付着量　*120g/m²　g/m²　(16.3.2)

③ ステンレス製建具　曲げ加工　*普通曲げ　・角出し曲げ　(16.5.2)

④ 自動扉機構　駆動力　・電気式又は電動油圧式　・空圧式　(16.6.2)
検出装置　・安全用光電スイッチ

⑤ 重量シャッター　開閉機構による種類　*上部電動式(手動併用)電源(　)相(　)V
・手動式　(16.7.1表)
材料　・ステンレス製とする部分　(ガイドレール　マグサ　座板)

⑥ 軽量シャッター　開閉機構による種類　・手動式　(16.8.1表)
・上部電動式(手動併用)電源(　)相(　)V

⑦ 木製建具　引戸の召合せかまち　*いんろう付き　・いんろう無し　(16.10.6表)

⑧ 建具用金物　マスターキー　・製作しない　*製作する
鍵孔数量　・錠前1組に2枚とする　・錠前1組に　枚とする
(16.11.1)(16.11.1表)

⑨ ガラス留め材

建具の種類	材種
アルミニウム製	*ガスケット(チャンネル形が取付かないFIX部はシーリングC種) ⊙シーリング材　・パテ2種
鋼製 ステンレス製	⊙シーリング材　・パテ1種

⑩ 網戸の網　・合成樹脂製　⊙ステンレス製　・ガラス繊維入り合成樹脂製　(16.2.5)

11 オーバーヘッドドア　セッション材料による種類　(16.12.1表)
・スチールタイプ　・アルミニウムタイプ・ファイバーグラスタイプ
開閉機能　・バランス式　・チェーン式　・電動式　(16.2.2表)

17 塗装工事

1 防火材料　屋内の壁及び天井の塗装仕上は建築基準法に基づく基材同等の認定表示の有るものとする。

② 鉄面(鉄骨工事を除く)錆止塗料塗り　錆止め塗料の種類　*17.3.1表による。　(17.3.1)

③ SOP　合成樹脂調合ペイント　・鉄部　・木部

④ VP　合成樹脂エマルジョンペイント　・コンクリート　・ボード
(17.16.2)(17.16.1表)

5 マスチック塗材塗り

種別	凸版処理	表面仕上材塗り
・A種	・有　・無	・有(アクリル樹脂エナメル2回塗り / 有光沢合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り)　・無
・B種		
・C種	・有　・無	アクリル樹脂エナメル2回塗り 有光沢合成樹脂エマルジョンペイント2回塗り

施工業者　全国マスチック事業協同組合連合会の所属員で同連合会が実施する検定試験に合格する業者。　ただし、係員が認めた場合は前記以外の業者の施工とすることが出来る。

⑥ 塗装業者　日本塗装工業会の会員とする。

18 内装工事

① 防火材料　⊙天井及び壁の仕上材料は防火材料の認定表示の有るものとする。
下記施工箇所部分に付いては防火材料の認定表示を必要としない。

	施工箇所
石膏ボード　その他ボード張り	
合板張り	
紙及び布張り	

② ビニール床シート　JISA5707　*一般用　・厚さ　・2.5mm　⊙2.0mm
継目　*溶接　・突き付け　(18.1.1)

3 ビニル床タイル張り　ゴム床タイル張り　(18.2.1)

材料	種類		厚さ(mm)
ビニール床タイル(JIS A5075)	*石綿を含まないもの	*半硬質 ・軟質	*2 ・
	・ホモジニアスビニール床タイル	*マーブル ・プレーン	*2 ・
ゴム床タイル			

④ ビニール巾木　高さ ⊙75mm ・　mm　厚さ ・2mm ・　mm　(18.2.1)

⑤ 合成樹脂塗床　・弾性ウレタン塗り床材仕上げの種類　(18.3.3)(18.3.3表)
*平滑仕上げ　・防滑仕上げ　・つや消し仕上げ　・図示
・エポキシ樹脂塗り床材仕上げの種類　(18.3.3)(18.3.4～7表)
・薄膜流し展べ仕上げ　・厚膜流し展べ仕上げ
・樹脂モルタル仕上げ　・防滑仕上げ

⑥ 石膏ボードその他ボード及び合板張り　(注)1タイル貼下地は防水ボードとする　2重クロス下地は出隅塩ビコーナー貼パテ処理とする

⑦ フローリング張り

⑧ 壁紙張り

⑨ 畳敷き

10 じゅうたん敷き

・天然木化粧合板　化粧単板の樹種　(18.4.1)
化粧単板の厚さ　*0.3mm　・　mm
化粧単板のそば包み

⊙石膏ボード

目地処理	施工箇所
・目透し工法	
・突付工法	
・突付V目地工法	
⊙溝目地処理工法	

⊙複合板　図示
・ロックウール化粧吸音板

表面形状	厚さ(mm)	施工箇所
トラバーチン(フラット)	・9　・12	
凹凸模様	・12　・15　・19	

(18.5.1)～(18.5.4)

名称	樹種	等級	板厚	寸法	工法
フローリングボード		*1,2等級込 ・1等			・釘留め工法 ・接着工法 ・特殊張り
⊙天然木化粧複合フローリング		・A級 ・B級			⊙釘留め工法 ・溶接工法
フローリングブロック					・モルタル埋込工法 ・接着工法
モザイクパーケット 弾性モザイクパーケット					・接着工法

(18.6.1)

施工箇所	防火性能の級別	品質など
	*1級　・2級	
	*1級　・2級	
	*1級　・2級	
	*1級　・2級	

畳の種別　・A種　*B種　・C種　(18.7.1)
*じゅうたんは消防法に定める防炎性能を有するものとし、認定表示の有るものとする。
・下記施工箇所については、防炎性能の認定表示を必要としない。
施工箇所
品質検査　・する　・しない
(18.8.2)(18.8.3)(18.8.4)

種類	敷込み	帯電防止	種別品質など
・タフテット ・ウィルトン	・全面接着工法 ・グリッパ工法	・行なう ・行なわない	

種類	厚さ(mm)	ラバーの有無	種別品質など
・ニードルパンチ	・	・有り	
・カーペット	・3.5以上	・無し	

(18.9.2)

材料	種類	厚さ(mm)	施工箇所
・ポリスチレンフォーム板タイプⅡ	押出し成型品	・ ・	
・硬質ウレタンフォーム保温材	・保温板 ・現場発泡		

⊙グラスウール断熱 ⑦50　(18.4.1表)

材種	品質・規格	厚さ(mm)
・ロックウール	JIS A6303 ロックウール吸音ベルト1号	
・グラスウール	JIS A6306 吸音用グラスウールボード2号32K	

11 断熱材

12 吸音材

19 舗装工事

1 遮断層及び凍上抑制層用材料　遮断層　*川砂又は海砂　・　(19.2.1)
凍上抑制層　・
2 路床盛土用材料　・　・
3 路盤材料　・クラッシャラン(C－40)　・粒度調整砕石(M－40)　(19.3.1)
⊙図示による　(19.3.1表)

④ アスファルト舗装　加熱混合物　・密粒度アスファルトコンクリート(13)　(19.4.2)
・細粒度アスファルトコンクリート(13)　(19.4.2表)
・細粒度アスファルトコンクリート(13F)
・細粒度ギャップアスファルトコンクリート(13F)
・粗粒度アスファルトコンクリート(20)
⊙図示による
アスファルト混合物の抽出試験　・行なう　・行なわない　(19.4.4)
シールコート　・行なう　・行なわない

5 コンクリート舗装　早強セメント　・使用する　・使用しない　(19.5.1)
溶接金網　・使用する　・使用しない
検査　・行なう　・行なわない　(19.5.4)

6 特殊舗装　カラー舗装の種類　*顔料を使用した加熱アスファルト混合物　(19.6.2)
コンクリート平板のクッション材　*砂・から練りモルタル　(19.6.4)
コンクリート平板の寸法　*N300　・　(19.6.2)
インターロッキングブロックの種類　色彩・ナチュラル　厚さ(mm)　*60
・カラー　(19.6.2)
インターロッキングブロックのクッション材　*砂・から練りモルタル　(19.6.4)

20 排水工事

遠心力鉄筋コンクリート管及び鉄筋コンクリート管　継手　・カラー継手　・ソケット管接合　(20.1.1)
(・ゴム接合　・モルタル飼い)　(20.1.2)
雑水ます蓋及び清蓋

種類	形式	耐荷重
鋳鉄製マンホール蓋	・防臭形	・2t
	・防水形	・6t
鋼製グレーチング蓋	・受わく付き	・2t　・14t
	・	・6t　・20t

21 植栽工事

① 植込み用土　・現場発生の良質土　⊙客土(配合土)　(21.1.1)
② 丸太類の防腐処理　⊙防腐剤塗り　・焼丸太　(21.1.2)
③ 芝張り　種別　⊙こうらい芝　・野芝　(21.2.1)
客土　⊙行なう(　cm)　・行なわない　(21.2.1(　))
土壌改良剤　・泥炭系(　)　・パーク系(　)　(21.2.1(f))
工法　・目地張り　施工箇所　(21.2.2)
⊙べた張り　施工箇所
・筋芝張り　施工箇所

4 吹付け種　種子の量　(21.2.2(b))
酸性測定　・行なう　・行なわない
硬度測定　・行なう　・行なわない
被膜養生　・行なう　・行なわない

⑤ 枯損樹木などの植替え　期間　*引っ越しの日から1年間　・　年間
・　年　月　日迄

22 雑工事

① コーナービード　材種　*ステンレス　・真ちゅう　・塩化ビニール　(22.1.1)
高さ　・天井迄　・1.8m(定尺もの)

② 階段滑止め　材種　*ステンレス　・真ちゅう　(22.1.2)
工法　*埋込み　⊙接着ビス止め併用
形式　⊙ビニールタイヤ又は合成ゴムタイヤ入り　・タイヤなし

3 黒板　掲示板　材種　黒板
掲示板　*ビニールレザー粗面張り
枠　*アルミニウム製

4 スリーブ　材種　・鋼管　・つば付鋼管　・　(22.2.1表)
・硬質塩化ビニール管　・溶融亜鉛メッキ鋼板

5 カーテン及びカーテンレール　カーテン　*消防法に定める防炎加工を行なったものとする。
布地の品質
形式　・片引き　・引分け
機構　・手引き　・ひも引き　・電動
ひだの種別　・A種　・B種　・C種　(22.3.1表)
カーテンレール　・ステンレス(SUS304)　・アルミニウム製(押出成形品)
・鋼板製

⑥ ブラインド　材種　*アルミニウム合金製　・鋼製　(22.4.1)
厚さ　*0.15mm　・0.2mm　・　mm
巾　*25mm　・34mm　・48.5mm
形式　*C型　・S型
開閉機構　*ギヤー式　・コード式

7 砂利敷き　建物周囲等　・A種　*B種　材種　*砂利　mm　砕石　mm
通路等　*A種　・B種　材種　*砂利　mm　砕石　mm
(22.5.1表)

⑧ 間知石及び間知ブロック積み　間知石の材種　・
⊙間知ブロックの形状　⊙JIS A 5323
コンクリート　基礎　*A種　・B種
裏込　・A種　*B種
伸縮目地の材種　・

9 敷地境界石標　種別　・A種　・B種

⑩ 宮名札　材種　*塩化ビニール製　・アクリル樹脂製
寸法　*260×80×5
受金具　・ステンレス(SUS304)
形式　・突出型　ケ所　・面付型　ケ所
*文字書入れ　・文字彫込み

⑪ 点検口　天井　*アルミニウム製　寸法　・450×450　・600×600　ケ所
床　*アルミニウム製　寸法　・450×450　・600×600　ケ所

⑫ 鍵箱　型式　⊙30本　・60本　・120本　・200本

⑬ 既製流し台の類　材種　*鋼製(試製品)
型式　BL部品　市販型　⊙図示
*水張は溶しばりとし、水切部との接合はシーム溶接とする。
(トラップ付き)

14 旗竿　材質　・ステンレス(SUS304)　・ステンレス(SUS430)
アルミ製　H=5.0m　ハンドル式(杉田エース)

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△			

⑮ 定礎板　ステンレス板製 ⑦5mm　文字彫込　(W500×H400)
[平成　年　月　定礎]

16 銘名板　ステンレス板製 ⑦5mm　(W1,500×H300)
文字・枠：浮出　地：エッチング無色仕上　⊙図示

⑰ 進入反射ステッカー　アクリル系封入赤色板

18 消火器　ABC消火器10型　ケ

⑲ 機害昆虫　図示

⑳ ダムウェーター　図示

㉑ オリエンタルメタル　オリエンタルメタル(休称)　スケールライト
工法は同社の標準仕様による

㉒ フッ素樹脂鋼板パネル張　月星工業　ハイジラット　パネル張工法は同社仕様による

㉓ 防塵塗装　ケミクリートEP コーティング工法

㉔ アクセスフロア　スケール製　H=300　帯電防止塩ビタイル 及び カーペット仕上

㉕ FRPマンホール　クリモト商事、日東成型工業　又は同等品

㉖ ビデオスクリーン　100インチ ビデオスクリーン 電動タイプ プロテクターケース仕様　天井埋込用スクリーンボックス付　(キクチ科学㈱)

㉗ 煙生管　ダイ柵　100VP 用 SGP 125A

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	
照査	丸山	97.3.25	工事名称 「藤鹿苑」第1処理施設建設工事
照査	久保	97.3.25	図面名称 特記仕様書－2
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度　第　角法　標準図番号
図面番号 WR－110040　△0
出図年月日　整理番号
A1

処 理 棟

外部仕上表

大 屋 根	フッ素樹脂鋼板横葺 ⑦ 0.4　鼻段ルーフ26　又は同等品	軒 先	軒裏：コンクリート打放弾性系吹付材吹付　雑樋：オリエンタルメタル ⑦ 0.6 落シロ 150φ、 又は同等品	鳥除金入口庇	RC造 屋根面 大屋根に同じ、破風・袖壁：弾性系吹付材吹付、軒裏：カラーアルミスパンドレル
	（スラブの上均シモルタル ⑦ 15，スタイロフォーム ⑦ 25， 軒先 巾900は木毛板 ⑦25 アスファルトルーフィング 22kg下地）		雑樋包み：フッ素樹脂鋼板 ⑦ 1.6 パネル張（下端取付金物共）	その他庇	RC造 屋根面 浸透性防水の上弾性系吹付材吹付、破風・軒裏：弾性系吹付材吹付
	2階一部 コンクリート金ゴテ押エの上露出アスファルト防水　冷却棟置場及び屋外機置場：アスファルト防水の上保護コンクリート防ジン塗料				
				塗 装	特記なき限り 鉄部全てSOP塗
屋 階 根	屋根：大屋根に同じ　軒先・破風・軒裏：弾性系吹付材	建 具	スチールシャッター、アルミサッシ、ステンレスカマチドア、カラーアルミガラリ（タテ型）	その他	2階 冷却塔 目カクシ カラーアルミルーバー横張
					タテ樋：カラー塩ビ管 VP100， 受金管 SGP 125A H=2，000
外 壁	1階 天然石調厚付け仕上げ材（コンクリート打放下地） 目地 色別（深サ 2.5㎜ 巾10㎜）	ポーチ	磁器質タイル 150□，客拭マット：ステンレス 1，200×750		トップライト：アクリドーム 1，300×1，300
	2階 弾性系吹付け材（コンクリート打放下地）				2階 ベランダ（A通） 床：樹脂モルタルの上エポキシ系又はポリエステル樹脂2回　手スリ：カラーアルミルーバー横張（一部取除式）
		犬 走 り	コンクリート金ゴテ		煙突：弾性系吹付材吹付 目地付、 ラダー：ステンレス
庇	コンクリート打放の上弾性系吹付材				B通り 外壁：カラーアルミ化粧タテ格子付

内部仕上表

室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 塗装	壁 下地	壁 仕上	壁 塗装	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	天井 廻縁	室名札	ブラインド及びボックス	備考
地階 し尿沈砂槽	水密コンクリート金ゴテ	ポリエステル系樹脂3回塗	――		水密コンクリート打放	ポリエステル系樹脂3回塗（ガラスクロスライニング）		水密コンクリート打放	ポリエステル系樹脂3回塗（ガラスクロスライニング）			――	――	
浄化槽汚泥用沈砂槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
し尿受入槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
浄化槽汚泥用受入槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
し尿貯留槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
浄化槽汚泥用貯留槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
予備貯留槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
浄化槽汚泥中継槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
汚泥貯留槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
し尿中継槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
凝集沈殿槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
凝集膜分離循環槽	〃	エポキシ又はポリエステル系樹脂2回塗	――		〃	エポキシ又はポリエステル系樹脂3回塗		〃	エポキシ又はポリエステル系樹脂3回塗			――	――	
凝集膜分離処理水槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
混和槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
中和槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
第1反応槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
第2反応槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
生物膜分離循環槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
生物膜分離処理水槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
曝気槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
雑排水槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
ろ布洗浄水槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
活性炭処理水槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
放流槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
接触槽	〃	〃	――		〃	〃		〃	〃			――	――	
受水槽	〃	無機質浸透性防水	――		〃	無機質浸透性防水		〃	――			――	――	
ポンプ室	〃	エポキシ系塗装	（腰：コンクリート打放 H=1，200）	VP	〃	アクリルリシン吹付		〃	アクリルリシン吹付			○×2	――	

註記　（処理棟・管理棟・渡り廊下共通）

1. PB ⑦ 12.5＝石膏ボード ⑦ 12.5　準不燃 第2018号
化粧PB ⑦ 9.5＝化粧石膏ボード ⑦ 9.5　準不燃 第2016号
下地PB ⑦ 9.5＝石膏ボード ⑦ 9.5　準不燃 第2018号
防水PB ⑦ 12.5＝防水石膏ボード ⑦ 12.5　準不燃 第2018号
岩綿吸音板：　不燃 第1021号
複合板 ⑦ 22.5：硬質イソシアヌレートフォーム ⑦ 10 ＋PB ⑦ 12.5
又は同等品（アキレス準不燃NDパネル）準不燃 第2715号
ビニールクロス＝（PB ⑦ 12.5 又は，複合板 ⑦ 22.5 面）
準不燃 第0003号
2. カベ・ビニルクロス仕上の下地プラスターボード張は
コンクリート下地 GL工法 軽鉄間仕切下地ビス止メかつジョイント工法とする
3. デッキプレート＋コンクリート床：コンクリート厚 山上 ⑦ 80 溶接金網入り
4. 処理棟1階のトイレの床は、アスファルト防水とする
5. 地下階は水密コンクリートとする（ベストンA 入り）
6. タラップはSUS304 19φとする
7. 天井点検口はアルミ製450×450 処理棟 12ヶ， 管理棟 20ヶ，
8. 内部木部・鉄部見掛りは全て SOP塗りとする
9. コンクリート打放面は素地調整を施す
10. 複合板は外壁に面する部分のみとする
11. 2階天井裏及び渡り廊下天井裏は断熱材（グラスウール ⑦ 50）敷込とする
（10kg/m³ 表面加工品）
12. 定着板：ステンレス ⑦ 5， 文字彫込 500×400 1ヶ
14. 消火器：ABC消火器10型 処理棟 24ヶ， 管理棟 12ヶ，
（処理棟管理エリア及び管理棟は収納ボックス付）
15. コンクリート打放露出部は面取り
16. 地下部打継部は止水板（アデカウルトラシール）を設ける
17. 地下部セパレーターは防水セパレーターとする
18. 管理棟1階コンクリート下はポリエチレンフィルム ⑦ 0.15，
スタイロフォーム ⑦ 25 敷込とする
19. 洗面器・小便器前ライニング CB積 100角タイル張り
20. 外部コンクリート打放はフカシ20とする
21. 吊戸棚下面は不燃処理品とする
22. 流シ・ガス台は一体型、 サンウェーブ
コンプリートキッチンスタンダードタイプI型180cmとする
23. 管理棟 天井裏外壁面は スタイロフォーム ⑦ 25張
24. マンホール FRP丸型は750φ
25. 排水溝及び排水槽フタ グレーチングはSUS304（T-2）
26. 内部ラダー SS400 亜鉛メッキ
27. 天井 フルキシブルボードは目スカシ 6㎜張とする

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△1	誤記 岩綿吸音板 訂正	松村	97.3.24

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.18	工事名称 「藤鹿苑」第1処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.22	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 仕上表－1
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	図面番号 WR-111010 △1
		出図年月日	整理番号

A1

処理棟
内部仕上表

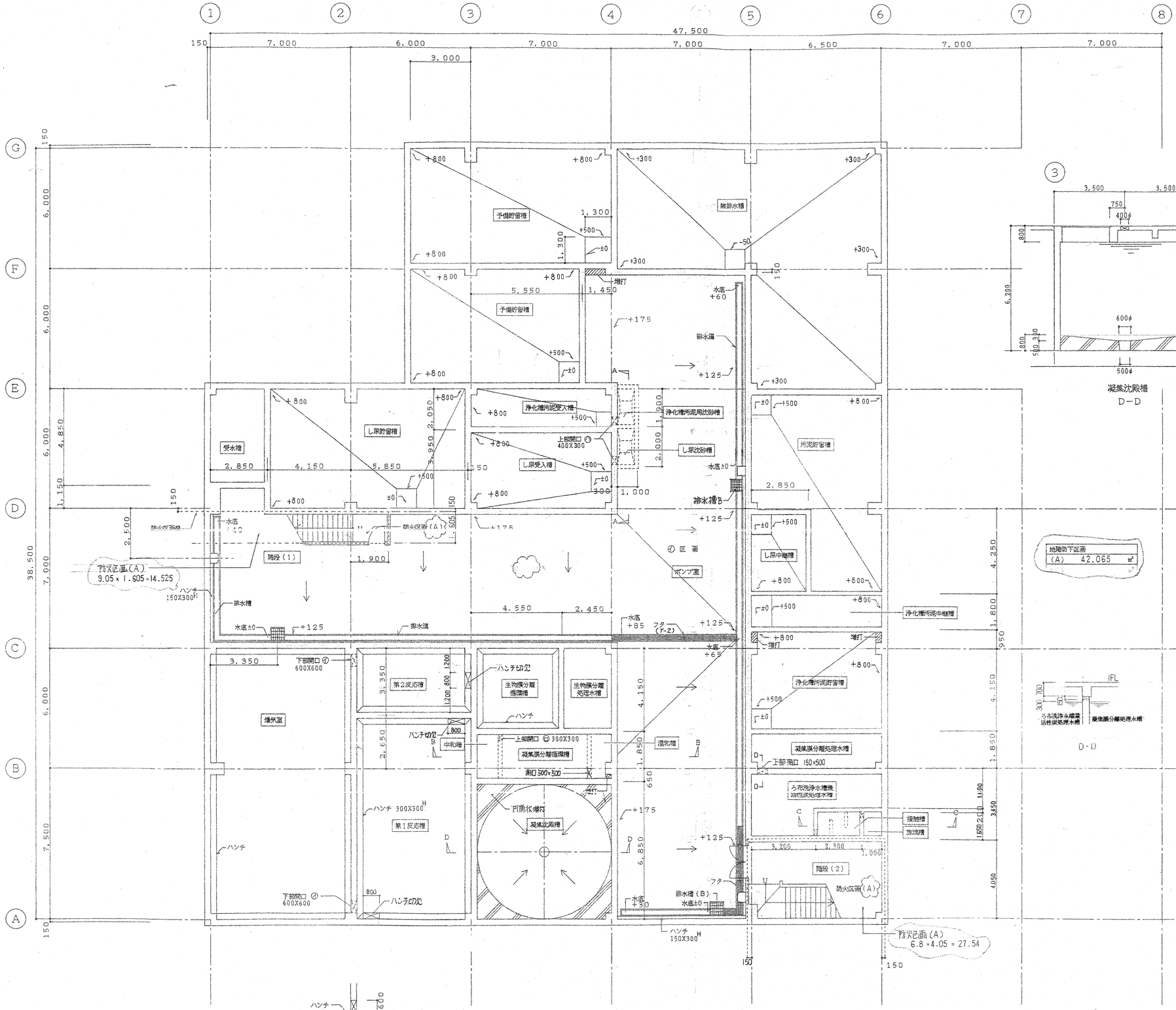
	室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 塗装	壁 下地	壁 仕上	塗装	天井 下地	天井 仕上	塗装	廻縁	室名札	ブラインド及びボックス	備考
1階	沈砂除去室	コンクリート金ゴテ	エポキシ系塗装	(腰コンクリート打放 H=1,200)	VP	コンクリート打放	アクリルリシン吹付		コンクリート打放	アクリルリシン吹付			○	——	
	受入前室	〃	エポキシ系耐摩耗塗装	コンクリート打放 H=100	〃	〃	アクリル系弾性タイル吹付		〃	アクリル系弾性タイル吹付			○×2	——	
	受入検室	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃			○×2	——	
	受入室	〃	〃	〃	〃	〃	〃		〃	〃			○×2	——	
	受入処理監視室	〃	長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=75		PB ⑦ 12.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB ⑦ 9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	○	——	パッケージエアコン(天吊型)・空調用換気扇
	乾燥焼却炉室	〃	エポキシ系塗装	(腰コンクリート打放)	VP	コンクリート打放	アクリルリシン吹付		コンクリート打放	アクリルリシン吹付			○×2	——	
	ホッパー室	〃	エポキシ系耐摩耗塗装	コンクリート打放 H=100	〃	〃	アクリル系弾性タイル吹付		〃	アクリル系弾性タイル吹付			○×2	——	
	脱臭ファンブロワー室	〃	エポキシ系塗装	(腰コンクリート打放 H=1,200)	〃	〃	グラスボード ⑦50張		〃	グラスボード ⑦50張			○	——	
	機上部室	〃	〃	〃	〃	〃	アクリルリシン吹付		〃	アクリルリシン吹付			○×2	——	デモウォール 防液堤:コンクリート打放シ エポキシ系塗装.
	工作室	〃	エポキシ系耐摩耗塗装	〃	〃	〃	〃		〃	〃			○×2	——	ダムウェーター
	WC	アスファルト下地	磁器質25角タイル貼	アスファルト防水立上 H=200		〃	半磁器100タイル貼		軽鉄天井下地	フレキシブルボード張	VP		○×2	——	手洗器・小便器は感知式自動水洗
	風除室	御シモルタル	磁器質タイル貼 150角	——		〃	磁器質タイル貼 100X50		軽鉄天井下地 PB ⑦ 9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	——	——	
	玄関	〃	〃	——		〃	〃		〃	〃		〃			
	ホール	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=75		〃	〃		〃	〃		〃			上カマチ:SUS ⑦ 2.0, 下足箱
	前室	〃	エポキシ系塗装	コンクリート打放 H=100		コンクリート打放	アクリルリシン吹付		コンクリート打放	アクリルリシン吹付			○×4		
	薬品ヤード	〃	耐薬品塗装	耐薬品塗装 H=600											
2階	前処理脱水機室	コンクリート金ゴテ	エポキシ系塗装	(腰コンクリート打放 H=1,200)	VP	コンクリート打放	アクリルリシン吹付		コンクリート打放	アクリルリシン吹付			○×2	——	防液堤:コンクリート打放, エポキシ系塗装.
	給湯室	〃	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		PB ⑦ 12.5	ビニールクロス貼 1部タイル貼		軽鉄天井下地	フレキシブルボード	VP	塩ビ製	○	——	吊戸棚:L=1,200, 流シ・ガス台 L=1,800(2口コンロ) レンジフード,
	中央監視室	〃	フリーアクセスフロアー H=300 (カーペットタイル貼)	〃		PB⑦12.5 複合板⑦22.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB 9.5 捨張	岩綿吸音板張		〃	○	○	パッケージエアコン(天吊型)・空調用換気扇・二重床
	電気室	〃	アクセスフロアー H=300 (帯電防止タイル)	(腰コンクリート打放 H=1,200)	VP	コンクリート打放	アクリルリシン吹付		軽鉄天井下地	化粧石コウボード張		〃	○		パッケージエアコン(天吊型)・空調用換気扇・二重床
	水質試験室	〃	ウレタン系耐薬品シート貼	ソフト巾木 H=75		PB⑦12.5 複合板⑦22.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB⑦9.5 捨張	岩綿吸音板張			○		パッケージエアコン(天吊型)・空調用換気扇
	薬品庫	〃	エポキシ系塗装	コンクリート打放 H=100	VP	コンクリート打放	アクリルリシン吹付		コンクリート打放	アクリルリシン吹付			○	——	ダムウェーター
	倉庫	〃	——	〃		〃	——		〃	——			○	——	
	廊下	〃	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		PB ⑦ 12.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB⑦9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	——	——	
	男子WC	御シモルタル	〃	——			半磁器タイル貼100角		軽鉄天井下地	フレキシブルボード	VP		○	——	手洗器・小便器は感知式自動水洗
	女子WC	〃	〃	〃			〃		〃	〃	〃		○	——	手洗器・小便器は感知式自動水洗
3階	書庫	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		PB ⑦ 12.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地	化粧石コウボード張		塩ビ製	○		
共通	階段室(1)	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート貼 (BFはエポキシ系塗装)	テラゾーブロック H=75		コンクリート打放	アクリル系弾性タイル吹付		軽鉄天井下地	化粧石コウボード張		塩ビ製	○×2		
		フミ面・蹴込:御モルタル 長尺塩ビシート, ササラ:テラゾーブロック, ノンスリップ:ステンレス タイヤ入り, 手スリ 腰:コンクリート打放 アクリル系弾性タイル吹付, 笠木:テラゾーブロック, 段裏:アクリルリシン吹付													
	階段室(2)	同 上													
	陸屋根	コンクリート打放	無機質浸透性防水				——			——					谷部モルタル笹 排水目皿

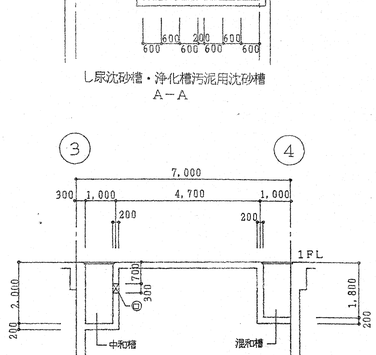
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	アライド&BOX訂正, 消毒室, 削除	佐々木	97.9.2

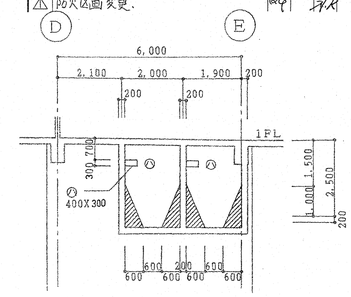
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.27		
照査	久保 97.3.25	図面名称	処理棟 仕上表-2
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第 角法
NKK 日本鋼管株式会社		標準図番号	
		図面番号	WR-111020 ⚠1
		出図年月日	整理番号

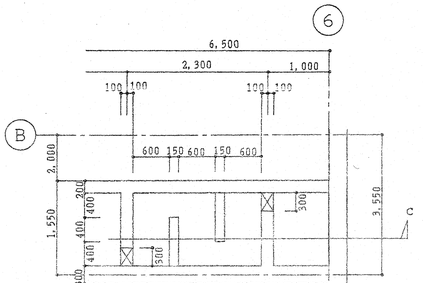
NES NJ7016A
3/24

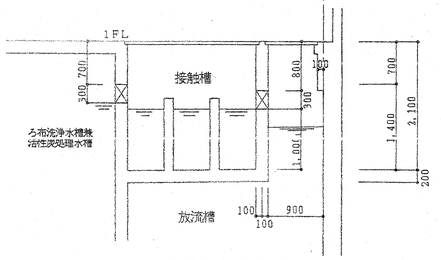
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	防火区画変更、		97.9.2.











(註)
1. 排水槽から雑排水槽までの配管はプラント工事

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	才田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.27	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 地下1階平面図
設計		・・	
製図	石井	97.3.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-111031 ⚠
			出図年月日 整理番号

3/24

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	⑤xA~B1部ハ削除，防火区画変更	村田	97.9.2

47,500

防火区画(A)
7.45×6.55+2.275×3.475
+6.95×3.525 = 81.202

防火区画 累計						
	地階	1階	2階	3階	計	
A	42.065	81.202	443.626	100.667	667.76	<1,500

(註) 1. A：耐荷重（10t耐荷重）・防臭（ロック付）
ウジ対シ付（ウジ逐シはプラント工事）
B：防臭（ロック付）・ウジ対シ付（ウジ逐はプラント工事）
C：防臭（ロック付）
D：汎用
（A．B．C．D共FRP製 丸型 750φ）
2. 丸型マンホール 床用グレーチング+マットは本工事
角型FRP フタ類はプラント工事
（枠は支給）

◎フック 2t吊

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28		
照査	久保 97.3.25	図面名称	処理棟
設計			1階平面図
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/100
		第	角法
		標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-111041 ⚠
		出図年月日	整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	床@200 増打部、防火区画、電気配管位置変更	[illegible]	97.9.2

横引管100VP
庇
横引管 125VP
ルーフドレン 100A
横 引管125VP
横引管100VP
ルーフドレン 100A
トップライト
トップライト
屋 根
横引管100VP
保護コンクリート
冷却塔置場
目隠ルーバー (カラーアルミ横張)
中継型ルーフドレン4ケ所 SS(手動)
排水目皿50A
上げ天井
渡り廊下
廊下
煙突
煙突
防液堤 H=350
防液堤 H=150
倉 庫 ⑫区画
階段室(1)
⑯区画
廊下
床:@200 増打
給湯 600x600
⑫区画
男子 WC
ライニング:タイル張
⑫区画
前処理脱水機室 ④区画
水底 -120
排水溝
-70
±0
中央監視室 ⑦区画
女子 WC
吊戸棚共
給湯室 ⑪区画
排水目皿 水底 -170
ラダー
ホイストレール
防煙垂壁 H=500 防火区画(A)
廊下
RS
電気室 ⑪区画
水質試験室 ⑦区画
吹 抜
防火区画(A)
薬品庫 ⑪区画
ホッパー室上部 ④区画
タテ樋 100VP
手スリ ステール SOP
金アミ張 (メッキ)
SS(手動)
ベランダ
ルーフドレン 75A
呼樋 75VP
目隠ルーバー (取外式) (カラーアルミ横張)
タテ樋 100VP
ルーフドレン 75A
上げ天井
階段室(2)
2階平面図

2階 防火区画(A)
12.775×26.5 - 3.275×8.5
+ 14.45×10.0 + 6.5×3.3
- 4.275×7.725 = 443.626

A-A 断面図
B-B C-C

モルタル金ゴテ
排水目皿 50A
タラップ 手スリ (1段)
ラダー
越屋根平面図

チャンバー
吊束
ラダー
床:エキスパンドメタル
屋根下チャンバー及びダクトファン点検台平面図

横引管100VP
手スリ
消火栓 補給水槽 置場 3FL±0
階段室(1)
倉 庫
進入口に代る窓
⑫区画 防火区画(A)
3階平面図

3階 防火区画(A)
7.225×3.075
+ 6.05×13.0 = 100.867

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	図面名称 処理棟 2・3階平面図
照査	久保	97.3.25	
設計			
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部		

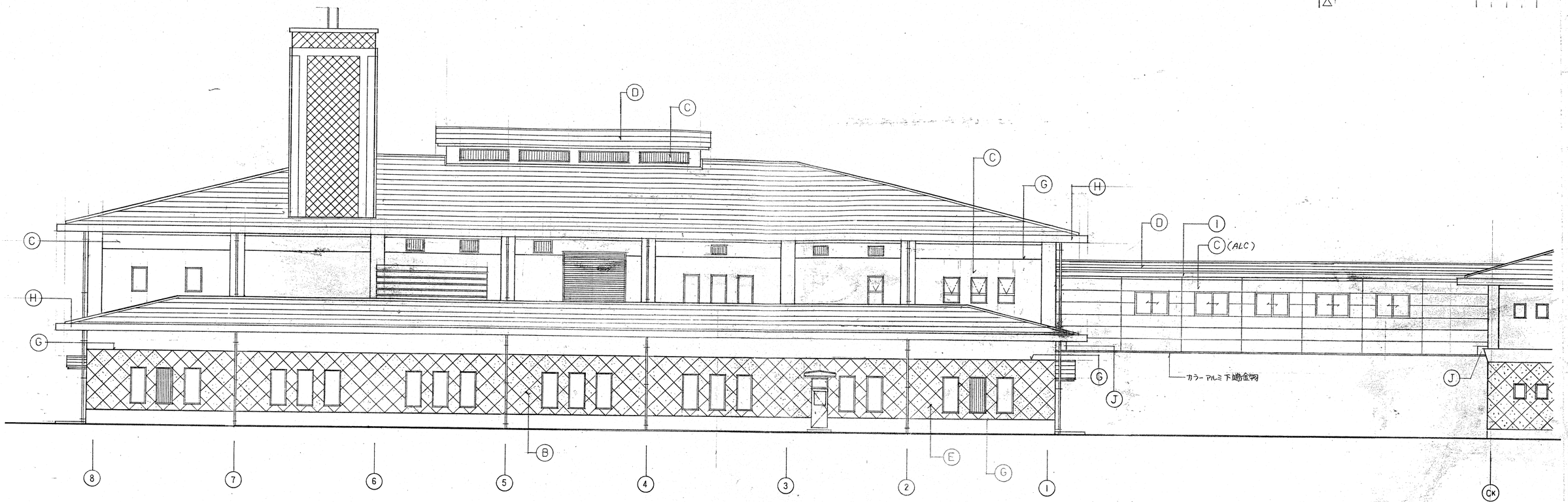
NKK 日本鋼管株式会社

尺度 1/100 第 角法 標準図番号

図面番号 WR-11105.1

出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1			



西側立面図 S＝1／100

北側立面図 S＝1／100

凡例

Ⓐ	根廻：コンクリート打放　弾性系吹付材	Ⓕ	化粧アルミ格子
Ⓑ	壁　：コンクリート打放　天然石調厚付仕上材	Ⓖ	化粧凸凹目地
Ⓒ	壁　：コンクリート打放、ALC・弾性系吹付材	Ⓗ	笠木 化粧鼻板
Ⓓ	屋根：ﾌｯ素樹脂鋼板 横葺	Ⓘ	渡り廊下 軒先化粧幕板
Ⓔ	化粧目地：天然石調厚付仕上材 色別(深 2.5mm 巾10mm)	Ⓙ	鉄骨梁型 コンクリート打放 弾性系吹付材

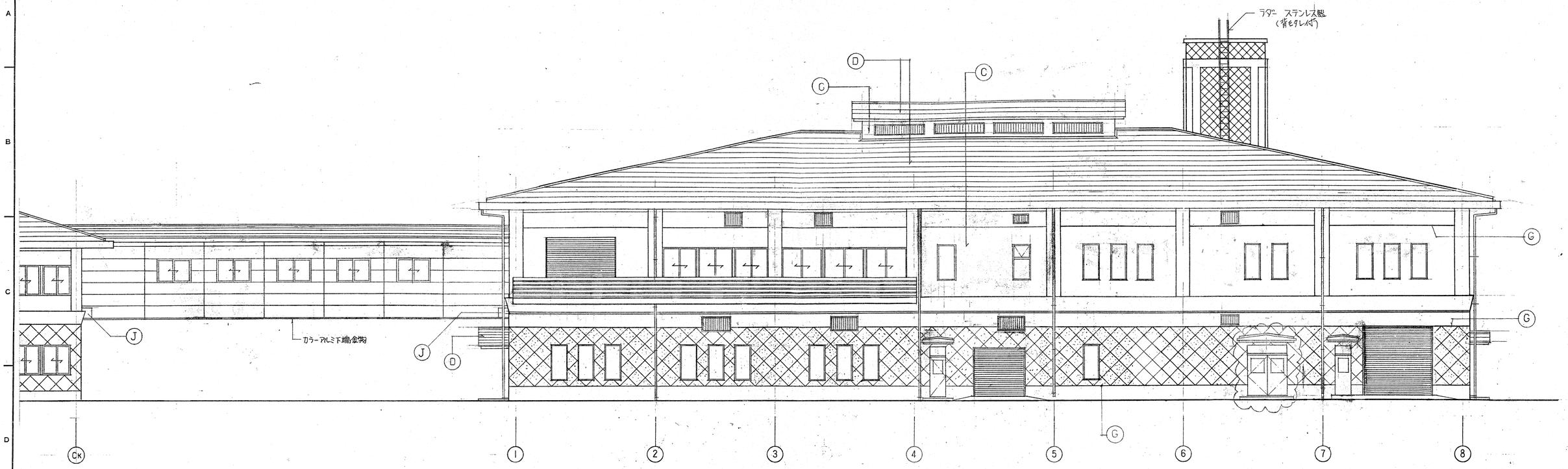
工事番号	EL－6851		
承認	村田	97.1.20	
照査	丸山	97.1.22	
照査	久保	97.1.17	
設計			
製図	石井	96.11.19	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

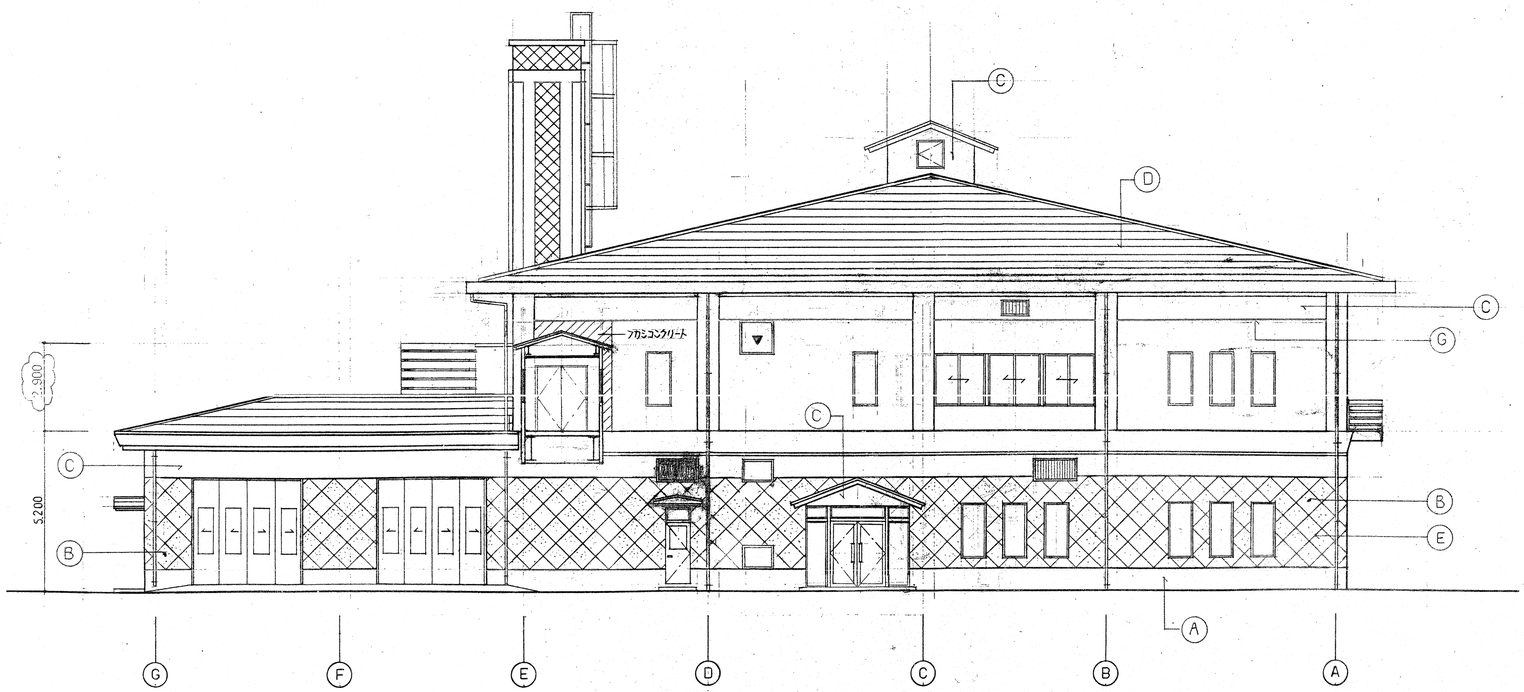
御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 「立面図－1
尺度	1／100
第角法	
標準図番号	
図面番号	WR－111060
出図年月日	
整理番号	

△1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	6~7間ドア上 ランマ、花 追加、機械ローカ設備変更	[illegible]	97.9.2



東側立面図S＝1／100



南側立面図S＝1／100

工事番号	EL－6851	
承認	村田	97.1.20
照査	丸山	97.1.20
照査	久保	97.1.17
設計		・・
製図	石井	96.11.18
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 処理棟 立面図－2

尺度: 1/100　第　角法　標準図番号

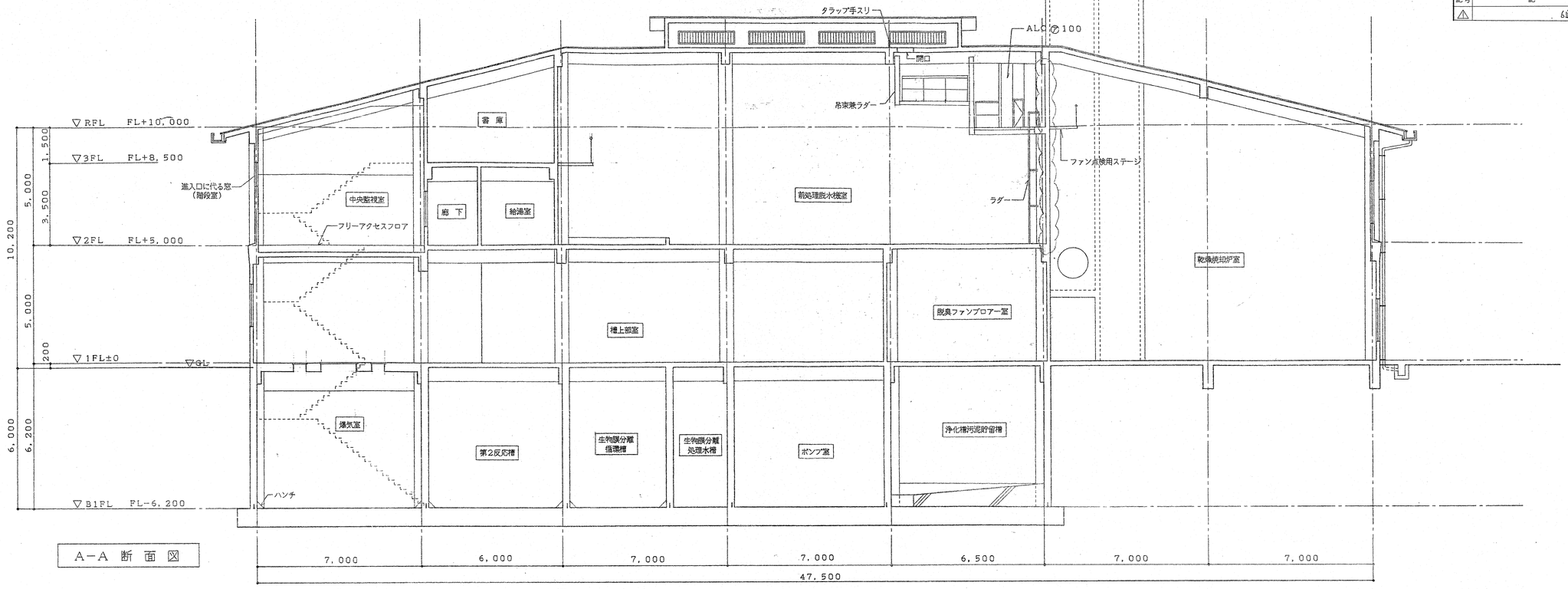
図面番号: WR－111070

出図年月日　整理番号

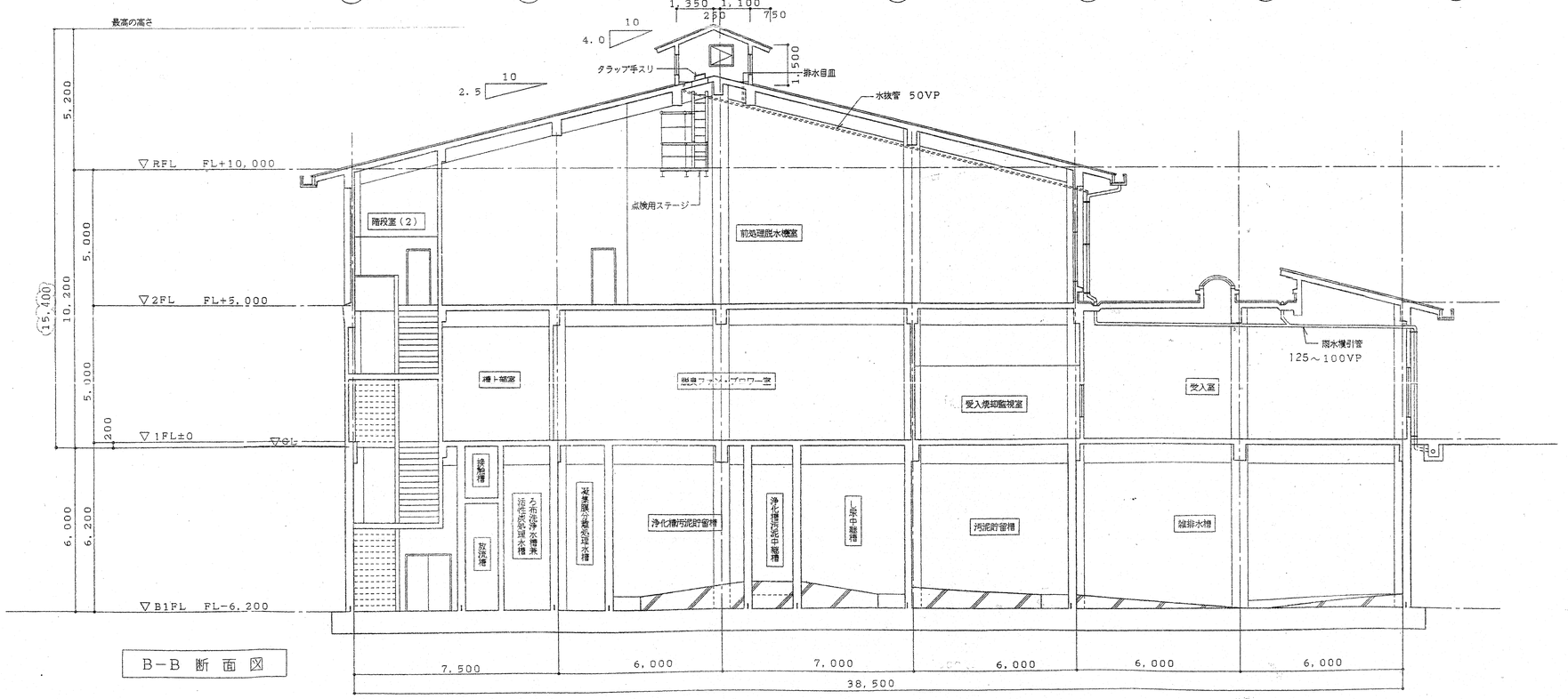
NKK 日本鋼管株式会社

3/24

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	6通報受領(也	村	97.9.2



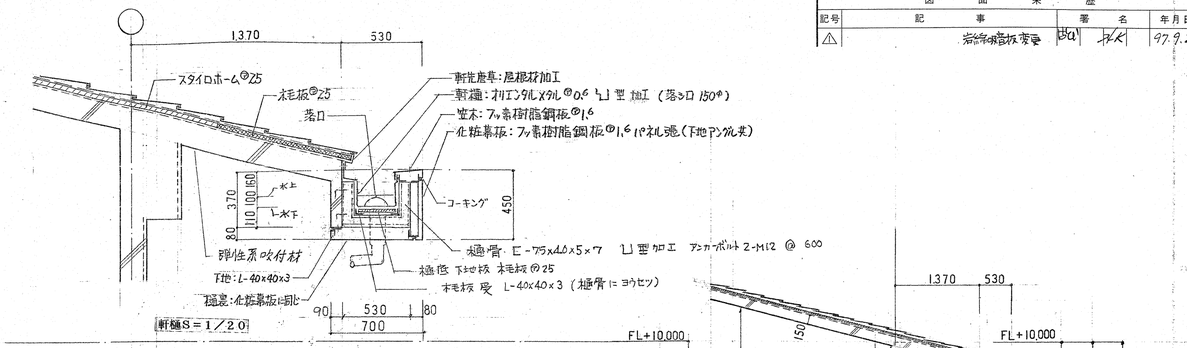
A－A 断 面 図

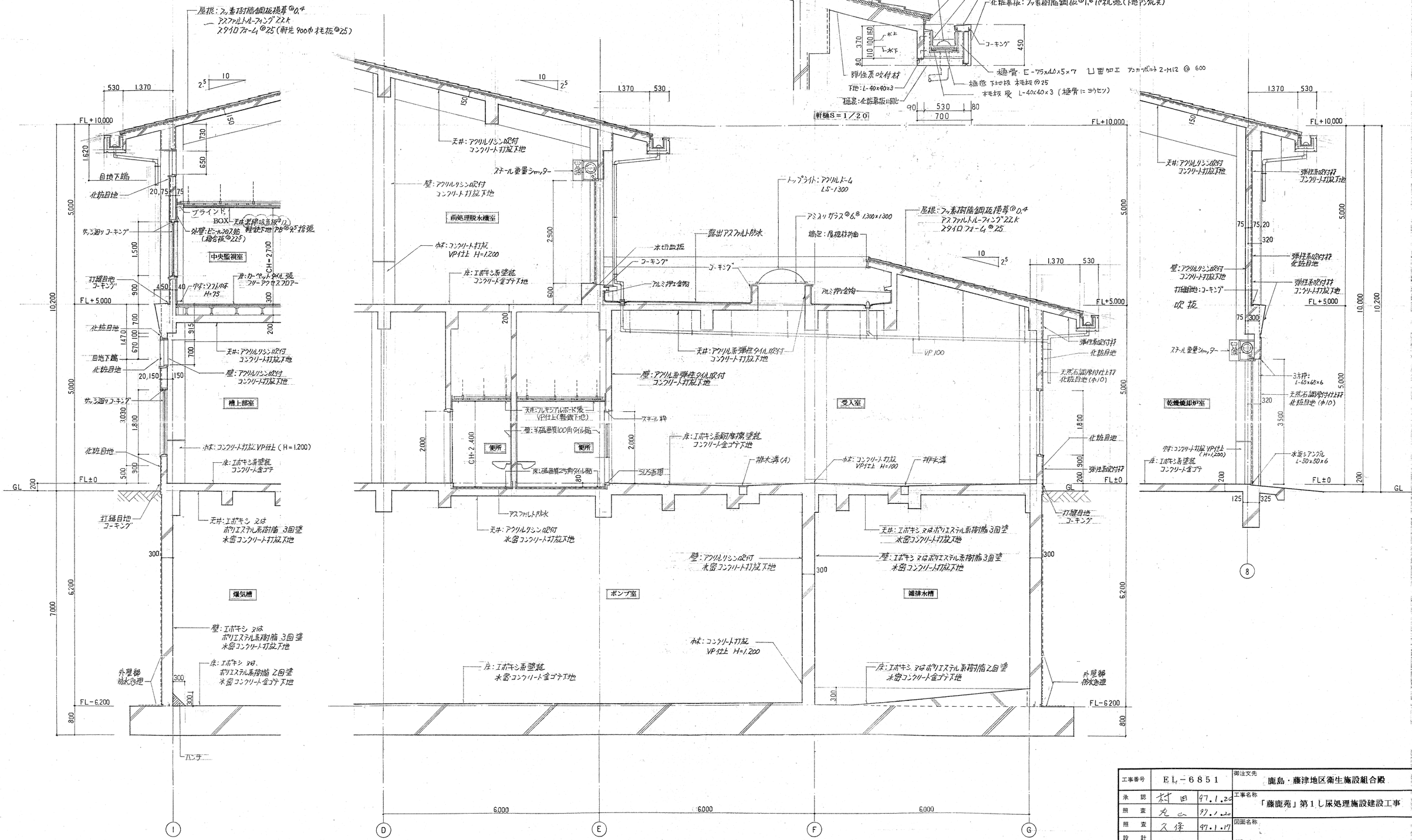


B－B 断 面 図

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	久山	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 断面図
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1／100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－1－11080 ⚠
			出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	荷重条件変更	設	97.9.2





工事番号	EL－6851	
承認	村田	97.1.20
照査	丸山	97.1.20
照査	久保	97.1.17
設計		・・
製図	石井	96.12.12
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：処理棟 矩計図

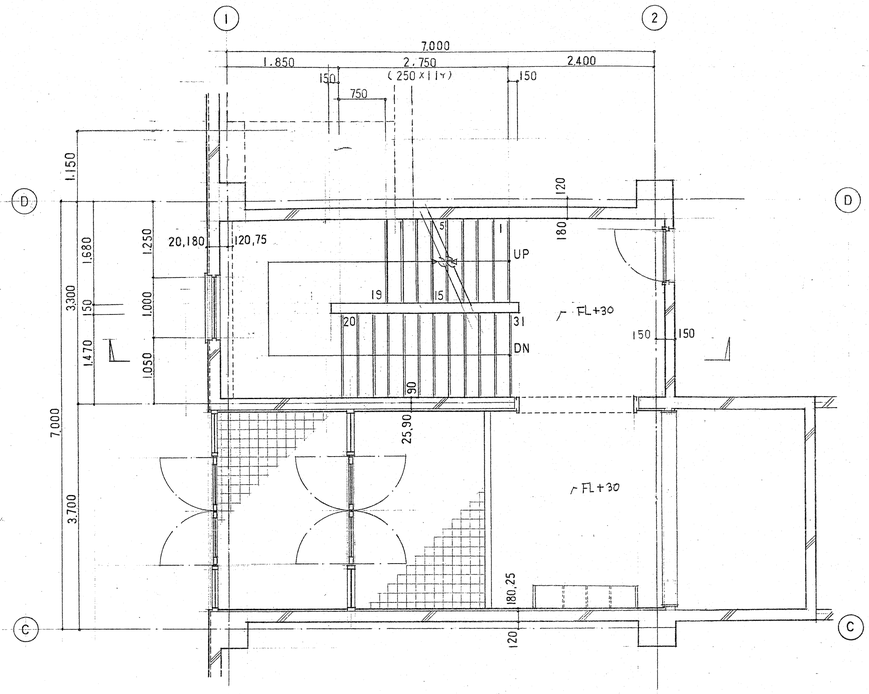
尺度：1／50　第　角法　標準図番号

図面番号：WR－111090

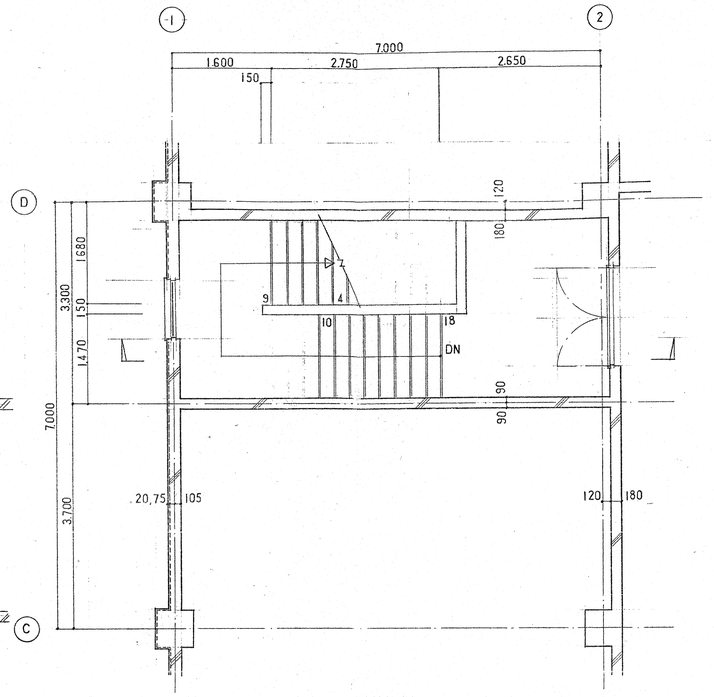
出図年月日　整理番号

NES NP3706A △

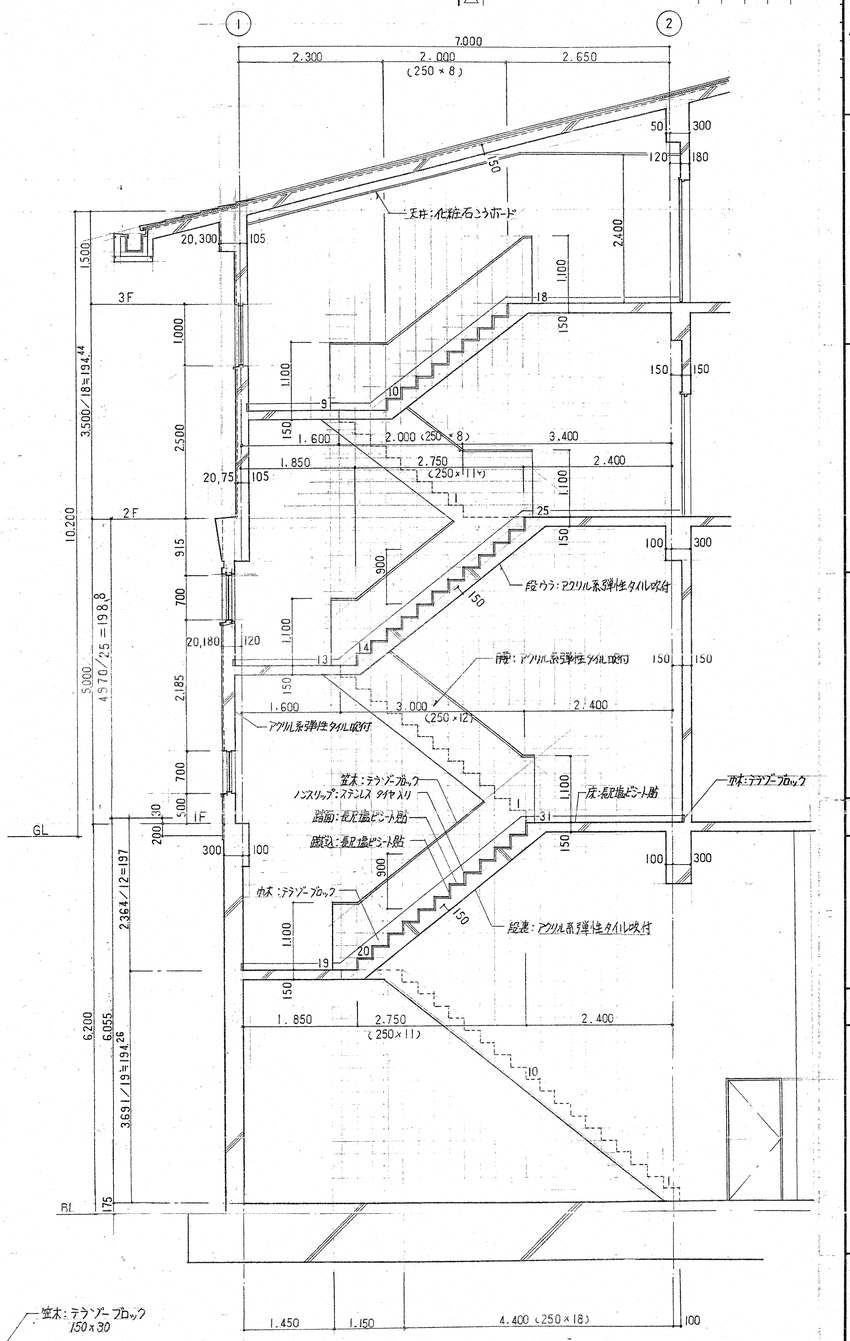
17



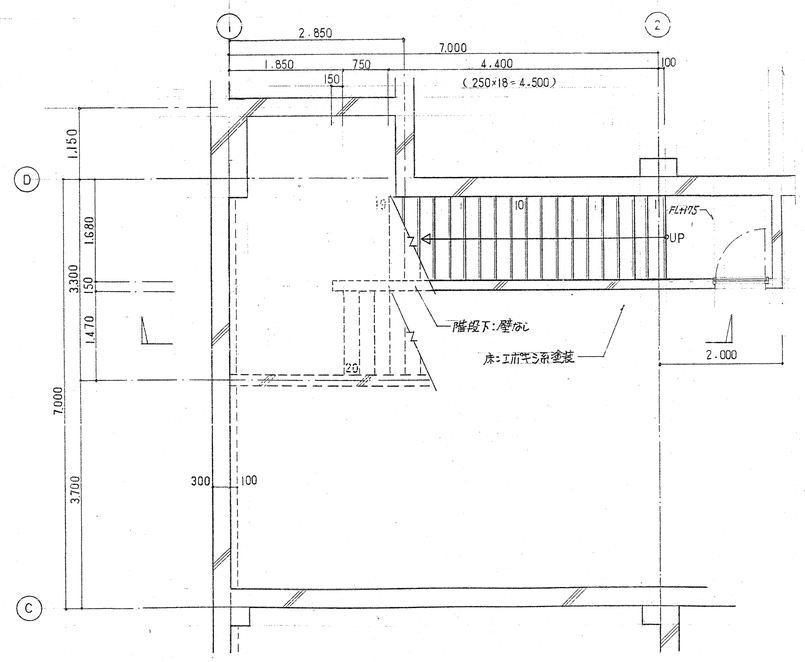
1階平面図



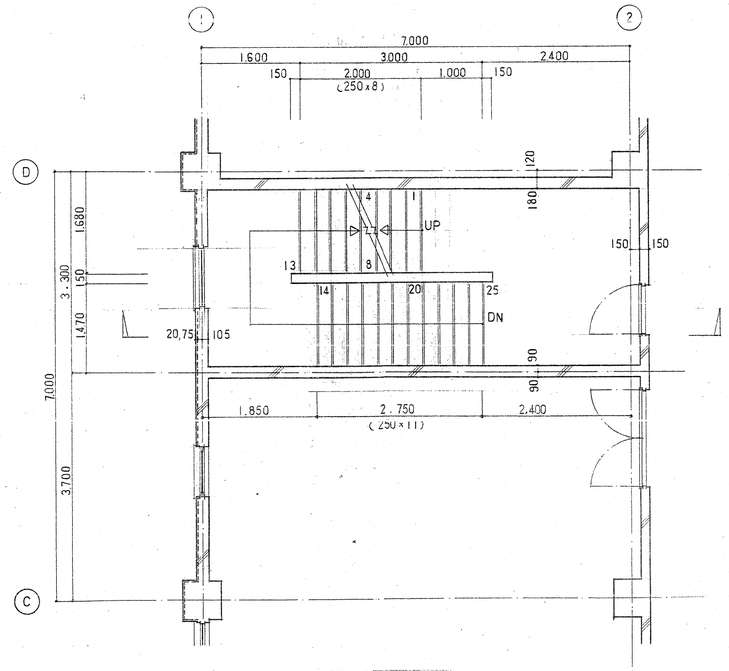
3階平面図



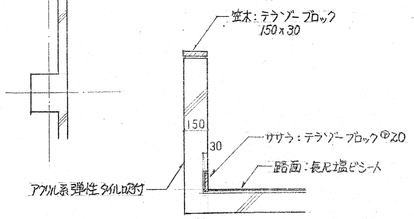
断面図



地下1階平面図



2階平面図



図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	EL－6851	御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28
照査	丸山	97.3.28
照査	久保	97.3.25
設計		・・
製図	石井	97.2.24
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：処理棟 階段詳細図－1

NKK 日本鋼管株式会社

尺度：1/50　第　角法　標準図番号

図面番号：WR－111100　△2

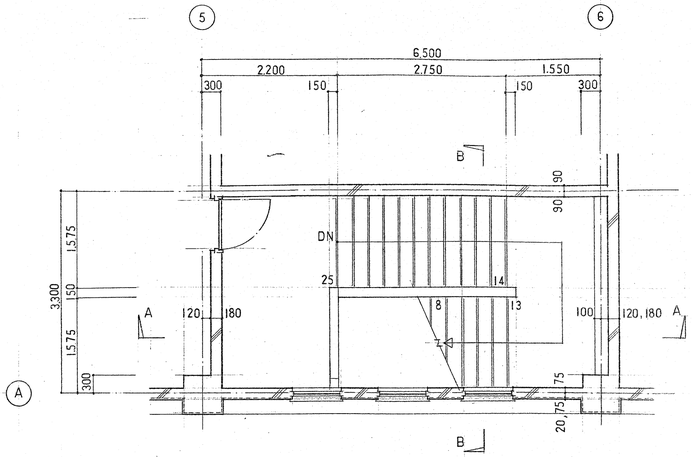
出図年月日　整理番号

NES NF3706A ⚠

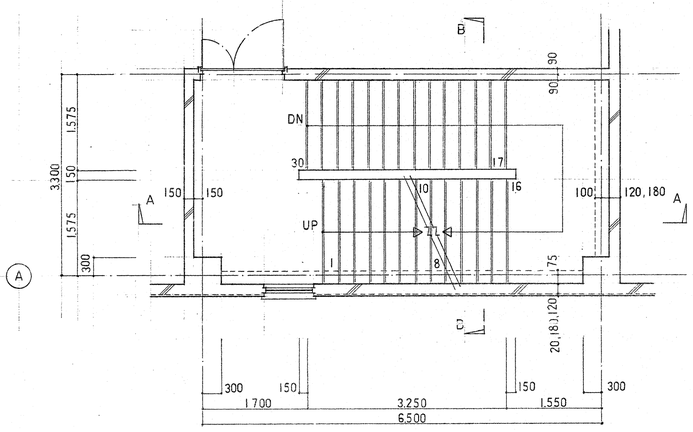
3/4

A1

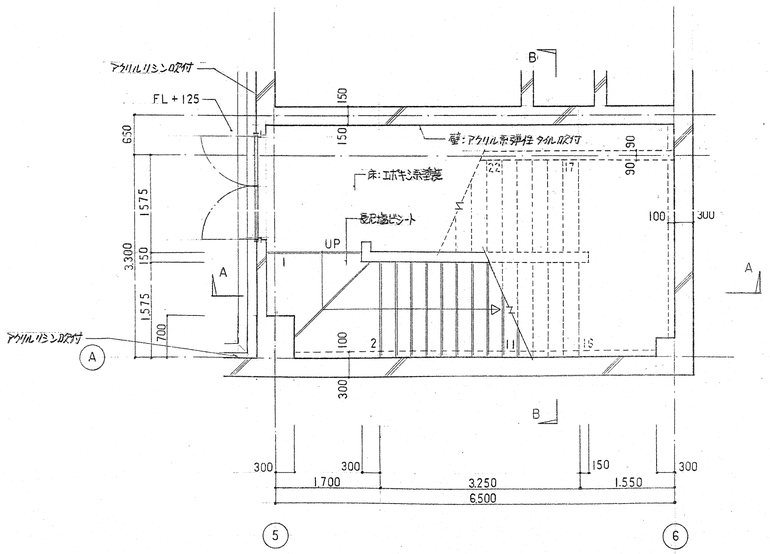
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



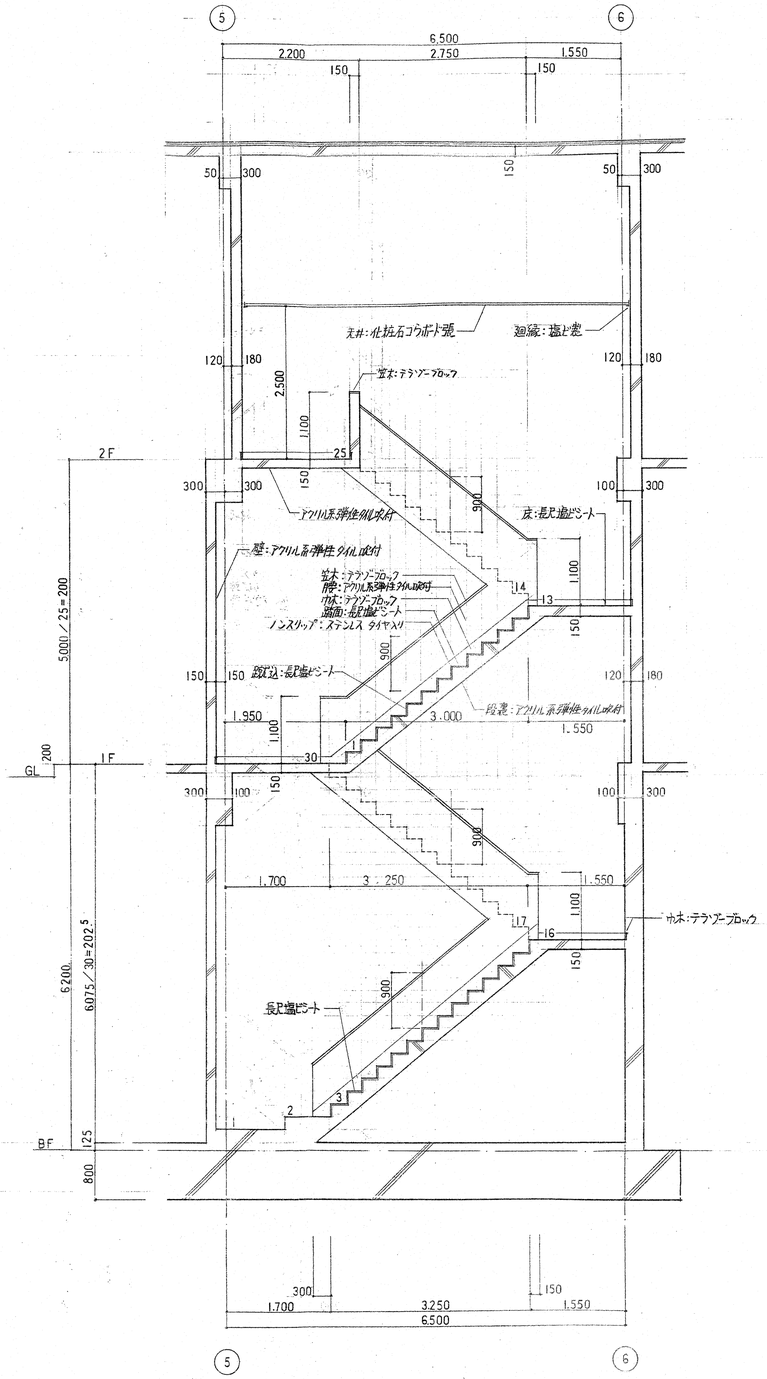
2階平面図



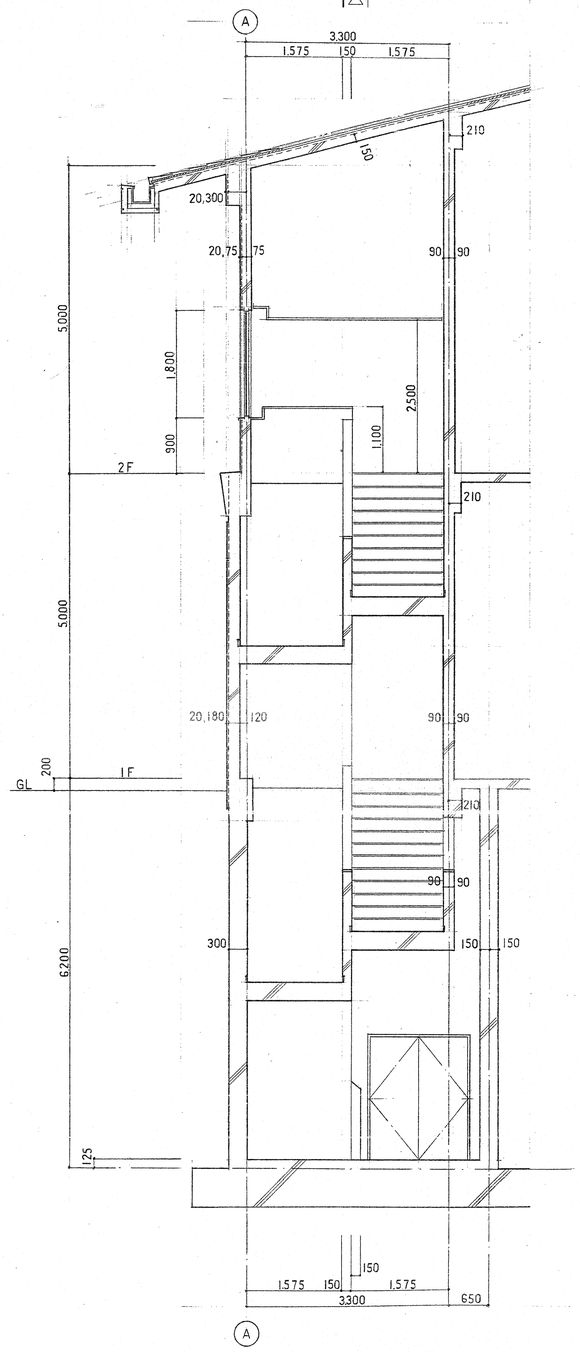
1階平面図



地下1階平面図



A－A断面図



B－B断面図

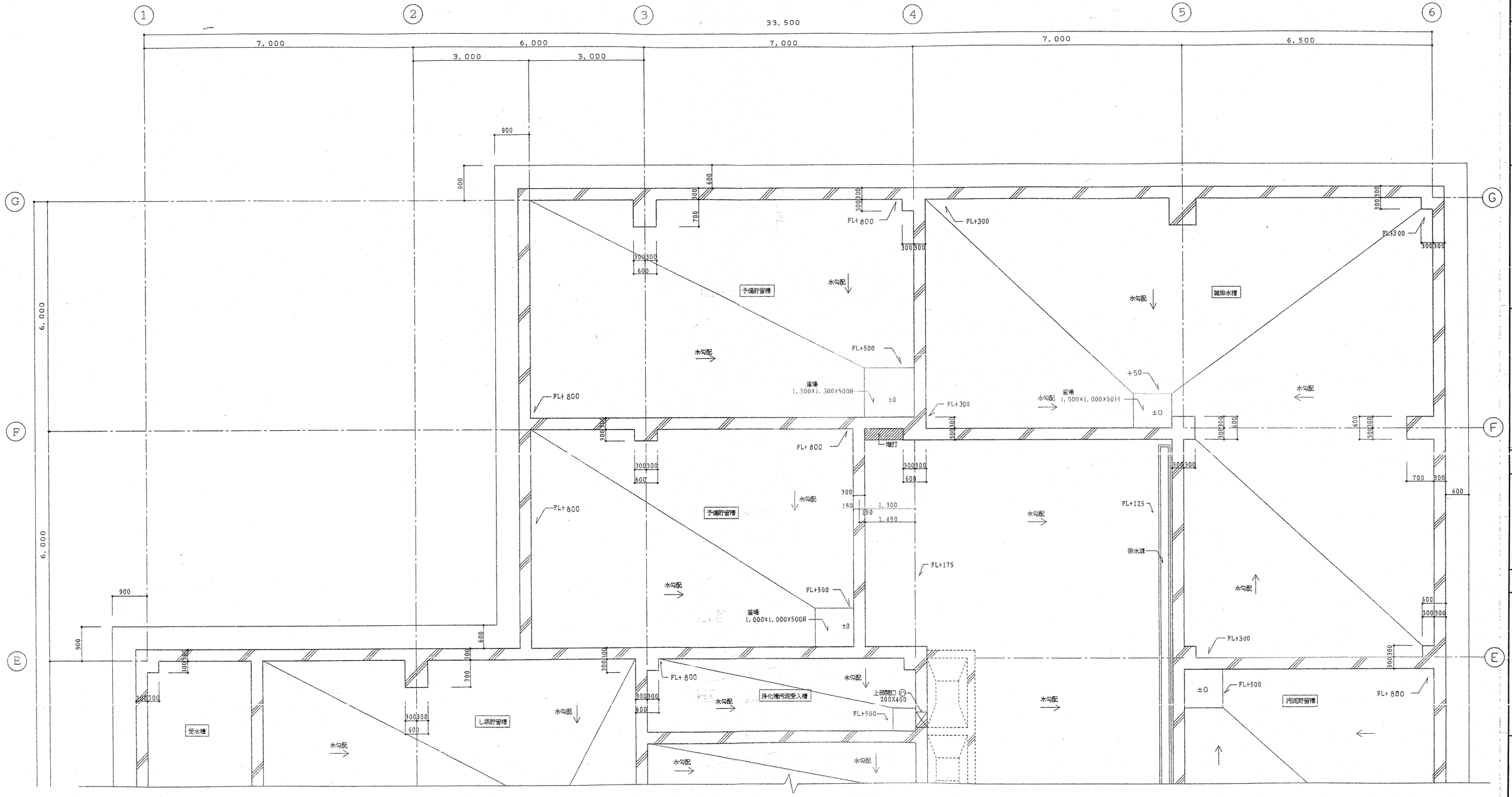
工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	久山	97.3.18	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 階段詳細図－2
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－111110 △D
			出図年月日 / 整理番号

H 3/24

NES NF7016A △

19

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



工事番号	EL−6851		
承認	村田	97.3.28	
照査	矢仁	97.3.27	
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 平面詳細図−1 (BF−1)
尺度	1/100
第角法	
標準図番号	
図面番号	WR−111120
出図年月日	
整理番号	

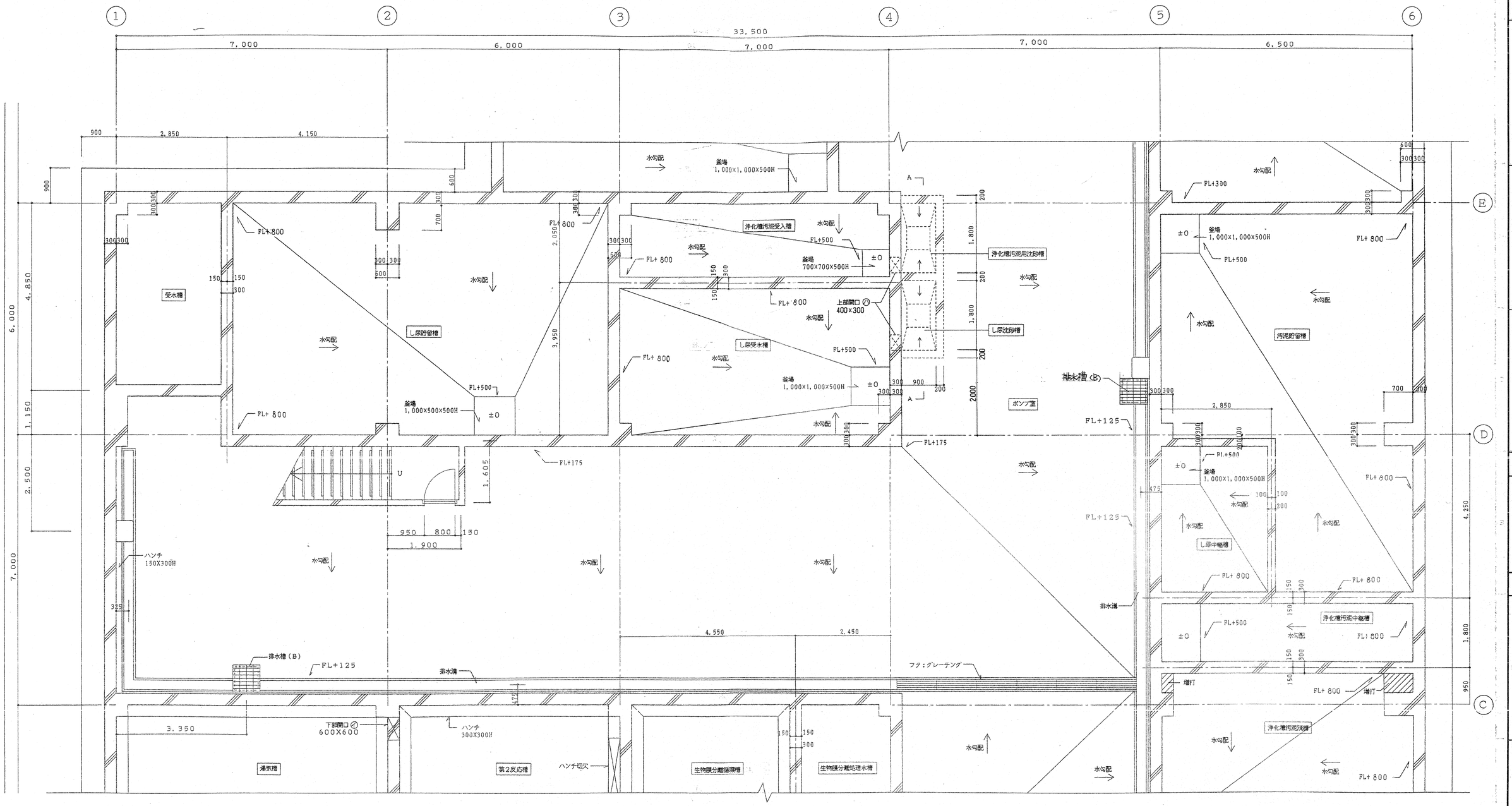
△0

3/4

NES NF3016A △

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

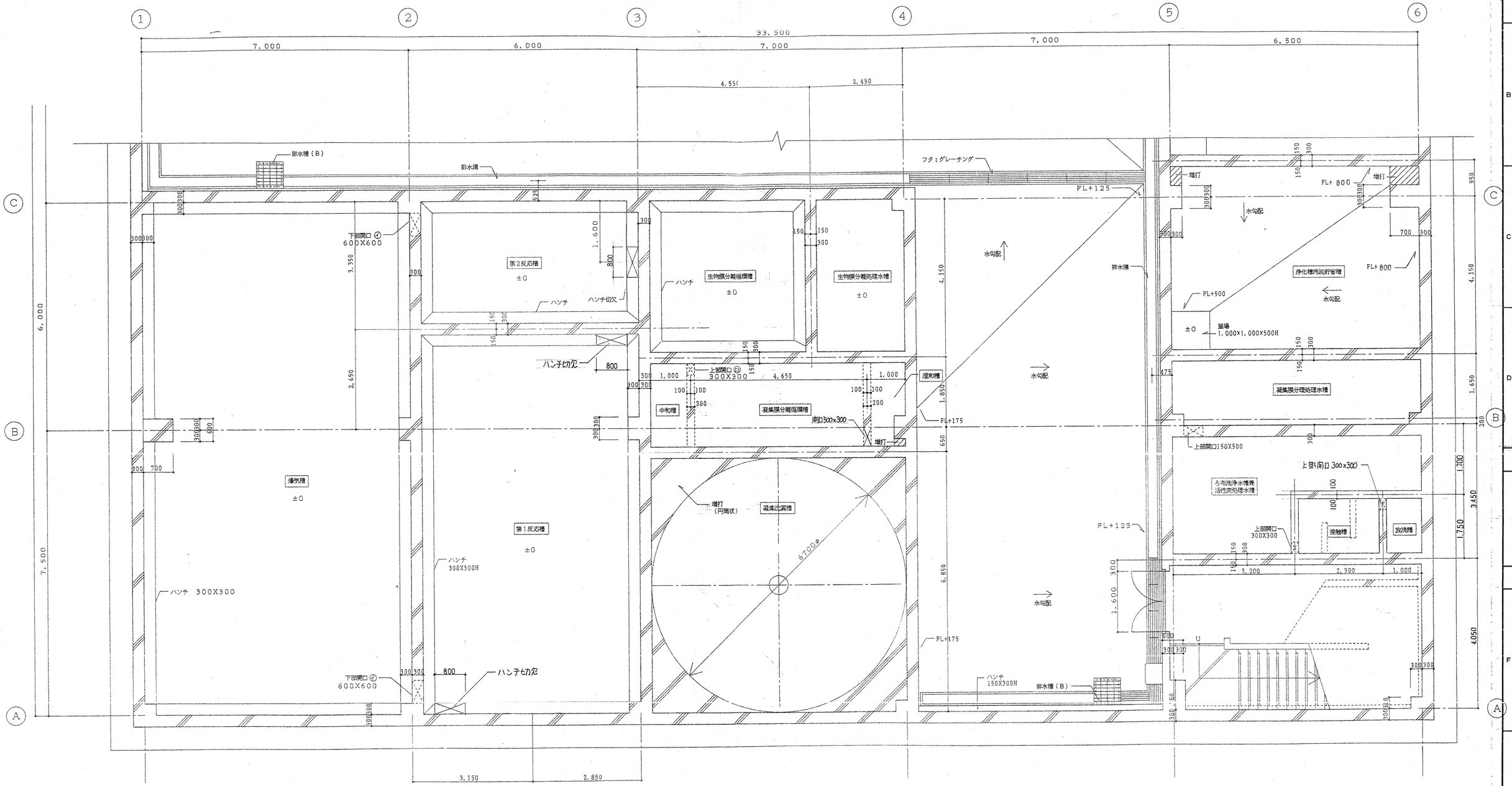


工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	元山 97.3.27	図面名称	処理棟 平面詳細図−2 (BF−2)
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100
		第角法	標準図番号
		図面番号	WR−111130 △0
		出図年月日	整理番号

NES NF3900KA △

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



工事番号	EL-6851	
承認	村田	97.3.28
照査	丸山	97.3.28
照査	久保	97.3.25
設計		・・
製図	石井	97.3.24
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文者 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称 処理棟
平面詳細図－3
（BF－3）

尺度 1/100　第 角法　標準図番号

図面番号 WR－111140　△0

出図年月日　整理番号

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	敷併置、開口端手変更、SS-5削除		97.9.2

凡例

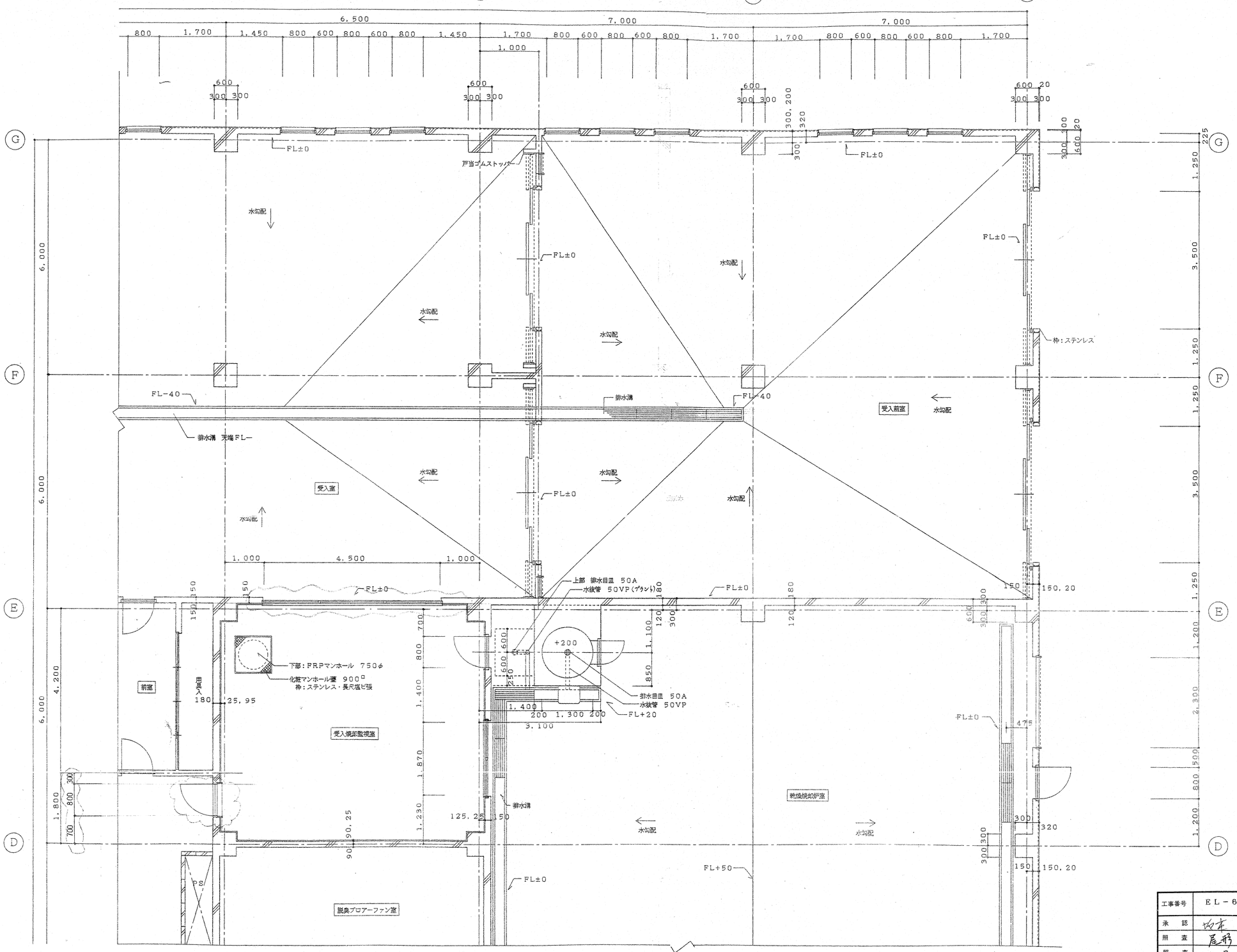
25 (タイル)	タイル張
25	P.B ⑦ 12.5 下地 ビニールクロス貼
40	複合板 ⑦ 22 下地 ビニールクロス貼

(註) 1. 排水溝の排水目皿はT5A 50φ 床下 200VP 止め(以降プラント工事)とする

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂本 97.7.24	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	長野 '97.7.24	図面名称	処理棟
照査	久保 97.7.24		平面詳細図-4(1F-1)
設計			
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/50
		第角法	
		標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-111150 ⚠1
		出図年月日	
		整理番号	

NES NF3016A ⚠

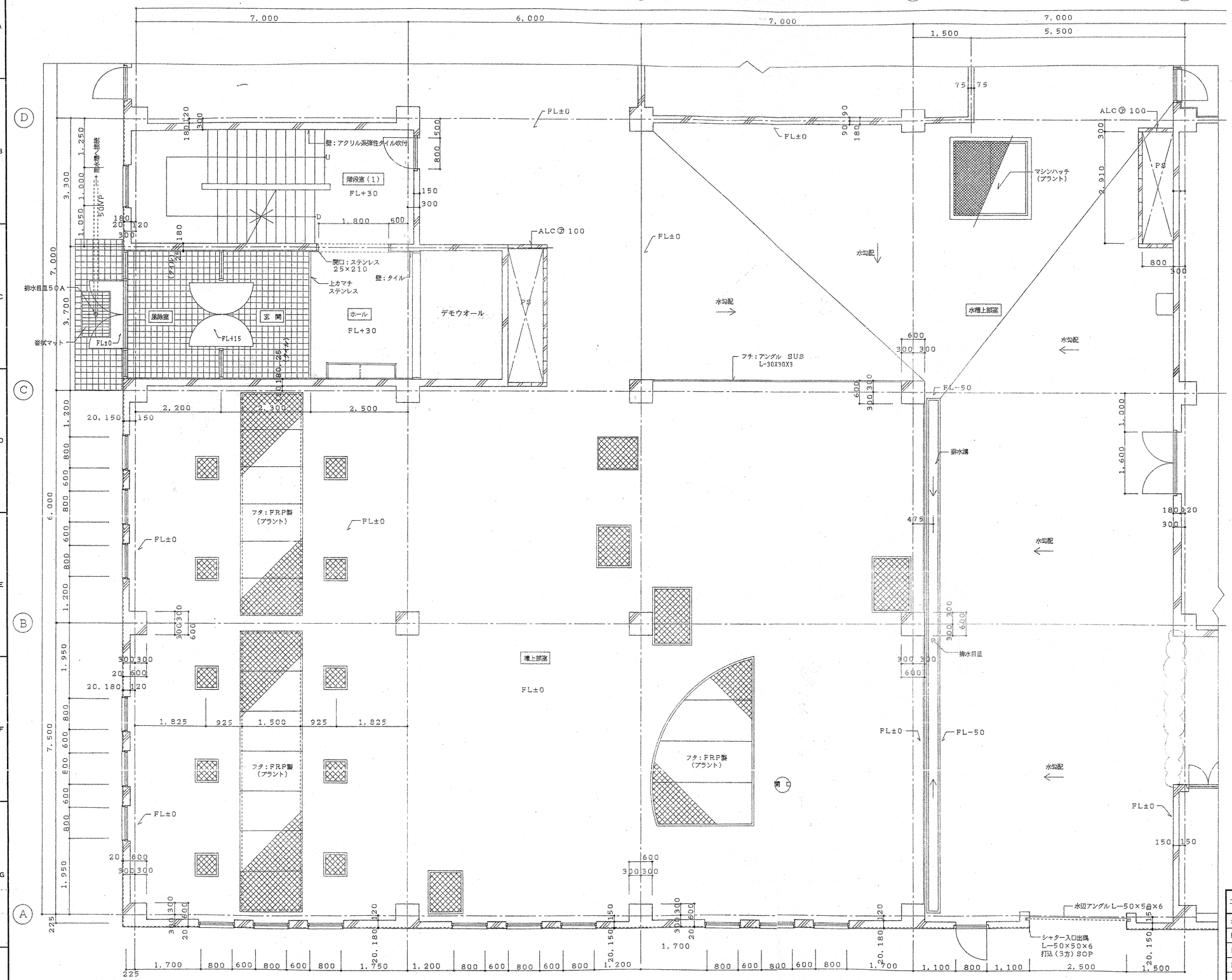
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	扉位置、開き勝手変更、SS-5削除	[illegible]	97.9.2



工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂本 97.7.24	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾野 97.7.24	図面名称	処理棟
照査	久保 97.7.24		平面詳細図−5(1F−2)
設計			
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/50
		第角法	
		標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR−11116 0 ⚠1
		出図年月日	
		整理番号	

NES NE9706A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	⑤通りxA~B壁削除	[illegible]	97.9.2



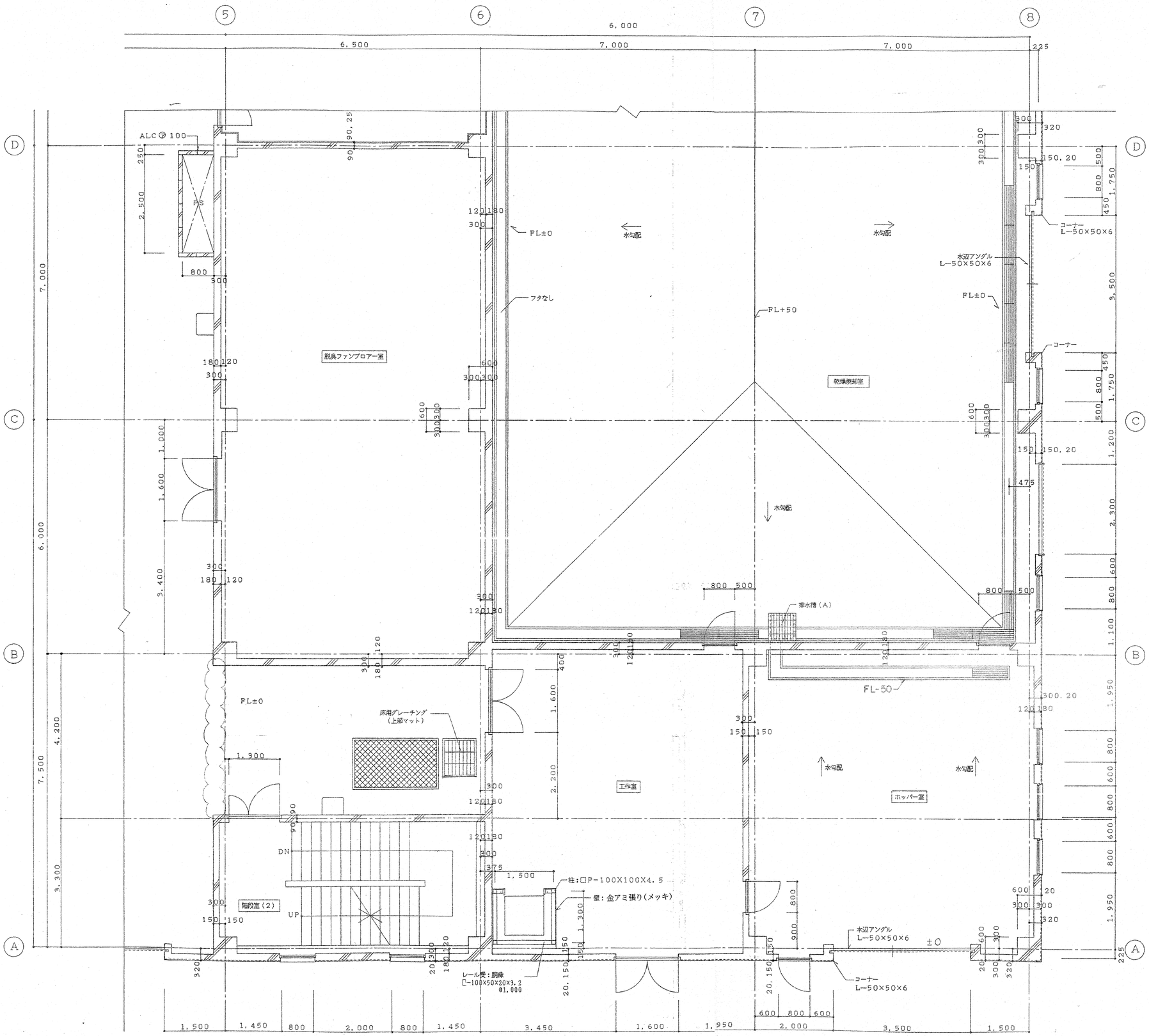
工事番号	EL－6851	
承認	坂本	97.1.20
照査	長野	97.7.24
照査	久保	97.7.24
設計		・・
製図	石井	97.11.27
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	

御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 平面詳細図－6（1F－3）
尺度	1/50
第角法	
標準図番号	
図面番号	WR－111170 ⚠
出図年月日	
整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

NES NF97016A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	⑤通り×A-B 壁削除，消音名削除	林	97.9.2



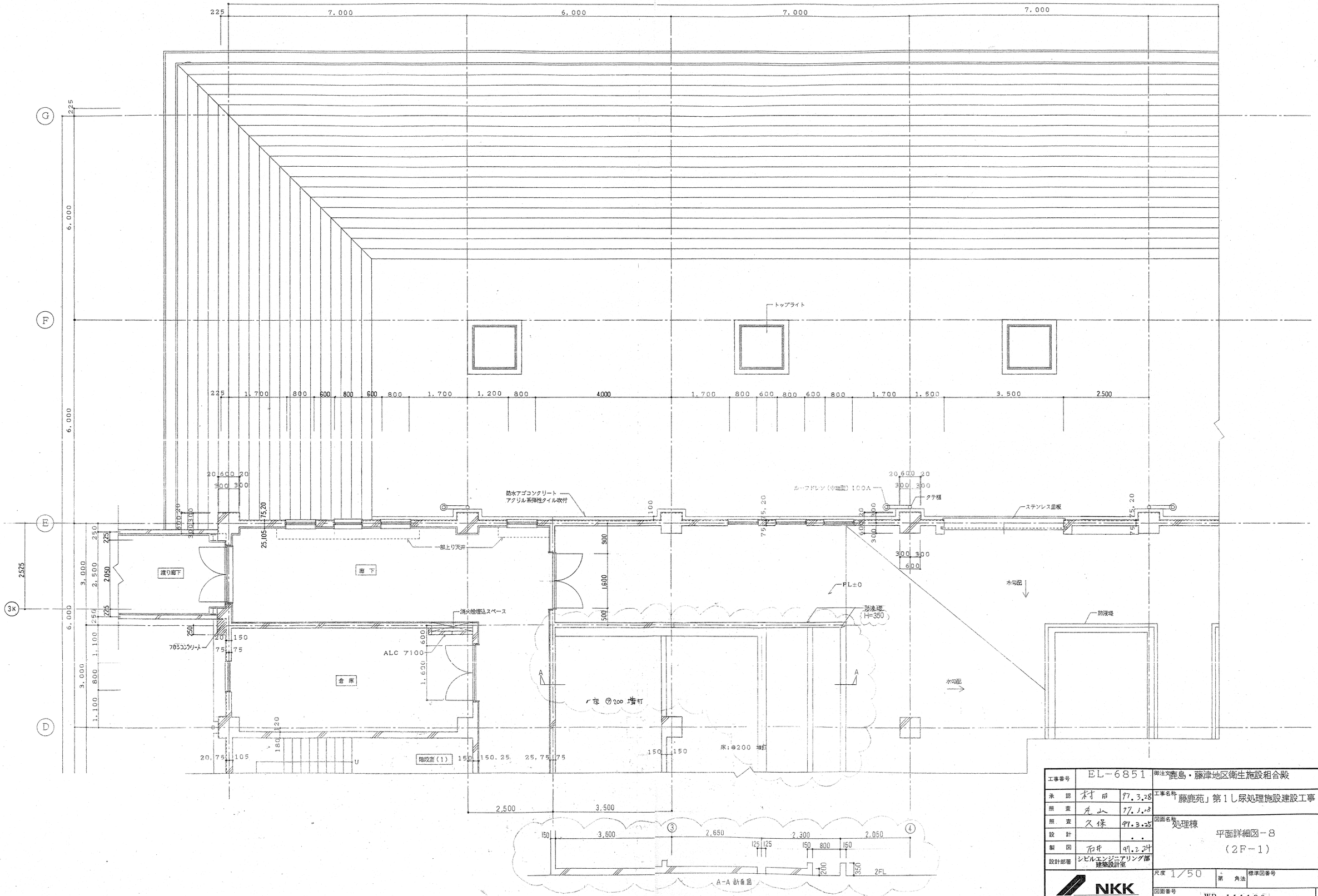
工事番号	EL-6851	御注文名	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28	図面名称	処理棟
照査	久保 97.3.28		平面詳細図－7
設計			（1F－4）
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/50
	NKK 日本鋼管株式会社	第 角法	標準図番号
		図面番号	WR－111180
		出図年月日	整理番号

H 3/24

NES NP3016A △

26

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	床㊦200増打部変更	[illegible]	97.9.2



工事番号	EL-6851	御注文	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.1.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟
設計		. .	平面詳細図－8
製図	石井	97.2.24	(2F-1)
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度 1/50 | 第 角法 | 標準図番号

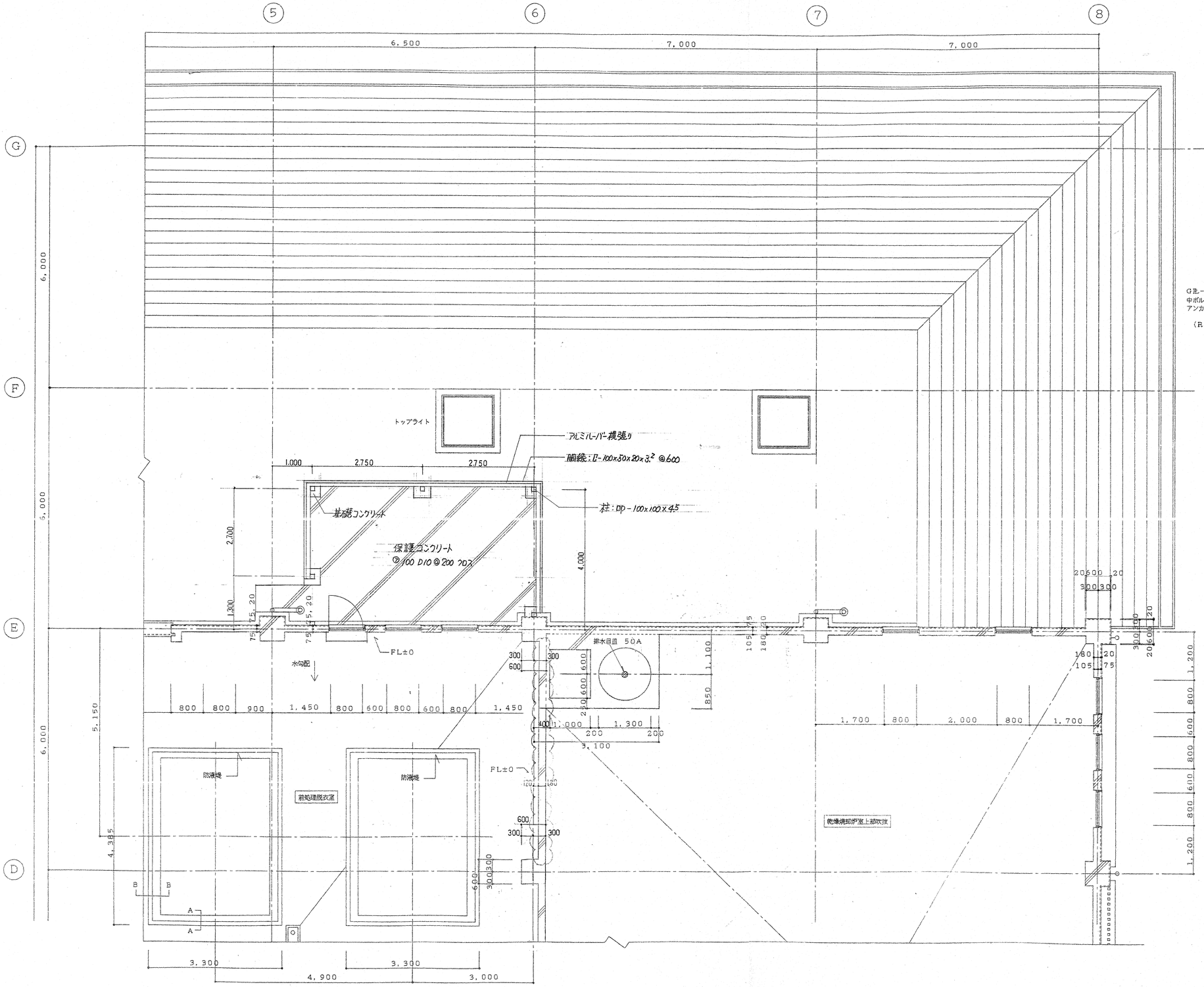
図面番号 WR-111190 ⚠

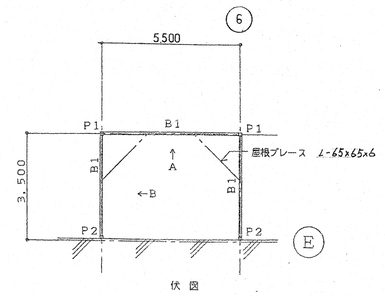
出図年月日 | 整理番号

3/4

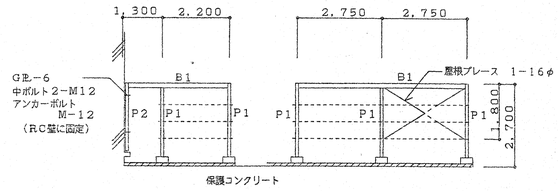
NES N5301A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	⑥通り・壁位置変更	村田	97.3.2



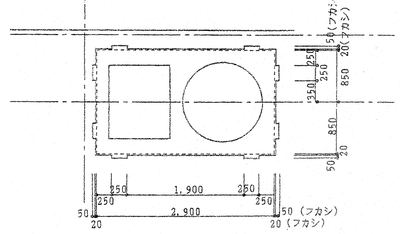


伏 図



軸組図 B　　軸組図 A

P1：□P-100X100X4.5　　B芯-9　アンカーボルト 2-M16
P2：□P-100X100X4.5（P2はRC壁に固定）
B1：H-150X75X5X7
胴ブチ：[-100X50X20X3.2X　@600

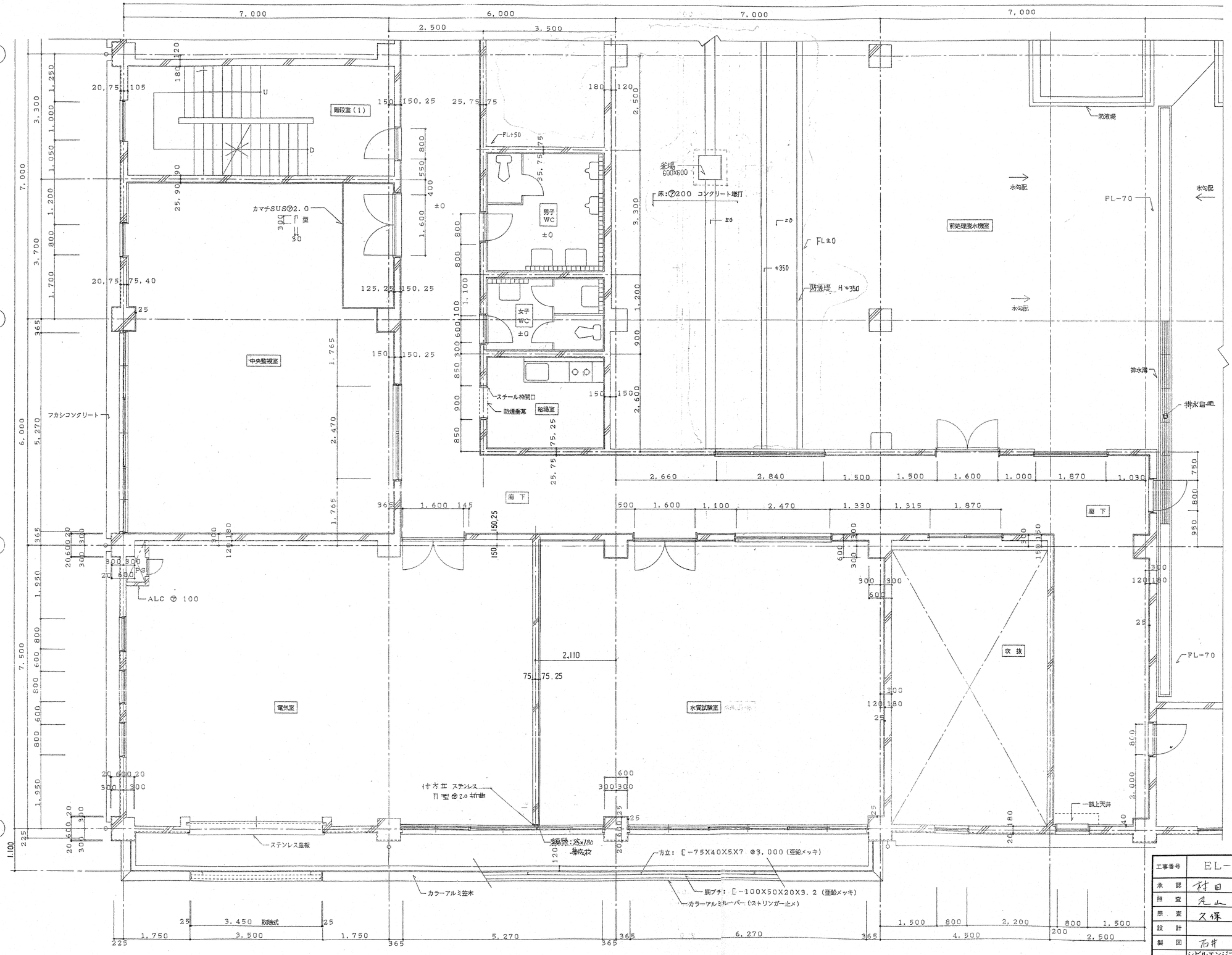


煙突屋根上平面図

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.27	図面名称	処理棟 平面詳細図－9 (2F-2)
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	加村 97.3.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/50　第一角法　標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-111200 ⚠
		出図年月日	整理番号

3/24

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	床⑦200 増打部変更 乗務員用仕切変更	岡村 林	97.9.2



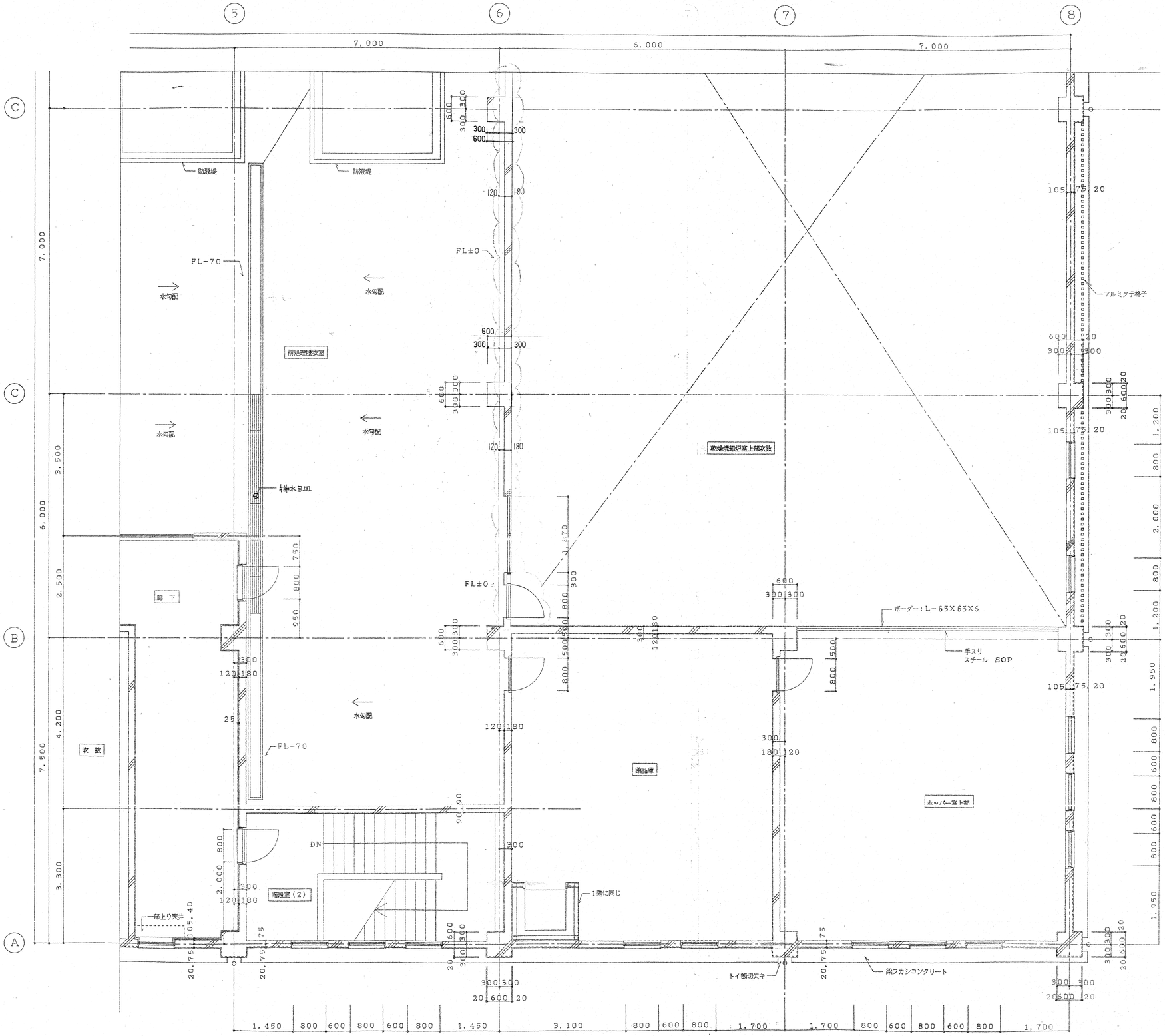
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	97.3.27		
照査	久保 97.3.25	図面名称	処理棟 平面詳細図－10 (2F-3)
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/50	第 角法	標準図番号
図面番号	WR-111210	⚠	
出図年月日		整理番号	

A1

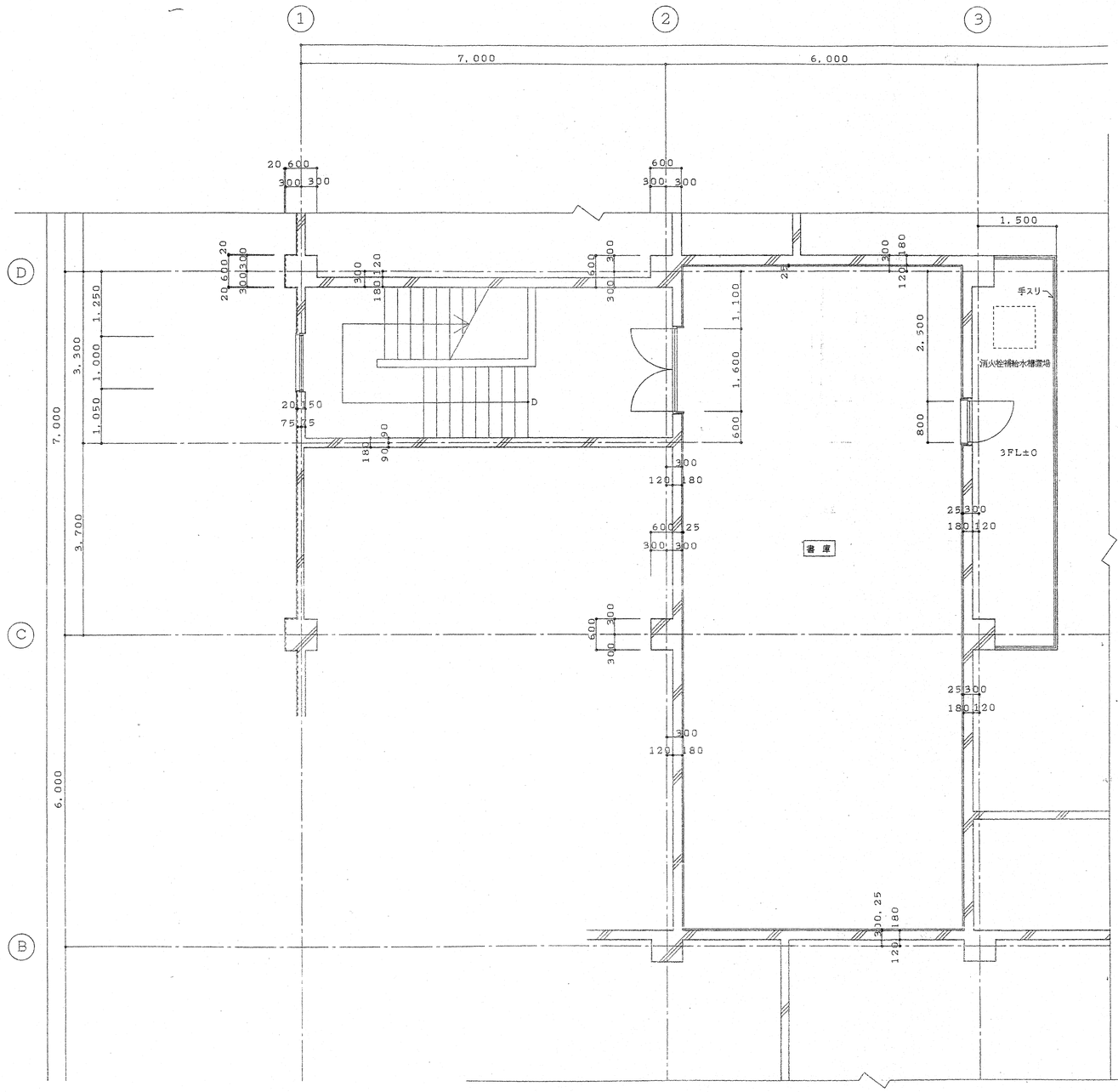
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	Ⓑ通り、壁位置変更		97.7.2

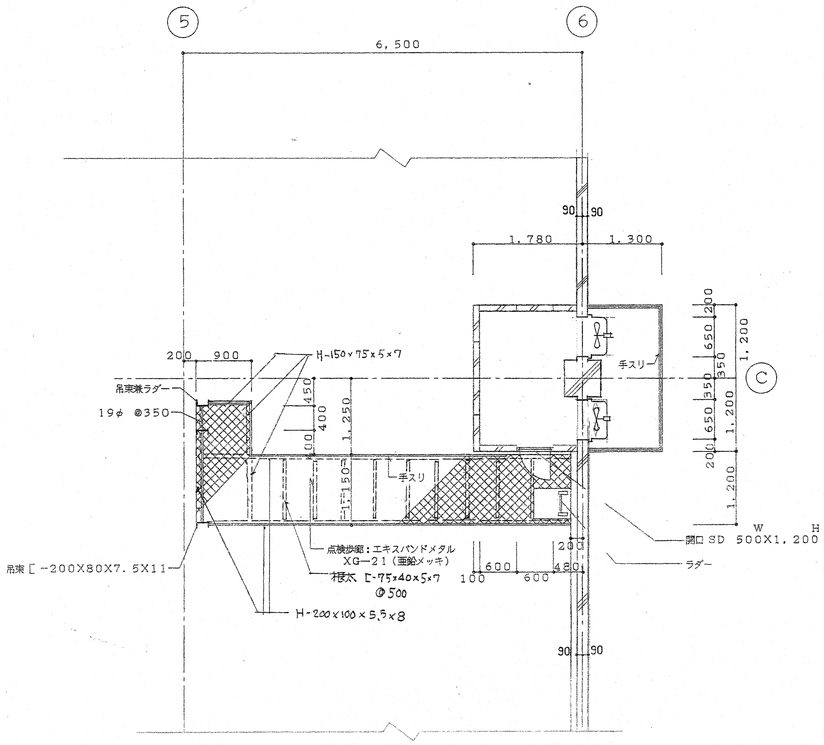


工事番号	EL-6851	御注文者	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28	図面名称	処理棟 平面詳細図－11 (2F－4)
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/50	第 角法 標準図番号
		図面番号	WR－111220 ⚠
		出図年月日	整理番号

NES NP0166A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			





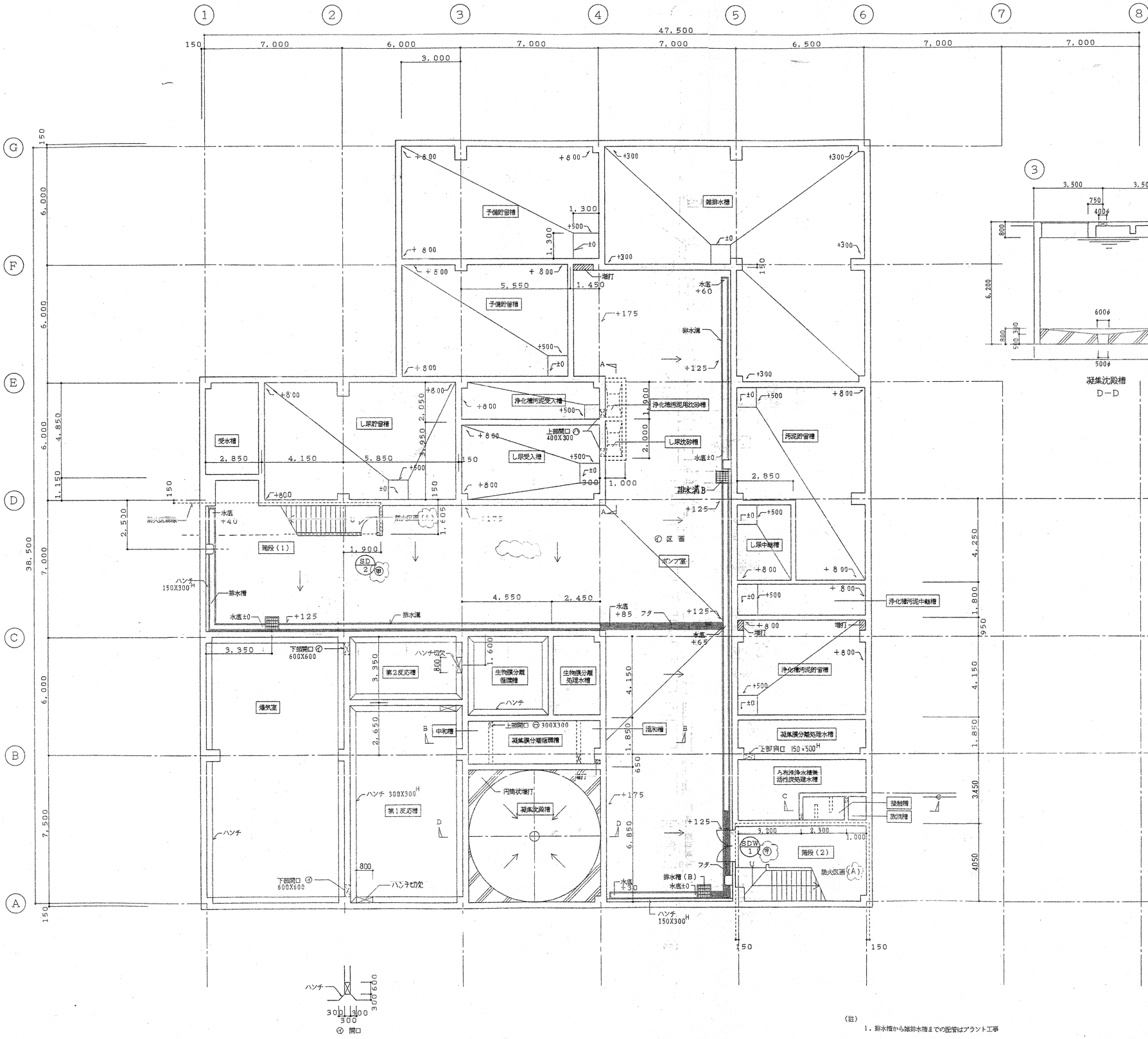
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.18	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 平面詳細図－12 (3F)
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/50 第 角法 標準図番号
			図面番号 WR-111230 △7
			出図年月日 整理番号

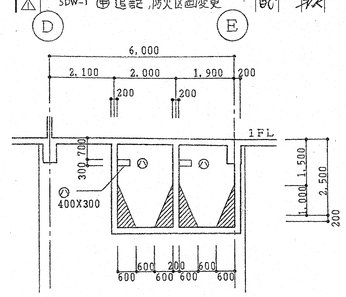
3/24

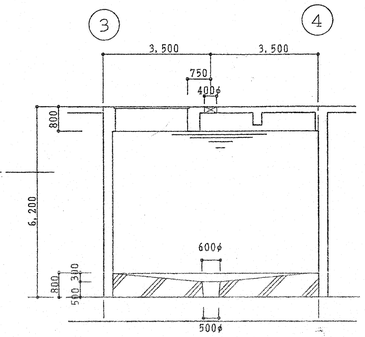
NES NF9706A △

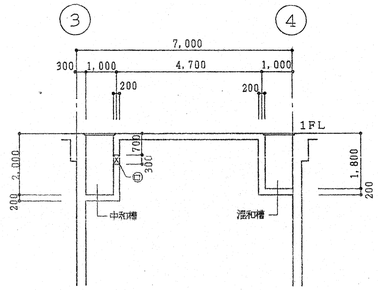
A-1

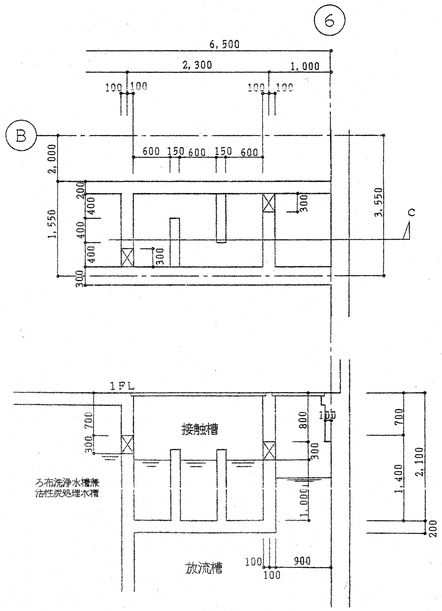
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	SDW-1 ㊙ 追記，防火区画変更	[illegible]	97.9.2











(註)
1. 排水槽から雑排水槽までの配管はプラント工事

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	九ム	97.3.28	図面名称 処理棟
照査	久保	97.3.25	建具表－1
設計		〃	
製図	石井	97.3.28	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－111240 △1
			出図年月日 整理番号

3/24

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	防火区画変更 建具変更	山口 林田	97.9.2

47,500

受入後室 / 受入室 / 受入前室 ④区画 / ⑦区画 / ⑧区画 / ⑨区画 / ⑩区画 / ⑪区画

床：㋐200 増打 / 釜場 600X600X100H / 排水溝 / 前室 / 沈砂除去室 / 受入焼却監視室 / C(上部化粧マンホール) / 臭突 φ250 / 煙突 φ450 / 防液堤 H=700

階段室(1) / 防火区画(A) / 防煙垂壁 H=500 / 風除室 / 玄関・ホール / デモウォール / PS / STR 1 / STR 2

ホイスト / マシンハッチ(プラント) / PS / 脱臭ファンプロアー室 / フタなし / 乾燥焼却炉室 / ホッパー室 / 槽上部室 / 階段室(2) / 工作室 / ダムウェーター / 金アミ張 / 床用グレーチング(上部マット) / ハンドホール / フタ：FRP製(プラント) / フチ：アングル SUS L-30X30X3 / 開口 / 排水槽(A) / 目皿 / 水底 −80 / 水底 −150 / 水底 −170 / 水底 −50 / 水底 −100 / フタ(T−2) / フタ(T−14) / 段差 / 用度入 / 階段 / 非水溝 / タテ樋 100VP

SS(手動) / SS(電動) / 防火区画(A)

(註) 1. A：耐荷重(10t耐荷重)・防臭(ロック付)
ウジ返シ付(ウジ返シはプラント工事)
B：防臭(ロック付)・ウジ返シ付(ウジ返しはプラント工事)
C：防臭(ロック付)
D：汎用
(A. B. C. D共FRP製 丸型 750φ)
2. 丸型マンホール 床用グレーチング+マットは本工事
角型FRP フタ類はプラント工事
(枠は支給)

◎フック 2t吊

工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	林田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28	図面名称	処理棟 建具表−2
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100 第 角法
		図面番号	WR−111250 ⚠1
		出図年月日	整理番号

NES NR20160A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	屋付番変更 ②一部削除 階段室(2)追加変更 庇一部変更		97.9.2

47,500

7,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 | 6,500 | 7,000 | 7,000

38,500

6,000 | 6,000 | 3,000 | 3,000 | 3,300 | 3,700 | 6,000 | 7,500

庇 | 横引管 100VP | ルーフドレン 100A | ルーフドレン 100A | 排水溝 | トップライト | トップライト | 屋根 | 保護コンクリート | 冷却塔置場 | 目隠ルーバー（カラーアルミ横張） | 中継型ルーフドレン4ケ所 SS(手動) | 非水目皿50A | 渡り廊下 | 上げ天井 | 廊下 | 倉庫 | 階段室(1) | 廊下 | 床：▽200 増打 | 床：▽200 増打 | 釜場 600×600 | 男子WC | ライニング：タイル張 | 女子WC | 吊戸棚共 | 給湯室 | 中央監視室 | 防煙垂壁 H=500 | 防火区画(A) | 電気室 | 水質試験室 | 次抜 | 防液堤 H=350 | 防液堤 H=150 | 前処理脱水機室 | 排水溝 | 水底 −120 | 水底 −120 | 水底 −120 | 排水目皿 水底 −170 | ラダー | ホイストレール | 乾燥焼却炉室上部吹抜 | 薬品車 | ホッパー室上部 | 階段室(2) | 金アミ張 | ベランダ | 呼樋 75VP | ルーフドレン 75A | 目隠ルーバー（取外式）（カラーアルミ横張） | タテ樋 100VP | ルーフドレン 75A | 手スリ スチール SOP | タテ樋 100VP

廊下床面積

7.225×3	=	21.675
2.225×(19−0.225)	=	41.774
(20−2.5+0.225)×2.275	=	40.324
(2.5+0.225)×(7.5+0.225)	=	21.051
計		124.824 ㎡

2階平面図

A−A 断面図

B−B C−C

AW-6 (A通)

AW-6, -10 (E通)

室名	室面積	排煙 必要面積	排煙 設計面積
	㎡		H W ヶ
廊下	124.824	2.496	AW-10 0.6×0.8×3=1.44 AW-6(E通) 0.6×0.8×1=0.48 AW-6(A通) 0.8×0.8×1=0.64 2.56

2,500 | 7,000 | 3,000 | 3,500

モルタル金ゴテ | 非水目皿 50A | タラップ 手スリ（1段） | ラダー | 梯 | 1,100 | 1,350 | 1,350 | 1,600 | 250

越屋根平面図

1,780 | 1,300 | 1,200 | 1,200 | 1,200 | チャンバー | 吊束 | ラダー | 床：エキスパンドメタル

屋根下チャンバー及びダクトファン点検台平面図

7,000 | 6,000

3,300 | 3,075 | 225 | 225 | 225 | 225 | 手スリ | 消火栓 補給水槽 置場 3FL±0 | 階段室(1) | 書庫 | ▶進入口に代る窓 | 防火区画(A) | 1,500

3階平面図

工事番号	EL-6851
承認	村田 97.3.28
照査	丸山 97.3.28
照査	久保 97.3.25
設計	〃
製図	石井 97.2.24
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：処理棟 建具表−3

NKK 日本鋼管株式会社

尺度：1/100　第　角法　標準図番号

図面番号：WR−111260　⚠1

出図年月日　整理番号

A1

34

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1	SDW-3, AD-3, SD-2A変更, SS-5削除 他	酌	97.9.2

記号・室名	(STDW 1) 受入前室，受入後室		(SD 1A) 前処理脱水機室	(SD 1) 搬上部室，受入後室，乾燥焼却炉室，ホッパー室	(SD 2) ポンプ室，廊下，製品庫，乾燥焼却炉室，受入焼却脱臭室，書庫，搬上部室 (SD 2A) 前処理脱水機室	(AD 3) WC	(SD 4) 越屋根，煙突，	(SD 5) P.S	(SD 6) 2F上部チャンバー室
姿図	3,500 / 3,500 / (搬入南側操作システムは プラント工事) / 1F 8ヵ所		800 / 2,000 / 2F 1ヵ所	800 / 50 450 / 2,000 / 1F 5ヵ所	800 / 2,000 (2,300) / SD-2A 1F 1ヵ所 / SD-2 3F 1ヵ所 2F 5ヵ所 1F 2ヵ所 B1 1ヵ所 計 9ヵ所 / ( )内はSD-2Aを示す	700 / 2,000 / 1F 1ヵ所	700 / 700 / RF 1ヵ所 1F 1ヵ所 計 2ヵ所	500 / 500 / 2F 1ヵ所 1F 2〃 計 3ヵ所	500 / 1,200 / RF 1ヵ所
型式	4本引分ステンレスドア（電動式）		片開スチールフラッシュドア(額入)	片開スチールフラッシュドア(額入，ランマ付)	片開スチールフラッシュドア（甲種防火戸）	片開アルミフラッシュドア(Z種防火戸)	片開スチールドア	パイプスペース点検扉	同左
仕上	ステンレスヘアライン		スチール ⑦1.6 SOP	スチール ⑦1.6 SOP	スチール ⑦1.6	アルミ ⑦2.0 両面張 シルバー	同右	スチール⑦1.6片面プレスドア SOP	同左
ガラス	強化ガラス ⑦6.0		フロートガラス⑦6.0	フロートガラス ⑦ 6.0					
見込			80	80	80	70		25	同左
附属金物			ドアチェック，ステンレス丁番，レバーハンドル，シリンダー錠，	同左	同左	同左 （錠は空錠）	ドアチェック，ステンレス丁番，レバーハンドル	標準取付金物，平面ハンドル	同左
アングル									
沓摺			A	A	B	B			
備考	ループコイル削御 光電管受光センサー付 操作盤・配管共 ナブコシステム(株) 又は同等品								

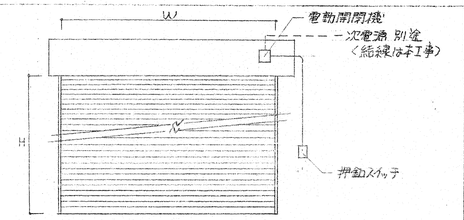
記号・室名	(SDW 1) 8F 階段室，工作室，前処理脱水機室 電気室 水質試験室	(SDW 2) 廊下	(SDW 3) 工作室	(SDWB 1) 脱臭ファンブロア室	(ADW 5) 用具入	(AD 1) 前室，受入監視室，工作室 乾燥焼却炉室，ホッパー上部	(ADW 3) 倉庫，書庫	(ADW 4) 中央監視室
姿図	1,600 / 2,000 / 2F 5ヵ所 1F 1ヵ所 BF 1ヵ所 計 7ヵ所	1,300 / 2,000 / 1F 1ヵ所	1,600 / 450 / 2,000 / 1F 1ヵ所	1,600 / 2,000 / 1F 1ヵ所	3,500 / 2,000 / 1F 1ヵ所	800 / 2,000 / 2F 1ヵ所 1F 5 計 6ヵ所	1,600 / 2,000 / 3F 1ヵ所 2F 1ヵ所 計 2ヵ所 / 避難のみアンダーカット	1,600 / F / 2,460 / 2F 1ヵ所
型式	両開スチールフラッシュドア （甲種防火戸）	両開スチールフラッシュドア	両開スチールフラッシュドア（額入，ランマ付）	両開スチールフラッシュドア （防音）	4枚引違 アルミ戸	片開アルミフラッシュドア(Z種防火戸)	両開アルミフラッシュ	アルミランマ付両開扉
仕上	スチール ⑦1.6 SOP	同左	同左	同左	シルバー	アルミ ⑦2.0 両面張 シルバー	アルミ シルバー	同左
ガラス			フロートガラス⑦6.0					トーメイ アミ入 ガラス ⑦6.8
見込	80	同左	同左	同左	70	70	70	
附属金物	ドアチェック，ステンレス丁番，レバーハンドル，シリンダー錠，フランス落	同左	同左	ドアチェック，ステンレス丁番，フランス落，グレモンハンドル	引手 戸車	ドアチェック，ステンレス丁番，レバーハンド錠	同左，フランス落，シリンダー錠	同左
アングル								
沓摺	A	B	A		B	B	B	B
備考				グラスウール充てん，枠 ピンチブロック付				

記号・室名	(ADW 1) 風除室	(ADW 2) 玄関ホール
姿図	605 70 1,800 70 605 / 2,690 / 100 490 / 2,090 / F / 1FL / 3,150 / 1F 1ヵ所	605 70 1,800 70 605 / 2,675 / 100 490 / 2,075 / 15 / F / 1FL / 3,150 / 1F 1ヵ所
型式	排煙ランマ，FIXランマ，袖付，両開框ドア(ルバー付)(片自在)	排煙ランマ，FIXランマ，袖付，両開框ドア(ルバー付)(両自在)
仕上	カラーアルミ	同左
ガラス	ランマ：フロートガラス⑦5.0 他：フロートガラス⑦6.0	同左
見込	100	100
附属金物	ドアチェック，ステンレス丁番，押棒，シリンダー錠，フランス落	同左 フロアヒンジ
アングル		
沓摺		
備考	排煙オペレーター付	同左 (ADW 1 と連動)

スチール重量シャッター

		W	H		
(SS 1A)	乾燥焼却炉室	3,500	3,500	1ヶ所	手動
(SS 1)	ホッパー室	3,500	3,500	1ヶ所	電動
(SS 2)	前処理脱水機室，動室	3,500	2,900	2ヶ所	手動
(SS 3)	搬上部室	2,500	2,500	1ヶ所	電動

(SS 2) は，下部水切 ステンレス⑦2.0付

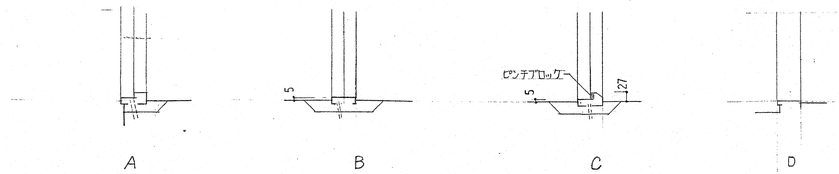


重量シャッター
スチール SOP スラット ⑦1.6

操導取付金物一式，マグサ，ガードレール，座板はステンレス

手動用南京錠付

沓摺タイプ



(註)
1. ガラス押えはシーリングとする
2. ドアは戸当り召合せ付
3. ドア錠はマスターキー付
4. 片開甲防のドアチェックはストッパー付とし
5. 防臭形グレモンハンドルは中西産業 DC-X-8-R 又は同等品とし，戸当りネオプレン付
6. ビスは，ステンレス製
7. 沓摺はステンレス製

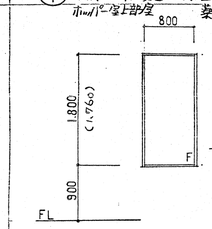
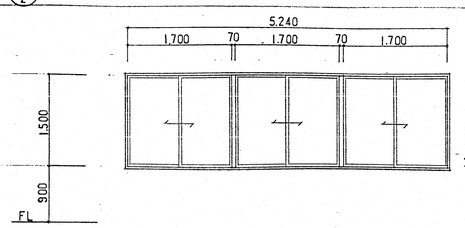
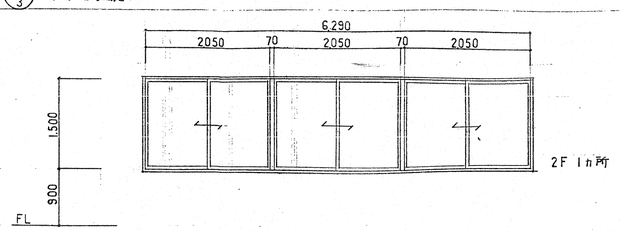
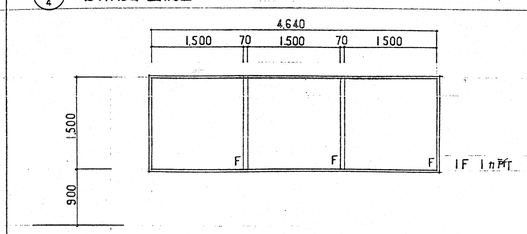
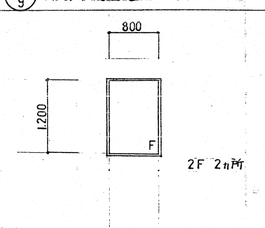
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村岡 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	九ノ	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟 建具表－4
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

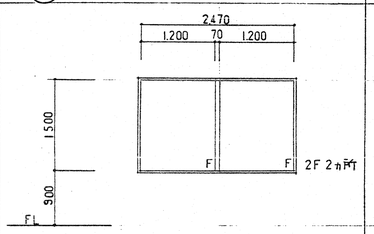
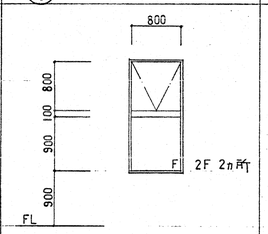
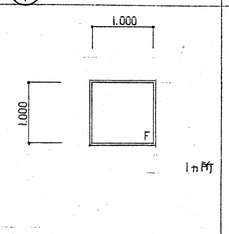
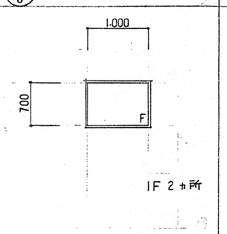
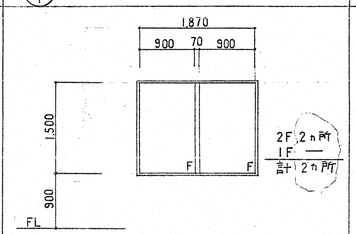
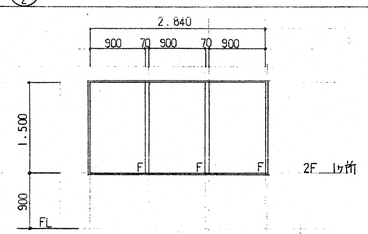
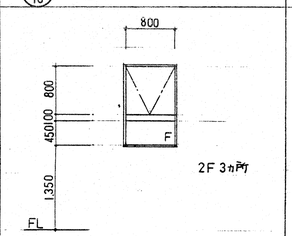
NKK 日本鋼管株式会社

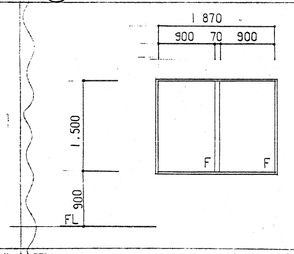
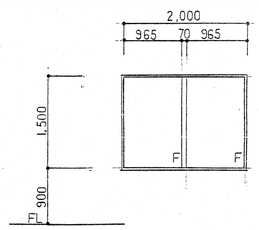
尺度	第 角法	標準図番号
図面番号	WR－111270	△1
出図年月日	整理番号	

3/4

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	SW-1 数量変更、AW-11、12 追加	村田	97.9.2

記号・室名	(AW 1) 受入扱室、受入室、投入前室、乾燥焼却炉室 ホッパー室、階段室(2)、操上部室、前処理脱臭機室 ホッパー室上部室	(AW 2) 中央監視室，水質試験室	(AW 3) 水質試験室	(AW 4) 受入焼却監視室	(AW 9) 焼却乾燥炉室
姿図	 2F 27ヵ所 1F 40ヵ所 計 67ヵ所 ( ) は中央監視室。	 2F 2ヵ所	 2F 1ヵ所	 1F 1ヵ所	 2F 2ヵ所
型式	カラーアルミFIX	カラーアルミ連窓引違ガラシ	同左	アルミFIX	同左
仕上	アルミカラー	同左	同左	シルバー	カラー
ガラス	フロートガラス ⑥6.0	フロートガラス ⑥5.0	フロートガラス ⑥6.0	トーメイ網入りガラス ⑥8.0	同左
見込	70	同左	同左	同左	同左
附属金物	水切	アルセント，水切	同左		
アングル		アングル付	アングル付		
沓摺				下枠フラット型	
備考		網戸付	網戸付		

記号・室名	(AW 5) 廊下	(AW 6) 廊下	(AW 7) 階段(1)	(AW 8) 階段(1)	(SW 1) 2F廊下 前処理脱水機室	(SW 2) 前処理脱水機室	(AW 10) 廊下
姿図	 2F 2ヵ所	 2F 2ヵ所	 1ヵ所	 1F 2ヵ所	 2F 2ヵ所 1F — 計 2ヵ所	 2F 1ヵ所	 2F 3ヵ所
型式	カラーアルミFIX	カラーアルミ非火塗ランマ付FIX	カラーアルミFIX	同左	スチールファイヤライト甲種防火戸(甲防認定第0025号)FIX(日中サッシ工業 日本鋼弘研究)	同左	カラーアルミ排煙ランマ付FIX
仕上	アルミカラー	同左	同左	同左	スチールSOP	同左	カラーアルミ
ガラス	トーメイ網入りガラス ⑥6.8	同左	フロート ⑥5.0	同左	ファイヤライト ⑥5.0	同左	トーメイ網入りガラス ⑥6.8
見込	70	同左			(130)		70
附属金物		標準金物一式、オペレーターいんぺい式					標準金物一式，オペレーターいんぺい式
アングル							
沓摺							
備考							オペレーター 3ヶ連動

記号・室名	(AW 11) 焼却灰室	(AW 12) 受入焼却乾燥室
姿図	 1F 1ヵ所	 1F 1ヵ所
型式	アルミフッシンFIX	同左
仕上	シルバー	同左
ガラス	フロートガラス ⑥5.0	トーメイ網入ガラス ⑥6.8
見込	70	同左
附属金物		
アングル		
沓摺		
備考		

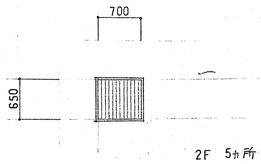
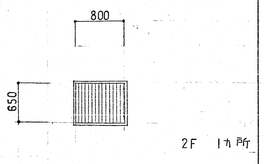
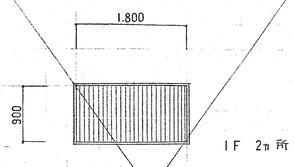
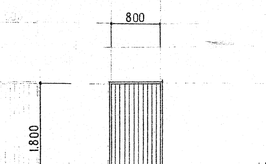
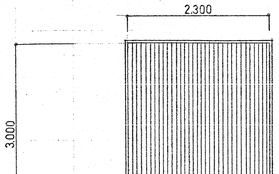
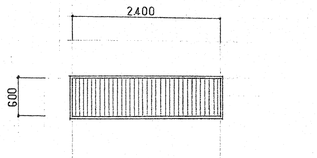
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.1.14		
照査	久保 97.3.25	図面名称	処理棟 建具表-5
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	第 角法
		標準図番号	
		図面番号	WR-111280 ⚠
		出図年月日	整理番号

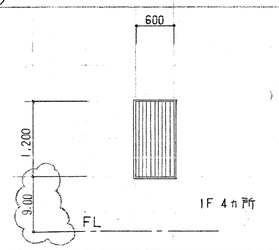
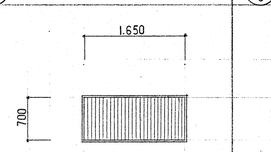
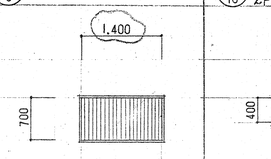
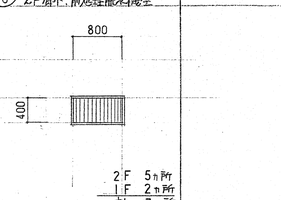
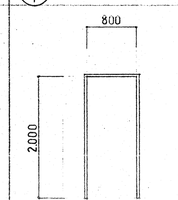
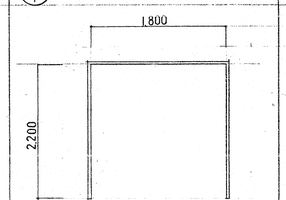
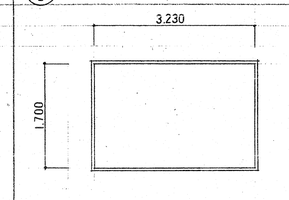
3/4

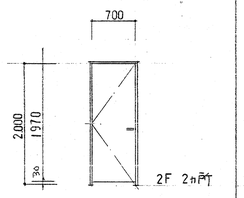
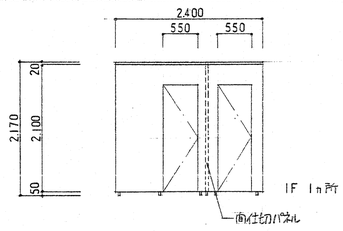
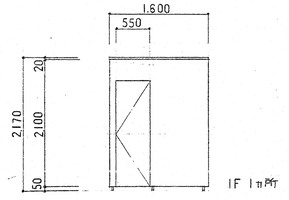
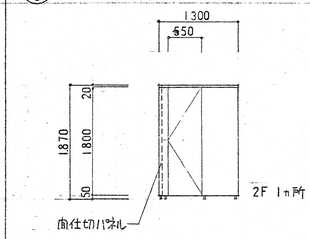
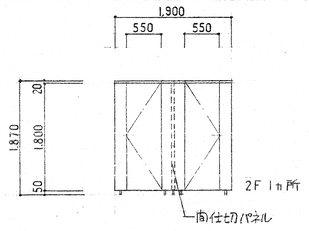
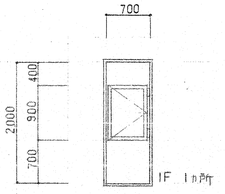
NES NE3016A-A

A1

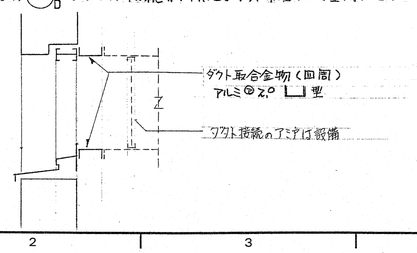
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	A6-9 W変更	鈴川	97.9.2

記号・室名	AG 1 槽上部室、水質試験室	AG 2 薬品庫	AG 3 受入室、受入後室	AG 4 受入前後室	AG 5 乾燥焼却炉室	AG 6 屋根
姿図						
型式	カラーアルミ タテ型 防水ルーバ 開口率 37%	同左	同左	同左	同左	同左
仕上	アルミカラー	同左	同左	同左	同左	同左
ガラス						
見込	100	同左	同左	同左	同左	同左
附属金物						
アングル						
沓摺						
備考	防虫網付	同左	同左	同左	同左	同左

記号・室名	AG 7 受入前室、受入後室	AG 8 乾燥焼却炉室、槽上部室	AG 9 槽上部室	AG 10 工作室、中央監視室、ホッパー室、2F廊下、前処理脱水機室	SK 1 湯沸室	STK 1 玄関ホール	STK 2 玄関デモウォール
姿図							
型式	アルミタテ型ルーバー	カラーアルミ タテ型 防水ルーバ 開口率 37%	同左	同左	ステール開口枠	ステンレス開口枠	同左
仕上	アルミシルバー	同左	同左	同左		ヘアライン	同左
ガラス							
見込	70	100	同左	同左	70	230	同左
附属金物							
アングル							
沓摺							
備考		防虫網付	同左	同左			

記号・室名	WD 1 男子WC 女子WC	B 1 WC-1	B 2 WC-2	B 3 男子WC	B 4 女子WC	WD 2 受入室
姿図						
型式	木製片開 フラッシュドア	トイレブース	同左	同左	同左	スイングドア（両開）
仕上	ポリエステル化粧合板	同左	同左	同左	同左	同左 〈四周ステンレスHD巻付〉
ガラス						
見込	36	40	同左	同左	同左	同左
附属金物	ドアチェック、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り					スイング金物一式
アングル						
沓摺						D
備考	枠はステール SOP	ラバトリーセンシ、戸当り帽子掛、表示錠、取付金物、 額ツナギ：ステンレス 40×20	同左	同左	同左	枠はステール SOP

註：キーアランの AG D 付はダクト接続サラリ用とし ダクト取合アルミ金物付とする



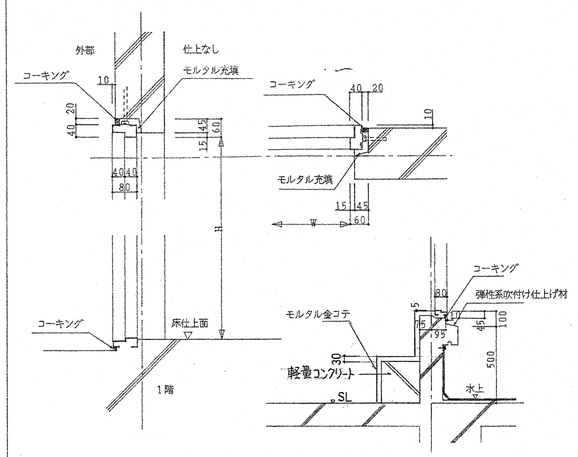
工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	光山 97.3.28		
照査	久保 97.3.25	図面名称	処理棟
設計	・・		建具表－6
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－111290 △
		出図年月日	整理番号

NES NF3701KA 4

37

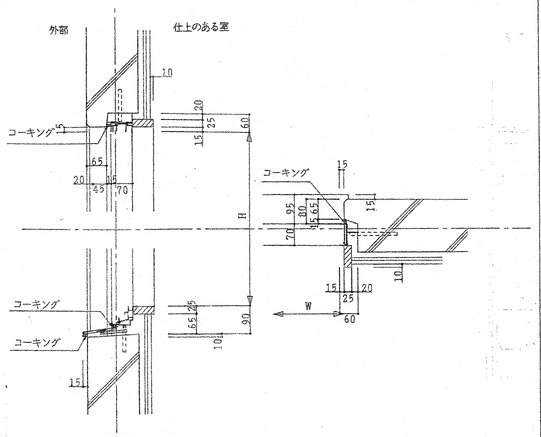
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

外壁 スチールドア（RC）額なし 1/10

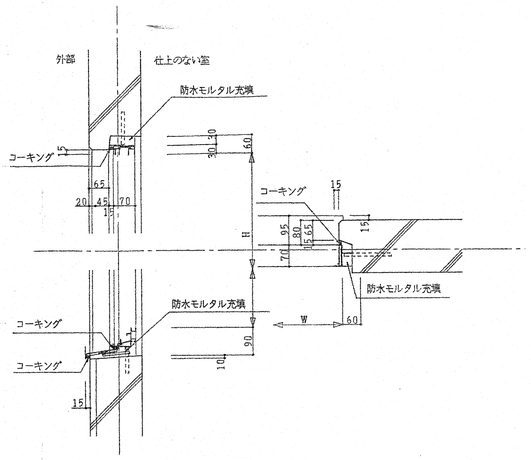


2階出口断面 1/20

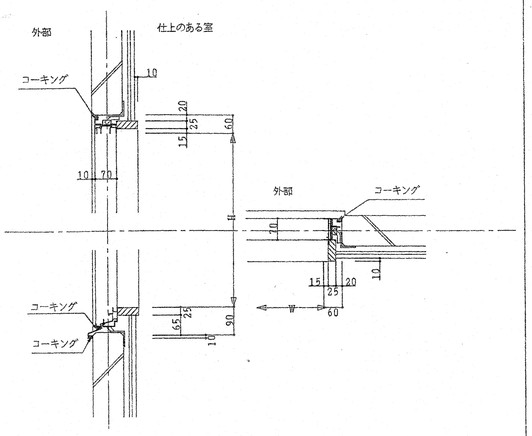
外壁 アルミサッシ（RC）額付 1/10



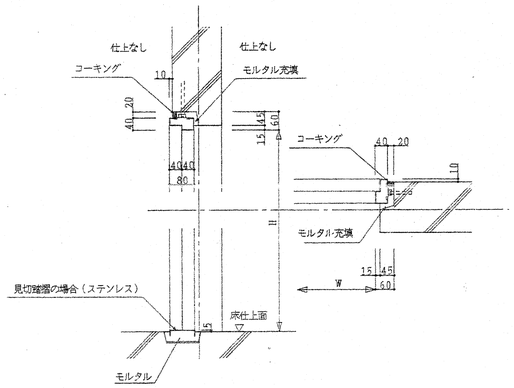
外壁 アルミサッシ（RC）額なし 1/10



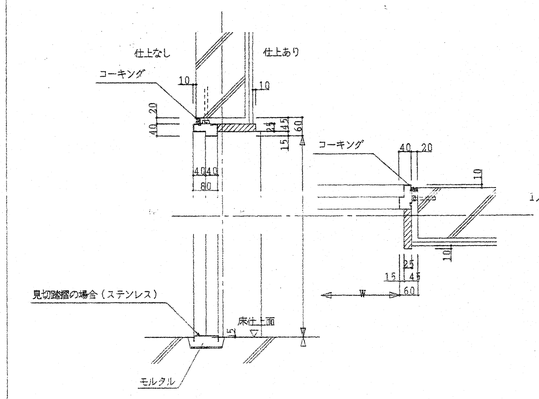
外壁 アルミサッシ（ALC）額付 1/10



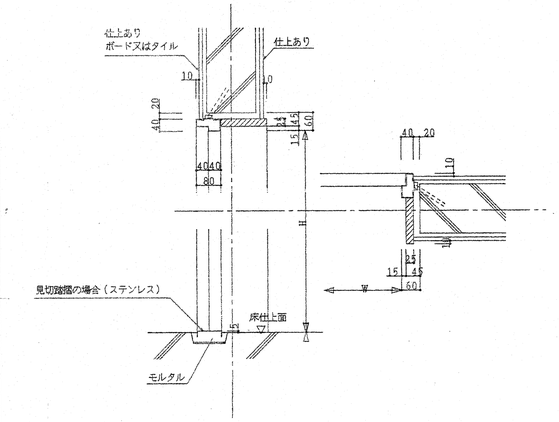
内壁 スチールドア（RC）額なし（アルミドア共） 1/10



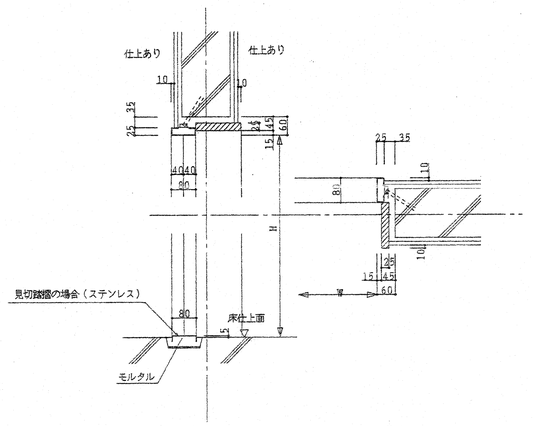
内壁 スチールドア（RC）額付（アルミドア共） 1/10



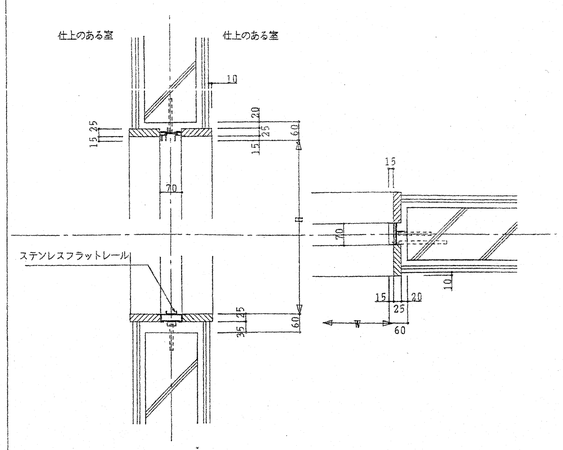
内壁 スチールドア（RC）両面額付（アルミドア共） 1/10



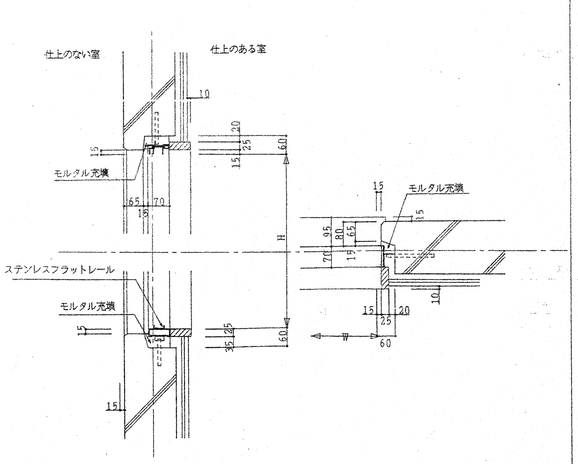
内壁 スチール枠（RC）額付 1/10



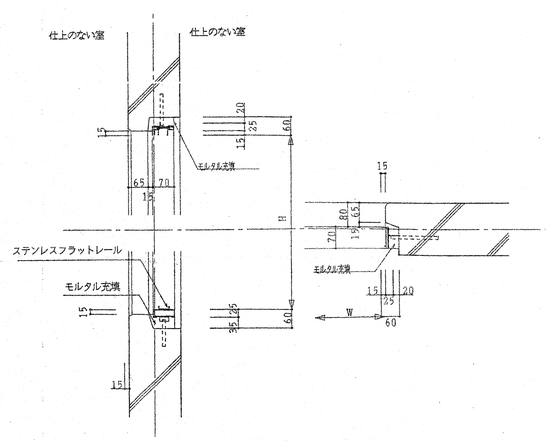
内壁 アルミ（RC）両面額付 1/10



内壁 アルミ（RC）片面額付 1/10



内壁 アルミ（RC）額なし 1/10



（註 管理棟部共通）

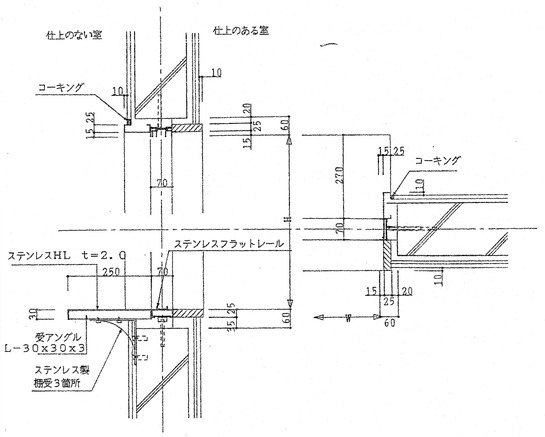
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸ノ	97.3.28	図面名称 処理棟・管理棟
照査	久保	97.3.25	部分詳細図－1
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－111300 △0
		出図年月日	整理番号

H 3/4

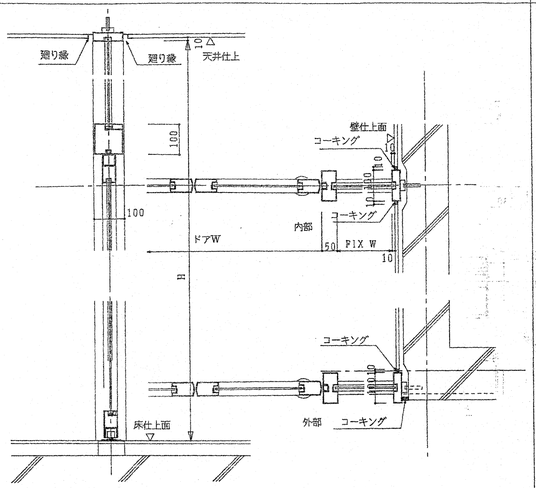
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

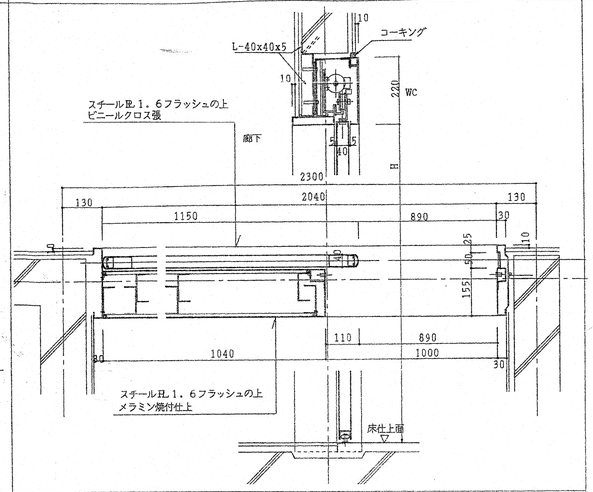
内部 玄関受付カウンター 1/10



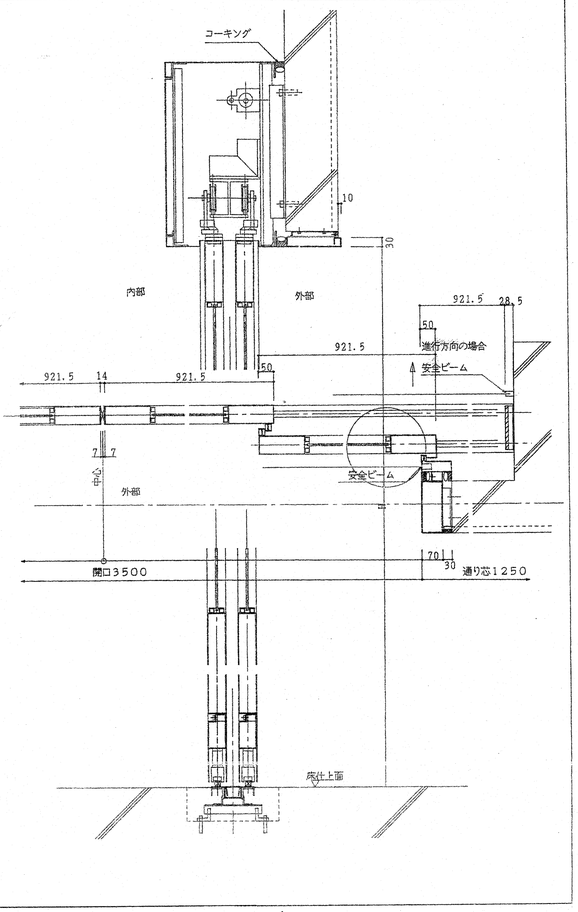
アルミ又はステンレス玄関ドア 1/10



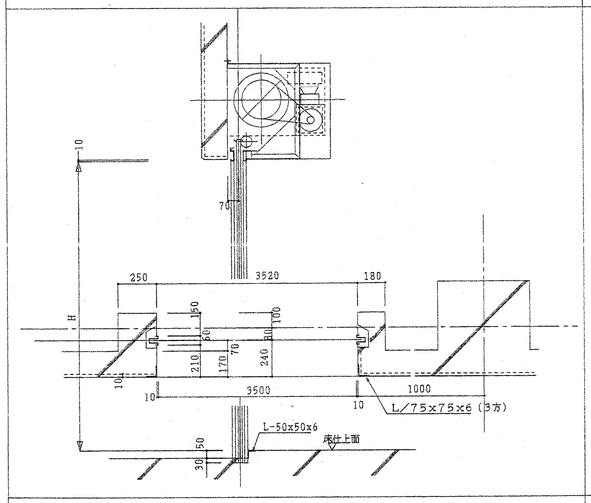
身障者用オートスチール引戸 1/10



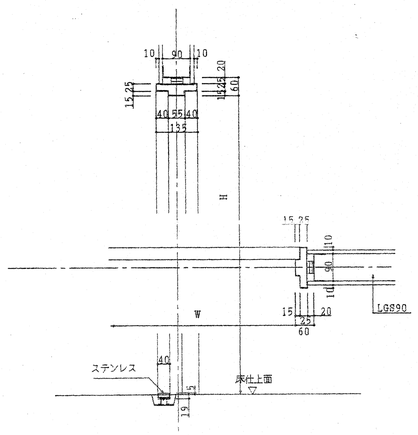
受入室4本引分ステンレスドア（電動式） 1/10



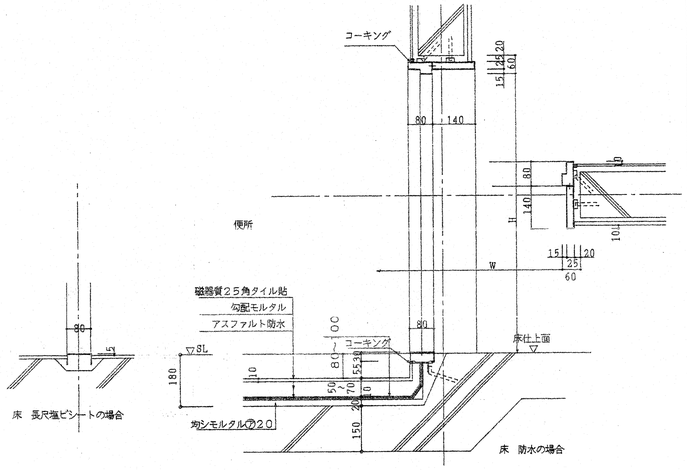
電動スチールシャッター 1/20



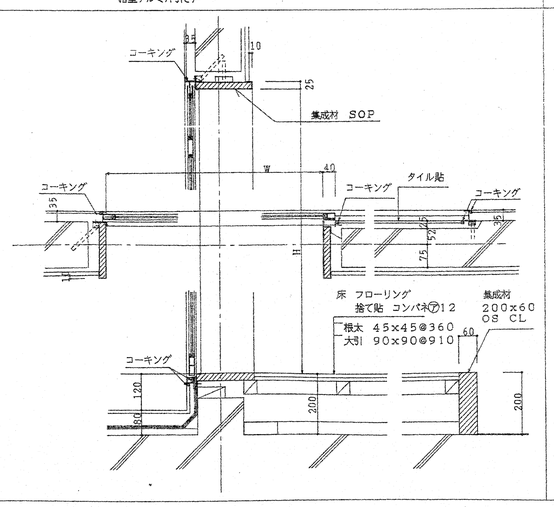
木製建具スチール枠 1/10



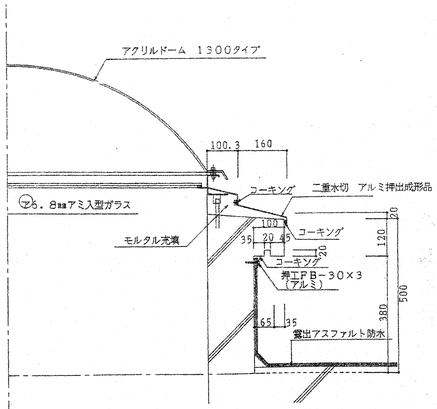
便所出入口. 1/10



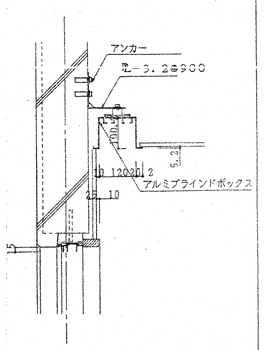
浴室アルミ片引き戸 1/20



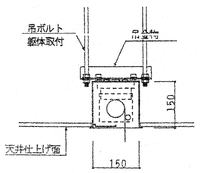
トップライト断面詳細図 1/10



アルミブラインドボックス 1/10



天井埋込スクリーンボックス 1/10



工事番号	EL-6851	
承認	村田	97.3.28
照査	九山	97.3.19
照査	久保	97.3.25
設計		..
製図	石井	90.2.24
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 ・ 管理棟 部分詳細図－2
尺度	第 角法
標準図番号	
図面番号	WR－11－1310 △
出図年月日	
整理番号	

NES NF3016A △

3/24

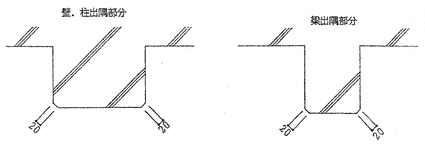
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

ALC開口補強リスト

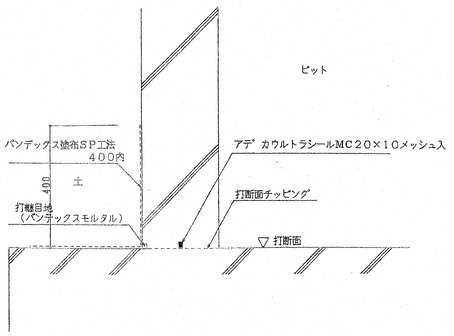
開口巾	部材	
600		スミ金物 FB−50×3.2
1200	院ﾌﾚｰﾑ材	L−75×75×6
	縦 材	L−65×65×6
1800	院ﾌﾚｰﾑ材	L−75×75×6
	縦 材	L−65×65×6
2400	院ﾌﾚｰﾑ材	L−90×90×10
	縦 材	L−75×75×6
3000	院ﾌﾚｰﾑ材	L−90×90×10
	縦 材	L−90×90×10
連窓	院ﾌﾚｰﾑ材	L−75×75×6
	縦 材	L−65×65×6
	中間方立て	L−90×90×10

コンクリート面取部分 1/10



コンクリート地下部分打断部分 1/10

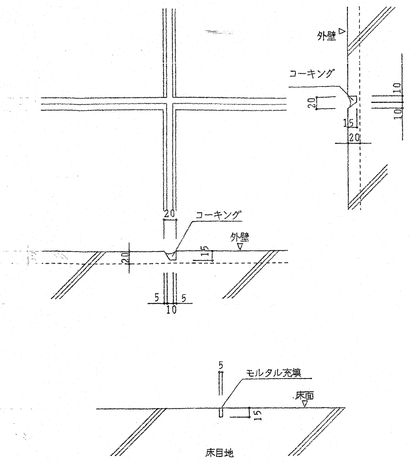
下記工法は参考1例であり，完全な施工法とすること



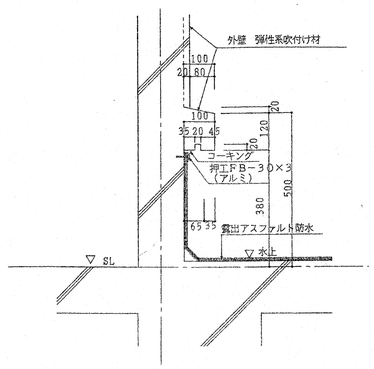
※注（1）コンクリート打断面 充分つき固めを行う
打込は各部分60cm以下にして水平に打進める

（2）施工後 漏水がある場合は請負者の責任に於いて
エポキシ樹脂注入工法等により完全に止水する

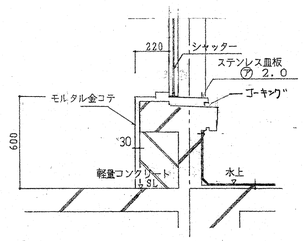
コンクリート目地 1/5



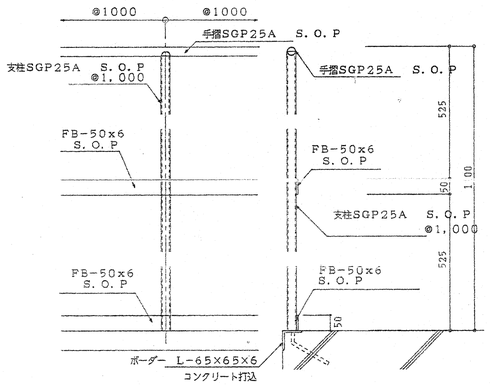
RCパラペット＋水上防水廻り（RC） 1/10



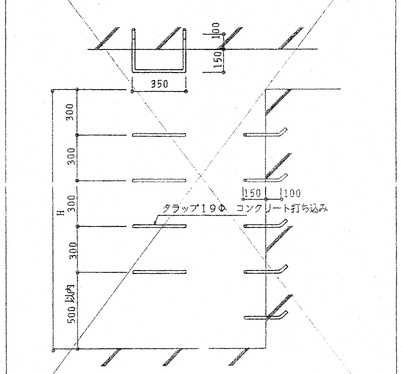
2F シャッター下部（E通） 1/20



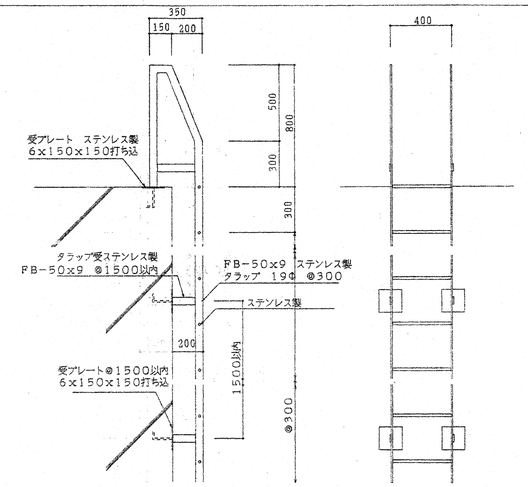
手摺詳細図 1/10



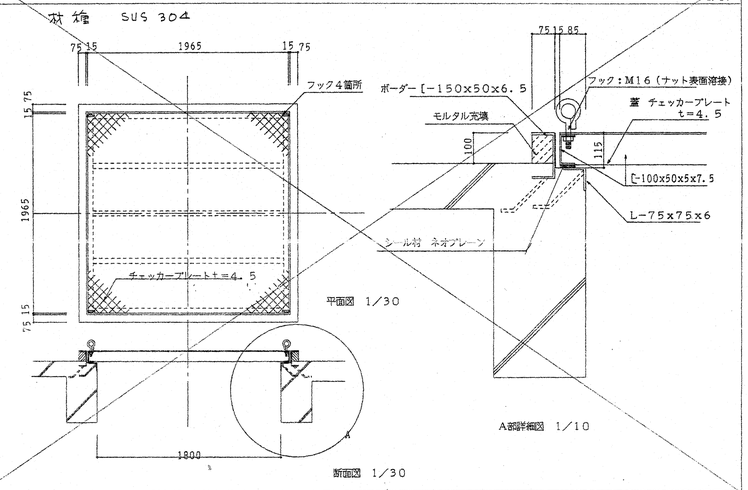
タラップ 1/20



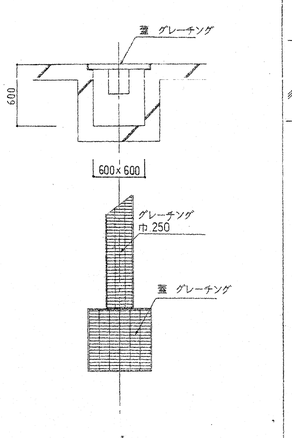
ラダー （煙突メンテ用） （内部ラダーも準じる） 1/20



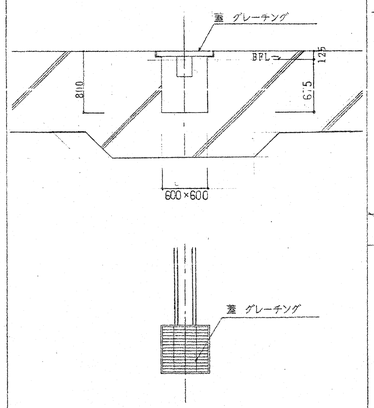
マンホールハッチ蓋 1/10



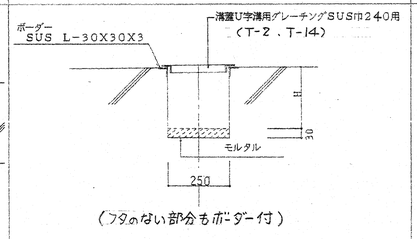
排水槽 （A） 1/30



排水槽 （B） 1/30

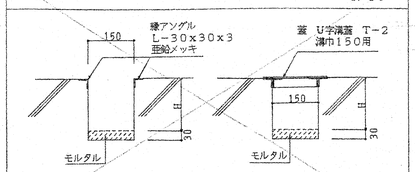


排水溝 1/10

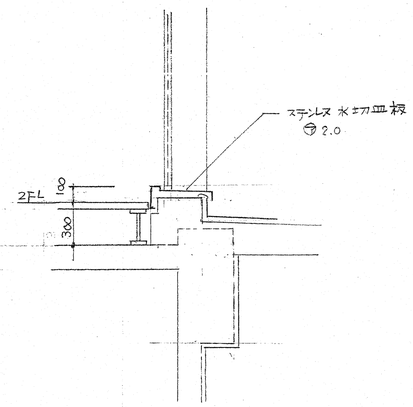


（フタのない部分もボーダー付）

排水溝 （B） 1/10



電気室 シャッター下部（A通）



工事番号	EL−6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	先山	97.3.28	図面名称 処理棟 ・ 管理棟 部分詳細図−3
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR−111320 △0
			出図年月日 / 整理番号

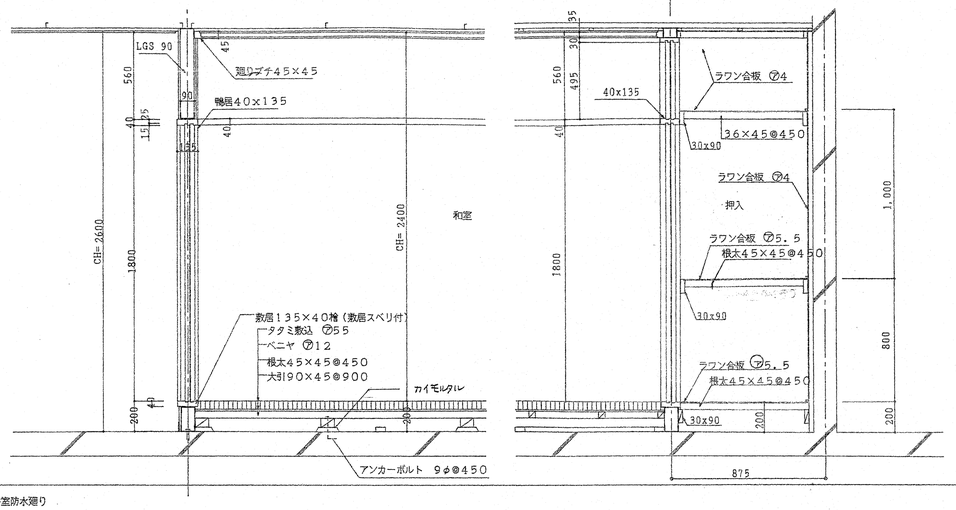
H3/4

MES NF3016A ⚠

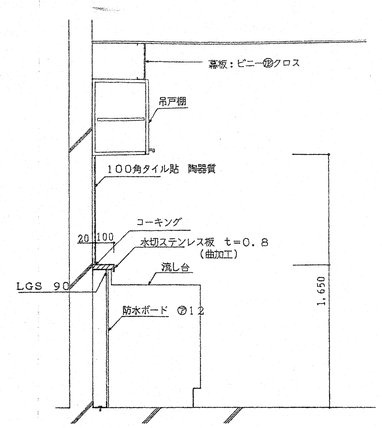
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

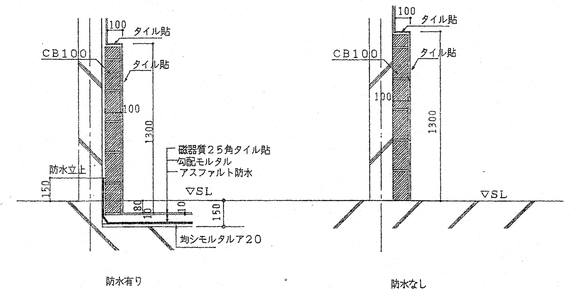
和室廻り　1／20



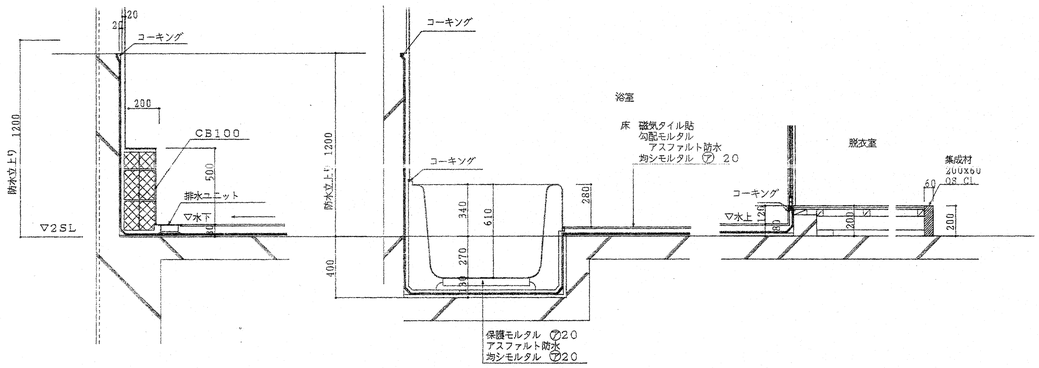
流しセット廻り　1／20



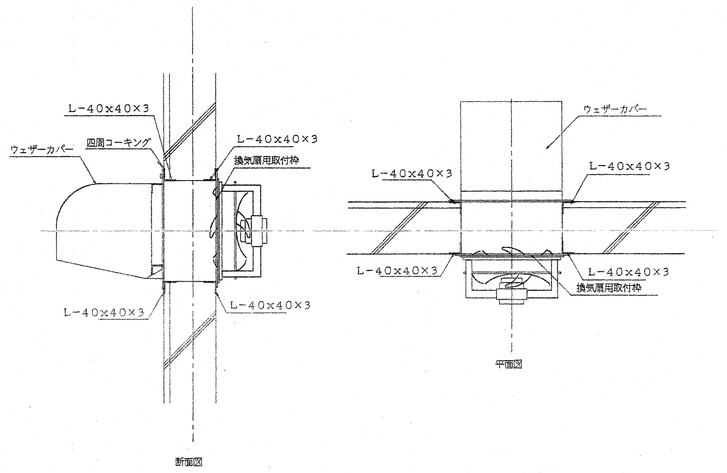
ライニング廻り　1／20



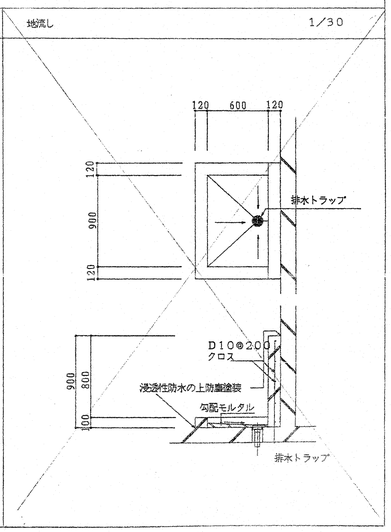
浴室防水廻り　1／20



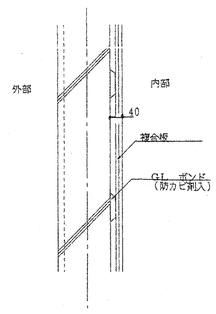
換気扇廻り　1／20



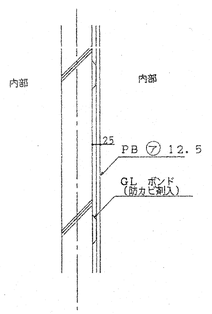
地流し　1／30



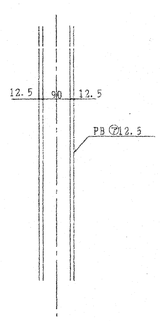
外部壁仕上（複合板）



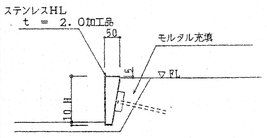
内部壁仕上＋PB



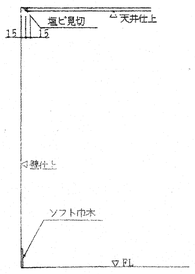
LGS＋PB



上りカマチ



巾木 廻り縁

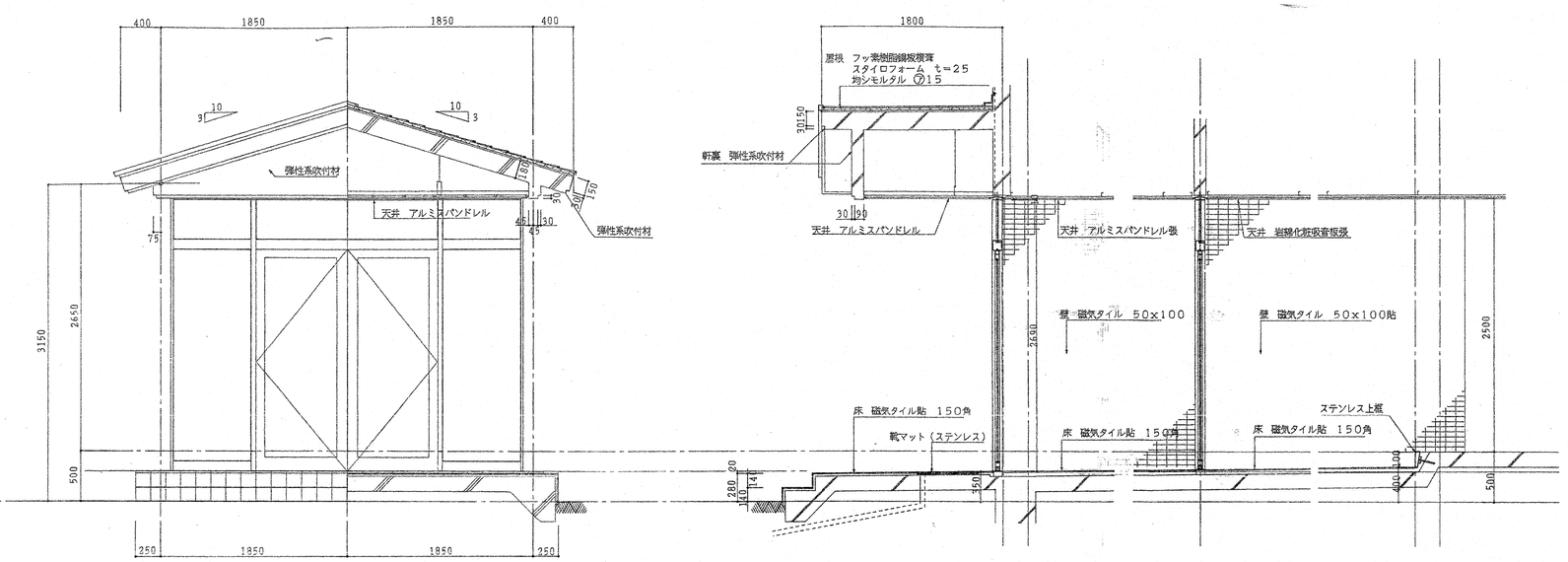


工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	先山 97.3.28	図面名称	処理棟 ・ 管理棟 部分詳細図－4
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	第 角法 / 標準図番号
		図面番号	WR－111330 △0
		出図年月日	整理番号

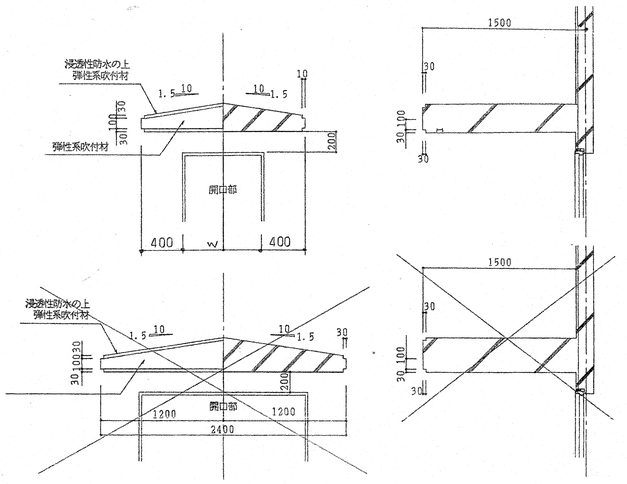
3/24

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

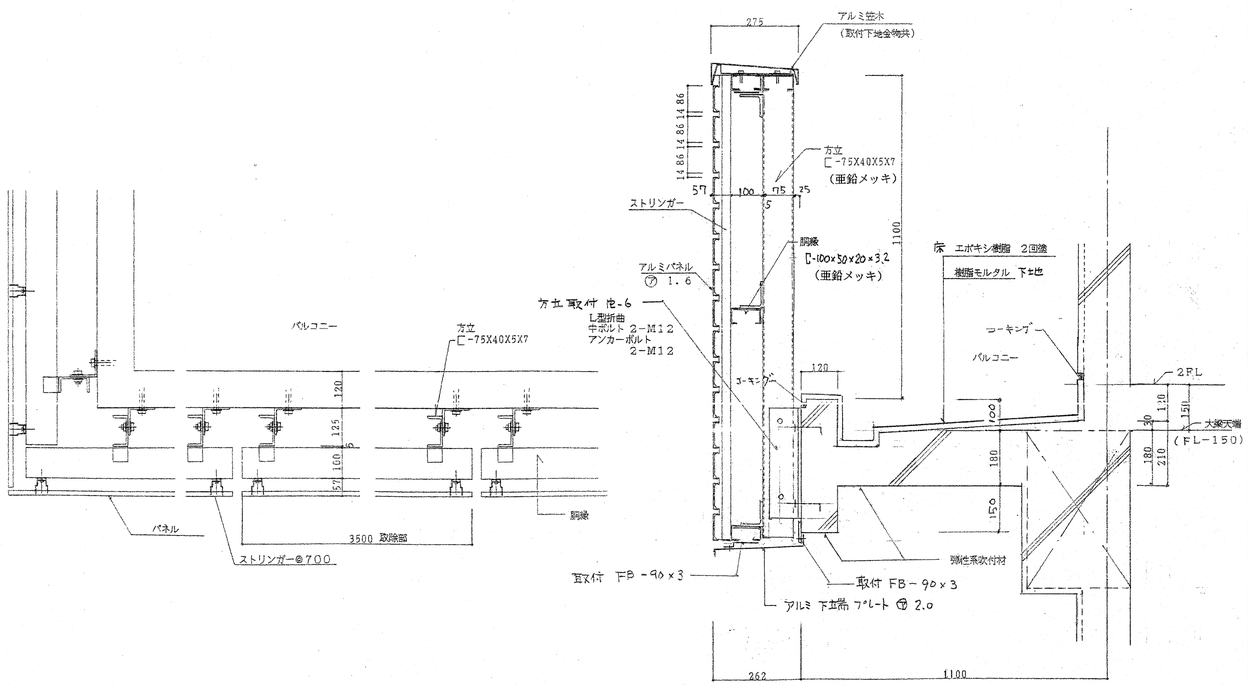
屋階室　玄関廻り（管理棟）　1/30



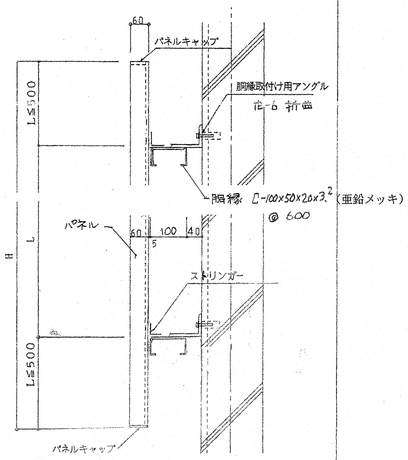
出入口庇　1/30



バルコニー手すりルーバー縦ﾒｯｷ貼り　1/10



アルミ 化粧格子縦貼り　1/10

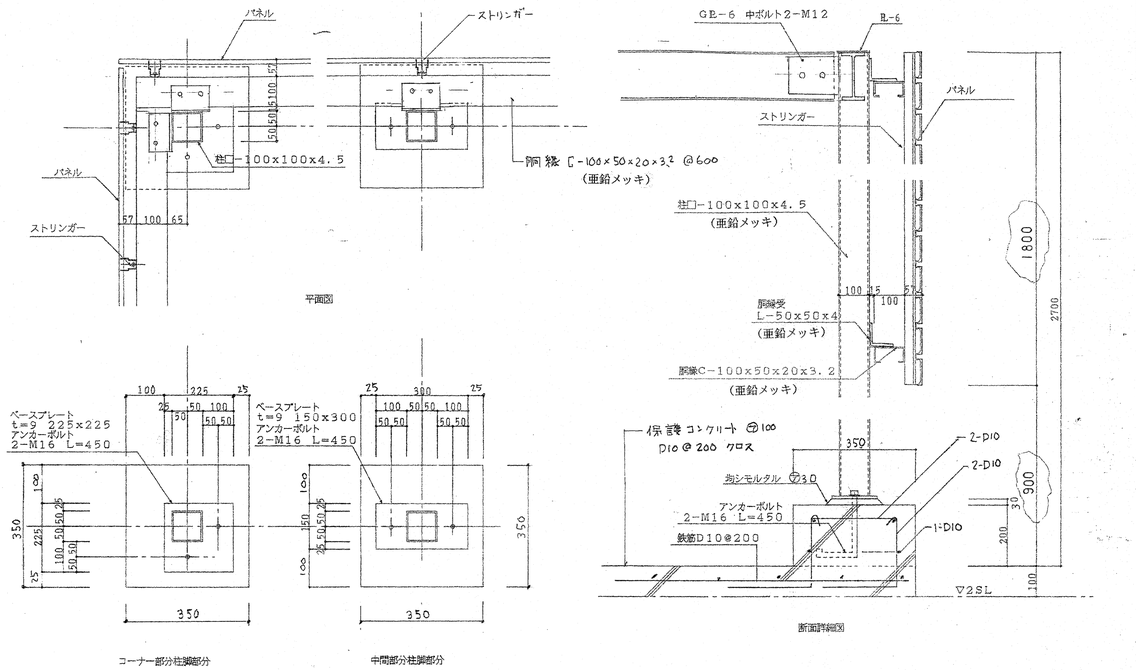


工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	先山	97.3.14	
照査	久保	97.3.25	図面名称 処理棟・管理棟 部分詳細図－5
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	第 角法 / 標準図番号
		図面番号	WR-111340 ⓪
		出図年月日	整理番号

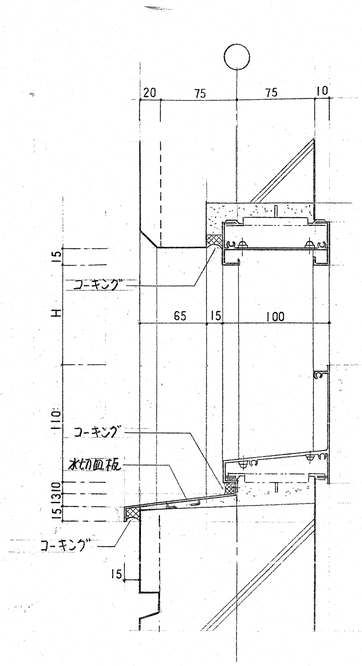
3/14

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠1	ルーバー寸法訂正	林	97.9.2

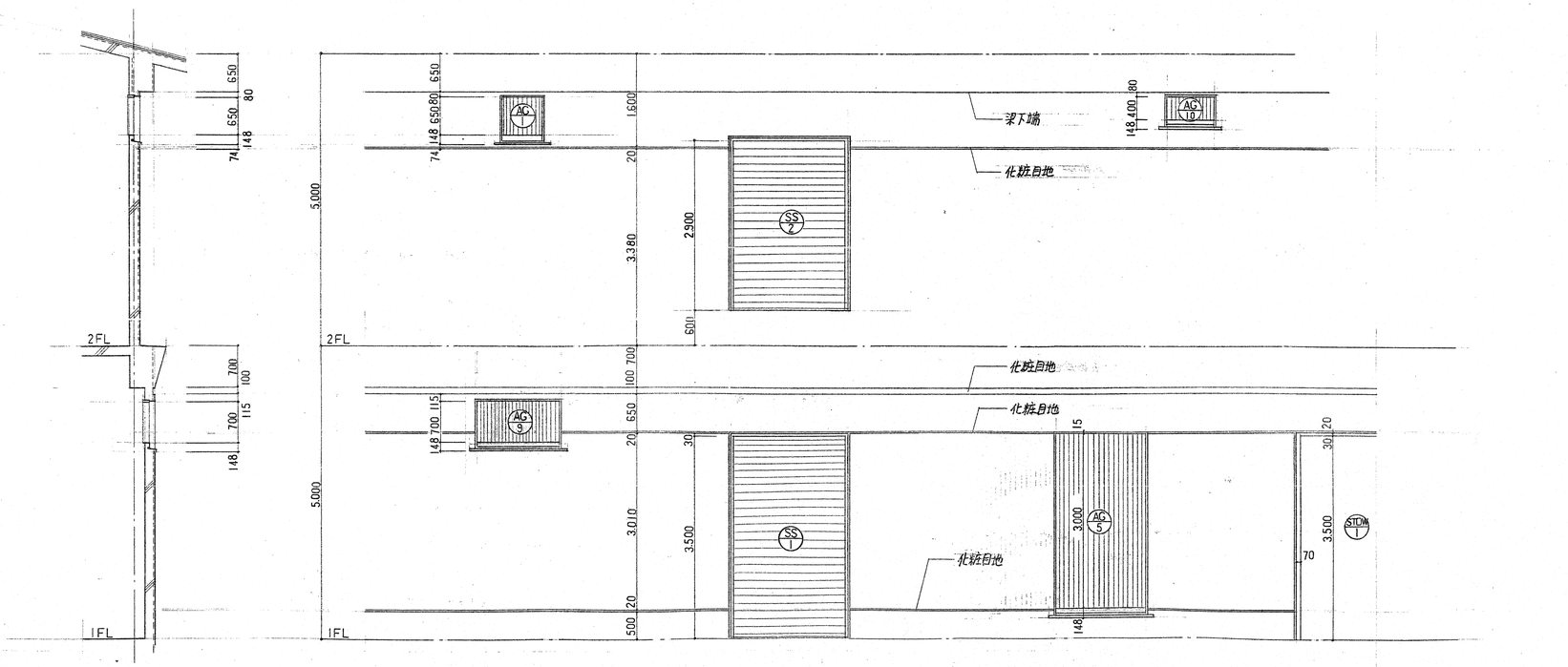
冷却塔目隠しルーバー　1／10



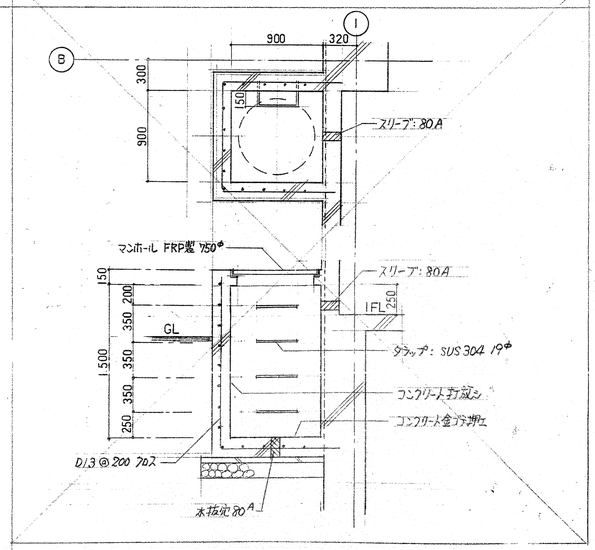
アルミガラリ詳細図　1／3



建具割付図　1／50



ハンドホール詳細図　1／30



工事番号	EL-6851		
承認	林田	97.3.20	
照査	九山	97.3.19	
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤清地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 処理棟・管理棟 部分詳細図-6

尺度 | 第 角法 | 標準図番号

図面番号: WR-111350 ⚠1

出図年月日 | 整理番号

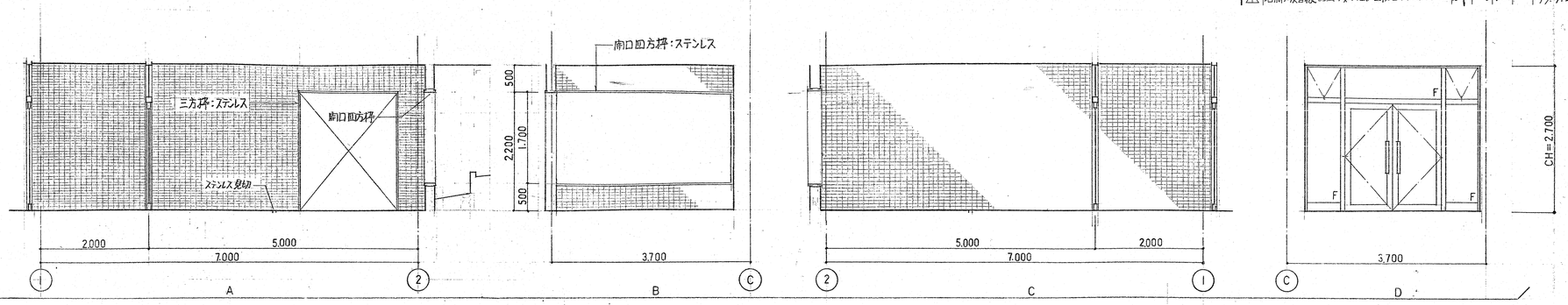
3/54

NES NF3016A ⚠

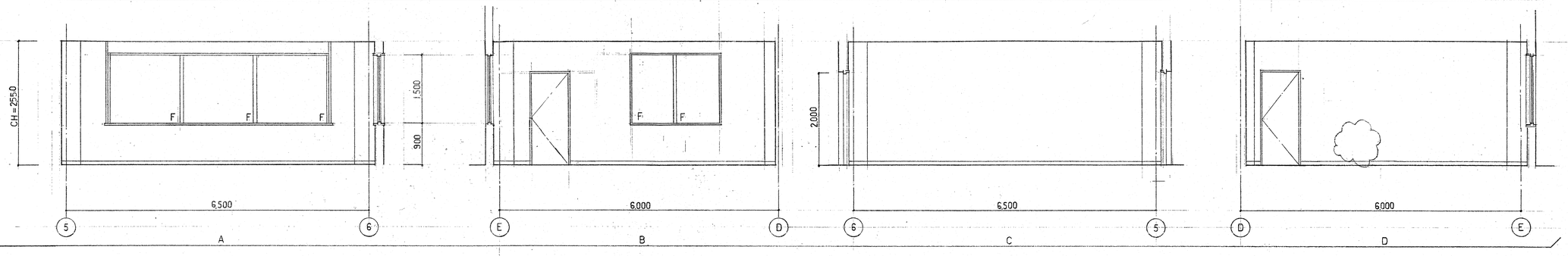
L43

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板訂正 受入焼却監視室洗面器削除	[illegible]	97.9.2

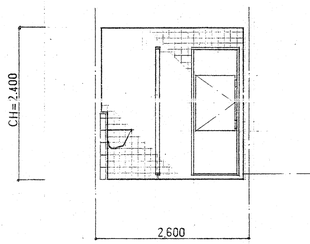
室名	風除室	玄関	ホール
床	磁器質タイル貼 150角	磁器質タイル貼 150角	長尺塩ビシート
巾木	———	———	ソフト巾木
壁	磁器質タイル貼100×50	同左	同左
天井	岩綿吸音板	岩綿吸音板	岩綿吸音板
備考			見切縁：SUS @2.0 下足箱



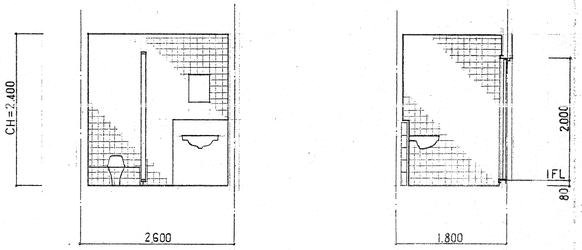
室名	受入焼却監視室
床	長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板
備考	

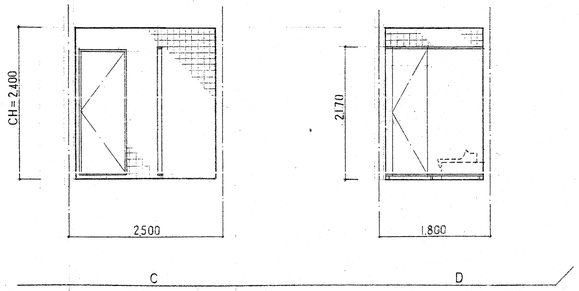


室名	WC（受入室側）
床	磁器質25角タイル貼
巾木	———
壁	半磁器100タイル貼
天井	フレキシブルボード張 VP
備考	

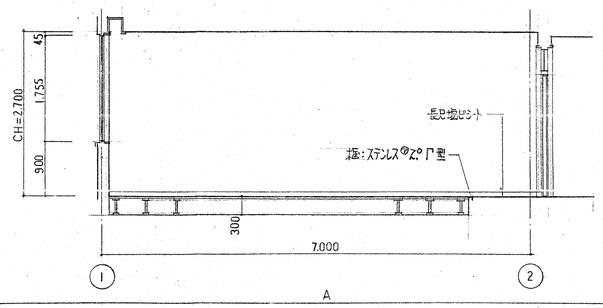


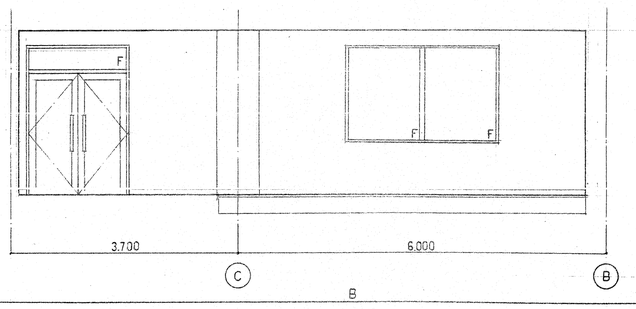
室名	WC（機上部室側）
床	磁器質25角タイル貼
巾木	———
壁	半磁器100タイル貼
天井	フレキシブルボード張 VP
備考	





室名	中央監視室
床	アクセスフロア カーペットタイル貼 フミコミ：長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板
備考	ブラインドボックス





階段室 B

工事番号	EL-6851		
承認	村田	97.3.28	
照査	丸山	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.3.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

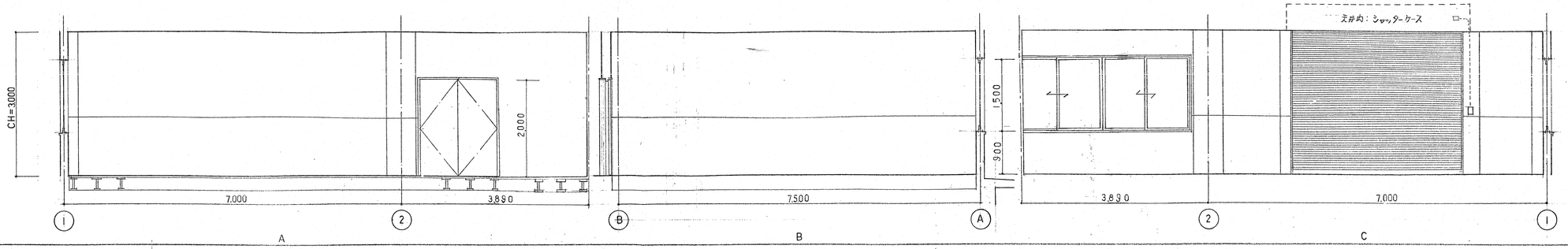
NKK 日本鋼管株式会社

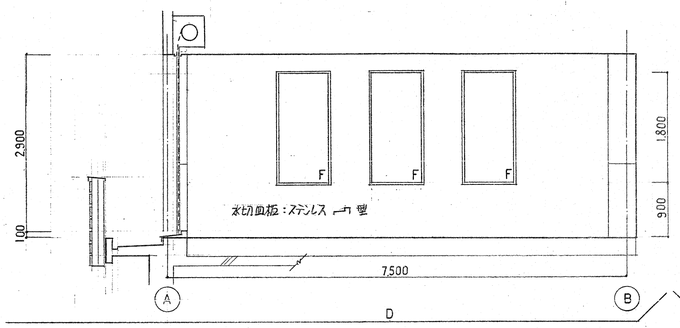
御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 展開図－1
尺度	1/4
第角法	
標準図番号	
図面番号	WR－111360
出図年月日	
整理番号	

NES NP3706A-A

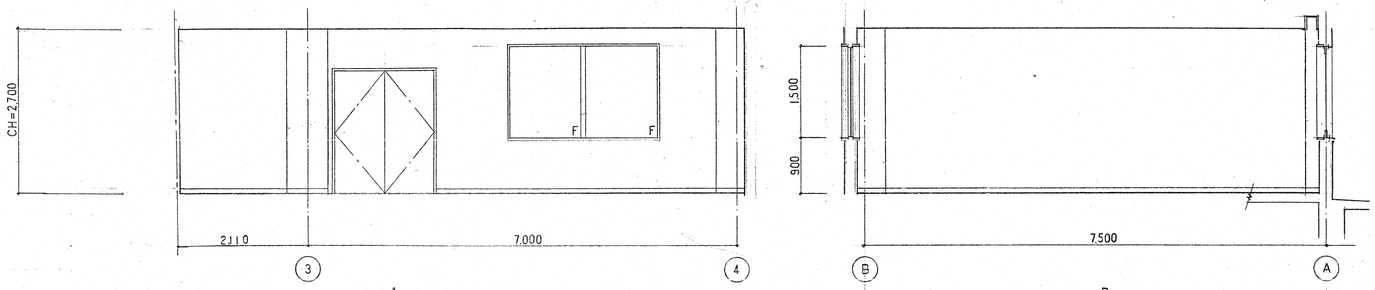
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板訂正		97.9.2

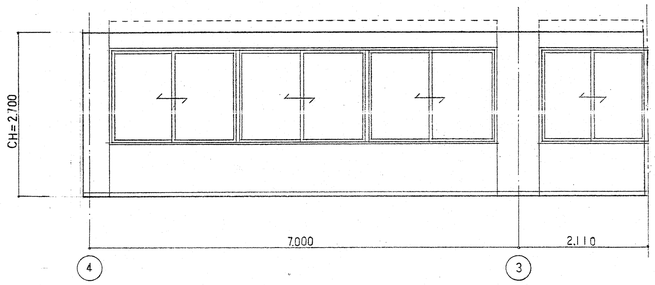
室名	電気室
床	アクセスフロア 帯電防止タイル
巾木	VP H=1200
壁	アクリルリシン吹付
天井	化粧石コウボード張
備考	

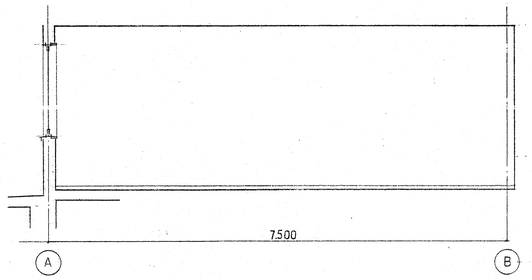




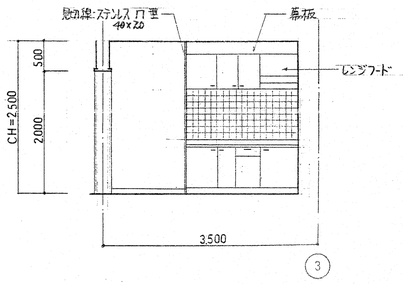
室名	水質試験室
床	ウレタン系耐薬品シート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板
備考	

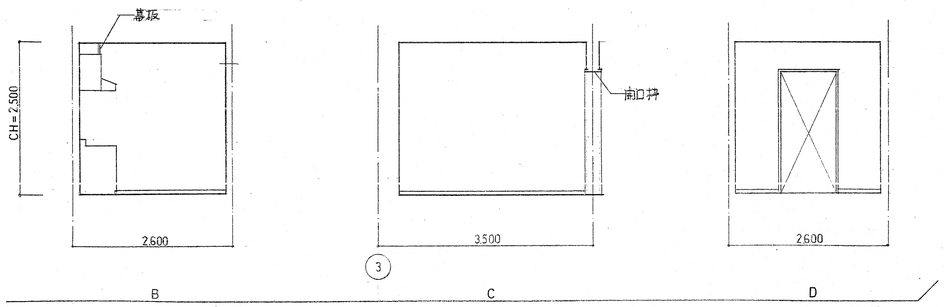




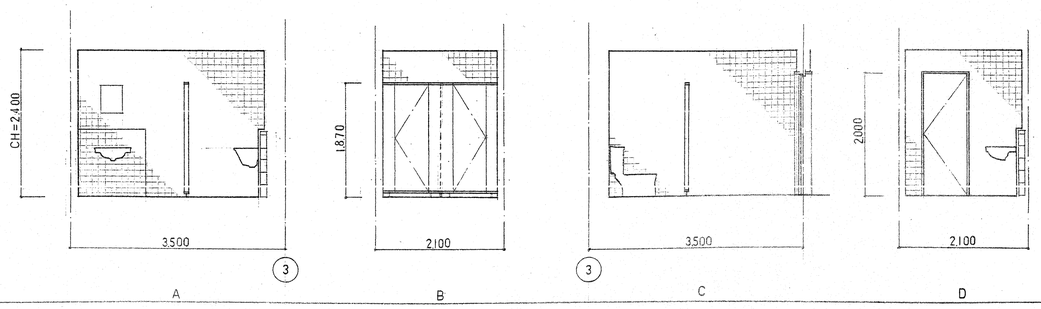


室名	給湯室
床	長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼(一部タイル貼)
天井	フレキシブルボード VP
備考	流しガスキャビネット 吊戸棚、レンジフード

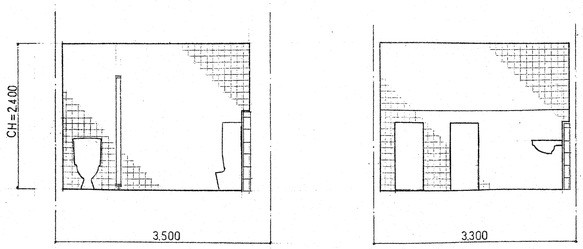




室名	女子WC
床	長尺塩ビシート
巾木	———
壁	半磁器タイル貼 100角
天井	フレキシブルボード VP
備考	



室名	男子WC
床	長尺塩ビシート
巾木	———
壁	半磁器タイル貼 100角
天井	フレキシブルボード VP
備考	



工事番号	EL−6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	図面名称 処理棟 展開図−2
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

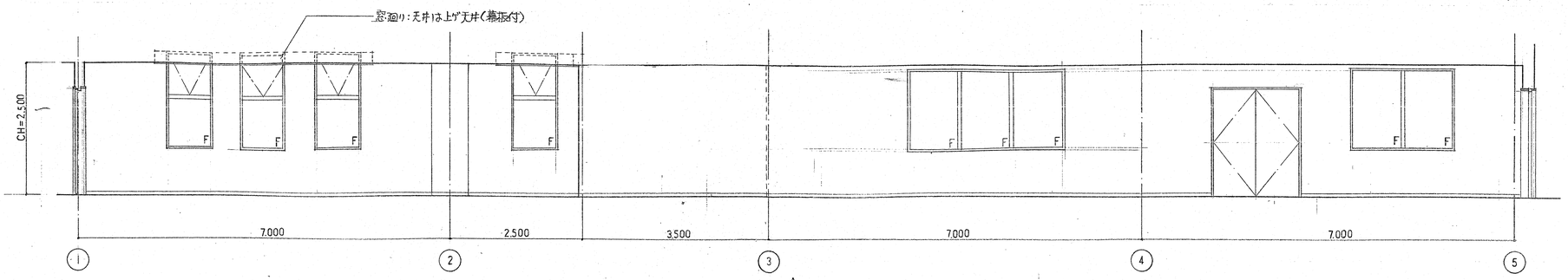
尺度		第 角法	標準図番号
図面番号	WR−111370		⚠
出図年月日		整理番号	

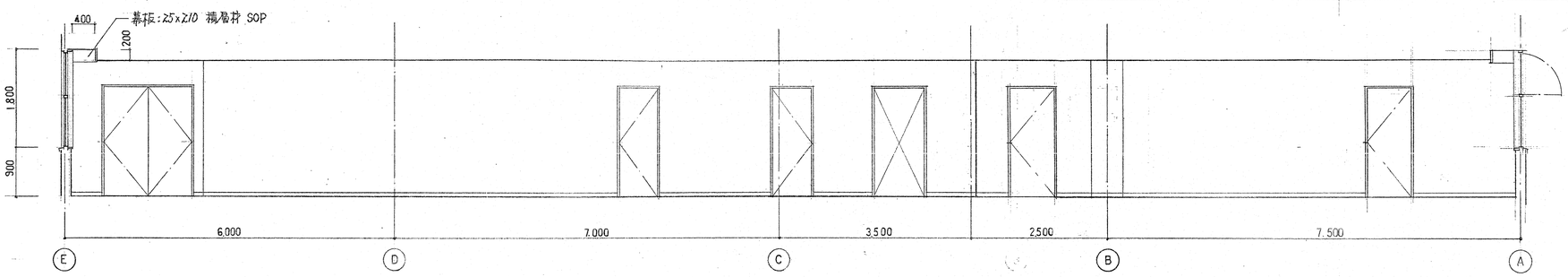
H 3/24

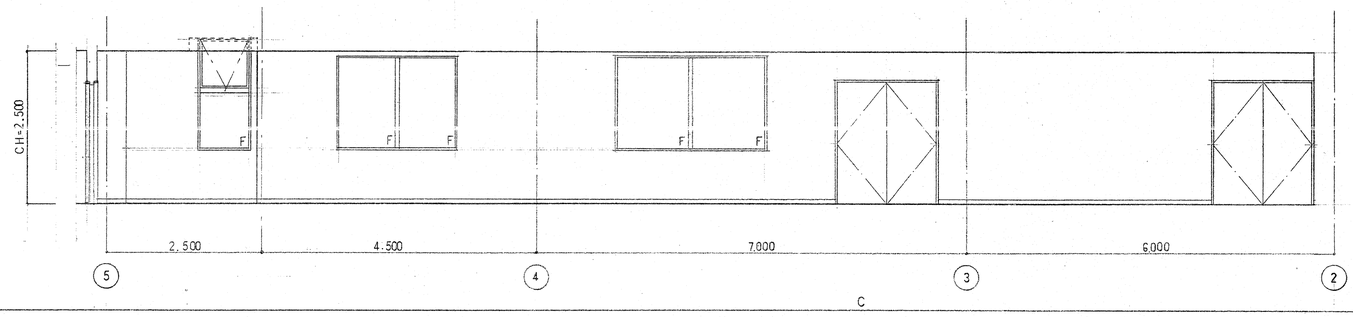
A1

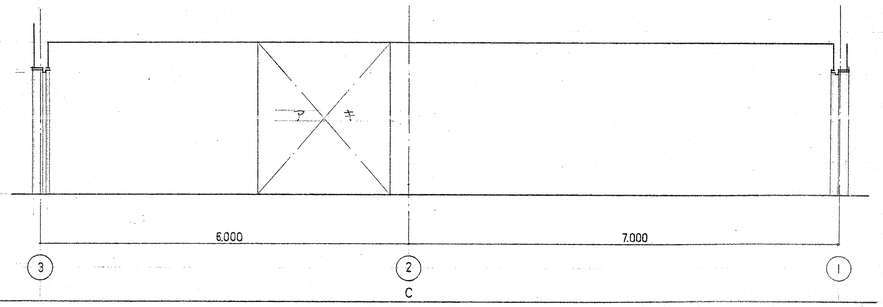
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板 訂正	村田	97.9.2

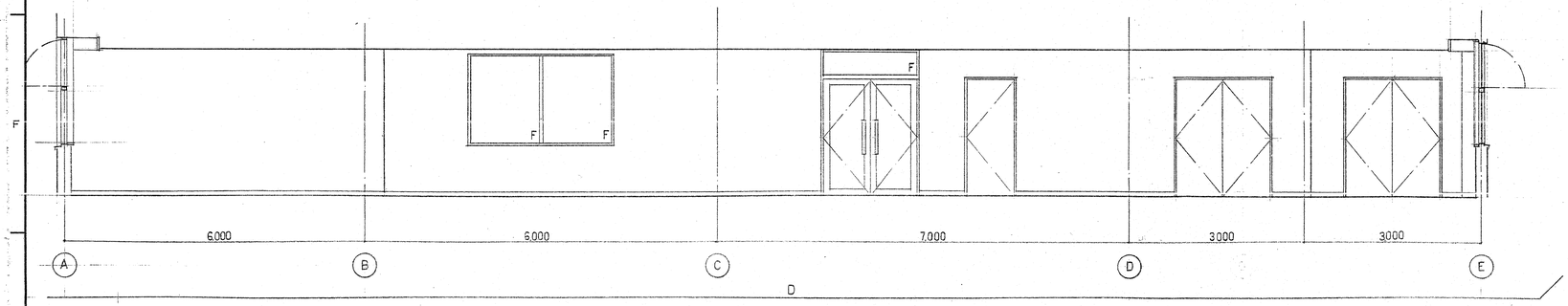
室名	廊下
床	長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板
備考	











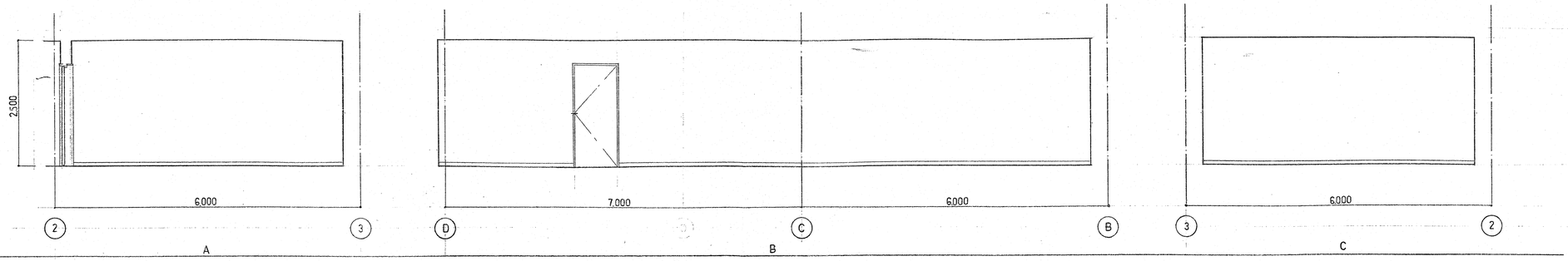
工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	図面名称 処理棟 展開図－3
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	加井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－111380 ⚠
			出図年月日 整理番号

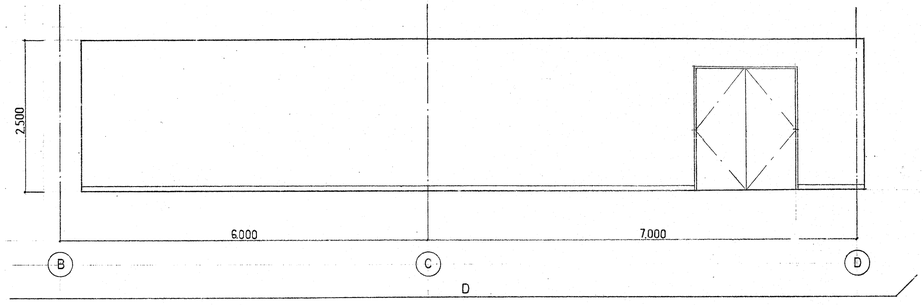
3/24

MES NX9106A-A

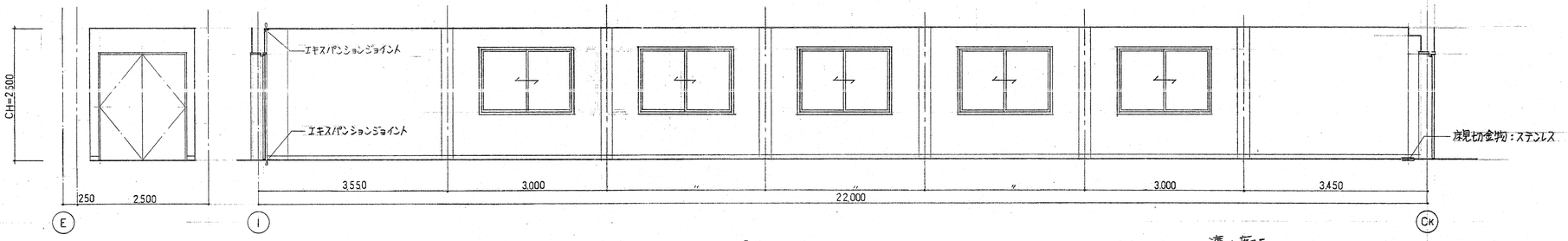
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板訂正	[illegible]	97.9.2

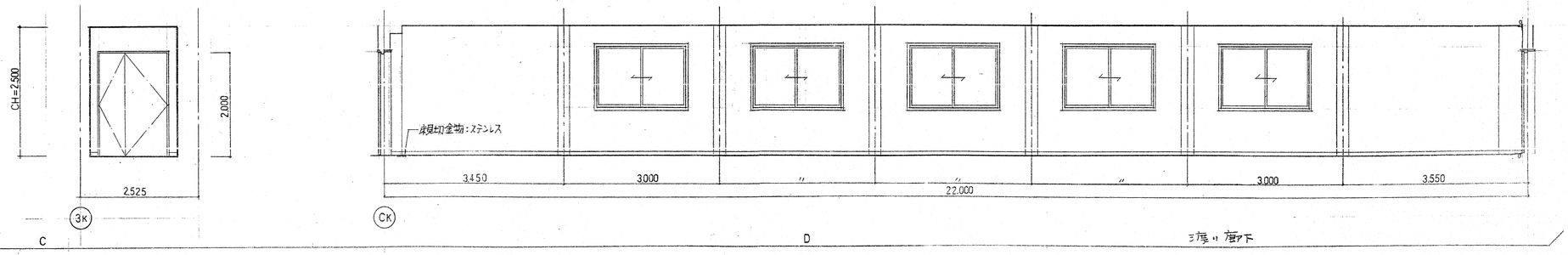
室名	書庫
床	長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	化粧石コウボード張
備考	





室名	渡り廊下
床	長尺塩ビシート
巾木	ソフト巾木 巾=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板
備考	





工事番号	EL－6851	
承認	村田	97.3.28
照査	大d～	97.3.28
照査	久保	97.3.25
設計		・・
製図	石井	90.2.24
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

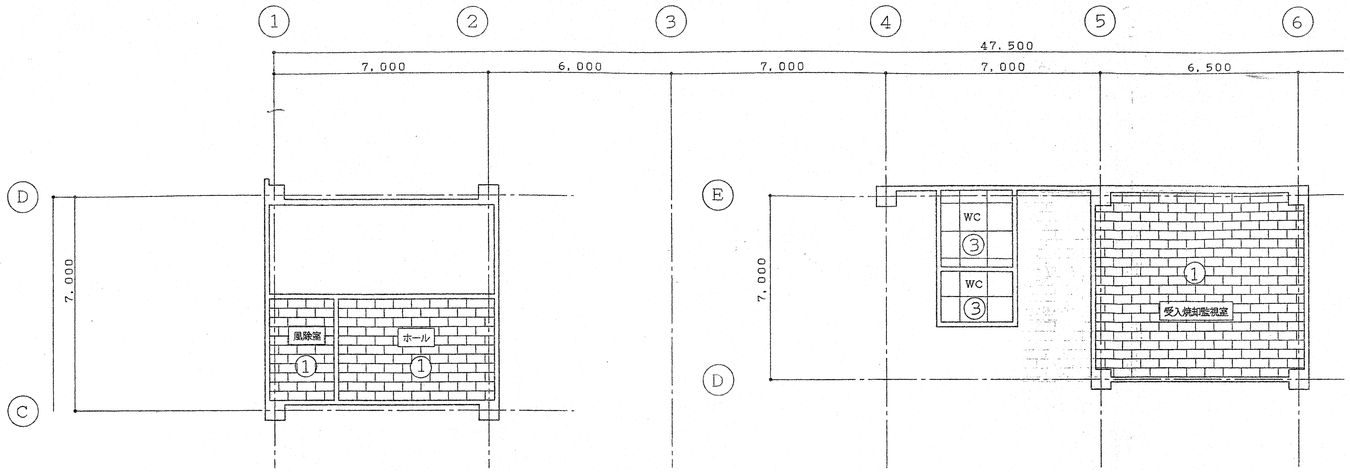
御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 展開図－4
尺度	第 角法
標準図番号	
図面番号	WR－111390 ⚠1
出図年月日	
整理番号	

3/24

NES NF3706A ⚠

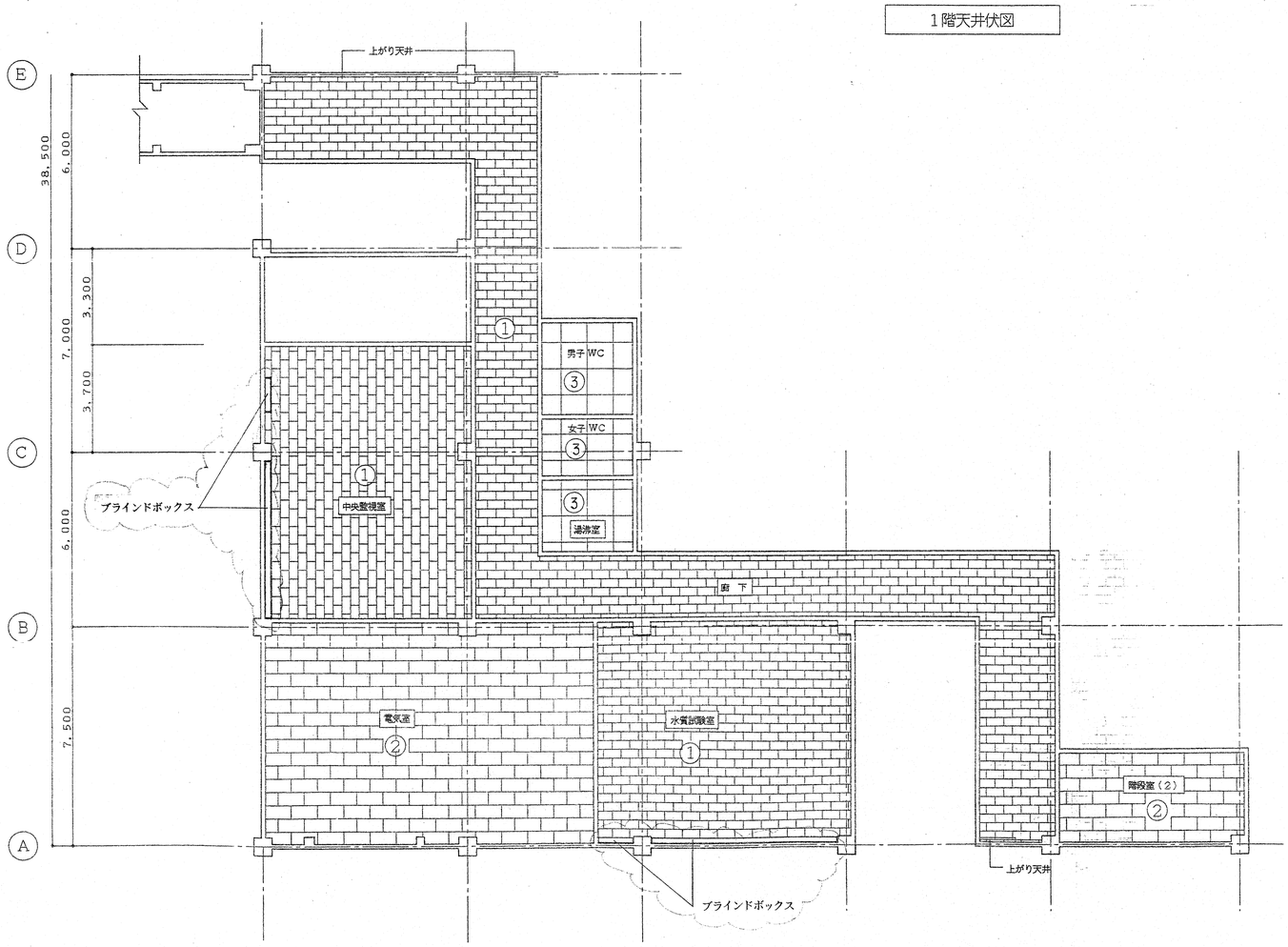
47

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	ブラインドボックス 記入		97.9.2

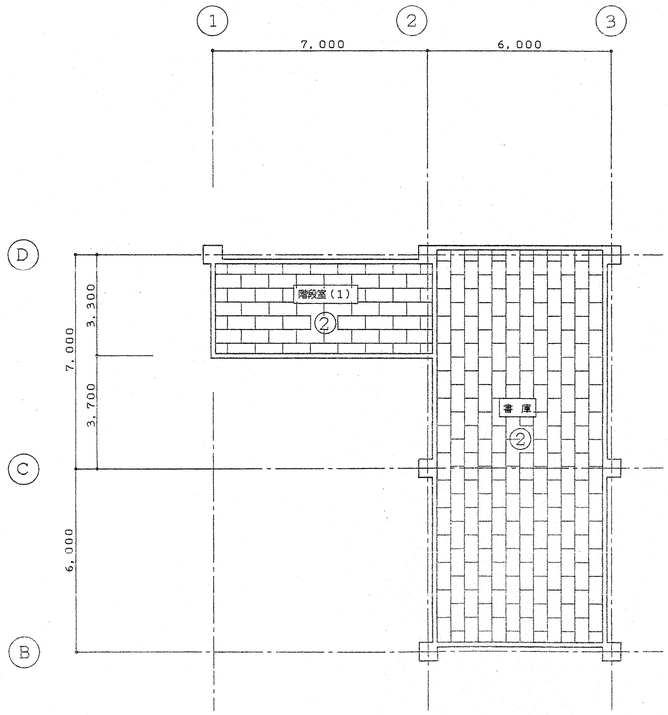


1階天井伏図

①	岩綿吸音板張
②	化粧石コウボード
③	フレキシブルボード
④	



2階天井伏図



3階天井伏図

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂本	97.9.24	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	長野	97.7.24	
照査	久保	97.7.24	図面名称 処理棟 天井伏図
設計		・・	
製図	石井	97.7.23	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部		

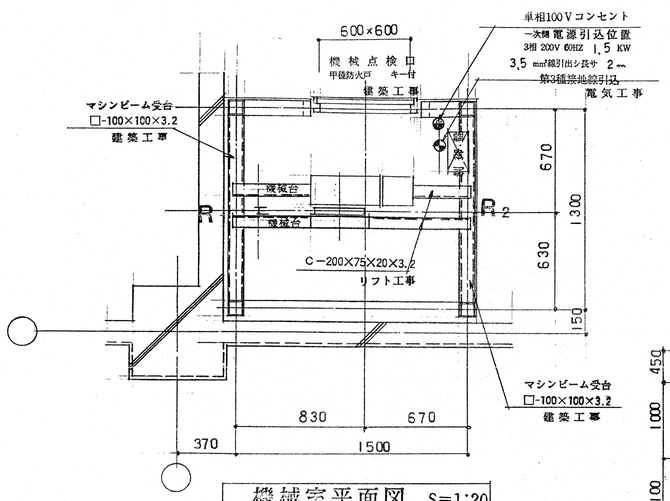
NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR－111400	⚠0	
出図年月日		整理番号	

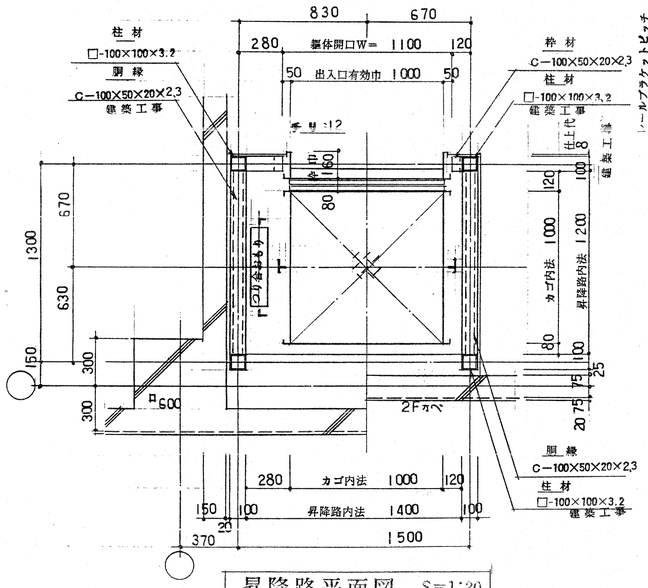
A1

NES NY3016A ⚠

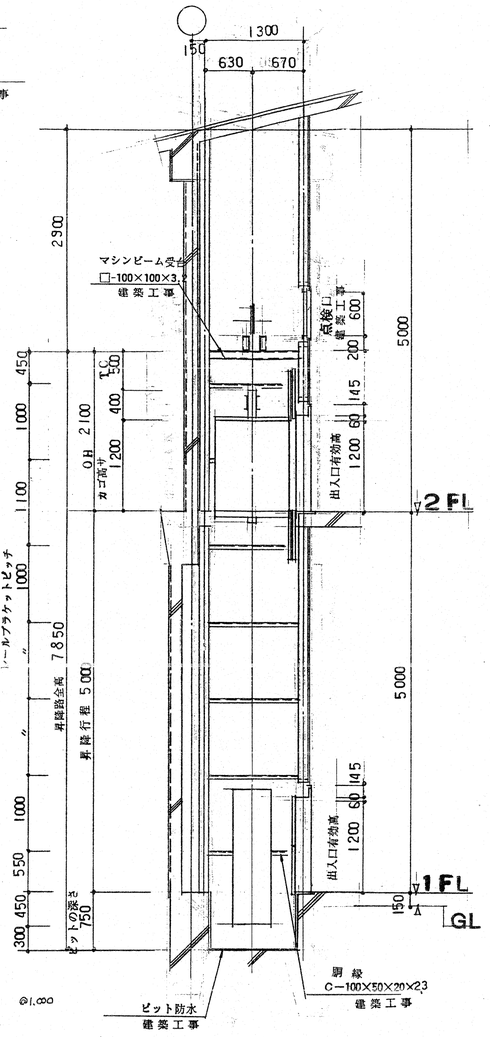
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



機械室平面図 S=1:20



昇降路平面図 S=1:20



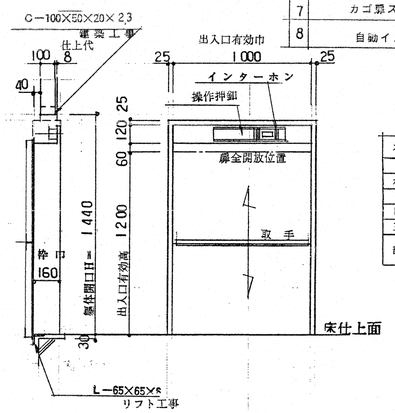
昇降路断面図 S=1:40

総反力

$R_1 \fallingdotseq 1040$ Kg

$R_2 \fallingdotseq 830$ Kg

		仕様要項
用途		小荷物
機種		M-200
最大積載量		200 kg
速度		25 m/min
籠内法		1000 W × 1000 D × 1200 H
昇降行程		5000 mm
昇降路全高		7850 mm
電動機		3相交流 200V 60Hz 1.5kw 4P
操作方式		押釦全自動式相互階運転
停止個所		1~2 階 1方向 2個所
出入口扉		鋼板製 上下中央開閉式扉
軌条		磨鋼板製引抜レール
重錘		角鋼製枠型自由調製式
鋼索		径 φ8 × 2 1:1
信号装置		インターホン
納期		
設置場所		
安全装置	1	戸スイッチ…1、2F
	2	戸ロック…1、2F
	3	電磁ブレーキ…巻上機に内蔵
	4	リミットスイッチ…1、2F
	5	非常停止押釦
	6	音声合成付 (アナウンス)
	7	カゴ扉スイッチ
	8	自動インチング



カゴ扉		鋼板	1.6t PL
床	白	縞鋼板	3.2t PL
カゴ内部	白	鋼板	1.6t PL
扉		鋼板	1.6t PL
補強枠		L-65×65×6	t PL
三方枠		鋼板	1.6t PL
部品名	色	材質	板厚

焼付塗装仕上

断面図 出入口正面図 S=1:20

工事番号	EL-6851		
承認	村田	97.3.28	
照査	九ノ	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	処理棟 ダムウエーター設備図
尺度	第角法
標準図番号	
図面番号	WR-111410
	0
出図年月日	
整理番号	

3/34

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板 訂正	松[illegible]	97.3.12

外部仕上表

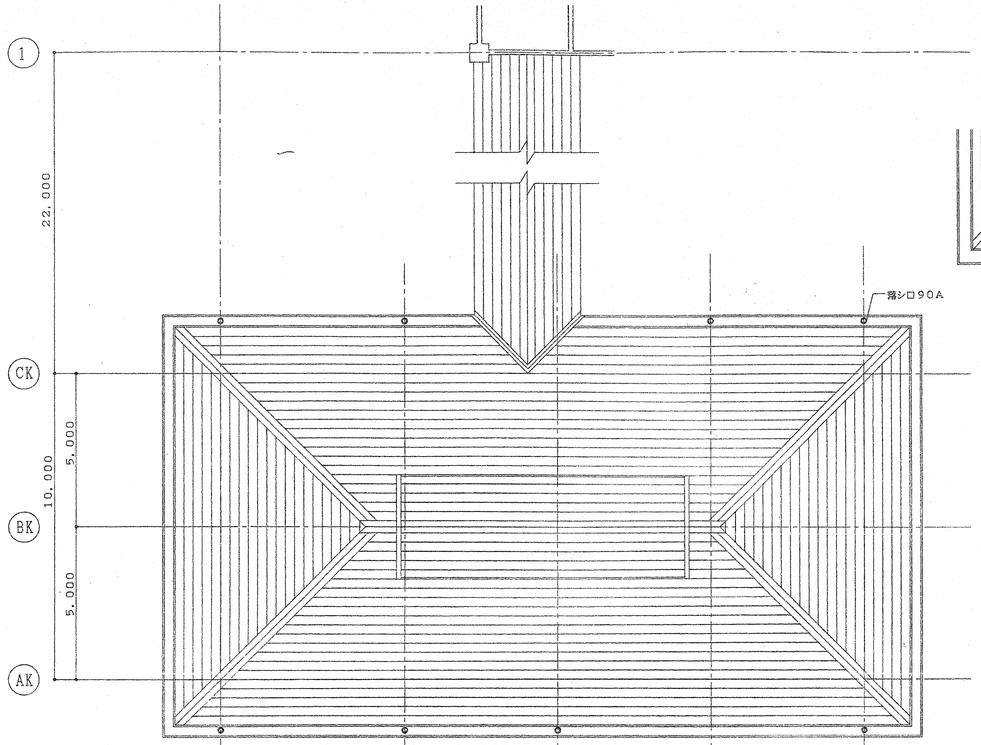
管理棟				渡り廊下	
大屋根	処理棟に同じ	建具	スチールドア SOP、カラーアルミサッシ、カラーアルミガラスカマチドア、	渡り廊下	屋根：フッ素樹脂鋼板葺き 美段ルーフ26 Ⓡ 0.4（木毛板 Ⓡ 25 アスファルトルーフィング 22kg下地）又は同等品
腰屋根	同上				外壁：ALC版 Ⓡ 100 被張 弾性系吹付材吹付，軒先ケラバ：フッ素樹脂鋼板 Ⓡ 1.6パネル張
		ポーチ	磁器質タイル 150□ （職員玄関ポーチ共） 客玄マット：ステンレス 1,200×750		軒裏：フッ素樹脂鋼板 Ⓡ 1.6 張
外壁	1階 同上		スロープ：磁器質タイル（ノンスリップ）		床下・天井：カラーアルミスパンドレル
	2階 同上	犬走り	――――		
		玄関庇	処理棟に同じ		
根廻	同上	職員玄関庇	同上		
		塗装	特記なき限り 鉄部見掛け全てSOP塗		
軒先	同上（落口 90φ）	その他	タテ樋：カラー塩ビ管 VP 75		

内部仕上表

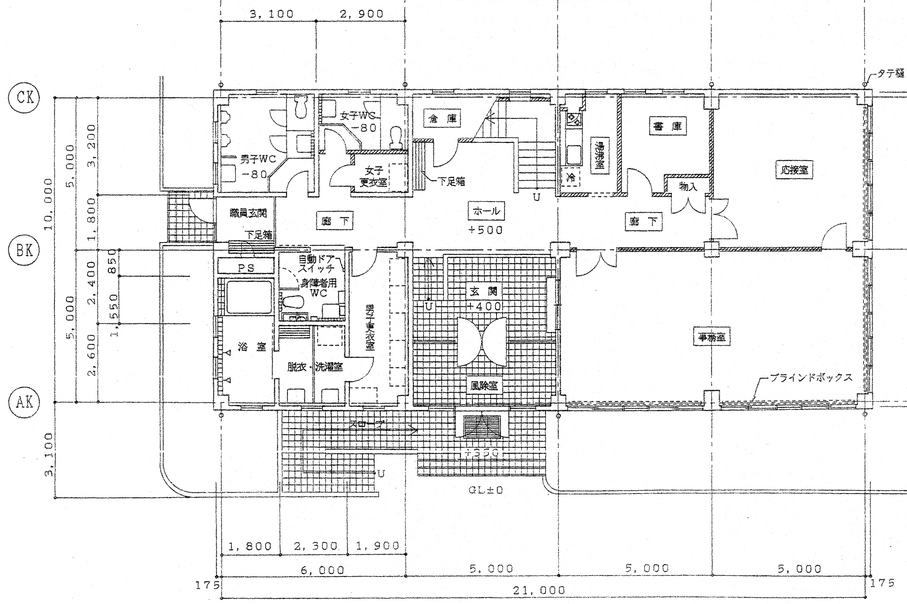
	室名	床 下地	床 仕上	巾木 仕上	巾木 塗装	壁 下地	壁 仕上	壁 塗装	天井 下地	天井 仕上	天井 塗装	天井 廻縁	室名札	ブラインド及びボックス	備考
1階	風除室	コンクリート金ゴテ	磁器質タイル貼 150角	――――		――――	磁器質タイル貼 50×100		軽鉄天井下地	アルミスパンドレル張		アルミ廻縁	――	――	
	玄関	〃	〃	――――		――――	〃		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	――	――	
	ホール	〃	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		PB Ⓡ12.5	ビニールクロス貼		〃	〃		〃	――	――	
	廊下	〃	〃	〃			〃		〃	〃		〃	――	――	
	事務室	〃	〃	〃		PBⓇ12.5 複合板Ⓡ22.5	〃		〃	〃		〃	○	○	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	応接室	〃	〃	〃		〃	〃		〃	〃		〃	○	○	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	書庫	〃	〃	〃		〃	〃		軽鉄天井下地	化粧石コウボード張		〃	○	――	
	男子更衣室	〃	〃	〃		〃	〃		〃	〃		〃	○	――	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	女子更衣室	〃	〃	〃		〃	〃		〃	〃		〃	○	――	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	湯沸室	〃	〃	〃		防水PB Ⓡ 12.5	ビニールクロス貼 一部タイル貼		〃	フレキシブルボード張	VP	〃	○	――	流し台 L=1,200，ガス台 L=600，ガステーブル 2□1ケ，吊戸棚 L=1,200
	男子便所	アスファルト防水	磁器質25角タイル貼	アスファルト防水立上H=200		――――	半磁器100角タイル貼		〃	〃	〃	〃	○	――	手洗器・小便器は感知式自動水洗
	女子便所	〃	〃	〃		――――	〃		〃	〃	〃	〃	○	――	手洗器・小便器は感知式自動水洗
	階段室下倉庫	コンクリート金ゴテ	コンクリート金ゴテ押エ	――――		コンクリート打放	一部 VP塗装		コンクリート打放	――――		――	○	――	
	脱衣・洗濯室	木製床組	長尺塩ビシート及び化粧フローリングボード張	木製巾木 H=100	SOP	PBⓇ12.5 複合板Ⓡ22.5	ビニールクロス貼		――――	フレキシブルボード張	VP	塩ビ製	○	――	
	浴室	アスファルト防水	磁器質100角滑り止めタイル貼	（腰：アスファルト防水立上 H=1,200 下地）		――――	半磁器100角タイル貼		軽鉄天井下地	パスリブ張		専用塩ビ製	○	――	排水ユニット：第1機材 SP-2 W=200，浴槽：FRP TOTO PYW1612
	職員玄関	コンクリート金ゴテ	磁器質タイル貼 150角	磁器質タイル貼 H=150		PB Ⓡ 12.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	――	――	
	身障者用便所	均シモルタル	長尺塩ビシート貼	――――		――――	半磁器100角タイル貼		軽鉄天井下地	フレキシブルボード張	VP	〃	○	――	TOTO バリアフリー プランD-1 一式
	物入	コンクリート金ゴテ	〃	ソフト巾木 H=75		――――	シナ合板 Ⓡ 5.5		〃	シナ合板 Ⓡ 5.5		〃	――	――	
2階	会議室	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		PBⓇ12.5 複合板Ⓡ22.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張 （中央上天井）		塩ビ製	○	○（電動）	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇、 暗幕、 ビデオスクリーン（天井収納電動式）
	小会議室	〃	〃	〃		〃	〃		〃	岩綿吸音板張		〃	○	○	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	休憩室	〃	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		〃	〃		軽鉄天井下地	化粧石コウボード張		〃	○	○	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	和室	木製床組	タタミ	タタミ寄セ		〃	〃		〃	化粧石コウボード張（杉柾）		木製 40×45	○	――	パッケージエアコン（天吊型）・空調用換気扇
	ホール	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート貼	ソフト巾木 H=75		〃	〃		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張		塩ビ製	――	――	
	廊下	〃	〃	〃		〃	〃		〃	岩綿吸音板張		〃	――	――	
	湯沸室	〃	〃	〃		防水PBⓇ12.5 複合板Ⓡ22.5	ビニールクロス貼 一部タイル貼		軽鉄天井下地	フレキシブルボード張	VP	〃	○	――	
	男子便所	アスファルト防水	磁器質25角タイル貼	アスファルト防水立上H=200		――――	半磁器100角タイル貼						○	――	手洗器・小便器は感知式自動水洗
	女子便所	〃	〃	〃		――――	〃						○	――	手洗器・小便器は感知式自動水洗
共通	階段室	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=75		PBⓇ12.5 複合板Ⓡ22.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張			――		
		フミ面・蹴込共：均シモルタル，長尺塩ビシート，サカリ：テラゾーブロック，ノンスリップ：ステンレス ゴムタイヤ入り，手スリ：コンクリート打放 アクリル系弾性タイル吹付，笠木：テラゾーブロック 段裏：アクリルリシン吹付、一部岩綿吸音板													
	渡り廊下	コンクリート金ゴテ	長尺塩ビシート	ソフト巾木 H=75		PB Ⓡ 12.5	ビニールクロス貼		軽鉄天井下地 PB Ⓡ9.5 捨張	岩綿吸音板張			――		

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島藤津地区衛生施設組合殿
承認	[illegible]	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.27	図面名称 管理棟 仕上表
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-112010 ⚠1
			出図年月日 / 整理番号

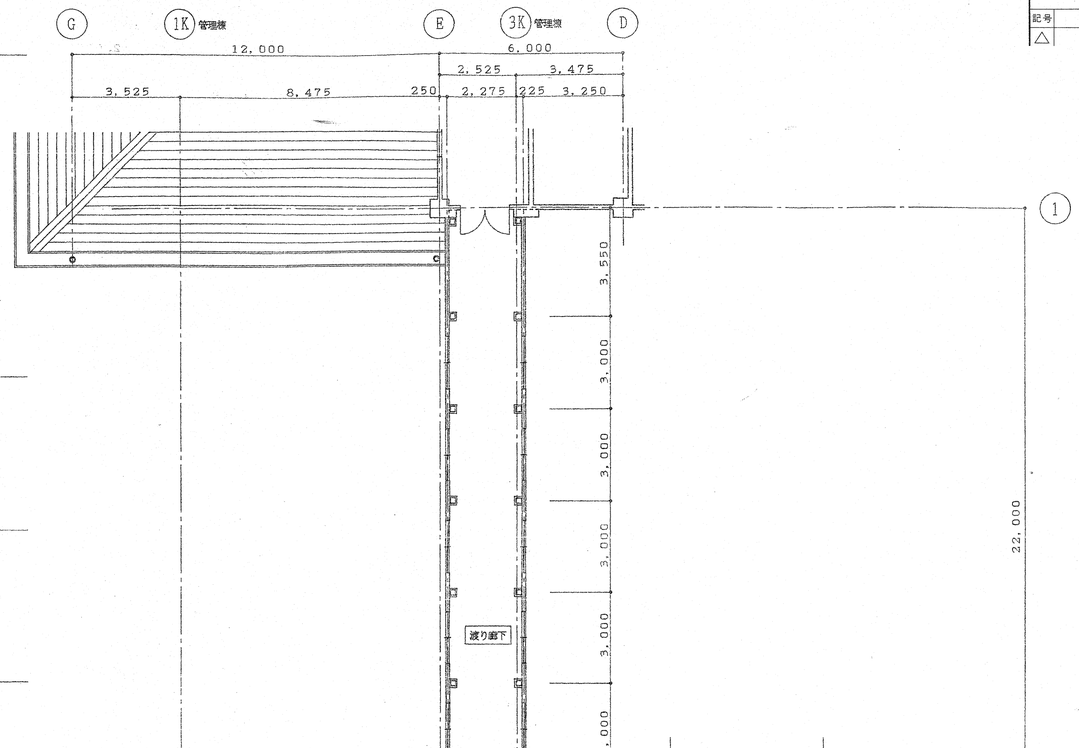
3/24



屋根平面図



1階平面図



2階平面図

凡例

壁

軽鉄下地

RC壁

1K ～ 2K X AK ～ CK 間1階下は駐車用2重床

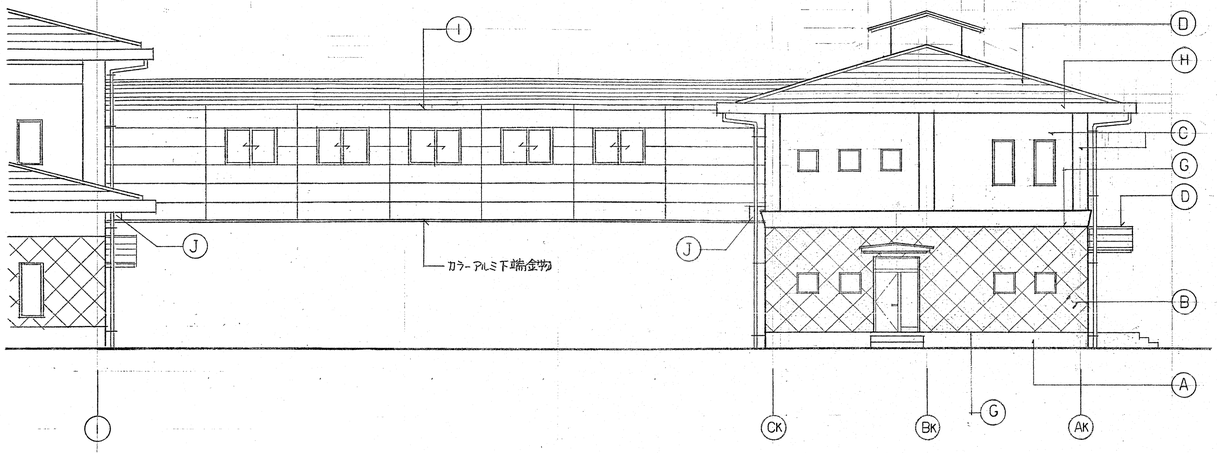
図面・来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂井 97.7.20	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	長野 97.7.24		
照査	久保 97.7.24	図面名称	管理棟
設計			1・2階・屋根平面図
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/100
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	WR－112021 △0
		出図年月日	整理番号

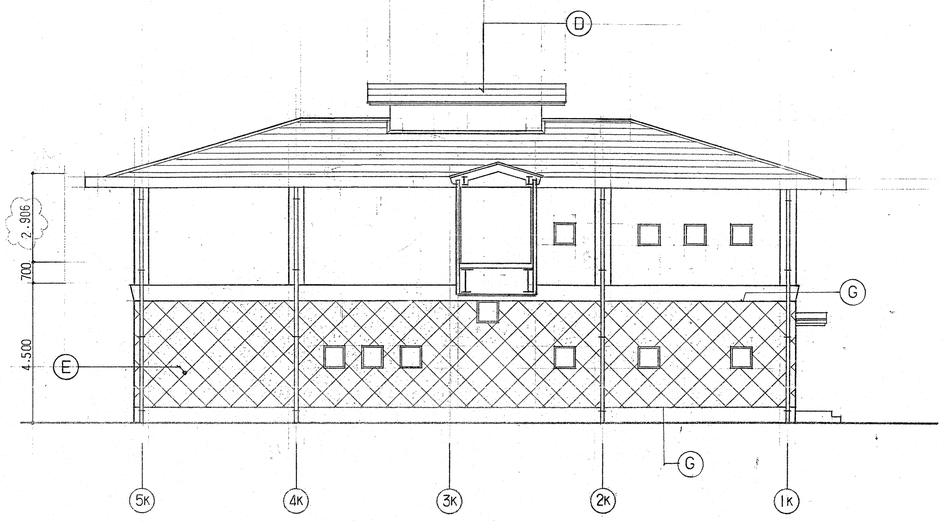
NES N2096A-A

A1

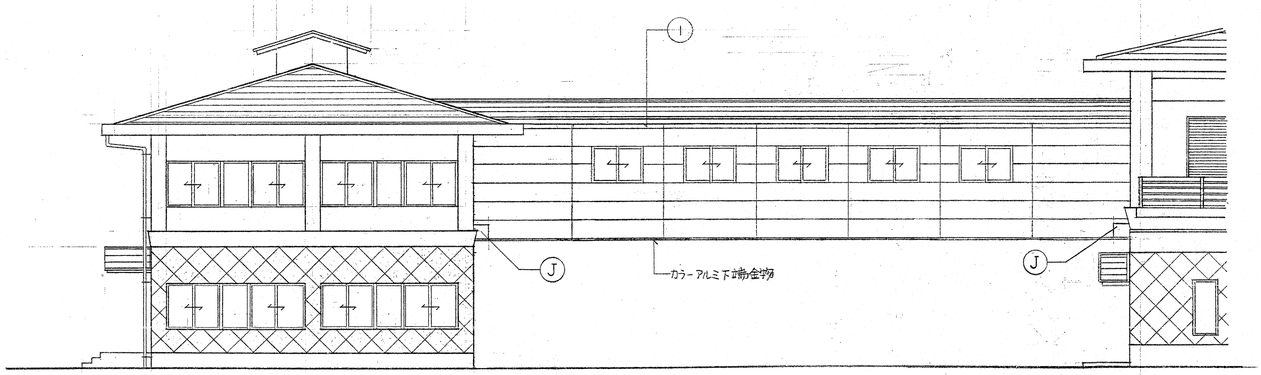
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠1	渡り廊下階高変更	[illegible]	97.9.2



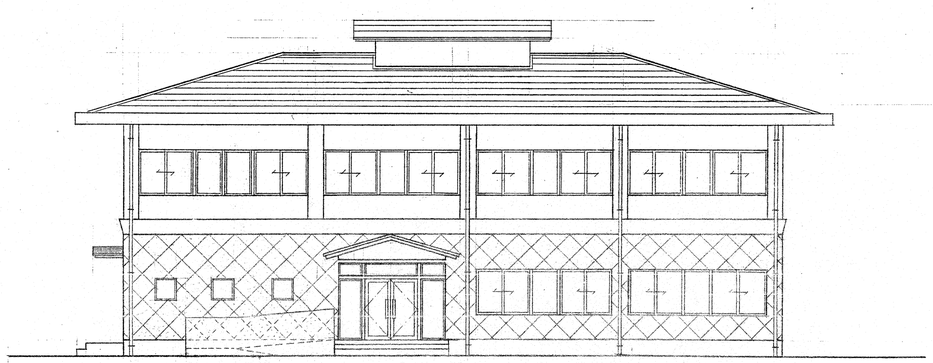
西側立面図 S＝1／100



北側立面図 S＝1／100



東側立面図 S＝1／100



南側立面図 S＝1／100

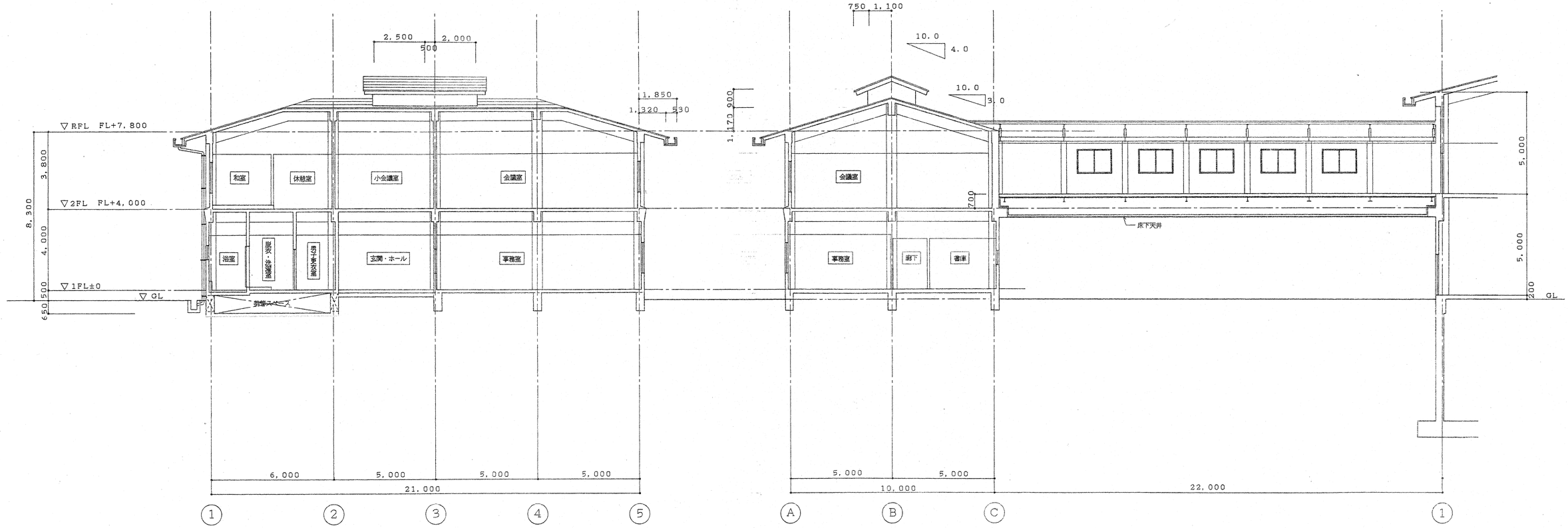
凡例			
Ⓐ	根廻：コンクリート打放　弾性系吹付材	㊀	化粧　凹目地
Ⓑ	壁：コンクリート打放　天然石調厚付仕上材	Ⓗ	笛縁：化粧幕板
Ⓒ	壁：コンクリート打放　弾性系吹付材	Ⓘ	渡り廊下　斬先化粧幕板
Ⓓ	屋根：ﾌｯ素樹脂鋼板　横葺	Ⓙ	一般屋梁コンクリート打放　弾性系吹付材
Ⓔ	化粧目地：天然石調厚付仕上材　色別（深2.5mm 巾10mm）		

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.1.20	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.1.20	図面名称	管理棟　立面図
照査	久保 97.1.17		
設計	・・		
製図	加井 96.11.18		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1／100　第　角法
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－112030　⚠1
		出図年月日	整理番号

3/24

52

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				



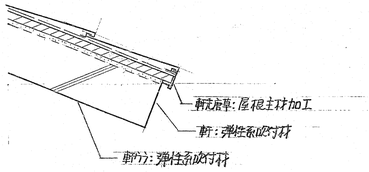
A－A 断面図

B—B 断面図

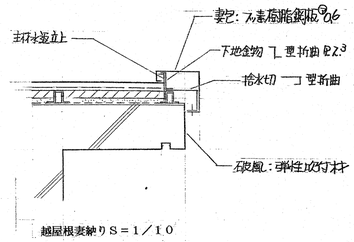
工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	牧吉 97.7.24	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾形 97.7.24		
照査	久保 97.7.24	図面名称	管理棟・渡り廊下
設計			断面図
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/100
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	WR－112040 △0
		出図年月日	整理番号

NES NF3016A △
A1

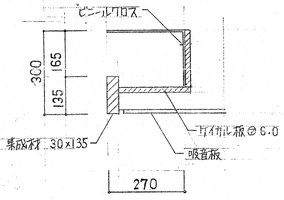
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



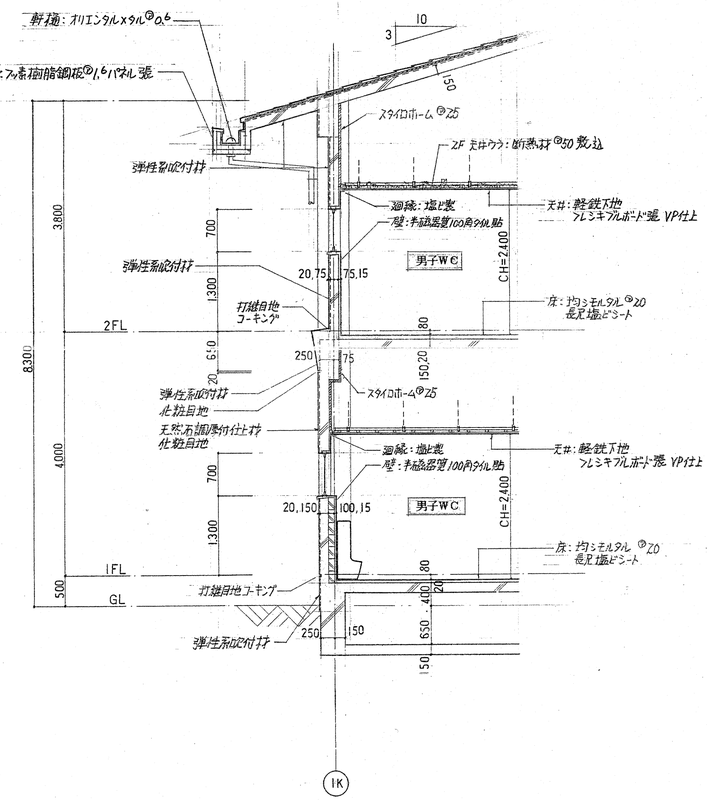
越屋根軒先納り S＝1／10

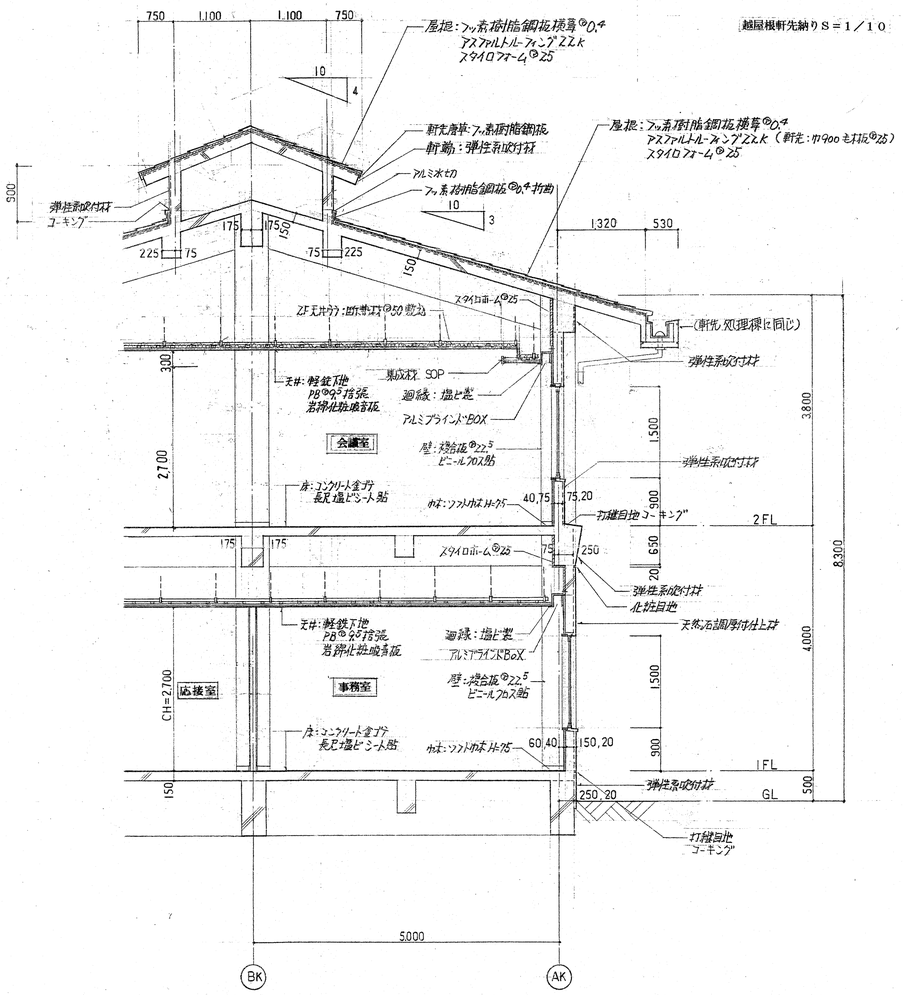


越屋根妻納り S＝1／10



上り天井断面図 1/10





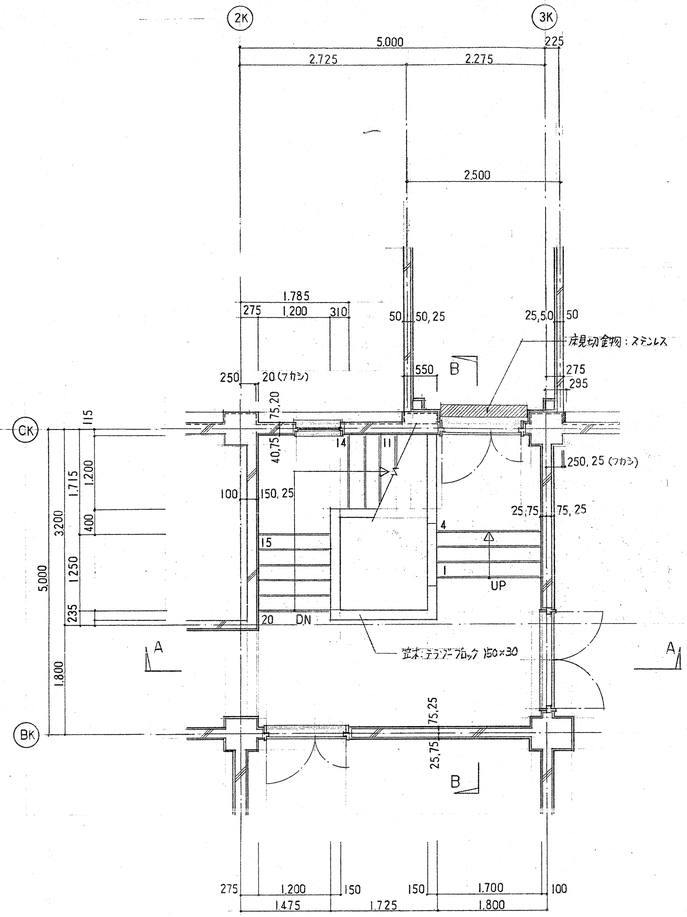
工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.1.20	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸ﾆ 97.1.20	図面名称	管理棟 矩計図
照査	久保 97.1.17		
設計	・・		
製図	石井 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1／50
		第	角法
		標準図番号	
		図面番号	WR－112050 △0
		出図年月日	
		整理番号	

NES NP70016A △

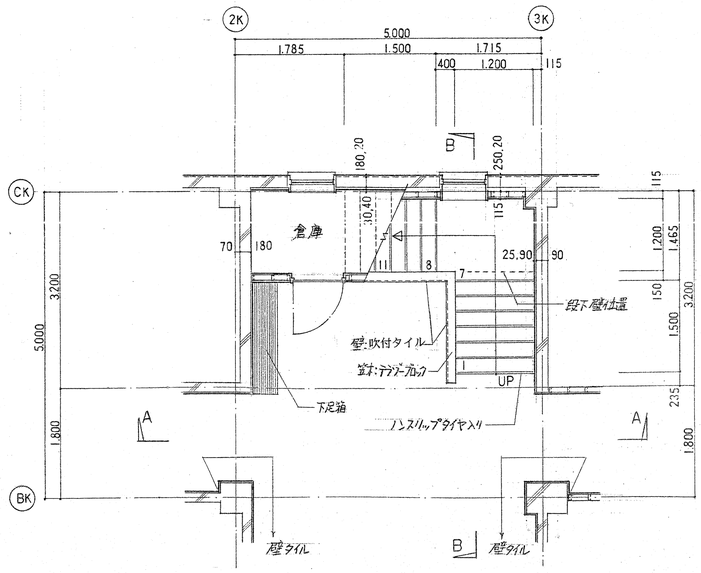
5/24

A1

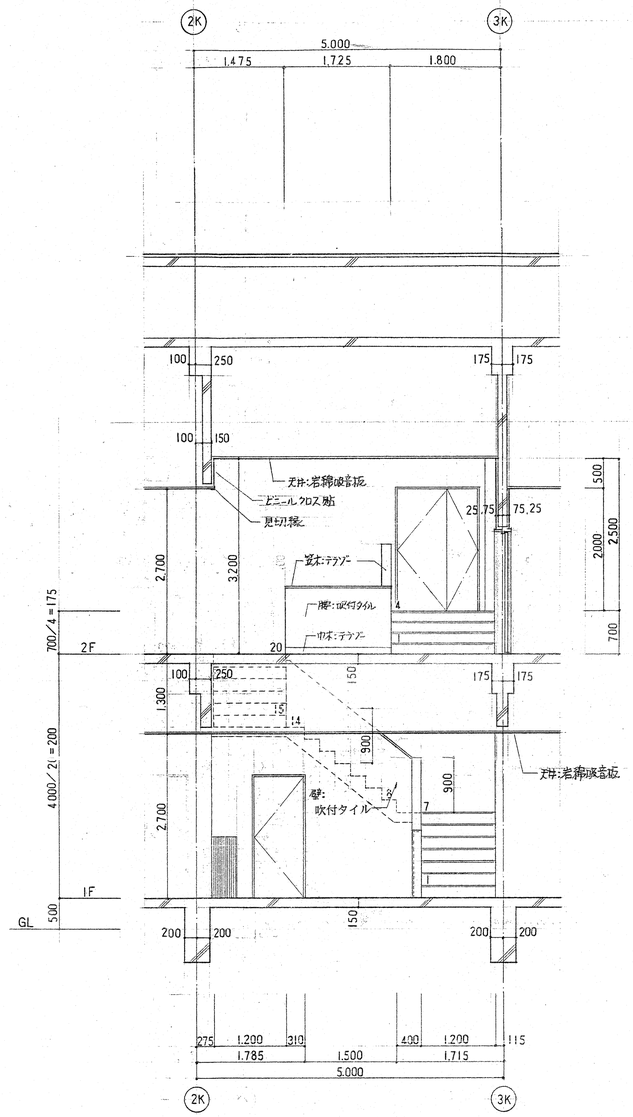
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



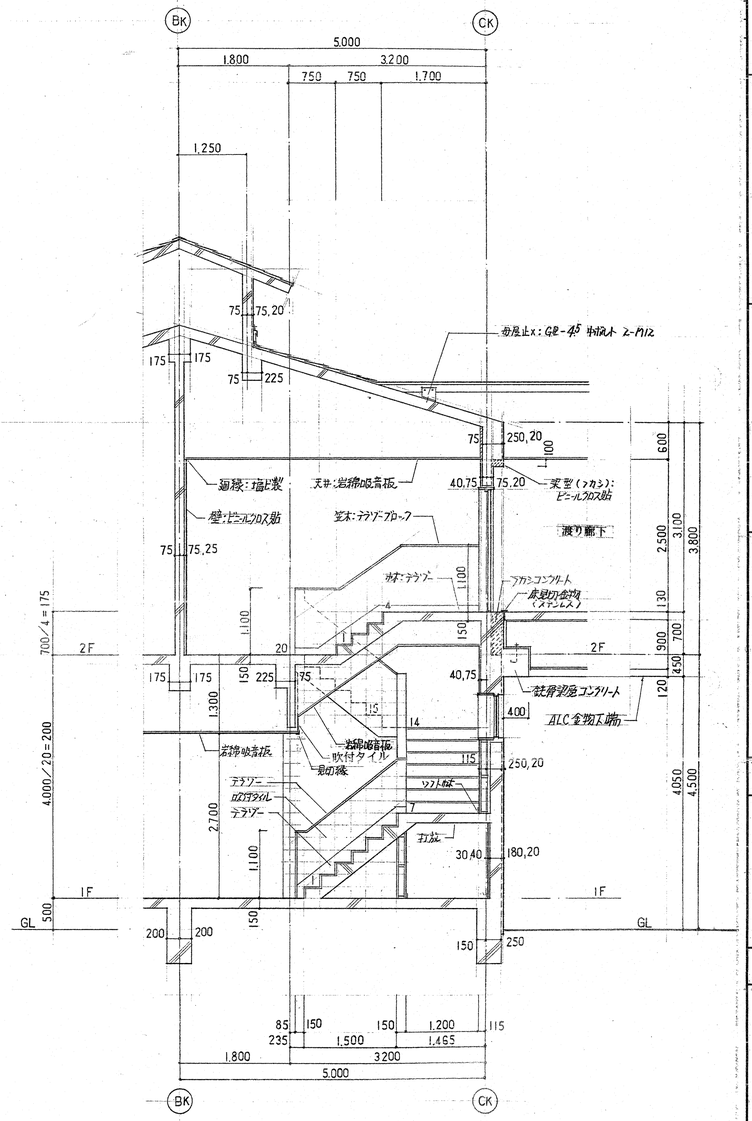
2階平面図



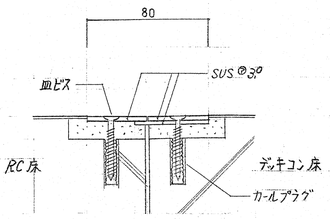
1階平面図



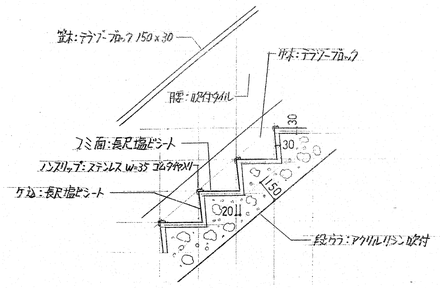
A－A断面図



B－B断面図



床見切金物 S=1/2



部分詳細 1／20

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸上	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 管理棟 階段詳細図
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

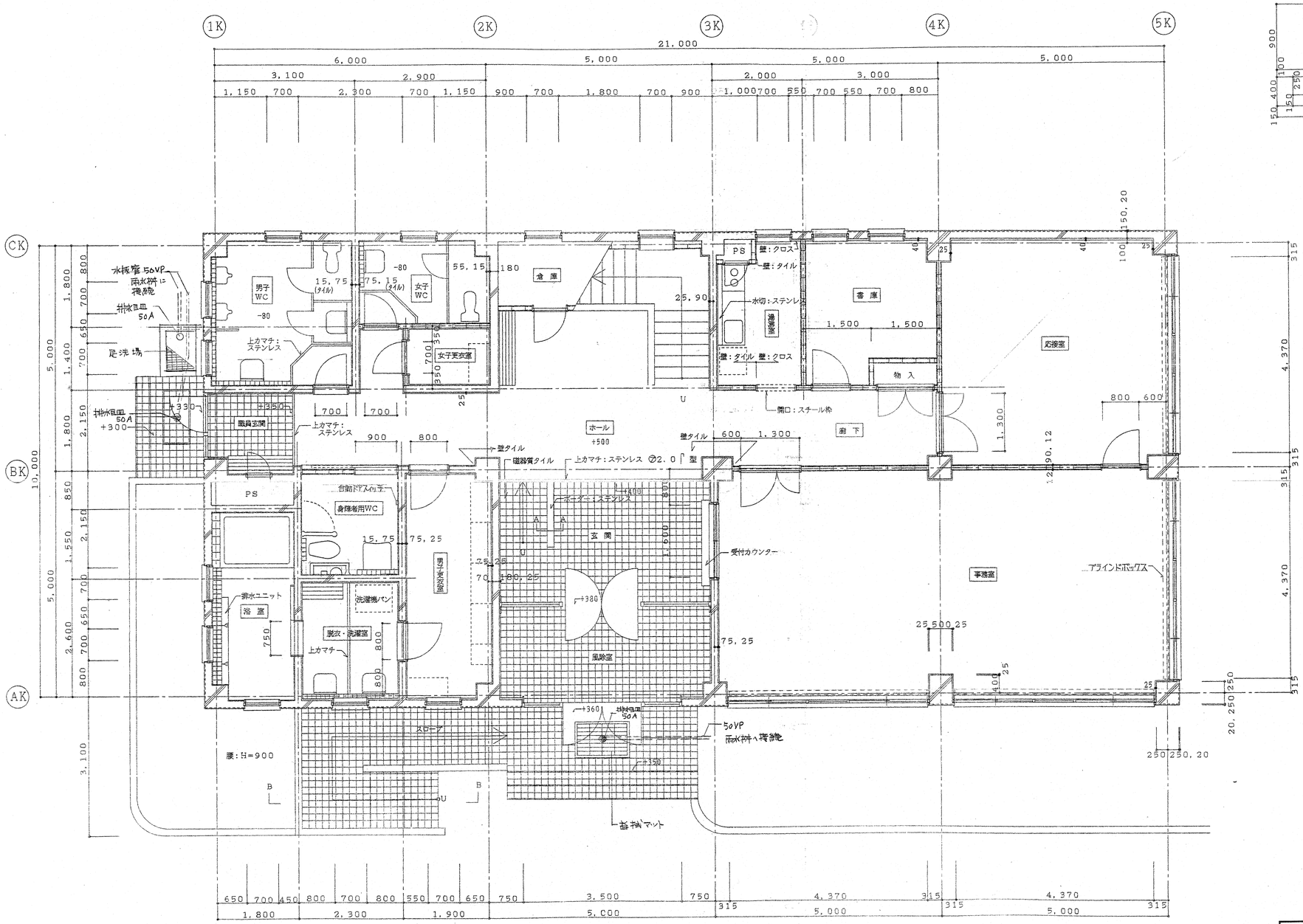
NKK 日本鋼管株式会社

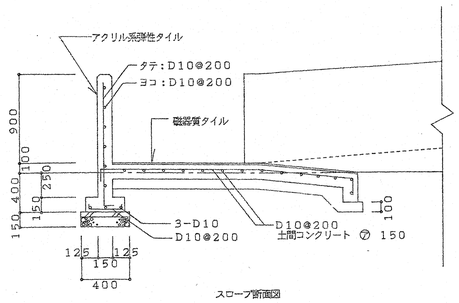
尺度		第 角法	標準図番号
図面番号	WR－112060	△0	
出図年月日		整理番号	

3/24

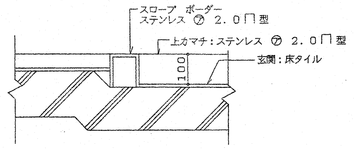
A1

図面来歴				
記号	記事	番	名	年月日
△				





スロープ断面図
B－B　S=1/30



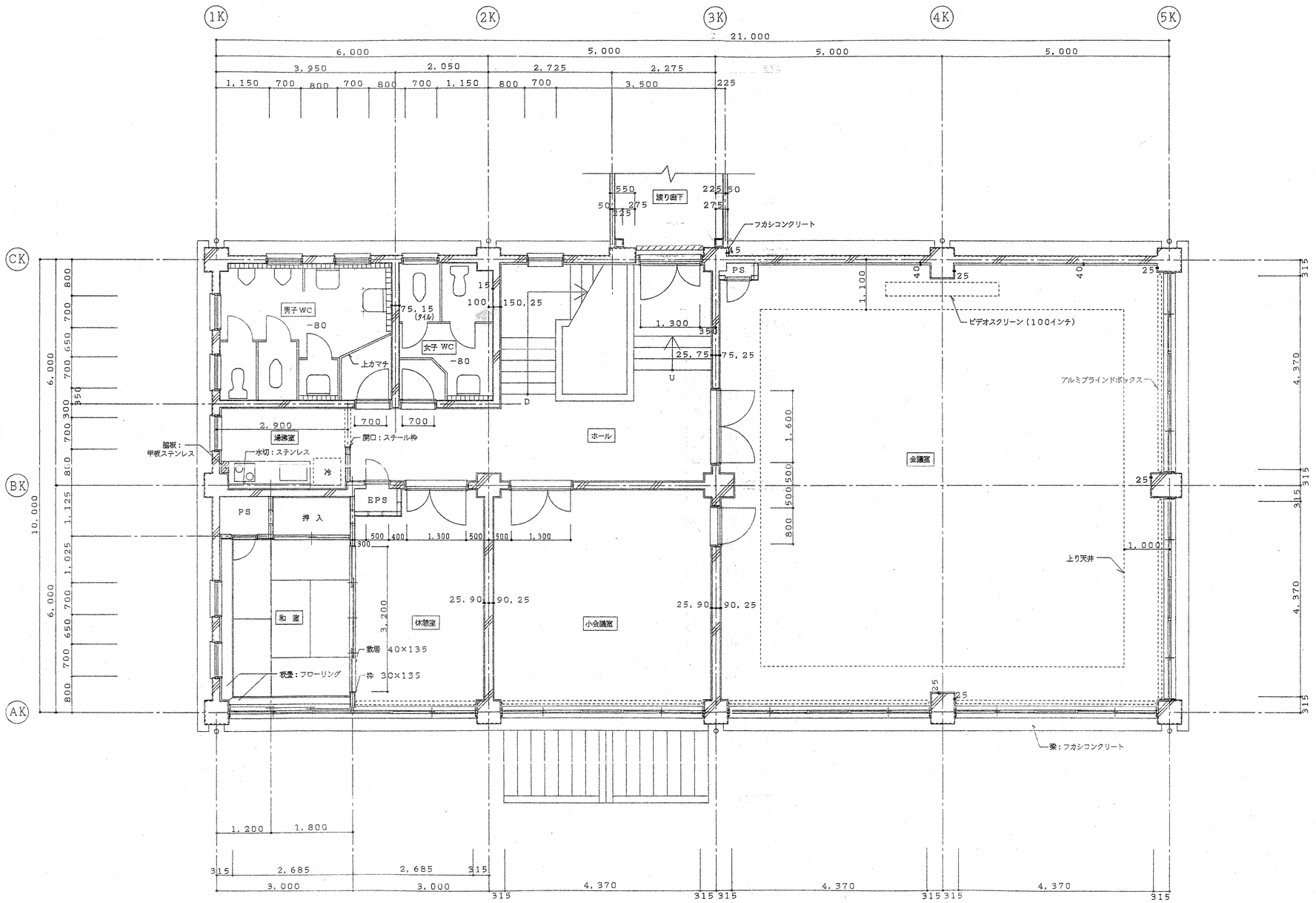
ボーダー ステンレス　S=1/10
A－A

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.27		
照査	久保 97.3.25	図面名称	管理棟
設計	・・		1階平面詳細図
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/50
		第	角法
		標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－112070
		出図年月日	整理番号

3/24

NES NP3706A

図面来歴					
記号	記事	署名			年月日
△					



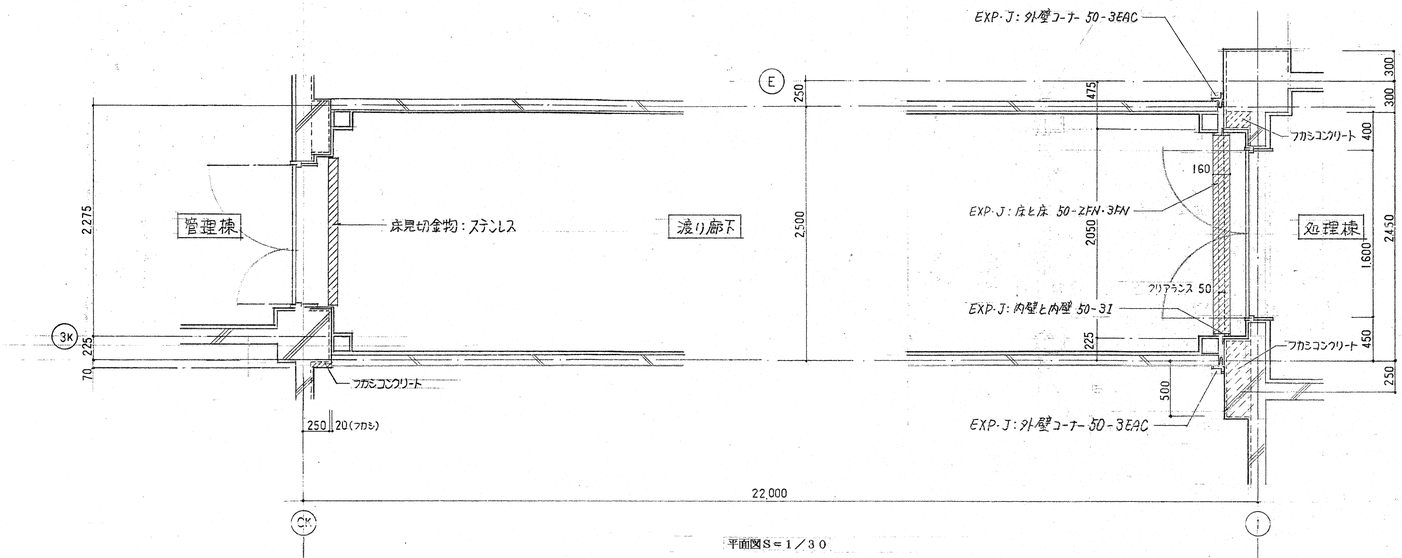
工事番号	EL−6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂本	97.7.24	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
無査	尾形	97.7.24	
無査	久保	97.7.24	図面名称 管理棟 2階平面詳細図
設計		・・	
製図	石井	97.7.23	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部		

NKK 日本鋼管株式会社

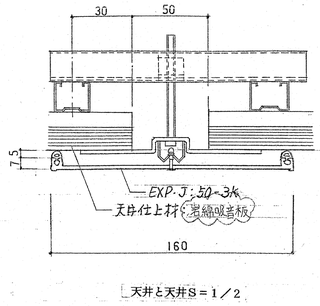
尺度	1/50	第 角法	標準図番号
図面番号	WR−112080		△0
出図年月日		整理番号	

NES NF2706A △

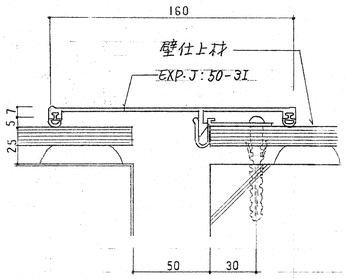
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板訂正、ｽﾛｰﾌﾟ勾配変更	林	97.7.4



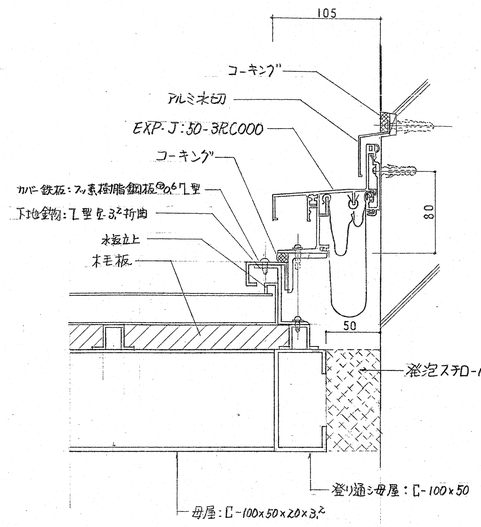
平面図S＝1／30



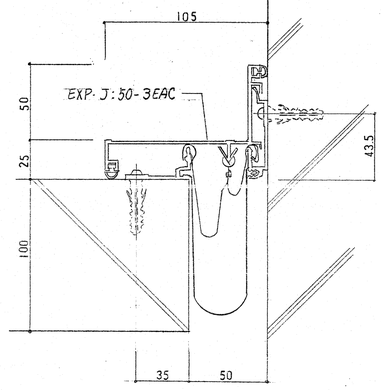
天井と天井S＝1／2



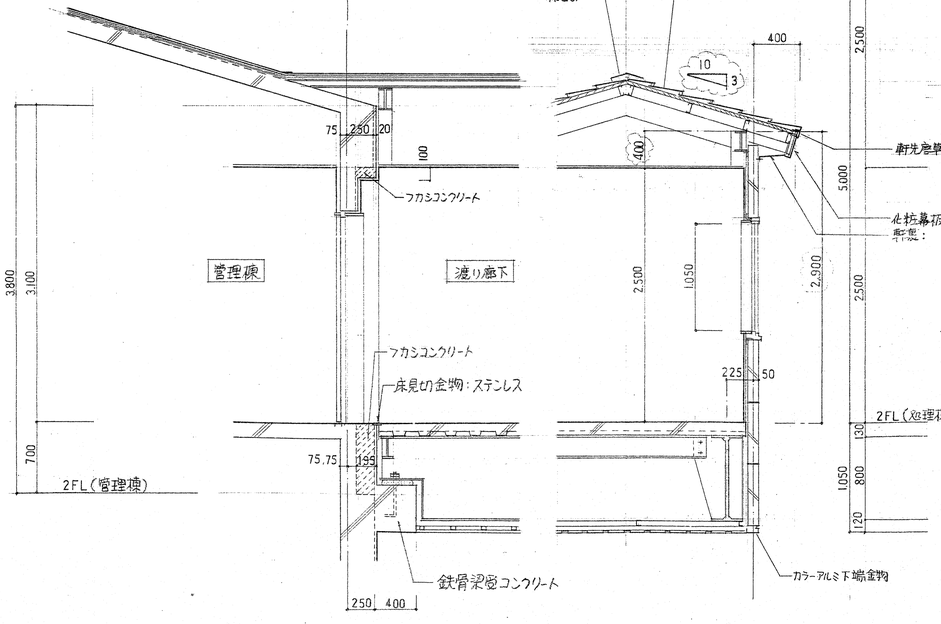
内壁と内壁S＝1／2



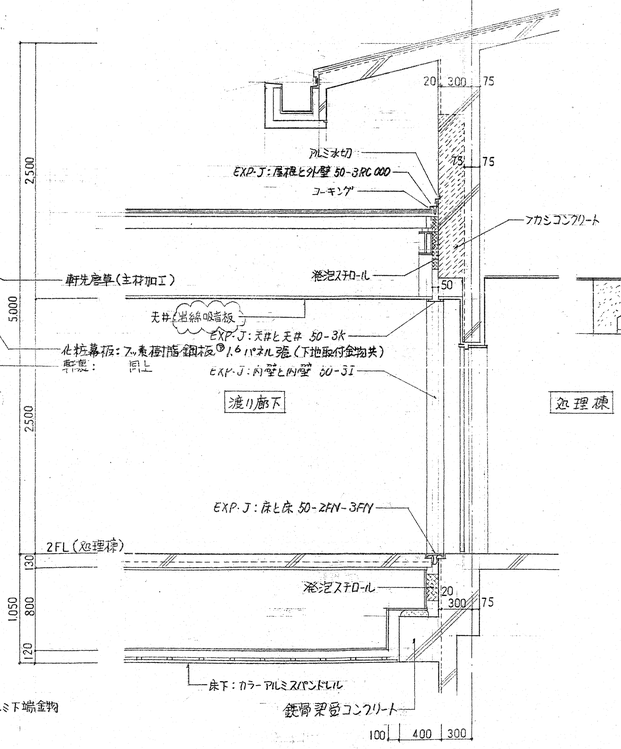
屋根と外壁S＝1／3



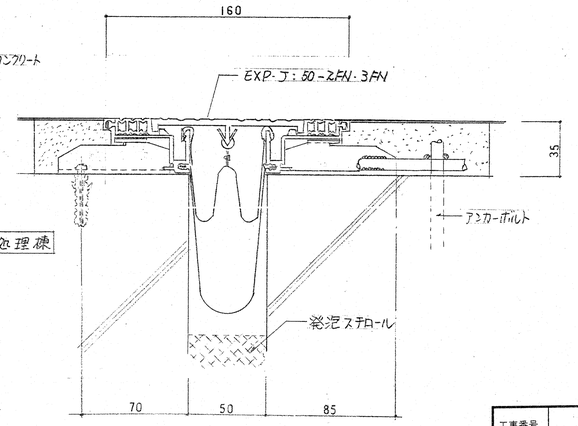
外壁コーナーS＝1／2



CK 通り断面図S＝1／30



1 通り断面図S＝1／30

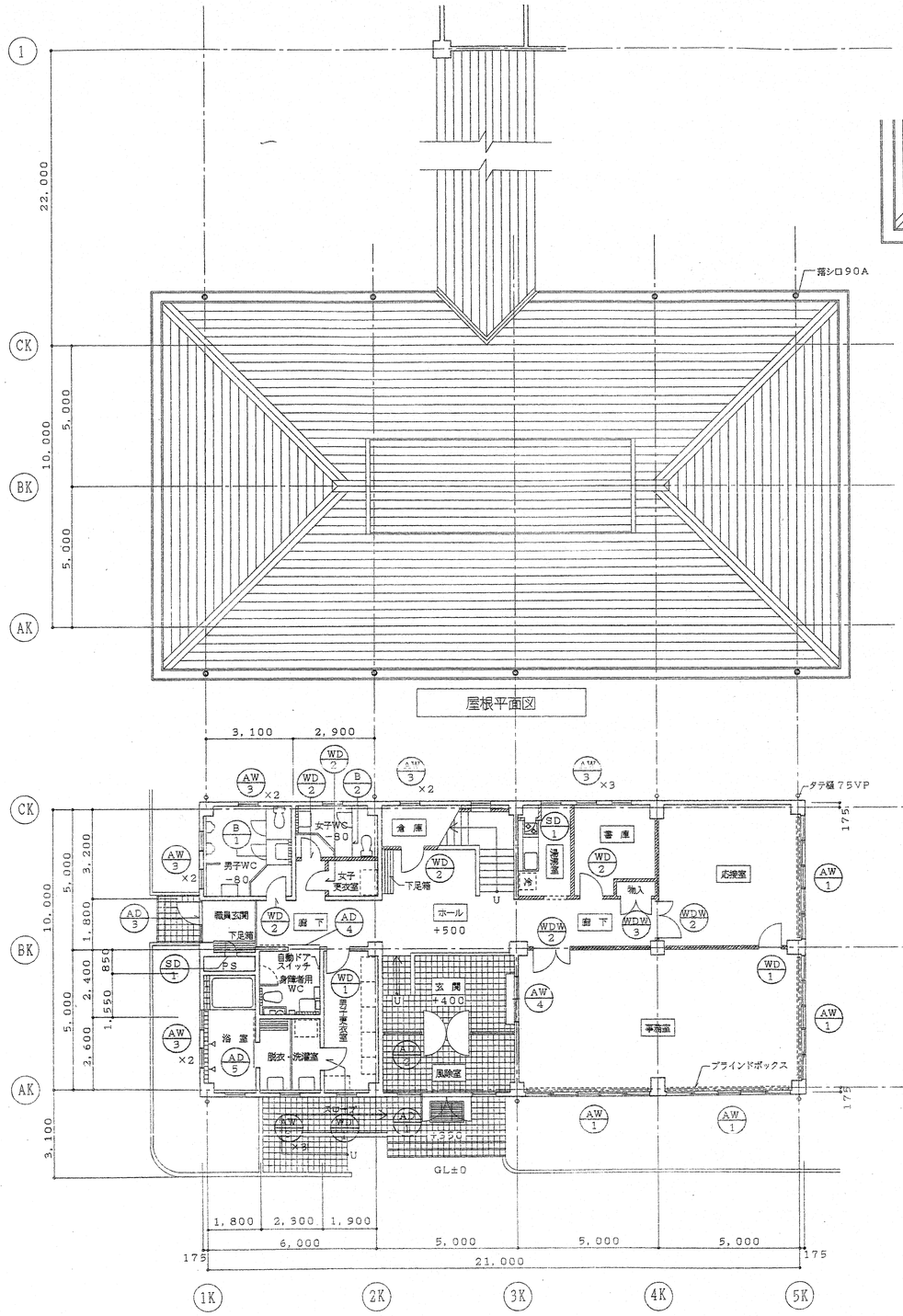


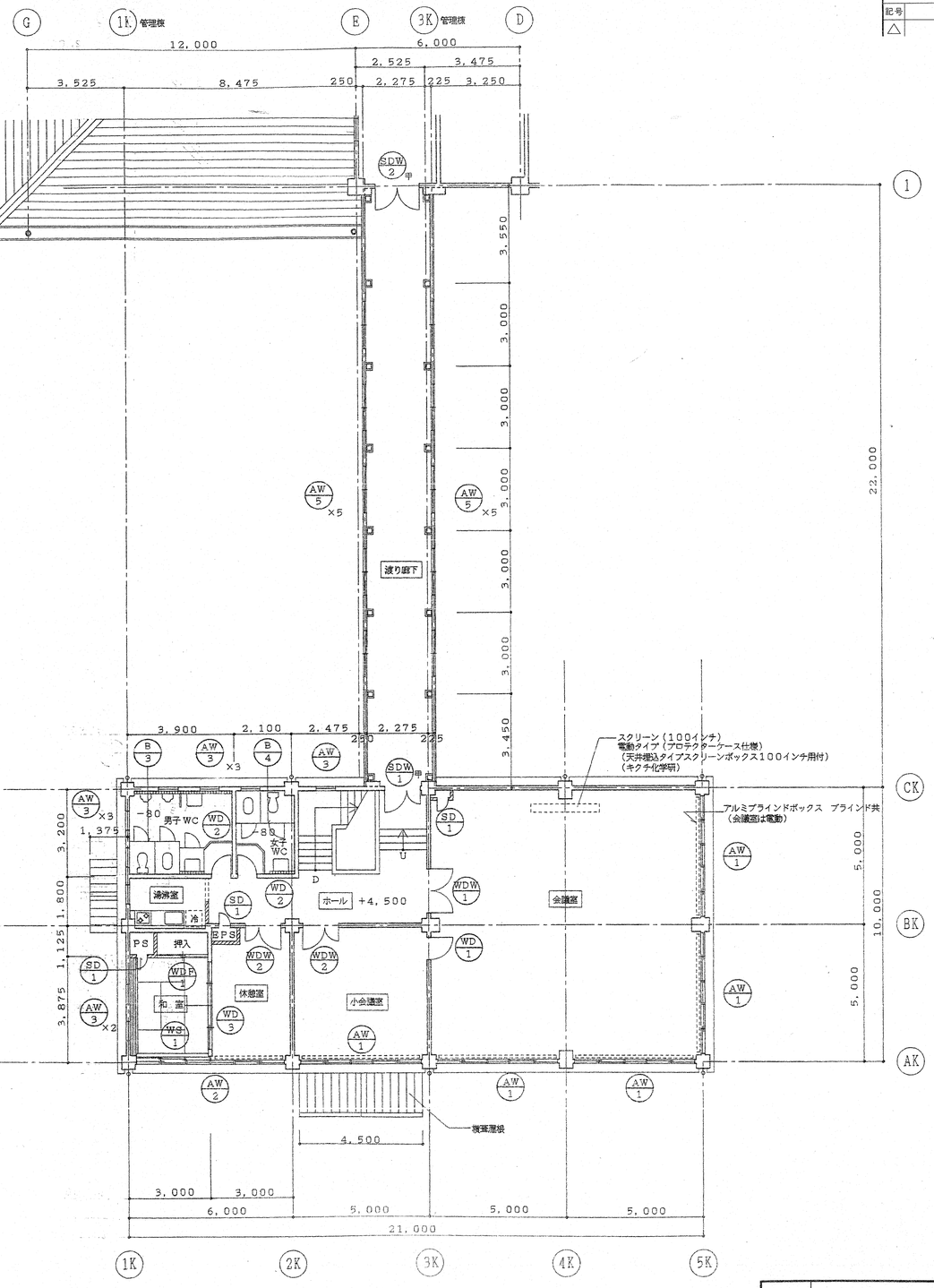
床と床S＝1／2

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	図面名称 管理棟 渡り廊下詳細図
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 / 第角法 / 標準図番号 / 図面番号 WR-112090 / 出図年月日 / 整理番号

H 3/24

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				





2階平面図

凡例

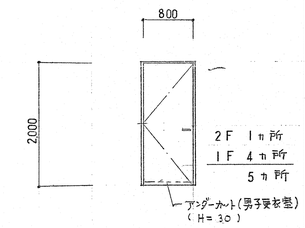
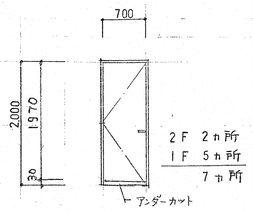
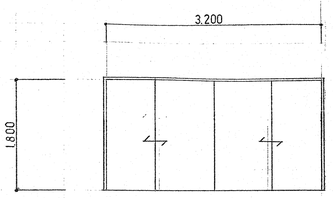
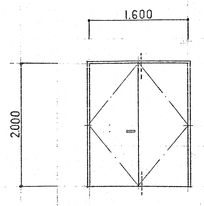
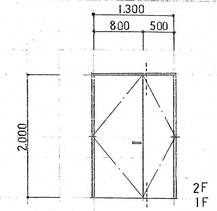
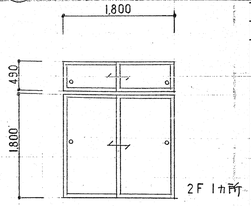
壁
- 軽鉄下地
- RC壁

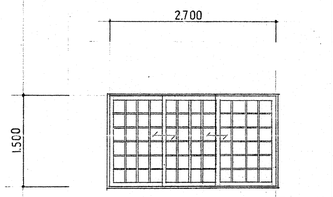
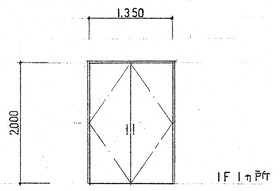
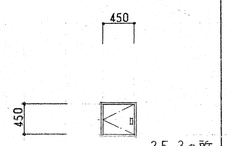
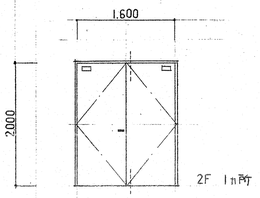
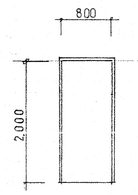
1K ～ 2K × AK ～ CK 間1階下は配管用2重床

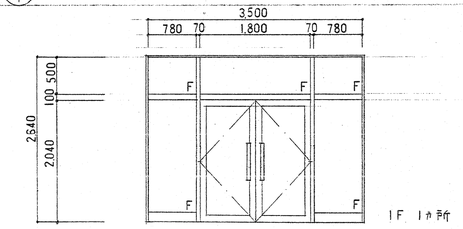
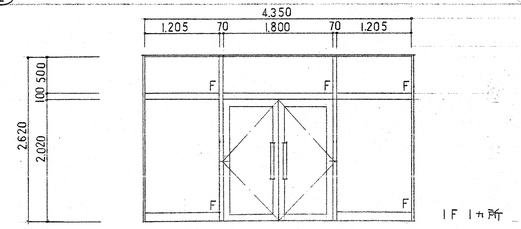
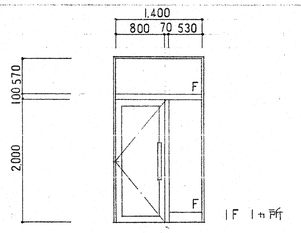
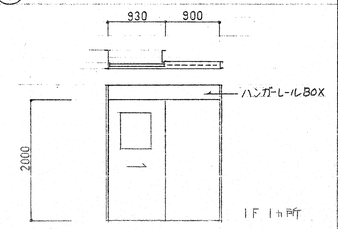
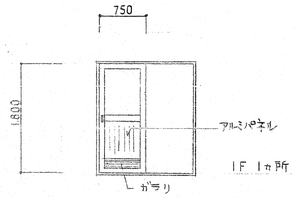
工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	牧野 97.7.30	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾形 97.7.24	図面名称	管理棟
照査	久保 97.7.24		建具表－1
設計			
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100
		第角法	標準図番号
		図面番号	WR－112100 △0
		出図年月日	整理番号

NES NF3701AA

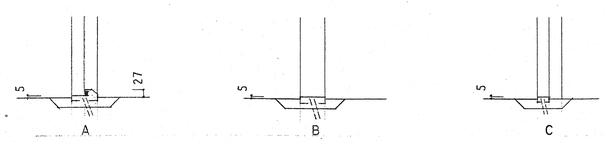
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

記号・室名	(WD 1) 応接室,男子更衣室,会議室,	(WD 2) 男子WC,女子WC,女子更衣室,倉庫	(WD 3) 和室		(WDW 1) 会議室	(WDW 2) 応接室,休憩室,事務室,小会議室	(WDF 1) 和室
姿図							
型式	木製片開フラッシュドア(枠スチール)	同左 (同左)	4枚引違戸 フスマ		木製両開フラッシュ戸(枠スチール)	木製親子開フラッシュ戸 (同左)	木製引違フスマ
仕上	ポリエステル化粧合板	同左	ポリエステル化粧合板、ビニールクロス貼		ポリエステル化粧合板	ポリエステル化粧合板	新鳥の子貼
ガラス							
見込	36	同左	33		36	36	30
附属金物	ドアチェック、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、	同左	引手、戸車、		ドアチェック、レバーハンドル、ステンレス丁番、戸当り、フランス落	同左 (応接室・事務室 シリンダー錠)	引手
アングル							
沓摺	B	B			B	B	
備考							敷居スベリ

記号・室名	(WS 1) 和室	(WDW 3) 廊下	(SD 1) 職員浴周,湯沸室,ホール,会議室	(SDW 1) ホール	(SK 1) 湯沸室
姿図					
型式	引違障子	木製両開フラッシュ戸 (枠スチール)	パイプスペース点検扉	スチール両開ドア(傾斜)	スチール開口枠
仕上	スプルス素地	ポリエステル化粧合板	スチール㊐1.6 SOP (片面プレスドア)	スチール㊐1.6 SOP	スチール ㊐2.3 SOP
ガラス					
見込	30		25	80	80
附属金物	引手	把手、ステンレス丁番、マグネットキャッチャー	標準取付金物一式、平面ハンドル	レバーハンドル、ドアチェック、フランス落、ステンレス丁番、モノロック	
アングル					
沓摺		B		B	
備考	敷居スベリ、障子紙、			ドアチェックは内鎖調整装置付	

記号・室名	(AD 1) 風除室	(AD 2) 玄関	(AD 3) 職員玄関	(AD 4) 身障者用WC	(AD 5) 浴室
姿図					
型式	カラーアルミFIX(袖、ランマ付)両開ガラス框戸(片面由)	カラーアルミFIX(袖、ランマ付) 両開ガラス框戸(両面由)	カラーアルミFIX(袖、ランマ付) 片開ガラス框戸	身障者WC アルミ片引フラッシュドア(戸袋なし 電動タイプ°)	カラーアルミ片引戸
仕上	アルミ カラー	同左	同左	同左	同左
ガラス	ランマ:フロートガラス㊐5° 他:フロートガラス㊐6°	同左	ドア: 型ガラス㊐6° 他:フロートガラス㊐5°	スリガラス㊐4°	型ガラス㊐4°
見込	100	100	100		
附属金物	把手、ステンレス丁番、シリンダー錠、ガムターン、ドアチェック、	把手、フロアヒンジ、フランス落、	把手、ステンレス丁番、シリンダー錠、ガムターン、ドアチェック、		引手、
アングル					
沓摺			A		
備考				ドアユニット HDC-2 電動標準装置一式(ナブコ身障者トイレユニット)	

沓摺タイプ
(ステンレス㊐2.0製)

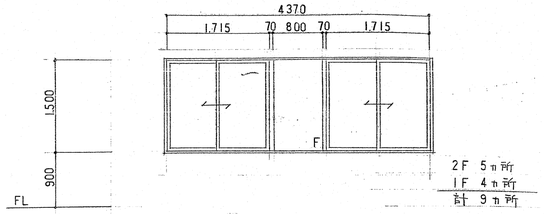
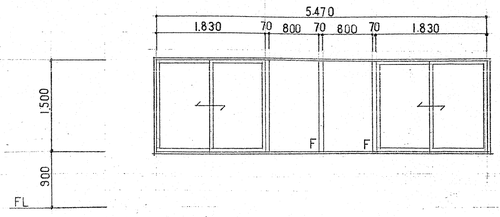
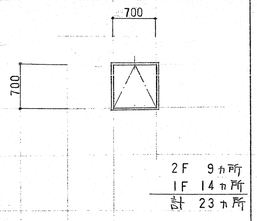
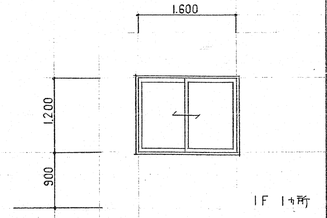
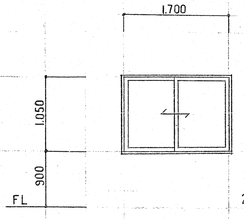


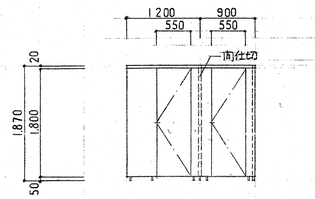
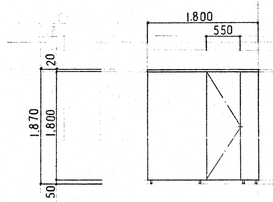
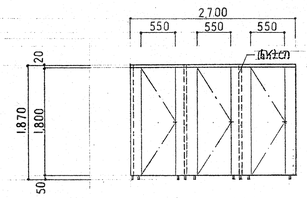
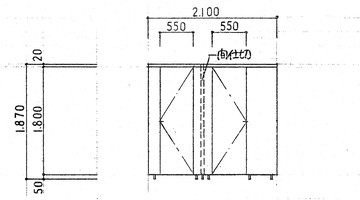
註

1. ガラス押エは、シーリング留メとする。
2. 居室マドは、アミ戸付

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.26	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28	図面名称	管理棟 建具表-2
照査	久保 97.3.25		
設計			
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	第 角法 標準図番号
		図面番号	WR-112110 ⓪
		出図年月日	整理番号

図面来歴				
記号	記事	審	名	年月日
△				

記号・室名	AW 1 事務室，会議室	AW 2 和室，休憩室	AW 3 男子更衣室，男子WC，和室，応接，洗濯室，来室，女子WC，倉庫，湯沸室，書庫，階段	AW 4 玄関	AW 5 渡り廊下	
姿図	 2F 5ヵ所 1F 4ヵ所 計 9ヵ所	 2F 1ヵ所	 2F 9ヵ所 1F 14ヵ所 計 23ヵ所	 1F 1ヵ所	 2F 10ヵ所	
型式	カラーアルミ連窓引違サッシ（FIX付）	同左	カラーアルミ突出サッシ	カラーアルミ引違サッシ	カラーアルミ引違サッシ	
仕上	アルミカラー	同左	同左	同左	同左	
ガラス	フロートガラス@5.0	同左	同左	同左	同左	
見込	70	同左	同左	同左	同左	
附属金物	クレセント、水切	同左	クレセント、アームストッパー	クレセント、下框はフラットタイプ	クレセント	
アングル						
沓摺						
備考						

記号・室名	B 1 男子WC	B 2 女子WC	B 3 男子WC	B 4 女子WC	
姿図	 1F 1ヵ所	 1F 1ヵ所	 2F 1ヵ所	 2F 1ヵ所	
型式	トイレブース	同左	同左	同左	
仕上	ポリエステル化粧合板	同左	同左	同左	
ガラス					
見込	40	同左	同左	同左	
附属金物	ラバトリーヒンジ、戸当り棚受手掛、表示錠、表付金物、錠ツナギ：ステンレス40×20	同左	同左	同左	
アングル					
沓摺					
備考					

記号・室名	
姿図	
型式	
仕上	
ガラス	
見込	
附属金物	
アングル	
沓摺	
備考	

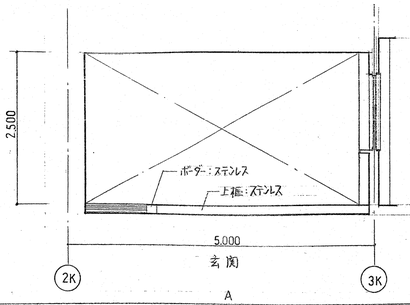
工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	林田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.27		
照査	久保 97.3.25	図面名称	管理棟 建具表－3
設計	・・		
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－112120 △0
		出図年月日	整理番号

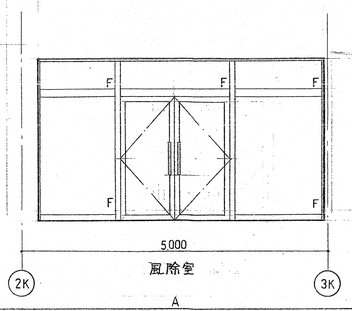
NES NP2016A △

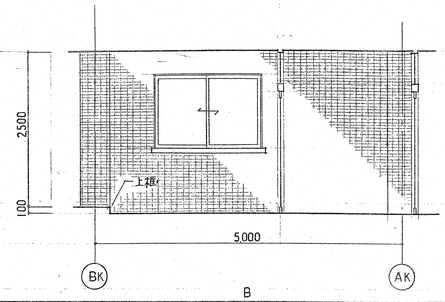
61

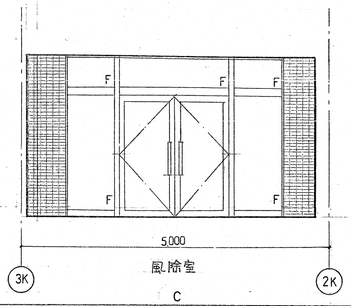
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板 訂正	内	97.3.2

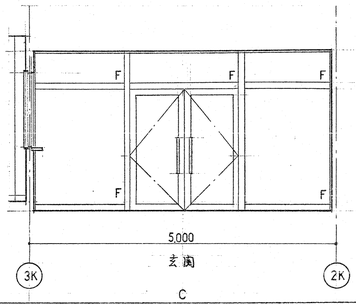
室名	風除室	玄関
床	磁器質タイル 150角	磁器質タイル 150角
巾木	――	――
壁	磁器質タイル 50×100	磁器質タイル 50×100
天井	アルミスパンドレル	岩綿吸音板張
備考		

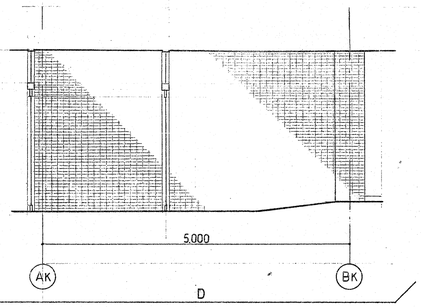




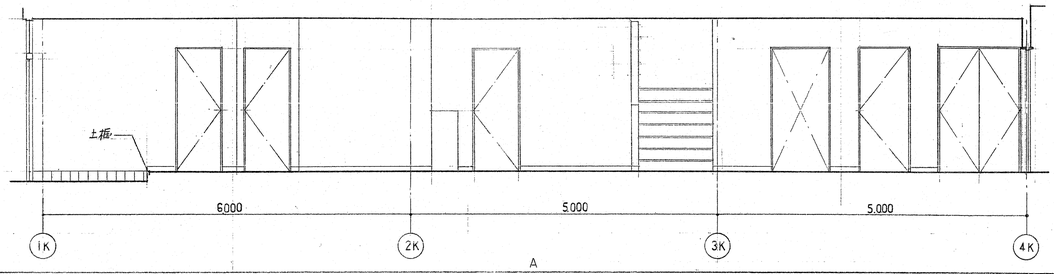


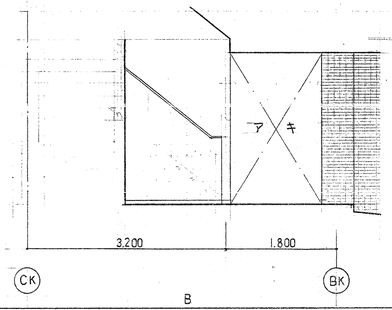


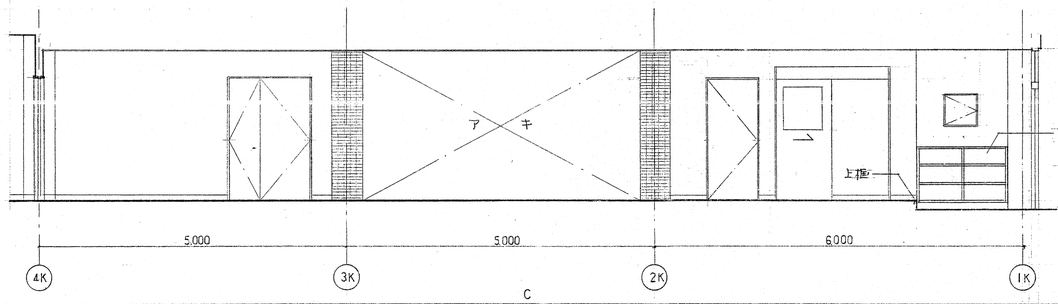


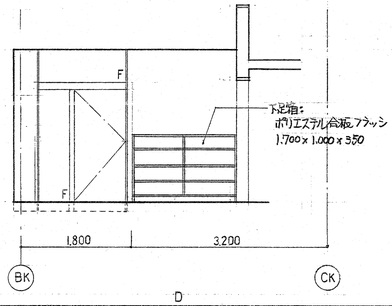


室名	職員玄関 ホール 廊下
床	磁器質タイル 150角 長尺塩ビシート
巾木	同上 リフトン巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板張
備考	

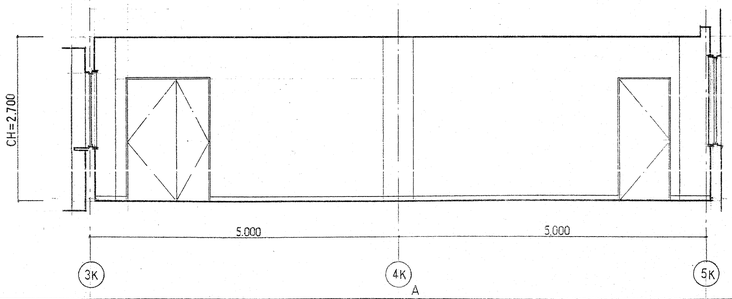


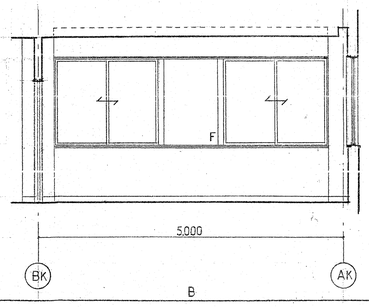


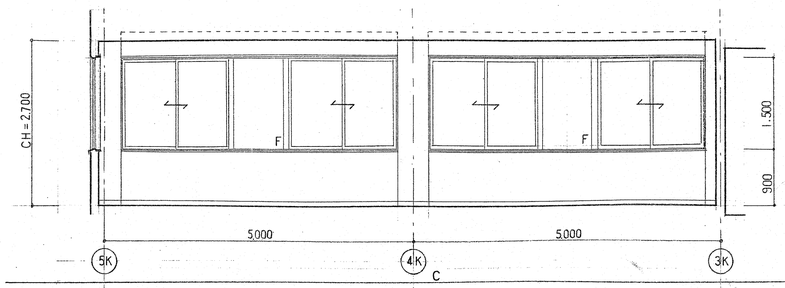


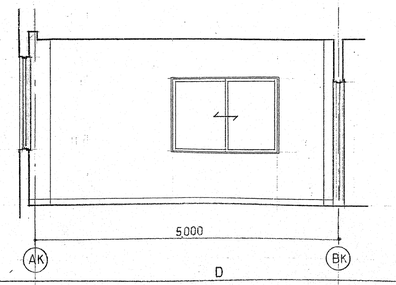


室名	事務室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	リフトン巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板張
備考	









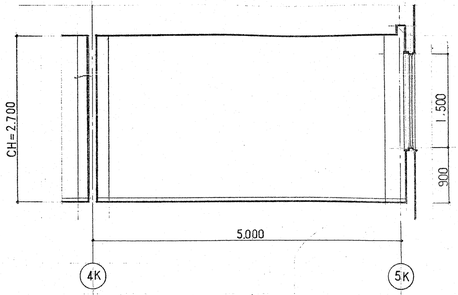
工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	林田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	
照査	久保	97.3.25	図面名称 管理棟 展開図－1
設計		‥	
製図	石丰	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－112130 ⚠
			出図年月日 / 整理番号

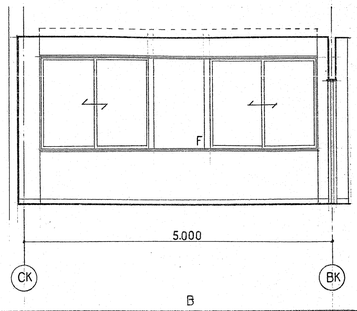
NES NF3701AA

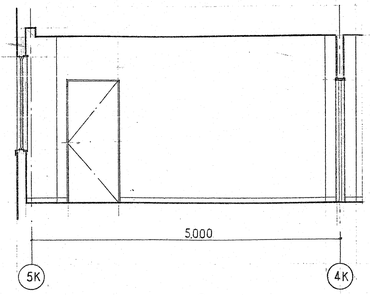
A1

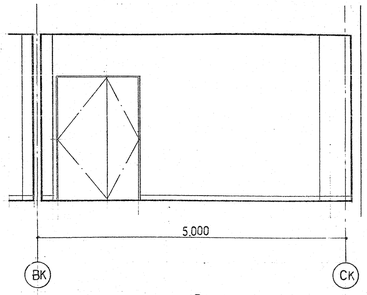
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板 訂正	[illegible]	97.9.2

室名	応接室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板張
備考	

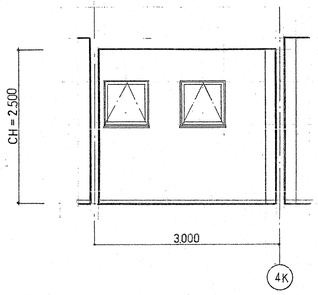


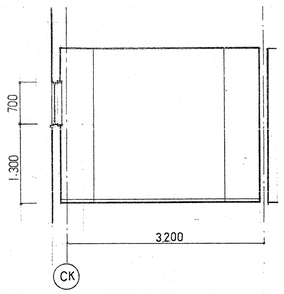


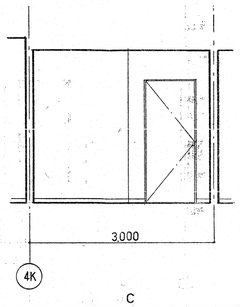


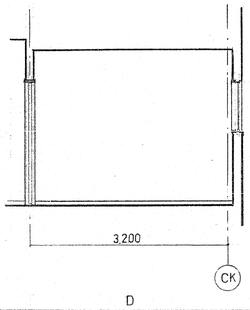


室名	書庫
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス張
天井	化粧石コウボード張
備考	

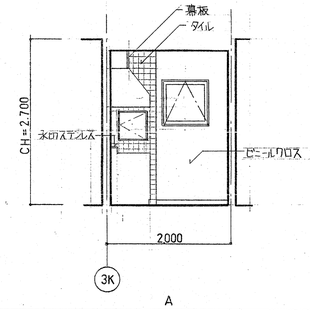


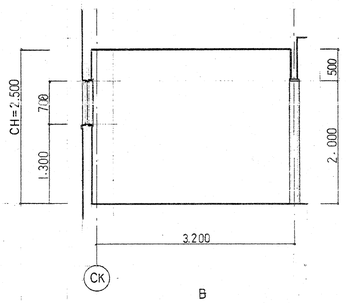


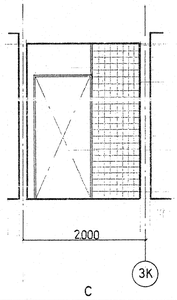


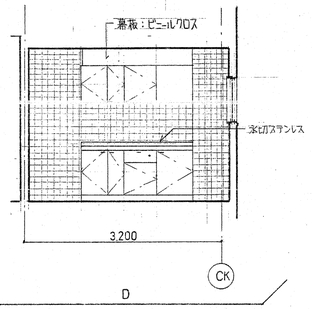


室名	湯沸室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼及びタイル貼
天井	フレキシブルボード張
備考	

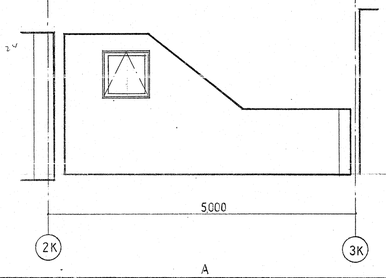


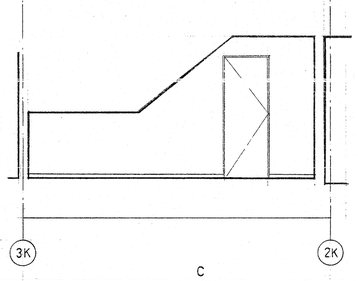


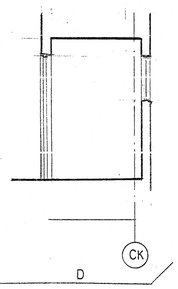




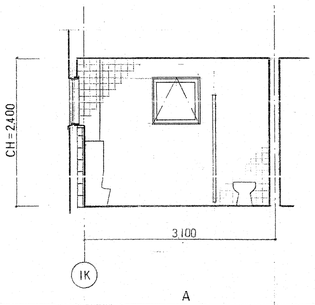
室名	倉庫
床	コンクリート金ゴテ押エ
巾木	一部リブ巾木
壁	一部ビニールクロス
天井	コンクリート打放
備考	

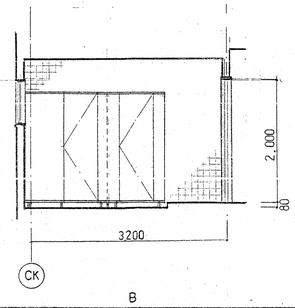


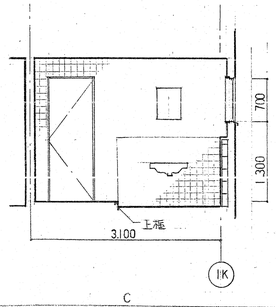


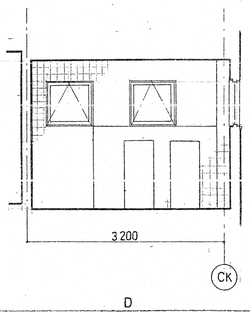


室名	男子WC
床	長尺塩ビシート貼
巾木	——
壁	半磁器タイル貼 100角
天井	フレキシブルボード張
備考	

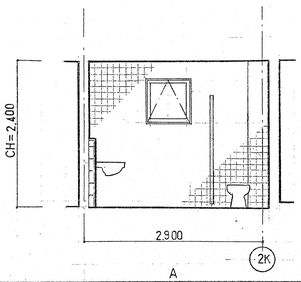


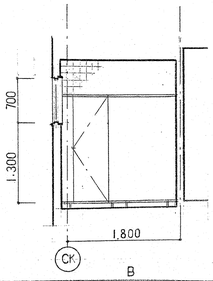


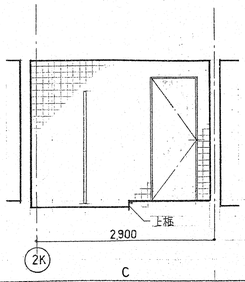


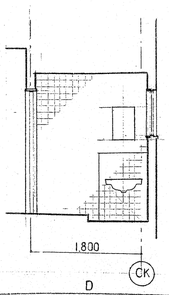


室名	女子WC
床	長尺塩シート貼
巾木	——
壁	半磁器タイル貼 100角
天井	フレキシブルボード張
備考	









工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	林田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
無査	丸山	97.3.28	
無査	久保	97.3.25	図面名称 管理棟 展開図－2
設計		〃	
製図	石井	97.2.14	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 50 / 第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-112140 ⚠
			出図年月日 / 整理番号

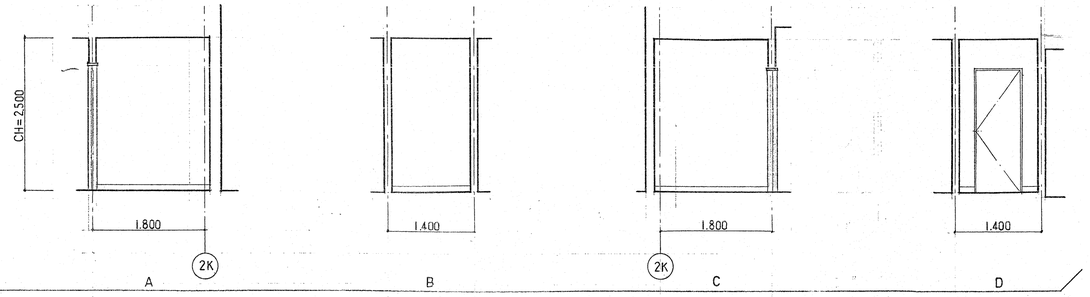
NES NF3706A ⚠

63

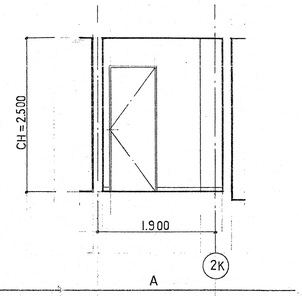
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

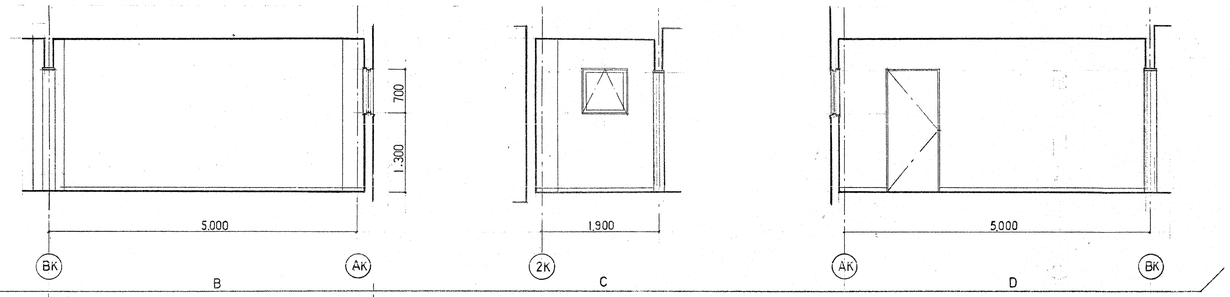
室名	女子更衣室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	化粧石コウボード張
備考	

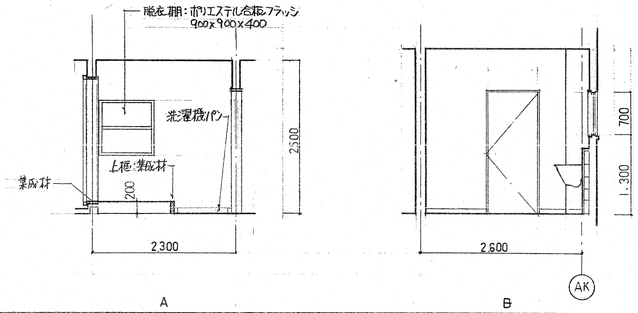


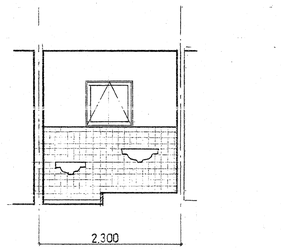
室名	男子更衣室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	化粧石コウボード張
備考	

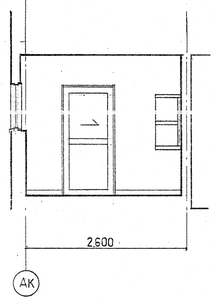


室名	脱衣・洗濯室
床	長尺塩ビシート 及び 化粧フローリングボード張
巾木	ソフト巾木 木製巾木 H=100
壁	ビニールクロス貼
天井	フレキシブルボード張
備考	

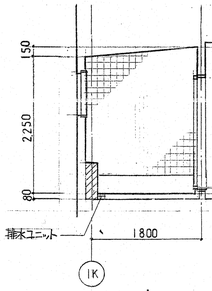


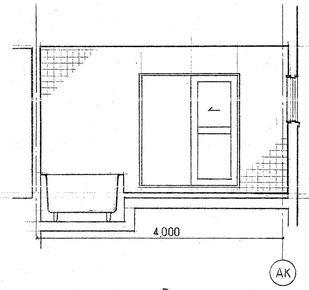


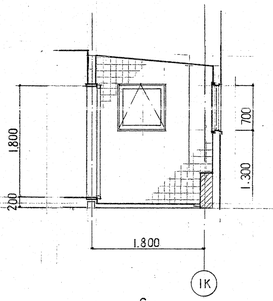




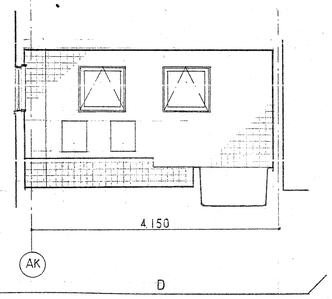
室名	浴室
床	磁器質滑り止メタイル貼100角
巾木	—
壁	半磁器タイル貼100角
天井	バスリブ張
備考	

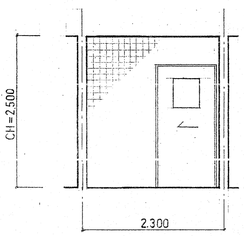


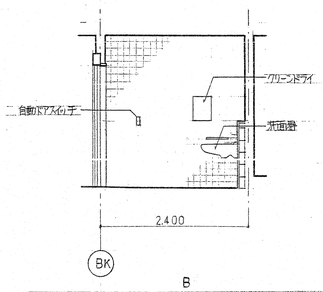


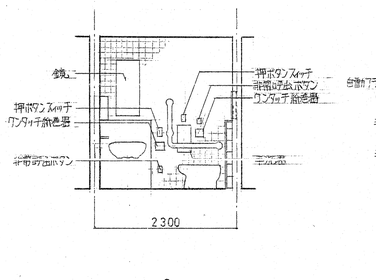


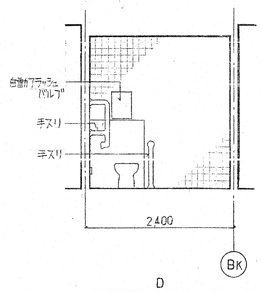
室名	身障者WC
床	長尺塩ビシート
巾木	———
壁	半磁器タイル 100角
天井	フレキシブルボード VP
備考	



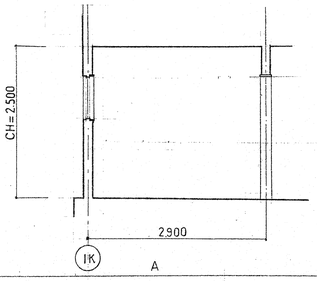


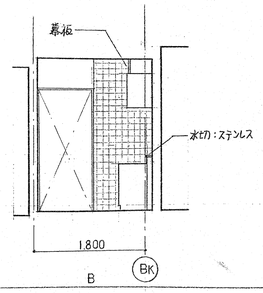


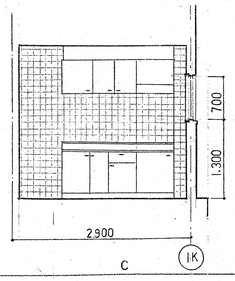


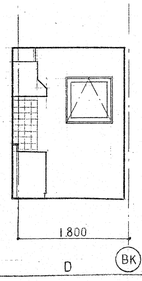


室名	湯沸室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼 腰タイル貼
天井	フレキシブルボード張
備考	







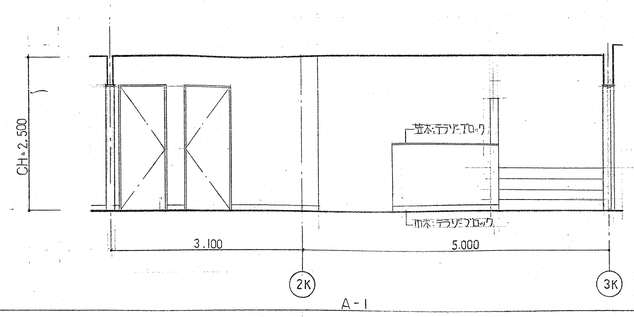


工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28		
照査	久保 97.3.25	図面名称	管理棟
設計			展開図－3
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第 角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－112150 △0
		出図年月日	整理番号

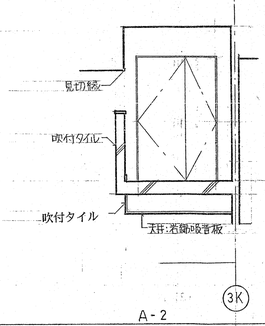
3/24

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	岩綿吸音板 訂正	岐1	97.9.2

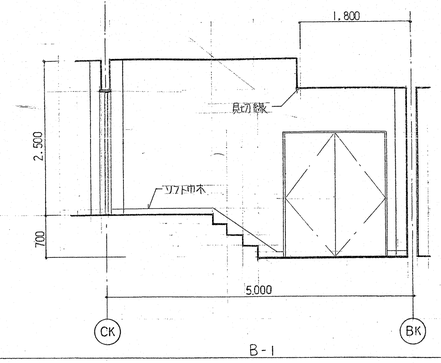
室名	ホール
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス張
天井	岩綿吸音板張
備考	



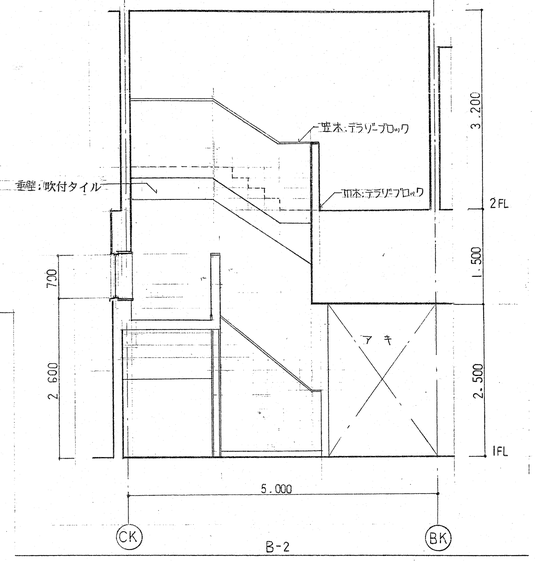
A-1



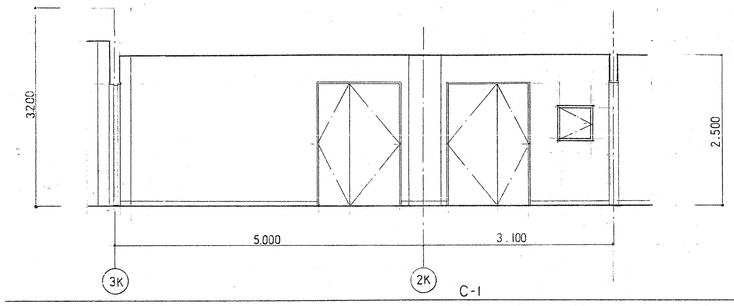
A-2



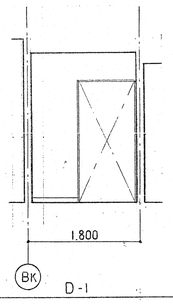
B-1



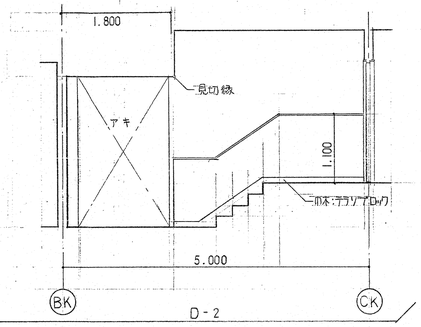
B-2



C-1

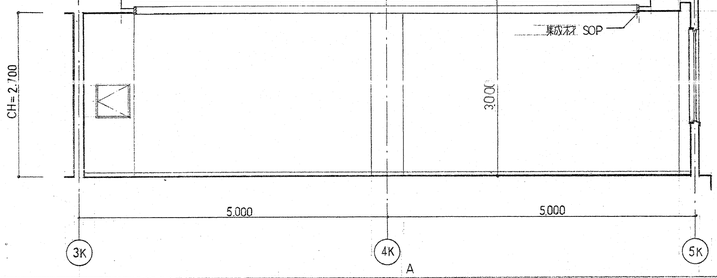


D-1

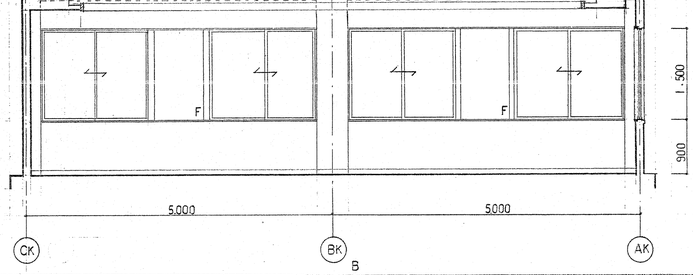


D-2

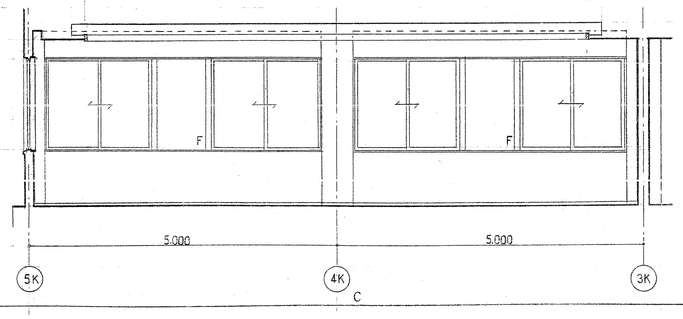
室名	会議室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	岩綿吸音板張
備考	



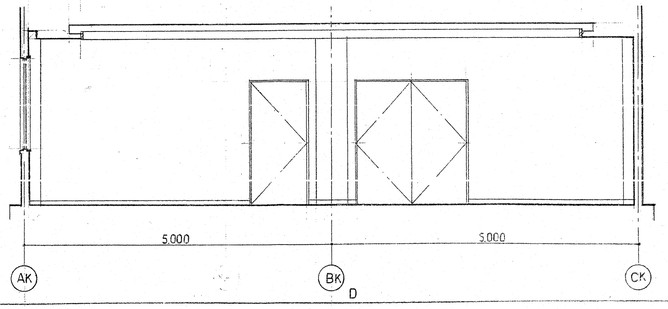
A



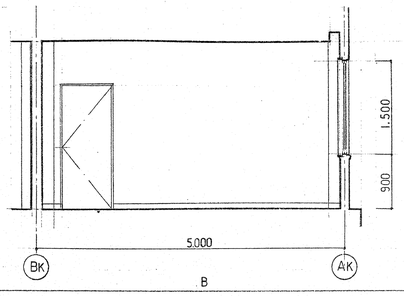
B



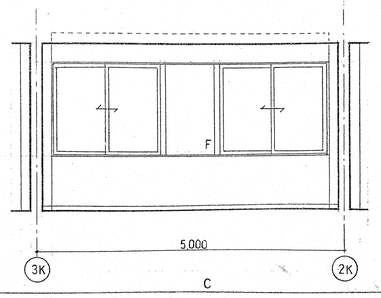
C



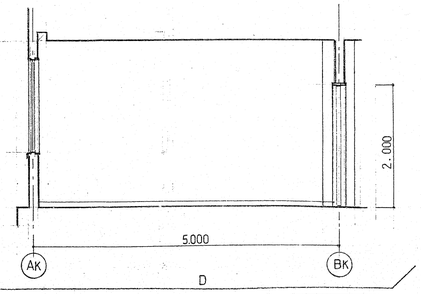
D



B

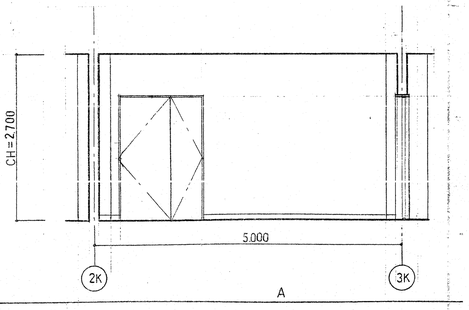


C



D

室名	小会議室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス張
天井	岩綿吸音板張
備考	

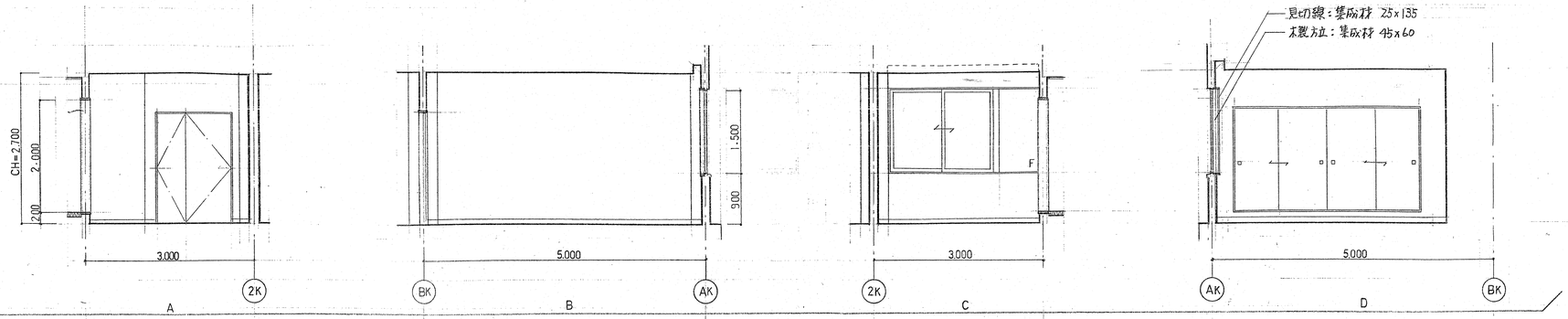


A

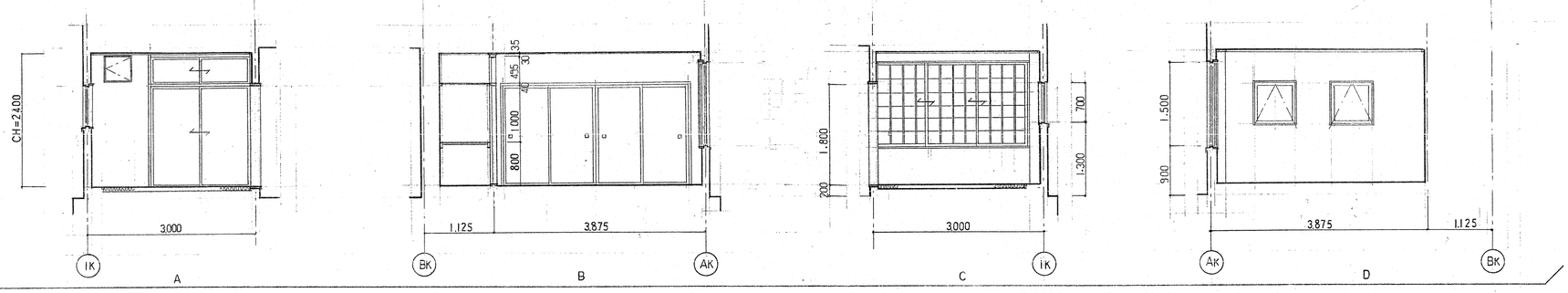
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	先山	97.3.28	図面名称 管理棟 展開図-4
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-112160 ⚠
			出図年月日 整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

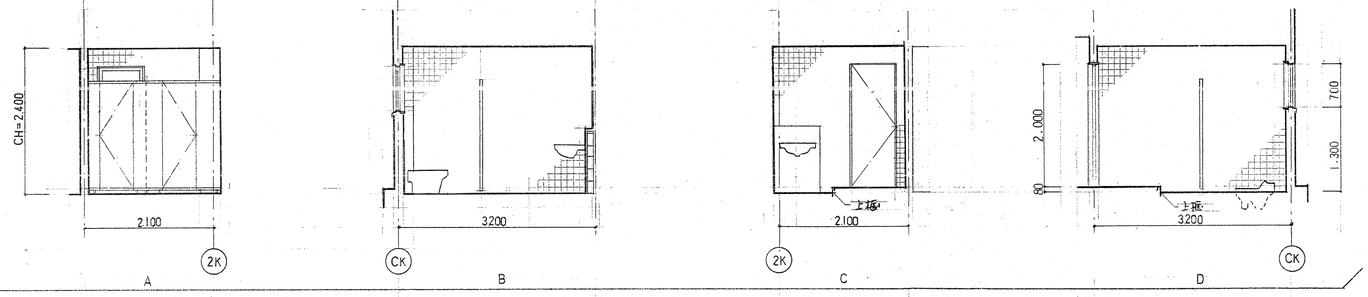
室名	休憩室
床	長尺塩ビシート貼
巾木	ソフト巾木 H=75
壁	ビニールクロス貼
天井	化粧石コウボード張
備考	



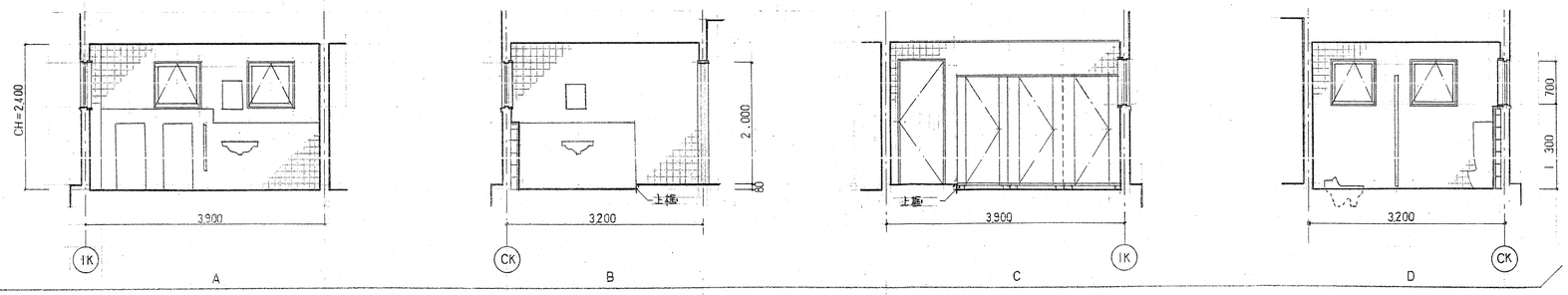
室名	和室
床	タタミ
巾木	タタミ寄せ
壁	ビニールクロス貼
天井	化粧石コウボード張(砂壁)
備考	



室名	女子WC
床	長尺塩ビシート貼
巾木	
壁	半磁器タイル 100角
天井	フレキシブルボード張
備考	



室名	男子WC
床	長尺塩ビシート貼
巾木	
壁	半磁器タイル貼 100角
天井	フレキシブルボード張
備考	



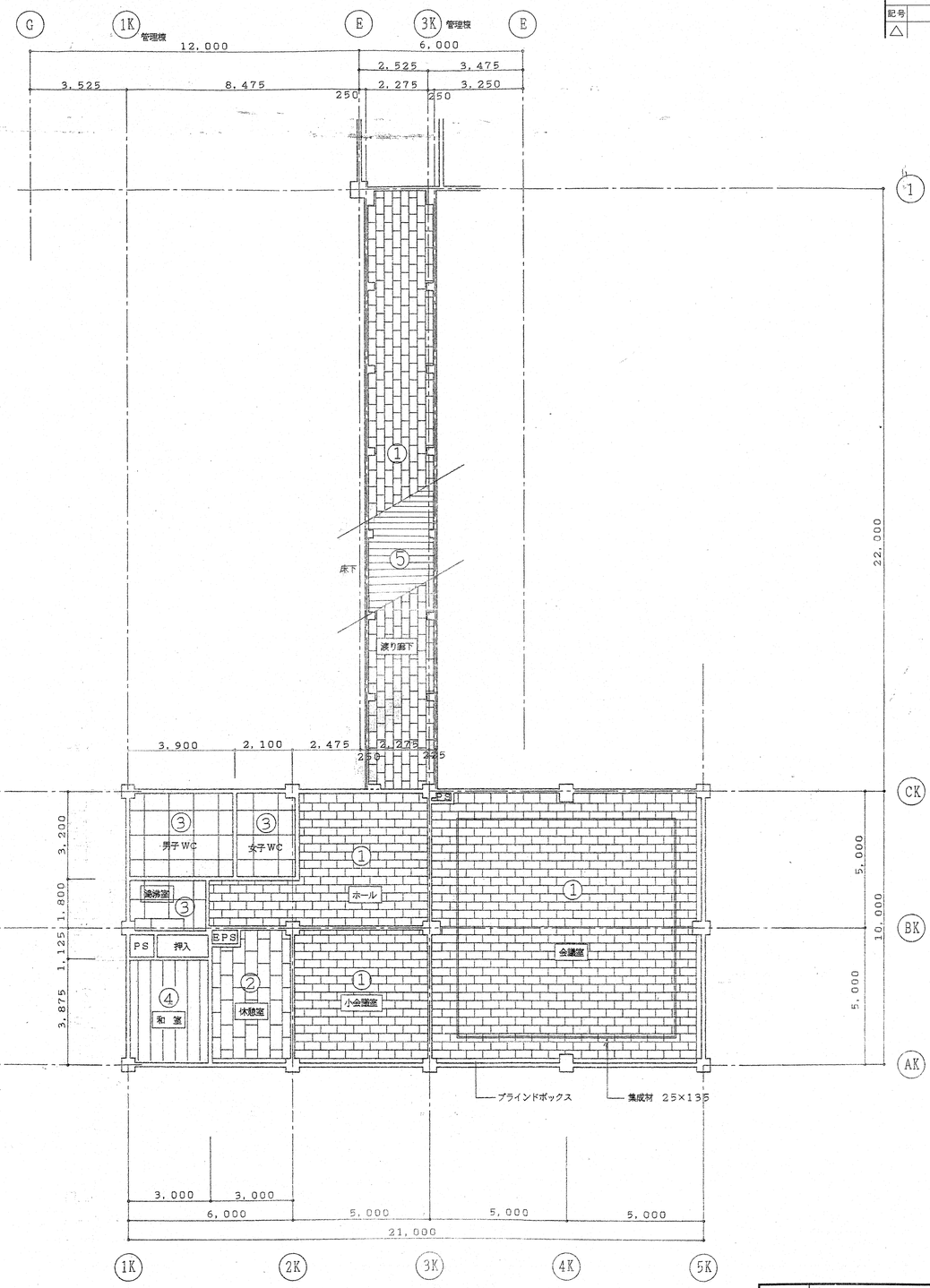
工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	先山	97.3.28	図面名称 管理棟 展開図－5
照査	久保	97.3.26	
設計		・・	
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－112170 △0
			出図年月日 整理番号

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

①	岩綿吸音板張
②	化粧石コウボード
③	フレキシブルボード
④	化粧石コウボード（杉柾）
⑤	カラーアルミスパンドレル
⑥	パスリブ

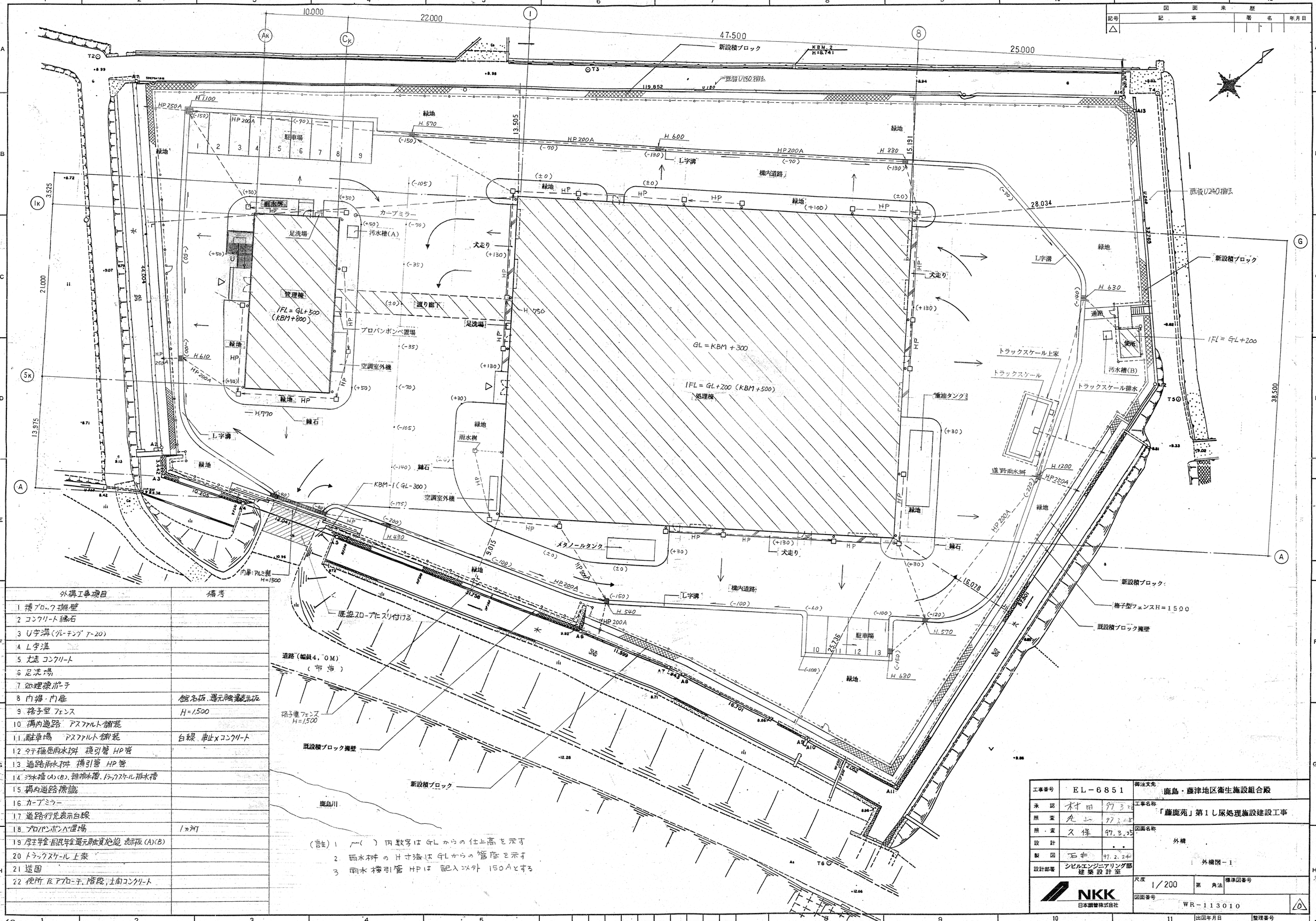
1階平面図



2階平面図

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	坂本 97.7.30	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾形 97.7.24		
照査	久保 97.7.24	図面名称	管理棟 天井伏図
設計			
製図	石井 97.7.23		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計部	尺度	1/100
		第角法	
		標準図番号	
		図面番号	WR－112180 △0
		出図年月日	
		整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社



外構工事項目	備考
1 積ブロック擁壁	
2 コンクリート縁石	
3 U字溝(グレーチング T-20)	
4 L字溝	
5 犬走 コンクリート	
6 足洗場	
7 処理棟ポーチ	
8 内扉・内扉	館名板、還元融雪表示板
9 格子型フェンス	H=1,500
10 構内通路 アスファルト舗装	
11 駐車場 アスファルト舗装	白線、車止×コンクリート
12 ダテ樋型雨水桝 横引管 HP管	
13 道路雨水桝 横引管 HP管	
14 汚水槽(A)(B)、排雨水槽、トラックスケール排水槽	
15 構内道路標識	
16 カーブミラー	
17 道路行先表示白線	
18 プロパンボンベ置場	1ヵ所
19 厚生棟・屈折棟還元融雪施設 表示板(A)(B)	
20 トラックスケール上家	
21 造園	
22 便所 及アプローチ、階段、土間コンクリート	

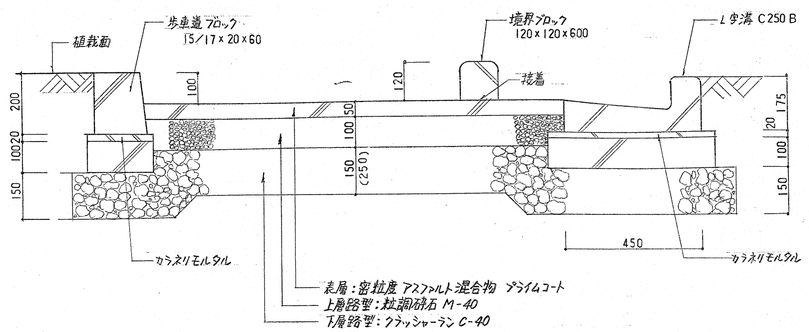
(註) 1 ア( ) 内数字は GL からの仕上高を示す
2 雨水桝の H寸法は GL からの管底を示す
3 雨水 横引管 HPは 記入以外 150Aとする

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

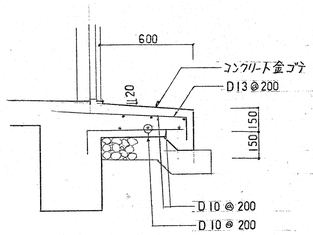
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97 3 28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	角山	97.3.28	
照・査	久保	97.3.27	図面名称 外構
設計		・・	外構図-1
製図	石井	97.2.24	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/200	第角法 標準図番号
		図面番号 WR-113010	△0
		出図年月日	整理番号

NES NF2016A.A

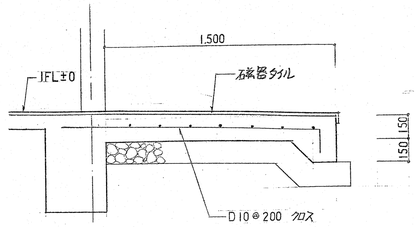
コンクリート縁石　アスファルト舗装　駐車場　車止　L字溝　S＝1／10



犬走コンクリート　S＝1／20



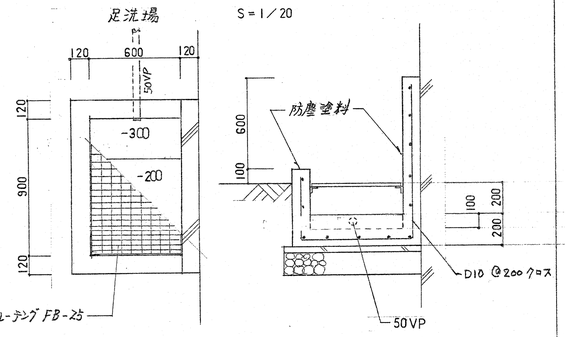
処理棟ポーチ　S＝1／20



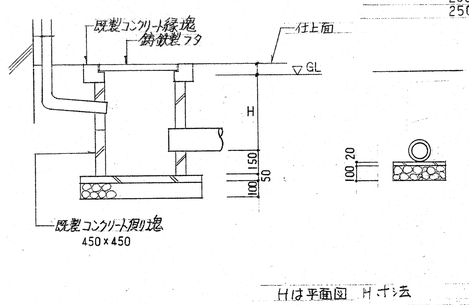
図面来歴

記号	記事	審	名	年月日
△				

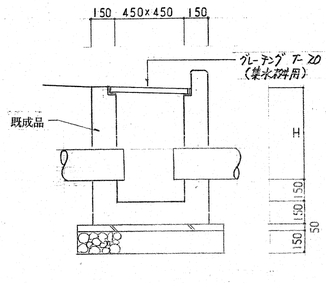
足洗場　S＝1／20



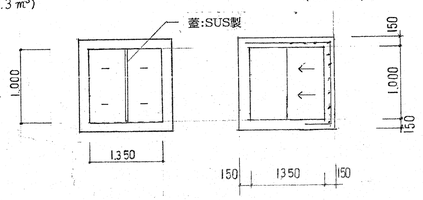
竪樋受雨水桝　雨水排水HP管150A 200° 250°



道路雨水桝　S＝1／20

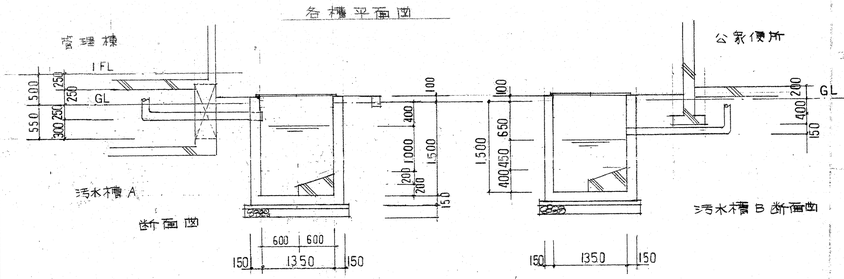


汚水槽A（管理棟）(1.3 m³)　汚水槽B（公衆便所）(0.94 m³)

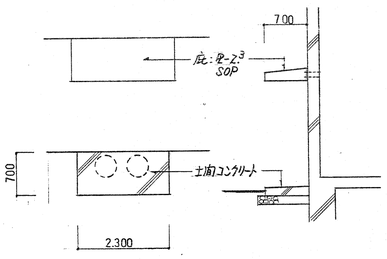


（註）配筋 壁・床 共 D10@200 クロス

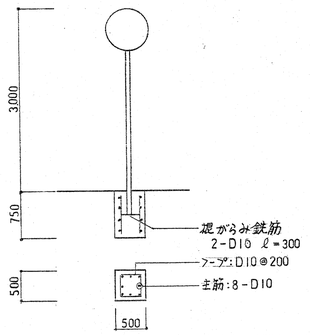
各槽平面図



プロパンボンベ置場　1ヵ所　S＝1／50



掲示板取付金具　カーブミラー　S＝1／50

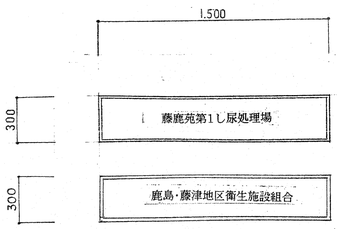


道路行先表示白線　区画白線

溶融機械式　巾15 cm

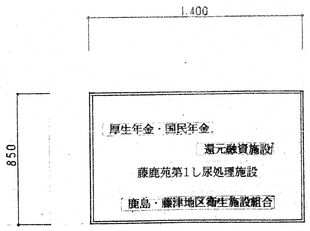
（道路行先表示は　ℓ=5m　8ヵ所）

館名板

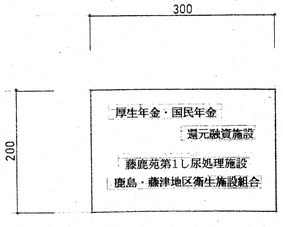


掲示位置	門塀
規格	300×1500
材質	ステンレス製 t6.0
文字	ゴシック体
名称	上図のとおり
仕上	文字,枠(鏡面汚出) 地(エッチング製地)

厚生年金・国民年金還元融資施設　表示板



掲示位置	門塀
規格	850×1400
材質	木製
文字	ゴシック体
名称	上図のとおり
仕上	文字,枠(黒文字)地(白色)



掲示位置	管理棟玄関壁
規格	200×300
材質	ステンレス製 t6.0
文字	ゴシック体
名称	上図のとおり
仕上	文字:鏡面　地:エッチング

Hは平面図　H寸法
GLからの仕上面の寸法は平面図仕上レベルによる

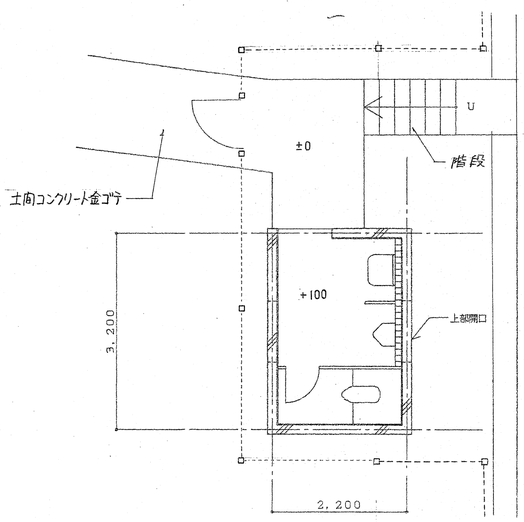
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸山 97.3.28		
照査	久保 97.3.25	図面名称	外構
設計			外構図－2
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第角法
	NKK 日本鋼管株式会社	図面番号	WR－113020 △0
		出図年月日	整理番号

3/28

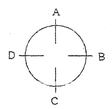
NKK NR70106A

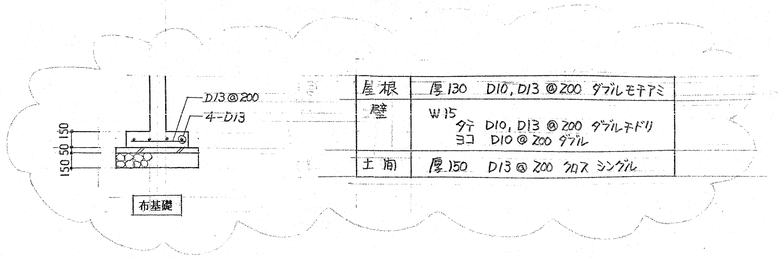
図面来歴			
記号	記事	審名	年月日
△	便所配筋記入 他.	[illegible]	97.9.2

便所及びアプローチ階段土間コンクリート 1／50

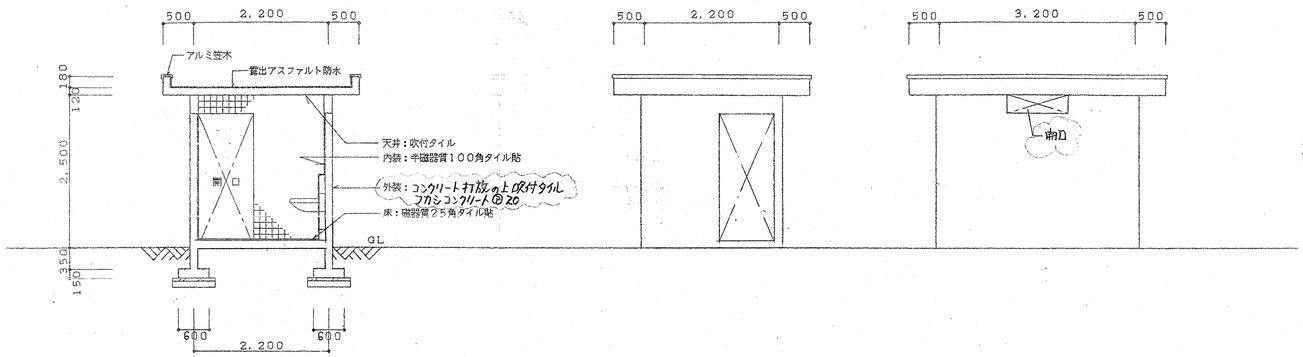


平面図





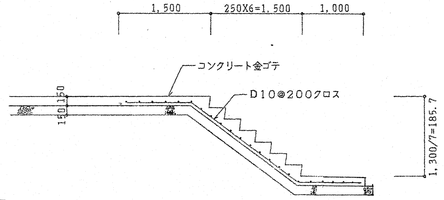
屋根	厚130 D10, D13 @200 ダブル モヤアミ
壁	W15 タテ D10, D13 @200 ダブル キドリ ヨコ D10 @200 ダブル
土間	厚150 D13 @200 クロス シングル



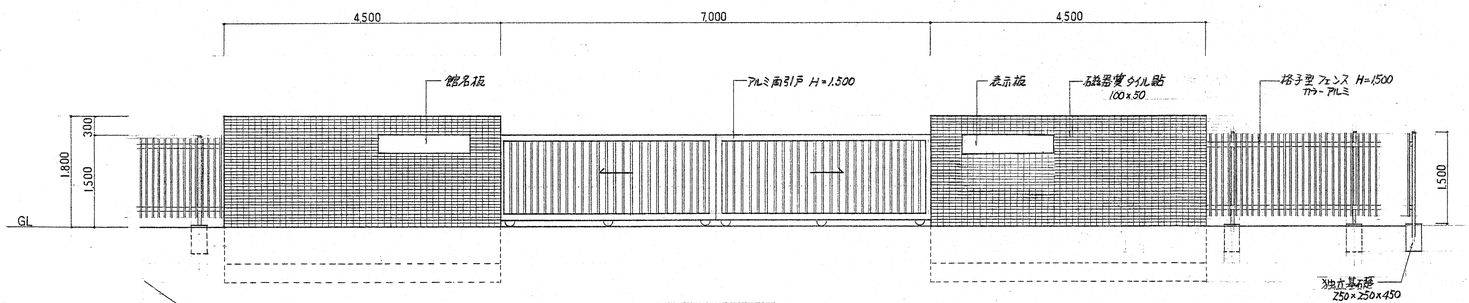
断面図

A立面図

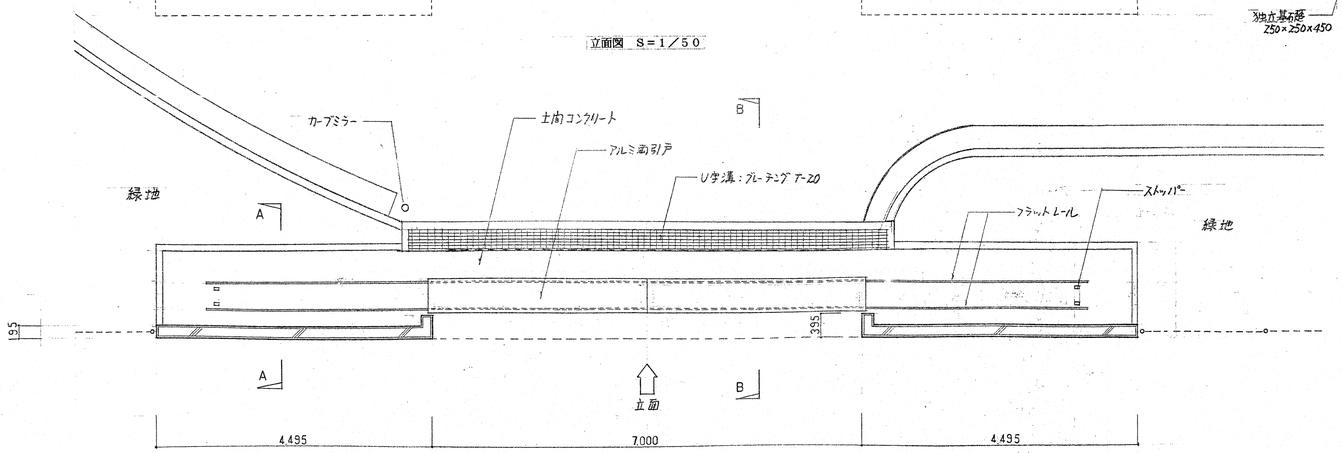
B立面図



便所アプローチ階段

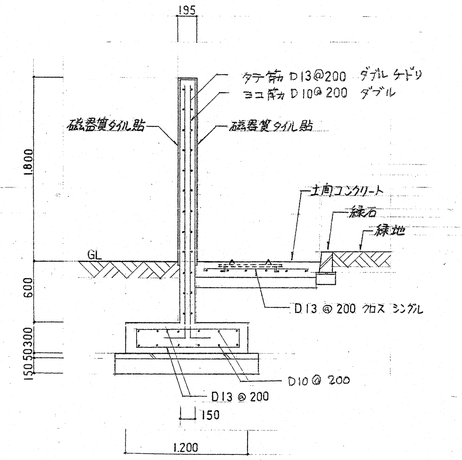


立面図 S＝1／50

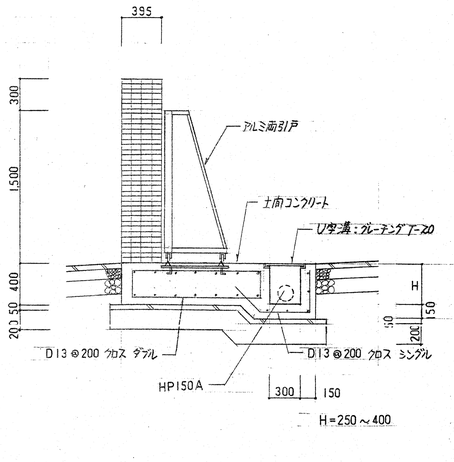


平面図 S＝1／50

内扉・内扉・U字溝



A－A断面図 S＝1／30

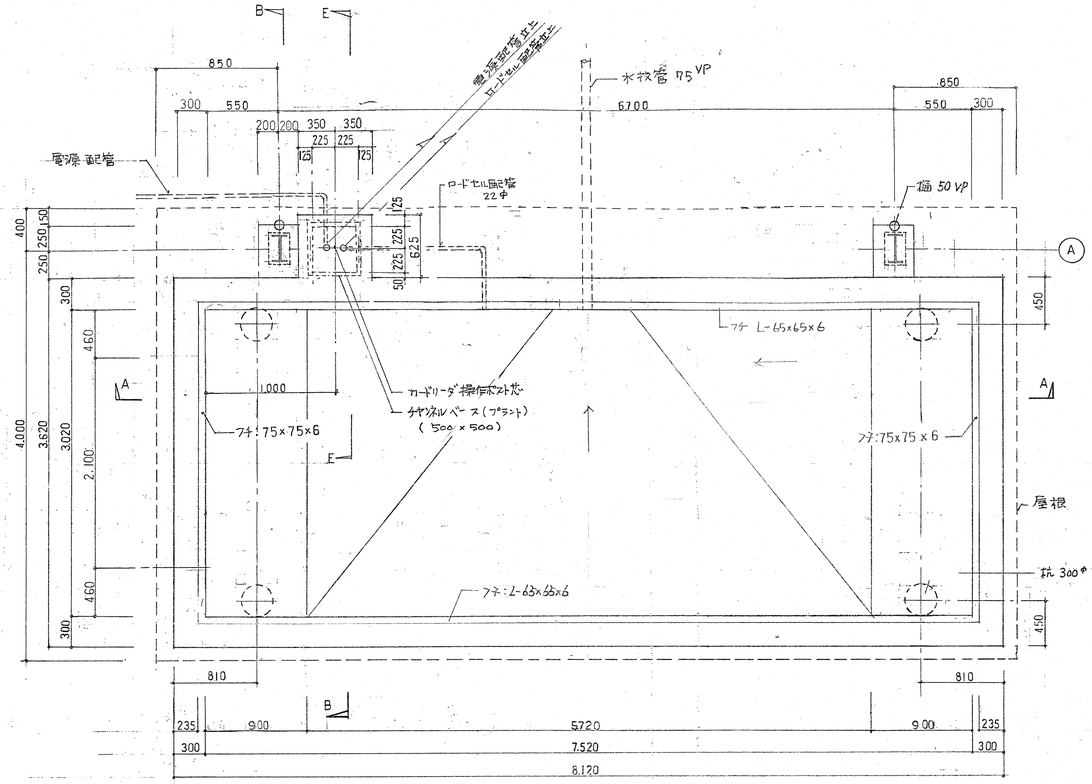


B－B断面図 S＝1／30

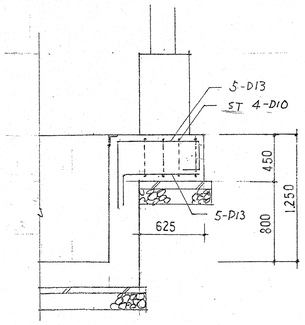
工事番号	EL-6801		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	[illegible]	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	[illegible]	97.3.28	図面名称 外構 外構図－3
照査	久保	97.3.25	
設計			
製図	石井	97.2.25	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/50 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－113030 △
			出図年月日 整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△	杭位置・鉄筋変更・B1隔壁			5/14

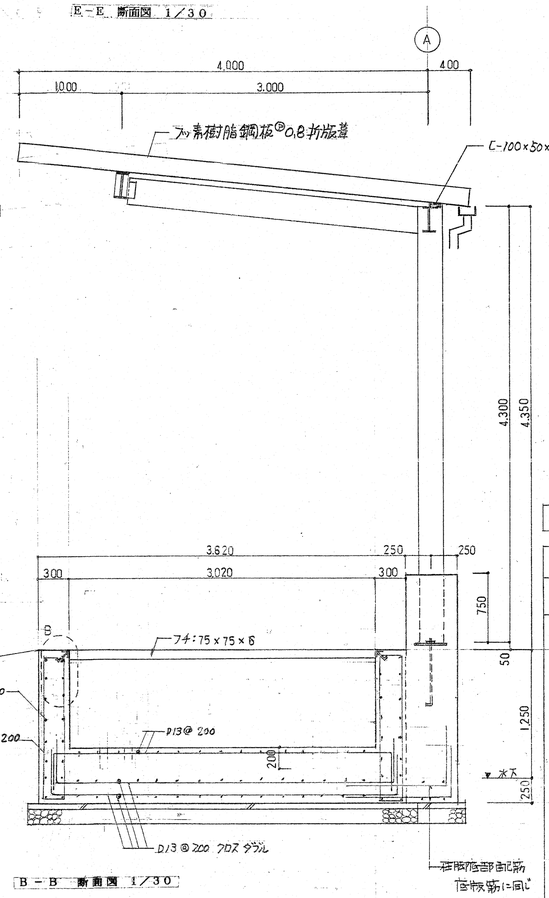
(註) 電源・ロードセル配管・埋込金物等
プラント側と打合せすること

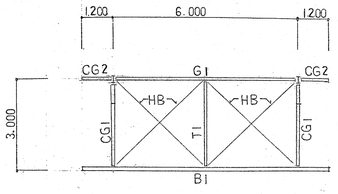


トラックスケール基礎平面図 1/30



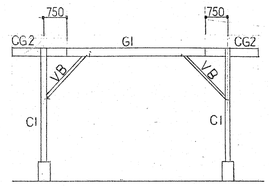
E-E 断面図 1/30

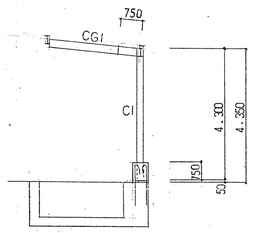




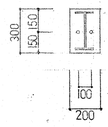
C1 : H-250×125×6×9
G1 : 〃
CG1 : 〃
CG2 : 〃
B1 : 〃
T1 : C-150×75×6.5×10
VB : L-75×75×6
HB : 1-M12

杭 PHC 4-300φ (A種) L=16.5m

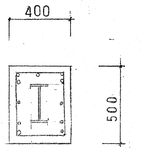




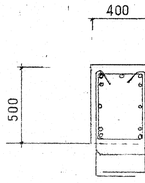
ピット:壁 底版共
㋐ 300 D13@200 クロスダブル



B2-16
A,B 2-M16
(L=500)



ピット上部

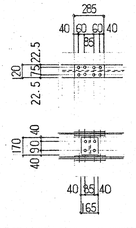


ピットカバレベル

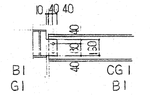
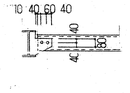
主筋 12-D19
フープ D10@100

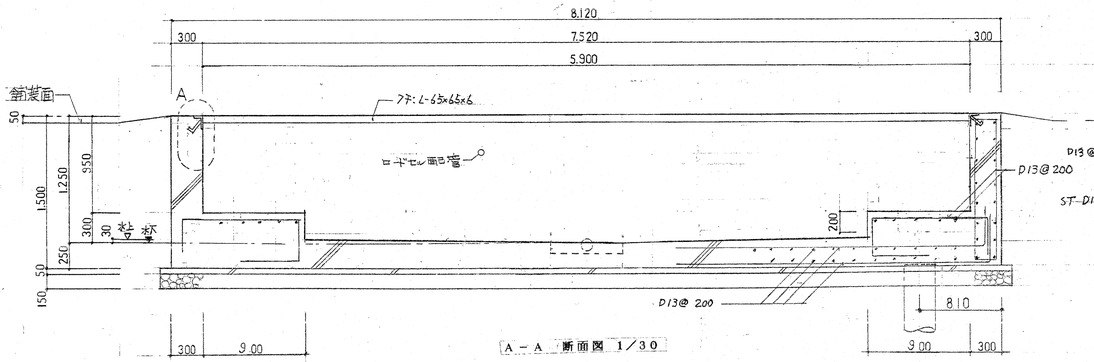
柱 脚 コンクリート

梁現場鉤手リスト 1/30

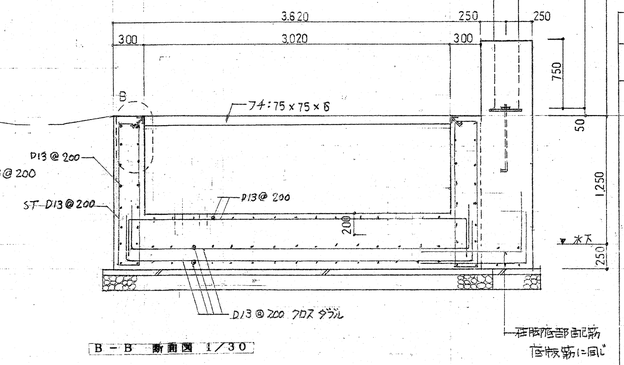
符号		G1, CG1
形状		H-250×125×6×9
部材名		
フランジ	添板 ㋐	2PL - 9×120×285
	添板 ㋑	2PL - 9×45×285
	H.T.B	4 - M16
ウェブ	添板	2PL - 6×165×170
	H.T.B	2 - M16

小梁仕口リスト 1/30

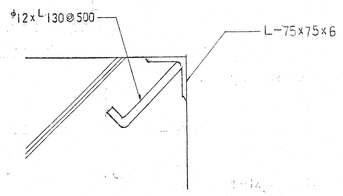
符号	B1	T1
部材名	H-250×125×6×9	C-150×75×6.5×10
形状		
ガセットプレート	GPL - 6	GPL - 6
H.T.B	2 - M20	2 - M16



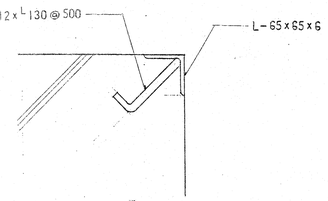
A-A 断面図 1/30



B-B 断面図 1/30



A部 詳細 1/5



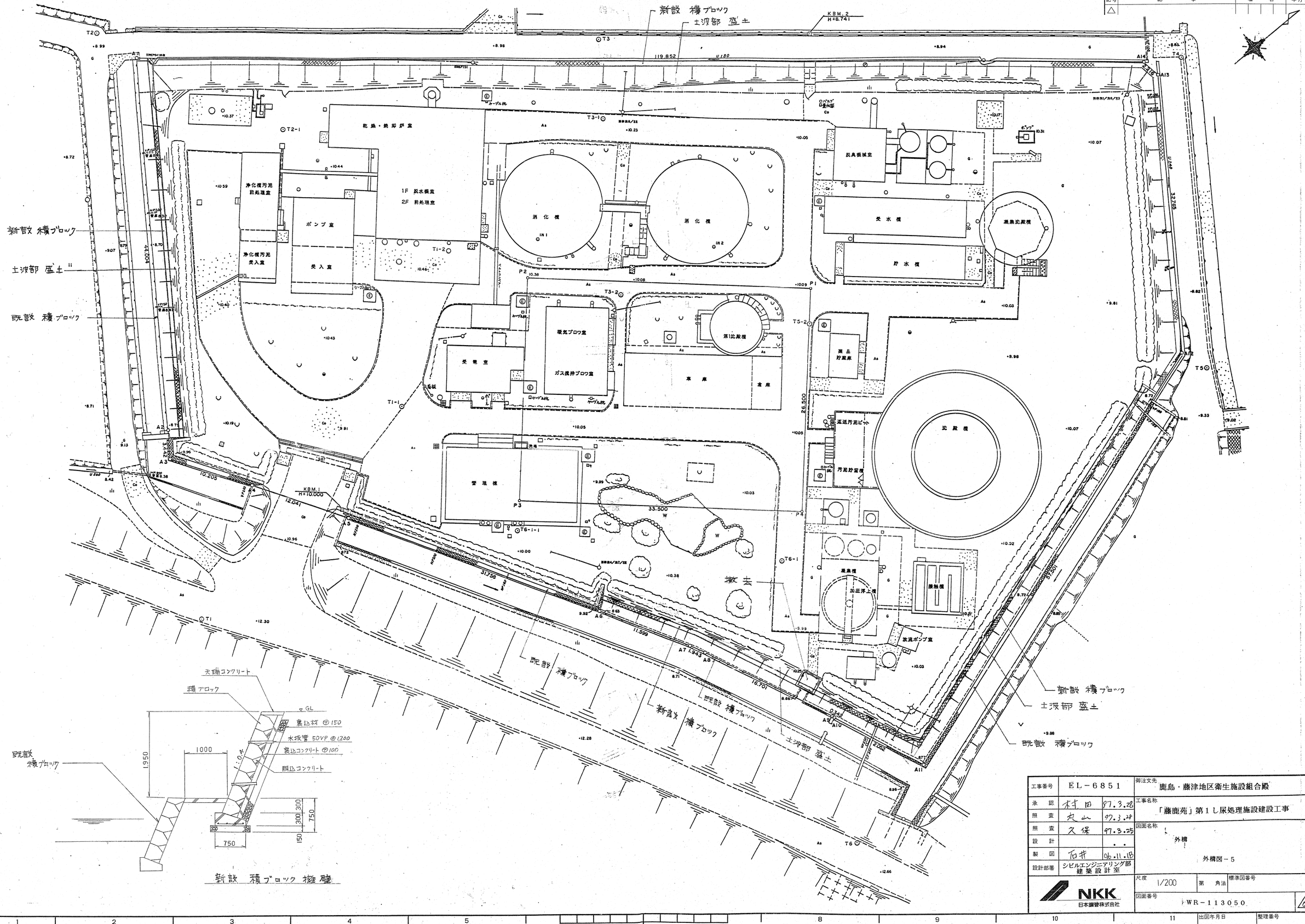
B部 詳細 1/5

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.3.28	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	丸a 97.3.24	図面名称	外構
照査	久保 97.3.25		外構図-4
設計			5/14
製図	石井 97.2.24		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-113040 △
		出図年月日	整理番号

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

新設 積ブロック
土被部 盛土
既設 積ブロック



新設 積ブロック 擁壁

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	丸山	97.3.28	図面名称 外構 外構図－5
照査	久保	97.3.25	
設計		・・	
製図	石井	96.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/200	第角法	標準図番号
図面番号	WR－113050	△0	
出図年月日		整理番号	

A1

NES NE9706A △

72

RC造配筋基準図－（１）

図面来歴			
記事	署名	年月日	

1 共通事項

(1) 本設計基準は、「藤鹿苑」第一し尿処理施設建設工事のすべての建築図面について適用する。

(2) 図中の G.L±0 は、別途指示とする。

(3) 設計図中に本基準と違う指示及び設計者の指示がある場合はそれによること。

(4) 使用材料

① コンクリート ：躯体 F_c=210kg/cm²
（水セメント比W/C≦65%，所要スランプS=18cm）
（但し処理槽、1FLより下部は水密コンクリートとする。）
捨てコンクリート F_c=180kg/cm² (S=18cm)
ラップルコンクリート F_c=180kg/cm² (S=18cm)

② 鉄　　筋 ：JISG3112の規格品とする。（A類）
SD295A　D10~D16（重ね継手）
SD345　D19~D29（ガス圧接継手）

③ 溶接金網 ：JISG3551（溶接金網）の規格品とする。

④ コンクリートブロック：JISA5406B種普通ブロック

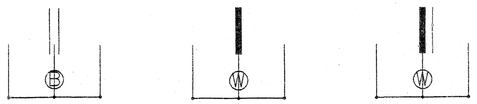
(5) RC部材符号は特記以外下記とする。

FG, FCG：基礎梁（土に接する梁）
FHG：水平梁（土に接する梁）
FB, FHB：基礎小梁（土に接する梁）
G, GX, GY：大梁
CG：片持ち大梁
HG, HB：水平梁
WG：壁大梁
B：小梁
CWB：壁小梁
FW：地下（土圧水圧を受ける壁）
EW：耐震壁
W：壁
FSC, FS：土に接する床版
S：床版
DS：RC床版＋型枠デッキプレート（フラットデッキ型枠）
ST：RC造階段
CS：片持床

(6) 鉄筋の表示記号

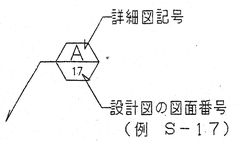
鉄筋径	D10	D13	D16	D19	D22	D25	D29
表示記号	◦	×	○	●	⌀	⊙	⊗

(7) 図中の小梁，壁位置の表示は特記外，小梁，壁芯とする。



小梁芯　小梁芯を示す。
壁芯　壁芯を示す。
壁芯　壁芯を示し，小梁は壁面とする。

(8) RC造詳細図符号は下記とする。

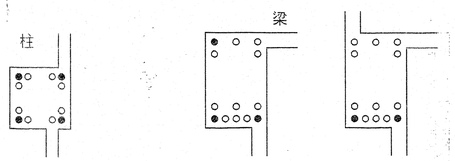


2 鉄筋の加工

(1) フックの必要な部位

① 柱の四隅にある主筋（下図の●印）で、重ね継手及び最上階の柱頭にある場合。

② 梁主筋の重ね継手が、梁の出隅及び下端の両端（下図の●印）にある場合。但し、基礎梁を除く。



③ 煙突の鉄筋（壁の一部となる場合を含む）。
④ 杭基礎のベース筋。
⑤ 帯筋、あばら筋及び幅止め筋。
⑥ 丸鋼の末端部。

(2) 鉄筋の折り曲げ加工

① 末端部

曲げ角度	折り曲げ図		すべてのコンクリート SD295A, SD295B, SD345 D16以下	すべてのコンクリート SD295A, SD295B, SD345 D19~D38	すべてのコンクリート SD390	使用箇所
180°	d, D, 4d以上	D	3d以上	4d以上	5d以上	柱，梁の主筋及び杭基礎のベース筋並びに径16mm以上の鉄筋
135°	d, D, 6d以上	D	3d以上	4d以上	5d以上	径13mm以下の鉄筋並びにあばら筋，帯筋，スパイラル筋及び床版筋
90°	d, D, 12d以上	D	3d以上	4d以上	5d以上	T形及びL形梁のあばら筋
135° 90°	4d以上, d, D, 4d以上	D	3d以上	4d以上	5d以上	90°, 135° 幅止め筋

（注）1. Dは、曲げ内のり直径
2. d は、呼び名に用いた数値を示す。

② 中間部

曲げ角度	折り曲げ図		すべてのコンクリート SR235,SRR235, SD295A,SD295B, SD345,SD390 16⌀以下 D16以下	19⌀~25⌀ D19~D25	28⌀~32⌀ D29~D38	使用箇所
90°以下	d, D	D	3d以上	4d以上	——	あばら筋，帯筋，スパイラル筋
	d, D	D	4d以上	6d以上	8d以上	床版筋，壁筋
	d, D	D	4d以上	6d以上	8d以上	上記以外の鉄筋

（注）1. Dは、曲げ内のり直径
2. d は、呼び名に用いた数値を示す。

3 鉄筋の継手及び定着

(1) 鉄筋の継手及び定着長さ

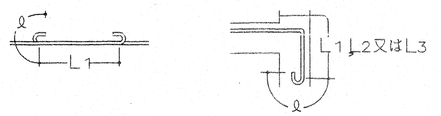
① コンクリートの設計基準強度（Fo）が210kg/cm²以上270kg/cm²未満の場合は、下表による。

② コンクリートの設計基準強度（Fo）が180kg/cm²の場合はL1及びL2は、下表の値に5dを加えたもの、L3は下図の値とする。

③ 径が異なる鉄筋の重ね継手長さは細い鉄筋の径による。

鉄筋の種別	設計基準強度 Fo(kg/cm²)	フックなし L1	フックなし L2	フックなし L3 小梁	フックなし L3 床版	フックあり L1	フックあり L2	フックあり L3 小梁	フックあり L3 床版
SD295A SD295B SD345	210以上270未満	40d	35d	25d	10dかつ150mm以上	30d	25d	15d	—

（注）1. L1： 継手並びに下記2。及び3。以外の定着長さ。
2. L2： 異径鉄筋で、割裂破壊の恐れのない箇所の定着長さ。
3. L3： 小梁及び床版の下端筋の定着長さ。但し、基礎耐圧版、これを受ける小梁などは除く。
4. フックのある場合のL1，L2及びL3には、下図に示すようにフック部分αを含まない。

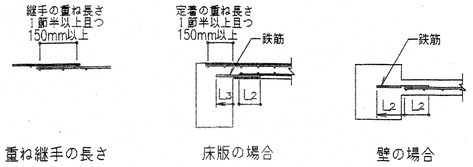


(2) 隣合う継手の位置

隣合う継手の位置は下表による。但し、床版及び壁の場合は除く。

フックのある場合	a=0.5L	a≧0.5L
フックのない場合	a=0.5L	a≧0.5L
圧接の場合 a≧400mm		

(3) 溶接金網の継手及び定着



重ね継手の長さ　床版の場合　壁の場合

4 鉄筋のかぶり厚さ及び間隔

(1) 鉄筋のかぶり厚さ

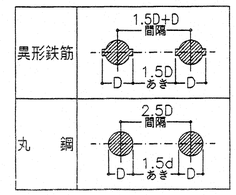
鉄筋（溶接金網を含む）の最小かぶり厚さは、下表による。但し、柱及び梁の主筋に異径鉄筋（D29以上）を使用する場合は、主筋のかぶり厚さを、径の1.5倍以上として最少かぶり厚さを定める。

構造部分の種別				すべてのコンクリート
土に接しない部分	床版，耐力壁以外の壁	仕上げあり		20
		仕上げなし		30
	柱 梁 耐力壁	屋内	仕上げあり	30
			仕上げなし	30
		屋外	仕上げあり	30
			仕上げなし	40
	擁壁，耐圧床版			40
土に接する部分	柱，梁，床版，壁			＊40
	基礎，擁壁，耐圧床版			＊60
煙突など高熱を受ける部分				60

（注）1. ＊印のかぶり厚さは普通コンクリートに適用し、軽量コンクリートの場合は特記による。
2. 仕上げありとは、モルタル塗りなどの仕上げのあるものとし、吹付け塗装などの鉄筋の耐久上有効でない仕上げのものを除く。
3. 床版、梁、基礎及び擁壁で直接土に接する部分のかぶり厚さには、捨コンクリートの厚さを含まない。
4. 杭基礎の場合のかぶり厚さは、杭天端からとする。

(2) 鉄筋相互のあき

① 鉄筋相互のあきは、下記の値のうち最大のもの以上とする。
(a) 粗骨材の最大寸法の1.25倍
(b) 25mm
(c) 丸鋼の径及び異形鉄筋の径（呼び名の数値）の1.5倍とし、下図による。



(3) 主筋と軸方向鉄骨とのあきは、25mm
且つ、粗骨材最大寸方法の1.25培以上とする。

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.1.17	工事名称	「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	若松 '97.1.17	図面名称	RC造配筋基準図（１）
照査	瀬尾 '97.1.16		
設計	風本 '97.1.16		
製図			
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	第　角法　標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－120010 B
		出図年月日	整理番号

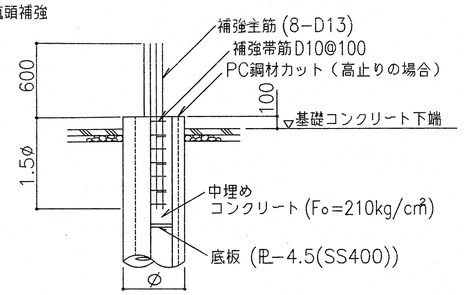
RC造配筋基準図－（2）

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

5 杭

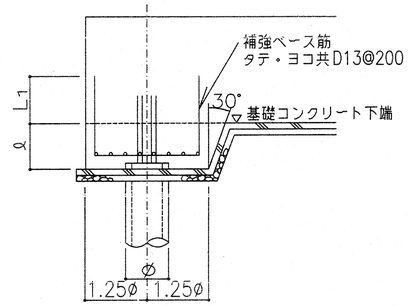
(1) 既製コンクリート杭

① 杭頭補強



（注）1. 補強主筋は下記とする。
8-D13
2. 基礎下端鉄筋のかぶり厚さは、杭天端から確保する。
3. 杭頭部を切りそろえる場合、杭の軸方向筋は、杭天端から100程度のところで切断する。
4. PC鋼材カットは、杭頭処理を行わない場合は、行わない。

② 杭頭レベルが低い場合の補強

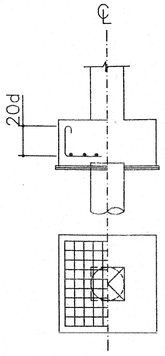


（注）1. 本補強は前記① に適用する。
2. ℓ＜0.7ø かつ ℓ＜300 の場合に適用する。
それ以上は設計図による。

6 基礎

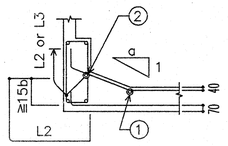
(1) 基礎の配筋

① 杭基礎の場合



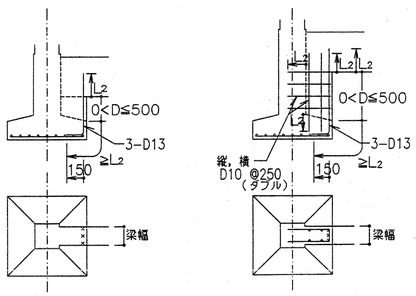
②べた基礎の場合

ハンチを付けた場合（α ≧ 3）

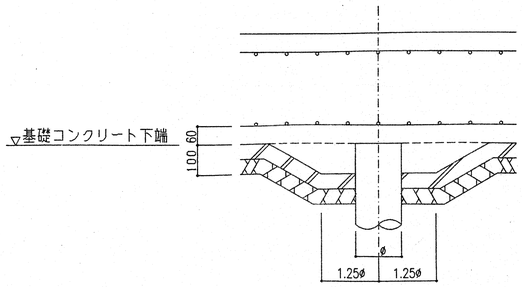


1. 耐圧版鉄筋の継手位置は床スラブにならう但し上筋と下筋を読みかえる。
2. ① の鉄筋はスラブ主筋の径以上とする。
3. ② の鉄筋はＤ１３以上。
4. 埋戻し土のある場合は４０を７０とする。

(2) 基礎接合部の補強



(3) 杭の取合部耐圧版



7 基礎梁

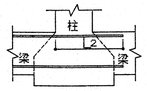
(1) 基礎梁筋の継手及び定着

① 一般事項

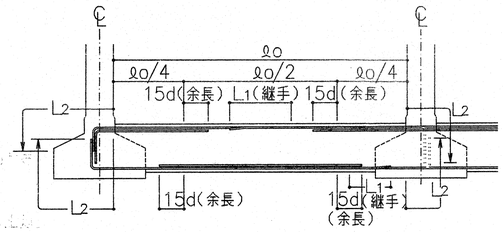
(a) 独立基礎で基礎梁に床版がつく場合は大梁の項による。上端筋主筋の定着は、やむを得ない場合、上向きとすることができる。

(b) 梁筋で、柱をまたいで引通すことができないものは、原則とし柱内に定着する。
尚、梁内に定着する場合は、下図による。

(c) 梁筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を超えてから定着させる。

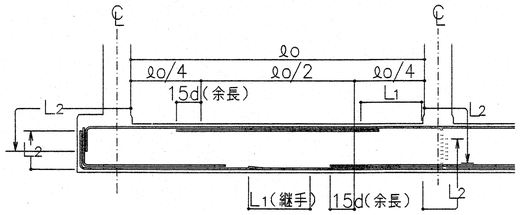


② 異形鉄筋で基礎梁に床版がつく独立基礎の場合



（注）1. 図示のない事項は、大梁の項による。
2. ——— 印は継手、及び余長位置を示す。
3. 破線は柱内定着の場合を示す。

③ 異形鉄筋で連続基礎及びべた基礎の場合



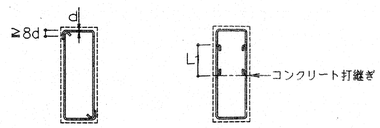
（注）1. 図示のない事項は、大梁の項による。
2. ——— 印は継手、及び余長位置を示す。
3. 破線は柱内定着の場合を示す。

(2) あばら筋、腹筋及び幅止筋

① あばら筋

(a) あばら筋の径及び間隔は設計図による。

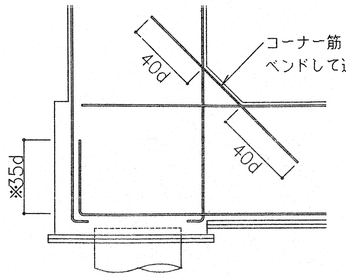
(b) あばら筋組立の形及びフックの位置は大梁のあばら筋の項による。但し、梁せいが1.5m以上の場合は下図によることができる。



② 腹筋及び幅止筋
腹筋及び幅止筋は、大梁のあばら筋の項による。但し、梁せいが1.5m以上の場合は、特記による。

③ あばら筋の割付け
あばら筋の割付けは、大梁のあばら筋の項による。

(3) ハンチ配筋



注）。柱断面が大きくて、基礎梁筋の定着L2が水平アンカーとなる場合下端筋は、立上り長さを３５ｄとし、上端筋は、柱の中心軸より奥へ定着させる。

工事番号	EL-6851		御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	是如	・・		
照査	渡辺	96.12.13	図面名称	RC造配筋基準図（２）
設計	岡本	96.12.13		
製図	清水	96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度	— 第 角法
NKK 日本鋼管株式会社			標準図番号	—
			図面番号	WR-120020 △A
			出図年月日	整理番号

RC造配筋基準図－（３）

図面来歴				
記号	記事	審	名	年月日
△				

8 柱

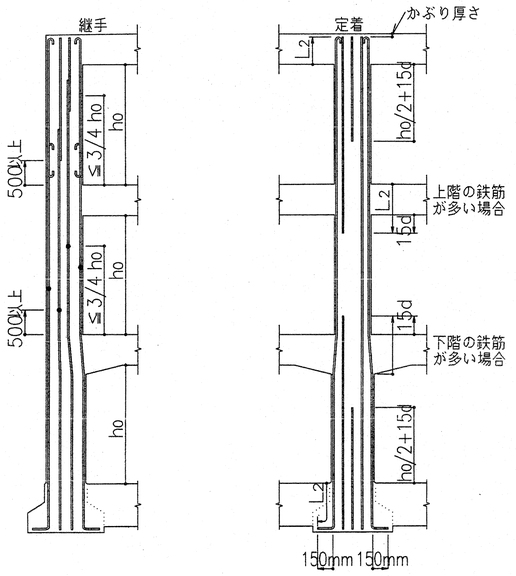
(1) 柱筋の継手及び定着

① 一般事項

(a) 継手及び圧接中心位置は、梁上端から500mm以上且つ3/4ho（hoは柱の内のり高さ）以下とする。

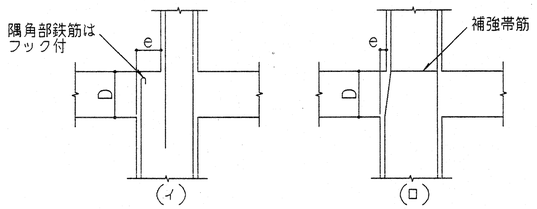
(b) 継手長さはL_1とし、定着長さ及び余長は、下図による。

② 異形鉄筋の場合



（注）1. 鉄筋の加工の(1)項で定めた鉄筋には、フックをつける。
2. 隣合う継手の位置は、鉄筋の継手及び定着の(2)項による。

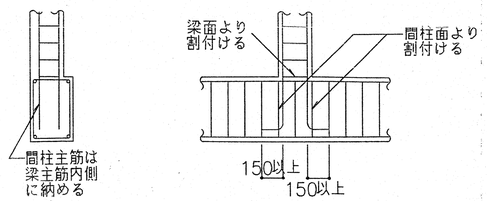
③ 柱のしばり部配筋



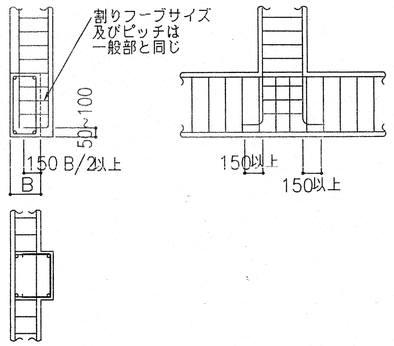
（注）1. 配筋方法の区分
(イ)－$\frac{e}{D} > \frac{1}{6}$
(ロ)－$\frac{e}{D} \leqq \frac{1}{6}$
2. (ロ)の補強帯筋は、一般の帯筋より1サイズ太い鉄筋、又は同径のものを2本重ねたものとする。

④ 丘立ち柱の定着

(a) 梁幅が柱径以上の場合



(b) 梁幅が柱径未満の場合



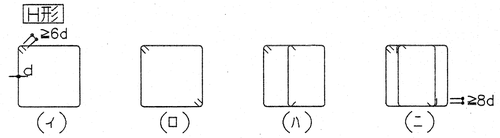
(2) 帯筋

① 帯筋は、設計図による。

② 帯筋組立の形は、下図とし、種別は設計図による。
特記がなければ、下図による。

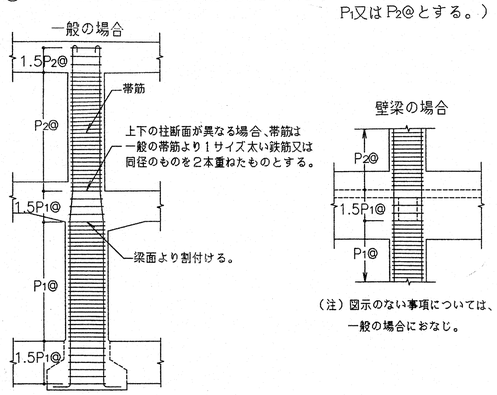
(a) H形とする。

(b) 溶接する場合の溶接長さLは、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とする。



③ フック及び継手の位置は、交互とする。

④ 帯筋の割付け（仕口内帯筋はX又はY方向のどちらかがS梁の場合はP_1又はP_2@とする。）



（注）図示のない事項については、一般の場合におなじ。

工事番号	EL－6851		御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	宮加	・・		
照査	瀬尾	96.12.13	図面名称	RC造配筋基準図（３）
設計	岡本	96.12.13		
製図	青木	96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度	— 第 角法
NKK 日本鋼管株式会社			標準図番号	—
			図面番号	WR－120030 △A
			出図年月日	整理番号

RC造配筋基準図－（4）

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

9 大梁

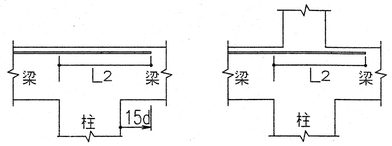
(1) 大梁筋の継手及び定着

① 一般事項

(a) 継手及び圧接中心位置は、下記による。（　）内は水平梁の場合）
上端筋（外側筋）－中央 ℓo/2以内
下端筋（内側筋）－両端 ℓo/4以内

(b) 継手長さはL_1とし、定着長さ及び余長は、次の②,③項による。

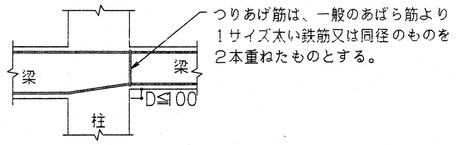
(C) 梁筋で、柱をまたいで引き通すことのできない場合は、柱内に定着する。
尚、梁内に定着する場合は、下図による。



(d) 梁筋を柱内に定着する場合は、柱の中心軸を超えてから縦に降ろす。

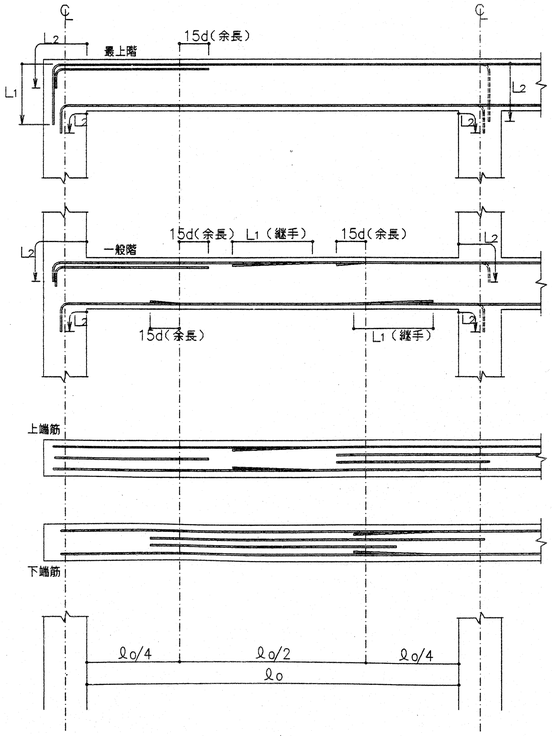
(e) 梁にハンチを付ける場合は、その傾斜は設計図による。特記がなければ1:4とする。

(f) 段違い梁は、監督員の承諾を受けて下記によることができる。



つりあげ筋は、一般のあばら筋より1サイズ太い鉄筋又は同径のものを2本重ねたものとする。

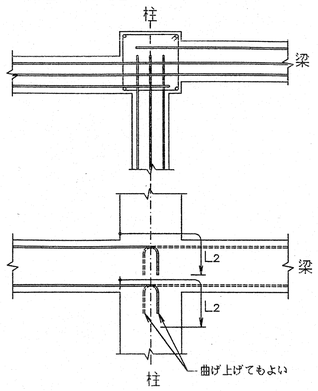
② 異径鉄筋でハンチのない場合



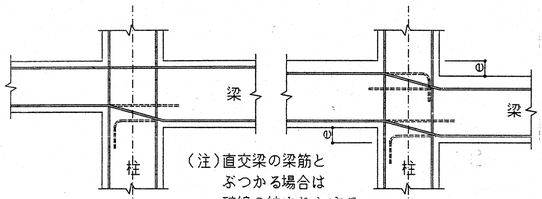
（注）1. 鉄筋の加工の(1)項で定めた鉄筋にはフックをつける。
2. ——— は継手、及び余長を示す。
3. 破線は柱内定着を示す。

③ 左右の梁に段差のある場合

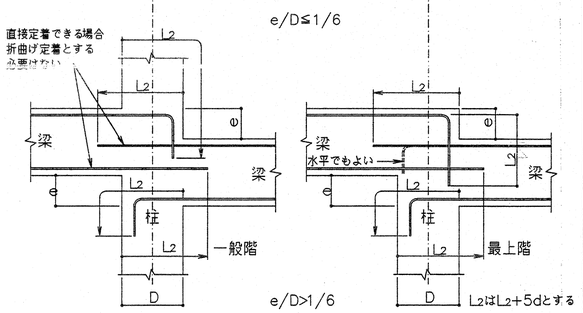
(a) 水平段差のある場合



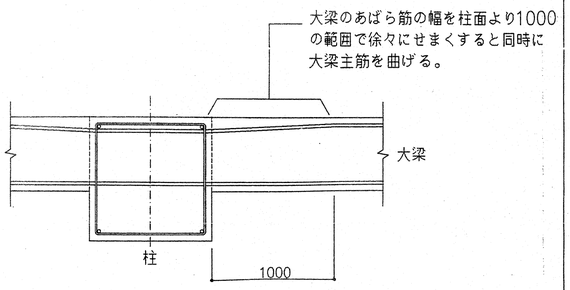
(b) 鉛直段差のある場合



（注）直交梁の梁筋とぶつかる場合は破線の納まりとする。

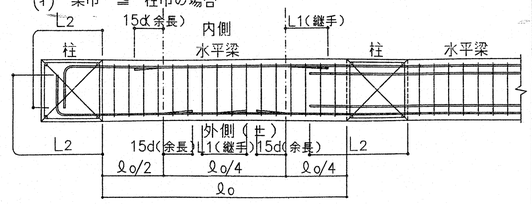


④ 大梁と柱面が同一の時の大梁の配筋

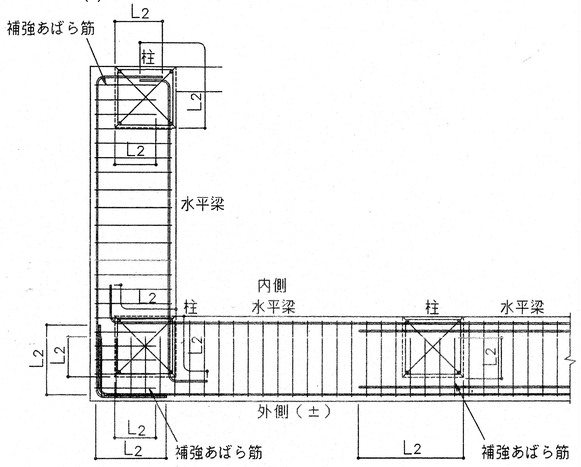


⑤ 水平梁（FHG，HG）の場合

(イ) 梁巾 ≦ 柱巾の場合



(ロ) 梁巾 ＞ 柱巾の場合



（注）1. 鉄筋の加工の(1)項で定めた鉄筋にはフックをつける。
2. 補強あばら筋は一般部と同径，同ピッチとする。

(2) あばら筋，腹筋及び幅止め筋

① 一般事項

(a) あばら筋は、設計図による。

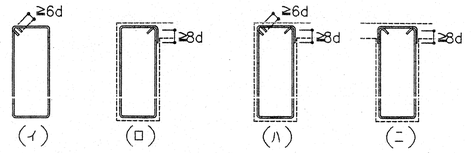
(b) 幅止め筋及び受け用幅止め筋は、D10 @1,000程度とする。

(C) 腹筋に継手を設ける場合の継手長さは150mm程度とする。

(d) 壁梁の場合、腹筋の定着長さ及び継手長さは設計図による。
特記がなければL_2とする。

② あばら筋組立の形及びフックの位置

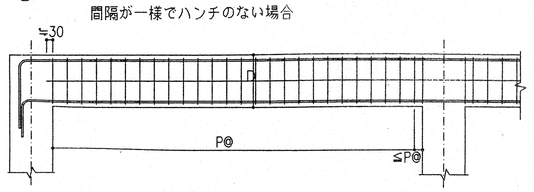
(a) 形は下図の(イ)とする。但し、L形梁の場合は(ロ)又は(ハ)とすることができ、T形梁の場合は(ロ)～(ニ)を適用できる。



(b) フックの位置は、(イ)の場合は交互とし、(ロ)の場合は、L形では床版のつく側，T形では交互とする。
尚、(ハ)の場合は床版のつく側を90°折曲げとする。

③ あばら筋の割付

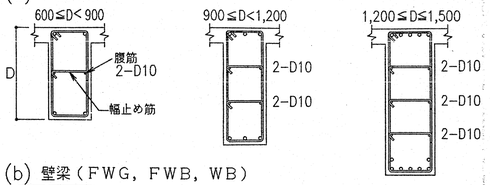
間隔が一様でハンチのない場合



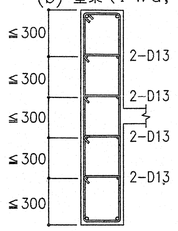
（注）1. あばら筋は、柱面の位置から割付ける。

④ 腹筋及び幅止め筋　（特記なき限り、設計図による。）

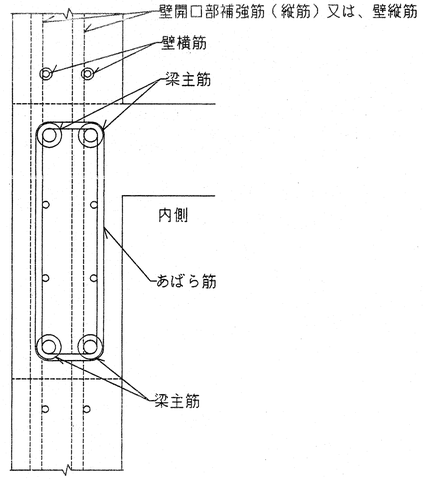
(a) 一般の梁



(b) 壁梁（FWG，FWB，WB）



(3) 壁梁（WG，WB）の納り



工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.12.13	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	〃	
照査	増尾	96.12.13	図面名称 RC造配筋基準図（4）
設計	岡本	96.12.13	
製図	清水	96.12.12	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 — 第 角法 標準図番号 —
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－120040 △A
			出図年月日 整理番号

A1

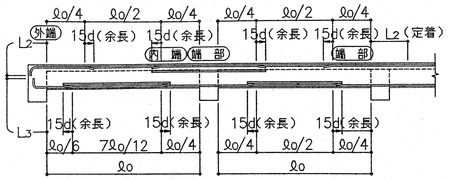
RC造配筋基準図－（5）

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

10 小梁及び片持ち梁

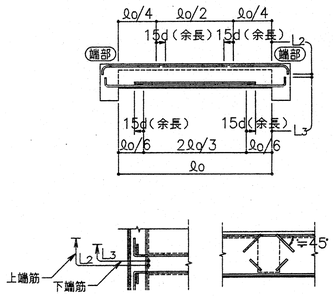
(1) 小梁筋の継手及び定着

(a) 連続小梁



（注）1. ——— は継手、及び余長を示す。
2. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁による。

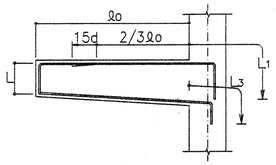
(b) 単独小梁



（注）1. ——— は継手、及び余長を示す。
2. 図示のない事項は、基礎梁及び大梁による。

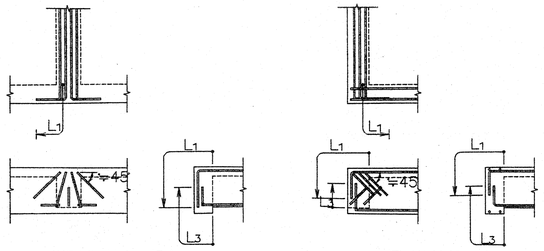
(2) 片持ち梁筋の定着

① 先端に小梁のない場合



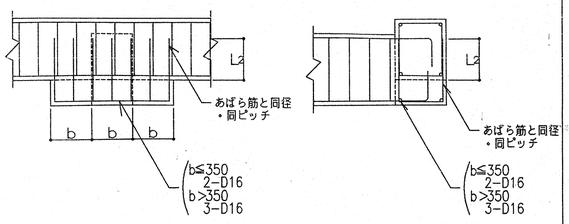
（注）1. ——— 印は、余長を示す。
2. 図示のない事項は、大梁の項による。
3. 先端の折り曲げの長さLは、梁せいよりかぶり厚さを除いた長さとする。
4. 梁筋を引通さない場合は、取合い部材に定着する。但し、柱に取合う場合は、全数引通せる場合でも、上端筋は、2本以上を柱に定着する。

② 先端に小梁がある場合



（注） 1. 図示のない事項は、上記(1)項による。
2. 上端筋は、小梁内に斜めに定着する。

(3) 大梁，小梁段差部の補強

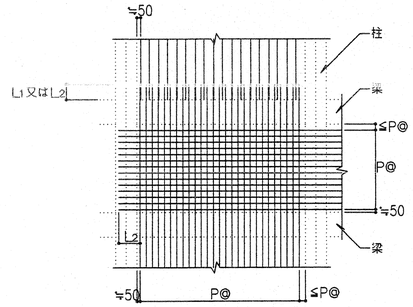


（注）1．bは、小梁幅を示す

11 壁

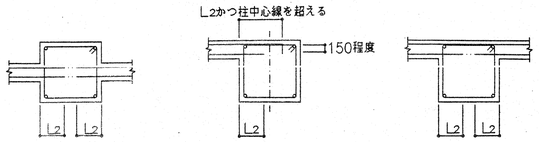
(1) 一般事項

① 壁配筋の継手及び定着の長さは、L_2とする。
② 土圧などをうける壁（地下壁）及び耐震壁として特記されたものは、継手長さをL_1、定着長さをL_2とする。
③ 継手及び定着のとれない場合は、監督員の承諾を受けて、両面フレア溶接の場合は5d以上、片面フレア溶接の場合は10d以上とすることができる。
④ 幅止め筋は、縦、横ともD10@1,000程度とする。
⑤ 一般部壁筋の配筋は下図による。



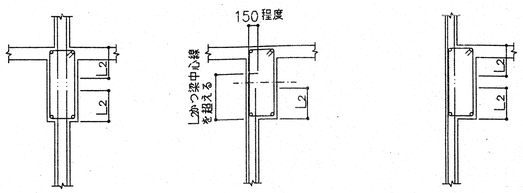
(2) 壁筋の定着

① 柱への定着



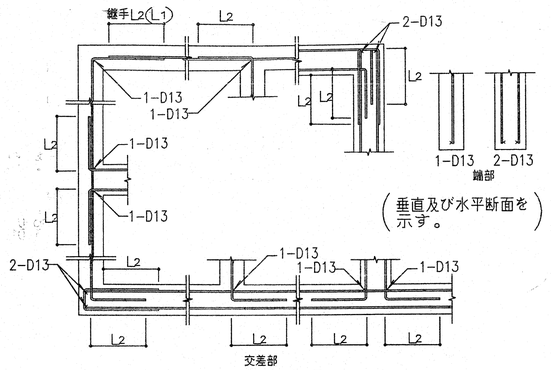
（注）1. 鉄筋の引通しが可能な部分について破線で示す。

② 梁への定着



（注）1. 鉄筋の引通しが可能な部分について破線で示す。

(3) 交差部及び端部の配筋

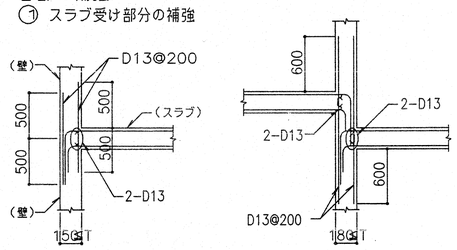


（垂直及び水平断面を示す。）

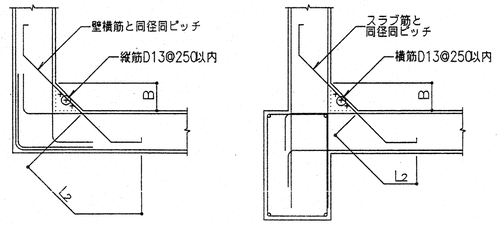
（注）1. （ ）内は壁の項の(1),②による継手長さを示す。
2. 凵型筋を使用する場合の径及び間隔は、壁筋と同径及び同間隔とする。

(4) 各部の補強

① スラブ受け部分の補強



② 入隅部の補強

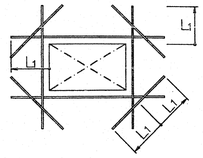


(イ) 壁と壁　　(ロ) 壁とスラブ

（注）1. B≧100 の場合に適用する。

(5) 壁開口部の補強

① 壁開口部の補強の定着長さ

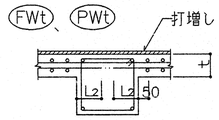


② 開口部が柱、梁に接する部分又は最大径が300mm以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

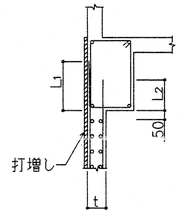
(6) 地下部の土圧及び水圧を受ける壁（FW，PW）の配筋及び定着

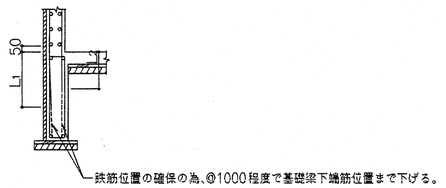
（打増し厚さはリスト参照）

① 柱への定着



② 梁への定着





工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	黒加 ・・		
照査	穂原 96.12.13	図面名称	RC造配筋基準図（5）
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 —	第 角法
		図面番号	WR−120050
		標準図番号	—
		出図年月日	整理番号

A1

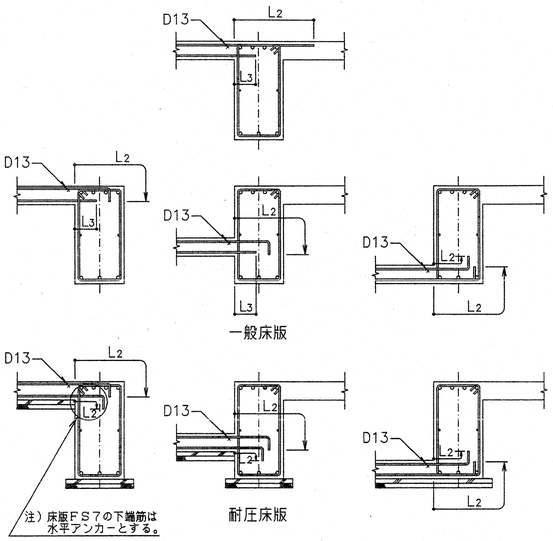
RC造配筋基準図－（6）

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

12 床版

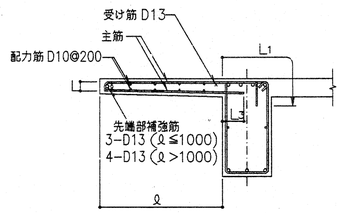
(1) 一般事項

① 床版の配筋は設計図による。
② 鉄筋の継手長さは、L_1とする。
③ 定着長さ及び受け筋
定着長さ及び受け筋の配筋は、下図による。



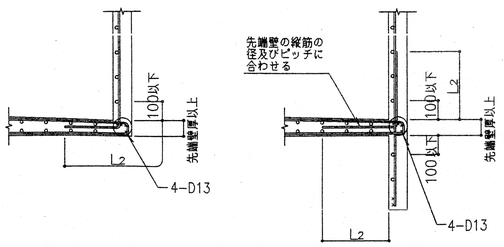
(2) 片持ち床版

① 片持ち床版の補強

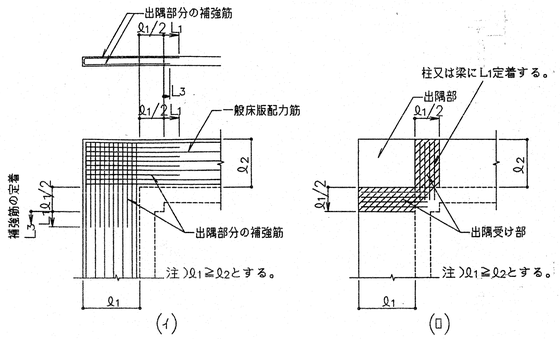


（注）1. 先端の折り曲げ長さLは、床版厚さよりかぶり厚さを除いた長さとする。

② 先端に壁が付く場合

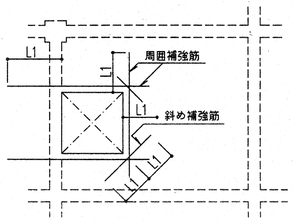


③ 出隅部の補強
(a) 補強の配筋は特記なきかぎりD10 @100ダブルとする。
配筋方法は下図(イ)による。
(b) 出隅受け部（下図(ロ)のハッチ部分）の配筋は設計図による。
特記のない場合は、D10 @100ダブルとする。



(3) 床版開口の補強

① 床版開口部の補強（開口の径500以上の場合）

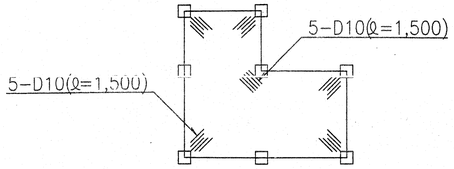


床板厚さD	周囲	斜め	L1
D≦150	各2-D13	各1-D13	150mm
150<D≦200	各2-D13	各2-D13	150mm
200<D≦300	各2-D19	各2-D16	10d

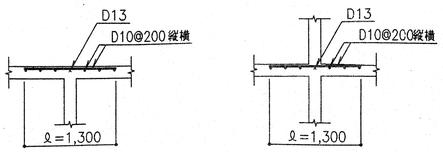
② 床版開口の最大径が両方向の配筋間隔以下で、鉄筋を緩やかに曲げることにより、開口部を避けて配筋できる場合は、補強を省略することができる。

(4) その他の補強

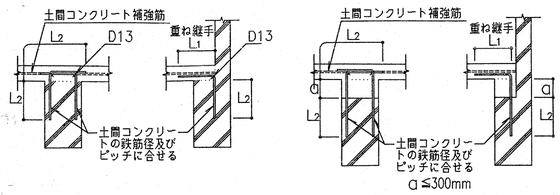
① 屋根床版
屋根床版の出隅及び入隅部には、下図により、補強筋を上端筋の下側に配置する。



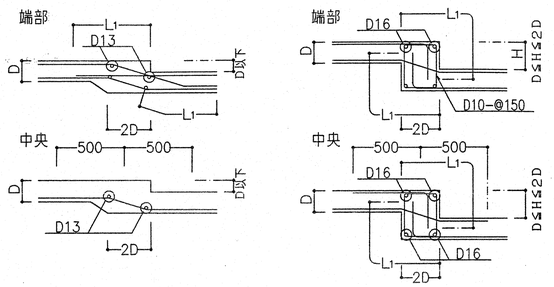
② 壁付き床版
床版に上端筋がなく壁が付いている場合には、下図の補強筋を入れる。



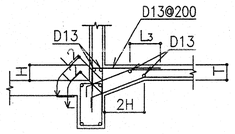
③ 土間コンクリートの補強筋
土間コンクリートの補強筋は設計図による。尚、基礎梁との接合部は下図による。



④ 段違いスラブの補強

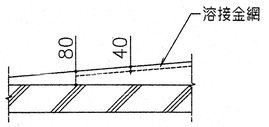


⑤ 床版の段差部の補強



（注）1. T≦200かつH≦2Tにする。それ以上は設計図による。

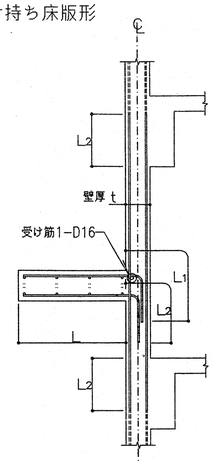
⑥ 床スラブの打増し部の補強



（注）1. スラブの打増し又は、かぶりが80を超える場合は溶接金網 (φ6 −150x150) を入れる。
2. 地下水槽部のスラブの打増し部分については D10－200×200 を入れる。

13 階段

片持ち床版形



（注）1. 壁配筋は、設計図による。
2. 階段主筋は、壁の中心線を超えてから縦に降ろす。
3. 床版配力筋の継手及び定着の長さはL_3とする。
4. L=2,000を超える場合は、設計図による。

工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	黒松 ・・		
照査	神保 96.12.13	図面名称	RC造配筋基準図（6）
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—
NKK 日本鋼管株式会社		第角法	標準図番号 —
		図面番号	WR−120060 △A
		出図年月日	整理番号

A1

RC造配筋基準図－（7）

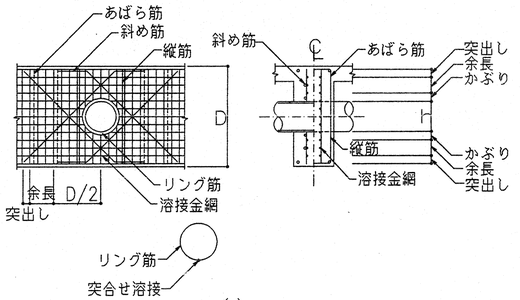
図面来歴				
記号	記事	審	名	年月日
△				

14 梁貫通孔の補強

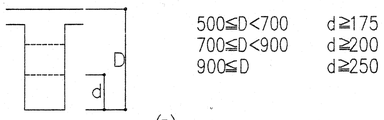
(1) 一般事項

梁貫通孔の補強は設計図に特記がなければ下記による。

① 梁貫通孔補強筋の名称などは下図(イ)による。
② 孔の径は、梁せいの1/3以下とし、孔が円形でない場合はこれの外接円とする。
③ 孔の上・下方向の位置は、下図(ロ)による。
④ 孔の中心位置の限度は、柱及び直交する梁（小梁）の面から原則として1.2D（Dは、梁せい）以上離す。
⑤ 孔が並列する場合は、その中心間隔は孔の径の平均値の3倍以上とする。
⑥ 縦筋及び上下縦筋は、あばら筋の形に配筋する。
⑦ 補強筋は主筋の内側とする。やむをえない場合は監督員の承諾を受けて外側とすることができる。又、鉄筋の定着長さは下図(ハ)による。
⑧ 孔の径が梁せいの1/10以下且つ150mm未満のものは、補強を省略することができる。
⑨ 溶接金網の余長は1格子以上とし、突出しは10mm以上とする。
⑩ 溶接金網に付けるリング筋は、溶接金網に4箇所以上溶接する。
⑪ 溶接金網の割付け始点は、横筋ではあばら筋の下側とし、縦筋では貫通孔の中心とする。

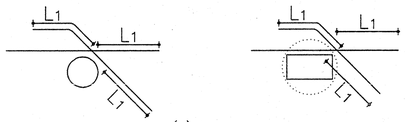


(イ)



500≦D<700　d≧175
700≦D<900　d≧200
900≦D　d≧250

(ロ)



(ハ)

(2) 補強筋サイズ

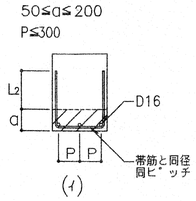
① 梁せいがD=500~1,500、梁幅がB≦700のRC、SRC梁を対象とする。それ以外は設計図による。

孔径	斜め筋	縦筋	溶接金網	リング筋
h≦100	4-2-D13	2-2-D13	2-⌀9@100	⌀13
100<h≦200	4-2-D16	4-2-D13	2-⌀9@100	⌀13
200<h≦300	4-2-D16	4-2-D13	2-⌀9@75	⌀13
300<h≦400	4-2-D19	4-2-D13	2-⌀9@75	⌀13

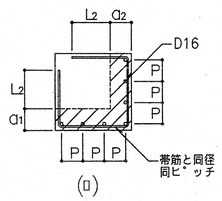
15 その他

(1) 打増し部の補強

① 柱の打増し
(a) 柱の打増し補強は、打増し幅が50mm以上200mm以下の場合に適用する。200mmを越える場合は、特記による。
(b) 下図(ロ)の様に2方向に打増しがある場合、打増し幅は大きい方を適用する。
(c) 軸方向補強筋はD16とし、ピッチは300mm以下とする。
(d) 補強帯筋は、帯筋と同径、同ピッチとする。
(e) 軸方向補強筋及び補強帯筋の定着長さはL_2とする。



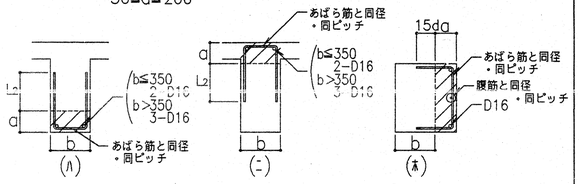
(イ)



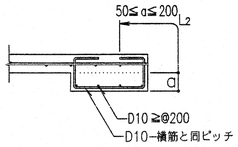
(ロ)

② 梁の打増し
(a) 梁の打増し補強は、打増し幅が50mm以上200mm以下の場合に適用する。200mmを越える場合は、特記による。
(b) 軸方向補強筋はD16とし、上下打増しの場合は、梁幅が350mm以下で2本、350mmを超えれば3本とする。側面打増しの場合は上下共1本とする。
(c) 補強あばら筋は、あばら筋と同径、同ピッチとする。
(d) 軸方向補強筋及び補強あばら筋の定着長さはL_2とする。但し、側面打増しの補強あばら筋については15dとする。

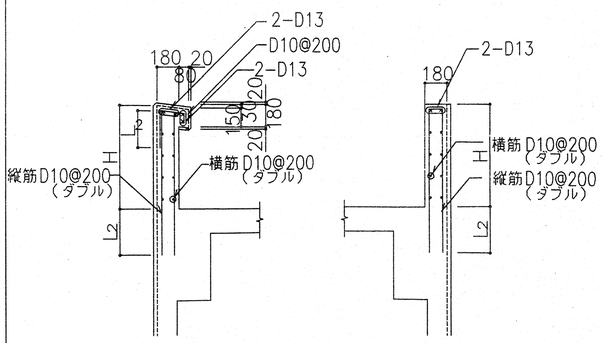
50≦a≦200



③ 壁の打増し
(a) 下図は壁の打増しが50mm以上200mm以下に適用する。200mmを超える場合は、特記による。
(b) 縦方向補強筋はD10とし、ピッチは200mm以下とする。
(c) 横方向補強筋はD10とし、壁横筋と同ピッチとする。

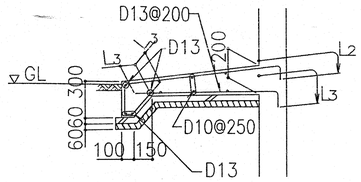


(2) パラペットの配筋

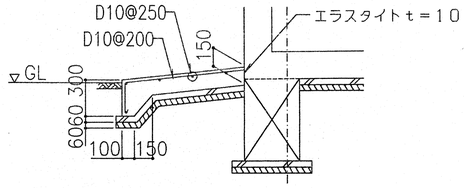


（注）1. Hは意匠図による。

(3) 犬走り配筋

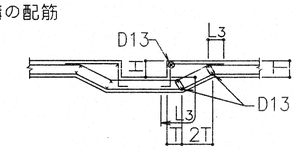


(イ) 建屋と一体タイプ

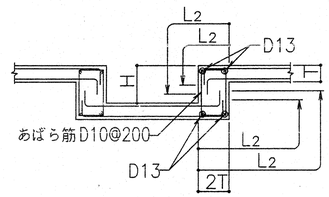


(ロ) 建屋と分離タイプ

(4) 床排水溝の配筋



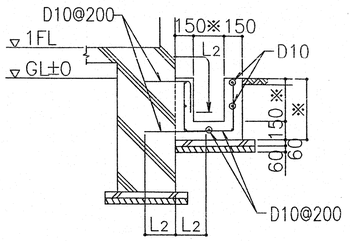
(イ) H≦T



(ロ) T<H≦2T

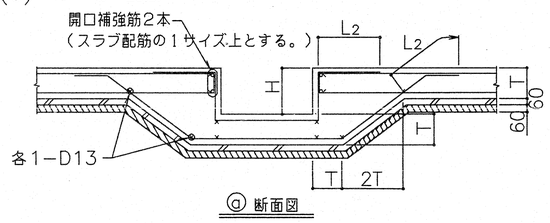
（注）1. T≦200かつH≦2Tの場合に適用する。それ以上は設計図による。
2. 排水溝内床スラブの配筋は一般部床スラブと同一とする。

(5) 雨水排水溝の配筋

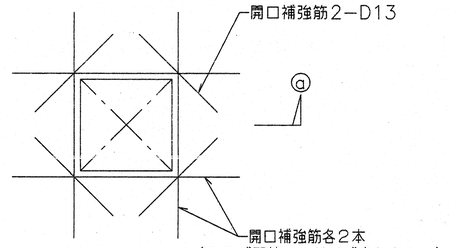


（注）1. ※印寸法は意匠図による。

(6) カマ場の配筋



ⓐ 断面図

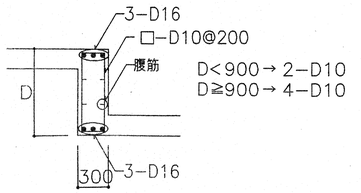


開口平面図

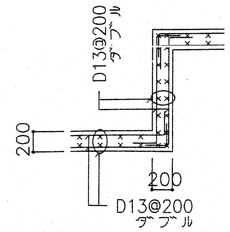
（注）1. かま場開口部最大径が2000mm以下でT≦500, かつH≦2Tの場合に適用する。それ以外は設計図による。
2. かま場内床スラブの配筋は、一般部床スラブと同一とする。

(7) 上記適用外の場合

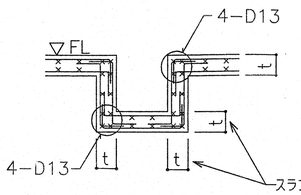
・床排水溝



・釜場



・集水桝



工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 ・・		
照査	鵜尾 96.12.13	図面名称	RC造配筋基準図（7）
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—
		第 角法	標準図番号 —
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-120070 △A
		出図年月日	整理番号

S造設計基準図

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

1 一般事項

1.1 本設計基準は、「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事のすべての建築図面について適用する。

1.2 図中の G.L±0は、別途指示とする。

1.3 図中のレベル表示は特記外下記とする。
SG ,SB梁 ： 梁天端レベル
SHB 梁 ： 梁芯レベル

1.4 アンカーボルトはすべて基礎コンクリートに直埋設する。（箱抜タイプは不可）

1.5 柱脚ベースプレート下には無収縮モルタル㊁５０ｍｍを充填する。

1.6 鉄骨製作業者は、（社）鉄骨建設業協会のS，A，Bグレード又は、（社）全国鉄構工業連合会のH。Mグレードのうちより、設計者が承認した工場とする。

1.7 塗装基準は別途指示する。

1.8 鉄骨製作・建方要領は別途指示する。

1.9 溶接部の検査は別途指示する。

2 使用材料

柱，梁，ブレース，根太の形鋼：SS400(JIS G 3101)
STKR400(JIS G 3466)
ブレース(RB) ：SR235(JIS G 3112)
ﾀｰﾝﾊﾞｯｸﾙ(JIS A 5540)
胴 縁 ：SSC400(JIS G 3350)

鋼 板 ：SS400

アンカーボルト ：SS400

高力ボルト ：F10T,μ=0.45 （トルシヤ型）
（JSSⅡ 09）

中ボルト ：SS400

デッキプレート ：デッキプレートは別途図面による
(JIS G3352)

頭付ｽﾀｯﾄﾞ ：ø16 L=120 (JIS B 1198)
：ø13 L= 80 (JIS B 1198)

無収縮モルタル ：Fc=210Kg/cm²以上

3 図面共通表示内容

3.1鉄骨梁符号は特記以外下記とする。

SC ： 柱
SP ： 間柱
SV ： 鉛直ブレース
SH ： 水平ブレース
ST ： トラス梁
SG ： 両端剛ジョイントの梁
SB ： 両端ピンジョイントの梁
SBR： 右端ピンジョイント，左端剛ジョイントの梁
SBL： 右端剛ジョイント，左端ピンジョイントの梁
SCG： 片持梁
SHB： 両端ピンジョイントの横梁（耐風梁）
SCRG: クレーンガーダー（ランウェイガーダー，ラチス，バックガーダーを含む）

3.2 省略記号

DWG	：	設計図
FL	：	床レベル
SEC.	：	断面図
DET.	：	詳細図
A.Bolt	：	アンカーボルト
HTB	：	高力ボルト
CHPL	：	チェッカープレート
GPL	：	ガセットプレート
SPL	：	スプライスプレート
STPL	：	スチフナープレート
RIBPL	：	リブプレート

3.3 ◇ 表示は、柱，大梁の現場剛ジョイントを示す。

工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	尾和 ・・	図面名称	S造設計基準図
照査	池尾 96.12.13		
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	— 第 角法
NKK 日本鋼管株式会社		標準図番号	—
		図面番号	WR−120080 △A
		出図年月日	整理番号

A1

S造基準詳細図－（１）

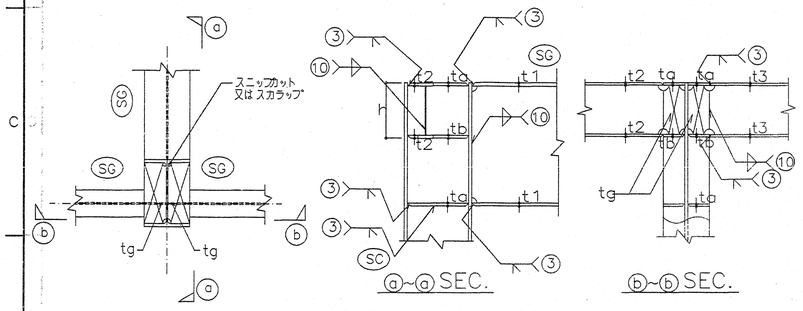
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

1 柱・大梁芯と通り芯の関係

・柱・SG・SB・SV芯は、S造柱芯線図による。

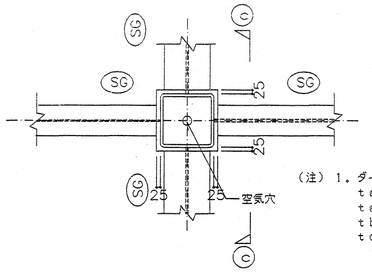
2 柱・大梁仕口部の取り合い詳細図

柱H形鋼の場合

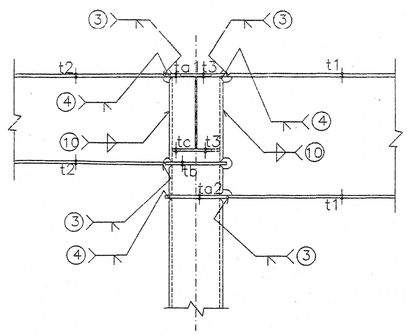


（注）1．水平スチフナ（ta、tb）の板厚ta≧max（t1、t2、t3）、tb≧max（t2、t3）。
2．各水平スチフナ間の距離（h）が、50mm以下の場合は梁せいの大きい側のみとする。
3．鉛直スチフナ（tg）の板厚は、取り付く梁のフェププレート厚以上とする。

柱コラムの場合



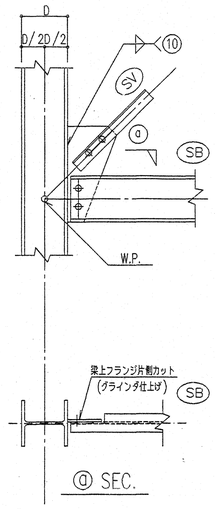
（注）1．ダイヤフラム（ta，ta2，tb，tc）の板厚
ta1≧Max，（t1，t2，t3）
ta2≧t1
tb≧t2
tc≧t3



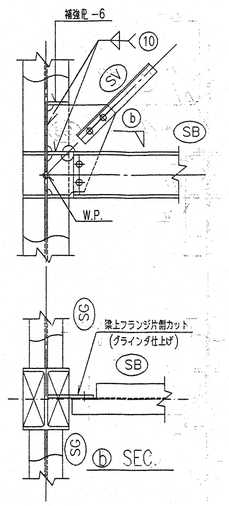
4 鉛直ブレースの取り合い詳細図

柱とSB梁の取り合い部

柱　強軸方向取り合い

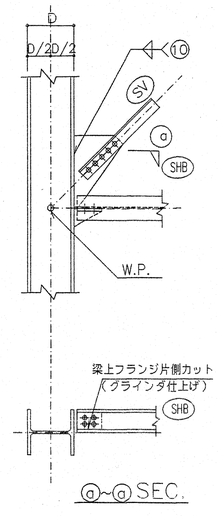


柱　弱軸方向取り合い

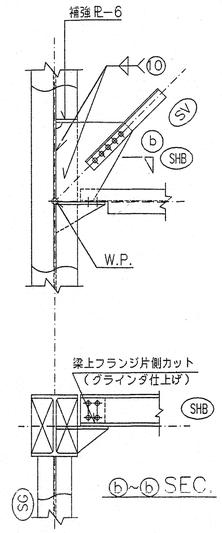


柱とSB梁の取り合い部

柱　強軸方向取り合い



柱　弱軸方向取り合い



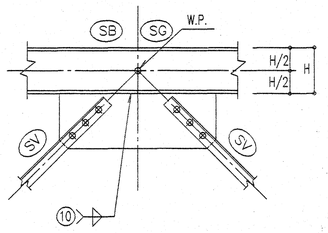
柱とSHB梁の取り合い部

鉛直ブレースと間柱（SP）、SHB梁とにあきがある場合は（S－11）8図にならう。

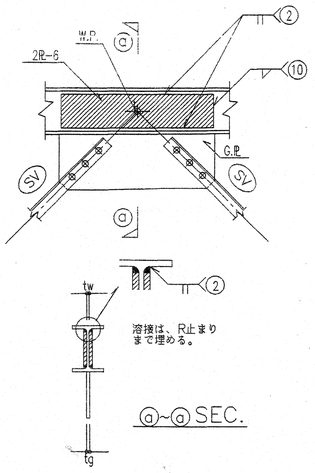
鉛直ブレースのG芯の芯ずれがある場合の調整

鉛直ブレースの上、下のガセットプレートでGP芯もしく板厚が違う場合は、フィラープレート（下図斜線で表示）で芯ずれを調整する。

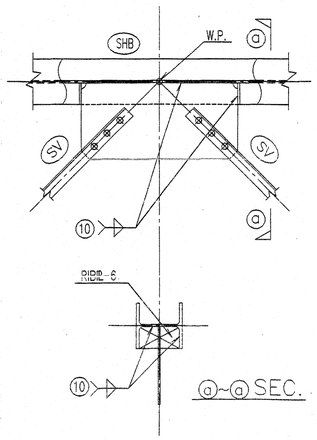
SG、SB梁取り合い



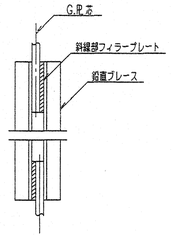
twくtgの場合は梁のウェブをプレート（2PL-6）で補強する。



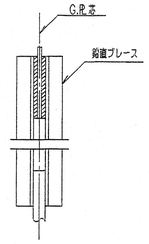
SHB梁、取り合い



GPL芯がずれている場合



GPL厚が違う場合



工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	栗加 ・・		
照査	鶴屋 96.12.13	図面名称	S造基準詳細図（１）
設計	飯塚 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—
		第角法	標準図番号 —
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR－120090 △A
		出図年月日	整理番号

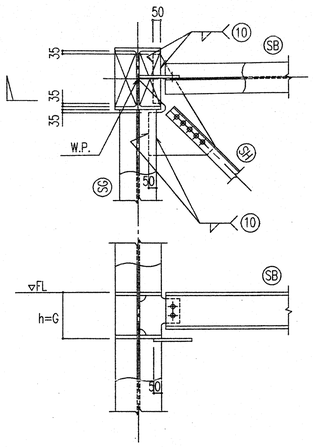
A1

基準詳細図(2)

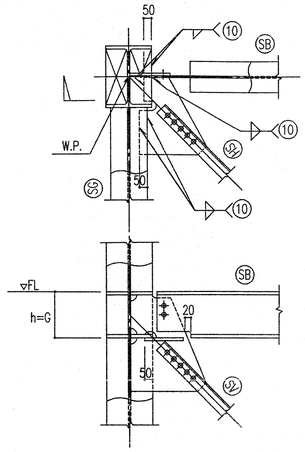
図面来歴			
記事	署名		年月日

7 水平ブレースの取合詳細図(共通) (h=ブレースG芯天端レベル)

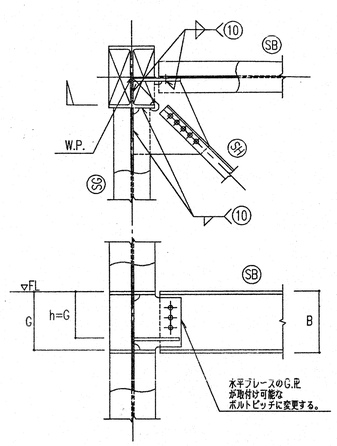
① SG梁とSB梁(h=G)



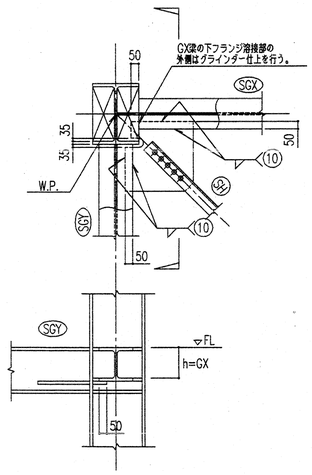
② SG梁とSB梁(h=Gで鉛直ブレース付)



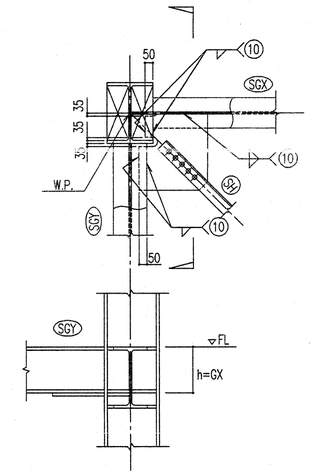
③ SG梁とSB梁(h<G,B)



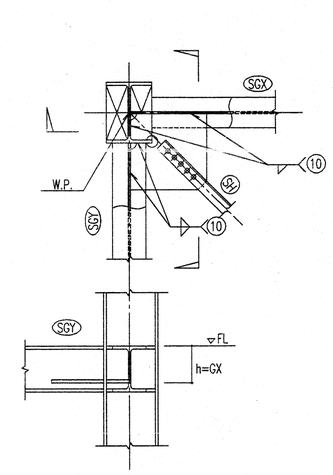
④ SG梁とSB梁(h=GX)



⑤ SG梁とSB梁(h=GY)

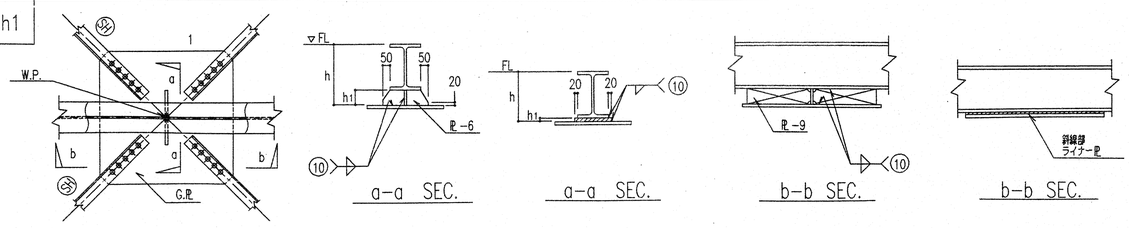


⑥ SG梁とSB梁(h<GX,GY)

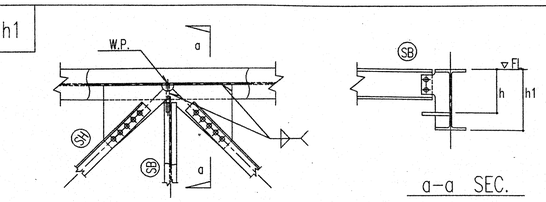


8 水平ブレースと梁取合部詳細図(h=ブレースG芯天端レベル、h1=梁成)

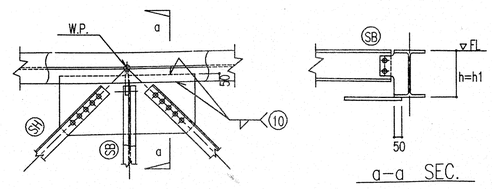
h > h1



h < h1



h = h1



工事番号	EL-6851	
承認	村田	96.12.13
照査	冨加	..
照査	渡尾	96.12.13
設計	風本	96.12.13
製図	清水	96.12.12
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: S造基準詳細図(2)

尺度: — 第 角法 標準図番号: —

図面番号: WR-120100 A

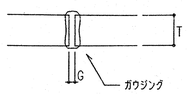
出図年月日 整理番号

溶接基準図

図面来歴				
記号	記事	審	名	年月日
△				

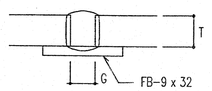
完全溶込み溶接

① I形



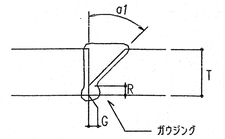
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≤6	–	1/2・T	–	–	–	–	FHVO
GMAW	≤6	–	1/3・T	–	–	–	–	FHVO
SAW	6~12	–	0	–	–	–	–	F

② I形



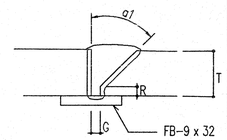
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≤6	–	T	–	–	–	–	FHVO
GMAW	≤9 ≤6	– –	1/2・T T	– –	– –	– –	– –	FH VO
SAW	6~9	–	T	–	–	–	–	F

③ レ形



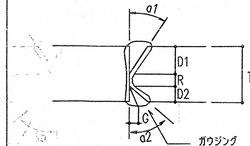
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
GMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
SAW	≥12	6	0	50°	–	–	–	F

④ レ形



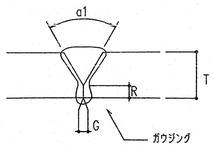
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
GMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
SAW	≥9	2	10	30°	–	–	–	F

⑤ K形



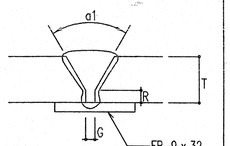
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
GMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
SAW	≥19	6	0	50°	60°	※1	※2	F

⑥ V形・X形



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	60°	–	–	–	FHVO
GMAW	≥6	2	0	60°	–	–	–	FHVO
SAW	≥12	8	0	60°	–	–	–	F

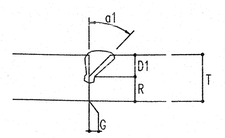
⑦ V形



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
GMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
SAW	≥9	2	10	30°	–	–	–	F

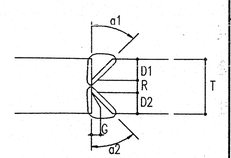
部分溶込み溶接

⑧ レ形



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
GMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
SAW	≥16	T-D1	0	60°	–	※3	–	FH

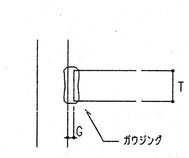
⑨ K形



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥25	※5	0	60°	60°	※4	※4	FHVO
GMAW	≥25	※5	0	45°	45°	※4	※4	FHVO
SAW	≥25	※5	0	50°	60°	※4	※4	FH

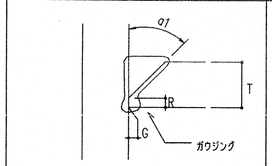
T形

完全溶込み溶接

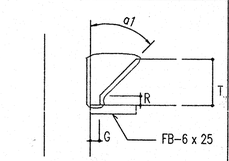


方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	–	–	–	–	–	–	–	–
GMAW	≤6	–	1/3・T	–	–	–	–	FHVO
SAW	6~9	–	0	–	–	–	–	FH

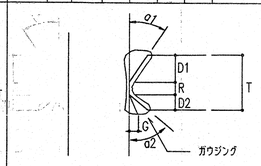
部分溶込み溶接



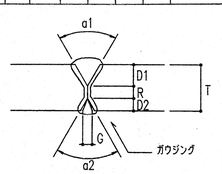
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
GMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
SAW	≥9	6	0	60°	–	–	–	F



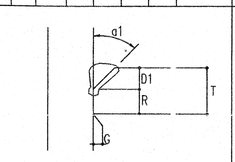
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
GMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
SAW	≥9	2	10	30°	–	–	–	F



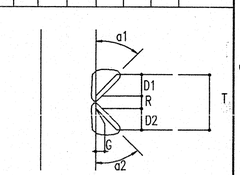
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
GMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
SAW	≥19	6	0	50°	60°	※1	※2	F



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	60°	60°	※1	※2	FHVO
GMAW	≥6	2	0	60°	60°	※1	※2	FHVO
SAW	≥12	8	0	60°	60°	※1	※2	F



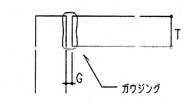
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
GMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
SAW	≥16	T-D1	0	60°	–	※3	–	FH



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥25	※5	0	60°	60°	※4	※4	FHVO
GMAW	≥25	※5	0	45°	45°	※4	※4	FHVO
SAW	≥25	※5	0	50°	60°	※4	※4	FH

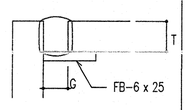
レ形

完全溶込み溶接

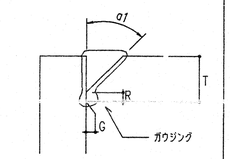


方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	–	–	–	–	–	–	–	–
GMAW	≤6	–	1/3・T	–	–	–	–	FHVO
SAW	–	–	–	–	–	–	–	–

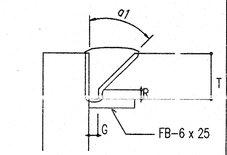
部分溶込み溶接



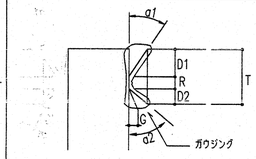
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≤6	–	T	–	–	–	–	FHVO
GMAW	≤9 ≤6	– –	1/2・T T	– –	– –	– –	– –	FH VO
SAW	≤6	–	–	–	–	–	–	–



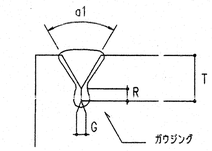
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
GMAW	≥6	2	0	45°	–	–	–	FHVO
SAW	≥9	6	0	50°	–	–	–	F



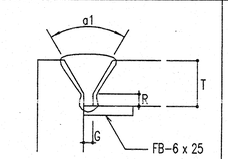
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
GMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
SAW	≥9	2	10	30°	–	–	–	F



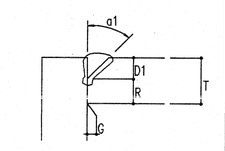
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
GMAW	≥16	2	0	45°	60°	※1	※2	FHVO
SAW	≥19	6	0	50°	60°	※1	※2	F



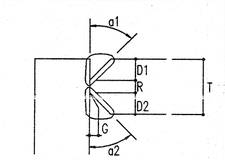
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6	2	0	60°	–	–	–	FHVO
GMAW	≥6	2	0	60°	–	–	–	FHVO
SAW	≥9	8	0	60°	–	–	–	F



方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
GMAW	≥6 ≥12	2 2	6 9	45° 35°	– –	– –	– –	FHVO FHVO
SAW	≥9	2	10	30°	–	–	–	F

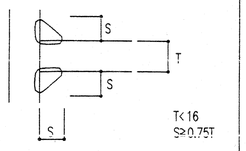


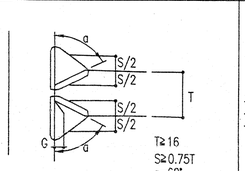
方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
GMAW	≥9	T-D1	0	45°	–	※3	–	FHVO
SAW	≥16	T-D1	0	60°	–	※3	–	FH

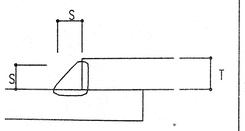


方法	T	R	G	a1	a2	D1	D2	溶接姿勢
SMAW	≥25	※5	0	60°	60°	※4	※4	FHVO
GMAW	≥25	※5	0	45°	45°	※4	※4	FHVO
SAW	≥25	※5	0	50°	60°	※4	※4	FH

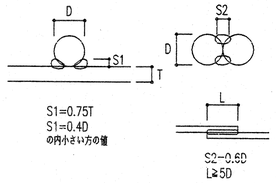
⑩ すみ肉溶接

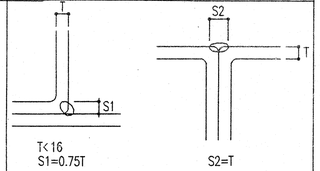






⑪ フレアー溶接



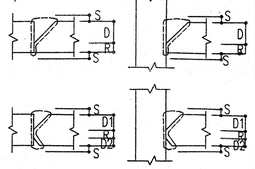


一般事項

1) 記号

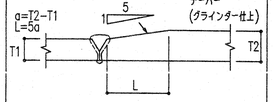
SMAW：アーク手溶接
GMAW：ガスシールドアーク半自動溶接(t> 4mmの場合
SAW：サブマージアーク溶接
T：適用板厚
G：ルート間隔
α：開先角度
R：ルート面寸法
D：開先深さ
溶接姿勢
F：下向き(FLAT)
H：横向き(HORIZONTAL)
V：立向き(VERTICAL)
O：上向き(OVER HEAD)

2) 余盛り



	S
D≤4	1
4<D≤12	2
12<D≤20	3
20<D	4

3) 異なる板厚の継ぎ手



α=T2-T1
L=5α

4) スカラップ

スカラップ手径(r)は 30～35mm とする

5) エンドタブ

- 完全溶込み溶接、部分溶込み溶接の始端・終端部に母材と同厚で同開先形状のエンドタブを取り付けること
- エンドタブの材質は、母材と同質とする
- エンドタブの長さは下記による
  SMAW：35mm以上
  GMAW：40mm以上
  SAW：40mm以上
- エンドタブは特記なき限り溶接終了後母材を傷めない程度残し、切断してグラインダー仕上げとする

6) 裏あて金

- 裏あて金の材質はSS41規格品とする

7) 注記説明

※1：(T-R)2/3
※2：(T-R)1/3
※3：設計図に指示
※4：〃
※5：T-D1-D2

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星和 ・・		
照査	福原 96.12.13	図面名称	溶接基準図
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	—	第	角法	標準図番号	—
図面番号	WR-120110	△			
出図年月日		整理番号			

A1

NKK Cデッキ合成スラブ設計・施工標準

NKK Cデッキ合成スラブの設計・施工は,(社)鋼材倶楽部編「デッキプレート」床構造設計施工規準」および合成スラブ工業会編通則的耐火指定・無被覆耐火構法「合成スラブの設計・施工マニュアル」による他,NKK Cデッキカタログによる。

設計

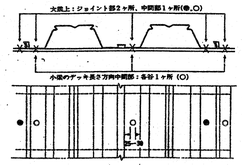
材料

デッキプレート	品名	板厚(mm)	表面処理	材質	
形状	■C50 □C75	■1.2 □1.6	■Z12 □塗装 □Z27	□SDP1T ■SDP2	□SDP2G
コンクリート	種類	厚さ(デッキ山上)(mm)		設計基準強度Fc(kg/cm²)	
	■普通コンクリート	■80 □95		□180 □240	
	□1種軽量コンクリート	□85 □100		■210 □その他( )	
	□2種軽量コンクリート	□90 □その他( )		□225	
溶接金網または異形鉄筋	■φ6×150×150 □φ6×100×100	□異形鉄筋( ) □その他( )			

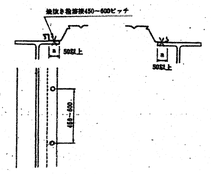
接合

① 溶接位置

a デッキプレートの幅方向



b デッキプレート長さ方向



□焼抜き栓溶接 施工「焼抜き栓溶接」による。

■頭付スタッド ■φ16 □φ19 □その他( )。 □デッキ貫通:梁とデッキの接合はアークスポット又はスミ肉溶接とする。 □直打ち

□ヒルティびょう

耐火

■1時間	■Cデッキ合成スラブによる(■F1001)(■F1002)			
	□吹付けロックウールの15mm(F1111)	使用デッキ	■C50	□C75
	□その他( )	支持条件	■連続	■単純
		スパン	■2.4m以下	■2.7m以下 □3.0m以下
			□3.6m以下	
		積載荷重	■400kg/m²以下	□550kg/m²以下
			□450kg/m²以下	
		スラブ厚	□70mm以上	■80mm以上 □90mm以上
□2時間	□Cデッキ合成スラブによる(■F2001)	使用デッキ	□C50	□C75
	□吹付けロックウールの20mm(F2111)	支持条件	□連続	
	□その他( )	スパン	□2.7m以下	□3.0m以下 □3.4m以下
		積載荷重	□360kg/m²以下	□550kg/m²以下
		スラブ厚(鋼)	□95mm以上	□90mm以上
		(コ)	□85mm以上	
□指定なし				

耐火仕様

(通則的耐火指定)

2時間耐火 耐火(通)F2001 **連続支持合成スラブ**

使用コンクリート	Cデッキプレートの高さ:H mm	許容最大積載荷重:W kg/m²	最大スパン:ℓ m	スラブ厚:S mm	溶接金網または異形鉄筋 mm
普通	50	360	2.7	95以上	φ6−100×100
	75	360	3.0	90 〃	φ6−150×150
	75	650	3.2	90 〃	φ6−100×100
	75	550	3.4	90 〃	φ6−100×100
	75	550	3.6	95 〃	D10−200×200
軽量1,2種	50	360	2.7	85 〃	φ6−150×150
	75	360	3.0	85 〃	φ6−150×150
	75	650	3.2	85 〃	φ6−100×100
	75	550	3.4	85 〃	φ6−100×100
	75	550	3.6	90 〃	D10−200×200

1時間耐火 耐火(通)F1001

使用コンクリート	Cデッキプレートの高さ:H mm	許容最大積載荷重:W kg/m²	最大スパン:ℓ m	スラブ厚:S mm	溶接金網または異形鉄筋 mm
普通	50,75	550	3.0	80以上	φ6−150×150
	75	450	3.6	90以上	φ6−100×100
軽量1,2種	50,75	400	3.0	70以上	φ6−150×150

耐火(通)F1002 **単純支持合成スラブ**

使用コンクリート	Cデッキプレートの高さ:H mm	許容最大積載荷重:W kg/m²	最大スパン:ℓ m	スラブ厚:S mm	溶接金網 mm
普通	50,75	550	2.4	80以上	φ6−150×150
	50,75	400	2.7	〃	φ6−150×150

(注) 1. スパンはデッキプレートを支持する梁の中心間距離とする。
2. 許容最大積載荷重は、建築基準法施行令第85条に示されている積載荷重を示す。
3. 異形鉄筋の場合は D10以上、間隔200mm以下とする。
4. スパン3.4mを超える場合は、合成スラブと梁とは頭付きスタッド(軸径16mm以上、間隔300mm以下)で結合する。

標準納まり

デッキプレート伏図

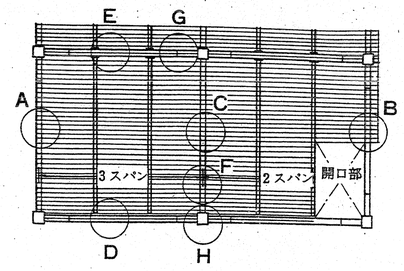
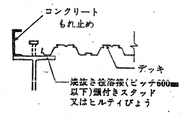


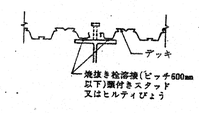
図5−4 各部の標準納まり

幅方向

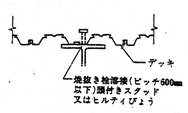
・D デッキ外端



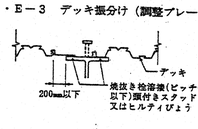
・E−1 デッキ連続



・E−2 デッキ振分け



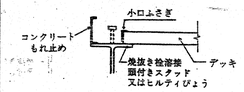
・E−3 デッキ振分け(調整プレート)



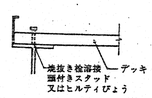
デッキプレートと梁の納まり

長さ方向

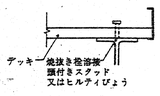
・A−1 デッキ外端



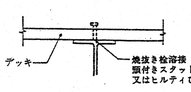
・A−2 デッキ外端



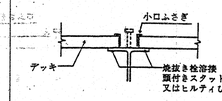
・B ハネ出し



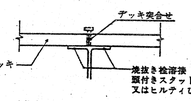
・C−1 デッキ連続



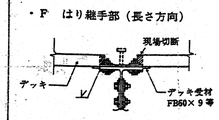
・C−2 デッキ振分け



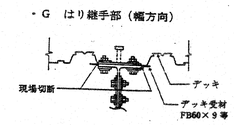
・C−3 デッキ突合せ



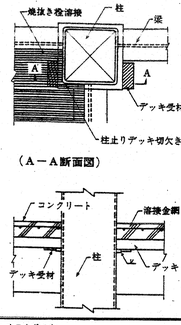
・F はり継手部(長さ方向)



・G はり継手部(幅方向)



柱まわり納まり

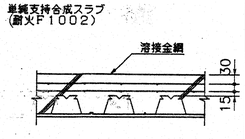


(A−A断面図)

溶接金網の納まり

耐火構造
連続支持合成スラブ
(耐火F2001, F1001)

単純支持合成スラブ
(耐火F1002)

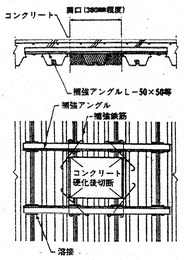


はり耐火被覆材の納まり

開口部補強

① 大きい開口部の補強

a アングルで補強する場合

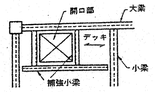


補強材は切欠き欠点のないデッキプレートの山部にかかるように長さを充分にとる。

㈱ 開口部周辺は必ず鉄筋で補強すること。

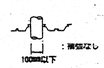
c 小梁で補強する場合

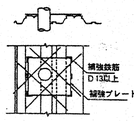
(開口幅300mm以上)



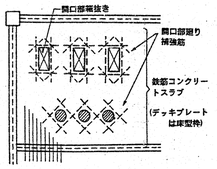
② 小さい開口部の場合

a デッキのウエブにかからない場合





b スラブ構造を鉄筋コンクリートとする場合(デッキは型枠)



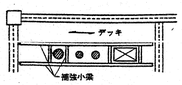
・施工方法

i) 開口部を箱抜きしデッキはコンクリート硬化後切断する。

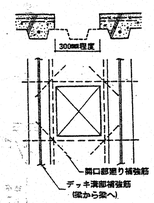
ii) 支保工を用いる。

③ 開口部が多数ある場合

a 小梁が補強する場合



b 鉄筋肉で補強する場合



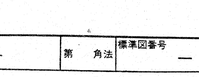
・開口部両側のデッキ溝部に配筋し補強する。

・施工方法

i 開口部を箱抜きしデッキはコンクリート硬化後切断する。

ii 支保工を用いる。

施工

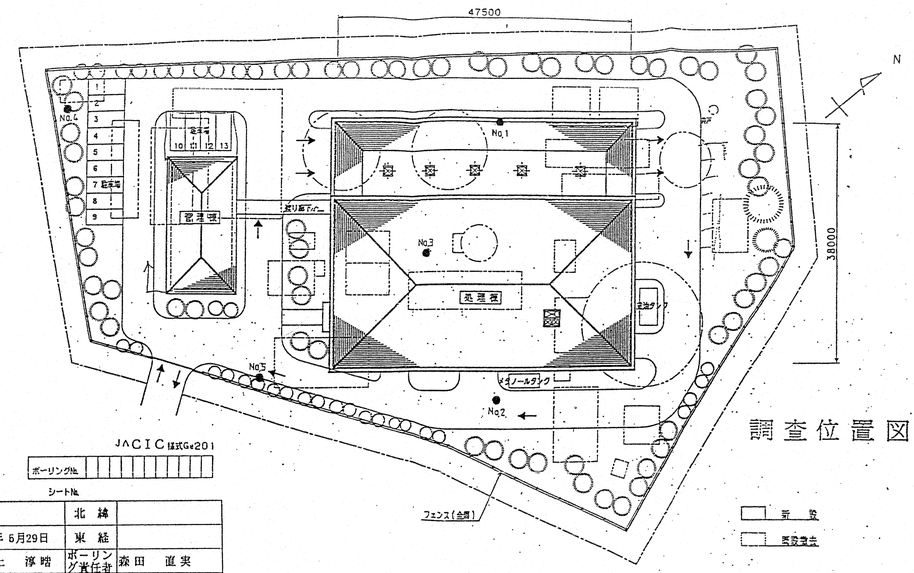
施工順序	墨出し → 敷込み → 仮止め溶接 → 試打 → 焼抜栓溶接 → スタッド溶接 → 検査 → コンクリート打設 → 養生 デッキ相互の溶接 → 溶接金網敷込み → 清掃
敷込み	(1) 墨出し線に合わせて1枚目のデッキプレートを仮止め溶接した後, 順次適当な枚数間隔(5〜10枚)毎に仮止め溶接する。 (2) デッキプレートの溝部が各大梁上に乗る様に敷込む。 (3) デッキプレートの長さ方向の梁上のかかり代は30mm以上とする。(PWの場合かかり代50mm以上) (4) デッキプレートの柱廻り, 梁継手部, 開口部, 斜め登部等は現場合わせ現場切断とする。
焼抜栓溶接(PW)	焼抜栓溶接は交流アーク溶接工法か炭酸ガス自動焼抜栓溶接工法による。 ・交流アーク溶接の場合(PW) 溶接条件 (1) 溶接棒の種類:低水素系(JIS D4316, D5016) (2) 溶接棒の径 :4.0mmφ (3) 溶接電流 フランジ厚 5〜9mm / 9mm以上; 電流 230〜250A / 270〜300A (4) 溶接栓径 :25±3mm 作業条件 (1) デッキプレートと梁フランジ面は, 2mm程度以下にする。 (2) アークを飛ばして直径20mm程度の円を描きながらデッキプレートを焼き抜く。 (3) 溶接棒をフランジ上端まで押し込み径20mm, 15mm 10mm程度の円を描きながら溶け込ます。 (4) さらに溶接棒を回転しながら溶接金属を盛り上げて栓径を25mmにする。 ・炭酸ガス自動焼抜栓溶接の場合(APW) 溶接条件 (1) 溶接機 : CO_2APW(350A) (2) ワイヤー径 : 1.2mmφ(ソリッドワイヤー) (3) 標準溶接条件 デッキ板厚(mm) / 梁フランジ板厚(mm) / 電流(A) / 電圧(V) / アークタイム(SEC) 1.2 / 6-9未満 / 300-320 / 33-35 / 3-4●1度打ち 1.2 / 9以上 / 300-320 / 33-35 / 3.5-4●2度打ち 1.6 / 6-9未満 / 300-320 / 33-35 / 3.5-4.5●1度打ち 1.6 / 9以上 / 300-320 / 33-35 / 4-4.5●2度打ち (4) 溶接栓径 : 25±3mm (5) CO_2流量 : 20 l/min以上 (6) 一次側電源の必要容量 仮設電源 18KVA以上 3層200V ジェネレーター 35KVA以上 3層200V
スタッド溶接	(1) 頭付きスタッドの材料は JIS B 1198 「頭つきスタッド」による。 (2) 施工は日本建築学会編「各種合成構造設計指針・同解説」による。
鋲打ち	(1) 「ヒルティー」鋲の種類:ENP3-21L15 (2) 「ヒルティー」鋲の施工は日本ヒルティー㈱の責任施工または技術指導のもとで行う。
デッキプレート相互の溶接	(1) デッキプレート相互の溶接は嵌合による。 (2) ボタンパンチあるいは溶接をする必要はない。 (3) 接合は敷込み方向にデッキプレートを引くことにより相互を噛み合わせる。 
溶接金網または異形鉄筋コンクリート工事	デッキプレート上にスペーサーを1.0m以下のピッチでいれ, 溶接金網または異形鉄筋をスラブ上面より30mmのかぶり厚を確保して床全面に敷並べる。溶接金網の重ね代は標準納まりによる。 (1) コンクリート打設前にデッキプレート上を, エアーコンプレッサー等で充分清掃をする。 (2) その他は日本建築学会標準仕様書 JASS5「鉄筋コンクリート工事」による。
施工管理検査[註]デッキプレートをDPと略す	・施工管理・検査項目 (1) DPは設計仕様通りで材料に著しいねじれや変形はないか。 (2) 柱回り, 梁継手部のDP受材, 開口部の補強受梁はあるか。 (3) DPは2スパン以上にわたって連続的に小巣等で支持されているか。 (4) DPは相互に接続されているか。 (5) 梁部材等にDPは所定の寸法が掛かっているか。 (6) DPと梁は焼抜栓溶接または頭付きスッタドが溶接されているか。 (7) DPのコンクリートの洩れ止めは小口ふさぎ等でなされているか。 (8) 溶接金網のかぶりは確保されているか。 (9) スラブの厚さは確保されているか。 (10) 耐火構造表示マークは所定の位置に貼られているか。 (耐火仕様の場合) (注) No.3は通則的耐火指定連続支持合成スラブの場合とする。 ・焼抜栓溶接の検査 :施工前の確認 (1) 塗装面のよごれ, 水分の除去は充分か (2) 梁とデッキプレートのすき間(2mm以下) (3) 溶接棒の種類, 径, 乾燥状態 (4) 電流値 (5) APWの場合 電流、電圧、アークタイム :施工後の検査 (1) 溶接箇所, ピッチ寸法 (2) 溶接の径 :手直し (1) デッキ焼切れ, 余盛不足, 外径不足等の不良部は径4φまたは3.2φの溶接棒で肉盛補修手直しをする。 (2) 自動溶接の場合は打直しまたは重ね打ちで補修する。
特記(施工)	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村畑	96.12.13	工事名称 「鹿島苑」第一し尿処理施設建設工事
無査	渡辺	〃	
無査	村尾	96.12.13	図面名称 NKK Cデッキ合成スラブ設計施工標準図
設計	風戸	96.12.13	
製図	清水	96.12.12	
設計部署	シビルエンジニアリング部 鋼構設計室		尺度 — 第角法 標準図番号 —
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-120120 A

出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



調査位置図

□ 計 数
□ 関数表示

原分離高含有生物脱窒処理方式

ボーリング柱状図

JACIC様式G-201

調 査 名 し尿処理施設更新に伴う地質調査業務委託

ボーリング№

シート№

事業・工事名

ボーリング名	No.1	調査位置	鹿島市大字中村６４１地内					北緯	
発注機関	鹿島・藤津地区衛生施設組合				調査期間	平成 8年 4月10日 ～ 平成 8年 5月29日		東経	
調査業者名	新地研工業株式会社 0952-23-4965	主任技師	井上 淳暗	現場代理人	井上 淳暗	コア鑑定者	井上 淳暗	ボーリング責任者	森田 直実
孔口標高	GH 3.51m	角度	180° 上 90° 下 0° 0′	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	21.50m								
				試錐機	吉田製 YSO-1		ハンマー落下用具	コーンプーリー	
				エンジン	ヤンマーNF-90		ポンプ	吉田製SP40B	

尺度 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
			0.00			褐茶灰			0.00～1.30m間：ﾌｧｲﾝ粘土混り砂礫。φ50㎜程の礫混入。
1						～			
2	1.21	2.30	2.30		礫土 (GG)	青灰			1.30m～2.30m間：礫質土の礫土。φ30～100㎜の堆石主体。
3									
4									含水量多く高らかい。粘着力大。粗度均一。異種物少量混入。
5									
6	-2.49	3.70	6.00		粘土 (CL)	暗灰		非常に軟い	4.50mより細砂を挟む。
7	-2.99	0.50	6.50		砂(S)	暗灰	非常に緩い		含水量大。中位砂主体。
8	-4.09	1.10	7.60		粘土 (CL)	暗灰		非常に軟い	含水量多く、高らかい。異種物少量混入。
9	-4.49	0.40	8.00		礫混り粘土	暗灰		非常に軟い	礫径5㎜程混入。
10	-5.49	1.00	9.00		細混りﾐﾘ (S-G)	茶灰	中位		含水量多い。礫径5㎜、シルト分多分に混在する。φ10㎜程の礫細混入。
11							密な		
12									凝灰角礫岩の二次堆積層。マトリックスは砂及び粘土で、10.70mより軽く振出figれる。φ5～10㎜の礫多く、所々φ30～100㎜の礫質火山岩塊を混入する。
13									
14									
15	-12.29	6.80	15.80		粘土混り砂礫 (GI-C)	茶灰			
16	-12.99	0.70	16.50		火山灰質シルト (VV)	明灰		非常に軟い	含水量非常に多く、高らかい。φ20㎜程の礫混入。
17									各状コアをなす。16.5～16.80m間は礫質火山岩。棒状コア。
18									
19									下部はφ20～100㎜の礫状及び棒状コア。亀裂多く、礫間は凝灰質粘土状より砂で固結している。
20									
21	-17.99	5.00	21.50		凝灰角礫岩 (TB)	灰黒			
22									

孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	10cm毎の打撃回数	N値	深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	試料番号	乱れ	試料採取方法	孔内傾斜一軸圧縮強度	掘進月日
	1.15	2 46	50/20								
	1.35										
	2.85	1	1/15								
	3.00	35	95/11								
	3.90 3.50	50	50/0								
	4.00	9	9/0								
	4.50	50	50/0								
	5.00	50	50/0								
	5.50										
	5.15	50	50/1								
	6.15 7.00	50	50/0								
	7.50	50	50/0								
	8.15	1 1 1	3/3								
	8.45										
	9.15	4 5 6	15/15								
	9.45										
	10.15	10 12 15	37/30								
	10.45										
	11.15	10 22 18	50/30								
	11.45										
	12.15	10 11 23	50/30								
	12.45										
	13.15	15 13 11	38/30								
	13.45										
	14.15	15 14 16	45/30								
	14.45										
	15.15	10 10 10	30/30								
	15.45										
	16.15	50	50/1								
	16.45										
	17.15	23 27	50/30								
	17.45										
	18.00	50	50/5								
	18.06										
	18.85	12 16 20	50/30								
	19.15										
	19.30	50	50/5								
	20.40										
	21.15	50	50/15								
	21.26										

新地研工業株式会社

ボーリング柱状図

JACIC様式G-201

調 査 名 し尿処理施設更新に伴う地質調査業務委託

ボーリング№

シート№

事業・工事名

ボーリング名	No.2	調査位置	鹿島市大字中村６４１地内					北緯	
発注機関	鹿島・藤津地区衛生施設組合				調査期間	平成 8年 4月10日 ～ 平成 8年 5月29日		東経	
調査業者名	新地研工業株式会社 0952-23-4965	主任技師	井上 淳暗	現場代理人	井上 淳暗	コア鑑定者	井上 淳暗	ボーリング責任者	森田 直実
孔口標高	TP 3.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0′	方向	北 0° 西 270° 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	
総掘進長	25.00m								
				試錐機	吉田製 YSO-1		ハンマー落下用具	コーンプーリー	
				エンジン	ヤンマーNP-90		ポンプ	吉田製SP40B	

尺度 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対硬度	記事
1	1.98	1.50	1.50		礫土 (GG)	茶灰			粘土質砂礫による礫土。φ10～50㎜の礫多量混入。
2	0.78	1.20	2.70		礫土 (GG)	茶灰			玉石混じり砂礫による礫土。φ15～30㎝程の安山岩堆石多量混入。
3									
4									含水量多く粘着に高らかい。粘性大。均質均一。異種物少量混入。
5						青灰			
6									5m付近より細砂を薄く挟む。
7	-2.82	4.50	7.20		粘土 (CL)	暗灰		非常に軟い	含水量多い。砂は細～中粒砂主体。φ10～30㎜程の礫少量混入。
8	-5.02	1.20	8.50		細混りﾐﾘ (S-G)	暗灰	中位		含水量多い。φ10～30㎜程の角礫を30%程混入。風化部分大量。マトリックスは砂、粘土よりなる。10cmから細分70%ほど混入。
9							密な		
10						青灰	中位		φ5～20㎜程の礫多く、最大礫径100㎜程を混入する。11.7m付近より凝灰角礫岩(TB)マトリックスは粘土化して、礫は風化が著しく、礫土化している。
11							密な		
12									
13						灰			
14									
15	-11.82	8.80	15.30		粘土混り砂礫 (GI-C)	茶灰	緩い		含水高大、風化し粘土化す。風化岩石混入する。
16	-12.72	0.90	16.20		火山灰質シルト (VV)	緑灰 乳灰			凝灰質、5㎜程の礫混入。
17	-13.12	0.40	16.80		礫混り粘土	灰	硬い		φ10～20㎜程の礫部分混入。所々φ50㎜程の凝質火山岩塊混入。マトリックスは凝灰質風化粘土で硬い。
18						青灰			
19									
20									20m付近からφ40～70㎜程の凝質火山岩塊を30%程含み、総計70%前後混入する。
21									
22									
23	-19.72	6.60	23.20		凝灰角礫岩 (TB)	風化 茶灰			岩盤状で、φ50～500㎜の礫～柱状コアとなる。火山岩と凝灰岩互層状。
24									
25	-21.52	1.80	25.00		凝灰角礫岩 (TB)	茶灰			
26									

孔内水位(m)／測定月日	深度 (m)	10cm毎の打撃回数	N値	深度 (m)	試験名および結果	深度 (m)	試料番号	乱れ	試料採取方法	孔内傾斜一軸圧縮強度	掘進月日
	2.00	50	50/10								
	2.00										
	3.15	1	1/15								
	3.45	95	95/15								
	4.45	50	50/1								
	4.50										
	5.15	50	50/0								
	5.45	38	38/1								
	6.45	50	50/0								
	6.50										
	7.15	1 2 3	6/6								
	7.45										
	8.15	3 7 10	20/20								
	8.45										
	9.15	9 8 12	30/30								
	9.45										
	10.15	5 6 8	24/30								
	10.45										
	11.15	15 15 23	53/30								
	11.45										
	12.15	18 16 16	55/30								
	12.45										
	13.15	10 14 16	40/30								
	13.45										
	14.15	5 18 15	38/30								
	14.45										
	15.15	3 2 1	6/6								
	15.45										
	16.15	3 3 3	9/9								
	16.45										
	17.15	18 22 10	50/24								
	17.38										
	18.15	16 18 16	50/30								
	18.45										
	19.15	18 22 10	50/30								
	19.38										
	20.15	17 17 16	50/30								
	20.37										
	21.15	50	50/10								
	21.25										
	22.15	50	50/10								
	22.22										
	23.10	50	50/10								
	23.20										
	24.00	50	50/10								
	24.00										
	25.00	50	50/10								
	25.00										

新地研工業株式会社

深度 (m)	試料番号	乱れ	試料採取方法	孔内傾斜一軸圧縮強度	掘進月日				
3.50	T-2-1(中)				4.15				
3.80									
5.00	T-2-2(中)				4.16				
5.80									
					4.17				
					4.18				
					4.19				

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	尾和 ・・		
照査	神尾 96.12.13	図面名称	地質柱状図(1)
設計	岡本 96.12.13		
製図	清水 B6×2×3		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 ——— 第 角法	標準図番号
		図面番号 WR120130	△
		出図年月日	整理番号

85

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

ボーリング柱状図

JACIC様式G4201

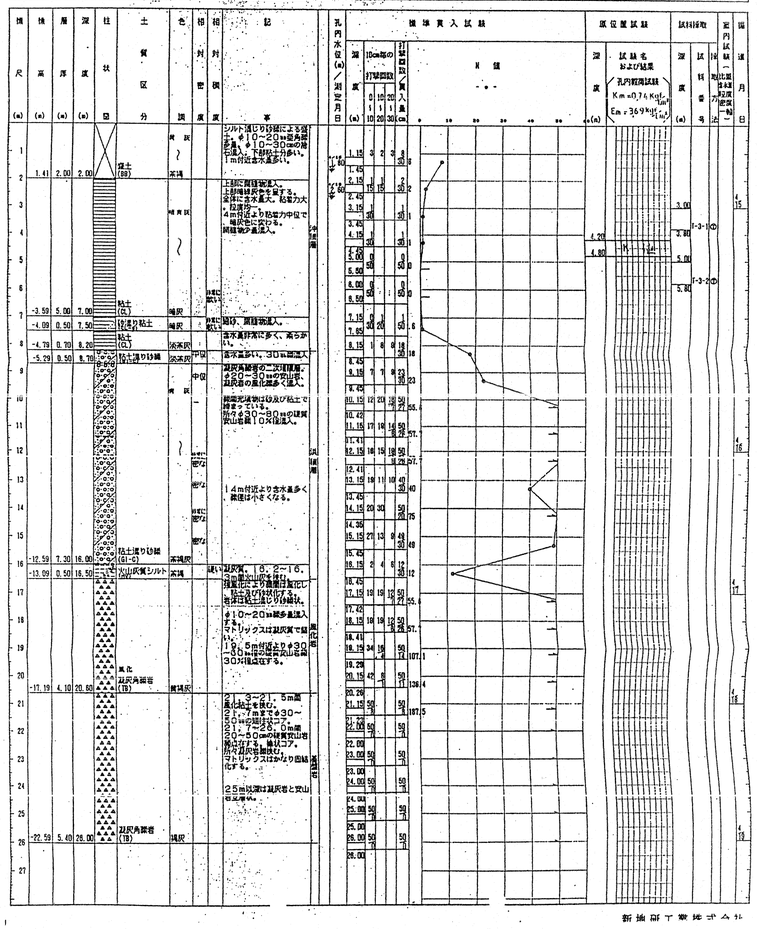
調査名 し尿処理施設更新に伴う地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリング№

シート№

ボーリング名	No.3	調査位置	鹿島市大字中村６４１地内			北緯	
発注機関	鹿島・藤津地区衛生施設組合			調査期間	平成 8年 4月10日 ～ 平成 8年 5月29日	東経	
調査業者名	新地研工業株式会社 0952-23-4965	主任技師	井上 淳晧	現場代理人	井上 淳晧	コア鑑定者	井上 淳晧
孔口標高	TP 3.41m	角度	180° 上下 90° 0° 0'	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°
総掘進長	28.00m					使用機種	ボーリング責任者 馬場 正紀
						試錐機	吉田製 YSO-1
						エンジン	ヤンマーNF-90
						ハンマー落下用具	コーンプーリー
						ポンプ	吉田製SP40B



新地研工業株式会社

ボーリング柱状図

JACIC様式G4201

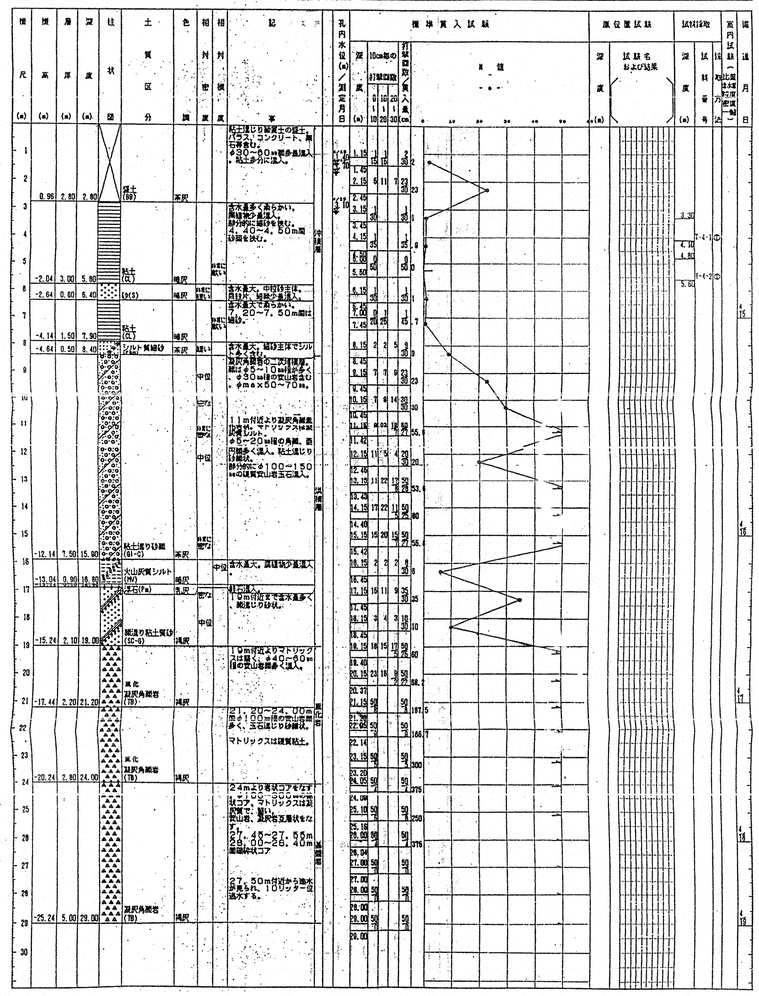
調査名 し尿処理施設更新に伴う地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリング№

シート№

ボーリング名	No.4	調査位置	鹿島市大字中村６４１地内			北緯	
発注機関	鹿島・藤津地区衛生施設組合			調査期間	平成 8年 4月10日 ～ 平成 8年 5月29日	東経	
調査業者名	新地研工業株式会社 0952-23-4965	主任技師	井上 淳晧	現場代理人	井上 淳晧	コア鑑定者	井上 淳晧
孔口標高	TP 2.75m	角度	180° 上下 90° 0° 0'	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°
総掘進長	29.00m					使用機種	ボーリング責任者 沢田 信行
						試錐機	吉田製 YSO-1
						エンジン	ヤンマーNF-90
						ハンマー落下用具	コーンプーリー
						ポンプ	吉田製SP40B



ボーリング柱状図

JACIC様式G4201

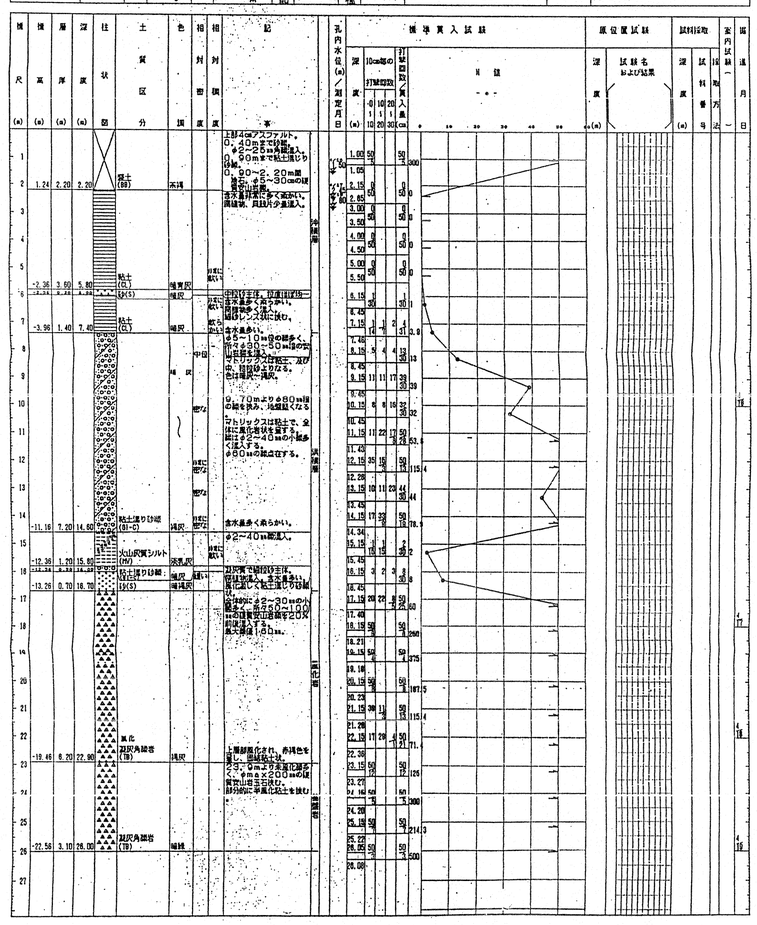
調査名 し尿処理施設更新に伴う地質調査業務委託

事業・工事名

ボーリング№

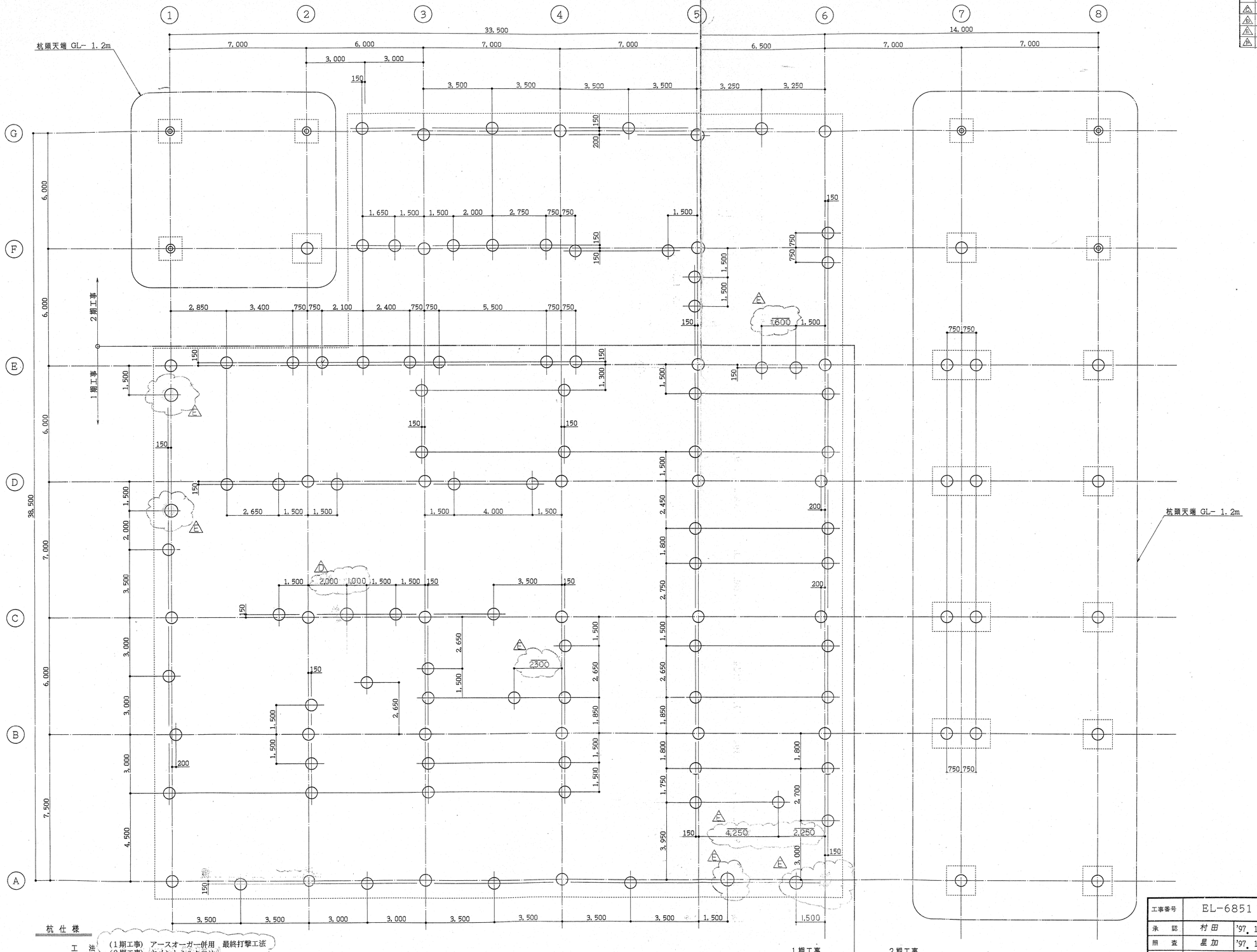
シート№

ボーリング名	No.5	調査位置	鹿島市大字中村６４１地内			北緯	
発注機関	鹿島・藤津地区衛生施設組合			調査期間	平成 8年 4月10日 ～ 平成 8年 5月29日	東経	
調査業者名	新地研工業株式会社 0952-23-4965	主任技師	井上 淳晧	現場代理人	井上 淳晧	コア鑑定者	井上 淳晧
孔口標高	TP 2.44m	角度	180° 上下 90° 0° 0'	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 水平 0° 90°
総掘進長	26.00m					使用機種	ボーリング責任者 下田 平
						試錐機	吉田製 YSO-1
						エンジン	ヤンマーNF-90
						ハンマー落下用具	コーンプーリー
						ポンプ	吉田製SP40B



工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合
承認	村田	96.12.13	
照査	宮加	〃	工事名称 「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	瀬尾	96.12.13	図面名称 地質柱状図(2)
設計	岡本	96.12.13	
製図	清水	96.12.13	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 ―― 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR120140 △
		出図年月日	整理番号

A1



杭 仕 様

工 法 (1期工事) アースオーガー併用 最終打撃工法
(2期工事) セメントミルク工法

記号	杭 種	杭耐力	杭頭高さ	杭先端深さ	杭セット数	備 考
◎	PHC杭 450φ A種	76.0t/本	GL − 1,200	GL − 18,000	6	※2期工事 上杭 L=8.0m
○	PHC杭 600φ A種	125.0t/本	GL − 1,200	GL − 18,000	16	※2期工事 上杭 L=8.0m
○	PHC杭 600φ A種	141.0t/本	GL − 6,800	GL − 18,000	88	※1期工事
	PHC杭600φA種	125.0t/本	GL−6,800	GL−18,000	21	※2期工事

杭 伏 図 S=1/100

特記なき限り下記とする。
1). 杭天端 GL−6.8m

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	杭の位置変更、追加	石田 宮坂 村田	関本 H9.2.19
B	杭の位置変更	石田 宮坂 村田	関本 H9.2.25
C	杭の位置変更	石田 一 村田	関本 H9.2.26
D	杭工法の変更	五 石田 村田	関本 H9.7.3

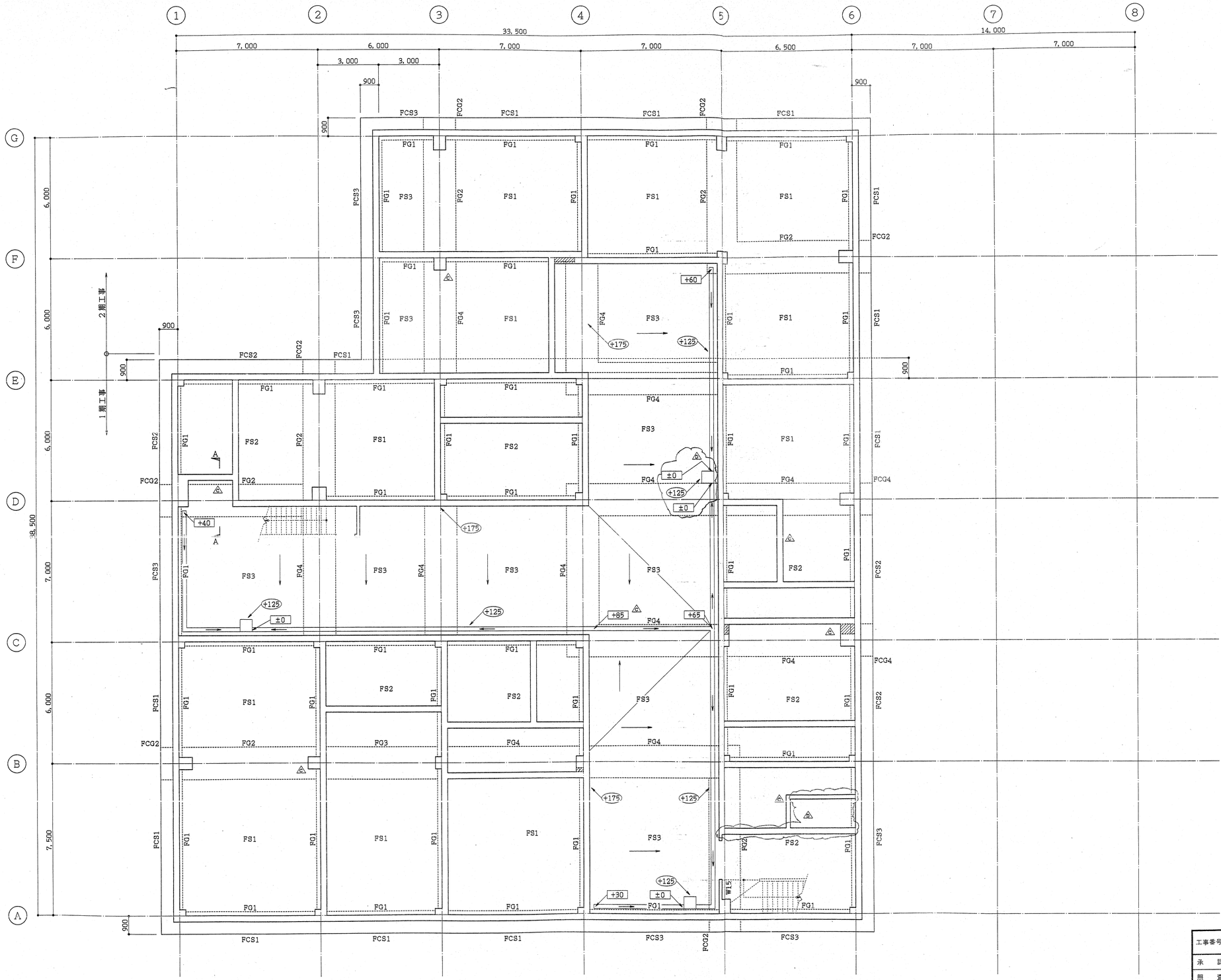
工事番号	EL-6851	
承認	村田	'97.1.17
照査	星加	'97.1.17
照査	瀬尾	'97.1.16
設計	岡本	'97.1.16
製図	清水	'97.1.16
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称: 処理棟 杭伏図
尺度: 1/100 第三角法
標準図番号:
図面番号: WR121010 F
出図年月日:
整理番号:

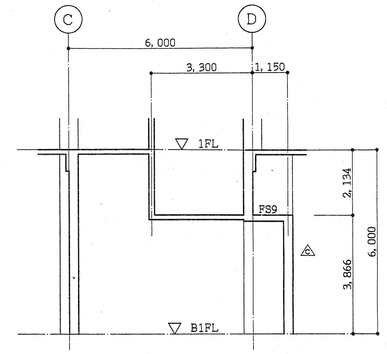
NES NF37016A △
A1

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△1	水槽壁位置の変更，排水計画変更，他	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 3.25
△2	壁位置の変更，排水槽位置変更，他	村田	一 一	'97. 9. 1

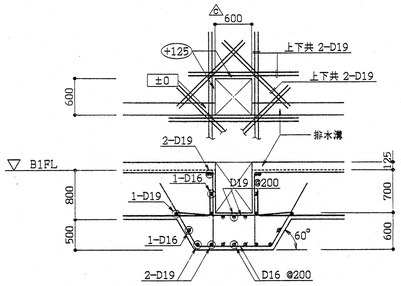


耐圧版伏図 S=1/100

特記なき限り下記とする。
1). 耐圧版天端 ： B1FL = G.L −6,000
2). ⬭ 内数値は水勾配増打ち天端のレベルを示す
3). ▭ 内数値は排水溝底天端のレベルを示す



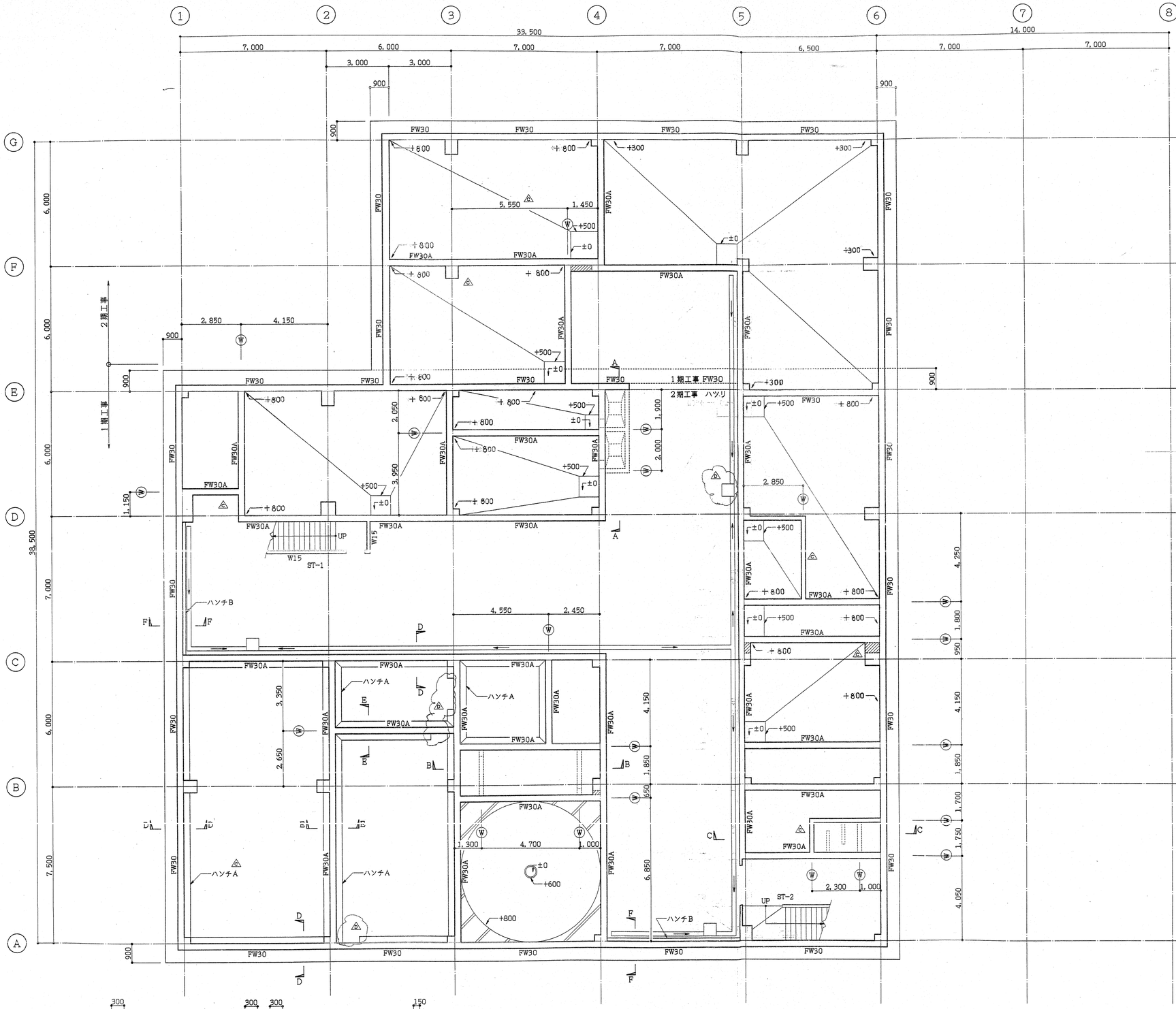
A−A 断面図 S=1/100

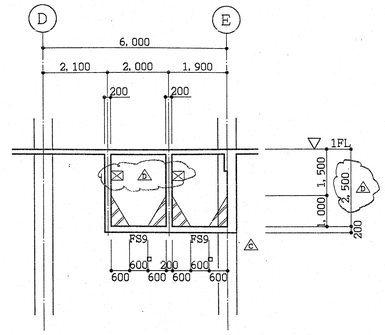


排水槽断面図 S=1/50

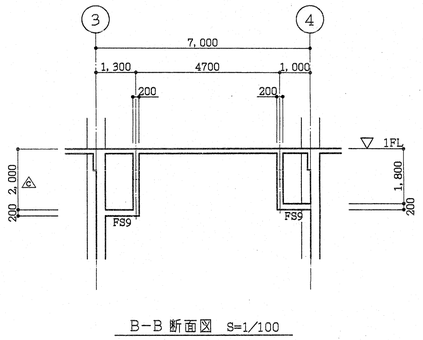
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.1.17	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97.1.17	
照表	瀬尾	'97.1.16	図面名称 処理棟 耐圧版伏図
設計	岡本	'97.1.16	
製図	清水	'97.1.16	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/100 第 角法 標準図番号
			図面番号 WR121020 △2
			出図年月日 整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
2	水槽壁位置の変更，壁ハンチ追加，他	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 3.25
1	壁位置寸法の変更，壁ハンチ切欠，他	村田	— — 梅沢	'97. 8.17

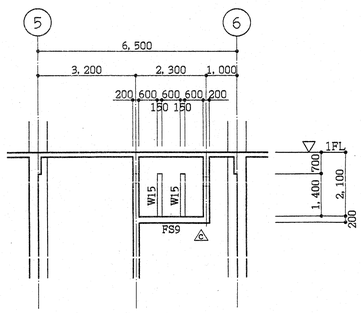




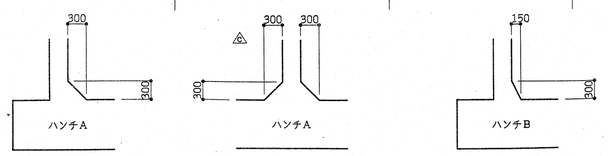
A−A 断面図 S=1/100



B−B 断面図 S=1/100



C−C 断面図 S=1/100



D−D 断面図 S=1/50　E−E 断面図 S=1/50　F−F 断面図 S=1/50

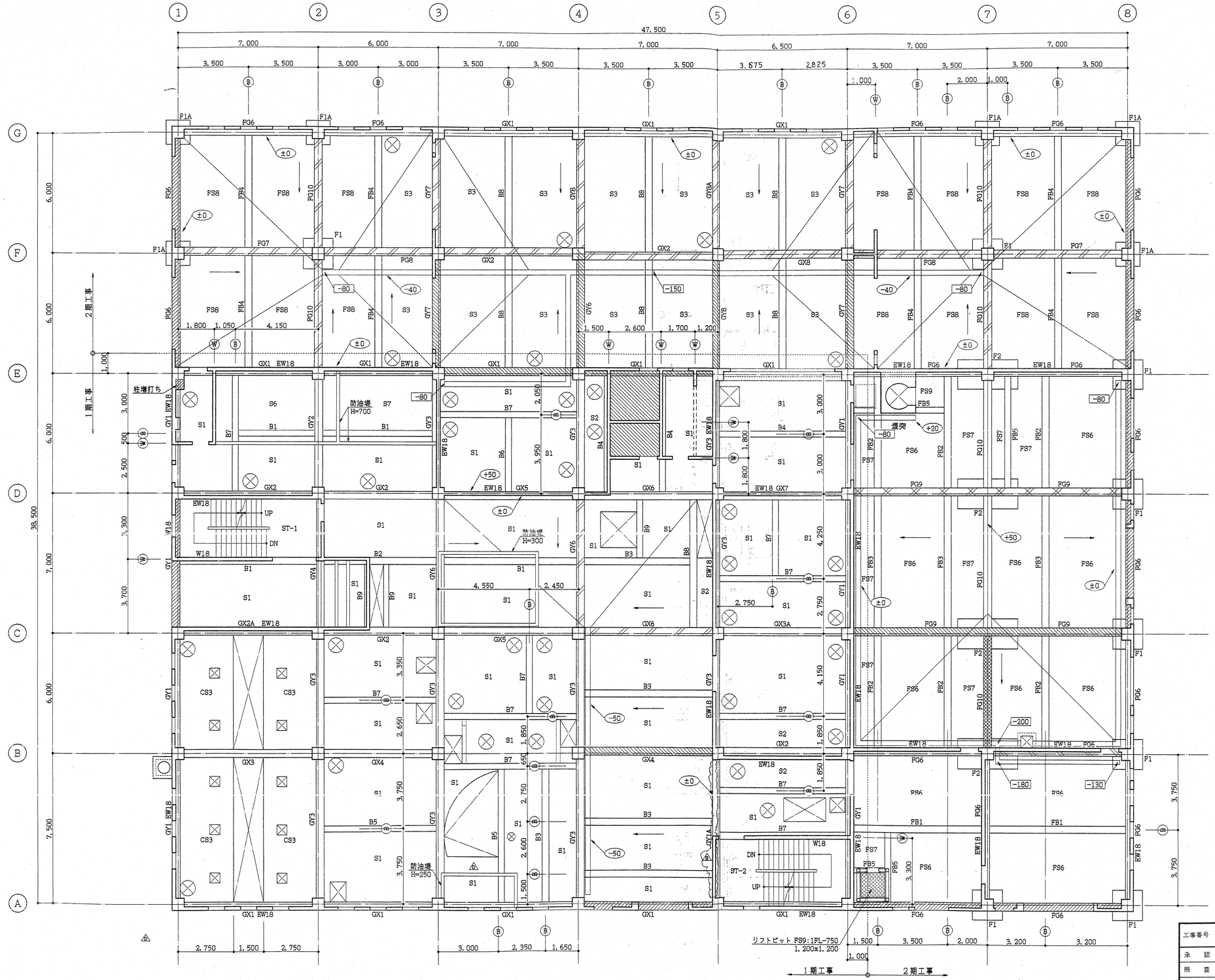
B1 階伏図 S=1/100

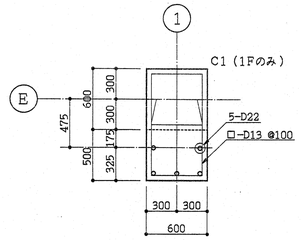
B1PL = G.L −6,000

特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は FW20 とする
2). 床排水溝及び水勾配は耐圧版伏図による

工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 1.17	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 1.17	
照査	瀬尾	'97. 1.16	図面名称 処理棟 B1 階伏図
設計	岡本	'97. 1.16	
製図	清水	'97. 1.16	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100 第 角法 標準図番号
		図面番号	WR121030 D
		出図年月日	整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△1	床，壁開口部，及び非水計画の変更，他	村田 星加 瀬尾	岡本	'97. 7.23
△2	壁一部削除，壁符号変更	村田 星加 瀬尾	岡本	'97. 9.18





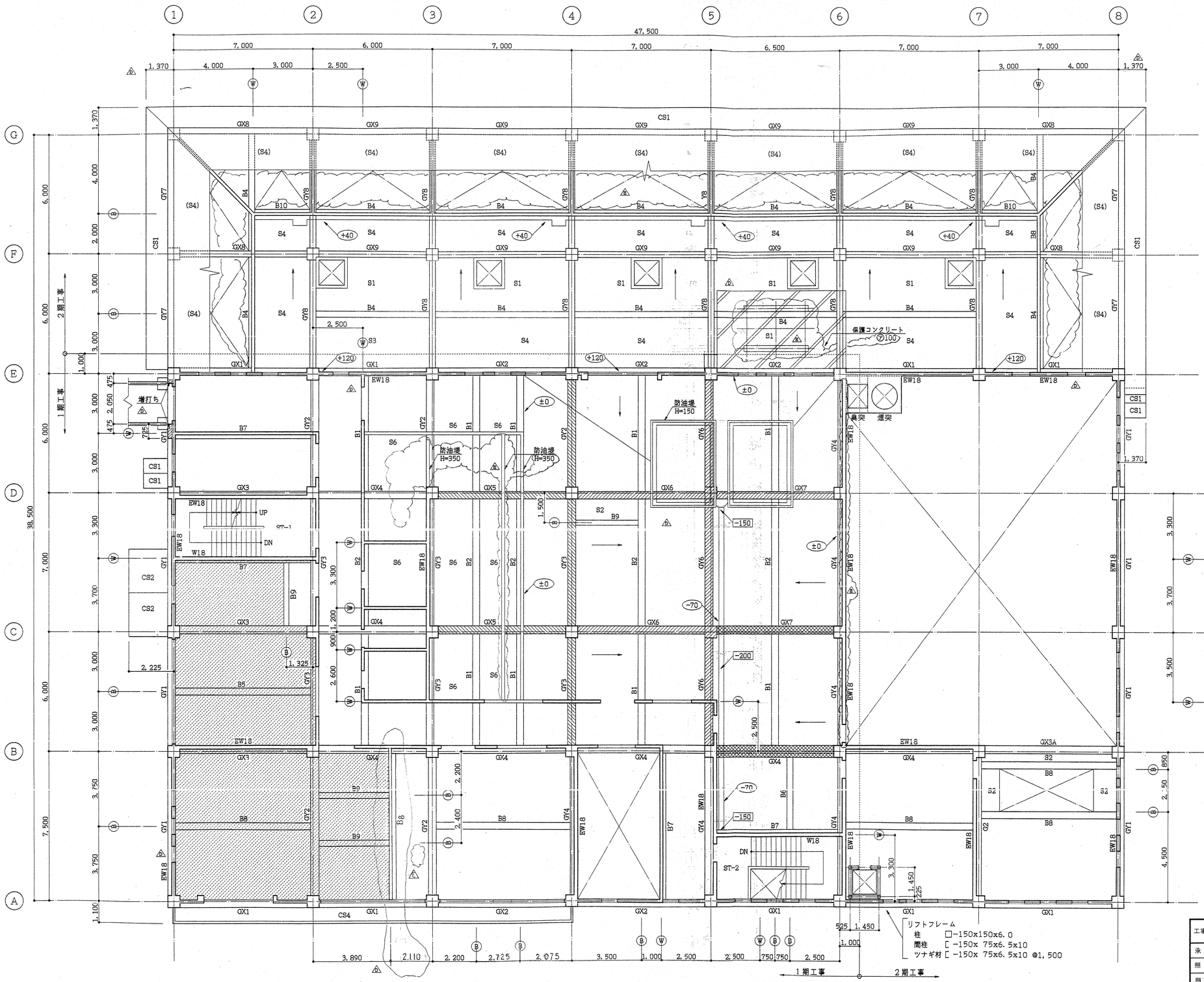
①－Ⓔ通り1階柱増打ち部配筋図
S=1/30

註).床，梁天端
(1).▨印 梁天端は 1FL−200 (=GL ±0) とする
(2).▨印 梁天端は 1FL −50 とする
(3).▨印床梁天端は 1FL−130 とする
(4).▨印床梁天端は 1FL−150 とする
(5).▨印 梁天端は 1FL−200 とする
(6).小梁高さは 水勾配、及び排水溝を考慮の上決定の事

特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15 とする
2). 床，梁天端は 1FL ±0 とする
3). ⬭ 内数値は水勾配スラブ天端のレベルを示す
4). ▭ 内数値は排水溝底天端のレベルを示す

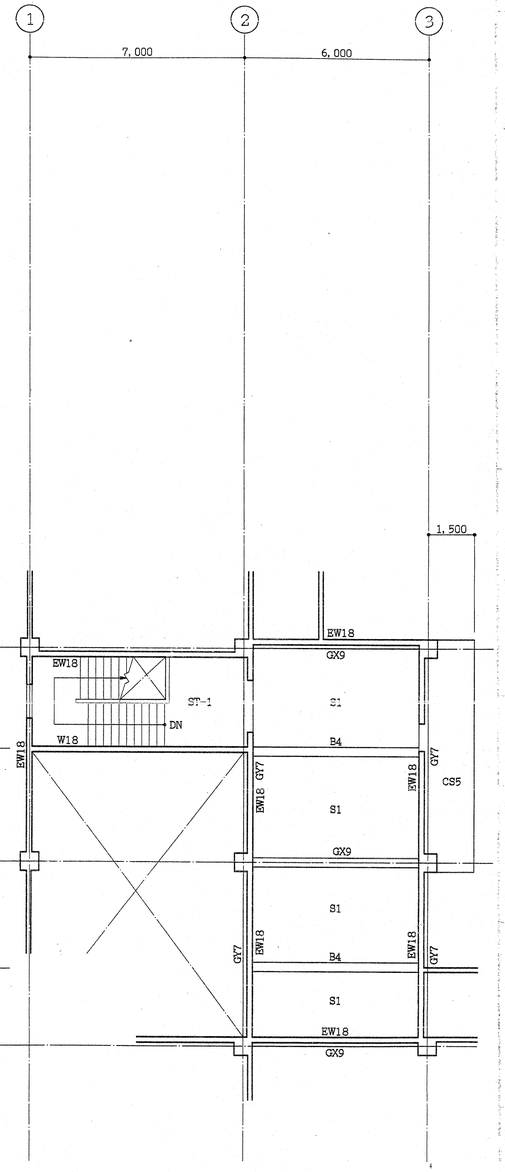
工事番号	EL−6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97. 2.26	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 '97. 2.26		
照査	瀬尾 '97. 2.26	図面名称	処理棟 1階梁伏図
設計	岡本 '97. 2.26		
製図	清水 '97. 2.10		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/100	第 角法 / 標準図番号
		図面番号	WR121040 △2
		出図年月日	整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△5	床，梁符号，壁開口部，及び排水計画の変更	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 7.23
△6	壁位置，防液堤変更，天井スラブ削除，他	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 9. 8



2階梁伏図 S=1/100

1FL + 5,000(床天端)



3階梁伏図 S=1/100

1FL + 8,500(床天端)

特記なき限り下記とする。

1). 壁符号は W15とする
2). 床符号は S1 とする
3). 床，梁天端は 2FL ±0とする
4). ⬭ 内数値は水勾配スラブ天端のレベルを示す
5). ▭ 内数値は排水溝底天端のレベルを示す

註). 床，梁天端

△5 (1). ▨ 印 梁天端は 2FL -40 とする
(2). ▨ 印 梁天端は 2FL -70 とする
(3). ▩ 印床梁天端は 2FL-190 とする
(4). ▨ 印床梁天端は 2FL-300 とする

工事番号	EL-6851	
承認	村田	'97.1.17
照査	星加	'97.1.17
照査	瀬尾	'97.1.16
設計	岡本	'97.1.16
製図	清水	'97.1.16
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

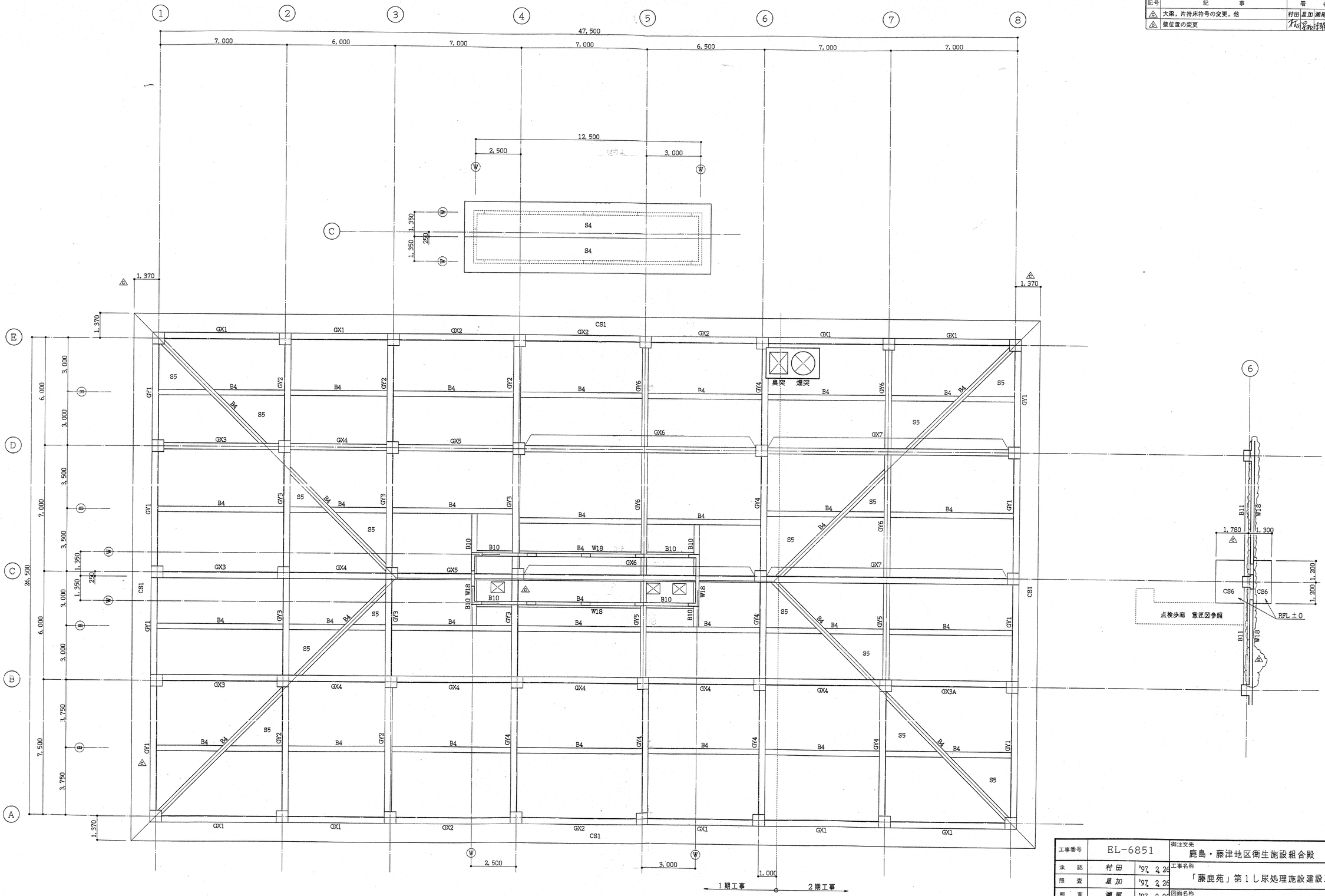
図面名称: 処理棟 2，3階梁伏図

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR121050		△5
出図年月日		整理番号	

MES NP3016A △

A1

図面来歴					
記号	記事	審名			年月日
△A	大梁，片持床符号の変更，他	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 7. 23
△B	壁位置の変更	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 9. 2



R 階梁伏図 S=1/100

特記なき限り下記とする。
1). 床符号は S4 とする
2). 壁符号は W15とする

工事番号	EL-6851	
承認	村田	'97. 2. 26
照査	星加	'97. 2. 26
照査	瀬尾	'97. 2. 26
設計	岡本	'97. 2. 26
製図	清水	'97. 2. 10
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 処理棟 R 階梁伏図

尺度: 1/100　第　角法　標準図番号

図面番号: WR121060　△D

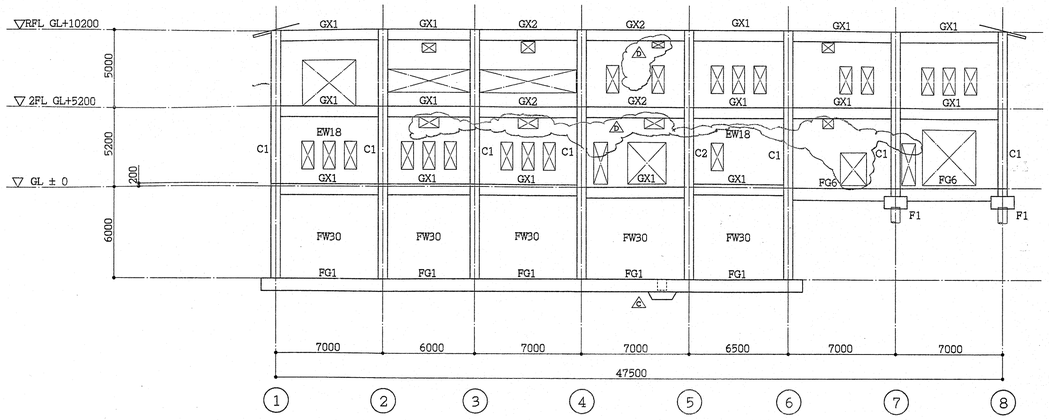
出図年月日　整理番号

A1

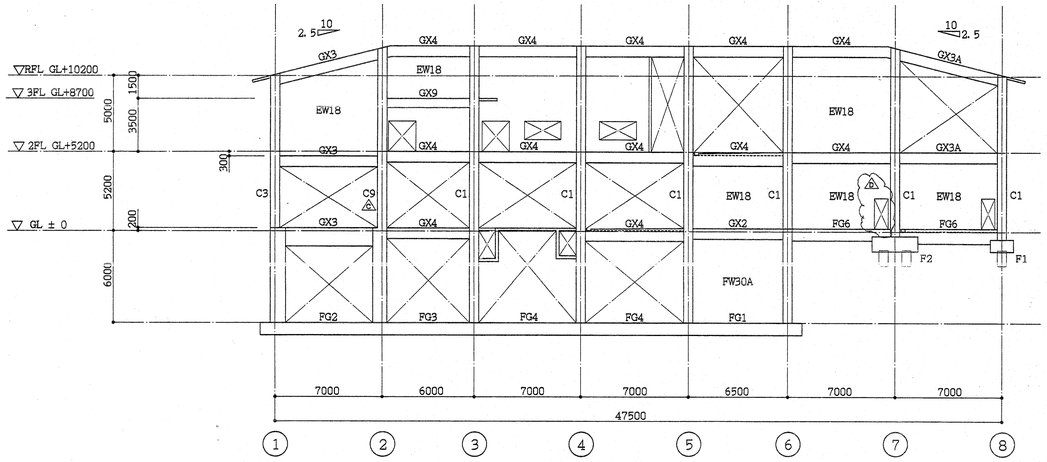
NES N20106A △

92

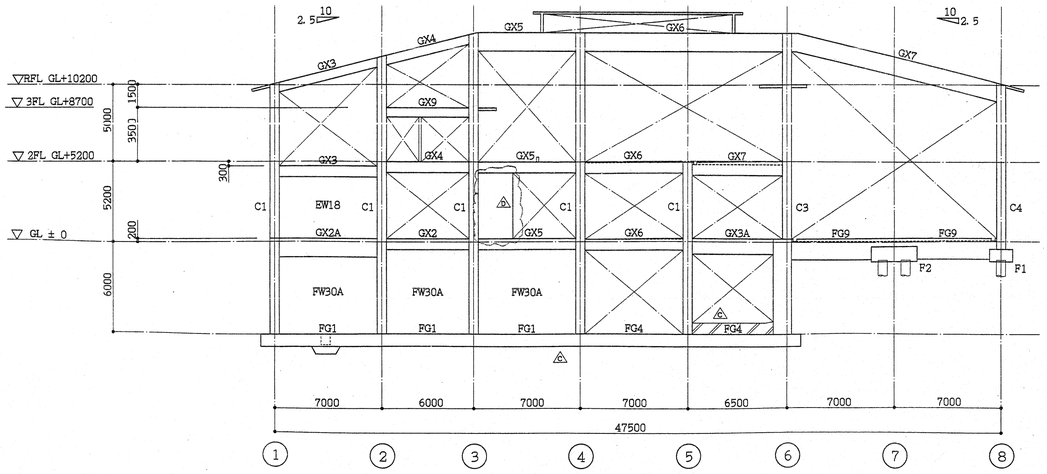
図面来歴					
記号	記事	審名			年月日
△1	水槽壁位置の変更，他	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 3.25
△2	壁開口，壁符号の変更	村田	—	—	岡本 '97. 4. 1



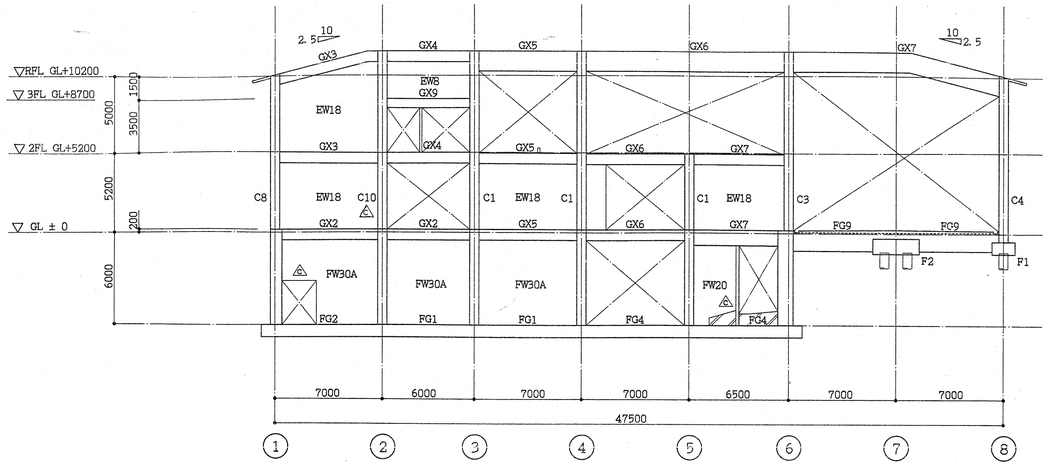
Ⓐ 通り軸組図 S=1/200



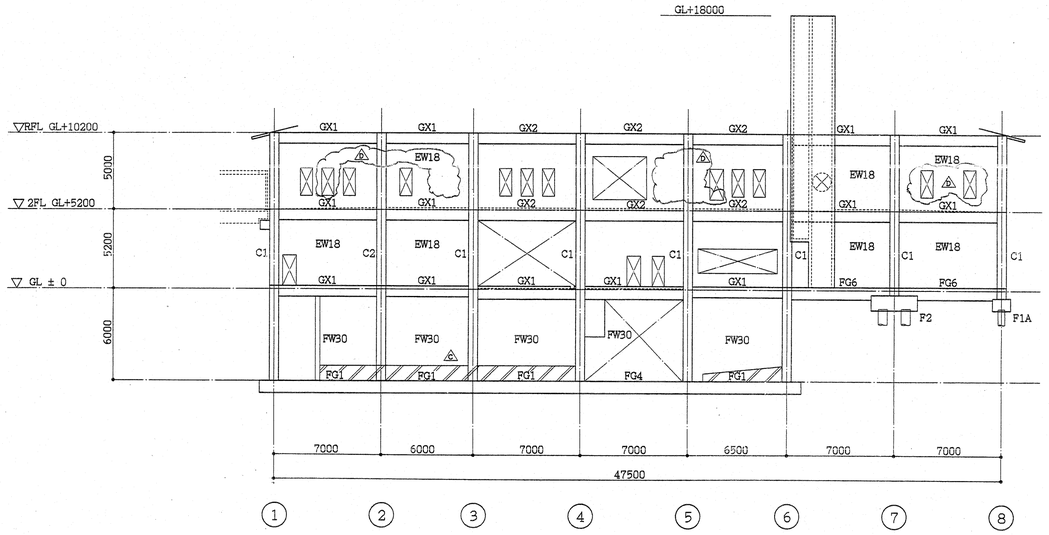
Ⓑ 通り軸組図 S=1/200



Ⓒ 通り軸組図 S=1/200



Ⓓ 通り軸組図 S=1/200

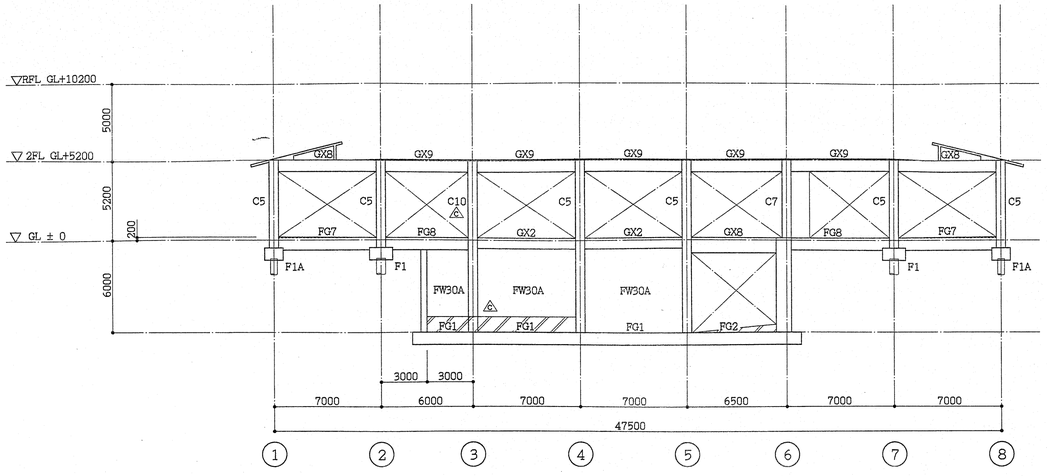


Ⓔ 通り軸組図 S=1/200

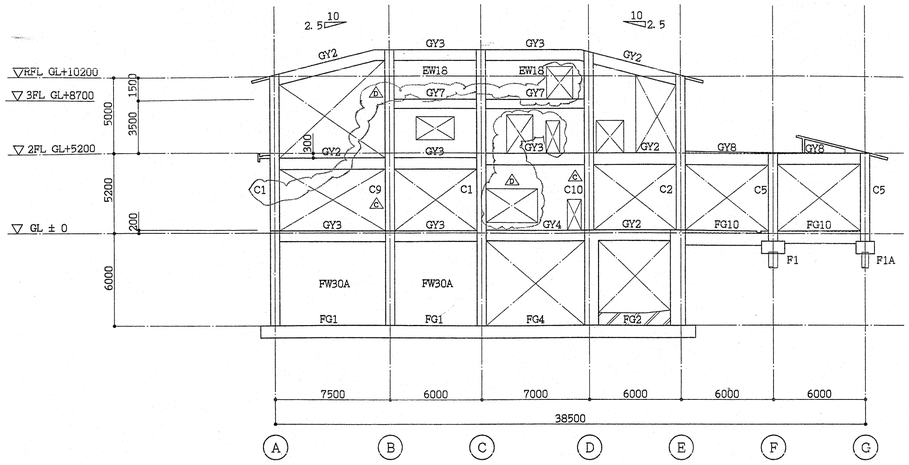
特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15とする

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 1.17	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 1.17	
照査	瀬尾	'97. 1.16	図面名称 処理棟 軸組図 (1)
設計	岡本	'97. 1.16	
製図	清水	'97. 1.16	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/200 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121070 △2
			出図年月日 整理番号

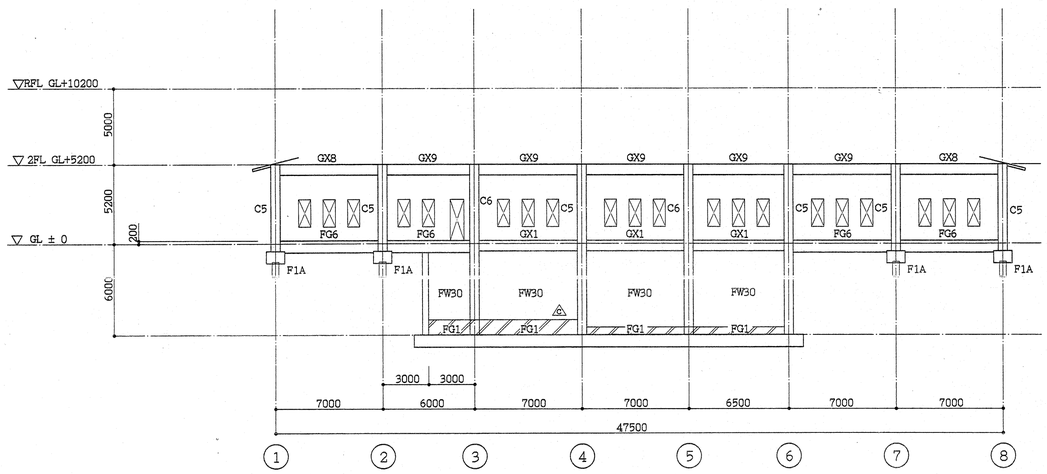
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△1	水槽壁位置の変更，他	作成	一	'97. 3.25
△2	壁開口，梁符号の変更，柱，梁符号の訂正	作成	一	'97. 9. 1



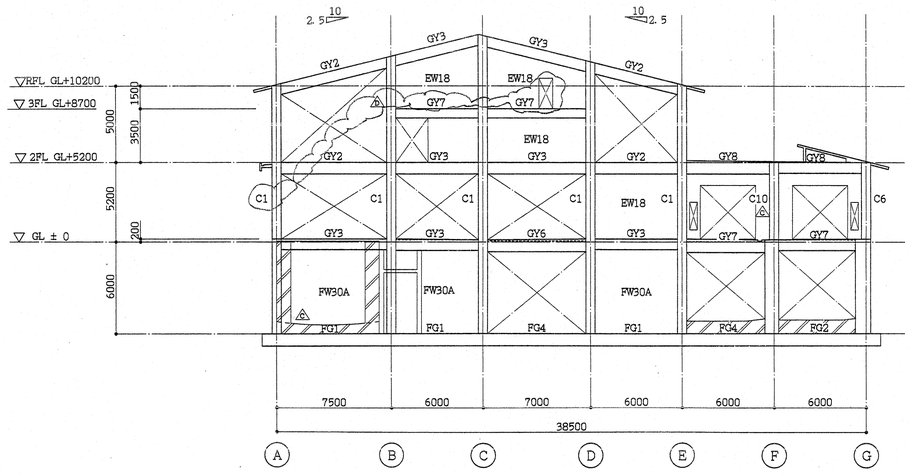
F 通り軸組図 S=1/200



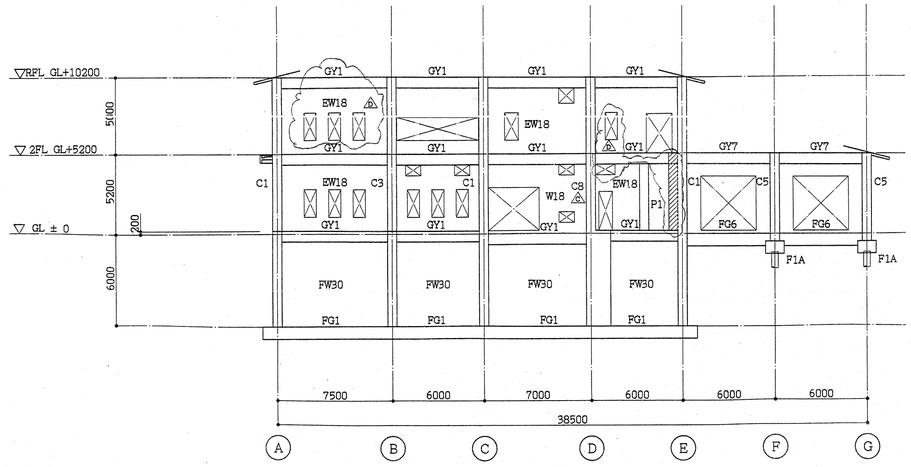
2 通り軸組図 S=1/200



G 通り軸組図 S=1/200



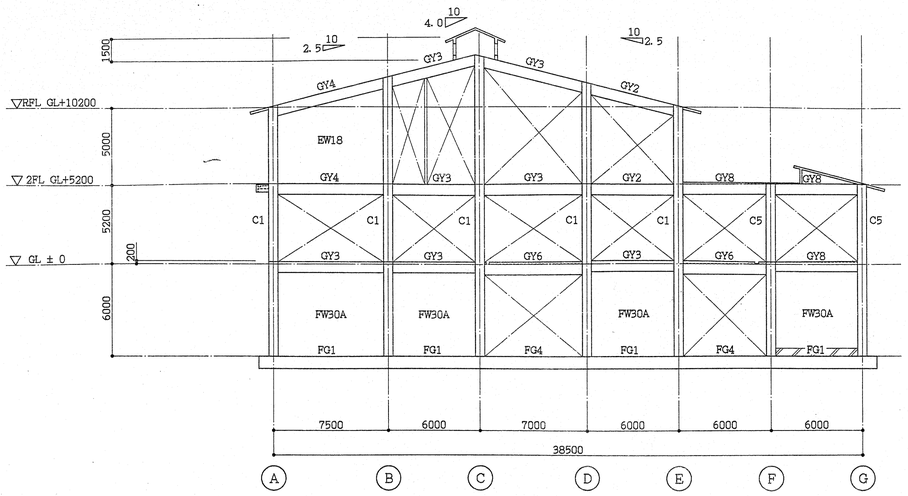
3 通り軸組図 S=1/200



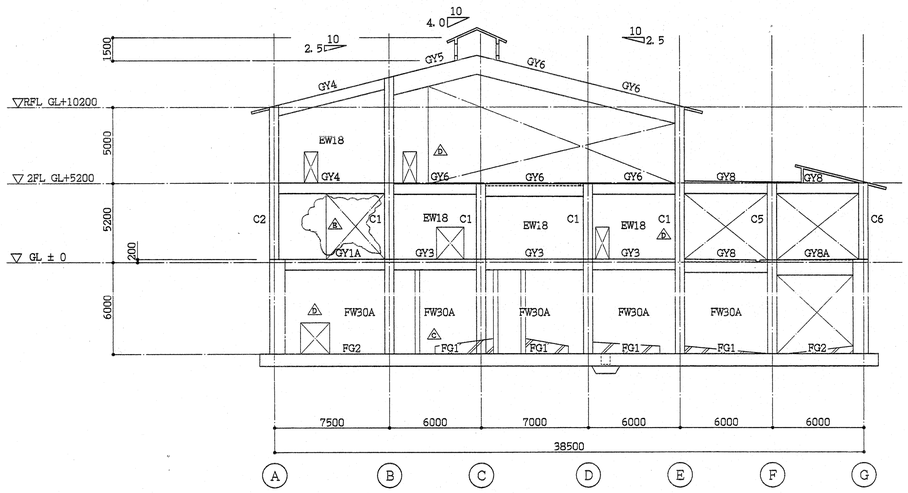
1 通り軸組図 S=1/200

特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15とする

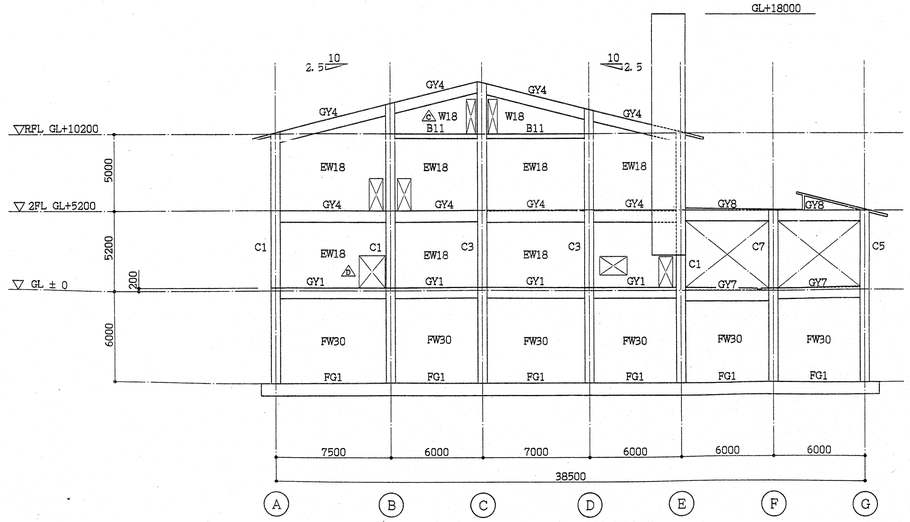
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97. 1.17	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 '97. 1.17	図面名称	処理棟 軸組図 (2)
照査	瀬尾 '97. 1.16		
設計	岡本 '97. 1.16		
製図	清水 '97. 1.16		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/200
		第角法	
		標準図番号	
		図面番号	WR121080 △1
		出図年月日	
		整理番号	



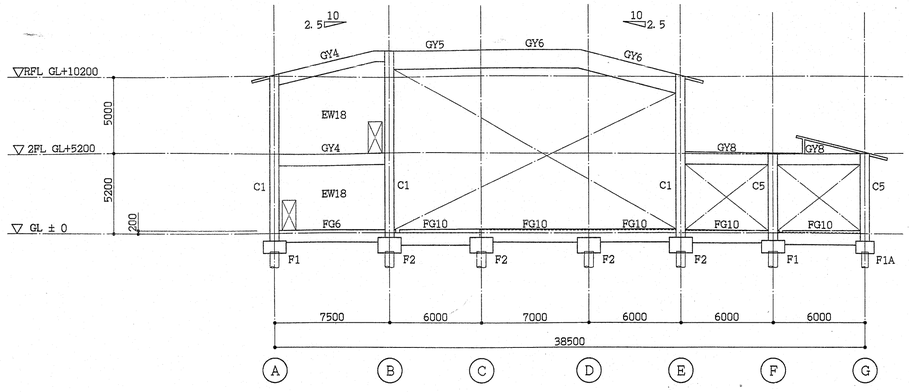
4 通り軸組図 S=1/200



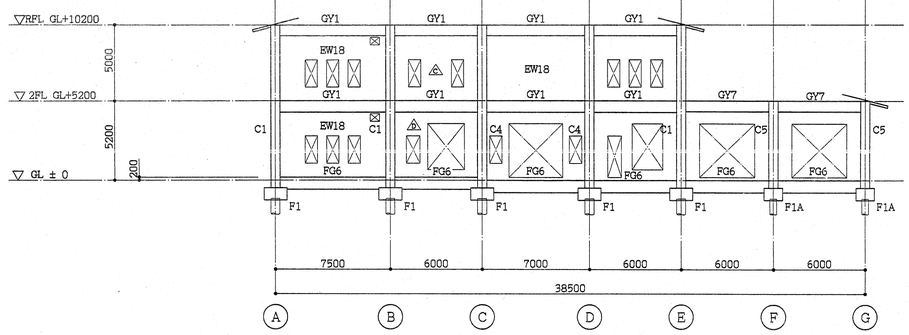
5 通り軸組図 S=1/200



6 通り軸組図 S=1/200



7 通り軸組図 S=1/200



8 通り軸組図 S=1/200

特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15とする

図面来歴					
記号	記事	署名			年月日
4	水槽壁位置の変更，他	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 3.25
5	壁開口の変更，柱，壁符号の訂正	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 7.23
6	壁一部削除，壁符号の変更	村田	星加	瀬尾	岡本 '97. 9.8

工事番号	EL-6851	
承認	村田	97.1.17
照査	星加	97.1.17
照査	瀬尾	97.1.16
設計	岡本	97.1.16
製図	清水	97.1.16
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

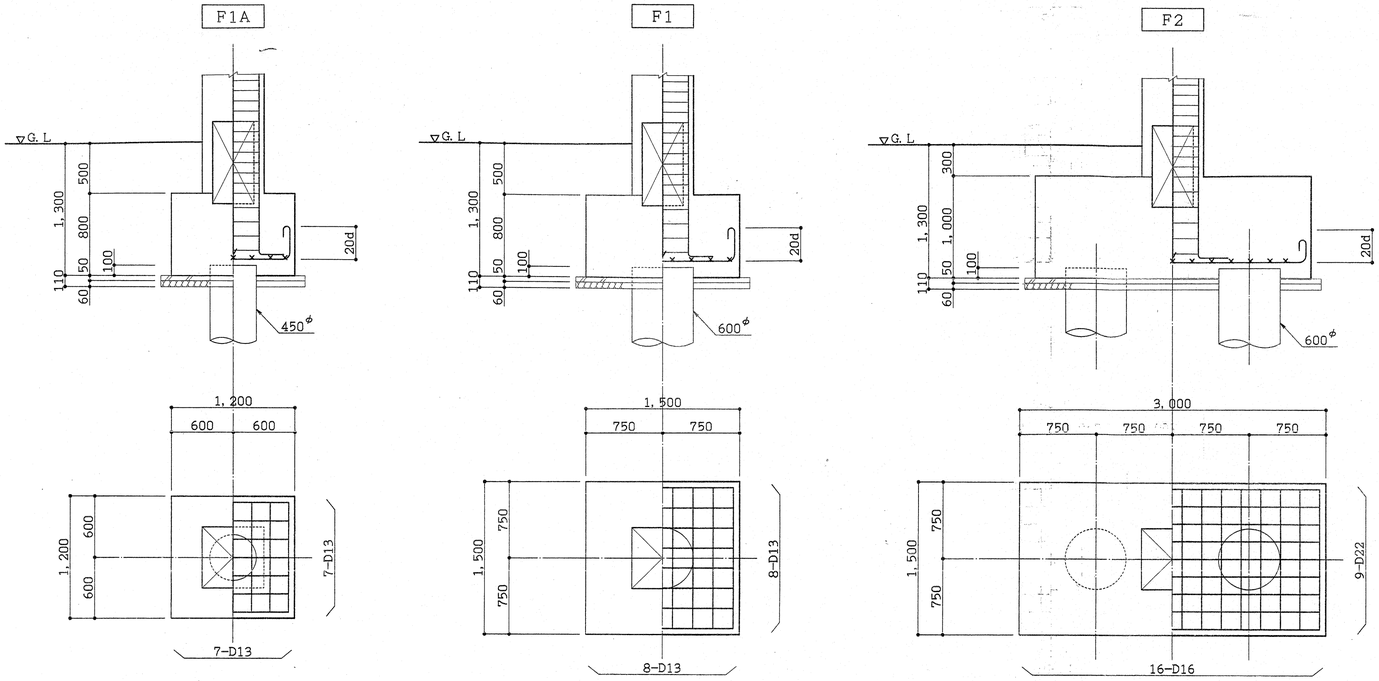
御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称: 処理棟 軸組図 (3)
尺度: 1/200
第 角法
標準図番号:
図面番号: WR121090 E
出図年月日:
整理番号:

NES NF3016A 4

95

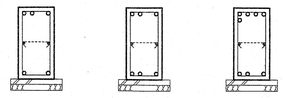
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

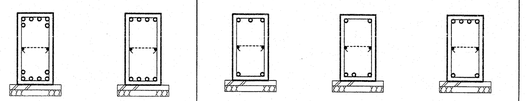
基礎リスト S=1/30



地中小梁リスト S=1/30

註)1. 特記なき限り巾 止 筋 は D10 −@ 1,000 とする

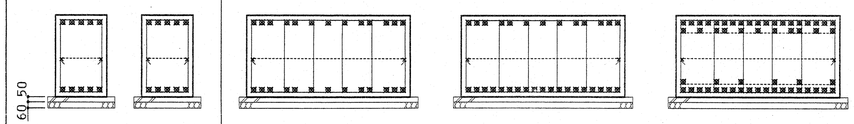
符号	FB1			FB2		
位置	外端	中央	内端	外端	中央	内端
断面						
b x D	350 x 700			350 x 700		
上端筋	3-D22	3-D22	5-D22	4-D22	4-D22	6-D22
下端筋	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	6-D22	6-D22
スターラップ	□-D13 @200			□-D13 @200		
腹筋	2-D13			2-D13		

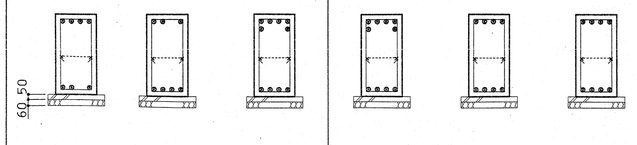
符号	FB3		FB4			FB5
位置	端部	中央	外端	中央	内端	全断面
断面						
b x D	350 x 700		350 x 650			300 x 650
上端筋	6-D22	4-D22	3-D22	2-D22	4-D22	3-D22
下端筋	6-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22
スターラップ	□-D13 @200		□-D13 @200			□-D13 @200
腹筋	2-D13		2-D13			2-D13

地中梁リスト S=1/30

註)1. 特記なき限り巾 止 筋 は D10 −@ 1,000 とする

※. FG5は欠番とする

符号	FG1		FG2			FG3			FG4		FG6	
位置	端部	中央	外端	中央	内端	2通端	中央	3通端	端部	中央	端部	中央
断面												
b x D	500 x 800		1,600 x 800			1,600 x 800			1,600 x 800		400 x 800	
上端筋	5-D29	5-D29	13-D29	13-D29	30-D29	30-D29	11-D29	13-D29	13-D29	9-D29	4-D25	3-D25
下端筋	5-D29	5-D29	13-D29	10-D29	25-D29	10-D29	11 D29	9-D29	9-D29	13-D29	3-D25	4-D25
スターラップ	□-D13 @200		▥-D13 @125			▥-D13 @200			▥-D13 @200		□-D13 @250	
腹筋	2-D13		2-D13			2-D13			2-D13		2-D13	

符号	FG7			FG8			FG9			FG10		FCG2	FCG4
位置	外端	中央	内端	2,7通端	中央	3,6通端	6,8通端	中央	7通端	端部	中央	全断面	全断面
断面													
b x D	400 x 800			400 x 800			400 x 1100			400 x 800		1,600 x 800	1,600 x 800
上端筋	4-D25	3-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	6-D25	4-D25	13-D29	13-D29
下端筋	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	4-D25	13-D29	9-D29
スターラップ	□-D13 @250			□-D13 @250						□-D13 @200		▥-D13 @200	▥-D13 @200
腹筋	2-D13			2-D13			4-D13			2-D13		2-D13	2-D13

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.1.17	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 '97.1.17		
照査	鶴谷 '97.1.16	図面名称	処理棟 基礎・地中梁リスト
設計	岡本 '97.1.16		
製図	清水 '97.1.16		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/30
		第角法	
		標準図番号	
		図面番号	WR121110
		出図年月日	
		整理番号	

NKK 日本鋼管株式会社

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△	地下壁配筋の変更	村田 瀬尾 岡本	'97.3.5

耐圧版リスト

註) 1. 特記なき限り巾 止 筋 は D16 @ 1,000x1,000とする

FS6, FS7, FS8, FS9は床版リスト参照

符号	版厚	位置	一短辺方向			長辺方向			備考
			端部	中央	隅角部	端部	中央	隅角部	
FS1	800	上端筋	D19 @ 200	D19 @ 200	D19 @ 200	D19 @ 200	D19 @ 200	D19 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	
FS2	800	上端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	
FS3	800	上端筋	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	
		上端筋							
		下端筋							
FCS1	800	上端筋	D19 @ 200	D19 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	
FCS2	800	上端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D16 @ 200	D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	
FCS3	800	上端筋	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	D13D16 @ 200	
		上端筋							
		下端筋							
		上端筋							
		下端筋							

地下壁配筋表

註) 1. 特記なき限り巾 止 筋 は D10 @ 1,000x1,000とする

符号	壁厚	位置	縦方向		横方向		備考
			下端部	中央、上端部	端部	中央	
FW30	300	外側	D19 @ 100	D19 @ 200	D16 @ 100	D16 @ 200	
		内側	D16 @ 100 △	D16D19 @ 200	D13D16 @ 100	D16 @ 200	
FW30A	300		D16 @ 100	D16 @ 200	D16 @ 200	D16 @ 200	ダブル配筋
FW20	200		D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	ダブル配筋

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.1.17	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97.1.17	図面名称 処理棟 耐圧版，地下壁リスト
照査	瀬尾	'97.1.16	
設計	岡本	'97.1.16	
製図	清水	'97.1.16	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 —— 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121120 △C
			出図年月日 整理番号

NES NF3010A △

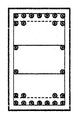
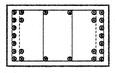
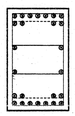
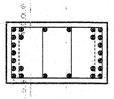
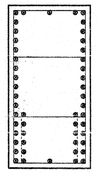
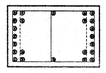
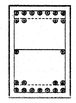
A1

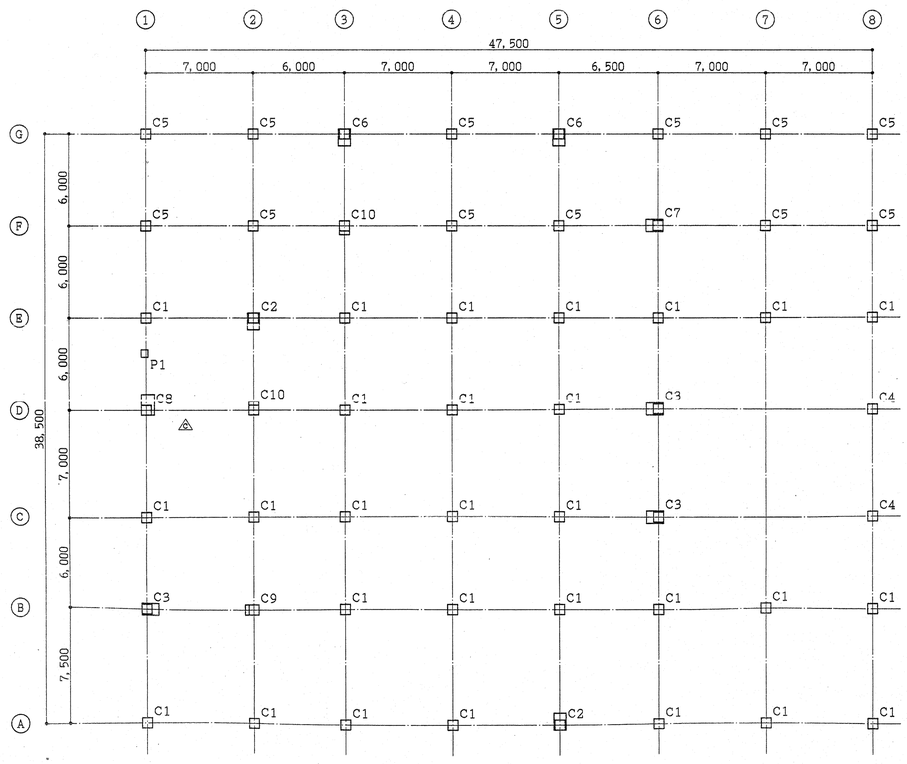
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△A	水槽壁位置の変更によるC8追加，他	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 3.25
△A	C10柱B1階 寸法訂正	村田	— — 岡本	'97. 8. 1

柱 リ ス ト S=1/30

註) 1. 柱梁交差部フープは 下階と同径 @150 ピッチとする

△A

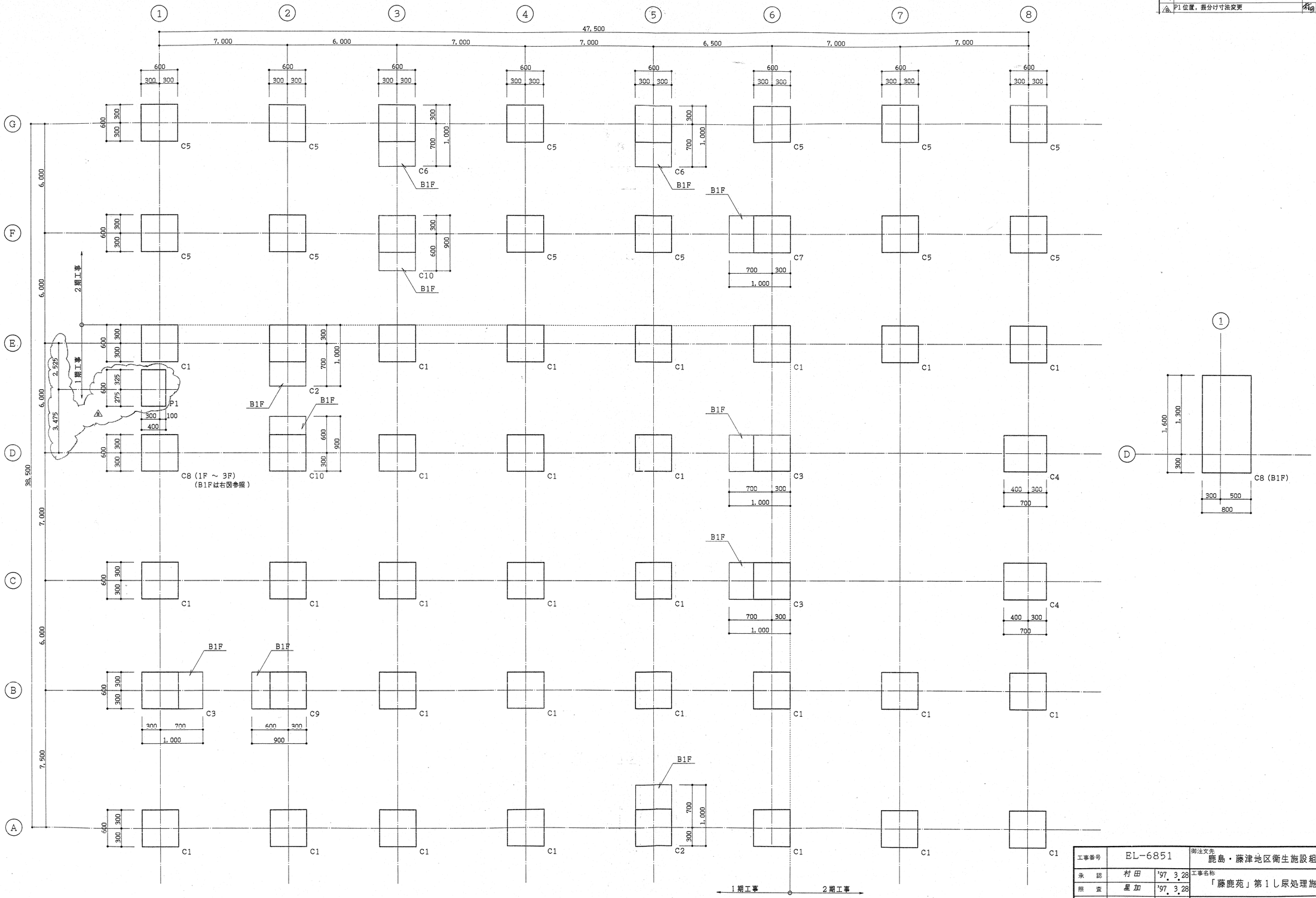
符 号	C1	C2	C3	C4	C5	C6	C7	C8	C9	C10	P1	
2階												
寸 法	600 x 600	600 x 600	600 x 600	700 x 600				600 x 600	600 x 600	600 x 600		
主 筋	8-D22	8-D22	8-D22	12-D22				8-D22	8-D22	8-D22		
フープ	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100				□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100		
1階												
寸 法	600 x 600	600 x 600	600 x 600	700 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	600 x 600	400 x 600	
主 筋	8-D22	8-D22	8-D22	12-D22	8-D22	8-D22	8-D22	8-D22	8-D22	8-D22	6-D22	
フープ	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D10 @100	
B1階												
寸 法	600 x 600	600 x 1000	1000 x 600		600 x 600	600 x 1000	1000 x 600	800 x 1600	900 x 600	600 x 900 △A		
主 筋	12-D25	26-D25	26-D25		12-D25	26-D25	26-D25	50-D25	24-D25	24-D25		
フープ	□-D13 @100	日-D13 @100	田-D13 @100		□-D13 @100	日-D13 @100	田-D13 @100	日-D13 @100	田-D13 @100	日-D13 @100		



キープラン S=1/200

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承 認	村田 '97. 1.17	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照 査	星加 '97. 1.17		
照 査	瀬尾 '97. 1.16	図面名称	処理棟 柱リスト
設 計	岡本 '97. 1.16		
製 図	清水 '97. 1.16		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/30
		第 角法	
		標準図番号	
		図面番号	WR121130 △D
		出図年月日	
		整理番号	

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△B	P1位置，掘分け寸法変更	村田	一	一医法 '97. 6. 1



コンクリート柱心線図 S=1/100, 1/30

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 3. 28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 3. 28	
照査	瀬尾	'97. 3. 28	図面名称 処理棟 コンクリート柱心線図
設計	岡本	'97. 3. 25	
製図	清水	'97. 3. 22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/100, 1/30 第 角法 標準図番号
			図面番号 WR121140 △B
			出図年月日 整理番号

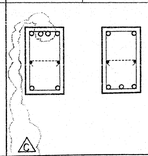
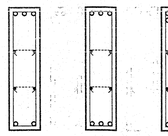
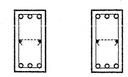
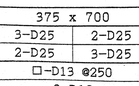
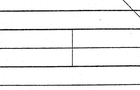
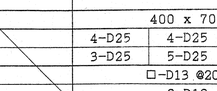
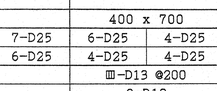
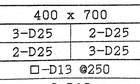
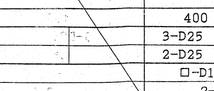
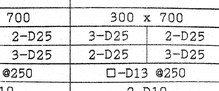
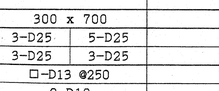
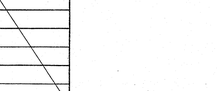
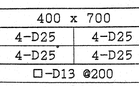
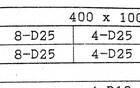
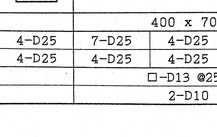
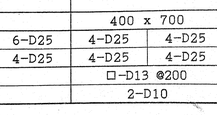
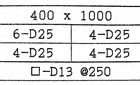
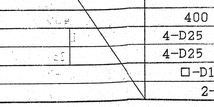
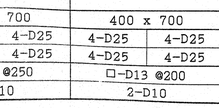
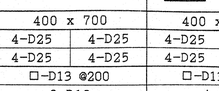
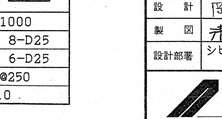
NES NF39166 △

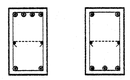
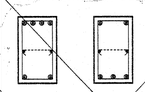
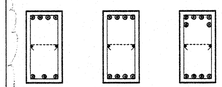
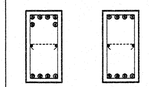
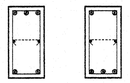
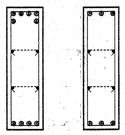
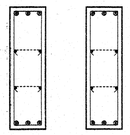
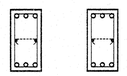
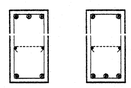
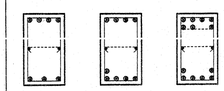
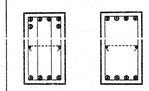
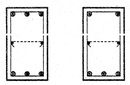
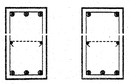
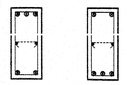
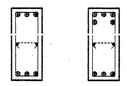
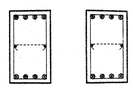
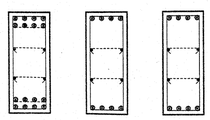
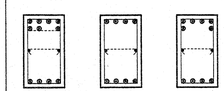
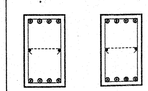
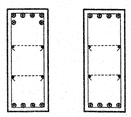
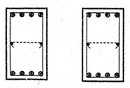
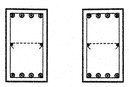
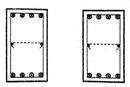
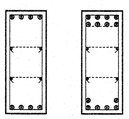
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1	RGX1 配筋変更, RGY1 削除.	村田	97. 2. 1

大梁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り 巾止筋 は D10 @1,000 とする

符号	GX1		GX2, (GX2A)		GX3			GX3A			GX4		GX5			GX6			GX7			GX8			GX9	
位置	端部	中央	端部	中央	外端	中央	内端	7, (5)通端	中央	8, (6)通端	端部	中央	3通端	中央	4通端	4通端	中央	6, (5)通端	6, (5)通端	中央	8, (6)通端	外端	中央	内端	端部	中央
R階	 △2																								3階 	
寸法	375 x 650		375 x 650		300 x 650			300 x 650			300 x 650		350 x 1200			350 x 1200			350 x 1200						300 x 600	
上端筋	4-D22	2-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	5-D22	3-D22	3-D22	4-D22	2-D22	3-D22	3-D22	5-D22	7-D22	4-D22	4-D22	7-D22	4-D22	4-D22				3-D22	3-D22
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	6-D22	4-D22	4-D22	5-D22	3-D22				3-D22	3-D22
スターラップ	□-D13 @250		□-D13 @250		□-D13 @250			□-D13 @250			□-D13 @250		□-D13 @250			□-D13 @200			□-D13 @250						□-D13 @250	
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10			2-D10			2-D10		4-D10			4-D10			4-D10						2-D10	
2階								5通端 6通端 								4通端 5通端 			5通端 6通端 						
寸法	375 x 700		375 x 700		400 x 700			400 x 700			400 x 700		400 x 700			400 x 700			400 x 700			300 x 700			300 x 700	
上端筋	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D25	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	7-D25	4-D25	8-D25	7-D25	4-D25	4-D25	3-D25	3-D25	5-D25	3-D25	2-D25
下端筋	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D25	6-D25	4-D25	7-D25	6-D25	4-D25	3-D25	2-D25	3-D25	3-D25	2-D25	3-D25
スターラップ	□-D13 @250		□-D13 @250		□-D13 @250			□-D13 @250			□-D13 @250		□-D13 @250			□-D13 @200			□-D13 @250			□-D13 @250			□-D13 @250	
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10			2-D10			2-D10		2-D10			2-D10			2-D10			2-D10			2-D10	
1階			※( )内はGX2Aを示す 					5通端 6通端 											5通端 6通端 			5通端 6通端 			
寸法	400 x 700		400x700 (1200)		400 x 1200			400 x 1000			400 x 700		400 x 700			400 x 700			400 x 700			400 x 1000				
上端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	7-D25	4-D25	4-D25	7-D25		
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25		
スターラップ	□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @250			□-D13 @250			□-D13 @250		□-D13 @200			□-D13 @250			□-D13 @250			□-D13 @250				
腹筋	2-D10		2-D10 (4-D10)		4-D10			4-D10			2-D10		2-D10			2-D10			2-D10			4-D10				

符号	GY1		GY1A			GY2			GY3		GY4		GY5		GY6		GY7		GY8		GY8A	
位置	端部	中央	外端	中央	内端	A, E通端	中央	D通端	端部	中央	端部	中央	B通端,中央	C通端	端部	中央	端部	中央	E, G通端,中央	F通端	F通端,中央	G通端
R階			△3 														3階 					
寸法	375 x 650		375 x 650			350 x 700			350 x 700		350 x 700		350 x 1200		350 x 1200		300 x 600					
上端筋	4-D25	2-D25	4-D25	2-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25	6-D25	4-D25	3-D25	2-D25	6-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D22	3-D22				
下端筋	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	4-D25	3-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	2-D25	3-D25	4-D25	3-D25	3-D25	3-D25	3-D22	3-D22				
スターラップ	□-D13 @250		□-D13 @250			□-D13 @200			□-D13 @200		□-D13 @250		□-D13 @250		□-D13 @250		□-D13 @250					
腹筋	2-D10		2-D10			2-D10			2-D10		2-D10		4-D10		4-D10		2-D10					
2階																						
寸法	375 x 700					400 x 700			400 x 700		400 x 700				400 x 700		300 x 700		300 x 700			
上端筋	3-D25	2-D25				4-D25	4-D25	7-D25	6-D25	4-D25	3-D25	2-D25			3-D25	2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	5-D25		
下端筋	2-D25	3-D25				3-D25	5-D25	6-D25	4-D25	4-D25	2-D25	3-D25			2-D25	3-D25	2-D25	3-D25	3-D25	3-D25		
スターラップ	□-D13 @250					□-D13 @200			Ⅲ-D13 @200		□-D13 @250				□-D13 @250		□-D13 @250		□-D13 @250			
腹筋	2-D10					2-D10			2-D10		2-D10				2-D10		2-D10		2-D10			
1階																						
寸法	400 x 700		400 x 1000			400 x 700			400 x 700		400 x 1000				400 x 700		400 x 700		400 x 700		400 x 1000	
上端筋	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	7-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25			4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	8-D25
下端筋	4-D25	4-D25	8-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25			4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	6-D25
スターラップ	□-D13 @200					□-D13 @250			□-D13 @200		□-D13 @250				□-D13 @250		□-D13 @200		□-D13 @200		□-D13 @250	
腹筋	2-D10		4-D10			2-D10			2-D10		4-D10				2-D10		2-D10		2-D10		4-D10	

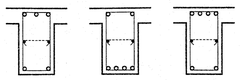
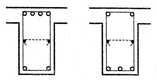
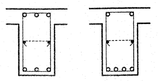
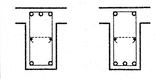
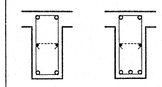
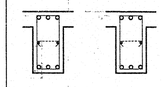
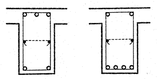
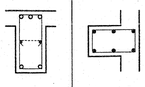
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.2.26	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	/ /		
照査	瀬尾 '97.2.26	図面名称	処理棟 大梁リスト
設計	岡本 '97.2.26		
製図	清水 '97.2.10		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/30
NKK 日本鋼管株式会社		第角法	標準図番号
		図面番号	WR121150 △B
		出図年月日	整理番号

NES NP7016A △

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△7	S7, CS5, CS6 追加, CS3 厚さ, 配筋変更	村田	松本	'97. 3. 1

小梁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り巾 止 筋 は D10 @1,000とする

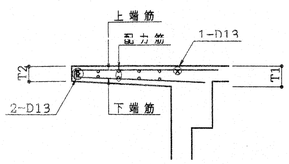
符号	B1			B2		B3		B4		B5		B6		B7	B8		B9	B10	B11
位置	外端	中央	内端	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	全断面	端部	中央	全断面	全断面	全断面
断面																			
寸法	350 x 650			350 x 650		350 x 650		300 x 600		300 x 650		300 x 600		300 x 650	350 x 650		250 x 450	300 x 600	500 x 300
上端筋	3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	2-D19	3-D22	3-D19
下端筋	2-D22	4-D22	2-D22	2-D22	3-D22	3-D22	4-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22	3-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D19	2-D22	3-D19
スターラップ	□-D10 @200			□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @200		□-D10 @200	□-D10 @200	□-D10 @200
腹筋	2-D10			2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	2-D10		2-D10	2-D10	——

床版リスト

符号	版厚	位置	短辺方向 端部	短辺方向 中央	短辺方向 隅角部	長辺方向 端部	長辺方向 中央	長辺方向 隅角部	備考
S1	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S2	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S3	180	上端筋	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	
		下端筋	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	
S4	130	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S5	130	上端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S6	150	上端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
△7 S7	150	上端筋	D13 @ 150	D13 @ 150	D13 @ 150	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
FS6	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
FS7	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
FS8	180	上端筋	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	
		下端筋	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 100	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	
FS9	200	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		下端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
		上端筋							
		下端筋							

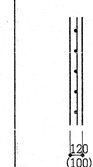
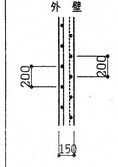
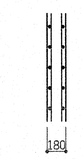
片持スラブリスト

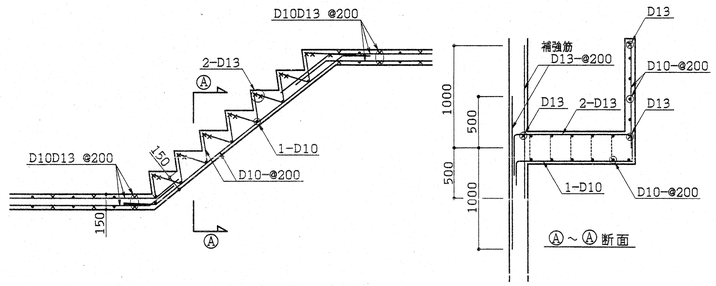
符号	T1	T2	上端筋	下端筋	配力筋
CS1	150	150	D10D13 @200	D10 @200	D10 @200
CS2	200	200	D13 @200	D10 @200	D10 @200
CS3	300	300	D13 @100	D10D13 @200	D10 @200
CS4	210	130	D13 @100	D10D13 @200	D10 @200
△5 CS5	150	150	D13 @200	D10 @200	D10 @200
CS6	180	180	D13 @200	D10 @200	D10 @200



壁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り巾 止 筋 は D10 -@ 1,000x1,000 とする

符号	W12, (W10)	W15	W18, EW18				
立断面							
	120 (100)	外壁 200 200 150	180				
縦筋	D10 @200 シングル	D10 @200 チドリ	D10 @200 ダブル				
横筋	D10 @200 シングル	D10 @200 チドリ	D10 @200 ダブル				
開口補強筋 縦筋	1 - D13	2 - D13	4 - D13				
開口補強筋 横筋	1 - D13	2 - D13	4 - D13				
開口補強筋 斜メ筋	1 - D13	2 - D13	2 - D13				

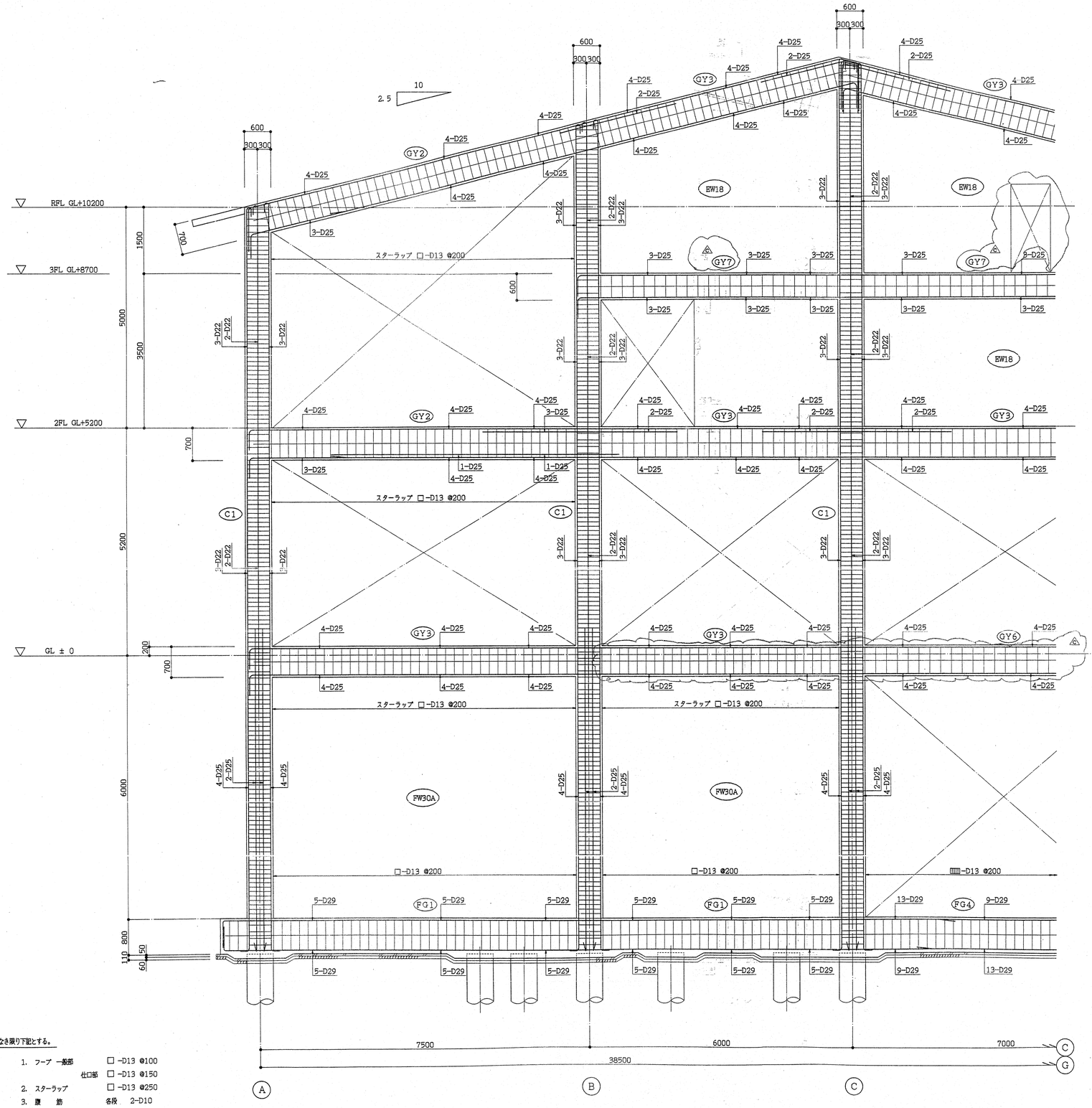


階段配筋詳細図 S=1/30

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97. 3. 26	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 '97. 3. 26	図面名称	処理棟 小梁・床版・壁リスト
照査	瀬尾 '97. 3. 26		
設計	岡本 '97. 3. 26		
製図	清水 '97. 2. 10		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/30
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	WR121160 △C
		出図年月日	整理番号

NES NP3706A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△A	梁符号，梁レベルの変更，他	村田 一 一田本	'97.8.1



特記なき限り下記とする。

1. フープ	一般部	□-D13 @100
	仕口部	□-D13 @150
2. スターラップ		□-D13 @250
3. 腹筋		各段 2-D10
4. 巾止筋		D10 @1,000

③通り架構配筋詳細図 S:1/50

工事番号	EL-6851	
承認	村田	'97.2.26
照査	星加	'97.2.26
照査	瀬尾	'97.2.26
設計	岡本	'97.2.26
製図	清水	'97.2.10
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 処理棟 3通り架構配筋詳細図

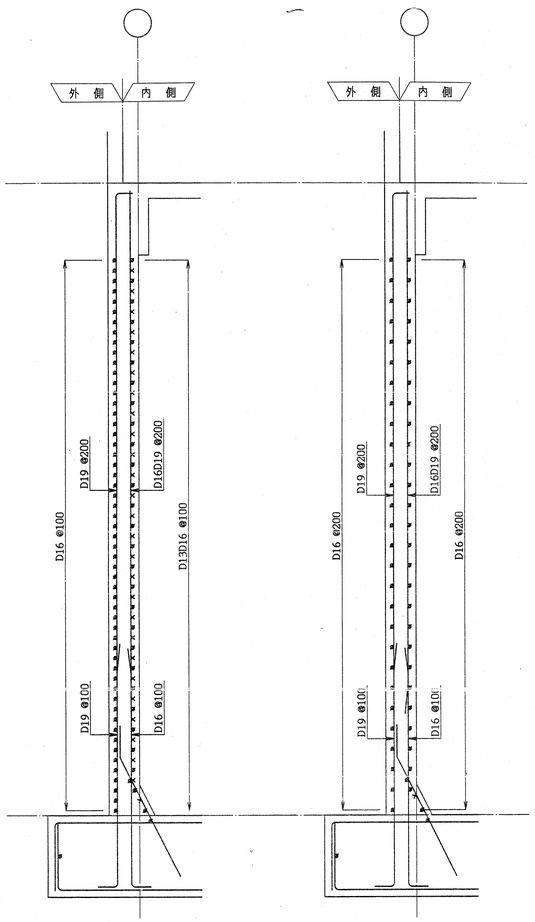
NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/50	第 角法	標準図番号
図面番号	WR121210	△C	
出図年月日		整理番号	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

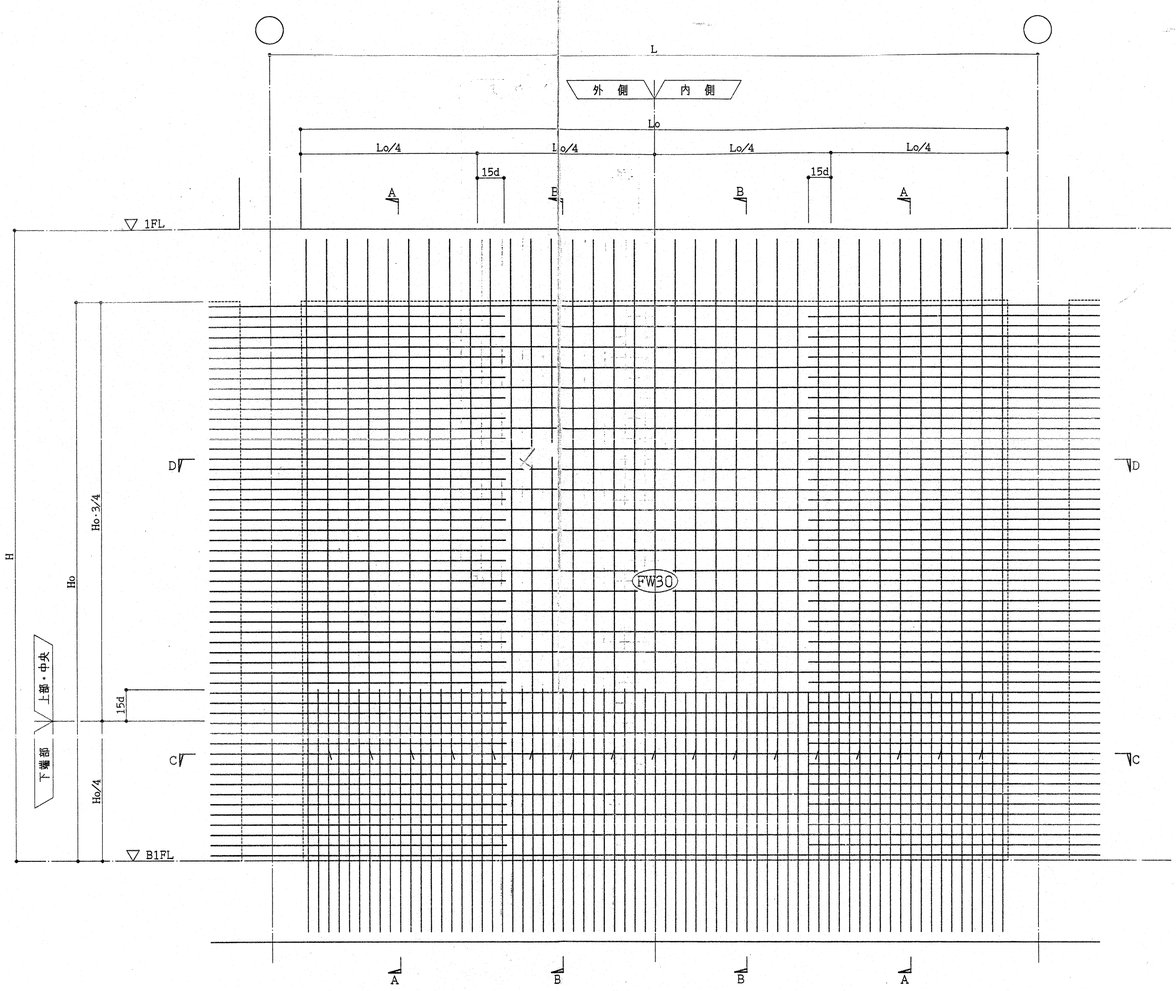
地下壁配筋要領図 S=1/30

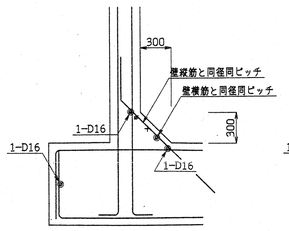
註) 1. 特記なき限り巾止筋は D10 @ 1,000x1,000 とする



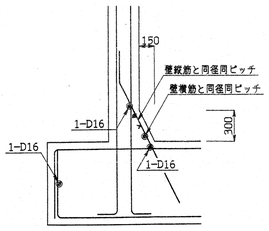
A-A 断面図

B-B 断面図

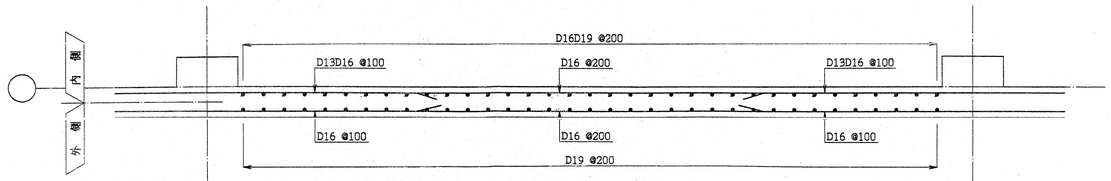




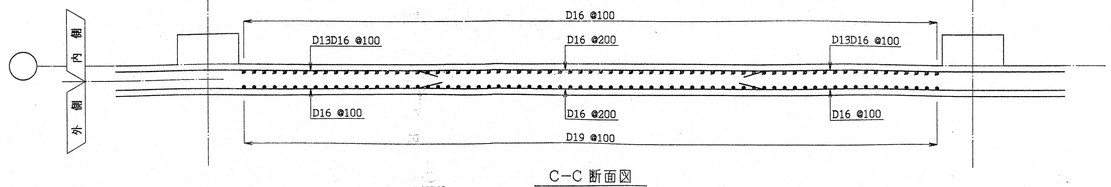
ハンチA配筋図



ハンチB配筋図



D-D 断面図



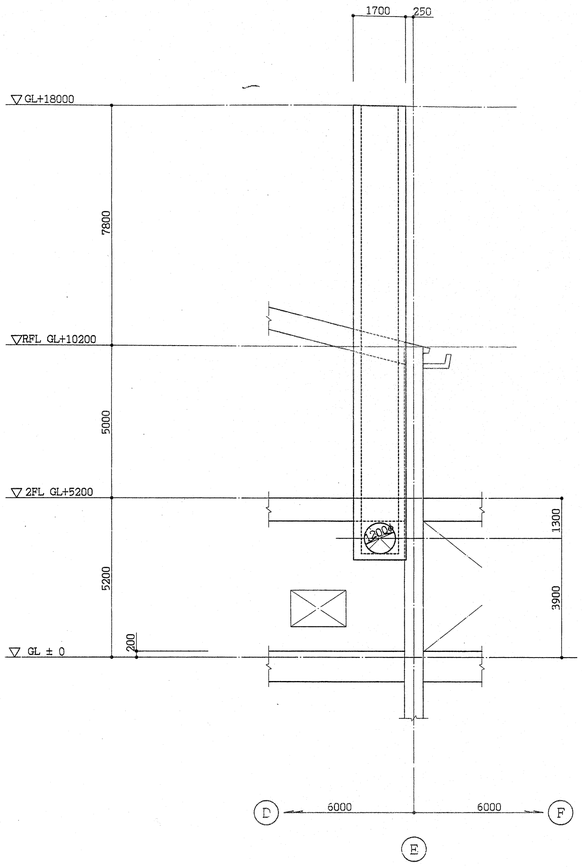
C-C 断面図

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	木村田	'97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97.3.28	
照査	瀬尾	'97.3.25	図面名称 処理棟 地下壁配筋要領図
設計	岡本	'97.3.25	
製図		. .	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121230 △A
			出図年月日 整理番号

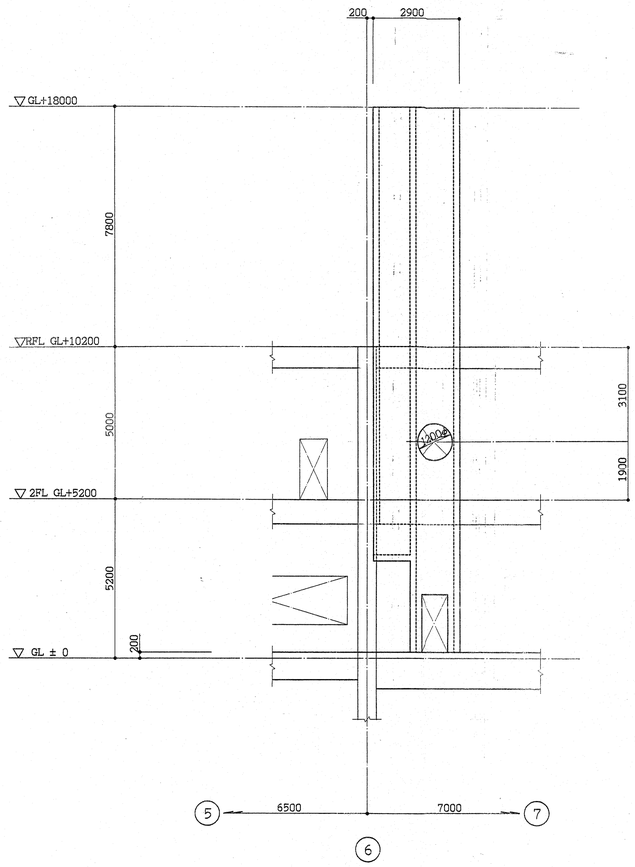
NES NF3705A △

103

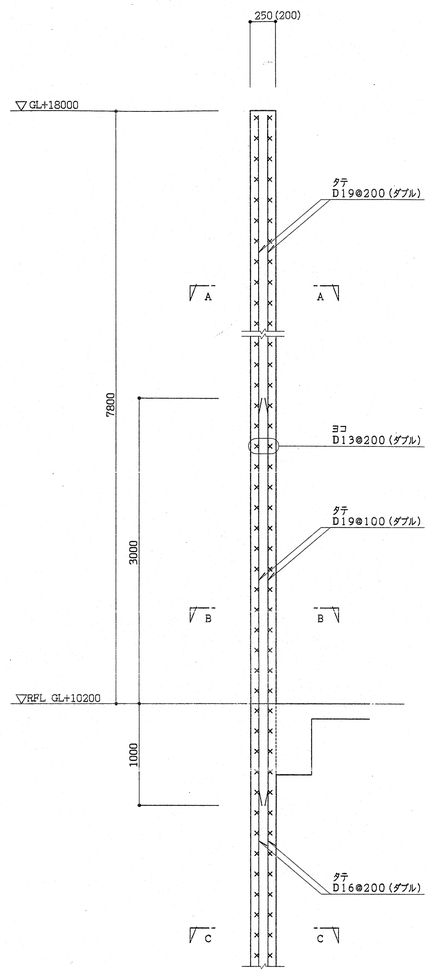
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

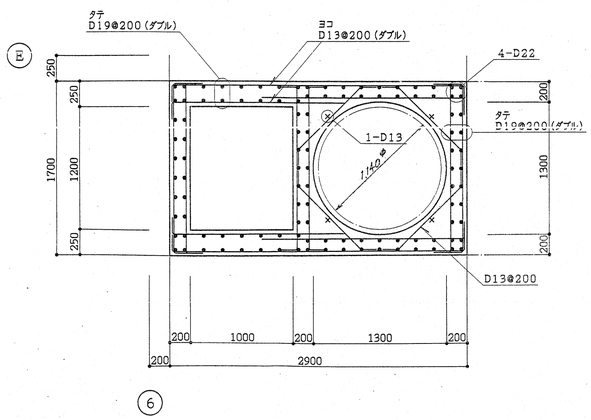


⑥ 通り軸組図 S:1/100

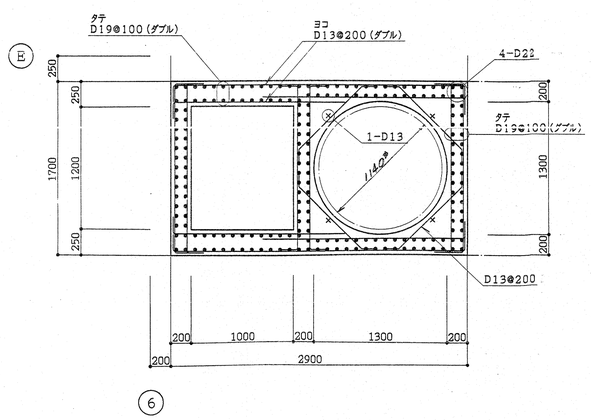


Ⓔ 通り軸組図 S:1/100

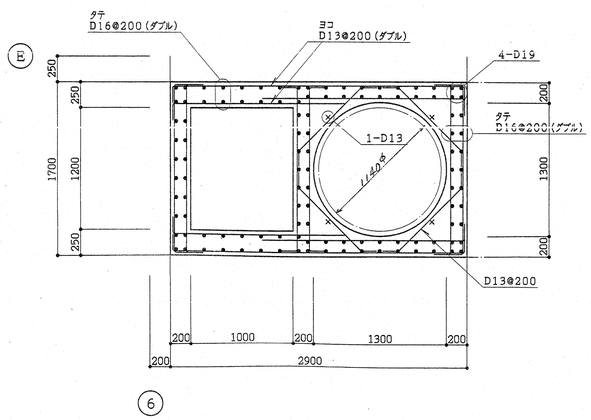




A－A図 S:1/30



B－B図 S:1/30



C－C図 S:1/30

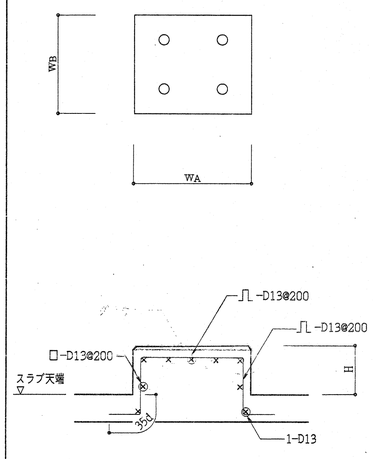
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'96.11.29	
照査	瀬尾	96.11.29	図面名称 処理棟 煙突詳細図
設計	岡本	96.11.29	
製図			
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100, 30 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-121240 △A
			出図年月日 整理番号

NES NF7016A △

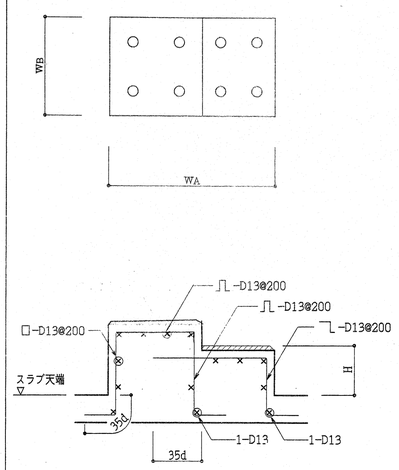
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

機械基礎標準図

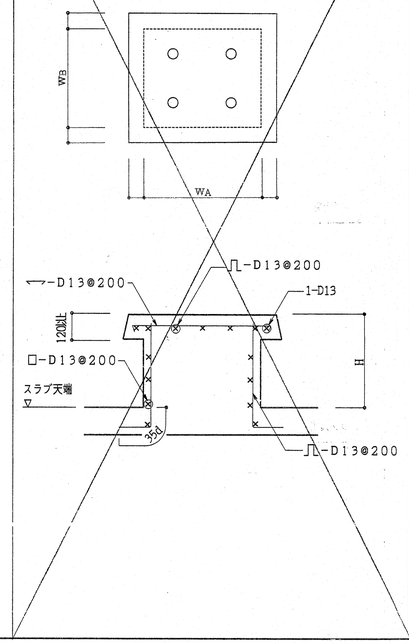
TYPE-A



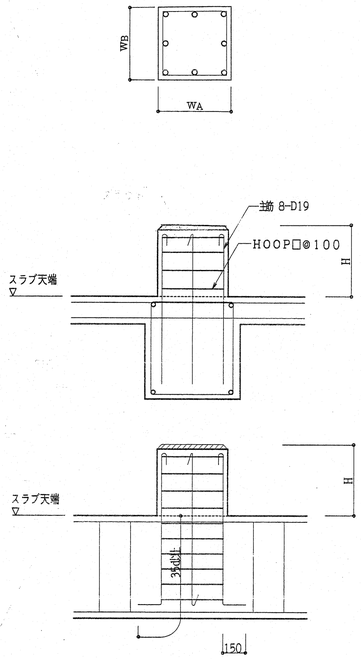
TYPE-B



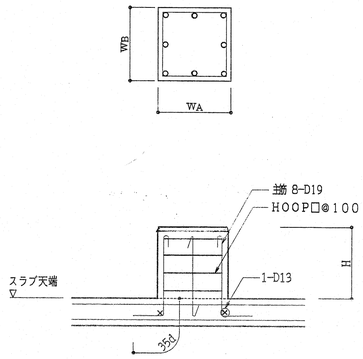
TYPE-C



TYPE-D

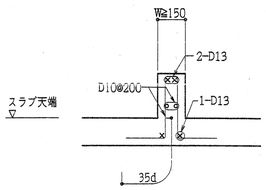


TYPE-E

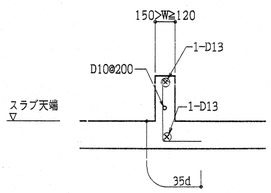


一般立上り部配筋図

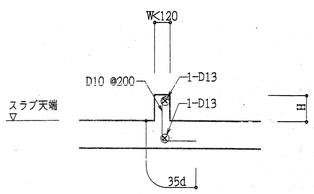
TYPE-1



TYPE-2

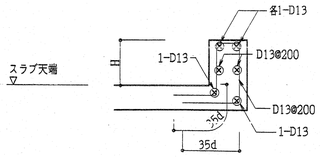


TYPE-3

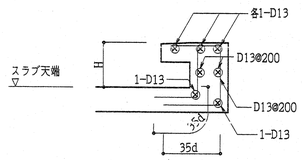


注) H≦80の場合は、無筋とする。

TYPE-4



TYPE-5



注）特記なき限り、グラウトは 材、工共 プラント所掌とする

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾加	'97.3.28	図面名称 処理棟 機械基礎標準図
照査	瀬尾	'97.3.28	
設計	阪本	'97.3.25	
製図		・・	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/20 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121310 △A
			出図年月日 整理番号

NES NF37006A △

A-1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
B	機器基礎位置の変更，追加，他	村田	'97. 8. 1

番号	機器名称	基数
①	破砕装置	3基
②	し尿貯留槽スカム破砕ポンプ	2台
③	浄化槽汚泥貯留槽スカム破砕ポンプ	2台
④	予備貯留槽スカム破砕ポンプ	3台
⑤	中継ポンプ	3台
⑥	し尿投入ポンプ	2台
⑦	浄化槽汚泥投入ポンプ	2台
⑧	循環液移送ポンプ	2台
⑨	冷却用循環ポンプ	3台
⑩	生物膜分離循環ポンプ	6台
⑪	生物膜分離処理水ポンプ	2台
⑫	返送汚泥ポンプ	2台
⑬	主循環ポンプ	2台
⑭	余剰汚泥ポンプ	2台
⑮	凝集膜分離循環ポンプ	3台
⑯	凝沈汚泥引抜ポンプ	2台
⑰	活性炭原水ポンプ	2台
⑱	活性炭逆洗ポンプ	1台
⑲	放流ポンプ	2台
⑳	汚泥供給ポンプ	3台
㉑	ろ布洗浄ポンプ	3台
㉒	プロセス用水給水装置	1基
㉓	生活用水給水装置	1基
㉕	雑排水ポンプ	2台
㉗	消火ポンプ	1台
B ㉛	制御盤	1基

工事番号	EL6851	
承認	村田	'97. 3.28
照査	星加	'97. 3.28
照査	瀬尾	'97. 3.28
設計	岡本	'97. 3.25
製図	清水	'97. 3.21
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK
日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 処理棟 B1階機器基礎配置図

尺度: 1/100　第　角法　標準図番号

図面番号: WR121330　B

出図年月日　整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

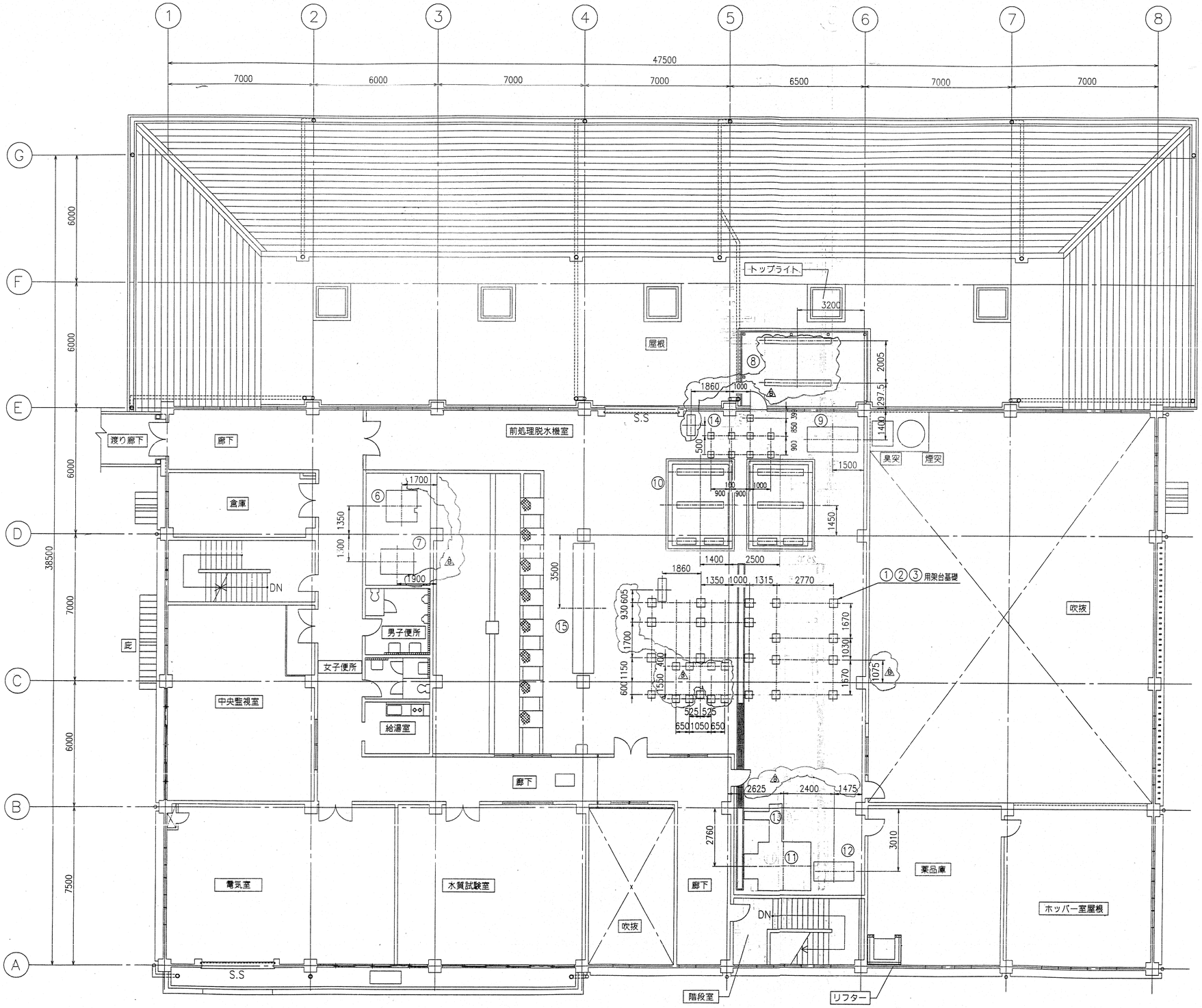
PN

番号	機器名称	基数
①	沈砂除去タンク	1基
②	真空ポンプ	2台
④	消泡剤貯槽	1基
⑤	メタノールサービスタンク	1基
⑨	曝気ブロワ	3台
⑩	熱交換器	2台
⑫	活性炭吸着塔	2塔
⑲	新炭受入槽	1基
⑳	活性炭移送ポンプ	1台
㉑	空洗ブロワ	1台
㉔	撹拌ブロワ	2台
㉘	活性炭脱臭装置	1基
㉜	中濃度臭気ファン	1台
㉝	低濃度臭気ファン	1台
㉞	湿式脱臭装置	1基
㉟	高濃度ミストセパレーター	1基
㊱	中濃度ミストセパレーター	1基
㊲	低濃度ミストセパレーター	1基
㊴	メタノール移送ポンプ	2台
㊵	生物膜、凝集膜操作制御シーケンサー盤	1基
㊶	ブロワー盤	1基
㊷	脱臭設備制御盤	1基

工事番号	EL6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 97.8.1	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査		図面名称	処理棟 1階機器基礎配置図
照査			
設計	岡本 97.8.1		
製図			
設計部署	シビルエンジニアリング部 土木建築設計室	尺度	1/100
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	WR121340 △A
		出図年月日	整理番号

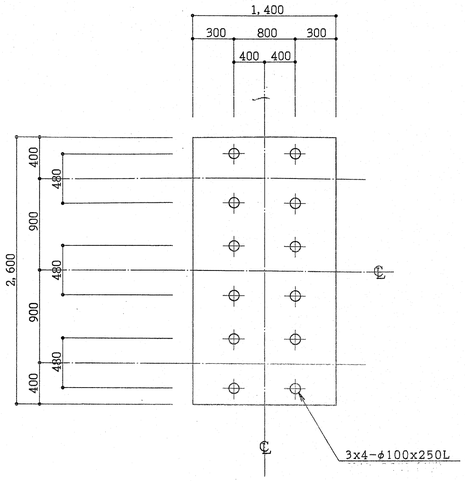
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	プラント変更による改訂.	村田 星加 岡本	'97.9.5

番号	機器名称	基数
①	夾雑物除去装置	2基
②	夾雑物脱水装置	2基
③	砂分離機	2基
⑥	膜洗浄水槽	1基
⑦	膜洗浄ポンプ	2台
⑧	冷却塔	1台
⑨	冷却水ポンプ	3台
⑩	汚泥脱水機	2基
⑪	脱水用ポリマー溶解装置	1基
⑫	脱水用ポリマー注入ポンプ	3台
⑬	アルカリ洗浄装置	1基
⑭	凝集混和槽	2基
⑮	受入操作制御盤・脱水機操作制御盤	1基

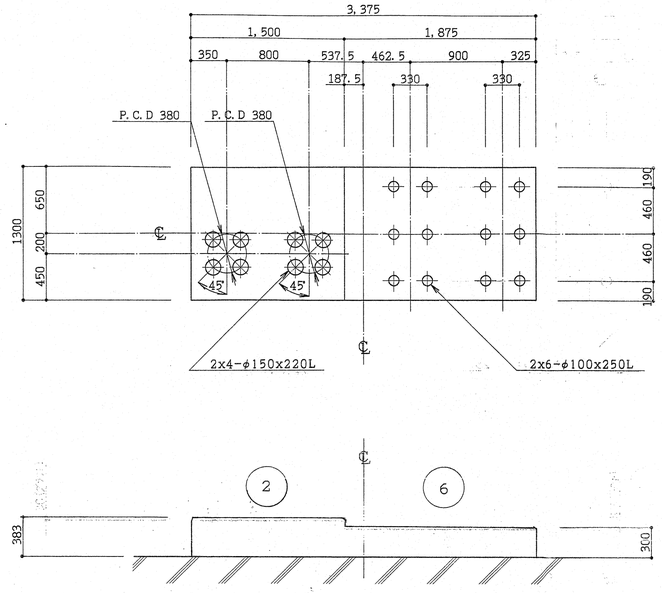


工事番号	EL6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 7.23	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 7.23	
照査	瀬尾	'97. 7.23	図面名称 処理棟 2階機器基礎配置図
設計	岡本	'97. 7.23	
製図	清水	'97. 7.22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/100 第角法 標準図番号
			図面番号 WR121350 B
			出図年月日 整理番号

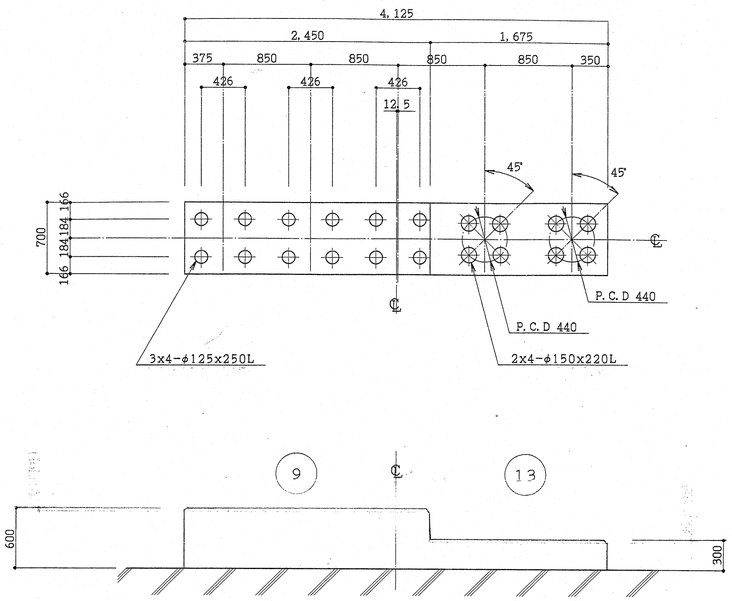
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
A	⑩ アンカーホール深さ訂正	林田	一	一	都筑	97.6.1



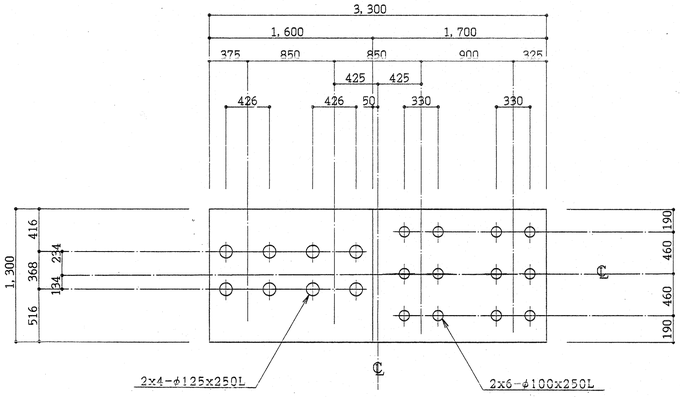
① 破砕装置　3基
(H=300 グラウト代 30)

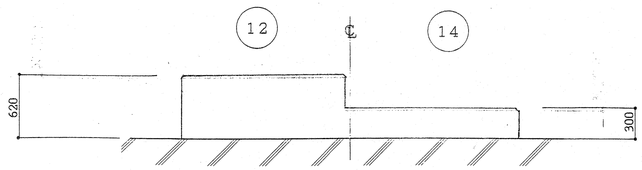


② し尿貯留槽スカム破砕ポンプ　2台
⑥ し尿投入ポンプ　2台
} TYPE-B

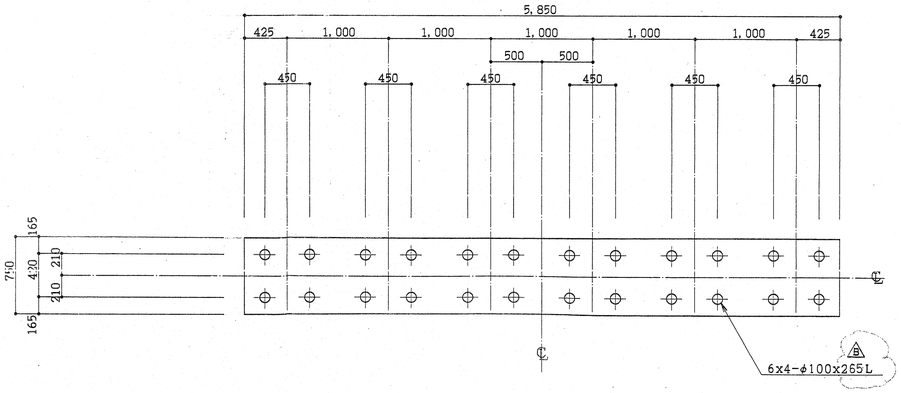


⑨ 冷却用循環ポンプ　3台
⑬ 主循環ポンプ　2台
} TYPE-B





⑫ 返送汚泥ポンプ　2台
⑭ 余剰汚泥ポンプ　2台
} TYPE-B



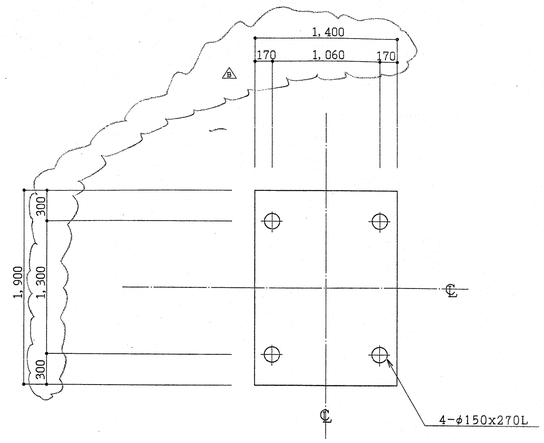
⑩ 生物膜分離循環ポンプ　6台
(H=530)

注) 特記なき限り、機械基礎はTYPE-Aとする。

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	林田	'97.3.28	工事名 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	栗加	'97.3.26	図面名称 処理棟 B1階機械基礎詳細図(1)
照査	瀬尾	'97.3.28	
設計	岡本	'97.3.25	
製図		. .	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社	尺度 1/30	第 角法	標準図番号
	図面番号 WR121360		B
	出図年月日		整理番号

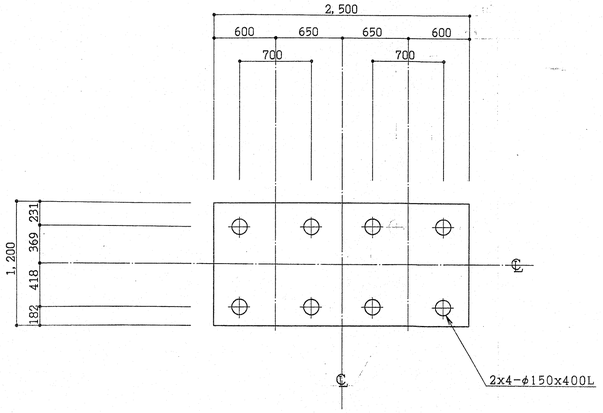
NES NP7106A-A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	寸法変更，⑳㉕次葉へ移動	村田 一 一	'97. 4. 1



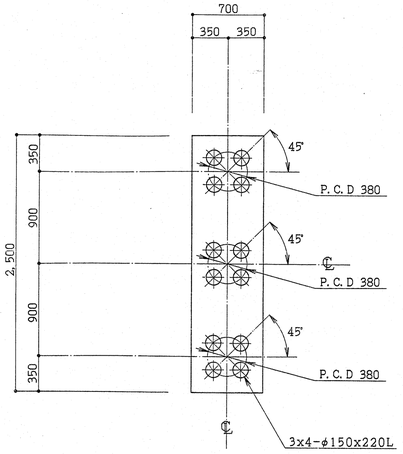
㉒ プロセス用水給水装置　1基

(H=300)



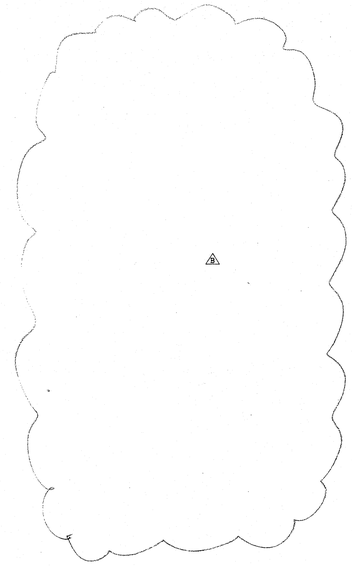
⑧ 循環液移送ポンプ　2台

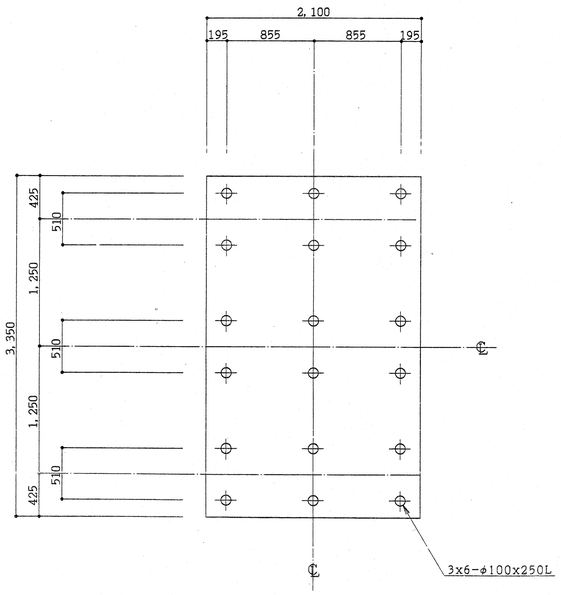
(H=400)



④ 予備貯留槽スカム破砕ポンプ　3台

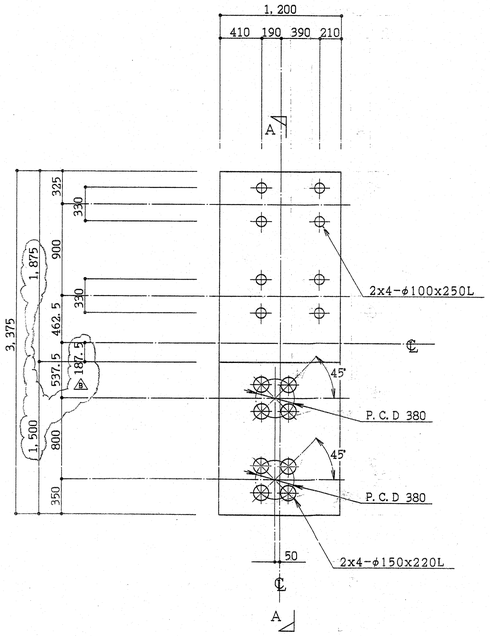
(H=330)

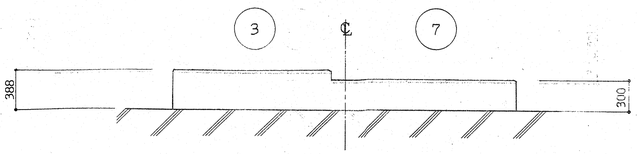




⑤ 中継ポンプ　3台

(H=300)

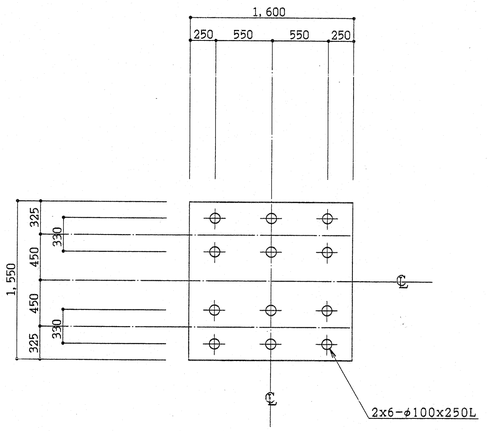




A－A断面

③ 浄化槽汚泥貯留槽スカム破砕ポンプ　2台

⑦ 浄化槽汚泥投入ポンプ　2台



⑪ 生物膜分離処理水ポンプ　2台

(H=300)

注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Aとする。

工事番号	EL-6851	
承認	村田	'97. 3. 28
照査	星加	'97. 3. 28
照査	瀬尾	'97. 3. 28
設計	岡本	'97. 3. 25
製図	清水	'97. 3. 21
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

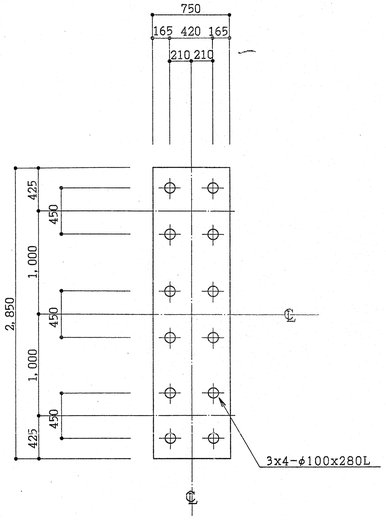
工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：処理棟 B1階機械基礎詳細図(2)

尺度	1/30	第 角法	標準図番号
図面番号	WR121370		B
出図年月日		整理番号	

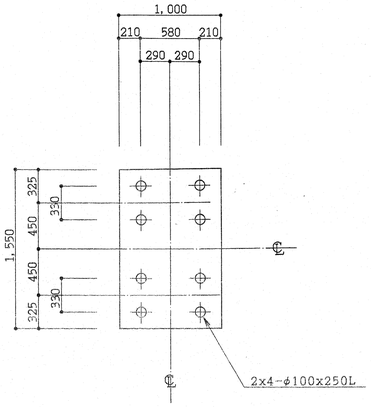
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	寸法変更，⑳㉕分離，基礎追加	村田 一 星加	'97.3.1



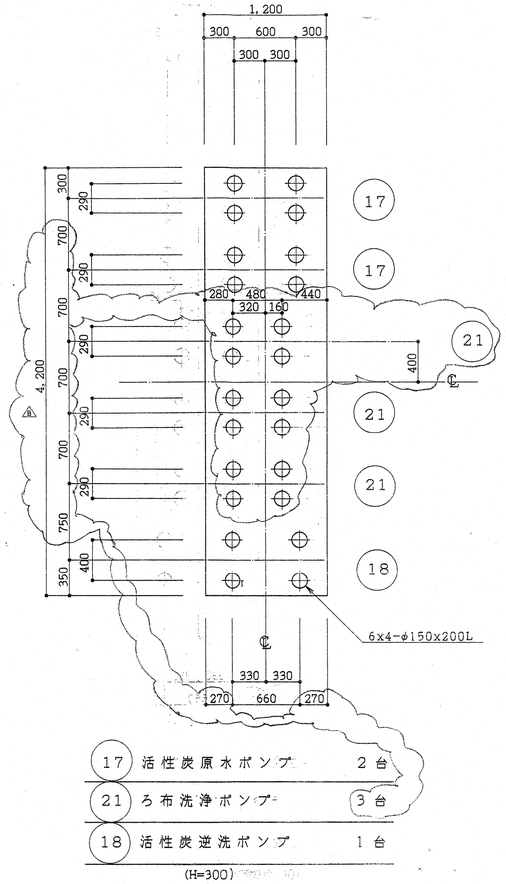
(15) 凝集膜分離循環ポンプ　3台

(H=300)



(16) 凝沈汚泥引抜ポンプ　2台

(H=400)

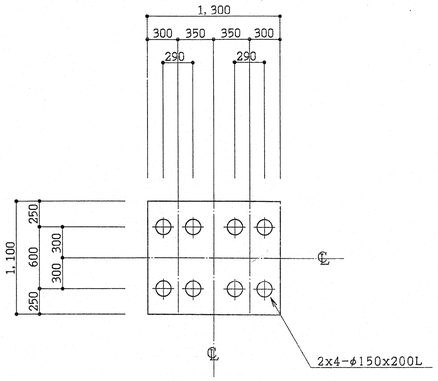


(17) 活性炭原水ポンプ　2台

(21) ろ布洗浄ポンプ　3台

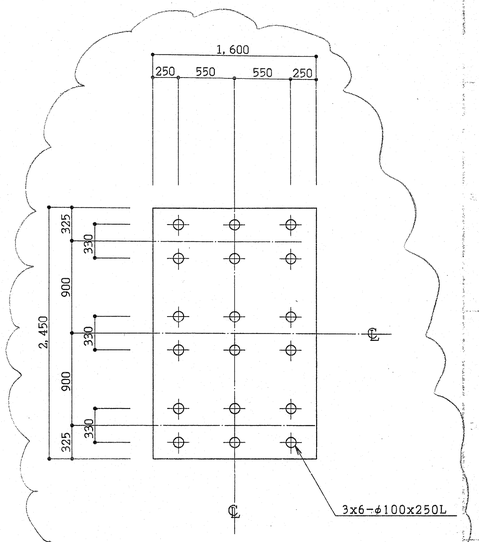
(18) 活性炭逆洗ポンプ　1台

(H=300)



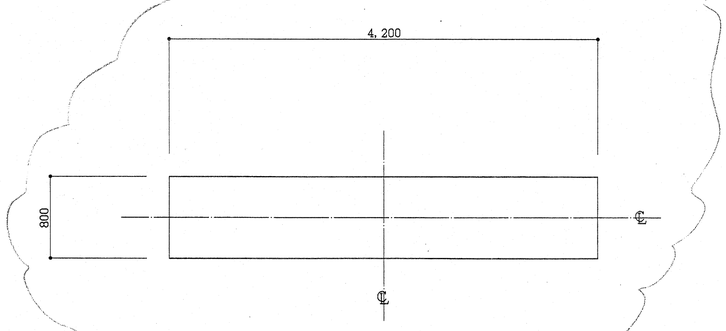
(19) 放流ポンプ　2台

(H=300)



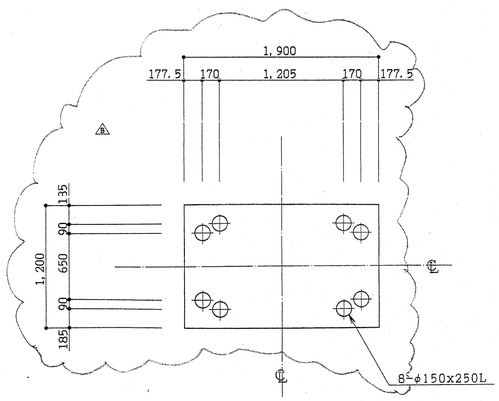
(20) 汚泥供給ポンプ　3台

(H=300)



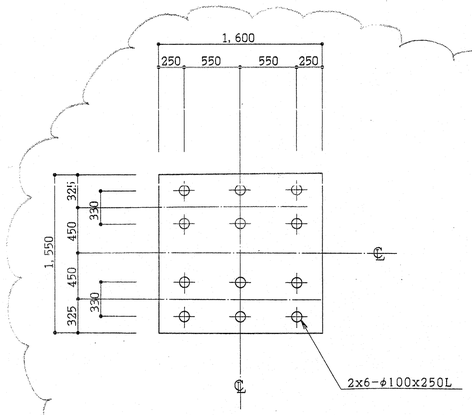
(31) 制御盤　1台

(H=270)



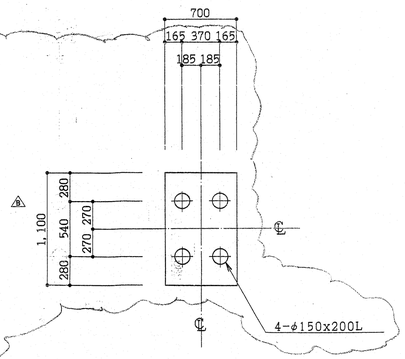
(23) 生活用水給水装置　1基

(H=300)



(25) 雑排水ポンプ　2台

(H=300)



(27) 消火ポンプ　1台

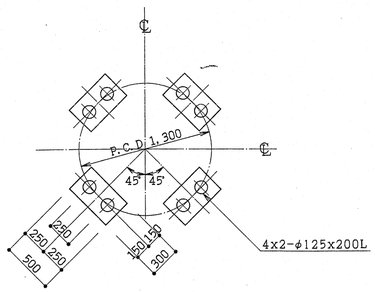
(H=300)

注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Aとする。

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.28	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97.3.28	
照査	瀬尾	'97.3.28	図面名称 処理棟 B1階機械基礎詳細図(3)
設計	岡本	'97.3.25	
製図	清水	'97.3.21	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30　第 角法　標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121380　B
			出図年月日　整理番号

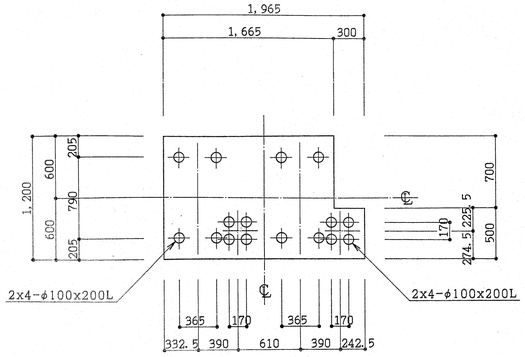
NES NF3016A A

図面来歴				
記号	記事	審	名	年月日
△				



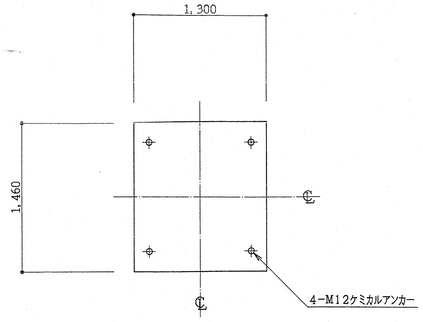
① 沈砂除去タンク　1基

(H=200)



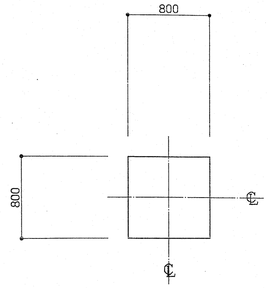
② 真空ポンプ　2台

(H=300)



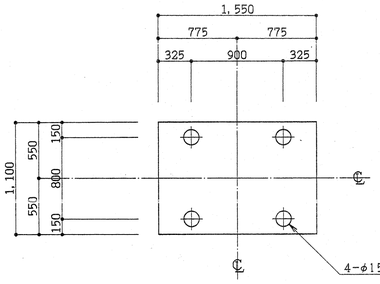
④ 消泡剤貯槽　1基

(H=200)



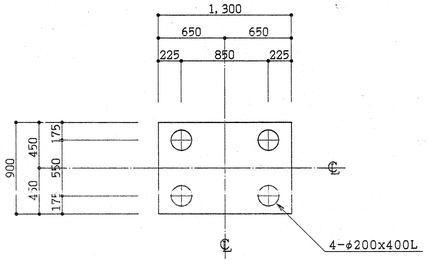
⑤ メタノールサービスタンク　1基

(H=200)



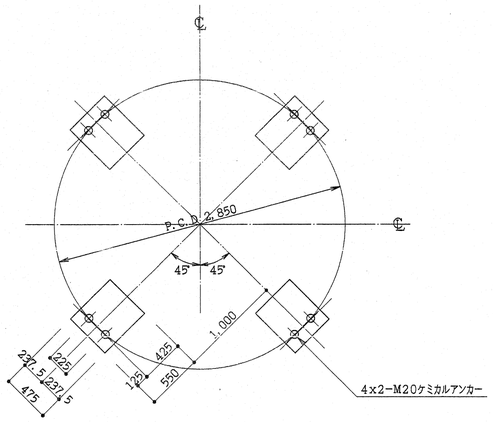
⑨ 曝気ブロワ　3台

(H=250)



⑩ 熱交換器　2台

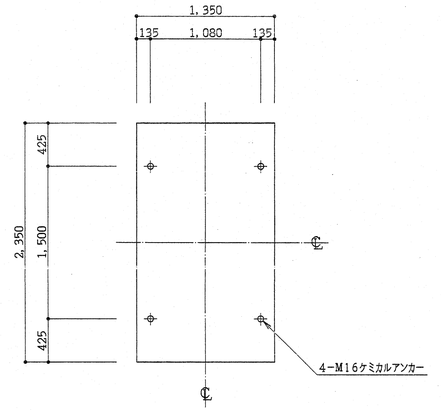
(H=400)



⑫ 活性炭吸着塔　2塔

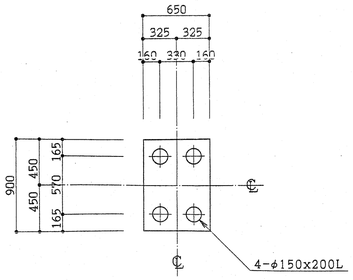
(H=200)

TYPE-E



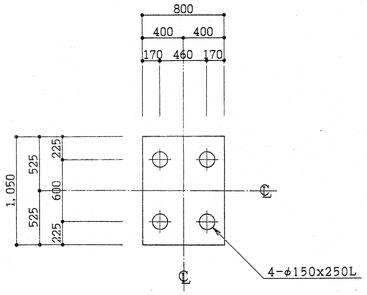
⑲ 新炭受入槽　1基

(H=200)



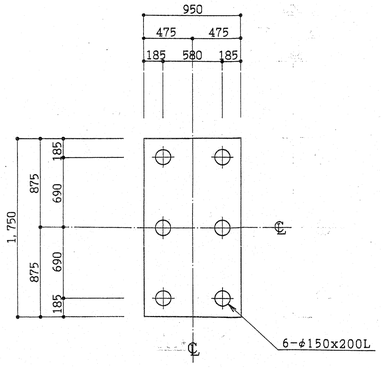
㉑ 空洗ブロワ　1台

(H=250)



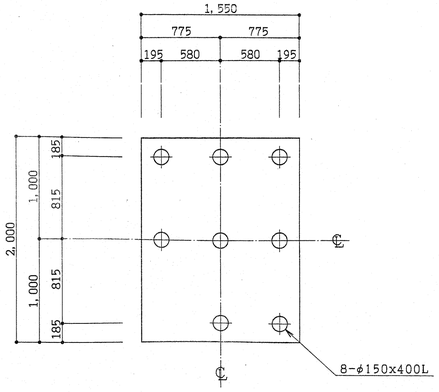
㉔ 撹拌ブロワ　2台

(H=250)



㉜ 中濃度臭気ファン　1台

(H=200)



㉝ 低濃度臭気ファン　1台

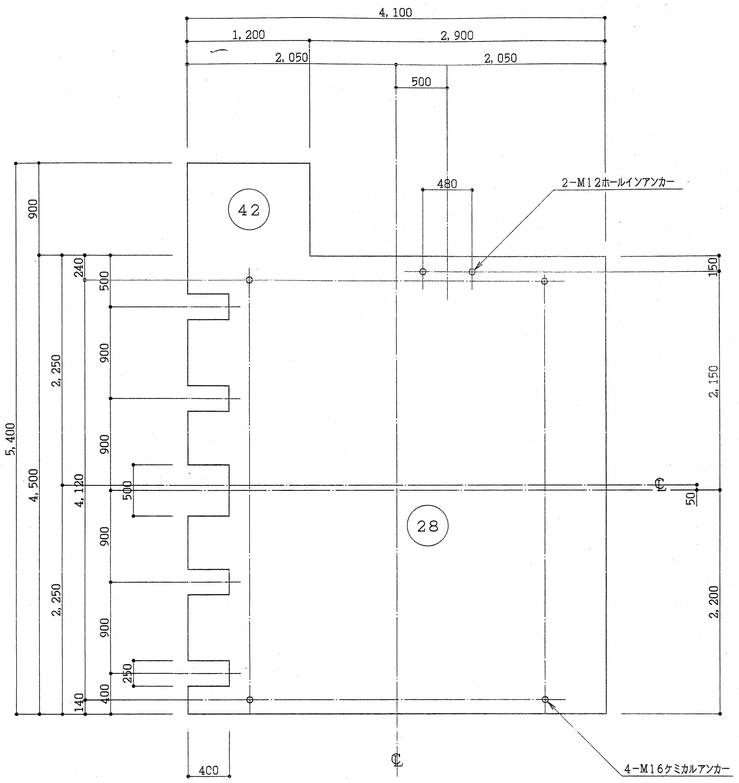
(H=400)

注）特記なき限り機械基礎はTYPE-Aとする。

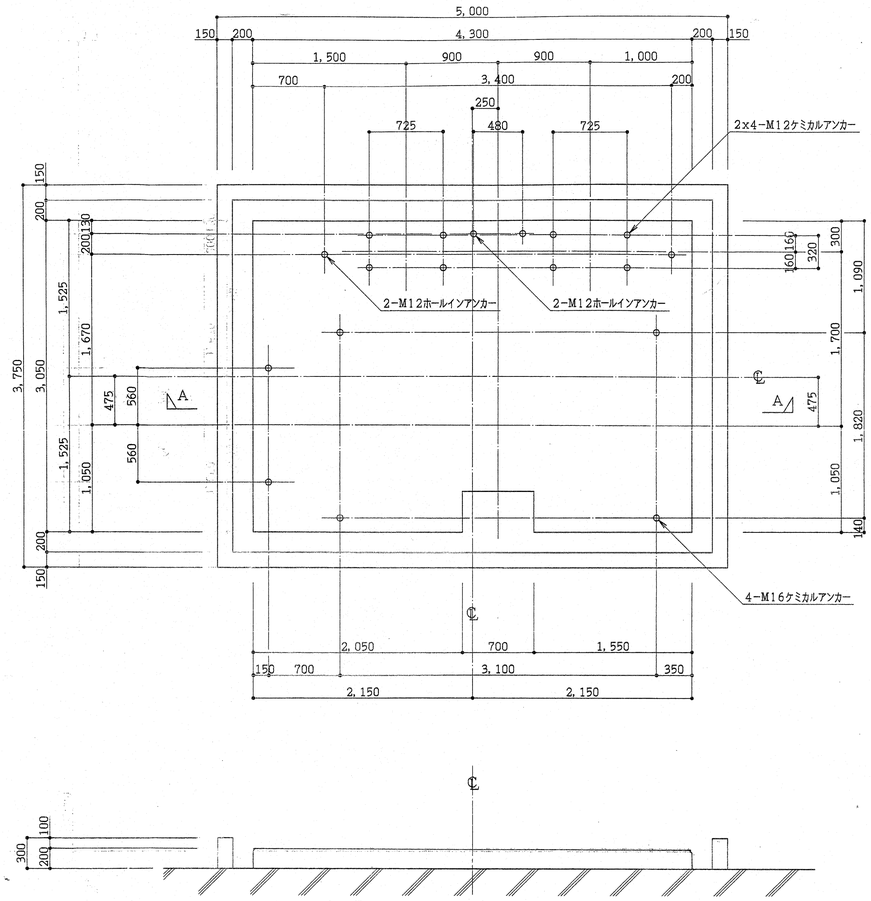
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.8.1	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	. .	図面名称	処理棟 1階機械基礎詳細図(1)
照査	. .		
設計	岡本 '97.8.1		
製図	清水 '97.7.22		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/30
NKK 日本鋼管株式会社		第角法	標準図番号
		図面番号	WR121390 △A
		出図年月日	整理番号

A1

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				



28	活性炭脱臭装置	1基
42	脱臭設備制御盤	1基



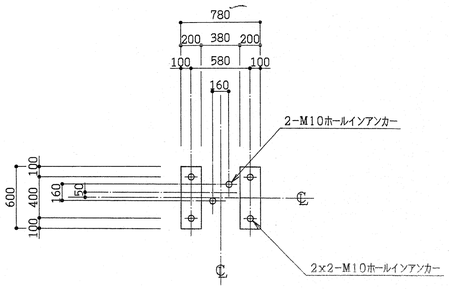
A－A

34	湿式脱臭装置	1基

注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Aとする。

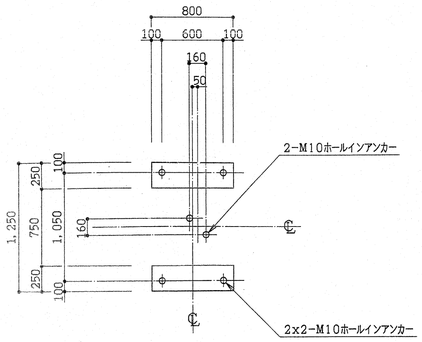
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.8.1	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査		・・	
照査		・・	図面名称 処理棟 1階機械基礎詳細図（2）
設計	阪本	'97.8.1	
製図	清水	'97.7.22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121400 △A
			出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



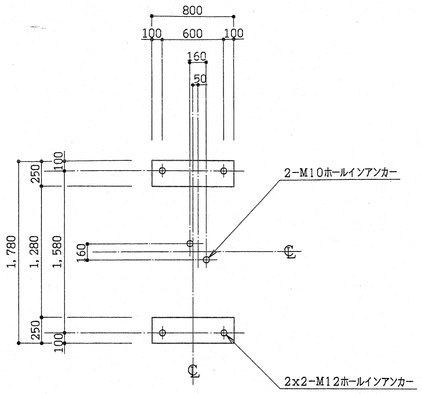
35 高濃度ミストセパレーター 1台

(H=200)



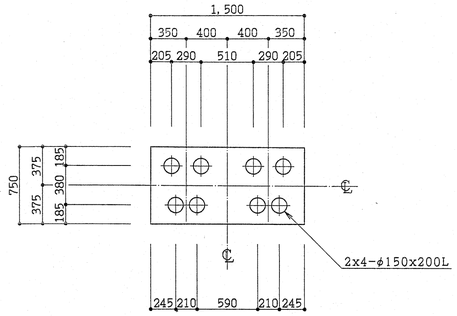
36 中濃度ミストセパレーター 1台

(H=200)



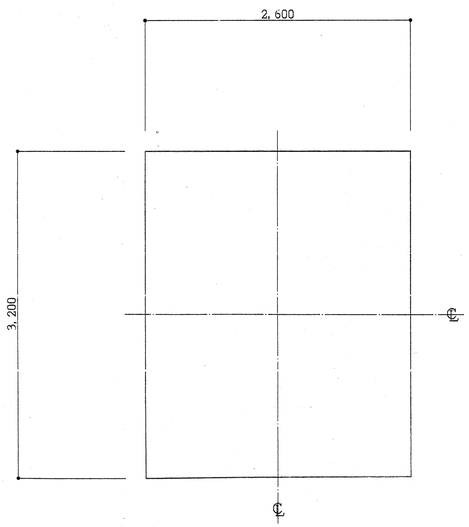
37 低濃度ミストセパレーター 1台

(H=200)



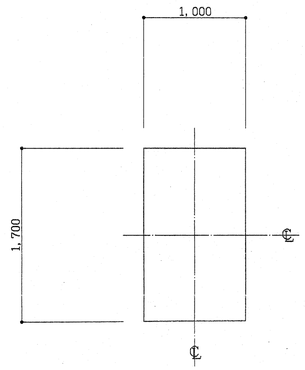
39 メタノール移送ポンプ 2台

(H=200)



40 生物膜，凝集膜操作制御シーケンサー盤 1基

(H=100)



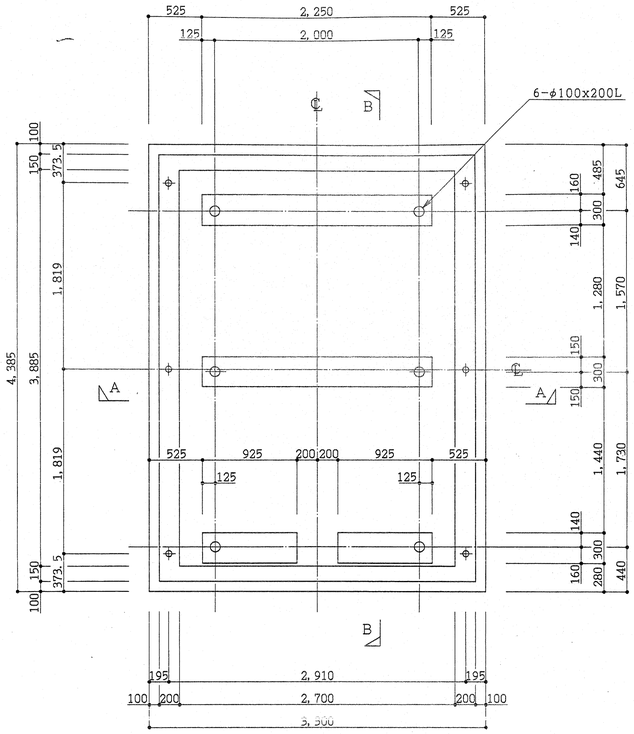
41 ブロワー盤 1基

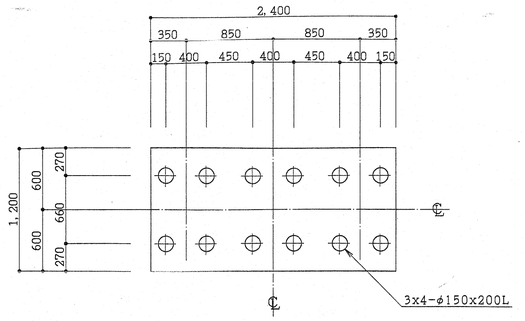
(H=100)

注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Aとする。

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.8.1	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査		・・	
照査		・・	図面名称 処理棟 1階機械基礎詳細図（3）
設計	岡本	'97.8.1	
製図	清水	'97.7.22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121410 △A
			出図年月日 整理番号

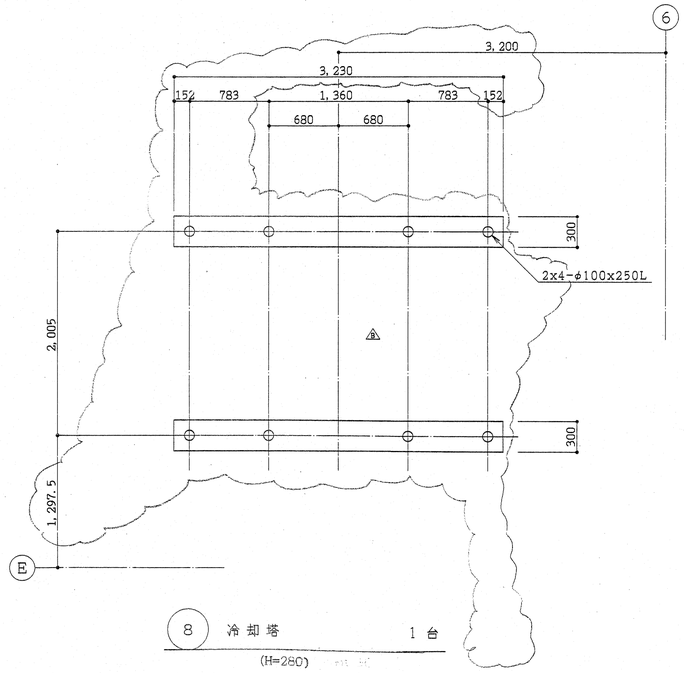
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	プラント変更による改定	村田 星加 瀬尾 岡本 清水	'97.9.8





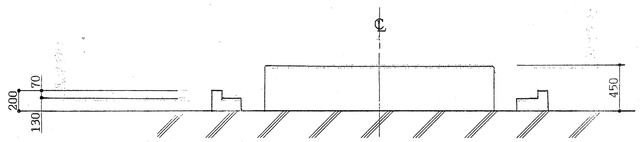
9 冷却水ポンプ 3台

(H=250)

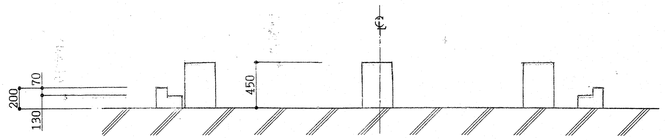


8 冷却塔 1台

(H=280)



A－A



B－B

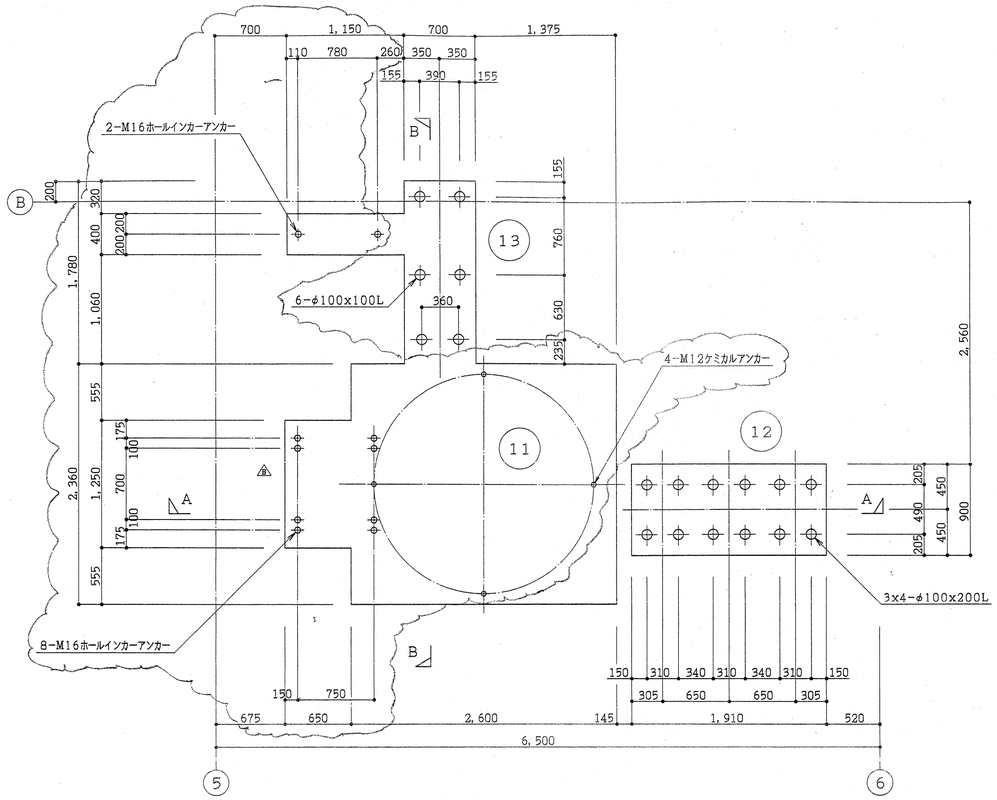
10 汚泥脱水機 2基

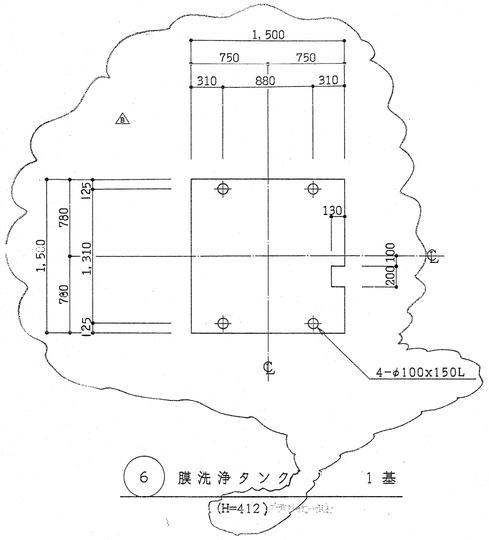
注）特記なき限り機械基礎はＴＹＰＥ－Ａとする。

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97 7 23	工事名称 「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97 7 23	
照査	瀬尾	'97 7 23	図面名称 処理棟 ２階機械基礎詳細図（1）
設計	岡本	'97 7 23	
製図	清水	'97 7 22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR121420 B
			出図年月日 整理番号

MES NP2016A A

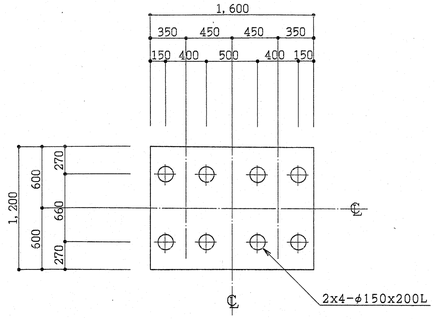
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	プラント変更による改定	村田 星加 岡本	'97. 7. 8





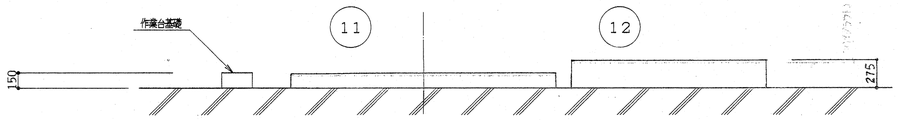
⑥ 膜洗浄タンク 1基

(H=412)

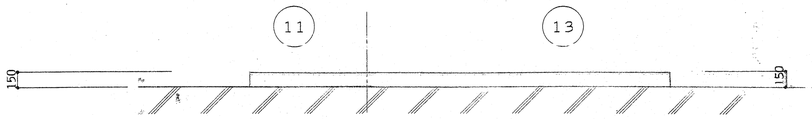


⑦ 膜洗浄ポンプ 2台

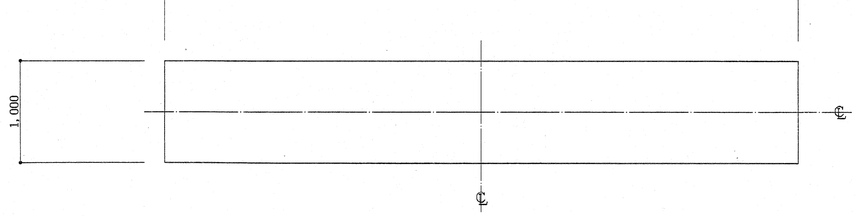
(H=300)



A－A



B－B



⑮ 受入操作制御盤，脱水機操作制御盤 1基

(H=100)

⑪ 脱水用ポリマー溶解装置 1基

⑫ 脱水用ポリマー注入ポンプ 3台

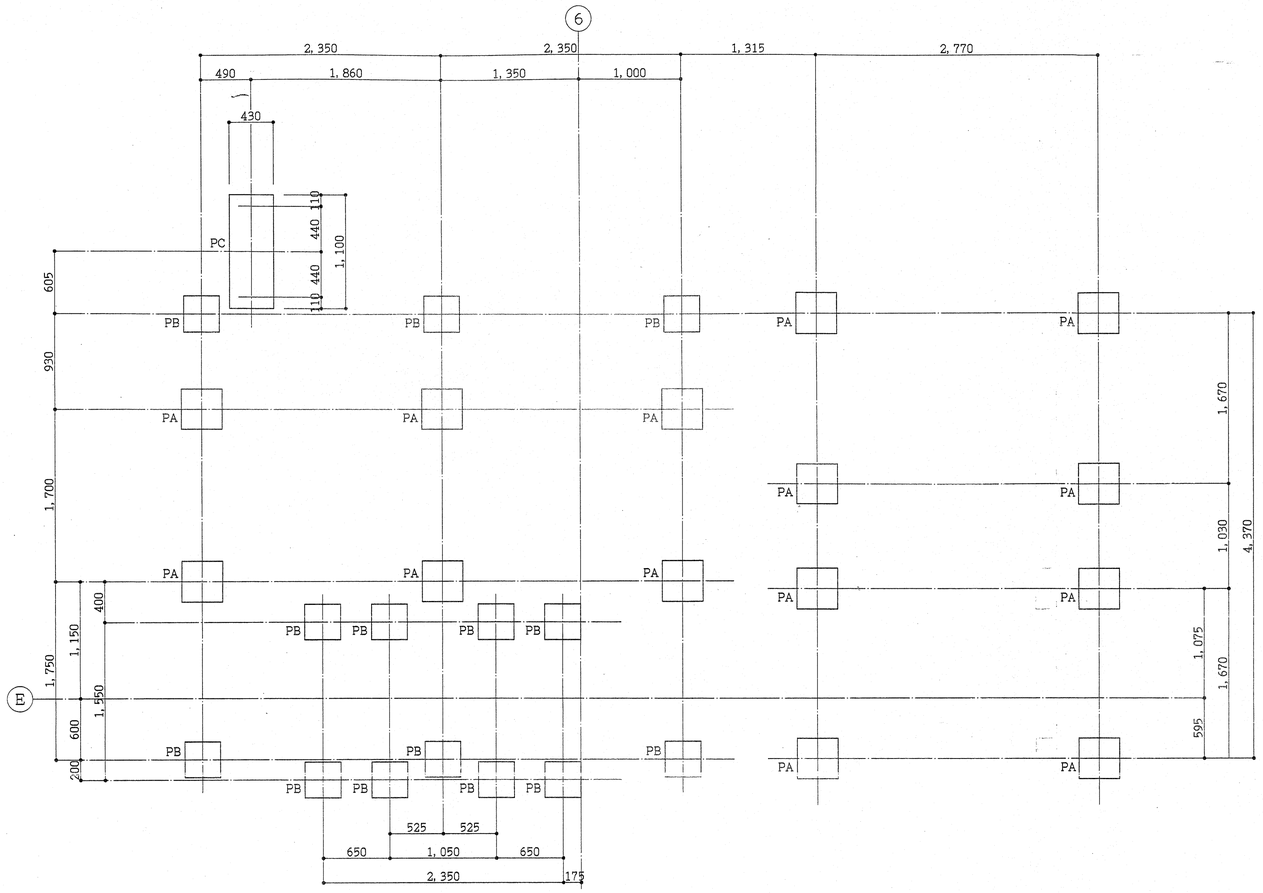
⑬ アルカリ洗浄装置 1基

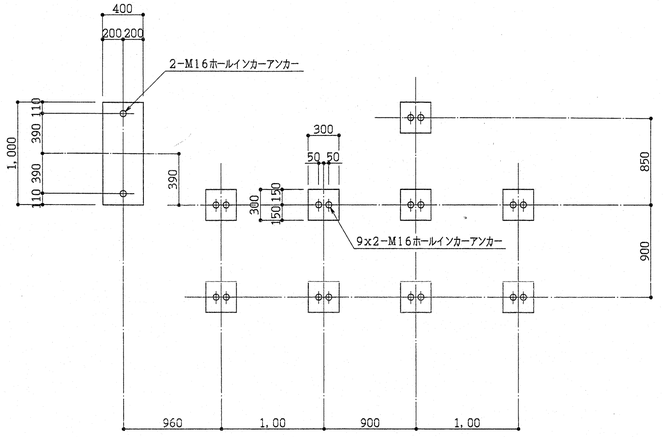
注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Aとする。

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 7. 23	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 7. 23	
照査	瀬尾	'97. 7. 23	図面名称 処理棟 2階機械基礎詳細図（2）
設計	岡本	'97. 7. 23	
製図	清水	'97. 7. 22	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/30 第 角法 標準図番号
			図面番号 WR121430 B
			出図年月日 整理番号

NES NP3014A-A

図面来歴			
記号	記事	審名	年月日
△			





14 凝集混和槽架台基礎 1基

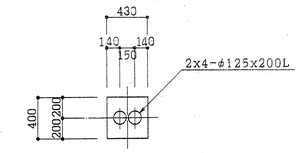
(H=150)

1 夾雑物除去装置

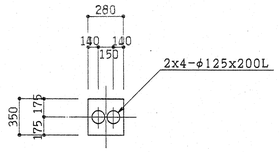
2 夾雑物脱水装置

3 砂分離機

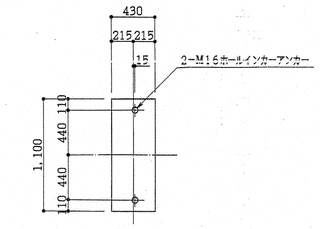
架台基礎 1基



TYPE "PA"



TYPE "PB"



TYPE "PC"

注）特記なき限り機械基礎はTYPE－Eとする。

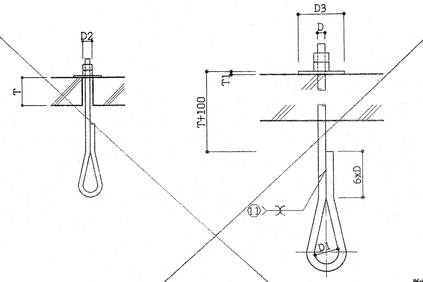
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.9.25	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	冨加 '97.9.25		
照査	瀬尾 '97.9.22	図面名称	処理棟 2階機械基礎詳細図（3）
設計	岡本 '97.9.8		
製図	清水 '97.9.3		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/30
NKK 日本鋼管株式会社		第 角法	標準図番号
		図面番号	WR121440 △
		出図年月日	整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	図面番号変更	松浦	'97.9.8

吊りフック・ホイストレール基準図

吊りフック

床吊りタイプ (TYPE A)

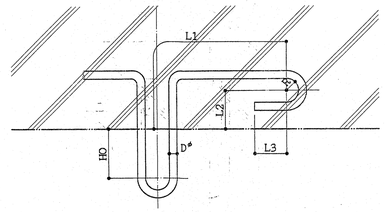


単位mm

記号 / つり荷重 (TON)	D$^{\phi}$	D1$^{\phi}$	D2$^{\phi}$	D3$^{\phi}$	T1
1.0	19	60	50	150	16
2.0	25	80	50	150	16
3.0	32	100	50	150	22
5.0	36	110	50	150	22

丸鋼によるツリピース

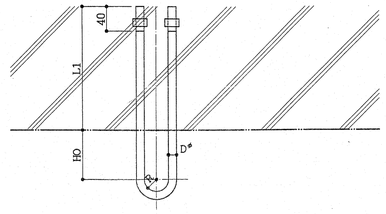
スラブ、壁に付く場合 (TYPE R1)



単位mm

記号 / つり荷重 (TON)	D$^{\phi}$	R	HO	L1	L2	L3
0.5	9	13.5	60	225	52.5	36
1.0	13	19.5	80	325	62.5	52
2.0	19	28.5	100	475	77.5	76

柱、梁に付く場合 (TYPE R2)

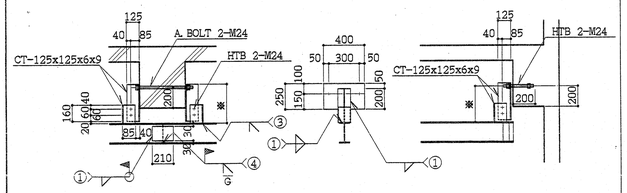


単位mm

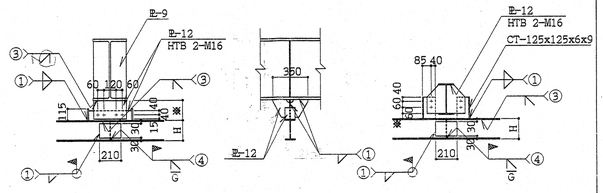
記号 / つり荷重 (TON)	D$^{\phi}$	R	HO	L1
0.5	9	13.5	60	200
1.0	13	19.5	80	200
2.0	19	28.5	100	200
3.0	22	33.0	120	250
5.0	28	42.0	160	250
8.0	32	48.0	200	300
10.0	36	54.0	240	300

ホイストレール (※寸法は現場で決定のこと)

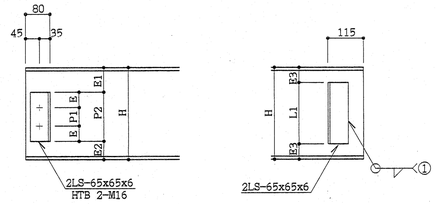
RC梁取合い部



S梁取合い部



ストッパー部



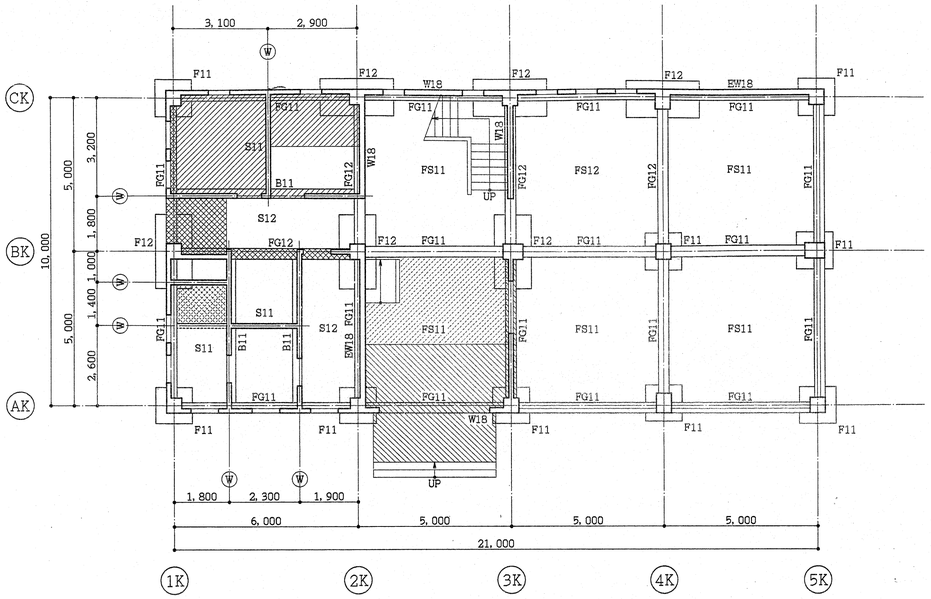
H	E	P1	P2	E1	E2
200	40	60	140	30	30
250	40	60	140	50	60
300	50	60	160	80	60
350	60	60	180	90	80
400	60	60	180	140	80
450	70	60	200	150	100

H	L1	E3
200	140	30
250	160	45
300	200	50
350	250	50
400	290	55
450	340	55

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	木村 '97.8.1	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	. .	図面名称	処理棟 吊りフック・ホイストレール基準図
照査	. .		
設計	岡本 '97.8.1		
製図	秀水 '97.8.5		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 ——	第角法 / 標準図番号
		図面番号	WR121450 A
		出図年月日	整理番号

NES NF8N4A A

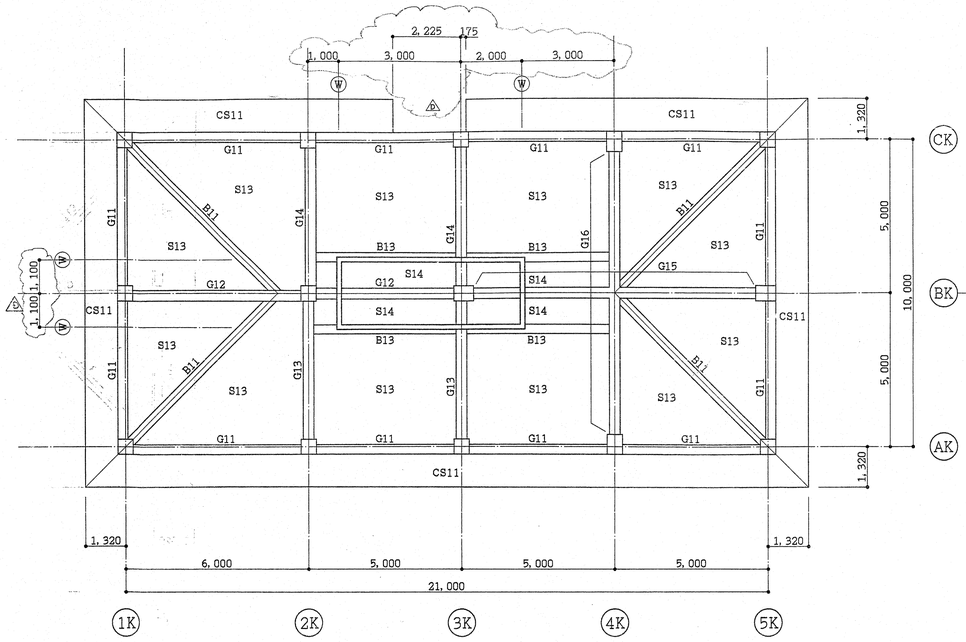
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△A	渡り廊下による変更，他	林田	一	辰佳 '97. 8. 1
△A	杭工法変更	上野	石川	鶴飛 岡本 '98. 7. 3



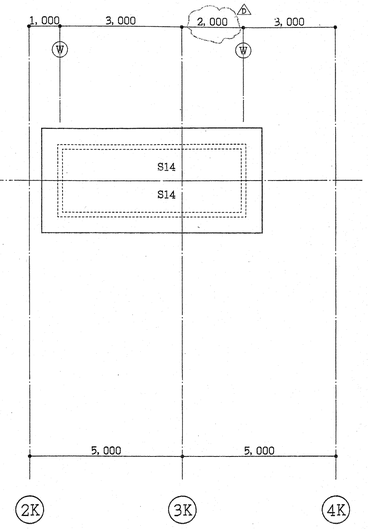
基礎伏図　S=1/100

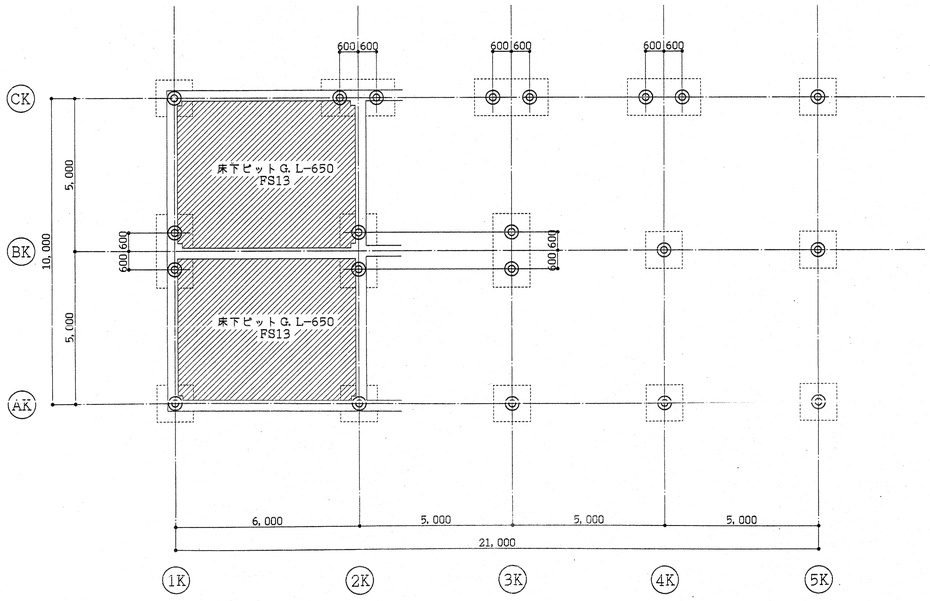
註)．床，梁天端
(1)．▨ 印床梁天端は 1FL−100 とする
(2)．▨ 印床　天端は 1FL−150 とする
(3)．▨ 印　梁天端は 1FL−200 とする
(4)．▨ 印床梁天端は 1FL−250 とする
(5)．▨ 印床　天端は 1FL−450 とする

特記なき限り下記とする。
1)．壁符号は W15 とする
2)．1FL = G. L +500



R 階梁伏図　S=1/100





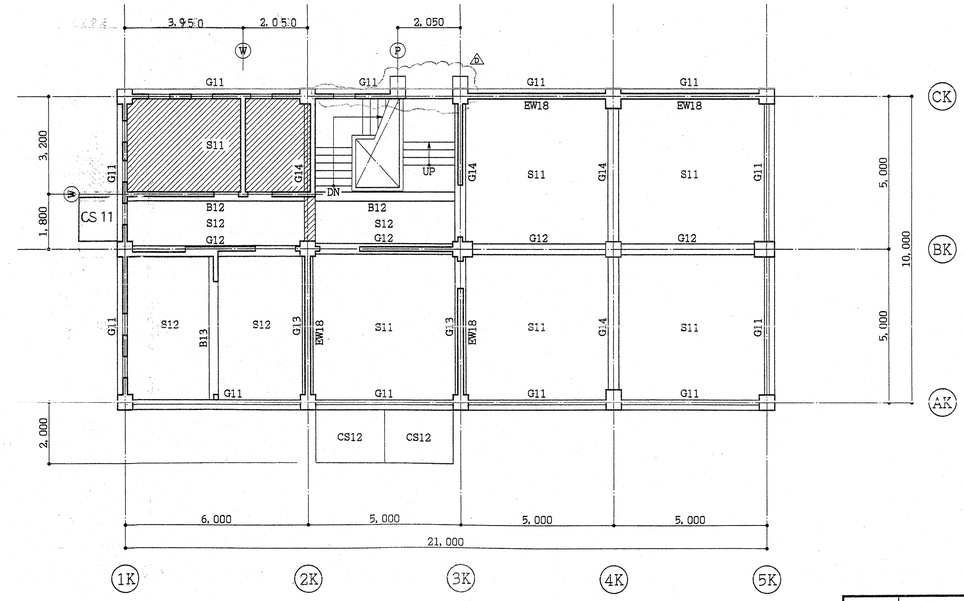
杭伏図　S=1/100

杭仕様

工法　セメントミルク工法

記号	杭種	杭耐力 △E	杭頭高さ	杭先端深さ	杭セット数	備考
◎	PHC杭 450φ C種 上杭	> 76. 0t	GL − 900	GL − 18, 000	21	上杭 L=8. 0m

（下杭は A種とする）



2 階梁伏図　S=1/100

註)．床，梁天端
(1)．▨ 印床梁天端は 2FL−100 とする

特記なき限り下記とする。
1)．壁符号は W15 とする
2)．2FL = G. L+4, 500

工事番号	EL−6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 2. 26	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 2. 26	
照査	瀬尾	'97. 2. 26	図面名称 管理棟 杭・基礎・梁伏図
設計	岡本	'97. 2. 26	
製図	清水	'97. 2. 10	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度 1/100　第 角法　標準図番号

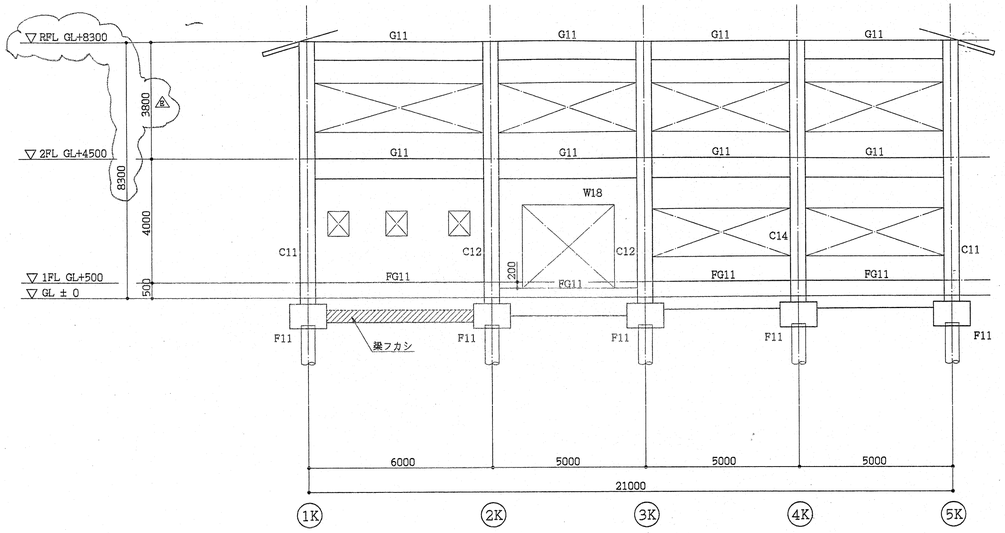
図面番号 WR−122010 △E

出図年月日　整理番号

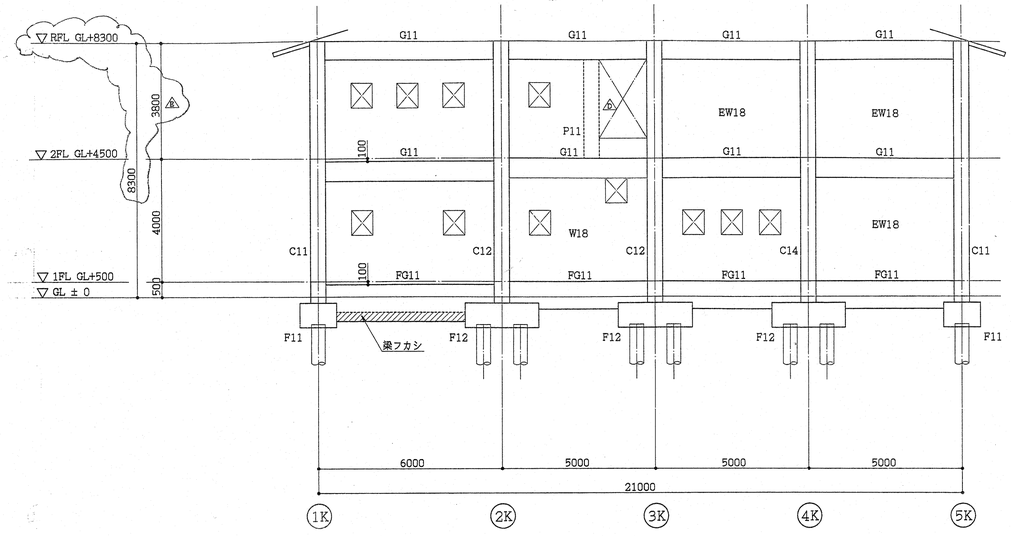
A1

NES NF9016A △

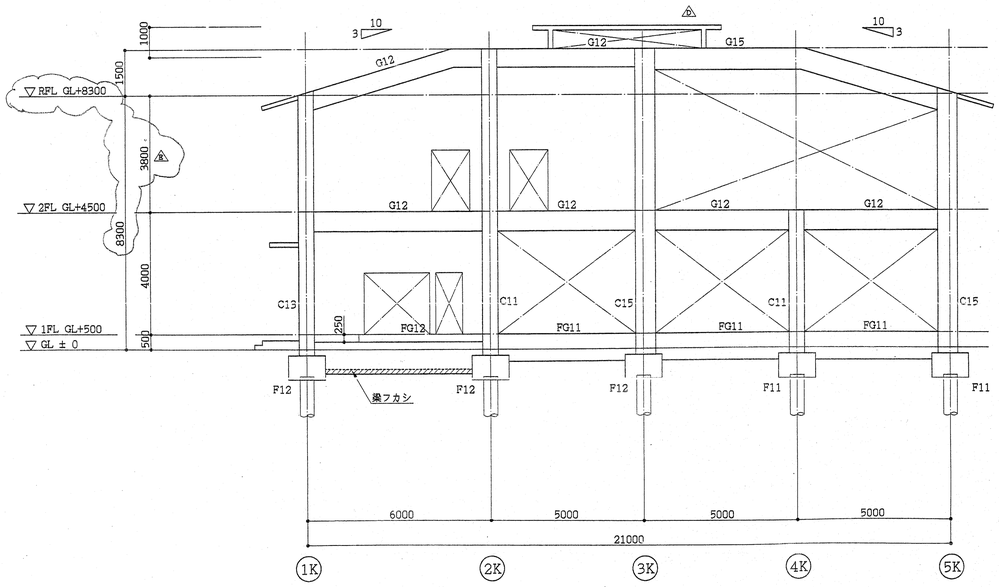
図面来歴				
記号	記事	階名		年月日
⚠	渡り廊下による変更，他	村田	星加 瀬尾	岡本 '97. 7.23
⚠	2階 階高訂正	村田	星加 瀬尾	岡本 '97. 9. 8



AK 通り軸組図 S:1/100



CK 通り軸組図 S:1/100



BK 通り軸組図 S:1/100

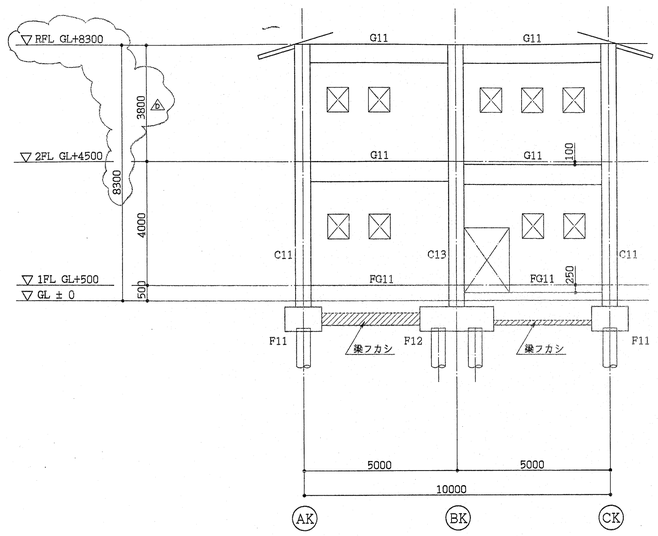
特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15とする

工事番号	EL-6851		御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 2.26	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 2.26		
照査	瀬尾	'97. 2.26	図面名称	管理棟 軸組図 (1)
設計	岡本	'97. 2.26		
製図	清水	'97. 2.10		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度	1/100
			第角法	
			標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号	WR122020 ⚠E
			出図年月日	
			整理番号	

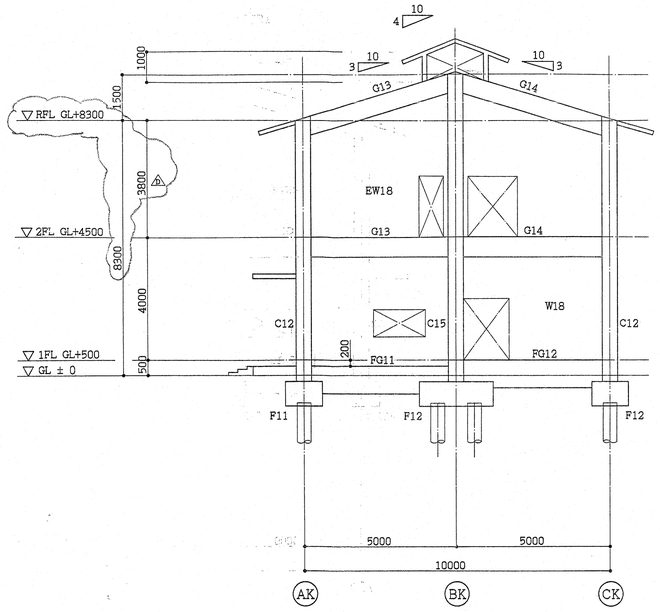
NES NF7016A ⚠

126

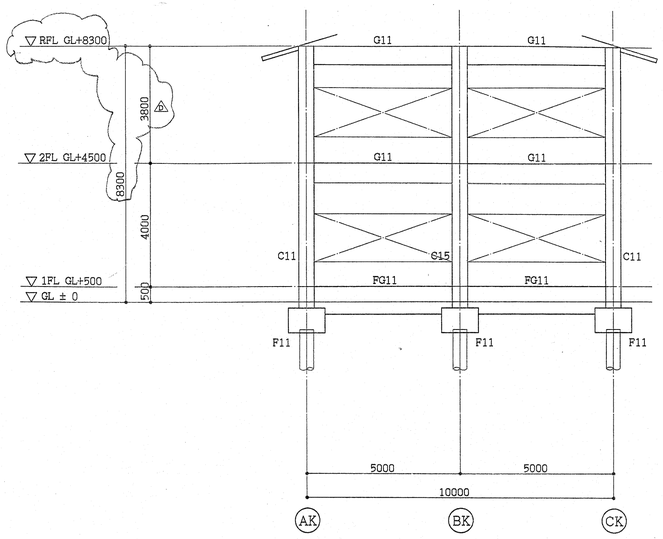
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1	2階 階高訂正	作図 [illegible] 照査	'97.9.8



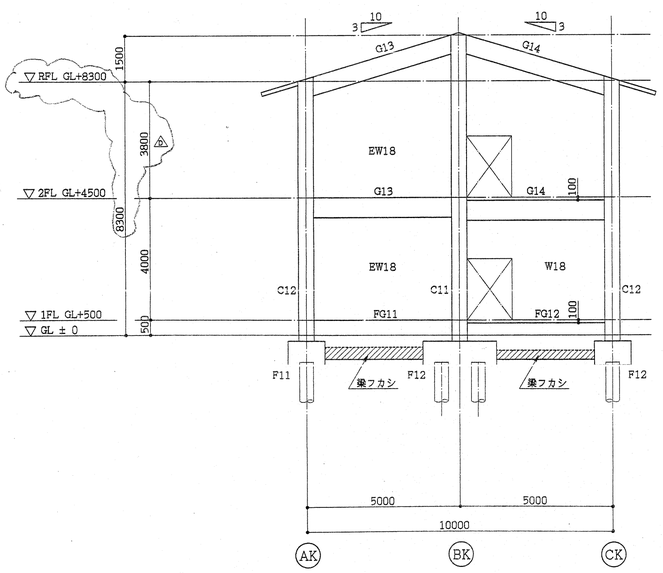
1K 通り軸組図 S:1/100



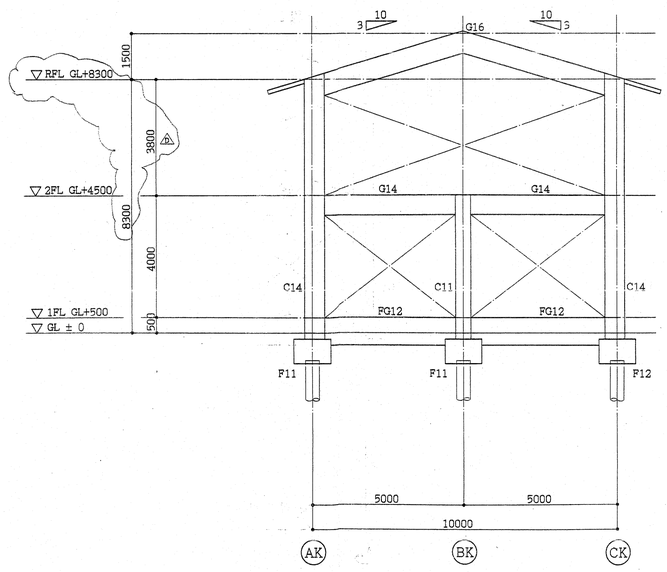
3K 通り軸組図 S:1/100



5K 通り軸組図 S:1/100



2K 通り軸組図 S:1/100



4K 通り軸組図 S:1/100

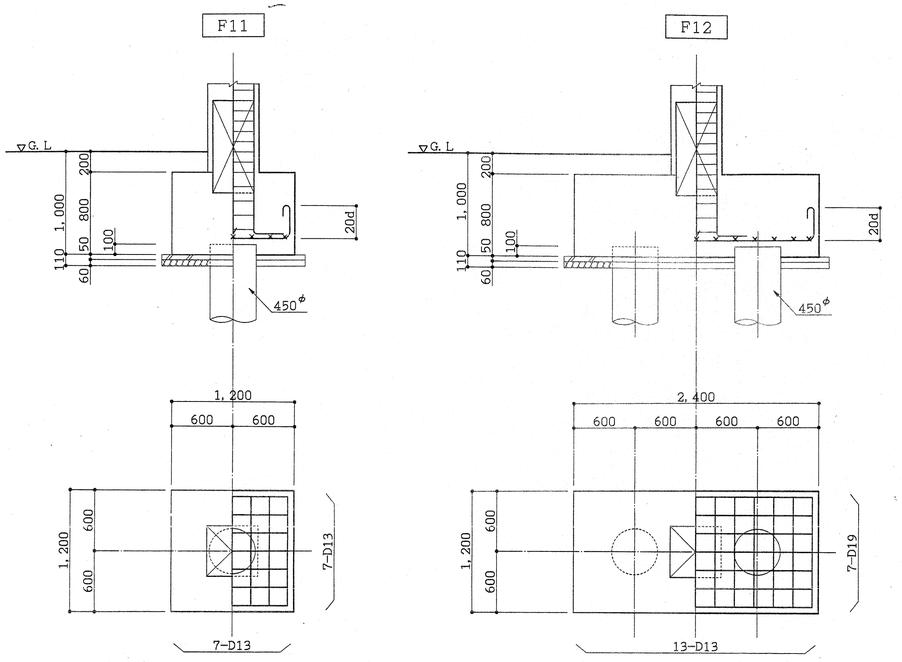
特記なき限り下記とする。
1). 壁符号は W15とする

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97. 2.26	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'97. 2.26	
照査	瀬尾	'97. 2.26	図面名称 管理棟 軸組図 (2)
設計	岡本	'97. 2.26	
製図	清水	'97. 2.10	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第一角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR122030 △D
			出図年月日 整理番号

NES NP2016A △

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△A	柱リスト 次葉へ移動	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 7.23
△B	2階階高訂正による RG16 配筋変更	村田	星加 瀬尾 岡本	'97. 9. 8

基礎リスト S=1/30



大梁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り 巾止筋 は D10 @1,000とする

符号	G11		G12		G13		G14		G15		G16	
位置	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央	端部	中央
R階												
寸法	325 x 600		350 x 600		350 x 600		350 x 600		350 x 700		350 x 700	
上端筋	3-D22	2-D22	4-D22	4-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	4-D22	2-D22	△A 4-D22	2-D22
下端筋	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	2-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22
スターラップ	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200	
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10		2-D10	
2階												
寸法	325 x 650		350 x 650		350 x 650		350 x 650					
上端筋	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	3-D22				
下端筋	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22	2-D22	3-D22				
スターラップ	□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200		□-D10 @200					
腹筋	2-D10		2-D10		2-D10		2-D10					

地中梁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り 巾止筋 は D10 @1,000とする

符号	FG11		FG12			
位置	端部	中央	外端	中央	内端	
断面	▽G.L 350 60 50					
b x D	400 x 900		400 x 900			
上端筋	4-D25	4-D25	6-D25	4-D25	4-D25	
下端筋	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	4-D25	
スターラップ	□-D13 @200		□-D13 @200			
腹筋	2-D13		2-D13			

△A

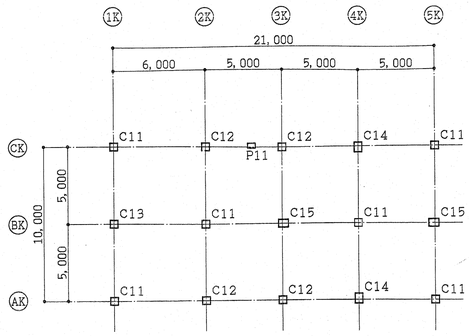
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.12.13	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	96.12.13	
照査	瀬尾	96.12.13	図面名称 管理棟 基礎，地中梁，大梁リスト
設計	岡本	96.12.13	
製図	清水	96.12.12	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/30	第 角法 標準図番号
		図面番号	WR122110 △C
		出図年月日	整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

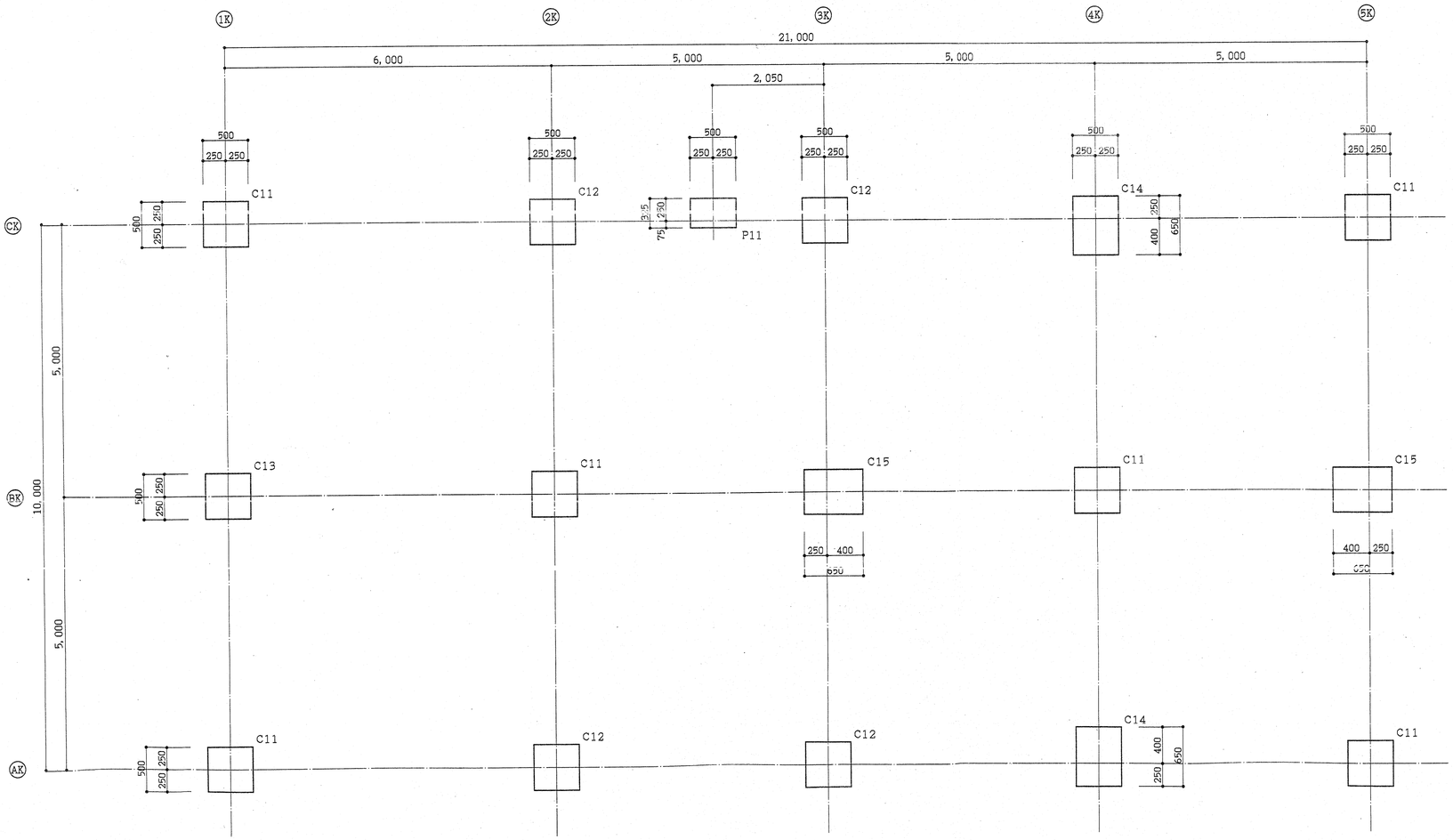
柱リスト S=1/30

註) 1. 柱梁交差部フープは 下階と同径 @150 ピッチとする

符号	C11	C12	C13	C14	C15	P11	
2階							
寸法	500 x 500	500 x 500	500 x 500	500 x 650	500 x 650	500 x 325	
主筋	8-D22	8-D22	8-D22	10-D22	10-D22	6-D22	
フープ	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @100	□-D10 @100	
1階							
寸法	500 x 500	500 x 500	500 x 500	500 x 650	500 x 650		
主筋	8-D22	10-D22	10-D22	10-D22	10-D22		
フープ	□-D10 @100	□-D13 @100	□-D13 @100	□-D10 @100	□-D10 @100		



キープラン S=1/200



コンクリート柱心線図 S=1/50, 1/30

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.1.25	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾加 '97.2.25	図面名称	管理棟 柱リスト，柱心線図
照査	渡辺 '97.9.25		
設計	岡本 '97.9.25		
製図	清水 '97 9		
設計部署	シビルエンジニアリング部 土建築設計室	尺度	1/50, 1/30 ＊第 角法
NKK 日本鋼管株式会社		標準図番号	
		図面番号	WR122120 △A
		出図年月日	整理番号

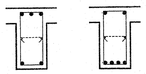
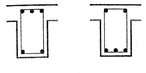
NES NF2706A △

(23)

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

小梁リスト S=1/30

註) 1. 特記なき限り 巾止筋 は D10 @1,000 とする

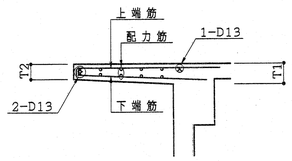
符号	B11		B12			B13			
位置	端部	中央	外端	中央	内端	端部	中央		
断面									
寸法	300 x 600		300 x 550			300 x 500			
上端筋	3-D19	2-D19	3-D19	2-D19	4-D19	3-D19	2-D19		
下端筋	2-D19	4-D19	2-D19	3-D19	3-D19	2-D19	3-D19		
スターラップ	□-D10 @200		□-D10 @200			□-D10 @200			
腹筋	2-D10		2-D10			2-D10			

床版リスト

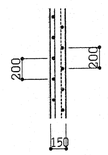
符号	版厚	位置	短辺方向 端部	短辺方向 中央	短辺方向 隅角部	長辺方向 端部	長辺方向 中央	長辺方向 隅角部	備考
S11	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S12	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S13	130	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
S14	130	上端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
		上端筋							
		下端筋							
FS11	150	上端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	
FS12	150	上端筋	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	D13 @ 200	ダブル配筋
		下端筋	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	D10D13 @ 200	
FS13	150		D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	D10 @ 200	シングルモチアミ

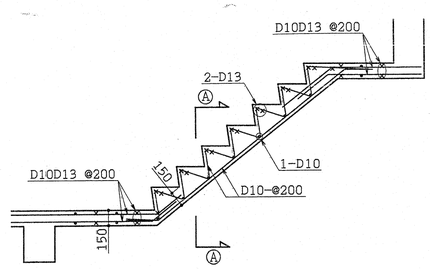
片持スラブリスト

符号	T1	T2	上端筋	下端筋	配力筋
CS11	150	150	D10D13 @200	D10 @200	D10 @200
CS12	180	180	D13 @200	D10 @200	D10 @200



壁リスト S=1/30

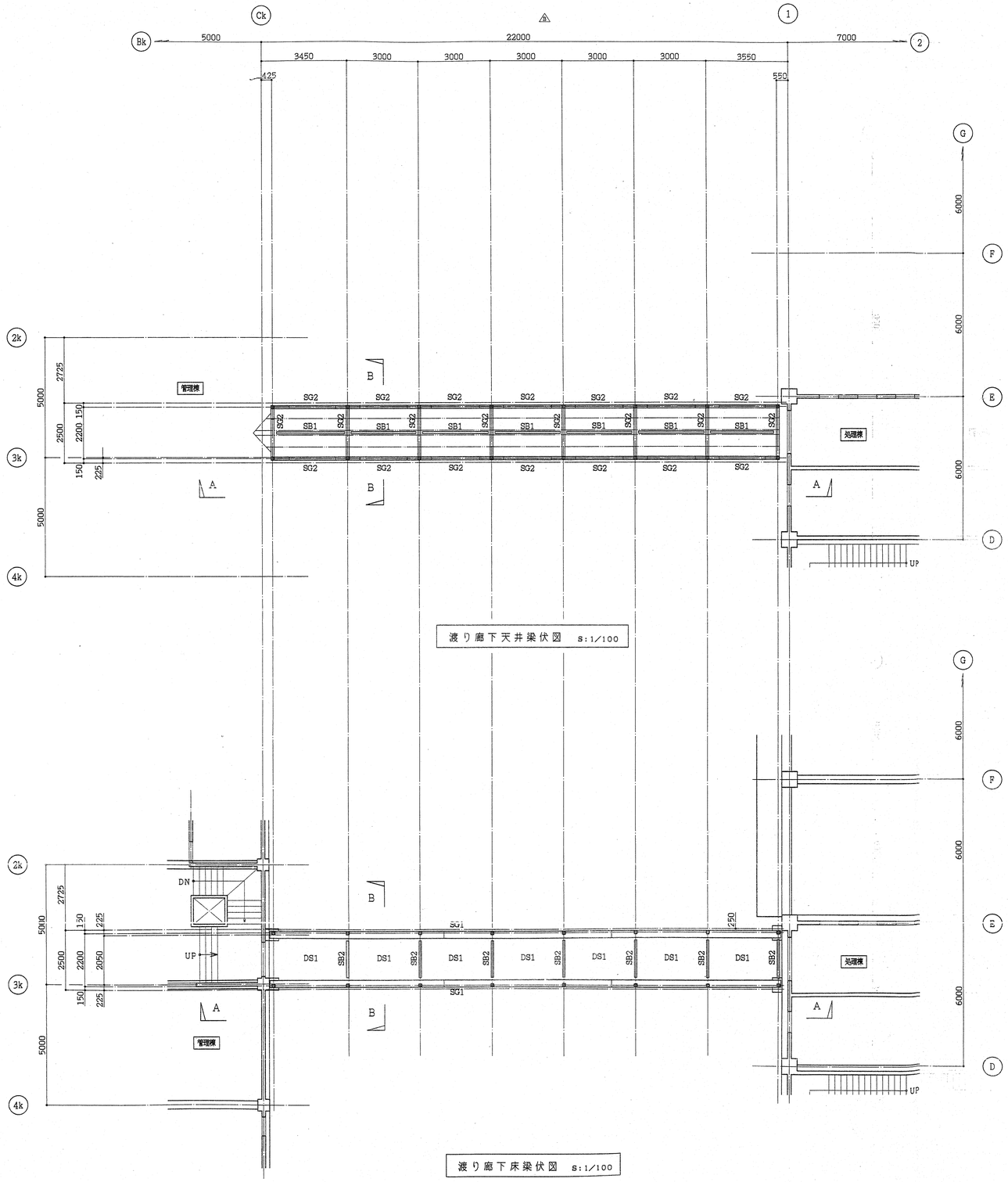
符号	W12, (W10)	W15	W18, EW18		CB10
立断面					
縦筋	D10 @200 シングル	D10 @200 チドリ	D10 @200 ダブル		D10 @400
横筋	D10 @200 シングル	D10 @200 チドリ	D10 @200 ダブル		D10 @400
開口補強筋 縦筋	1 - D13	2 - D13	4 - D13		1 - D13
開口補強筋 横筋	1 - D13	2 - D13	4 - D13		1 - D13
開口補強筋 斜筋	1 - D13	2 - D13	2 - D13		——



階段配筋詳細図 S=1/30

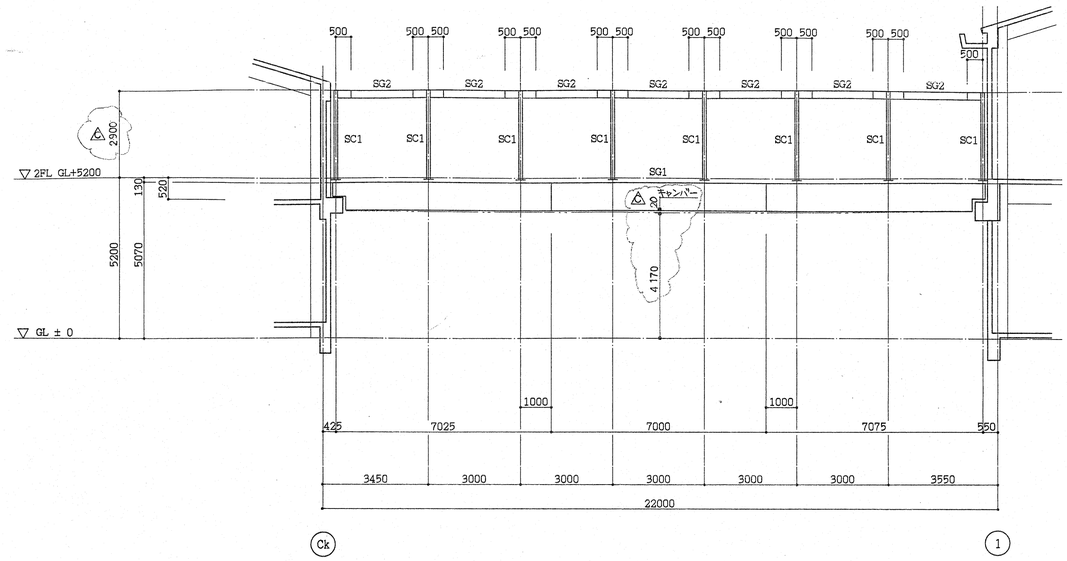
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.12.13	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	渡辺	〃	
照査	瀬良	96.12.13	図面名称 管理棟 小梁，床，壁リスト
設計	岡本	96.12.13	
製図	清水	96.12.13	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/30 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR122130 A
			出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△A	給スパン及び柱割付けの変更，他	村田	'97. 8. 1
△B	屋根高さ変更，キャンバー付与，	村田 星加 瀬尾	'97. 9. 8

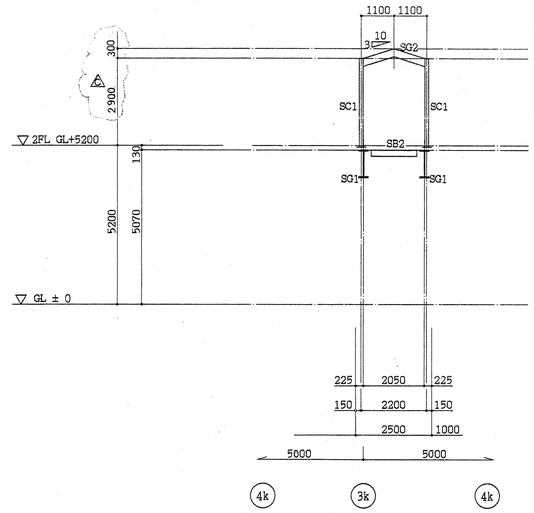


渡り廊下天井梁伏図　S:1/100

渡り廊下床梁伏図　S:1/100



A－A断面図　S:1/100



B－B断面図　S:1/100

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'96. 12. 13	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'96. 12. 13	
照査	瀬尾	'96. 12. 13	図面名称 渡り廊下 梁伏図，軸組図
設計	岡本	'96. 12. 13	
製図	清水	'96. 12. 13	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR122310	△C	
出図年月日		整理番号	

NES NF2001GA △

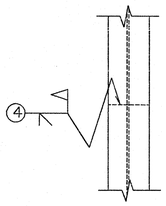
125

S造柱・大梁継手リスト

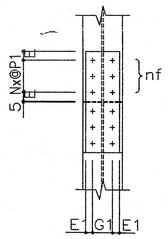
図面来歴			
	記事	署名	年月日
A	SG1 部材変更, SG1削除.	村田	96.12.1

フランジ

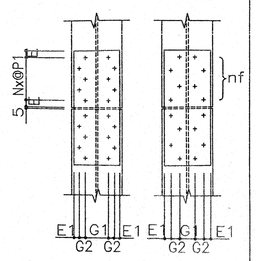
タイプ A



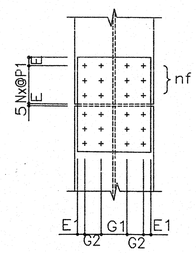
タイプ B



タイプ C

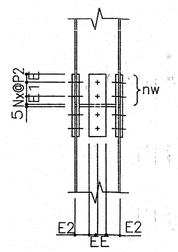


タイプ D

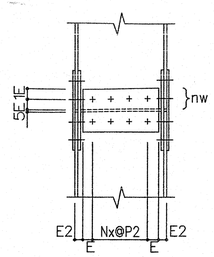


ウェブ

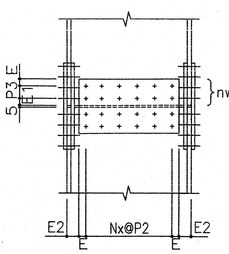
タイプ A



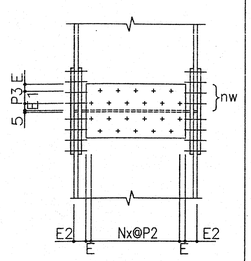
タイプ B



タイプ C



タイプ D



符号	部材	フランジ タイプ	H.T.B.(nf)	外側スプライス PL	内側スプライス PL	G1	G2	E	E1	Nx@P1	ウェブ(柱) タイプ	H.T.B.(nw)	スプライス PL	E	E1	E2	Nx@P2	P3	ウェブ(梁) タイプ	H.T.B.(nw)	スプライス PL	E	E1	E2	Nx@P2	備考
	H-150x 75x 5x 7	A	——	——	——	——			——	——	A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	35	1x60		A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	35	1x 60	
	H-175x 90x 5x 8	A	——	——	——	——			——	——	A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	47.5	1x60		A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	47.5	1x 60	
	H-198x 99x4.5x 7	B	4-M16	PL-12x100x285	——	56		40	22	1x60	B	2-M16	2PL- 6x140x165	40	40	29	1x60		B	2-M16	2PL- 6x140x165	40	40	29	1x 60	
	H-200x100x5.5x 8	B	4-M16	PL-12x100x285	——	56		40	22	1x60	C	4-M16	2PL- 6x140x165	40	40	30	1x60	60	B	2-M16	2PL- 6x140x165	40	40	30	1x 60	
SG2	H-248x124x 5x 8	B	4-M16	PL- 9x120x285	2PL- 9x 45x285	75		40	22.5	1x60	C	4-M16	2PL- 6x170x285	40	40	39	1x90	60	B	2-M16	2PL- 6x170x165	40	40	39	1x 90	
	H-250x125x 6x 9	B	4-M16	PL- 9x120x285	2PL- 9x 45x285	75		40	22.5	1x60	C	4-M16	2PL- 6x170x285	40	40	40	1x90	60	B	2-M16	2PL- 6x170x165	40	40	40	1x 90	
	H-298x149x5.5x 8	B	4-M20	PL- 9x145x285	2PL- 9x 55x285	90		40	27.5	1x60	B	3-M20	2PL- 6x200x165	40	40	49	2x60		B	2-M20	2PL- 6x200x165	40	40	49	1x 120	
	H-300x150x6.5x 9	B	4-M20	PL- 9x145x285	2PL- 9x 55x285	90		40	27.5	1x60	B	3-M20	2PL- 6x200x165	40	40	50	2x60		B	2-M20	2PL- 6x200x165	40	40	50	1x 120	
	H-346x174x 6x 9	B	4-M20	PL- 9x170x285	2PL- 9x 65x285	105		40	32.5	1x60	B	3-M20	2PL- 6x260x165	40	40	43	2x90		B	2-M20	2PL- 6x200x165	40	40	73	1x 120	
	H-350x175x 7x 11	B	4-M20	PL- 9x170x285	2PL- 9x 65x285	105		40	32.5	1x60	B	4-M20	2PL- 6x260x165	40	40	45	3x60		B	2-M20	2PL- 9x200x165	40	40	75	1x 120	
	H-396x199x 7x 11	B	6-M22	PL- 9x195x405	2PL- 9x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	3-M22	2PL- 6x260x165	40	40	68	2x90		B	2-M22	2PL- 9x200x165	40	40	98	1x 120	
	H-400x200x 8x 13	B	6-M22	PL- 9x195x405	2PL-12x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	4-M22	2PL- 9x260x165	40	40	70	3x60		B	3-M22	2PL- 9x260x165	40	40	70	2x 90	
	H-446x199x 8x 12	B	6-M22	PL- 9x195x405	2PL-12x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	4-M22	2PL- 6x350x165	40	40	48	3x90		B	3-M22	2PL- 6x320x165	40	40	63	2x120	
	H-450x200x 9x 14	B	6-M22	PL-12x195x405	2PL-12x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	5-M22	2PL- 9x320x165	40	40	65	4x60		B	3-M22	2PL- 9x320x165	40	40	65	2x120	
	H-496x199x 9x 14	B	6-M22	PL-12x195x405	2PL-12x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	5-M22	2PL- 9x320x165	40	40	88	4x60		B	3-M22	2PL- 9x320x165	40	40	88	2x120	
	H-500x200x 10x 16	B	6-M22	PL-12x195x405	2PL-16x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	5-M22	2PL- 9x320x165	40	40	90	4x60		B	4-M22	2PL- 9x350x165	40	40	75	3x 90	
	H-596x199x 10x 15	B	6-M22	PL-12x195x405	2PL-16x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	6-M22	2PL- 9x380x165	40	40	108	5x60		B	4-M22	2PL- 9x440x165	40	40	78	3x120	
	H-600x200x 11x 17	B	6-M22	PL-16x195x405	2PL-16x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	7-M22	2PL- 9x440x165	40	40	80	6x60		B	5-M22	2PL- 9x440x165	40	40	80	4x 90	
	H-148x100x 6x 9	B	4-M16	PL-12x100x285	——	56		40	22	1x60	A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	34	1x60		A	2-M16	2PL- 6x 80x285	40	40	34	1x 60	
	H-194x150x 6x 9	B	4-M16	PL- 9x145x285	2PL- 9x 55x285	90		40	27.5	1x60	C	4-M16	2PL- 6x140x345	40	70	27	——		B	2-M16	2PL- 6x140x225	40	70	27	——	
	H-244x175x 7x 11	B	4-M20	PL- 9x170x285	2PL- 9x 65x285	105		40	32.5	1x60	C	4-M20	2PL- 9x140x285	40	40	52	1x60	60	B	2-M20	2PL- 9x140x165	40	40	52	1x 60	
	H-294x200x 8x 12	B	6-M22	PL- 9x195x405	2PL- 9x 70x405	120		40	37.5	2x60	B	3-M22	2PL- 9x200x165	40	40	47	2x60		B	2-M22	2PL- 6x200x165	40	40	47	1x 120	
	H-340x250x 9x 14	B	6-M22	PL- 9x245x405	2PL-12x 95x405	150		40	47.5	2x60	C	4-M22	2PL-12x170x285	40	40	85	1x90	60	B	2-M22	2PL- 9x200x165	40	40	70	1x 120	
	H-390x300x 10x 16	C	6-M22	PL-12x295x345	2PL-12x105x345	150	40	40	32.5	2x45	B	4-M22	2PL- 9x260x165	40	40	65	3x60		B	3-M22	2PL- 9x260x165	40	40	65	2x 90	
	H-440x300x 11x 18	C	8-M22	PL-12x295x435	2PL-16x105x435	150	40	40	32.5	3x45	B	5-M22	2PL- 9x320x165	40	40	60	4x60		B	3-M22	2PL- 9x320x165	40	40	60	2x120	
	H-482x300x 11x 15	C	8-M22	PL-12x295x435	2PL-12x105x435	150	40	40	32.5	3x45	B	6-M22	2PL- 9x380x165	40	40	51	5x60		B	4-M22	2PL- 9x350x165	40	40	66	3x 90	
	H-488x300x 11x 18	C	8-M22	PL-12x295x435	2PL-16x105x435	150	40	40	32.5	3x45	B	6-M22	2PL- 9x380x165	40	40	54	5x60		B	4-M22	2PL- 9x350x165	40	40	69	3x 90	
	H-582x300x 12x 17	C	8-M22	PL-16x295x435	2PL-16x105x435	150	40	40	32.5	3x45	B	7-M22	2PL- 9x440x165	40	40	71	6x60		B	5-M22	2PL- 9x440x165	40	40	71	4x 90	
	H-588x300x 12x 20	C	8-M22	PL-16x295x435	2PL-16x105x435	150	40	40	32.5	3x45	B	7-M22	2PL- 9x440x165	40	40	74	6x60		B	5-M22	2PL- 9x440x165	40	40	74	4x 90	
	H-692x300x 13x 20	C	10-M22	PL-16x295x525	2PL-16x105x525	150	40	40	32.5	4x45	B	9-M22	2PL- 9x560x165	40	40	66	8x60		B	6-M22	2PL- 9x530x165	40	40	81	5x 90	
	H-700x300x 13x 24	C	10-M22	PL-19x295x525	2PL-19x105x525	150	40	40	32.5	4x45	B	9-M22	2PL- 9x560x165	40	40	70	8x60		B	6-M22	2PL- 9x530x165	40	40	85	5x 90	
	H-800x300x 14x 26	C	12-M22	PL-22x295x615	2PL-22x105x615	150	40	40	32.5	5x45	D	11-M22	2PL-12x530x255	40	40	135	10x45	45	B	7-M22	2PL- 9x620x165	40	40	90	6x 90	
1 SG1 △B	H-900x300x 16x 28	C	12-M22	PL-22x295x615	2PL-25x105x615	150	40	40	32.5	5x45	D	13-M22	2PL-12x620x255	40	40	140	12x45	45	B	9-M22	2PL-16x560x165	40	40	170	8x 60	
	H-100x100x 6x 8	B	4-M16	PL-12x100x285	——	56		40	22	1x60	A	2-M16	2PL- 9x 50x345	25	70	25	——		A	2-M16	2PL- 9x 50x345	25	70	25	——	
	H-125x125x6.5x 9	B	4-M16	PL- 9x120x285	2PL- 9x 45x285	75		40	22.5	1x60	A	2-M16	2PL- 6x 80x345	40	70	22.5	——		A	2-M16	2PL- 6x 80x345	40	70	22.5	——	
	H-150x150x 7x 10	B	4-M20	PL- 9x145x285	2PL- 9x 55x285	90		40	27.5	1x60	A	2-M20	2PL- 9x 80x345	40	70	35	——		A	2-M20	2PL- 9x 80x345	40	70	35	——	
	H-175x175x7.5x 11	B	4-M20	PL- 9x170x285	2PL- 9x 65x285	105		40	32.5	1x60	A	2-M20	2PL- 9x 80x285	40	40	47.5	1x60		A	2-M20	2PL- 9x 80x285	40	40	47.5	1x 60	
	H-200x200x 8x 12	B	4-M22	PL- 9x195x285	2PL- 9x 70x285	120		40	37.5	1x60	B	2-M22	2PL- 6x140x225	40	70	30	——		B	2-M22	2PL- 6x140x225	40	70	30	——	
	H-250x250x 9x 14	B	6-M22	PL- 9x245x405	2PL- 9x 95x405	150		40	47.5	2x60	C	4-M22	2PL- 9x140x285	40	40	55	1x60	60	B	2-M22	2PL- 9x140x165	40	40	55	1x 60	
	H-300x300x 10x 15	C	6-M22	PL-12x295x345	2PL-12x105x345	150	40	40	32.5	2x45	B	3-M22	2PL- 9x200x165	40	40	50	2x60		B	2-M22	2PL- 9x200x165	40	40	50	1x 120	
	H-300x305x 15x 15	C	6-M22	PL-12x295x345	2PL-12x105x345	150	40	40	32.5	2x45	D	5-M22	2PL-12x200x285	40	40	50	4x30	60	B	3-M22	2PL-12x200x165	40	40	50	2x 60	
	H-350x350x 12x 19	D	8-M22	PL-12x345x285	2PL-16x135x285	140	70	40	32.5	1x60	D	5-M22	2PL-12x200x285	40	40	75	4x30	60	B	3-M22	2PL-12x200x165	40	40	75	2x 60	
	H-400x400x 13x 21	D	12-M22	PL-12x395x405	2PL-16x165x405	140	90	40	37.5	2x60	D	5-M22	2PL-12x260x255	40	40	70	4x45	45	B	4-M22	2PL-12x200x165	40	40	70	3x 60	

注)

1. 使用材料
   鉄骨 : SS400
   H.T.B. : F10T μ=0.45
2. 部材のボルト孔径
   M16 : ボルト径 +1.0 mm
   M20,M22 : ボルト径 +1.5 mm
3. 継手部板厚に 1 mm 以上差がある場合フィラー PL で調整を行うこと。
4. 鉄骨詳細図に本リストと異なる継手の指示がある場合はそれに従う。
5. 本表は、ボルト穴を除く(スカラップのあるものはスカラップ穴も除く)有効断面に対して全強設計であり、第一種保有耐力接合となっている。
6. 設計者は本表使用に当っては必ず NES. HD(WB)-M33001RAA53「継手標準マニュアル1, 梁・柱・剛接継手」の継手耐力を確認のこと。

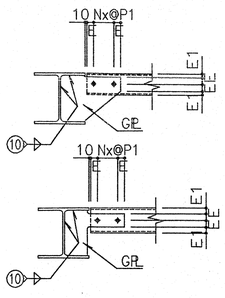
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 ・・	図面名称	鉄骨標準接合部 柱・大梁継手リスト (SS400)
照査	瀬尾 96.12.13		
設計	岡本 96.12.13		
製図	青山 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-122320 B

1:6

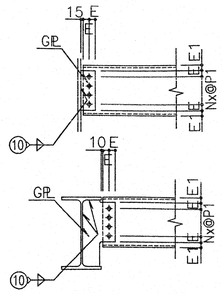
小梁・耐風梁・間柱継手リスト

図面来歴			
記事	署名	年月日	

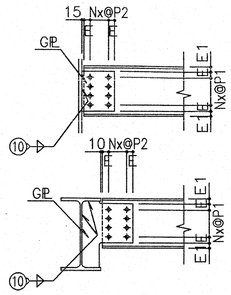
タイプA



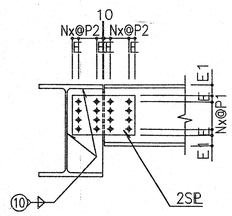
タイプB



タイプC



タイプD



符号	部材	小梁，耐風梁 タイプ	H.T.B.	GR OR SR	E	E1	Nx@P1	Nx@P2	間柱 タイプ	H.T.B.	GR OR SR	E	E1	Nx@P1	Nx@P2	備考
	H-150x 75x 5 x 7	A	2-M16	GR- 9x100	50	25	1x 60		A	3-M20	GR- 9x100	50	25	2x 60		
SB1	H-175x 90x 5 x 8	B	2-M16	GR- 9x140	40	17.5	1x 60		C	4-M20	GR- 9x140	40	17.5	1x 60	1x 60	
	H-198x 99x 4.5x 7	B	2-M20	GR- 9x140	40	29	1x 60		C	4-M20	GR- 9x140	40	29	1x 60	1x 60	
SB2	H-200x100x 5.5x 8	B	2-M20	GR- 9x140	40	30	1x 60		C	4-M20	GR- 9x140	40	30	1x 60	1x 60	
	H-248x124x 5 x 8	B	2-M20	GR-12x140	40	54	1x 60		B	3-M20	GR-12x200	40	24	2x 60		
	H-250x125x 6 x 9	B	3-M20	GR- 9x200	40	25	2x 60		B	3-M22	GR- 9x200	40	25	2x 60		
	H-298x149x 5.5x 8	B	3-M20	GR- 9x200	40	49	2x 60		C	6-M20	GR- 9x200	40	49	2x 60	1x 60	
	H-300x150x 6.5x 9	B	3-M22	GR-12x200	40	50	2x 60		C	6-M20	GR-12x200	40	50	2x 60	1x 60	
	H-346x174x 6 x 9	B	3-M22	GR-12x200	40	73	2x 60		B	4-M22	GR-12x260	40	43	3x 60		
	H-350x175x 7 x11	B	3-M22	GR-16x200	40	75	2x 60		C	6-M22	GR-16x200	40	75	2x 60	1x 60	
	H-396x199x 7 x11	B	4-M22	GR-12x260	40	68	3x 60		C	8-M20	GR-12x260	40	68	3x 60	1x 60	
	H-400x200x 8 x13	B	4-M22	GR-16x260	40	70	3x 60		C	8-M20	GR-16x260	40	70	3x 60	1x 60	
	H-446x199x 8 x12	B	5-M22	GR-16x320	40	63	4x 60		C	8-M22	GR-16x260	40	93	3x 60	1x 60	
	H-450x200x 9 x14	B	5-M22	GR-16x320	40	65	4x 60		C	10-M20	GR-16x320	40	65	4x 60	1x 60	
	H-496x199x 9 x14	B	6-M22	GR-16x380	40	58	5x 60		C	10-M22	GR-16x320	40	88	4x 60	1x 60	
	H-500x200x10 x16	B	6-M22	GR-16x380	40	60	5x 60		C	12-M20	GR-16x380	40	60	5x 60	1x 60	
	H-596x199x10 x15	B	7-M22	GR-16x440	40	78	6x 60		C	14-M22	GR-16x440	40	78	6x 60	1x 60	
	H-600x200x11 x17	B	8-M22	GR-16x500	40	50	7x 60		C	16-M20	GR-16x500	40	50	7x 60	1x 60	
	H-148x100x 6 x 9	A	2-M20	GR-12x100	50	24	1x 60		A	2-M22	GR-12x100	50	24	1x 60		
	H-194x150x 6 x 9	B	2-M20	GR- 9x140	40	27	1x 60		C	4-M20	GR-12x140	40	27	1x 60	1x 60	
	H-244x175x 7 x11	B	2-M22	GR-12x170	40	37	1x 90		C	4-M22	GR-16x170	40	37	1x 90	1x 60	
	H-294x200x 8 x12	B	3-M22	GR-16x200	40	47	2x 60		C	6-M20	GR-16x200	40	47	2x 60	1x 60	
	H-340x250x 9 x14	B	4-M22	GR-12x260	40	40	3x 60		C	8-M20	GR-12x260	40	40	3x 60	1x 60	
	H-390x300x10 x16	B	5-M22	GR-16x300	40	45	4x 55		C	10-M20	GR-16x300	40	45	4x 55	1x 60	
	H-440x300x11 x18	B	6-M22	GR-16x355	40	42.5	5x 55		C	12-M20	GR-16x355	40	42.5	5x 55	1x 60	
	H-482x300x11 x15	B	6-M22	GR-16x380	40	51	5x 60		C	12-M22	GR-16x380	40	51	5x 60	1x 60	
	H-488x300x11 x18	B	6-M22	GR-16x380	40	54	5x 60		C	12-M22	GR-16x380	40	54	5x 60	1x 60	
	H-582x300x12 x17	C	10-M22	GR-19x440	40	71	4x 90	1x 60	C	14-M22	GR-19x440	40	71	6x 60	1x 60	
	H-588x300x12 x20	C	10-M22	GR-19x440	40	74	4x 90	1x 60	C	14-M22	GR-19x440	40	74	6x 60	1x 60	
	H-692x300x13 x20	C	12-M22	GR-19x530	40	81	5x 90	1x 60	C	18-M22	GR-19x560	40	66	8x 60	1x 60	
	H-700x300x13 x24	C	12-M22	GR-19x530	40	85	5x 90	1x 60	C	18-M22	GR-19x560	40	70	8x 60	1x 60	
	H-800x300x14 x26	C	14-M22	GR-19x680	40	60	6x100	1x 60	C	22-M22	GR-19x680	40	60	10x 60	1x 60	
	H-900x300x16 x28	C	18-M22	GR-22x760	40	70	8x 85	1x 60	C	26-M22	GR-22x740	40	80	12x 55	1x 60	
	H-100x100x 6 x 8	A	2-M16	GR-12x 60	30	20	1x 60		A	3-M16	GR-12x 60	30	20	2x 60		
	H-125x125x 6.5x 9	A	2-M20	GR-12x 80	40	22.5	1x 60		A	2-M20	GR-12x 80	40	22.5	1x 60		
	H-150x150x 7 x10	A	2-M20	GR-12x100	50	25	1x 60		A	3-M20	GR-12x100	50	25	2x 60		
	H-175x175x 7.5x11	A	2-M22	GR-16x100	50	37.5	1x 60		A	3-M22	GR-16x100	50	37.5	2x 60		
	H-200x200x 8 x12	B	2-M22	GR-12x140	40	30	1x 60		C	4-M20	GR-12x140	40	30	1x 60	1x 60	
	H-250x250x 9 x14	B	3-M22	GR-19x190	40	30	2x 55		C	6-M20	GR-19x190	40	30	2x 55	1x 60	
	H-300x300x10 x15	C	4-M22	GR-19x180	40	60	1x100	1x 60	C	6-M22	GR-19x200	40	50	2x 60	1x 60	
	H-300x305x15 x15	C	6-M22	GR-22x220	40	40	2x 70	1x 60	C	9-M22	GR-22x220	40	40	2x 70	2x 60	
	H-350x350x12 x19	C	6-M22	GR-22x220	40	65	2x 70	1x 60	C	9-M22	GR-22x220	40	65	2x 70	2x 60	
	H-400x400x13 x21	C	8-M22	GR-22x260	40	70	3x 60	1x 60	C	10-M22	GR-22x300	40	50	4x 55	1x 60	
	C- 75x 40x 5 x 7	A	2-M16	GR- 6x 60	30	7.5	1x 60		A	2-M16	GR- 6x 60	30	7.5	1x 60		
	C-100x 50x 5 x 7.5	A	2-M16	GR- 6x 90	45	5	1x 60		A	2-M16	GR- 6x 90	45	5	1x 60		
	C-125x 65x 6 x 8	A	2-M20	GR- 9x 90	45	17.5	1x 60		A	2-M20	GR- 9x90	45	17.5	1x 60		
	C-150x 75x 6.5x10	B	2-M16	GR- 9x140	40	5	1x 60		B	2-M22	GR- 9x140	40	5	1x 60		
	C-150x 75x 9 x12.5	B	2-M22	GR- 9x140	40	5	1x 60		B	2-M22	GR- 9x140	40	5	1x 60		
	C-180x 75x 7 x10.5	B	2-M22	GR- 9x150	40	15	1x 70		C	4-M20	GR- 9x140	40	20	1x 60	1x 60	
	C-200x 80x 7.5x11	B	2-M22	GR- 9x170	40	15	1x 90		C	4-M20	GR- 9x170	40	15	1x 90	1x 60	
	C-200x 90x 8 x13.5	B	2-M22	GR- 9x170	40	15	1x 90		C	4-M20	GR- 9x170	40	15	1x 90	1x 60	
	C-250x 90x 9 x13	B	3-M22	GR- 9x240	40	5	2x 80		C	6-M20	GR- 9x240	40	5	2x 80	1x 60	
	C-250x 90x11 x14.5	B	3-M22	GR-12x220	40	15	2x 70		C	6-M20	GR-12x240	40	5	2x 80	1x 60	
	C-300x 90x 9 x13	B	3-M22	GR-12x260	40	20	2x 90		C	6-M22	GR-12x240	40	30	2x 80	1x 60	
	C-300x 90x 10x 15.5	B	4-M22	GR-12x260	40	20	3x 60		C	6-M22	GR-12x240	40	30	2x 80	1x 60	

注）

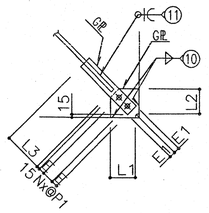
1. 使用材料
   鉄骨　：SS400
   H.T.B.　：F10T μ=0.45
2. 部材のボルト孔径
   M16　：ボルト径 +1.0mm
   M20,M22　：ボルト径 +1.5mm
3. 鉄骨詳細図に本リストと異なる継手の指示がある場合はそれに従う。
4. 本表は、ボルト穴を除く有効断面に対して全強設計であり、耐力は下記とする。
   小梁・耐風梁　：せん断耐力
   間柱　：引張耐力
5. 設計者は本表使用に当っては必ず NES. HD(WB)-M33002RAA53「継手標準マニュアル2，小梁・間柱・ブレース継手」の継手耐力を確認のこと。

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.12.13	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加 ・・	図面名称	鉄骨標準接合部 小梁・耐風梁・間柱継手リスト (SS400)
照査	瀬尾 96.12.13		
設計	岡本 96.12.13		
製図	青水 96.12.12		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-122330 A

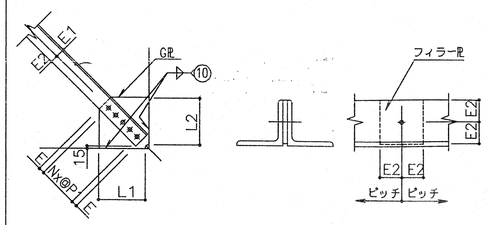
127

ブレース・継手リスト

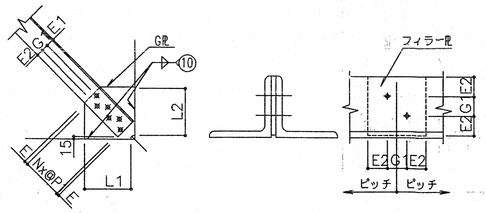
タイプA



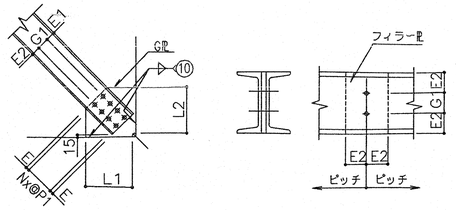
タイプB



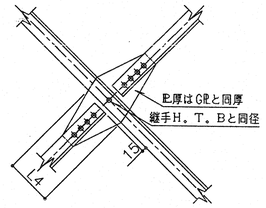
タイプC



タイプD



交叉部



符号	部材	ブレース タイプ	H.T.B.	GPL	E	E1	E2	G1	Nx@P1	L1+L2	L3	L4	フィラーPL	H.T.B.	ピッチ	備考
SH1	RB-13Ø	A	2-M16	PL- 6	40	25	—	—	1x60	150	60	—				
	RB-16Ø	A	2-M16	PL- 6	40	30	—	—	1x60	150	80	—				
	RB-19Ø	A	2-M16	PL- 6	40	35	—	—	1x60	150	100	—				
	RB-22Ø	A	2-M16	PL- 6	40	40	—	—	1x60	150	130	—				
	L- 65x 65x 6	B	5-M16	PL- 6	40	35	30	—	4x60	200	—	320				
	2L- 65x 65x 6	B	5-M16	PL- 6	40	35	30	—	4x60	500	—	320	PL- 6x 60x 60	1-M16	@ 600	
	L- 65x 65x 8	B	5-M16	PL- 6	40	35	30	—	4x60	250	—	320				
	2L- 65x 65x 8	B	5-M16	PL- 9	40	35	30	—	4x60	400	—	320	PL- 9x 60x 60	1-M16	@ 650	
	L- 75x 75x 6	B	4-M16	PL- 6	40	40	35	—	3x60	200	—	250				
	2L- 75x 75x 6	B	5-M16	PL- 9	40	40	35	—	4x60	400	—	320	PL- 9x 70x 70	1-M16	@ 700	
	L- 75x 75x 9	B	5-M16	PL- 6	40	40	35	—	4x60	300	—	320				
	2L- 75x 75x 9	B	5-M20	PL- 9	40	40	35	—	4x60	500	—	320	PL- 9x 70x 70	1-M20	@ 700	
	L- 75x 75x 12	B	5-M20	PL- 6	40	40	35	—	4x60	350	—	320				
	2L- 75x 75x 12	B	5-M20	PL-12	40	40	35	—	4x60	500	—	320	PL-12x 70x 70	1-M20	@ 750	
	L- 90x 90x 7	B	4-M20	PL- 6	40	50	40	—	3x60	300	—	250				
	2L- 90x 90x 7	B	5-M20	PL-12	40	50	40	—	4x60	400	—	250	PL-12x 80x 80	1-M20	@ 850	
	L- 90x 90x 10	B	5-M20	PL- 6	40	50	40	—	4x60	350	—	320				
	2L- 90x 90x 10	B	6-M20	PL-12	40	50	40	—	5x60	500	—	400	PL-12x 80x 80	1-M20	@ 850	
	L- 90x 90x 13	B	5-M20	PL- 9	40	50	40	—	4x60	300	—	320				
	2L- 90x 90x 13	B	6-M22	PL-16	40	50	40	—	5x60	600	—	400	PL-16x 80x 80	1-M22	@ 850	
	L-100x100x 7	B	4-M20	PL- 6	40	55	45	—	3x60	300	—	250				
	2L-100x100x 7	B	4-M22	PL-12	40	55	45	—	3x60	450	—	250	PL-12x 90x 90	1-M22	@ 950	
	L-100x100x 10	B	4-M22	PL- 9	40	55	45	—	3x60	300	—	250				
	2L-100x100x 10	B	5-M22	PL-12	40	55	45	—	4x60	600	—	320	PL-12x 90x 90	1-M22	@ 950	
	L-100x100x 13	B	5-M22	PL- 9	40	55	45	—	4x60	350	—	320				
	2L-100x100x 13	B	6-M22	PL-12	40	55	45	—	5x60	700	—	400	PL-12x 90x 90	1-M22	@ 950	
	L-130x130x 9	C	5-M22	PL- 9	40	50	40	40	4x50	350	—	380				
	2L-130x130x 9	C	7-M22	PL-12	40	50	40	40	6x50	650	—	440	PL-12x120x120	2-M22	@1250	
	L-130x130x 12	C	6-M22	PL-12	40	50	40	40	5x50	350	—	380				
	2L-130x130x 12	C	8-M22	PL-12	40	50	40	40	7x50	850	—	550	PL-12x120x120	2-M22	@1250	
	L-130x130x 15	C	7-M22	PL-12	40	50	40	40	6x50	400	—	440				
	2L-130x130x 15	C	10-M22	PL-12	40	50	40	40	9x50	1050	—	620	PL-12x120x120	2-M22	@1250	
	C-100x 50x 5x 7.5	B	5-M16	PL- 6	40	50	50	—	4x60	300	—	320				
	2C-100x 50x 5x 7.5	B	5-M20	PL- 9	40	50	50	—	4x60	500	—	320	PL- 9x100x100	1-M20	@ 700	
	C-125x 65x 6x 8	B	6-M16	PL- 6	40	62.5	62.5	—	5x60	400	—	400				
	2C-125x 65x 6x 8	B	6-M20	PL-12	40	62.5	62.5	—	5x60	550	—	400	PL-12x125x125	1-M20	@ 950	
	C-150x 75x 6.5x 10	C	8-M16	PL- 9	40	55	55	40	7x50	350		550				
	2C-150x 75x 6.5x 10	C	8-M20	PL-12	40	55	55	40	7x50	750		550	PL-12x150x150	2-M20	@1100	
	C-150x 75x 9x 12.5	C	6-M22	PL- 9	40	55	55	40	5x50	450		380				
	2C-150x 75x 9x 12.5	C	8-M22	PL-16	40	55	55	40	7x50	700		380	PL-16x150x150	2-M22	@1100	
	C-180x 75x 7x 10.5	D	8-M20	PL-12	40	55	55	70	3x60	300		320				
	2C-180x 75x 7x 10.5	D	8-M22	PL-22	40	55	55	70	3x60	500		320	PL-22x110x180	2-M22	@1100	
	C-200x 80x 7.5x 11	D	8-M20	PL-12	40	65	65	70	3x60	350		320				
	2C-200x 80x 7.5x 11	D	8-M22	PL-22	40	65	65	70	3x60	600		320	PL-22x130x200	2-M22	@1150	
	C-200x 90x 8x 13.5	D	10-M20	PL-12	40	65	65	70	4x60	400		400				
	2C-200x 90x 8x 13.5	D	10-M22	PL-22	40	65	65	70	4x60	700		400	PL-22x130x200	2-M22	@1300	

図面来歴			
記事	署名		年月日

注）

1. 使用材料
   鉄骨 : SS400
   H.T.B. : F10T μ=0.45
2. 部材のボルト孔径
   M16 : ボルト径 +1.0 mm
   M20,M22 : ボルト径 +1.5 mm
3. 鉄骨詳細図に本リストと異なる継手の指示がある場合はそれに従う。
4. 本表は、ブレース引張側の有効面積に対して全強設計である。
5. 本リストのブレース継手は、昭55建告第1791号第1の破断耐力を満足する。
6. 設計者は本表使用に当っては必ず NES. HD(WB)-M33002RAA53「継手標準マニュアル2，小梁・間柱・ブレース継手」の継手耐力を確認のこと。

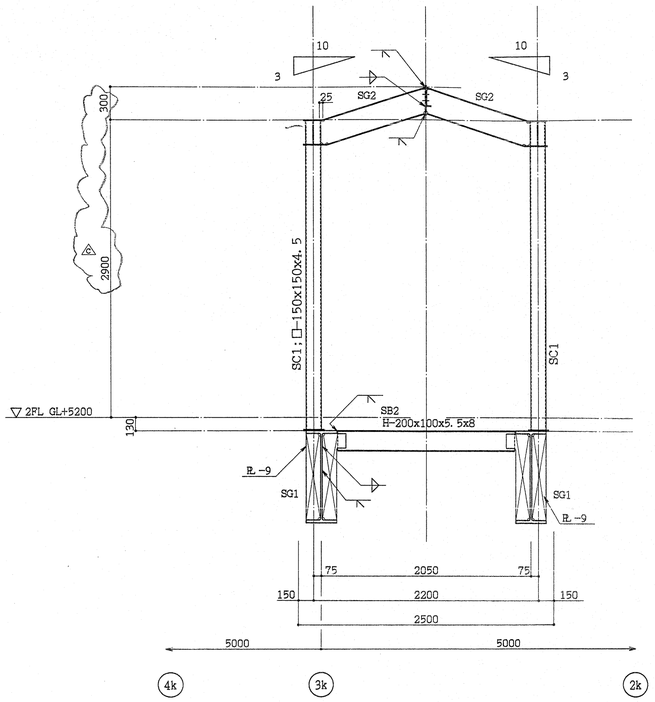
工事番号	EL-6851	
承認	村田	96.12.13
照査	渥加	・・
照査	瀬尾	96.12.13
設計	岡本	96.12.12
製図	浅水	96.12.12
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

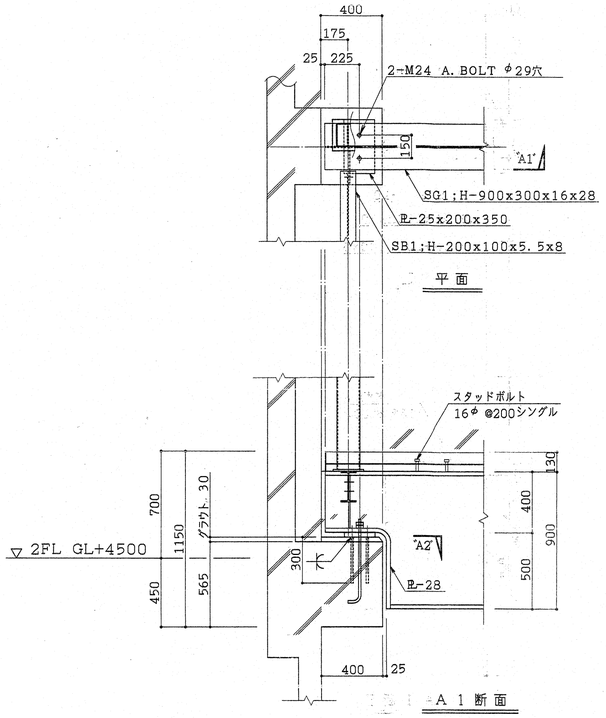
御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	鉄骨標準接合部 ブレース継手リスト (SS400)
尺度	—
第角法	
標準図番号	—
図面番号	WR-122340
出図年月日	
整理番号	

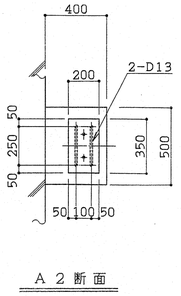
A1

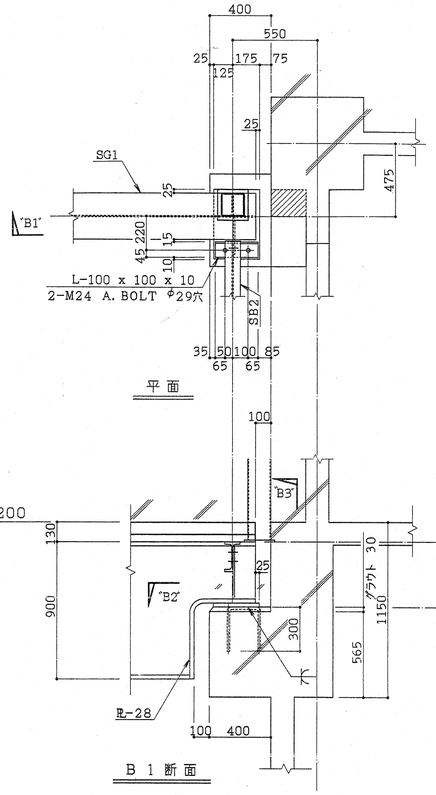
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	総スパン及び柱割付けの変更，他	村田 星加 瀬尾 岡本	'97. 7.23
⚠	屋根高さ変更	[illegible]	'97. 9. 8

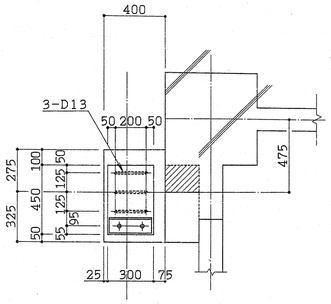


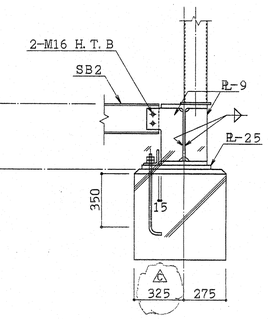
鉄骨詳細図　S:1/30





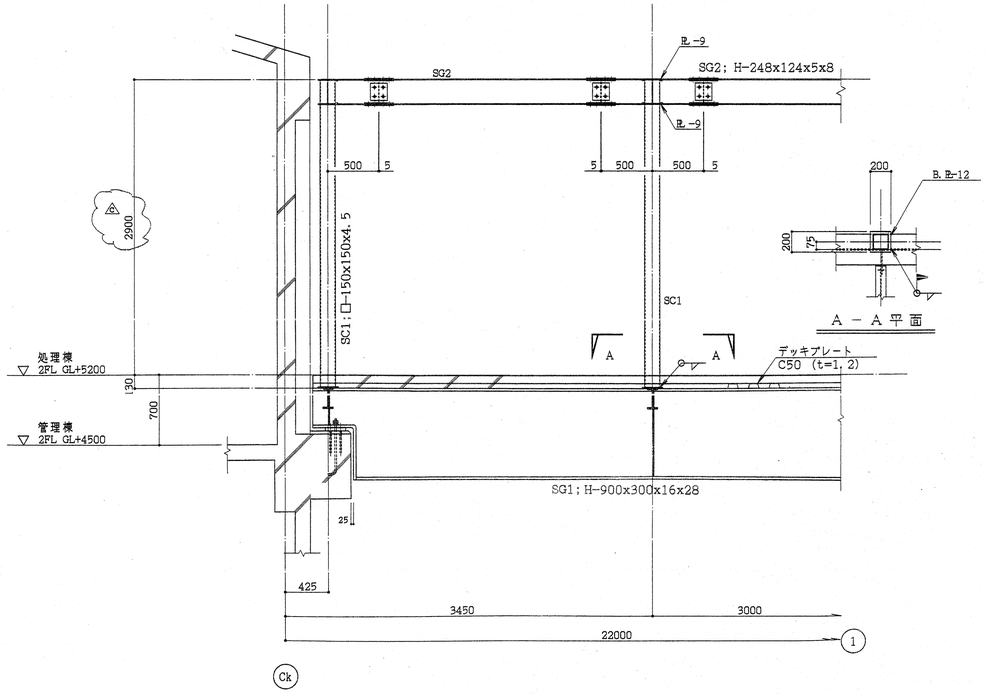




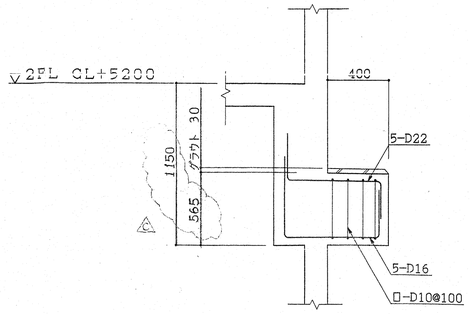


管理棟固定側取付詳細図

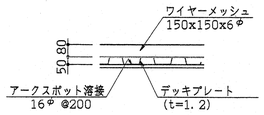
処理棟スライド側取付詳細図



鉄骨詳細図　S:1/30



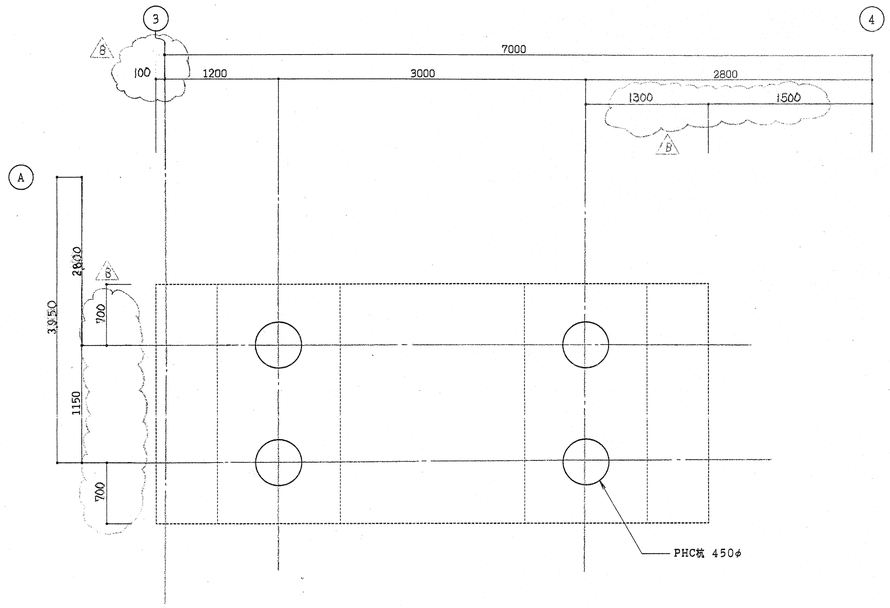
鉄骨受ブラケット配筋図



DS1　デッキプレート床詳細図

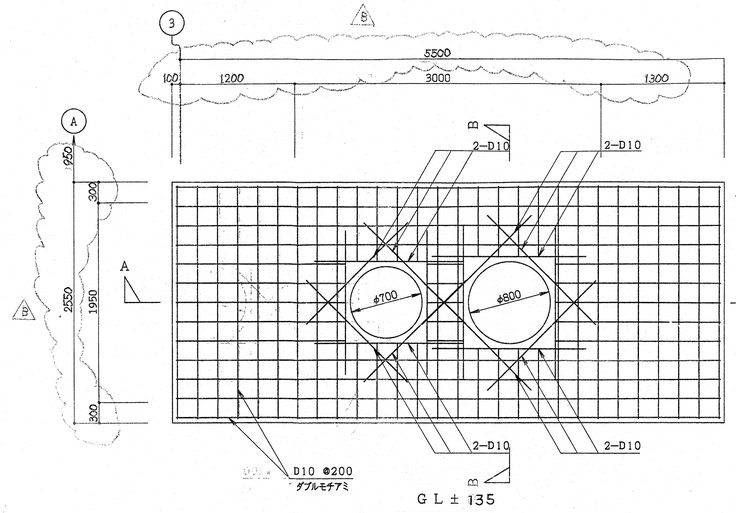
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'96.12.13	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'96.12.13	
照査	瀬尾	'96.12.13	図面名称 渡り廊下 鉄骨詳細図
設計	岡本	'96.12.13	
製図	清水	'96.12.13	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/20, 1/30 ° 第 角法 標準図番号
			図面番号 WR122350 ⚠C
			出図年月日 整理番号

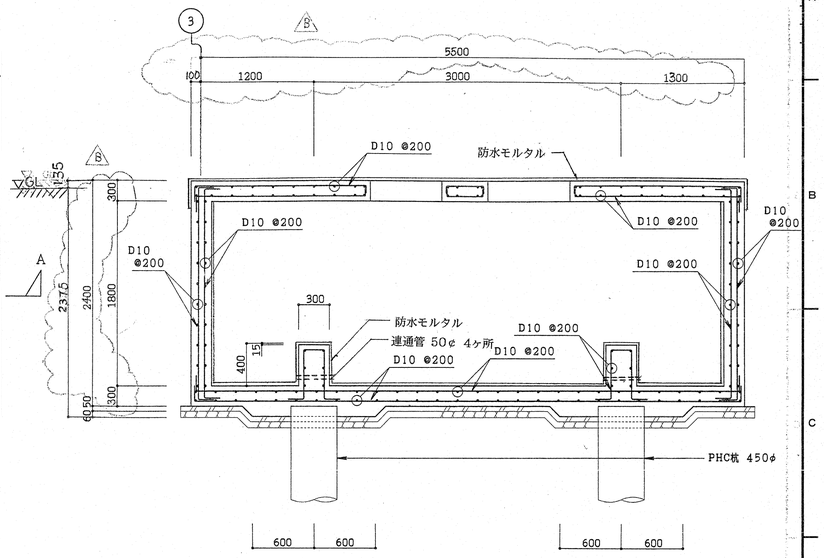
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
A	座屈変更	作図 設計 照査 承認	'98. 3. 2



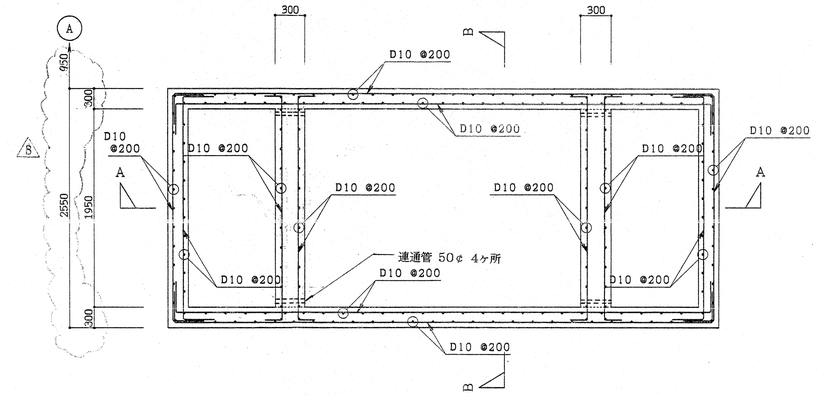
杭伏図　S:1/30

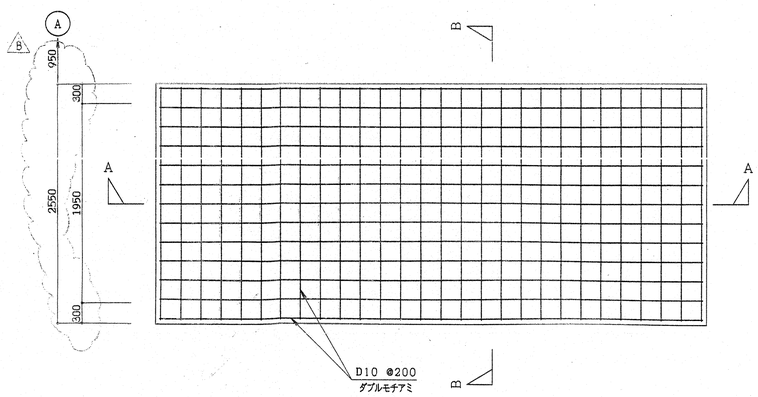
杭仕様	
杭種	PHC杭 450φ 上、下杭ともA種
杭工法	アースオーガー併用型 最終打撃工法 （油圧ハンマー方式）
杭先端	GL−18.0[m]（杭頭レベル：GL−2.4[m]）
杭実長	15.6[m]（上杭：7.6[m]、下杭：8.0[m]） ただし、地盤の現状により多少の変更あり
杭耐力	Ra=94[t/本]（450φ、長期）



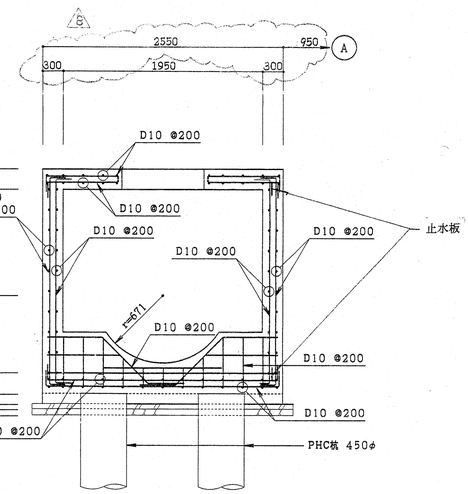


A　断面配筋図　S:1/30





ピット配筋図　S:1/30



B　断面配筋図　S:1/30

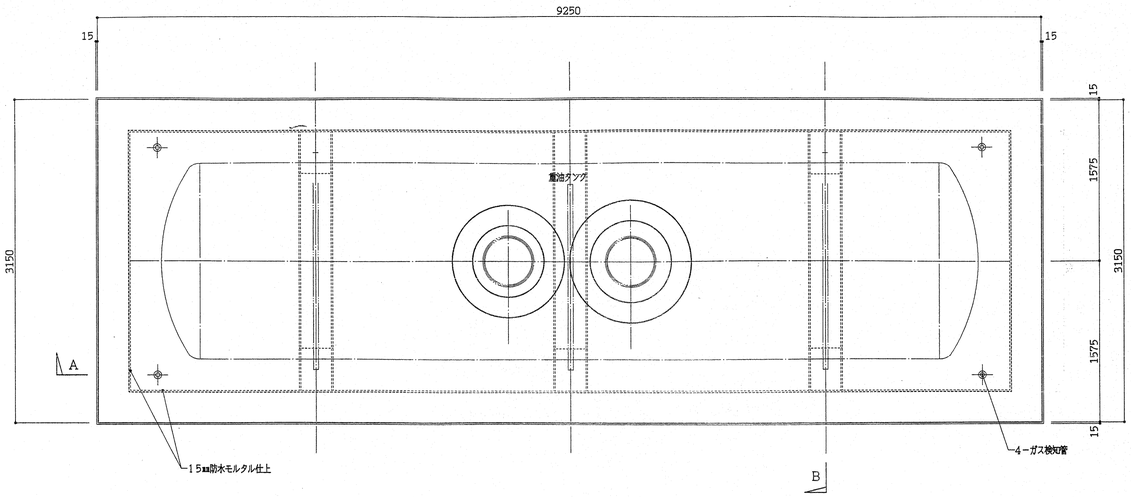
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.2.12	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	尾加	'97.2.12	
照査	瀬尾	'97.2.12	図面名称 メタノールタンク 杭伏図 配筋図
設計	風本	'97.2.10	
製図	清水	'97.2.10	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
	NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/30　第角法　標準図番号
			図面番号 WR123010　B
			出図年月日　整理番号

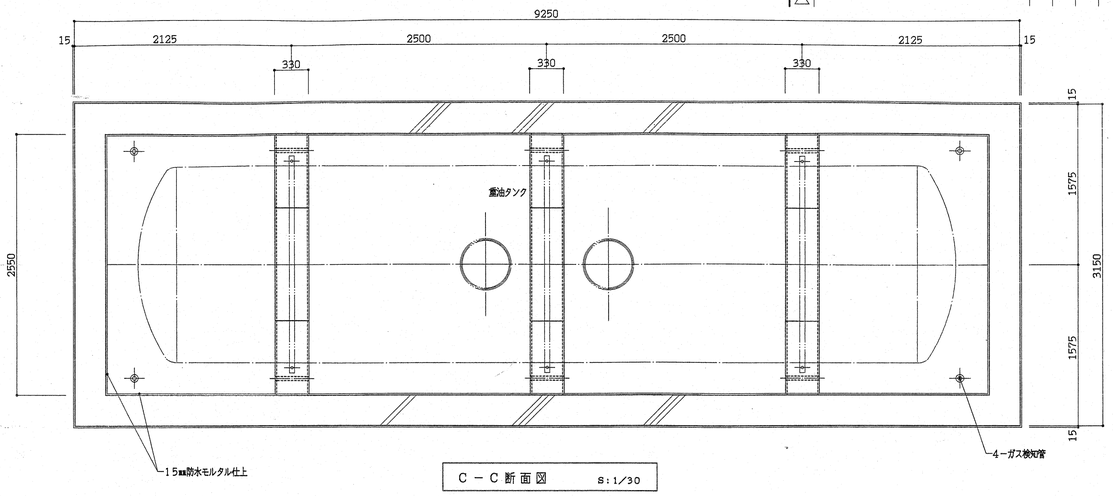
NES NP3016A △

130

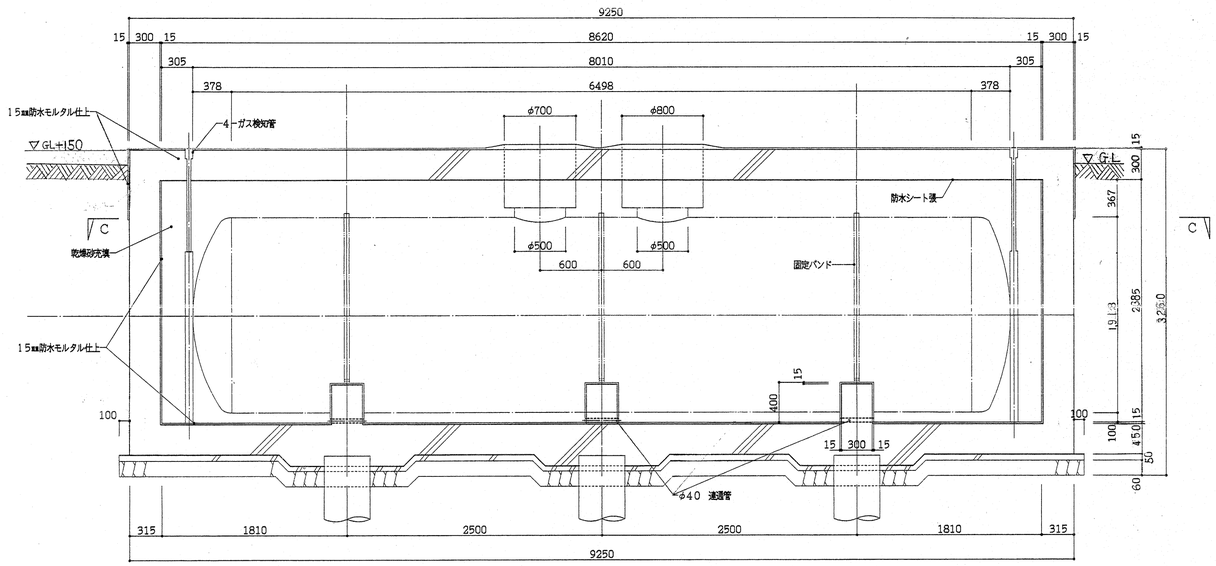
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

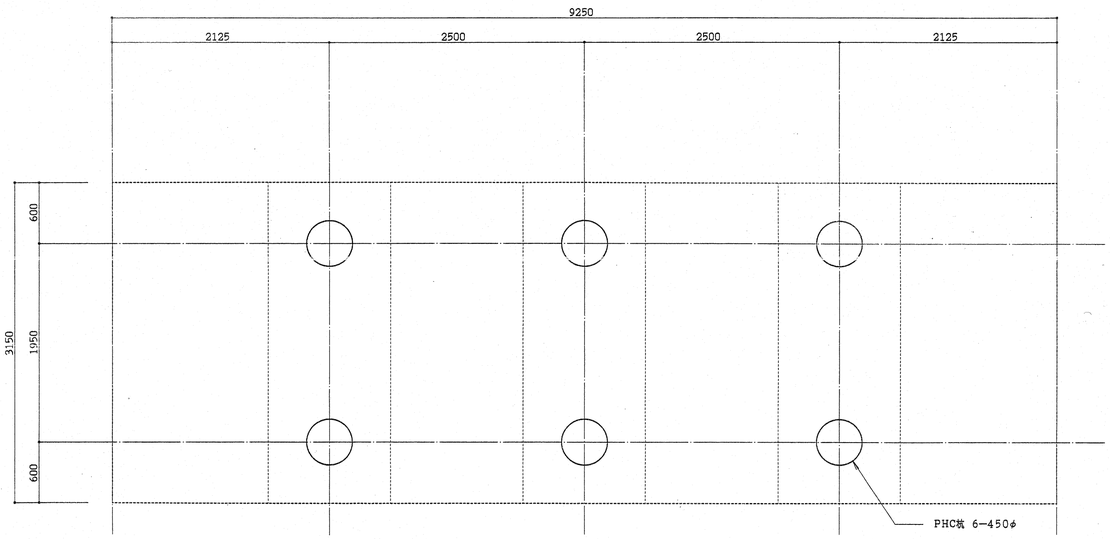




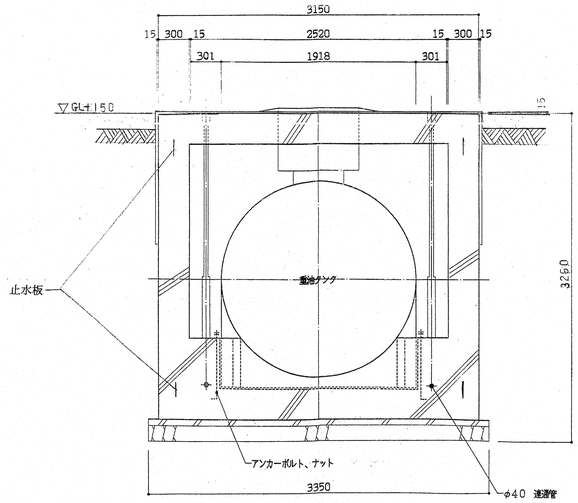
C－C 断面図　S:1/30



A－A 断面図　S:1/30



杭伏図　S:1/30

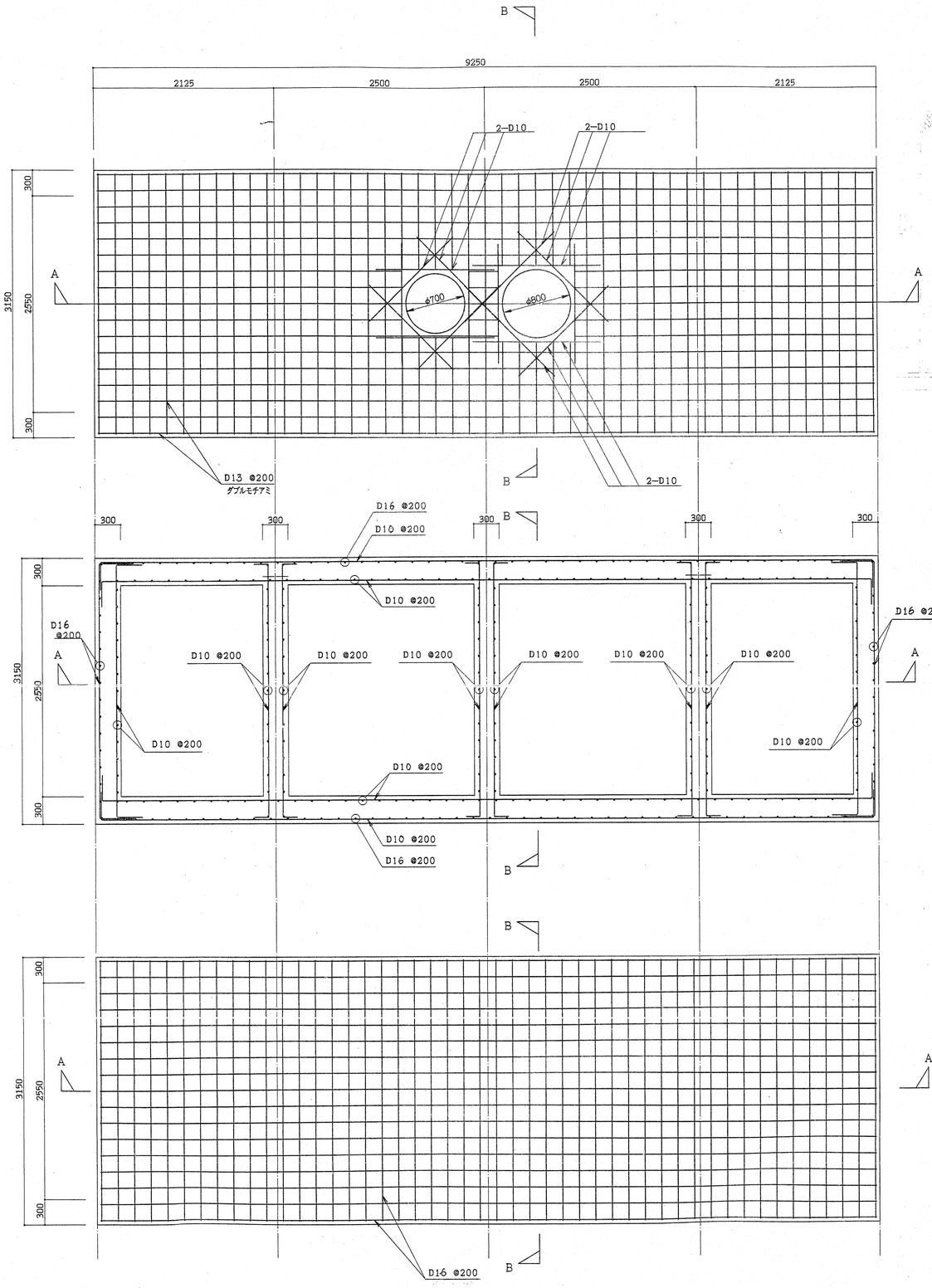


B－B 断面図　S:1/30

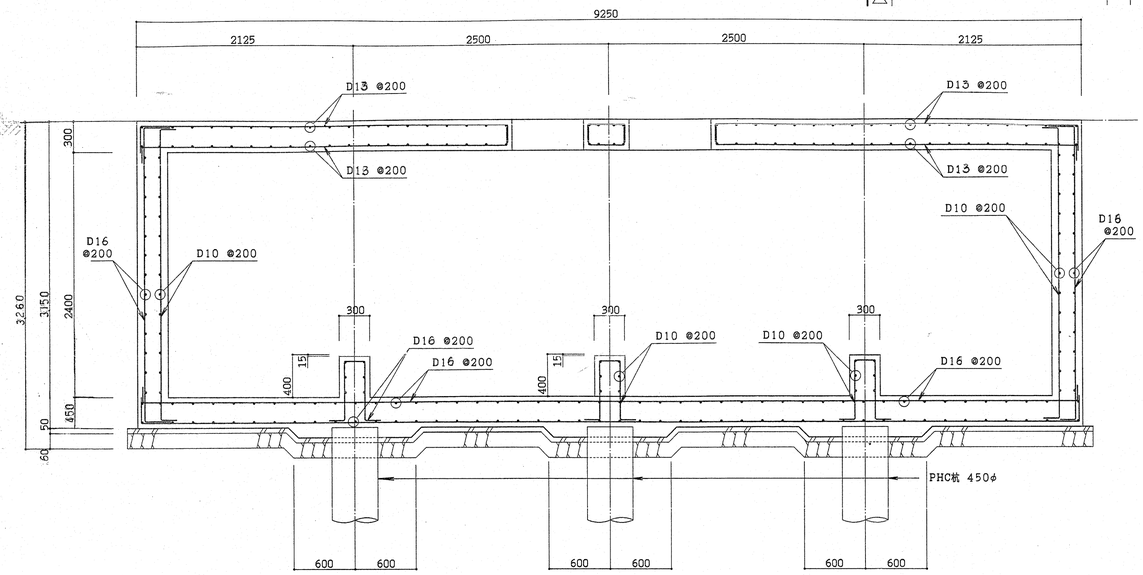
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'98.3.3	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	星加	'98.3.3	図面名称 重油タンク 平面・断面図
照査	瀬尾	'98.3.3	
設計	原	'98.3.3	
製図	清水	'97.7.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/30　第 角法　標準図番号
			図面番号 WR123020　△A
			出図年月日　整理番号

NES NF2016A △

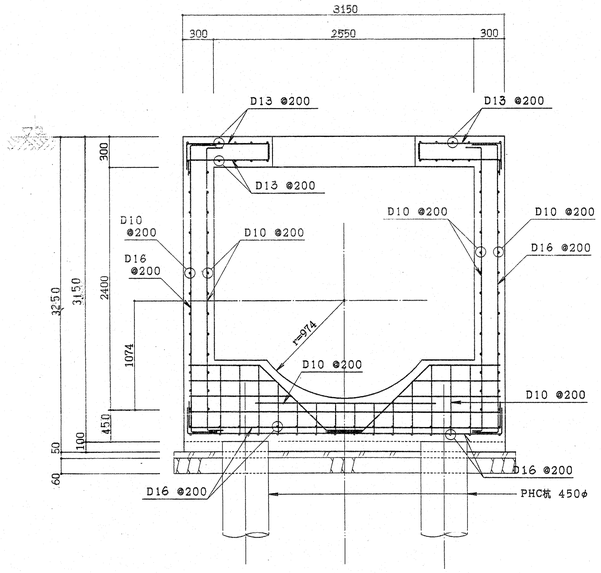
図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				



ピット配筋図　S:1/30



A　断面配筋図　S:1/30



B　断面配筋図　S:1/30

杭仕様	
杭種	PHC杭 450φ 上、下杭ともA種
杭工法	アースオーガー併用型 最終打撃工法 (油圧ハンマー方式)
杭先端	GL-18.0[m] (杭頭レベル:GL-3.0[m])
杭実長	GL-15.0[m] (上杭:7.0[m]、下杭:8.0[m])
	ただし、地盤の現状により多少の変更あり
杭耐力	Ra=94[t/本] (450φ、長期)

工事番号	EL-6851	
承認	村田	'98.3.3
照査	星加	'98.3.3
照査	濱尾	'98.3.3
設計	岡本	'98.3.3
製図	清水	'97.7.18
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 重油タンク 伏図 配筋図

尺度	1/30	第角法	標準図番号
図面番号	WR123030		A
出図年月日		整理番号	

NES NF3016A A

「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設　工事設計図

仕様書

Ⅰ.工事概要

1.工事場所　佐賀県鹿島市大字中村641番地１

2.建物概要

建物名称	構造	階数	延面積(m²)	消防令別表第一	備考
処理棟	RC	B1F,2F	3016.55	15項	
管理棟	RC	2F	440.00		

3.工事種目（◉印を付けたものを適用する）

建物別及び屋外 / 工事種目	処理棟	管理棟				屋外
◉空気調和設備	-式	-式	-式	-式	-式	
◉換気設備	-式	-式	-式	-式	-式	
○排煙設備	-式	-式	-式	-式	-式	
○自動制御設備	-式	-式	-式	-式	-式	
◉衛生器具設備	-式	-式	-式	-式	-式	
◉給水設備	-式	-式	-式	-式	-式	-式
◉排水設備	-式	-式	-式	-式	-式	-式
◉給湯設備	-式	-式	-式	-式	-式	
◉消火設備	-式	-式	-式	-式	-式	-式
○厨房調理設備	-式	-式	-式	-式	-式	
○焼却炉設備	-式	-式	-式	-式	-式	-式
◉ガス設備	-式	-式	-式	-式	-式	-式
○し尿浄化槽設備						-式
○						
○						
○						

4.指定部分　・無　・有
対象部分：

5.工事範囲

6.設備概要（◎印を付けたものを適用する）

方式及び種別	設備概要
空調方式	・空気調和　・ダクト方式　◎パッケージ方式 ・ファンコイルユニット，ダクト併用方式・ ・温風暖房
主熱源	◎電気式
自動制御方式	・電気式　・電子式　・デジタル式
給水方式	・水道直結式　・高置タンク式（・市水　・　） ◎加圧給水方式
排水方式	建物内汚水，雑排水（◎分流　・合流） 建物外放流先 （1）汚水　・直放流下水管　・し尿浄化槽　◎指定放流先 （2）雑排水　・直放流下水管　・し尿浄化槽　◎〃
消防用設備等の種別	◎屋内消火栓設備　・スプリンクラー　・二酸化炭素消火設備 ・泡消火設備　・粉末消火設備装置　・屋外消火栓設備 ・連結送水管設備　・連結散水設備装置　・
ガスの種別	・都市ガス（種類　，発熱量　kcal/Nm³，供給事業者名　） ◎液化石油ガス

7.電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合，電気設備工事及び建築工事は，それぞれの工事仕様を適用し，下記の工事仕様は適用しない。なお，電気設備工事の工事仕様は，（ノ）図，建築工事の工事仕様は（ノ）図による。

Ⅱ.工事仕様

1.共通仕様
現場説明書（現場説明に対する質問回答書を含む），本特記仕様書及び図面に記載されていない事項は，すべて建設大臣官房官庁営繕部監修の機械設備工事共通仕様書（平成５年版）及び機械設備工事標準図（平成５年版）による。

2.特記仕様
（1）章は◉印の付いたもの，項目は番号に○印の付いたものを適用する。
（2）特記事項のうち選択する事項は，◎印の付いたものを適用し，・印の付いたものは適用しない。

章	項目	特記事項
●一般共通事項	1 機材等	本工事に使用する設備機材等は，設備機材等指定表によるほか，設計図書に規定するものまたは，これらと同等のものとする。ただし，同等のものとする場合は監督員の承諾を受ける。また，（社）公共建築協会が実施する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業」によって，所要の品質・性能を有することの評価を受けた材料・機材等を使用する場合は，評価書の写しを監督員に提出するものとする。
	2 主任技術者等の資格	・資格の区分Ⅰ　・資格の区分Ⅱ
	3 電気保安技術者	・おく　・おかない
	4 技能士の適用	・配管（配管工事）　・建築板金（ダクト製作及び取付け）・熱絶縁施工（保温工事） ・冷凍空気調和機器施工（チリングユニット，パッケージ形空気調和機の据付及び整備）
	⑤ 機材等の検査及び試験	検査及び試験を行うべき機材等は，共通仕様書による。
	6 監督員事務所	・設けない　・設ける
	7 官公署への手続	工事に必要な官公署などへの手続は請負者が代行し，速やかに行う。
	8 工事用電力・水・その他	この工事に必要な工事用電力，水及び諸手続などの費用は，すべて請負者の負担とする。

⑨	工事用仮設物	構内につくることが　◎できる　・できない（　）
⑩	足場・さん橋類	◎別契約の調係請負者が定置したものは無償で使用できる。・本工事で負担とする。
⑪	残土処分	◎構内敷ならし　・構外搬出適切処理
⑫	埋め戻し土・盛土	◎掘切り土の中の良質土（ただしヒューム管以外の管の周囲は山砂の類）　・山砂の類
⑬	発生材の処理	引き渡しを要するもの　◎なし（構外搬出処理費　・別途　・本工事） ・あり（　）
⑭	工事写真	・引き渡しを要するもの以外は構外搬出処理とする。 建設大臣官房官庁営繕部監修「工事写真の撮り方」改訂版（建築設備編）による。
⑮	完成図その他	完成図（原図１部，陽画複写紙（白写真）３部，マイクロフィルム（・不要・　））とする。必要と思われる場合は，設計者と協議の上特記する。及び保守に関する資料等３部を提出する。
⑯	案内板	機器等の取り扱い方及び重要な定期点検項目を書いたアクリル樹脂製の案内板を機械室に設ける。案内板の大きさは，約　m²とする。
⑰	総合調整	◎本工事　・別途 ◎風量調整 ◎水量調整 ◎室内外空気の温湿度の測定 ・室内気流及びじんあいの測定 ◎騒音の測定 ◎初期運転状態の記録
⑱	電源周波数	・50Hz　◎60Hz
⑲	容量等の表示	（1）機器類の能力，容量等は表示された数値以上とする。 （2）電動機出力，燃料消費量，圧力損失は，原則として表示された数値以下とする。
㉙	耐震措置	機器，配管，風道等は耐震を考慮し壁面に堅え付け，取付け又は支持を行う。 耐震措置の計算及び施工方法は，次に掲げる事項以外，すべて建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修１９８４年版）による。 （1）機器 1）設計用水平地震力は，機器の重量（自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量）に，次に示す地域係数及び設計用標準震度を乗じたものとする。 地域係数は１．０とする。 設計用標準震度 最上階，屋上及び塔屋　◎１．０　・１．５（防振機器は２．０） 中間階　◎０．６　・１．０（防振機器は１．３） 地階及び１階床　◎０．４　・０．６ 2）設計用鉛直地震力は，設計用水平地震力の１／２とした値とする。 3）１００ｋｇ以下の軽量な機器においても耐震を考慮し堅え付け又は取付けを行うものとするが，前記指針の方法によらなくてもよい。
㉑	配管	（1）地中埋設配管（排水管を除く） 1）地中埋設標　・要（図示の箇所）　・不要 2）埋設表示用テープ　・要　・ 共通仕様書第２編によるほか下記による。 ◎屋外露出部（給水管，消火管，冷温水管，膨張管，冷水管，温水管，ドレン管，弁類を含む）は防凍保温を行う。その仕様は共通仕様書第２編３，１，４及び３，１，５とする。厚さは呼び径２５ｍｍ以下のものは５０ｍｍ，呼び径３２ｍｍ以上のものは４０ｍｍとする。 ・共同溝の保温 ・ダクトの保温の外装

屋内		
屋	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　・カラー亜鉛鉄板
内	機械室	・アルミガラスクロス
露出	居室・廊下など	・カラー亜鉛鉄板
屋外露出，多湿箇所（　）		・ステンレス鋼板

◎配管の保温の外装

屋内		
屋	倉庫・書庫	・アルミガラスクロス　◎鋳布
内	機械室	◎アルミガラスクロス
露出	居室・廊下など	◎鋳布
屋外露出，多湿箇所（　）		◎ステンレス鋼板

㉓	塗装	下記以外の金属電線管は塗装を行わない。 ◎屋外露出　◎機械室　・電気室　・ 表示なき電線は，６００Ｖビニル絶縁電線とする。ただし，自動制御設備に係る配線は共通仕様書による。
㉔	電線	
㉕	研り	既存コンクリート床，壁等の配管貫通部の穴明けは，原則としてダイヤモンドカッターによる。
㉖	天井仕上区分	（　）書きの室名は直天井を示し，その他は二重天井を示す。
㉗	他工事との取り合い	スリーブ，箱入れその他他工事との取り合いは，工事区分表によるものとし，施工に支障を来たさない時期までに，必要な位置，大きさなどを明示し，監督員と打合せる。

◉空気調和設備

	外気		屋内 一般系統		還気系			
	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)	温度(DB)	湿度(RH)
夏期	34.4℃	60 %	26 ℃	— %	40 ℃	— %	℃	%
冬期	-0.4℃	51 %	22 ℃	— %	40 ℃	— %	℃	%

①	設計温湿度	・設ける ・設ける（測定口は径８０φとする）
②	ばい煙濃度計	・別途　・
③	ばいじん量測定口	鋼板厚（・３．２ｍｍ　・４．５ｍｍ）
④	煙突	低速ダクト（・アングル工法　・コーナーボルト工法（・共板　・スライド））とする。
⑤	煙道	取り付け箇所は（・図示した位置　・送風機吐出ダクト又は吸込みダクト ・外気取入れダクト　・空調機出口チャンバの分岐ダクト）
⑥	ダクト	（1）内貼りを施すチャンバーの表示寸法は外法を示す。
⑦	風量測定口	（2）空気調和機，温風暖房機に取り付けるサプライチャンバー，レタンチャンバー及び吸込系で消音内貼りしたチャンバーには，点検口を設け，点検口の大きさは図示による。
⑧	チャンバー	（3）外壁に面するガラリに直接取り付けるチャンバー及びボッパーは雨水の滞留のないように施工する。
⑨	ダンパー	（1）防煙ダンパー　復帰方式（・遠隔　・　） 定格入力は ＤＣ２４Ｖ，０．７Ａ以下とする。
⑩	配管材料	（2）ピストンダンパー　復帰方式（・遠隔　・　）
		（1）蒸気管　給気管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）， 還管　・圧力配管用炭素鋼鋼管（黒）ｓｃｈ－４０
		（2）油管　・配管用炭素鋼鋼管（黒）・
		（3）冷温水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・
		（4）冷却水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）・
		（5）膨張管，空気抜き管，ドレン管及び膨張タンクよりボイラ等への補給水管は（配管用炭素鋼鋼管（白）・　）とする。

⑪	弁類	・ＪＩＳ ５Ｋ　・ＪＩＳ １０Ｋ　（図示部分）
⑫	温度計	・鋼管用伸縮管継手の種類は図示による。 取付部は下記による。なお，温度計は工業用バイメタル式温度計（目盛板外径１００φ）とする。 ・冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）。 ・ボイラの温水管（入口側）。 ・空気調和機の冷温水管（出入口側）。 ・熱交換器の温水管（出入口側）。 ・冷温水ヘッダー（柱）及び各返り管。 ・空気調和機（パッケージ形を含む）のサプライチャンバ，レタンダクト，外気取入れダクト及びレタンチャンバ。 ・温風暖房機の吐出ダクト，レタンダクト，外気取入れダクト及びレタンチャンバ。
⑬	圧力計	取付部は下記による。 ・冷凍機の冷水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）。 ・空気調和機の冷温水管（出入口側）。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管（出入口側）及び冷却水管（出入口側）。 ・熱交換器の温水管（出入口側）。
⑭	瞬間流量計	瞬間流量計はピトー管方式によるもので止水コック付とし，形式及び取付部は下記による。なお，着脱形の指示部は（・４０Ａ用　個・１００Ａ用　個・２５０Ａ用　個）付属とする。 ・冷凍機の冷水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（・固定形・着脱形）を設ける。 ・直だき吸収冷温水機の冷温水管（出口側）及び冷却水管（出口側）に（・固定形・着脱形）を設ける。 ・冷温水ヘッダーの（・る送り管・る返り管）に（・固定形・着脱形）を設ける。 ・空気調和機の冷温水管（入口又は出口）に（・固定形　・着脱形）を設ける。
⑮	油面制御装置	制御盤には（・給油ポンプ制御　・燃油警報　・逆弁警報　・電磁弁制御　・返油ポンプ制御　・減油警報　・　）の端子を設ける。なおフロートスイッチ部と制御盤間の配管配線は製造者の標準仕様とする。
⑯	絶縁フランジ	図示の箇所に取付ける。
⑰	保温及び消音内貼り	共通仕様書第２編３，１，４による。ただし，下記については本仕様による。 ・還りダクトの保温要（保温の厚さ25mm，範囲は図示による） ・外気ダクトの保温要（保温の厚さ25mm，範囲は図示による） ・膨張タンクよりボイラ等への補給水管の保温は，共通仕様書第２編３，１，４の膨張管の項による。 ・建物内の空気抜き管の保温は，共通仕様書第２編３，１，４の膨張管の項による。 ・空気調和機及びファンコイルユニットの排水管の保温は，共通仕様書第２編３，１，５の排水管の項による。 ◎冷媒管の保温の外装は下記による。なお，保温化粧ケースは塩化ビニル樹脂製とする。

屋内露出	・鋼布	◎保温化粧ケース
屋外露出	・ステンレス鋼板	◎保温化粧ケース

①	ダクト	低速ダクト（・アングル工法　◎コーナーボルト工法（・共板　・スライド））とする。 厨房系統の排気用ダクトは共通仕様書より一番手厚いものを使用する。
②	風量測定口	取付位置は（・図示した位置　・直心送風機吐出ダクト又は吸込ダクト ・外気取入れダクト）とする。
③	ダンパー	空気調和設備の当該項目による。
④	排気ダクトのソール	◎浴室（シャワー室，脱衣室を含む）系統 ・
⑤	チャンバー	空気調和設備の当該項目による。
⑥	保温	下記のダクトの保温を行う。 ◎全熱交換器用のダクト（保温の厚さ25mm，範囲は図示による） ◎（・厨房　◎湯沸室　・　）のダクト（仕様はｈ・（イ）・Ⅲ とし範囲は図示による。）

①	ダクト	・亜鉛鉄板　・
②	排煙口の形式	・天井取付（・スリット形　・スイング形　）
③	排煙口手動開放器	・壁取付（・スリット形　・　）
④	排煙風量測定	フイヤー式又は電気式とする。 建築設備定期検査業務指導書（日本建築設備安全センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

1	中央監視制御装置の構成・構能	・有り　・無し 図示による。

◉衛生器具設備

①	小便器用節水装置	◎個別感知フラッシュ方式（・埋込　・露出） ・集合感知フラッシュ方式（・隠ぺい　・露出） ・集合感知ハイタンク方式（自動サイホン＋補給水電磁（動）弁） 集合感知の場合はカウント不足を補償するタイマー機構を設ける。
②	小便器ハイタンク	・露出　・隠ぺい
③	小便器洗浄管	・埋込（・ＶＡ　・ＰＡ　・　）・露出
④	化粧棚	陶器製（・露出形　・　）
⑤	水石けん入れ	・横形（押ボタン）　・立形
⑥	衛生器具付属水栓	・水抜栓を使用する場合，水栓は固定こま式とする。
⑦	大便器耐火カバー	◎設ける（ビット内は除く）　・設けない
⑧	手洗器	◎止水栓付とする。
⑨	標記板	◎取付箇所（◎大便器　◎小便器　・　）材質（◎陶器製　・　）

◉給水設備

①	配管材料	（1）一般配管　◎塩ビライニング鋼管（・ＶＡ ◎ＶＢ ） ・　・ ◎厨房，浴室等のシンダー内配管は塩ビライニング鋼管（ＶＤ）とする。
		（2）地中埋設配管 ◎塩ビライニング鋼管（ＶＤ） ・　・
		（3）水道直結配管 地中埋設管は（・塩ビライニング鋼管（ＶＤ）・水道用耐衝撃性硬質塩化ビニル管（ＨＩＶＰ）・　）とし他の部分は（1）による。
②	水栓	◎台所流し用の水栓は湯水式とする。 ◎水抜栓を使用する場合，屋外に設ける水栓は耐寒水栓とする。ただし，屋内は固定こま式とする。
③	量水器	・親メーター（・貸与品　・　）・子メーター（・買い取り　・　）
④	量水器桝	・水道事業者指定品（・貸与品　・買い取り）・標準図ＭＣ形 量水器桝及び弁桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。

⑤	弁類	・水道直結部分　ＪＩＳ（・１０Ｋ　・　）◎その他の部分　ＪＩＳ（◎５Ｋ　・　）
6	水栓柱	・逆止弁の垂撃吸収式はワイニング不要とする。 ・合成樹脂製　・アルミニウム合金製　・人造石とぎ出し製　・不凍水栓柱
7	管の埋設深さ	管の上端より原則として，一般敷地は（・３０ｃｍ　・　ｃｍ）構内道路は（・６０ｃｍ　・　ｃｍ）以上とする。
⑧	保温	共通仕様書第２編３，１，５による。ただし下記の部分は本仕様による。 ・鋼板製高置タンクの保温（・不要　・要） ・鋼板製受水タンクの保温（・不要　・要） ・標準図による。
9	建物導入部配管	・実位を吸収できるようにスリークッションとする。
10	引込納付金等	・要（・別途工事　・本工事）　・不要

◉排水設備

①	配管材料	（1）屋内汚水排水管　・排水用塩ビライニング鋼管　・鉛管 ・メカニカル形排水鋳鉄管　◎硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
		（2）屋内一般雑排水管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　・鉛管 ◎硬質塩化ビニル管　・
		（3）一般用排水通気管　・配管用炭素鋼鋼管（白）　◎硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
		（4）屋外排水管　・遠心力鉄筋コンクリート管　◎硬質塩化ビニル管（ＶＰ）
②	床面器等の排水管	床面器及び手洗器に直結する排水管は，器具トラップより１サイズアップとする。 公団形流し等の床上露出部分の配管は，硬質塩化ビニル管でもよい。
3	遠水試験継手	図示の箇所に取付ける。
4	インバート桝ため桝	桝のコンクリート部は工場製品としてもよい。
5	放流納付金等	・不要　・要（・別途工事　・本工事）

◉給湯設備

1	配管材料	給湯管の材料は（◎銅管；給湯用塩ビライニング鋼管・ステンレス鋼管（・メカニカル継手・　））とする。
2	絶縁フランジ	図示の箇所に取付ける。
③	弁類	ＪＩＳ（◎５Ｋ　・１０Ｋ　（図示部分））

◉消火設備

①	配管材料	◎屋内消火栓設備（１）屋内　◎配管用炭素鋼鋼管（白）・圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40) （2）地中埋設◎外面被覆鋼管（◎ＶＳ　・ＰＳ　） ・外面被覆鋼管（・ＶＳ(sch-40)・ＰＳ(sch-40)）
		・屋外消火栓設備（１）屋内　・配管用炭素鋼鋼管（白）・圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40) （2）地中埋設・外面被覆鋼管（・ＶＳ　・ＰＳ　） ・外面被覆鋼管（・ＶＳ(sch-40)・ＰＳ(sch-40)）
		・連結送水管（１）屋内　・配管用炭素鋼鋼管（白）・圧力配管用炭素鋼鋼管(sch-40) （2）地中埋設・外面被覆鋼管（・ＶＳ　・ＰＳ　） ・外面被覆鋼管（・ＶＳ(sch-40)・ＰＳ(sch-40)）
②	保温	・その他　図示による。 屋外露出配管は共通仕様書第２編３，１，５ｅ３（ハ）Ⅴによる保温を行う。ただし防凍保温は一般共通事項による。
3	建物導入部配管	・標準図による。 ・実位を吸収できるようにスリークッションとする。

○厨房調理設備

1	調理器の寸法	概略寸法とする。
2	燃焼機器	使用ガス（・都市ガス　・液化石油ガス）

◉ガス設備

①	配管材料	都市ガス　ガス事業者の供給規定による。 液化石油ガス（１）屋内・◎配管用炭素鋼鋼管（白）・ （2）地中埋設　◎ポリエチレン被覆鋼管（黒）・
②	充てん容器	◎別途（◎５０ｋｇ　・　・　）×４本
③	集合装置	◎標準図による４本組。
4	転倒防止等	標準図の（・（ａ）・（ｂ））による。
5	メーター	・親メーター（・貸与品　・　）子メーター（・買い取り　・　）
⑥	ガス漏れ警報器	・本工事（図示による）◎別途工事　）
7	引込負担金等	・要（・別途工事　・本工事）・不要

○し尿浄化槽設備

1	手続等	官公署への手続又は手続変更は，契約後３０日以内とし，請負者が代行処理する。
2	測定表	放流水質の測定表を提出する。

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	EL－6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.3	工事名称 「藤鹿苑」第１し尿処理施設建設工事
照査	瀬川	97.3.3	
照査	光浪	97.3.3	図面名称 建築機械設備 特記仕様書
設計		・・	
製図	石崎	8.11.13	
設計部署	シビルエンジアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 —— 第　角法	標準図番号
		図面番号 WR－140000	△1
		出図年月日	整理番号

NES NE7006A △

A1

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
⚠	消火栓ポンプ電動機 出力変更			H10.3.12

機番表

NO	機番名称	仕様	数量	設置場所	備考
	生活用受水槽	(プラント工事)		B1F ポンプ室	
T－2	消火用高架水槽	FRP製パネルタンク・保温型　呼称容量：0.5 m³	1	3F 屋根裏	
		実容量：0.3 m³　本体寸法：1.0 × 1.0 × 0.5 H			
		耐震　：1.0 G			
		マンホール 600φ，壁ブラケット鉄骨架台，他付属品一式			
	生活用水加圧ポンプ	(プラント工事)		B1F ポンプ室	
HPU-1	消火栓ポンプ	消火栓ポンプユニット	1	B1F ポンプ室	
		50φ × 300 ℓ/min × 50 m × ⚠ 7.5 kW　(3φ 200V)			
		ポンプ制御盤，呼水槽，試験配管一式共			
		コンクリート基礎 300 H			
H－1	屋内消火栓	屋内消火栓：1号　火報併設形	5	処理棟 各階	
		露出型：700W × 1400H × 200D　鋼板製			
		放水弁 40A，ノズル，ホース 15m×2，ホース掛，付属品一式			
H－2	〃	屋内消火栓：1号　火報併設形	1	処理棟 2F廊下	
		埋込型：700W × 1400H × 200D　鋼板製			
		放水弁 40A，ノズル，ホース 15m×2，ホース掛，付属品一式			

NO	機番名称	仕様	数量	設置場所	備考
GW－1	ガス給湯器	屋内壁掛型強制給排気式：20号	1	2F 水質試験室	配管カバー付
		給湯能力 44.2 kW (38,000 kcal/h)			
		LP.G　3.17 kg/h			
		電源 1φ 100V			
GW－2	〃	屋外壁掛形：50号	1	管理棟 1階浴室外	〃
		給湯能力 111.6 kW (96,000 kcal/h)			
		LP.G　8.0 kg/h			
		電源 1φ 100V			
EW－1	電気温水器	電気式貯湯形：10 ℓ	3	各階湯沸室	
		流し台内設置			
		電気容量：1φ 200V × 1.5 kW			
		ミニトランプ付　その他付属品一式			

工事番号	EL-6851		御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	細川	96.11.29	
照査	光浪	96.11.27	図面名称：建築機械設備 給排水設備 機番表
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度：　第　角法　標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号：WR－141000　⚠1
			出図年月日　整理番号

NES NP3916A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	水栓追加	佐野	H9.9.24

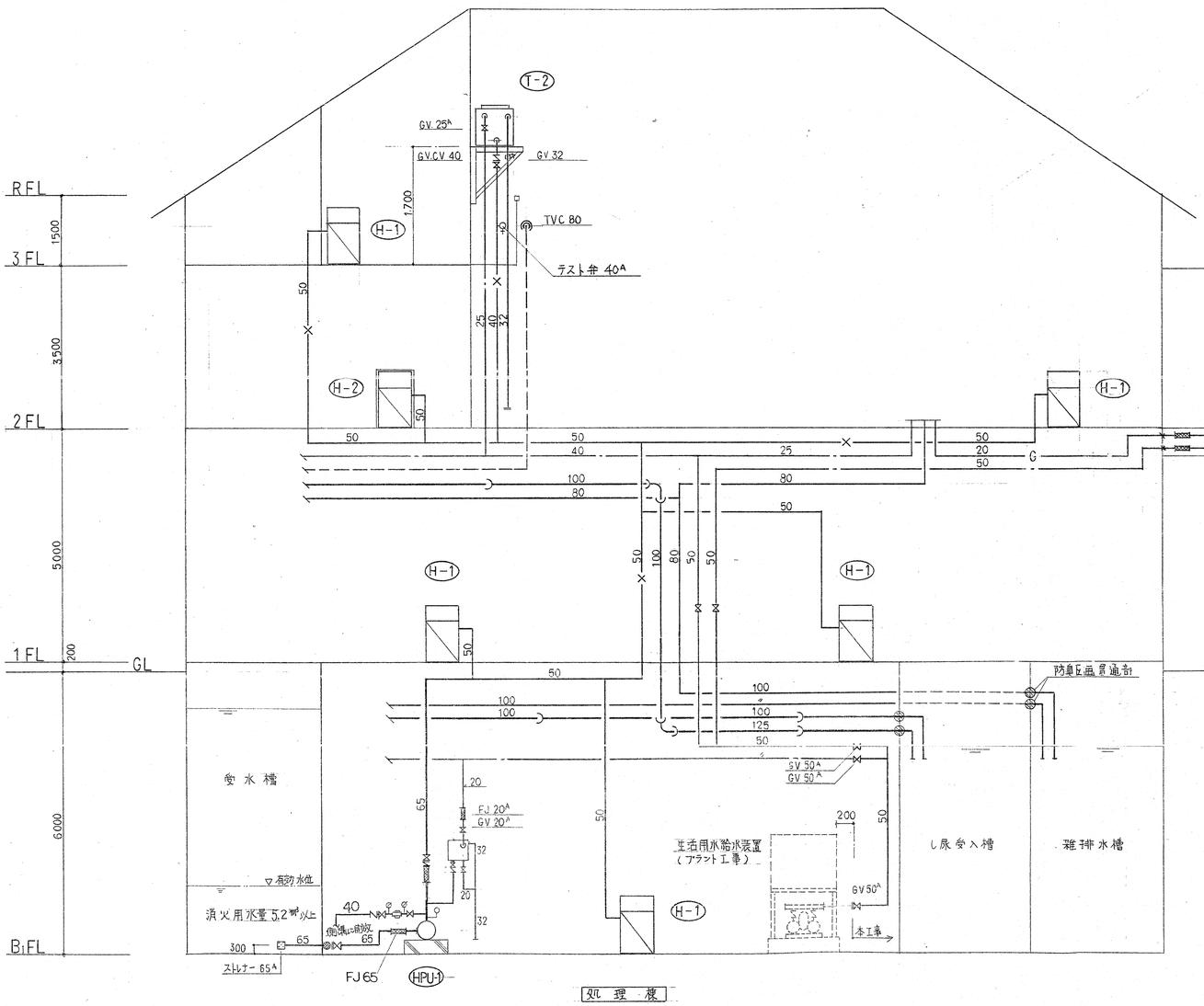
器具表

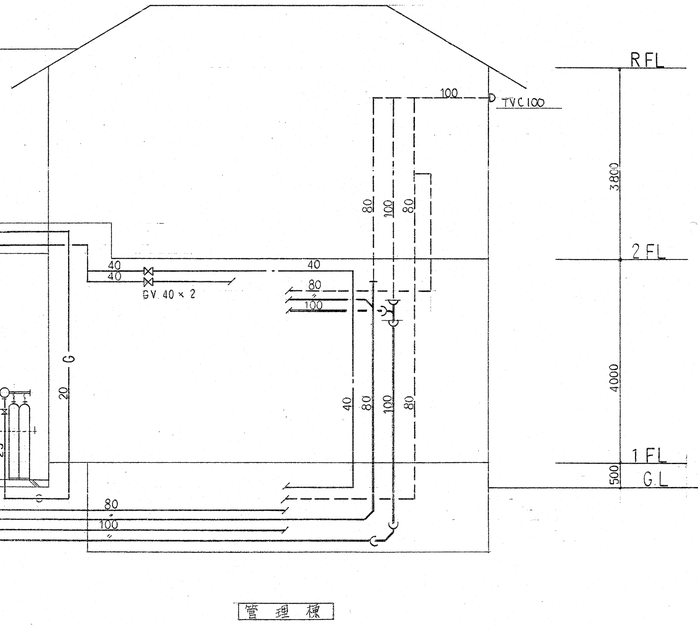
| 一 (型番は参考とする) | | 処理棟 | | |

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				

凡例

記号	名称	材質・仕様	
——— - ———	給水管（屋内-一般）	硬質塩ビライニング鋼管	（VLP-VB）
	〃（地中・コンクリ埋設）	〃	（VLP-VD）
——— | ———	給湯管	給湯用銅管	（CUP）
———▷———	汚水管	硬質塩化ビニル管	（VP）
———	雑排水管（屋内-一般）	〃	（〃）
———	〃（地中埋設）	〃	（〃）
——— — — ———	通気管	〃	（〃）
———×———	消火配管	配管用炭素鋼ク管(白)	（SGP-B）
———G———	低圧ガス管（屋内-一般）	〃	（〃）
	〃（地中埋設）	ポリエチレンライニング鋼管	（SGP-PB）
——⋈——C——	仕切弁	JIS 5K	（GV）
——⋈——	逆止弁	JIS 10K	（CV）
▨——▨	フレキシブル継手	SUS製，球型ゴム製	（FJ）
	水栓類		
	排水金物		
	床上掃除口		
——▨——	防火区画貫通処理	BCJ防災工法による耐火スリーブ	
——◎——	防臭区画貫通処理	スリーブ穴埋めコーキング処理	

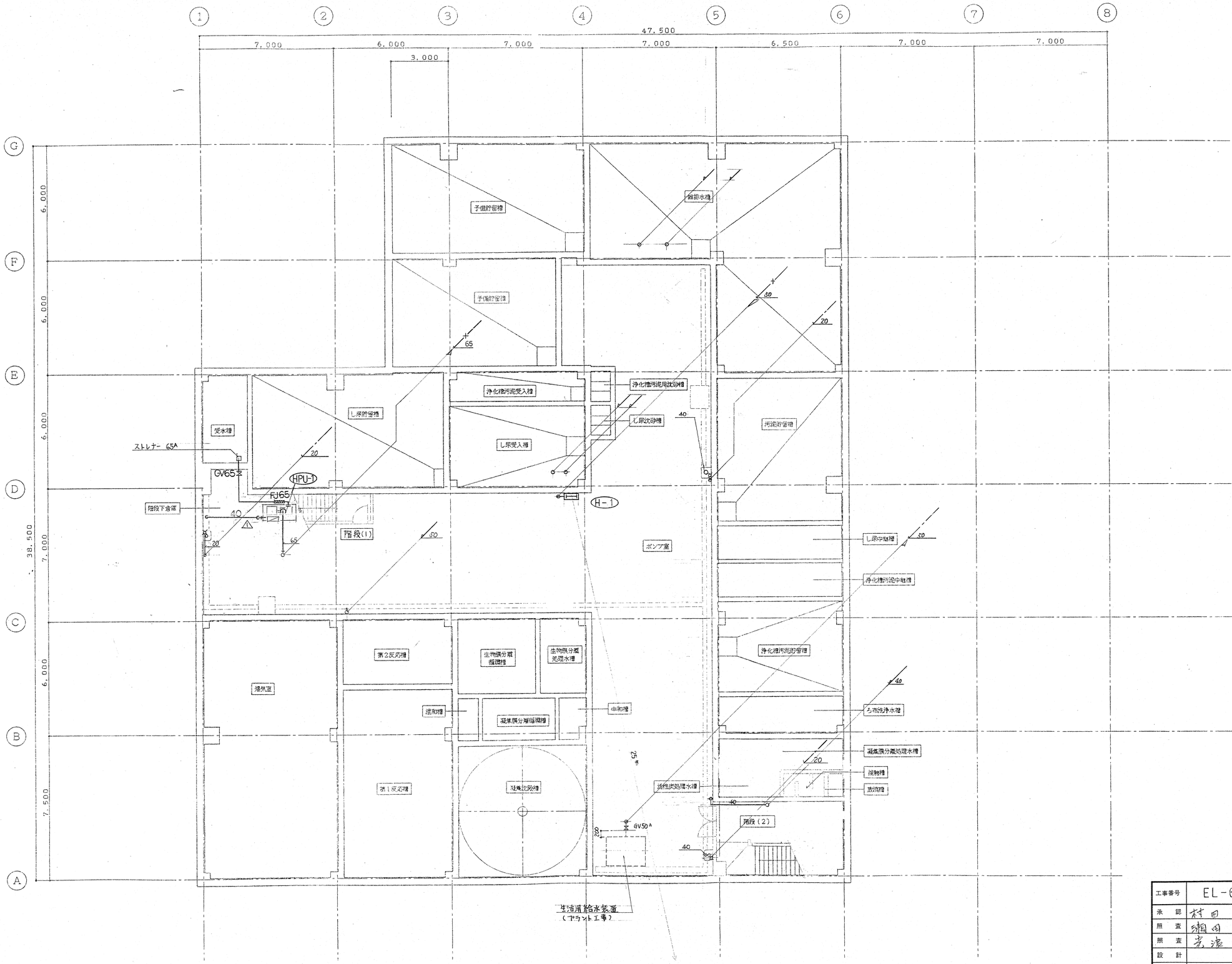




給排水設備系統図

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村旧 '97.3.3	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	綱田 '97.3.3	図面名称	建築機械設備 給排水設備 系統図・凡例
照査	光浪 '97.3.3		
設計			
製図	石崎		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	—— 第 角法
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-141200 △1
		出図年月日	整理番号

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
⚠	消火ポンプ起し配管行先変更(便槽ハ閉塞)			H10.3.12



工事番号	EL-6851	
承認	村田	96.11.29
照査	綱田	96.11.29
照査	栄濃	96.11.27
設計		
製図	石崎	8.11.18
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

御注文先: 鹿島・蘇津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「蘇鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築機械設備 給排水設備 処理棟 B1階平面図

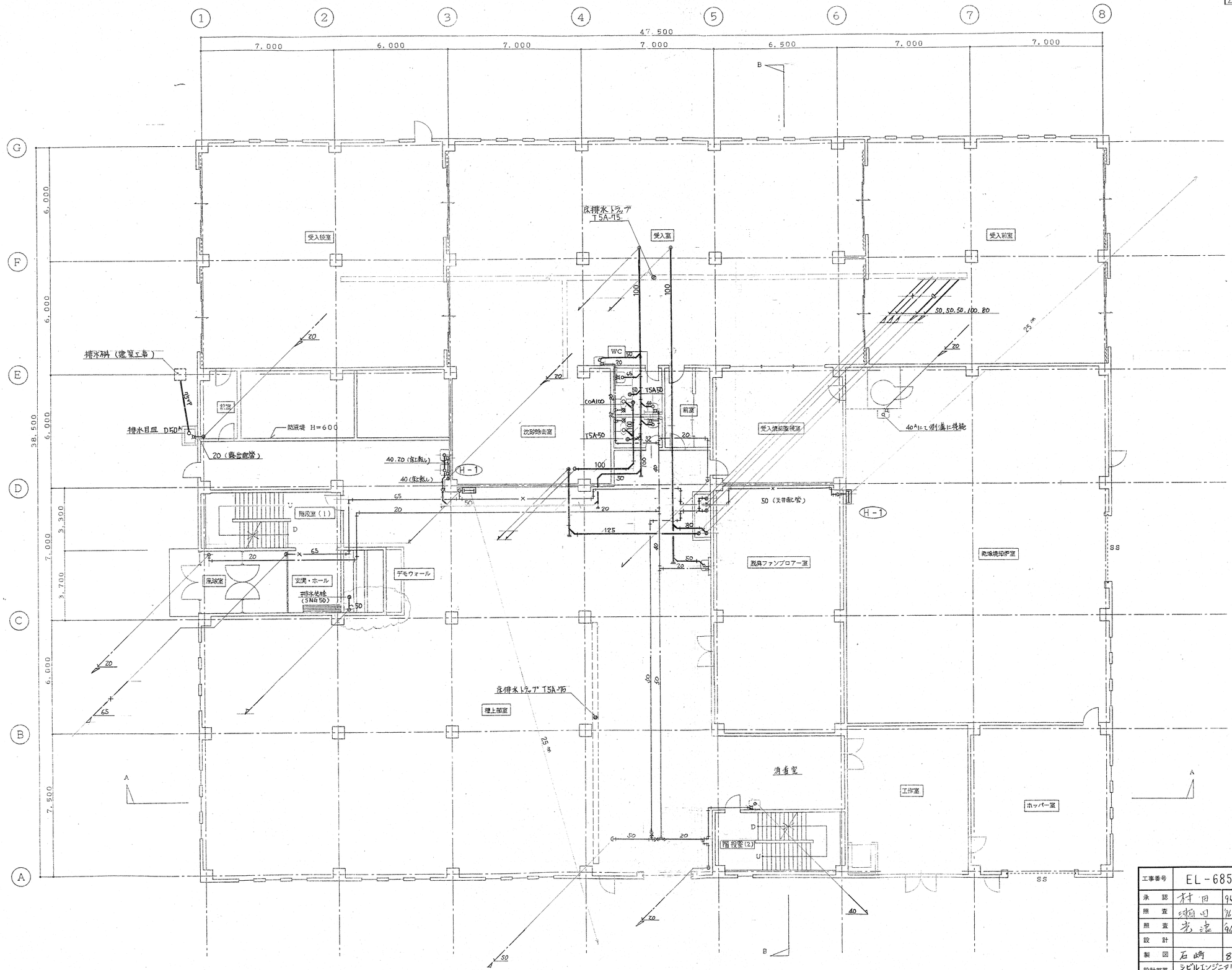
NKK 日本鋼管株式会社

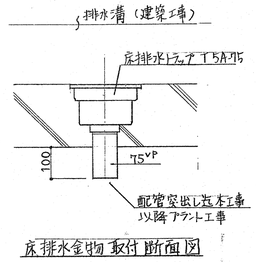
尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR-141310		⚠
出図年月日		整理番号	

NES NF2016A A

137

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	間仕切 変更	伸田	97.9.26





床排水金物 取付 断面図

工事番号	EL-6851		
承認	村田	96.11.29	
照査	細川	96.11.29	
照査	岩渕	96.11.27	
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称 建築機械設備 給排水設備 処理棟 1階平面図

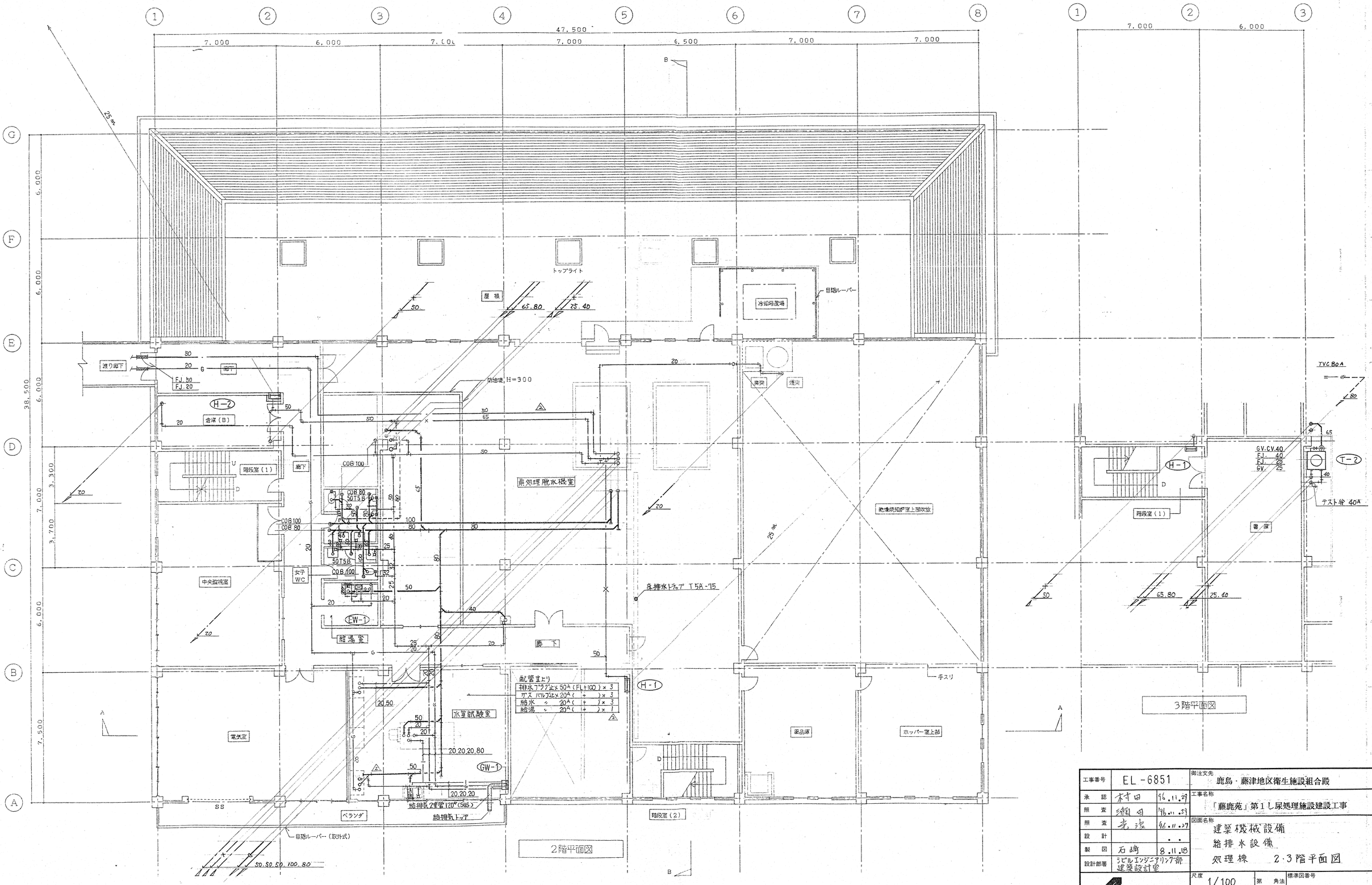
尺度 1/100 第 角法 標準図番号

図面番号 WR-141410 ⚠

出図年月日 整理番号

NES NF3016A ⚠

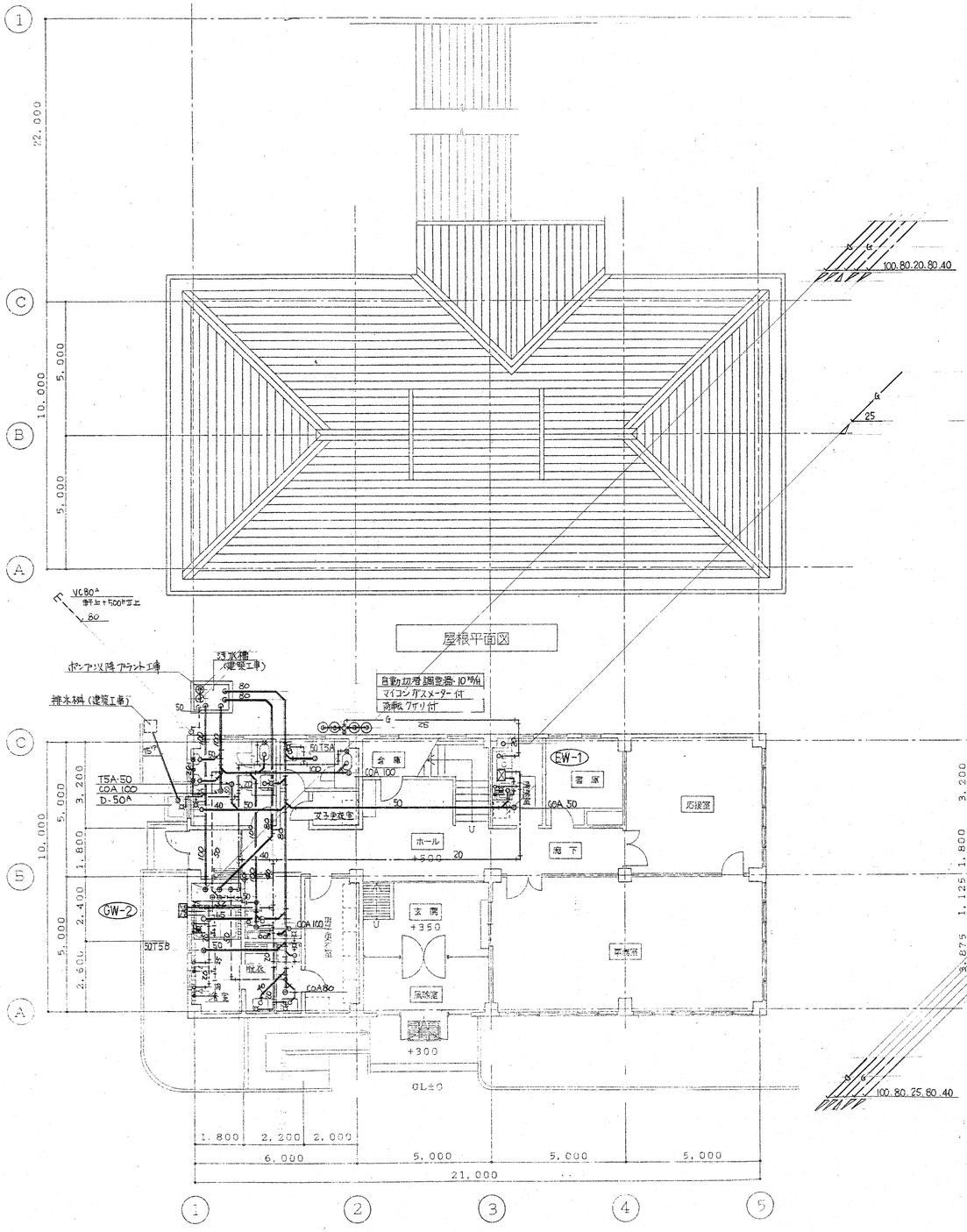
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠1	水質試験室訂正		H9.7.24
⚠2	〃 他部屋訂正		H10.3.12



工事番号	EL-6851	発注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	細田	96.11.27	
照査	光瀬	96.11.27	図面名称 建築機械設備 給排水設備 処理棟 2・3階平面図
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	ラビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-141510 ⚠1
			出図年月日 整理番号

NES NF7016A ⚠

図面来歴				
記号	記事	署名		年月日
△				



工事番号	EL-6851	
承認	林田	96.11.29
照査	瀬田	96.11.29
照査	宍道	96.11.29
設計		
製図	石崎	8.11.18
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室	

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築機械設備 給排水設備 管理棟 1階・2階平面図

NKK 日本鋼管株式会社

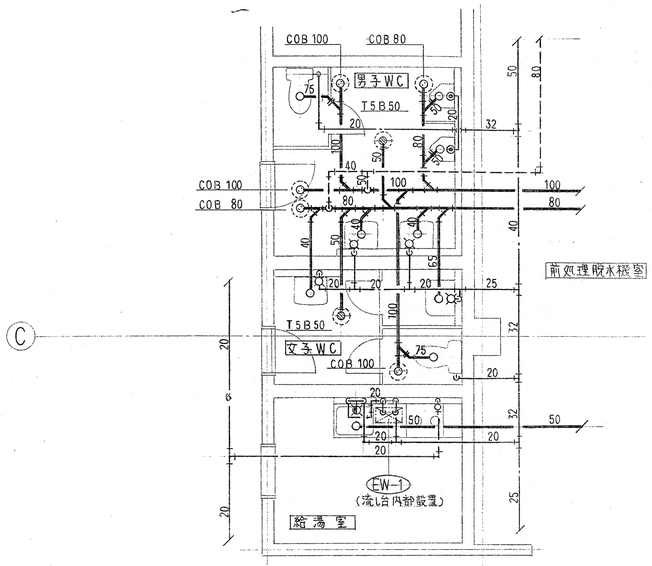
尺度	1/100	第	角法	標準図番号
図面番号	WR－141620			△1

出図年月日 | 整理番号

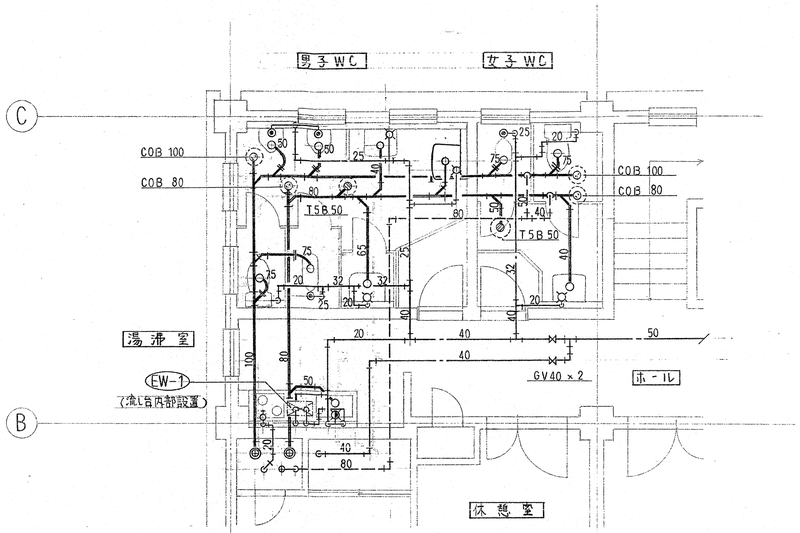
NES NF2706A △

140

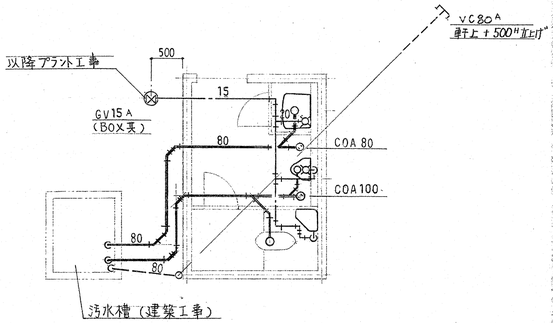
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



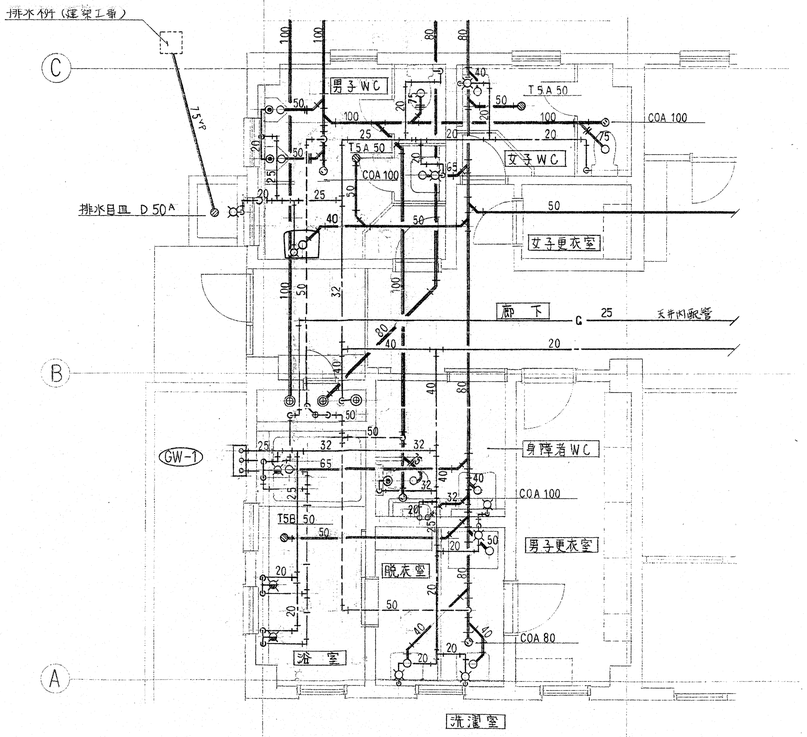
処理棟 2階便所廻り平面詳細図 1/50



管理棟 2階便所廻り平面詳細図 1/50



屋外便所平面詳細図 1/50



管理棟 1階便所・浴室廻り平面詳細図 1/50

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.31	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	細川	'97.3.31	図面名称 建築機械設備 給排水設備 処理棟・管理棟・屋外 便所平面詳細図
照査	光波	'97.3.31	
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/50 第一角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-141700 △1
			出図年月日 整理番号

NES NF2916A △

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

機器表

NO	機器名称	仕様	数量	設置場所	備考
OU－1	空調機	空冷ヒートポンプ式ビルマルチエアコン 屋外機	1	管理棟 屋外	
		Ⓒ 67.2 KW (60.000 Kcal/H) Ⓗ 75.0 KW (67.200 Kcal/H)			
		3φ 200V COP 18.2 KW			
		FAN 1.02 KW			
		防振架台，コンクリート基礎 (200H)			
AC－1	〃	空冷ヒートポンプ式ビルマルチエアコン 室内機	1	男子更衣室	
		天井カセット 2方向吹出			
		Ⓒ 2.8 KW (2500 Kcal/H) Ⓗ 3.2 KW (2800 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 15W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC－2	〃	〃 〃 室内機	1	管理棟 事務室	
		天井カセット 4方向吹出			
		Ⓒ 4.5 KW (4.000 Kcal/H) Ⓗ 5.0 KW (4.500 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 45W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC－3	〃	〃 〃 室内機	4	〃 事務室	
		天井カセット 4方向吹出		応接室	
		Ⓒ 5.6 KW (5.000 Kcal/H) Ⓗ 6.3 KW (5600 Kcal/H)		会議室 x2	
		1φ 200V FAN 45W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC－1	〃	〃 〃 室内機	3	〃 小会議室	
		天井カセット 4方向吹出		会議室 x2	
		Ⓒ 7.1 KW (6300 Kcal/H) Ⓗ 8.0 KW (7100 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 45W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC－5	〃	〃 〃 室内機	7	処理棟 各室	
		天井カセット 4方向吹出			
		Ⓒ 8.0 KW (7.100 Kcal/H) Ⓗ 9.0 KW (8.000 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 45W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC－6	〃	〃 〃 天井カセット 2方向吹出 室内機	1	管理棟 休憩室	
		Ⓒ 3.6 KW (3150 Kcal/H) Ⓗ 4.5 KW (4.000 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 15W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			
AC 7	〃	〃 〃 〃 〃	1	〃 和室	
		Ⓒ 4.5 KW (4.000 Kcal/H) Ⓗ 5.0 KW (4500 Kcal/H)			
		1φ 200V FAN 20W			
		化粧パネル，リモコンスイッチ			

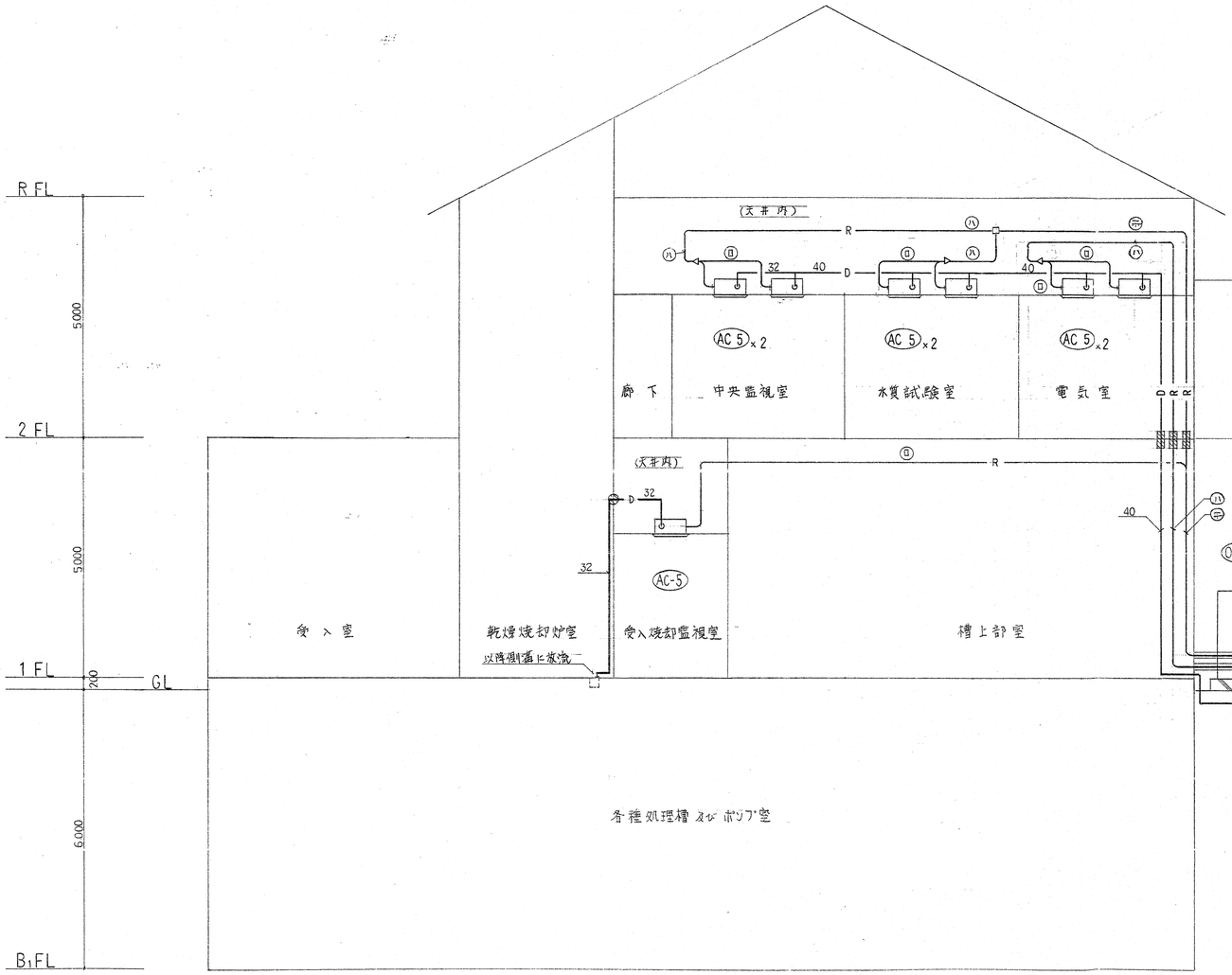
NO	機器名称	仕様	数量	設置場所	備考
OU－2	空調機	空冷ヒートポンプ式ビルマルチエアコン 屋外機	1	処理棟 地上機械内	
		Ⓒ 45.0 KW (40.000 Kcal/H) Ⓗ 50.0 KW (45.000 Kcal/H)			
		3φ 200V COP 12.0 KW			
		FAN 0.68 KW			
		防振架台，コンクリート基礎 (200H)			
OU－3	〃	〃 〃 年間冷房専用 屋外機	1	〃	
		Ⓒ 22.4 KW (20.000 Kcal/H)			
		3φ 200V COP 5.7 KW			
		FAN 0.34 KW			
		防振架台，コンクリート基礎 (200H)			

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	木下	'96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	緒田	'96.11.29	
照査	光浪	'96.11.27	図面名称 建築機械設備 空調設備 機器表
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 — 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－142000 △1
			出図年月日 整理番号

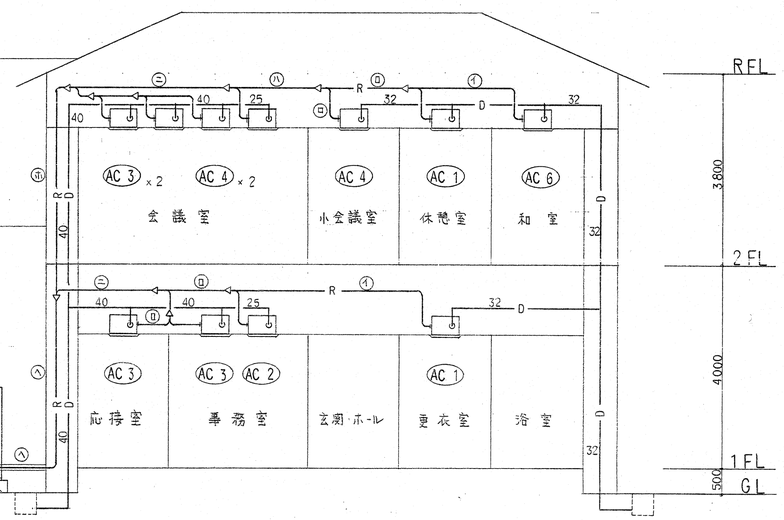
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

凡例

記号	名称	材質・仕様
——R——	冷媒用配管	空調用銅管 （CUP）
——D——	ドレン管	硬質塩化ビニル管 （VP）
▨	防火区画貫通処理	BCJ 防災工法による耐火スリーブ
◎	防臭区画貫通処理	スリーブ穴埋め コーキング処理



処理棟



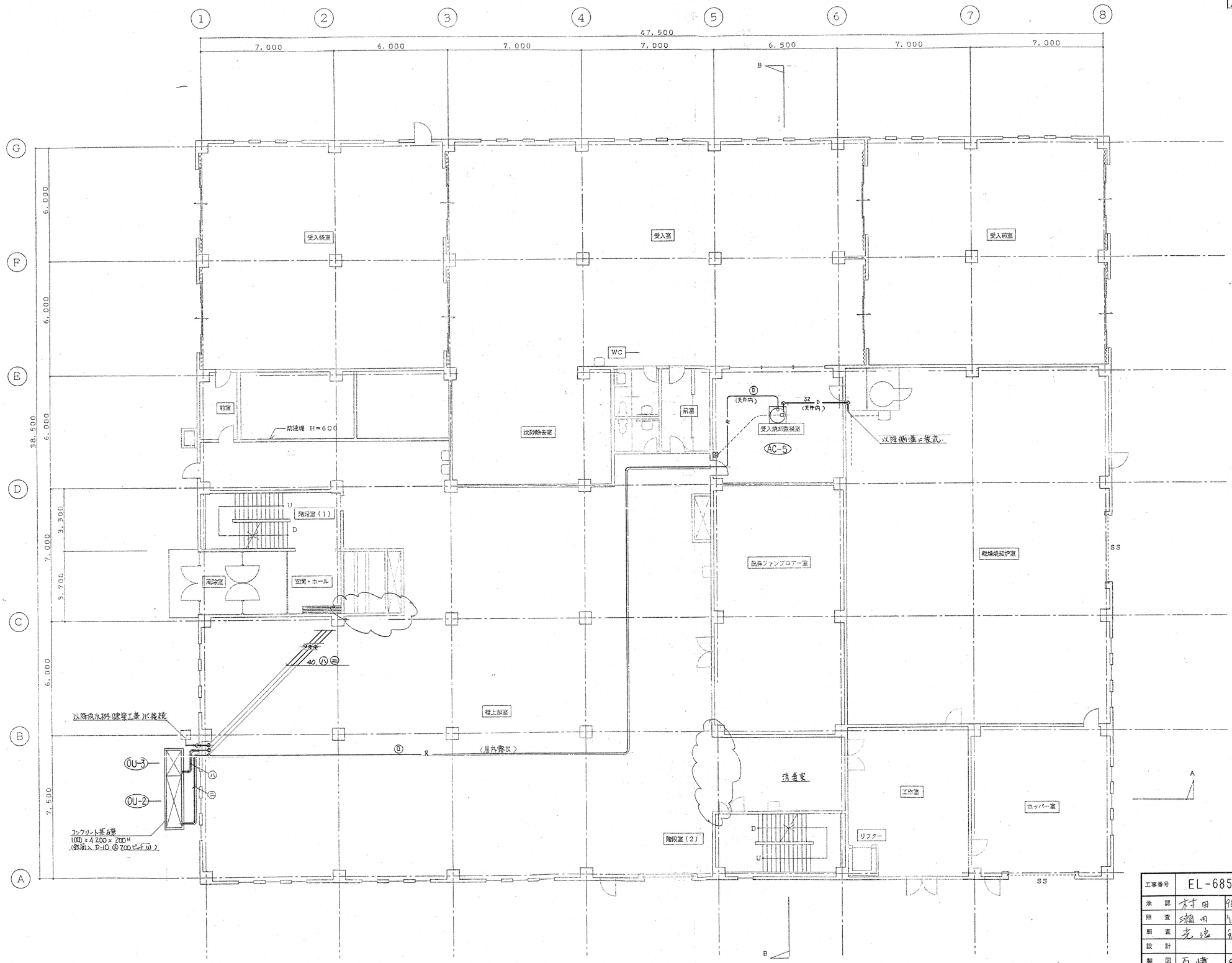
管理棟

空調設備系統図

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '97.3.3	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	畑田 '97.3.3	図面名称	建築機械設備 空調設備 系統図・凡例
照査	光治 '97.3.3		
設計			
製図	石崎 8.11.18		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 —	第 角法 標準図番号
		図面番号	WR－142100 △1
		出図年月日	整理番号

NES NF3016A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	間仕切変更	村田	H9.9.24



工事番号	EL-6851		
承認	木村	96.11.29	
照査	織田	96.11.29	
照査	光流	96.11.27	
設計		. .	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築機械設備 空調設備 処理棟 1階平面図

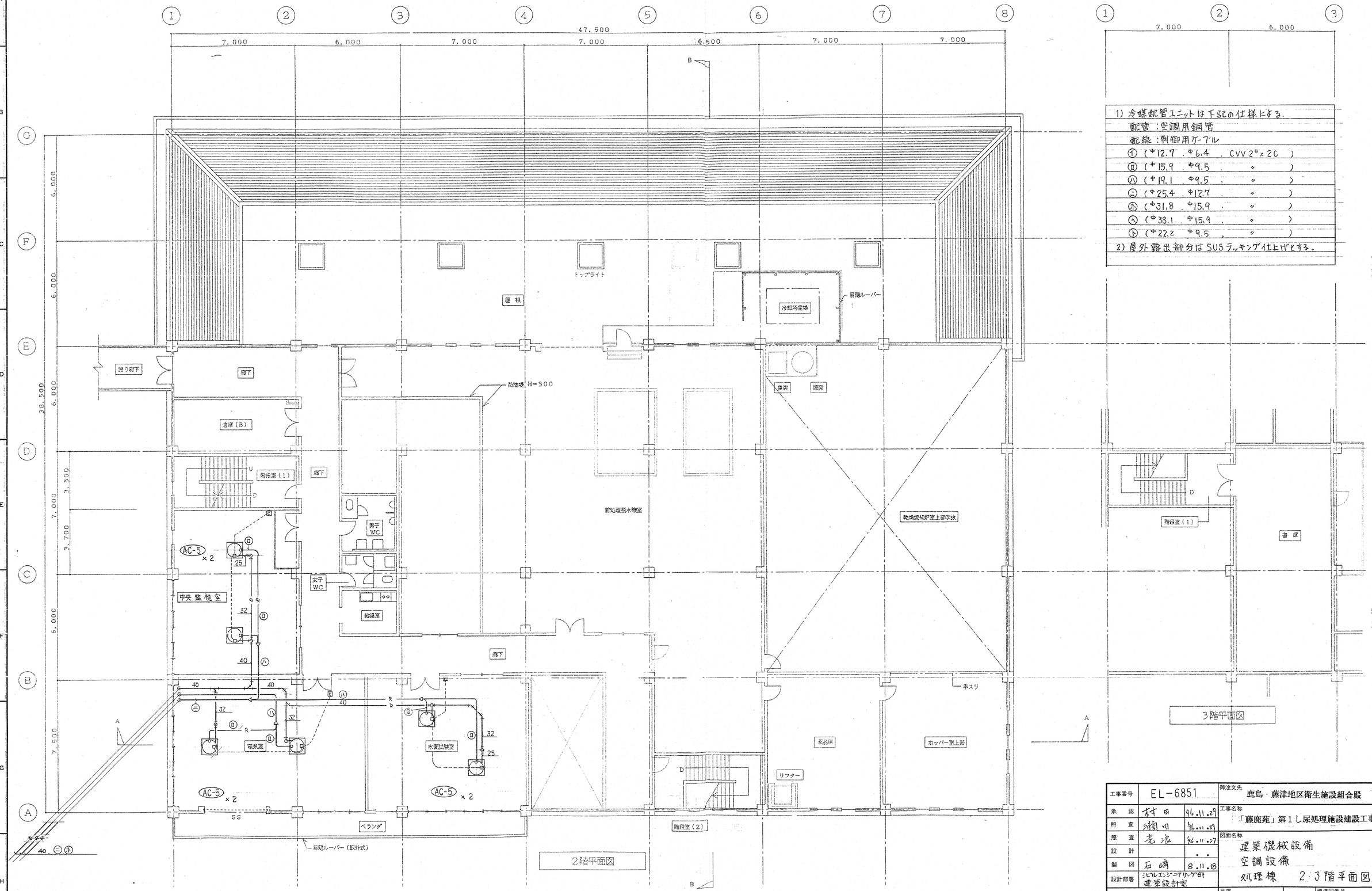
尺度: 1/100　第　角法　標準図番号

図面番号: WR-142210 ⚠

出図年月日　整理番号

NES NF2016A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	水質試験室 南仕切変更	村田	97.9.24



1) 冷媒配管ユニットは下記の仕様による.

配管：空調用銅管

配線：制御用ケーブル

㋑	(Φ12.7	Φ6.4	CVV 2C×2C)
㋺	(Φ15.9	Φ9.5	〃)
㋩	(Φ19.1	Φ9.5	〃)
㋥	(Φ25.4	Φ12.7	〃)
㋭	(Φ31.8	Φ15.9	〃)
㋬	(Φ38.1	Φ15.9	〃)
㋣	(Φ22.2	Φ9.5	〃)

2) 屋外露出部分はSUSラッキング仕上げとする.

工事番号	EL-6851		
承認	村田	96.11.29	
照査	細川	96.11.27	
照査	志波	96.11.27	
設計		. .	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	ビルエンジニアリング部 建築設計室		

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：建築機械設備 空調設備 処理棟 2・3階平面図

NKK 日本鋼管株式会社

尺度：1/100　第　角法　標準図番号

図面番号：WR-142310　⚠

出図年月日　整理番号

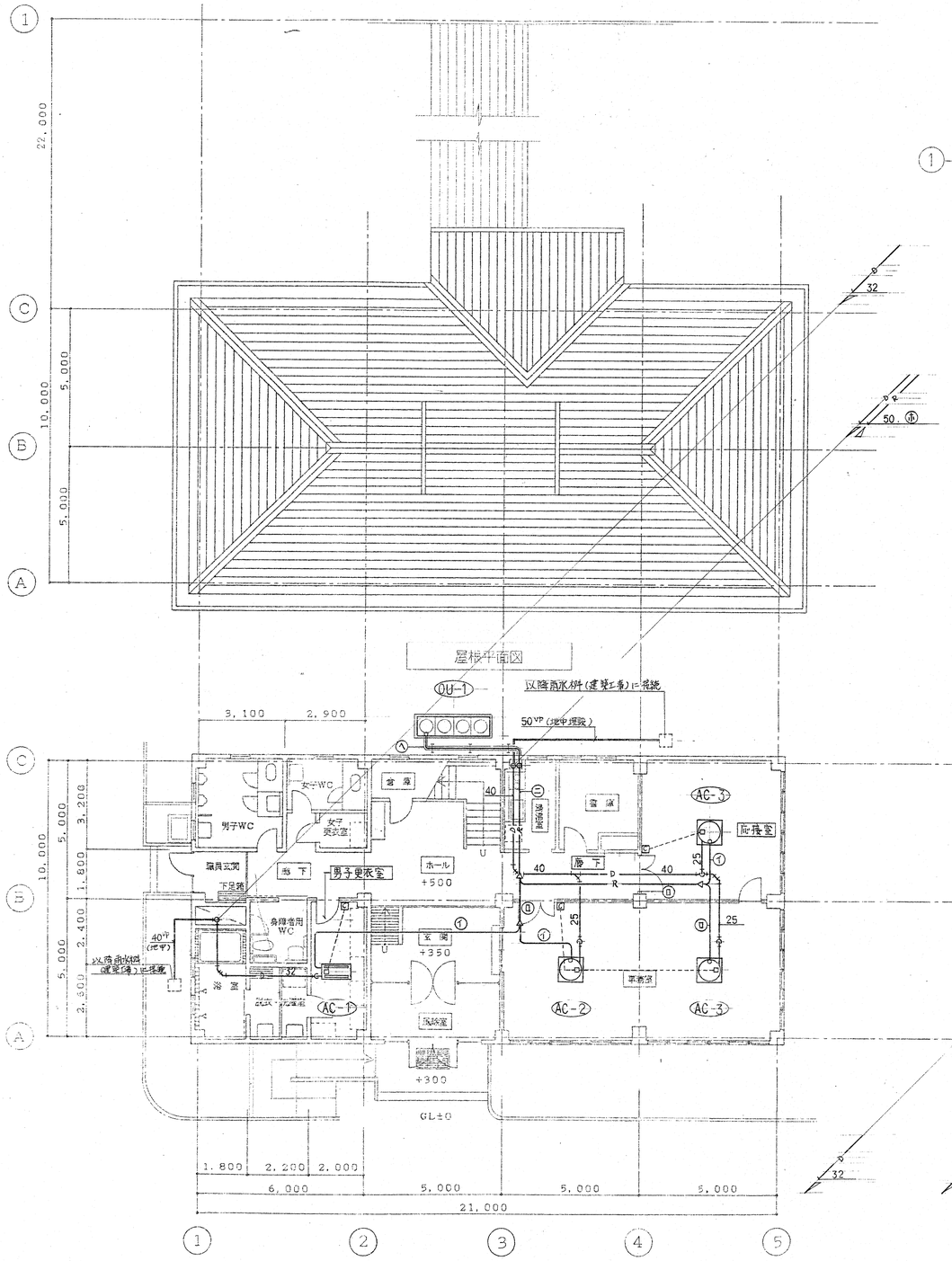
NES NF2016A

145

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

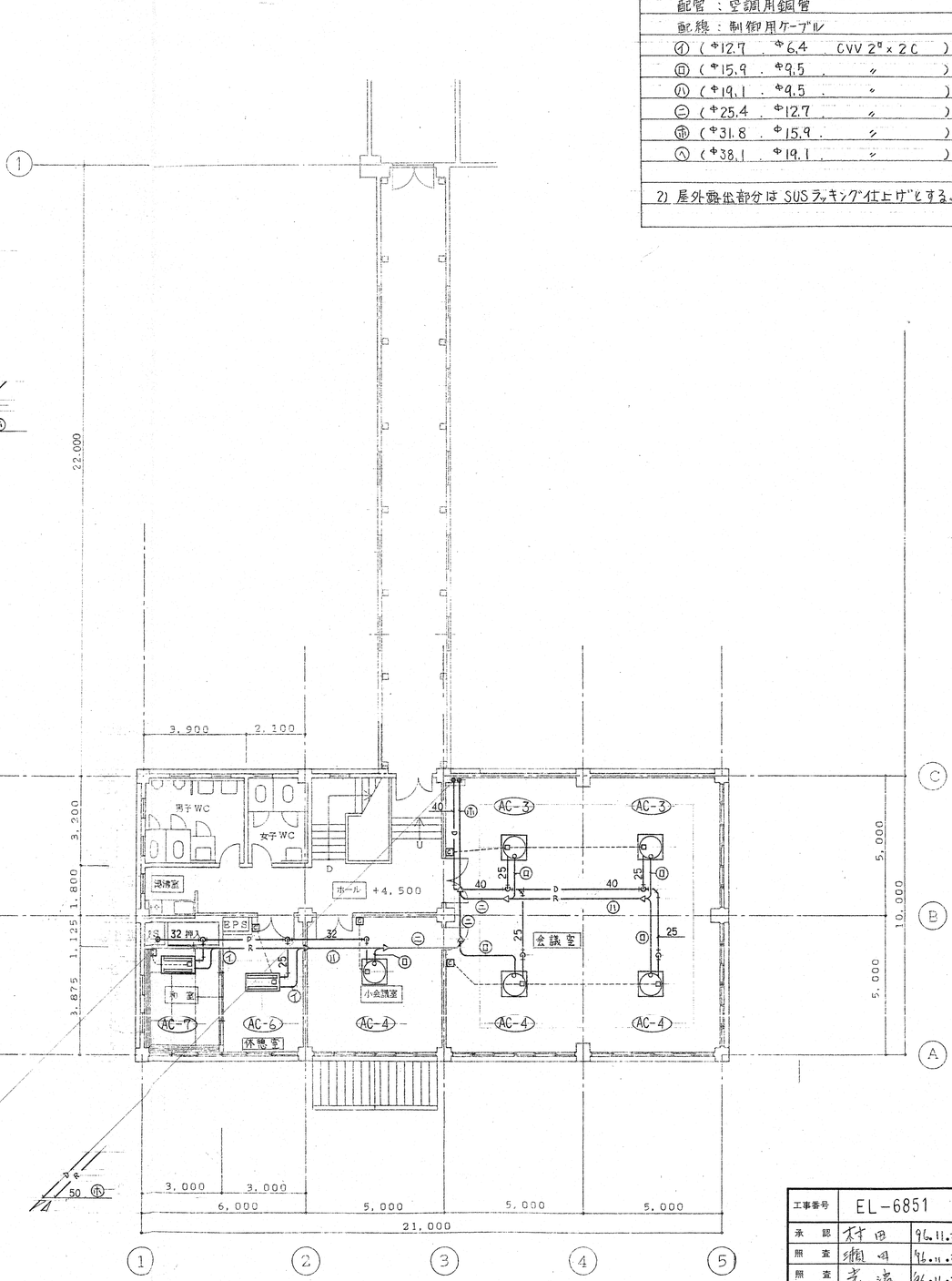
1) 冷媒配管ユニットは下記の仕様による。
配管：空調用銅管
配線：制御用ケーブル
㋑（φ12.7 . φ6.4 . CVV 2ᶜ × 2C ）
㋺（φ15.9 . φ9.5 . 〃 ）
㋩（φ19.1 . φ9.5 . 〃 ）
㋥（φ25.4 . φ12.7 . 〃 ）
㋭（φ31.8 . φ15.9 . 〃 ）
㋬（φ38.1 . φ19.1 . 〃 ）

2) 屋外露出部分はSUSラッキング仕上げとする。



屋根平面図

1階平面図



2階平面図

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
無査	細田	96.11.29	図面名称 建築機械設備 空調設備 管理棟 1・2階平面図
無査	光治	96.11.27	
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	ビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-142420 △1
			出図年月日 整理番号

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	EF-2 ×1台追加	[illegible]	97.9.24

機器表

NO	機器名称	仕様	動力 (KW)	(φ)	(V)	数量 台	設置状況 床置	設置状況 天吊	設置場所	備考
OF－1	給気ファン	消音型ストレートシロッコファン SS #2 × 4.300 m³/H × 10 mmAq (58 dB)	1.00	3	200	1		○	脱臭ファンプロア室	
OF－2	〃	〃 〃 SS #1¾×1500 m³/H ×10 mmAq (49 dB)	300W	1	100	1		○	1階工作室	
OF－3	〃	〃 〃 SS 1½ × 1000 m³/H ×12 mmAq (36 dB)	150W	1	100	3		○	2階廊下 書庫	
EF－1	排気ファン	低騒音型天井扇（プラスチックタイプ） 100φ × 125 m³/H × 4.6 mmAq (37dB)	16W	1	100	5		○	管理棟	
EF－2	〃	〃 （ 〃 ） 150φ × 220 m³/H × 5 mmAq (34dB)	28W	1	100	5⚠		○	便所	
EF－3	〃	〃 （ 〃 ） 150φ × 340 m³/H × 5 mmAq (38dB)	46W	1	100	4		○	便所	
EF－4	〃	深形レンジフードファン 150φ × 460 m³/H × 10 mmAq (47dB)	88W	1	100	3		○	各階湯沸室	
EF－5	〃	パイプファン（電気式シャッター付） 100φ × 50 m³/H × 1.1 mmAq (28dB)	48W	1	100	1	外壁		管理棟 倉庫	
EF－6	〃	消音型ストレートシロッコファン SS #1½ × 750 m³/H × 10 mmAq (32dB)	65W	1	100	1		○	2階倉庫	
EF－7	〃	〃 〃 SS #1½ × 1000 m³/H × 12 mmAq (36dB)	150W	1	100	1		○	3階書庫	
EF－8	〃	〃 〃 SS #2 × 4300 m³/H × 10 mmAq (58 dB)	1.00	3	200	1		○	脱臭ファンプロア室	

NO	機器名称	仕様	動力 (KW)	(φ)	(V)	数量 台	設置状況 床置	設置状況 天吊	設置場所	備考
EF－9	排気ファン	消音型ストレートシロッコファン SS 1¾ × 1500 m³/H × 10 mmAq (49 dB)	300W	1	100	1		○	1階工作室	
EF－10	排気ファン	有圧扇（低騒音タイプ） 300φ × 1700 m³/H × 3 mmAq (45dB) 電気式シャッター.	50W	1	100	1	壁付		2階薬品庫	
EF－11	〃	〃 （ 〃 ） 600φ × 5.700 m³/H × 11 mmAq (55dB) バックガード共	0.4	3	200	6	〃		焼却炉室	
AF－1	空調用換気扇	天井埋込形 150φ × 150 m³/H × 7 mmAq リモコンスイッチ, 給排気グリル共	109W	1	100	1		○	管理棟 応接室	
AF－2	〃	〃 150φ × 250 m³/H × 10 mmAq 〃 〃	135W	1	100	1		○	受入焼却監視室	
AF－3	〃	〃 150φ × 350 m³/H × 14 mmAq 〃 〃	172W	1	100	3		○	中央監視室 管理棟 事務室 小会議室	
AF－4	〃	〃 200φ × 650 m³/H × 16 mmAq 〃 〃	410W	1	100	2		○	〃 会議室	
AF－5	〃	〃 250φ × 800 m³/H × 16 mmAq 〃 〃	600W	1	100	2		○	処理棟 電気室 〃 水質試験室	
AF－6	〃	天井カセット形 100φ × 100 m³/H × 4 mmAq リモコンスイッチ	48W	1	100	2		○	和室 休憩室	
AF－7	〃	〃 100φ × 110 m³/H × 5.2 mmAq リモコンスイッチ, 給気グリル付	48W	1	100	1		○	男子更衣室	

工事番号	EL－6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	畑田	96.11.29	図面名称 建築機械設備 換気設備 機器表
照査	光治	96.11.27	
設計		・・	
製図	石橋	8.11.18	
設計部署	プラントエンジニアリング部 建築設計室		尺度 — 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR－143000 ⚠
			出図年月日 整理番号

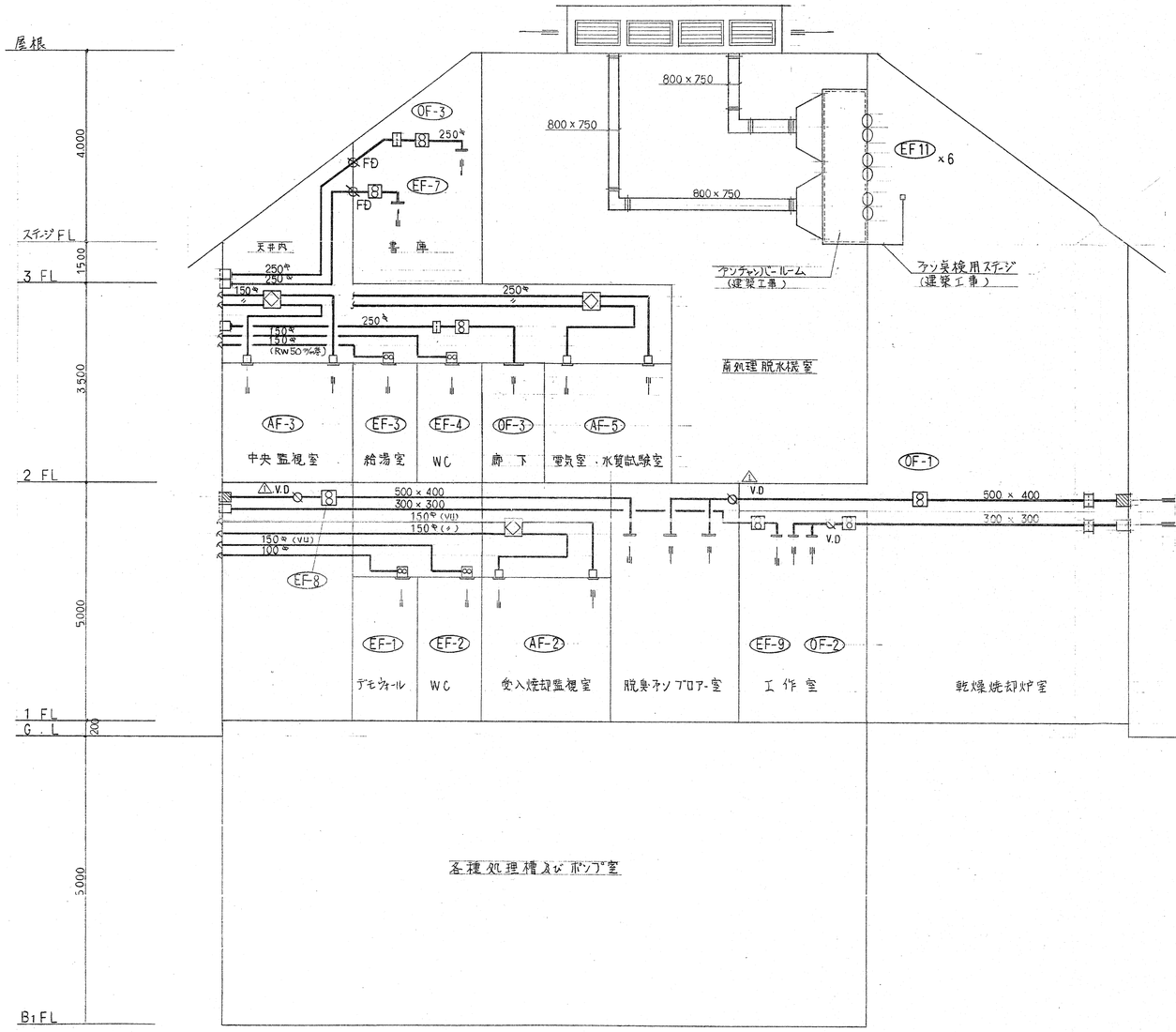
NES NF7016A ⚠

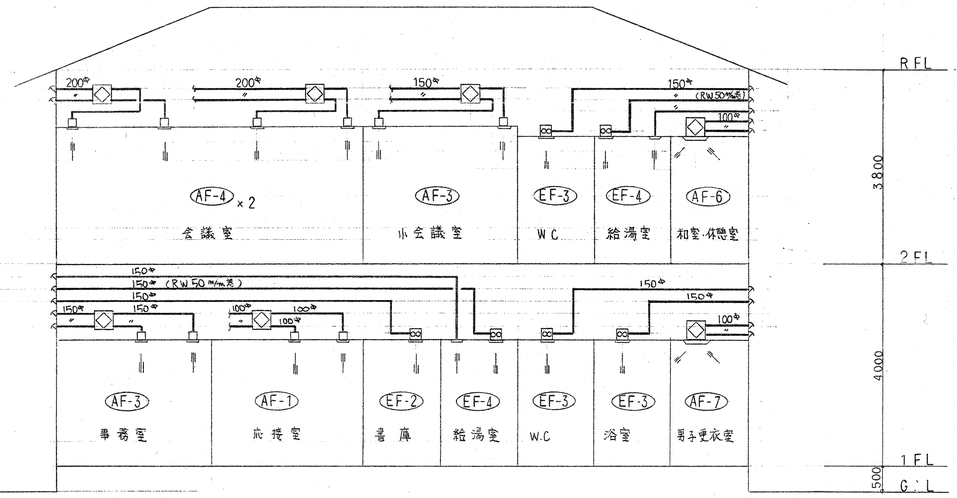
147

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	防火区画、変更による訂正		97.9.24

凡例

記号	名称	材質・仕様
○×○	角ダクト	ダクト用亜鉛鍍鋼板
○φ	丸ダクト	スパイラルダクト（S.S）、塩ビダクト（VU）
F.D	ファイヤーダンパー	
F.V.D	ファイヤー・ボリュームダンパー	
V.D	ボリュームダンパー	
	防虫網逆流ユニット	防虫網 SUS メッシュ #10
	換気扇（壁取付）	
	天井扇	
	ダクトファン	
	空調用換気扇	
	吹出口・吸込口	
	ベンドキャップ	深型・防虫網付（SUS製）



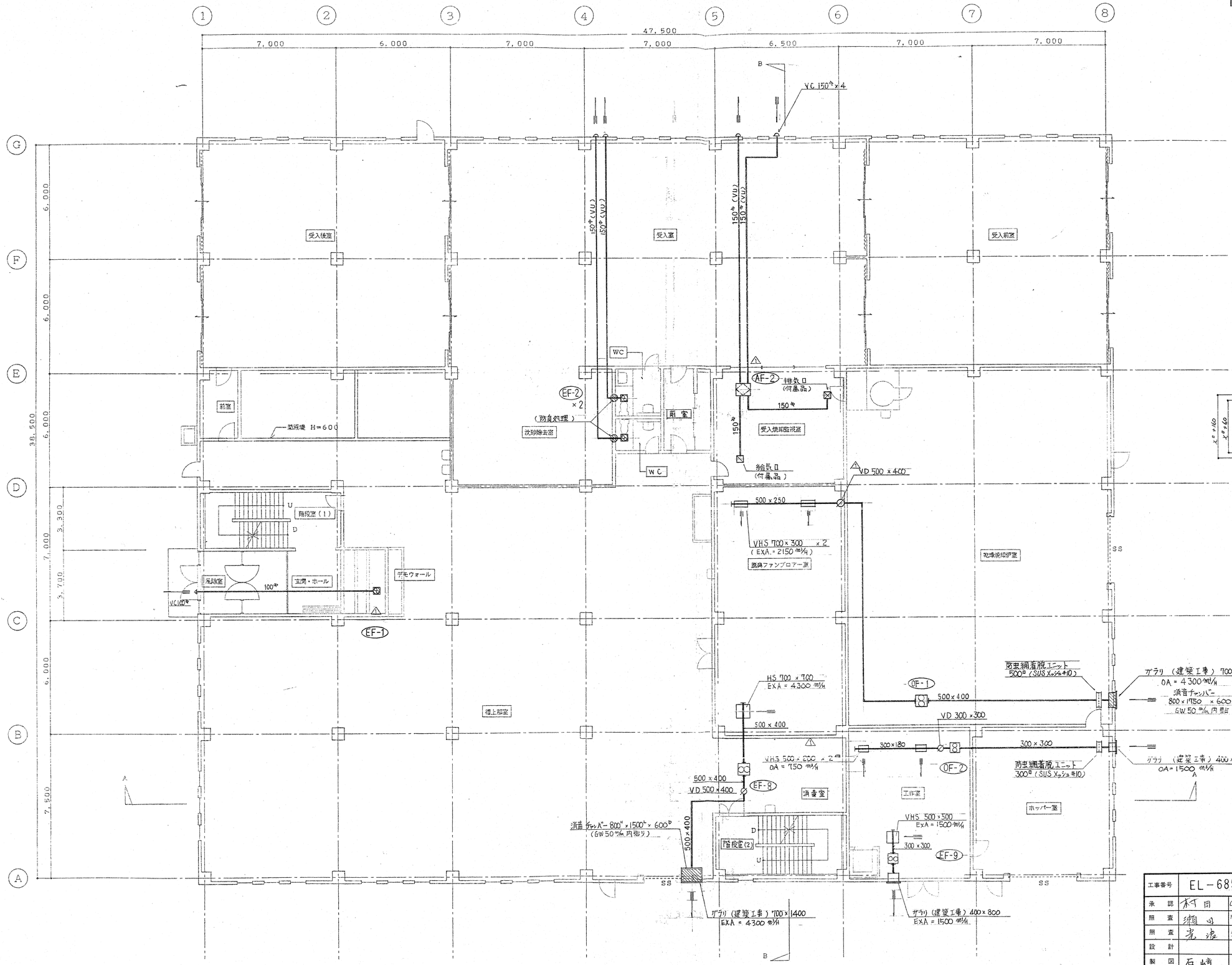


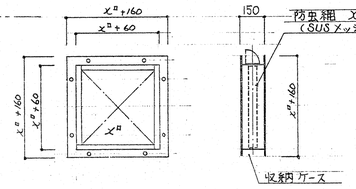
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.3	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	神園	'97.3.31	
照査	岩浪	'97.3.31	図面名称 建築機械設備 換気設備 系統図・凡例
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 ——	第 角法 標準図番号
		図面番号	WR－143100 ⚠
		出図年月日	整理番号

NES NF27036A ⚠

148

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	開仕切変更、消音室 EF-2 減、等		97.9.24





防虫網着脱ユニット詳細図 1/20

工事番号	EL－6851		
承認	村田	96.11.29	
照査	瀬田	96.11.29	
照査	光浪	96.11.27	
設計		・・	
製図	石山商	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築機械設備 換気設備 処理棟 1階平面図

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR－143310	⚠	
出図年月日		整理番号	

NES NF3706A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠1	水質試験室 床仕切変更	村田	97.9.24
⚠2	倉庫ダクトサイズ変更 (150φ→200φ)		1110.3.12
⚠3	倉庫ダクト経路変更・FD追加		〃
⚠4	水質試験室 吸気追加		〃

47,500
7,000 / 6,000 / 7,000 / 7,000 / 6,500 / 7,000 / 7,000

38,500
6,000 / 6,000 / 6,000 / 7,000 / 3,300 / 3,700 / 6,000 / 7,500

トップライト
屋根
B
400×800 ガラリ(建築工事) OA=1000㎥/h
400×800 ガラリ(建築工事) OA=1000㎥/h
防虫網着脱ユニット 300□(SUS メッシュ#10)
逆り廊下
廊下
VC200φ×1
倉庫(B)
EF-6
200φ
250φ
OF-8
250φ
250φ
VHS 400×400 OA=1000㎥/h
防油堤 H=300
冷却塔置場
目隠しルーバー
昇降
煙突
階段室(1)
廊下
VC150φ×5
150φ
150φ
150φ
150φ
150φ
150φ
AF-3
150φ(RW50㎜保温)
中央監視室
250φ
400×800 ガラリ(建築工事) OA=1000㎥/h
男子 WC
女子 WC
給湯室
EF-3
EF-2
EF-4
800×750
800×750
800×750
前処理脱水機室
キャンティバー ルーム (建築工事)
EF-11 ×6
排気ファン3段設置
上部排気塔屋
乾燥焼却炉室上部吹抜
廊下
給気口(消音器) 250φ
VHS400φ×2
350×200
350×350
250φ
250φ
250φ
250φ
250φ
250φ
電気室
水質試験室
AF-5
AF-5
排気口(消音器)
ベランダ
SS
VC250φ×4
目隠しルーバー(取付式)
防虫網着脱ユニット 400□(SUSメッシュ#10)
2階平面図
VHS 400×400 OA=1000㎥/h
250φ
防虫網着脱ユニット 300□(SUSメッシュ#10)
OF-3
400×800 ガラリ(建築工事) OA=1000㎥/h
階段室(2)
EF-10
手すり
薬品庫
ホッパー室上部
A
B

換気計算

1) 湯沸室 V=40·K·Q
K=12.9 ㎥/kg
Q=ガスコンロ = 0.40 kg/H
∴ V=40×12.9×0.40
=206.4 ㎥/H
使用ファン(EF-4) 風量 460 ㎥/H > V

2) 水質試験室 V=40·K·Q
K=12.9
Q=実験用ガスカラン = 0.18×4 = 0.72
∴ V=40×12.9×0.72
=371.5 ㎥/H
これより使用フード風量 1500 ㎥/H > V

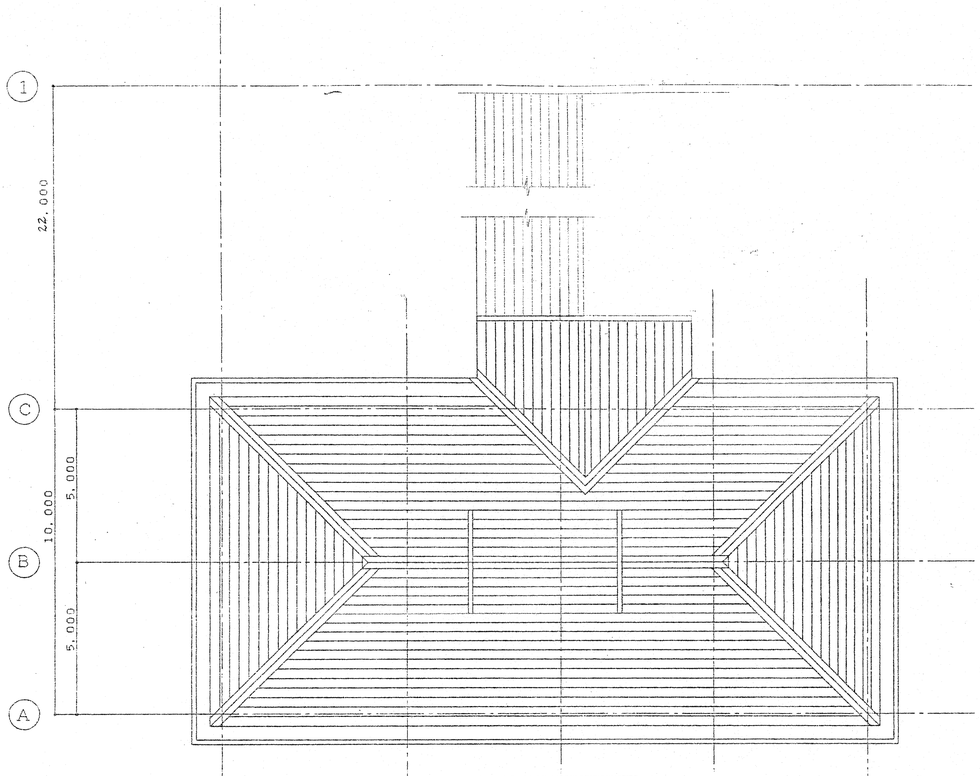
防虫網着脱ユニット 300□(SUSメッシュ#10)
250φ
FD
OF-3
VHS 400×400 OA=1000 ㎥/H
階段室(1)
倉庫
250φ
VHS 300×300 EXA=1000 ㎥/H
EF-7
FD
250φ
250φ
3階平面図

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.26	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	村田	96.11.27	図面名称 建築機械設備 換気設備 処理棟 2階及び3階平面図
照査	光流	96.11.27	
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度 1/100 第角法 標準図番号
			図面番号 WR-143410 ⚠1
			出図年月日 整理番号

NES NF3010A ⚠
A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

換気計算
1) 湯沸室　V = 40KQ
K = 12.9 m³/KJ
Q：ガスコンロ = 0.40 KJ/h
∴V = 40 × 12.9 × 0.40
= 206.4 m³/h
便用ファン (EF-4) 風量 460 m³/h > V



工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬田	96.11.29	
照査	光康	96.11.27	図面名称 建築機械設備 換気設備 管理棟　1・2階平面図
設計		・・	
製図	石崎	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/100　第　角法　標準図番号
		図面番号	WR－143520　△1
		出図年月日	整理番号

「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設　　工事設計図

仕様書

1.工事概要

1．工事場所　佐賀県鹿島市大字中村 641番地1

2．建物概要

建物名称	構造	階数	延面積 (m²)	消防法施行令別表第一	備考
処理棟	RC	3 階建（地下1階塔屋 階）		15項	
管理棟	RC	2 階建（地下 階塔屋 階）		〃	別棟
		階建（地下 階塔屋 階）			

（（注）延面積は建築基準法による表記）

3．工事種目（⊙印のついたものを適用する）

建物別及び屋外 ＼ 工事種別	工事種別					屋外
⊙電灯設備	-式					
⊙動力設備	-式					
・避雷設備	-式					
・受変電設備	-式					
・静止形電源設備	-式					
・自家発電設備	-式					
・構内交換設備	-式					
・構内情報通信網設備	-式					
⊙電気時計・拡声設備	-式					
⊙表示設備	-式					
⊙インターホン設備	-式					
⊙テレビ共同受信設備	-式					
・監視カメラ設備	-式					
・駐車場管制設備	-式					
⊙火災報知設備	-式					
・防犯設備	-式					
・中央監視制御設備	-式					
・入退室管理設備	-式					
⊙ガス漏れ警報設備	-式					
・						
・						
・構内配電線路						-式
・構内通信線路						-式
・テレビ電波障害防除設備						-式

4．指定部分　・無　・有（　　）

5．工事範囲

6．設備概要（本工事における、工事種目ごとの概要を示すもので、仕様を規定するものではない。）
（1）項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
（2）設備概要は、⊙印の付いたものを適用する。

種目	項目	設備概要
電灯設備	① 電気方式	幹線 ⊙単相3線式200／100V ・直流2線式100V ・ 分岐 ⊙単相2線式100V ・直流2線式100V ・ ⊙単相2線式200V ・ ・
	② 非常照明器具	⊙電池内蔵形 ・電源別置形
動力設備	① 電気方式	幹線 ⊙三相3線式200V ・ 分岐 ⊙三相3線式200V ・
	2 空調概要	・空調（ダクト、ファンコイル併用方式） ・空調（ダクト方式） ・パッケージ方式 ・温風暖房
避雷設備	1 受雷部	・突針 ・棟上導体 ・金属製手摺、笠木（別途）等
	2 避雷導線	・引下げ導線 ・建築構造体利用
	3 接地極	・接地極埋設 ・建築構造体利用
受変電設備	1 電気方式	高圧 ・三相3線式 6kV 低圧 ・三相3線式 200V ・単相3線式 200／100V
	2 主遮断装置	定格遮断電流（ kA以上） ・PF-S形 ・CB形
	3 設備容量	・変圧器総容量（ kVA） ・高圧電動機容量（ kW）
	4 進相コンデンサ	・高圧 ・低圧 自動力率制御 ・有 ・無
静止形電源設備	1 直流電源装置	用途 ・非常照明器具電源および受変電設備制御電源共用 ・受変電設備制御電源専用 ・ 蓄電池 ・HS形鉛蓄電池 ・MSE形鉛蓄電池
	2 UPS装置	出力電気方式 ・単相2線式 ・単相3線式 ・三相3線式 出力電圧 ・100V ・200／100V ・200V 定格出力（ kVA）

種目	項目	設備概要
自家発電設備	1 運転形態	・非常用 ・常用 ・常用非常用兼用
	2 形式	・キュービクル形 ・簡易形 ・オープン形
	3 発電機	電気方式 三相3線式 電圧（ V） 周波数（ Hz） 定格出力（ kVA以上）
	4 原動機	種類 ・ディーゼル機関 ・ガスタービン 定格出力（ PS以上） 始動方式 ・電気式 ・空気式 冷却方式 ・水冷循環式 ・ラジエータ式 （ディーゼル機関の場合）
	5 燃料	種類 ・軽油 ・A重油 ・灯油 ・燃料小出槽（ l） ・主燃料槽（ l） ・専用 ・共用
通信・情報設備	1 構内交換装置	種類 ・ボタン電話装置 ・電子交換機（・分散中継台方式 ・中継台方式 ・ ） 回線数 ・局線（ ／ 回線以上） ・専用線（ ／ 回線以上） ・内線（ ／ 回線以上） ・データ端末内線（ ／ 回線以上）
	② 電話機	⊙ボタン電話機（角線形） ・内線電話機 ・多機能電話機
	3 構内LAN	種類（・10BASE-T ・10BASE-5 ・10BASE-2 ・FDDI ・ ・ ）
	④ 時計	回線数（ 回線） ⊙壁掛形（電波式） ・フック形 ・自立形
	⑤ 増幅器	出力（ W） ⊙一般放送用 ・非常放送用 ・併用
	⑥ 表示器	・パルス伝送方式 ・多線直接式 ⊙多機能便所呼び表示 ・LED表示 ・マグネット表示
	⑦ インターホン	⊙戸内連絡用 ・身体障害者用 ・夜間受付用 ⊙保守用 ・ ・
	⑧ アンテナ	⊙VHF ⊙UHF ・BS ⊙AM ⊙FM ・ ・
	9 監視カメラ装置	・カラー ・白黒
	10 駐車場管制装置	車両検出方式 ・光電式 ・ループコイル式
火災報知設備	① 火災報知装置	⊙受信機（P形1級 ZD回線） ⊙単独 ・複合 ⊙副受信機（ZD回線）
	2 自動閉鎖装置	連動制御盤（ 回線） ・単独 ・火報盤と一体形
	③ ガス漏れ警報装置	ガスの種類 ・都市ガス ⊙LPG 監視方式 ・個別式 ⊙集中監視式 ・受信機（ 形 回線） ・火報盤と一体形 ⊙単独
	4 非常警報装置	非常ベル
防犯設備	1 工事範囲	・配管のみ ・機器実装
	2 感知センサー	・マグネット式 ・赤外線式 ・
	3 受信機	回線数（ 回線）
中央監視制御設備	1 監視方式	・警報盤（壁掛形 窓） ・表示操作盤 ・監視制御装置
	2 監視制御対象設備	・電灯設備 ・動力設備 ・受変電設備 ・自家発電設備 ・火災報知設備 ・ ・ ・
構内配電線路	1 電気方式	・三相3線式 6kV ・三相3線式 200V ・単相2線式 200V ・単相3線式 200／100V ・単相2線式 100V ・
	2 配線方式	・地中線式 ・架空線式
	3 装柱器材	・一般形 ・耐塩形（ケーブル端末処理材共）
構内通信線路	1 配線方式	・地中線式 ・架空線式
テレビ電波障害防除設備	1 調査工事	・事前 ・中間 ・事後
	2 防除工事種別	・アンテナ改善対策 ・共同受信施設対策 ・CATV

Ⅱ.工事仕様

1．一般仕様
（1）図面、特記仕様書及び現場説明書（現場説明書に対する質問回答書を含む）に記載されていない事項は、すべて、建設大臣官房官庁営繕部監修の電気設備工事共通仕様書（平成5年版）及び機械設備工事編準図（平成5年版）による。
（2）機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。なお、機械設備工事の工事仕様書は（ ／ ）図、建築工事の工事仕様書は（ ／ ）図による。

2．特記仕様
（1）項目は番号に○印のついたものを適用する。
（2）特記事項において説明する事項は、⊙印のついたものを適用する。

項目	特記事項
1 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設備機材指定表（電気の部）によるほか設計図書に規定するもの、またはこれらと同等のものとする。但し、同等のものとする場合は、総括監督員の承諾をうける。また、「建築材料・設備機材等品質評価事業」（（社）公共建築協会）によって評価を受けた機材等は、評価書の写しを監督職員に提出することにより電気設備工事共通仕様書に規定する品質・性能の確認を受けることが出来るものとする。
② 電源周波数	・50Hz ⊙60Hz
3 電気保安技術者	・おく ・おかない
4 電気工事士	契約電力500kW以上の電気工作物おいても、第一種電気工事士により施工を行う。
5 工事用電力・水その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署への諸手続き等の費用は請負者の負担とする。
⑥ 工事用仮設物	構内につくることが ⊙できる ・できない
7 完成図等	完成図及び保全に関する説明書 ・提出要 ・提出不要 完成図のマイクロフィルム ・提出不要 ・
8 足場・さん橋類	別契約の関係請負者が定置したものは、無償で使用できる。
⑨ 発生材の処理	引渡しを要するもの ⊙無 ・有（ ） ・引渡しを要するもの以外は構外搬出適切処理とし、搬出処理費は別途とする。 ・特別管理産業廃棄物（・PCB使用機器 ） PCB使用機器は関係法令等に従い適切に処理する。
⑩ 残土処理	⊙構内指示の場所に敷きならしとする。 ・構外搬出とし、搬出処理費は別途とする。
⑪ 工事写真	建設大臣官房官庁営繕部監修の「工事写真の撮り方（改訂版）」の建築設備編による。
⑫ 耐震施工	設備機器の固定は「建築設備耐震設計施工指針（建設省住宅局建築指導課監修）」による。 なお設計用水平地震力は、次に示す設計用標準水平震度に機器の質量を乗じたものとする。また設計用鉛直地震力は設計用水平地震力の1／2とする。 設計用水平震度

機器の設置階 ＼ 機器の区分	地下、1階	2階以上	最上階屋上、塔屋
重要度の高い設備機器	0.6	1.0	1.5
その他の一般機器	0.4	0.6	1.0

重要機器 ・配電盤 ・自家発電装置 ・交換機
・直流電源装置 ・UPS装置（簡易形を除く）

⑬ 電線本数管路など	分電盤、動力制御盤、端子盤などの二次側以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは、監督員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。 また、機械室等の床配線でPF管を使用し、立上げ部分を露出配管とする場合は、その部分を金属管とし、接地線を設ける。
⑭ 呼び線	長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線を挿入する。
⑮ フラッシュプレート	図面に特記のあるもの及び、特殊なものを除き ⊙金属製 ・樹脂製
⑯ フロアベース フロアプレート	・図面に特記なきものは水平高低調節付（空転防止リング付）とする。 ⊙鋳金製 ・アルミ合金製
⑰ 金属製電線管の塗装	下記の露出配管は塗装を行う。 ⊙屋外 ・屋内（電気室 発電機室 ）
⑱ 蛍光灯	蛍光灯器具の回路方式、電圧は図面に記載なき場合は下記による。

蛍光灯の種類		回路方式	電圧
ホームライト		PL	100V
壁附のランプ（ホームライトを除く）		GH	100V
直管形のランプ	15形以下	GL	100V
	20形 防雨形器具、防湿形器具、電池内蔵非常用照明器具、及び誘導灯	GL	100V
	20形（上記以外のもの）	GH	100V
	30形	GH	100V
	40形及び110形	RH	⊙200V ・ V
コンパクト形	13，18，27ワット	EL	100V
	36，55ワット	PH	100V
H1形	32／45ワット	PH	V

19 非常用照明装置の照度測定	照度測定（ 箇所以上）
㉙ 機器への接続	本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。
21 電動機等の接地	7.5kW以下で金属管配線の場合は金属管接地とする。
22 電磁開閉器用押釦スイッチ	遠方操作用押釦スイッチは運用形とする。
㉓ ローラーシャッターアウトレット ハイラーシャッターアウトレット	ローラーシャッターアウトレット 一般用（ 5 個） ハイラーシャッターアウトレット ・外部固定形 ・内部固定形 ⊙図脱形または上下形
㉔ 保安器用接地	⊙本工事 ・別途

項目	特記事項
㉕ 電話機への配線	電話機1台につき下記のものを見込む。 ⊙ボタン電話機 EBT 0.4-2P 15m ・内線電話機 TIVF0.65-2C 20m ・多機能電話機 TIVF0.65-2C 20m ・多機能電話機 EBT 0.4-2P 20m ⊙ワイヤープロテクタ（2号） 1.5m
㉖ ケーブル埋設線	地中線路には、ケーブル埋設標を設ける。 ・鉄製（ 箇所） ⊙コンクリート製（ 箇所）
27 はつり	既存のコンクリート床、壁などの配管貫通部の穴開けは、図面に特記なき場合は原則としてダイヤモンドカッターによる。
28 再使用機器	取外し再使用機器は、清掃及び絶縁抵抗測定のうえ取付ける。
29 天井上げ区分	（室名）は置天井を示し、（ ）無しの室名は二重天井を示す。
30 図示記号	電気設備工事標準図に下記のものを追加する。 照明器具（蛍光灯） 注）＊印は位置ボックスなしを示す。 天井付＊ 角形天井付＊ たて付 〃 （発電機回路） 天井付（発電機回路） 〃 （ 〃 ）＊ 天井付（発電機回路）＊ 〃 （電池内蔵形非常用照明器具） 天井付（電池内蔵形非常用＊照明器具） 〃 （ 〃 ）＊ 天井付（白熱灯組込電源別＊置形非常用照明器具） コードペンダント（ 〃 ）
㉛ 接地極	接地極の材料は下記による。なお接地線EBの長さは1,500mm以上とし、10φ、14φはW=40としてもよい。

接地の種類	記号	接地抵抗値	接地極
・共同接地	E_1 E_2 E_3	Ω以下	EB(14φ)×3連一組
・共同接地	E_1 E_3	Ω以下	EB(14φ)×3連一組
・第1種	E_1	10Ω以下	EB(14φ)×3連一2組
・第2種	E_2	30Ω以下	EB(14φ)×3連一2組
・第3種	E_3	100Ω以下	EB(10φ)×1
・特別第3種	E_{s3}	Ω以下	EB(14φ)×3連一組
・高圧避雷器	E_{LH}	10Ω以下	EB(14φ)×3連一2組
・低圧避雷器	E_{LL}	10Ω以下	EB(14φ)×3連一2組
・避雷設備	E_L	10Ω以下	EB(14φ)×3連一組
・交換機用	E_T	Ω以下	EB(14φ)×3連一組
・通信用	E_{TT}	10Ω以下	EB(14φ)×3連一2組
⊙通信用	E_{TT}, E_A	100Ω以下	EB(10φ)×1
・測定用	E_0	———	EB(10φ)×1
・			
・			

㉜ 機器取付基準　図面に記載なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合は監督員との協議による。

	名称	測点	取付高(m)
共通	取引用計器	床上～上端	2,000
	引込開閉器	床上～上端	1,800
	警報盤	床上～中心	1,500
電灯	分電盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	スイッチ（一般）	〃	1,300
	〃（身障者用）	〃	1,100
	コンセント（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
	〃（台上）	台上～中心	300
	〃（重厚）	床上～中心	1,300
	ブラケット（一般）	〃	2,100
	〃（誘導）	〃	2,500
	〃（残上）	残高～中心	150
	避難口誘導灯	床上～下端	1,500以上
	廊下通路誘導灯	床上～上端	1,000以下
動力	壁掛形制御盤	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	手元開閉器	〃	1,500
	操作スイッチ・押ボタン	〃	1,300
テレビ共聴	室内端子盤（廊下・室内）	床上～下端	300
電話	中間端子盤（EPS、電気室）	床上～中心	1,500
	集合保安器箱	〃	(天井高)×0.9
	壁付アウトレット	〃	300
	〃（一般）	〃	150
	〃（和室）	〃	

	名称	測点	取付高(m)
時計	壁掛形親時計	床上～中心	1,500 (上端1,900以下)
	〃 子時計	〃	(天井高)×0.9
拡声	壁掛形スピーカー	〃	(天井高)×0.9
表	フットスイッチ	〃	1,300
	表示盤	床上～中心	(天井高)×0.9
表示	壁付発信機	〃	1,300
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	ブザー	〃	(天井高)×0.9
	押ボタン	〃	1,300
	〃（身障者用）	〃	900
	身障者用表示灯	〃	1,800
インターホン	壁付インターホン	床上～中心	1,500
	〃（身障者用）	〃	1,100
	壁付位置ボックス（壁付インターホン除く）		
	〃（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
テレビ共聴	視聴吸容端子	床上～中心	(天井高)×0.9
	フットレット		
	〃（一般）	〃	300
	〃（和室）	〃	150
火災報知	受信機	床上～操作部	800～1,500
	副受信機	〃	800～1,500
	機器収容箱	床上～中心	800～1,500
	発信機	〃	800～1,500
	ベル	〃	(天井高)×0.9
	表示灯	〃	(天井高)×0.8
	消火栓表示灯	〃	(天井高)×0.8

備考　（天井高）×0.8　は天井高が2,500～3,000mmの場合適用する。
（天井高）×0.9

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△			

工事番号	EL-6851
承認	村田 '97.3.3
照査	柳川 '97.3.3
照査	光浦 '97.3.3
設計	
製図	雪ふ
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先　鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称　「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称　建築電気設備 特記仕様書
尺度　第　角法　標準図番号
図面番号　WR-145000　△0
出図年月日　整理番号

NES NP2006A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

新設積ブロック
KBM.2 H=8.741
既設U180撤去, U-300新設
119.852
U180
緑地
駐車場
足洗場
雨水桝
汚水槽(A)
大走り
管理棟
送り筋下
プロパンボンベ置場
電気引込プラント工等
緑地
縁石
L字溝
構内道路
緑地
緑地
13.505
15.191
28.034
既設U240撤去
U-300新設
新設積ブロック
大走り
L字溝
通路
便所
駐車場
汚水槽
重油タンク
トラックスケール
トラックスケール上屋
トラックスケール排水槽
38.500
申請建築物
処理棟
(1)
雨水桝
緑石
緑地
メタノールタンク
大走り
緑石
緑地
構内道路
L字溝
23.135
RC造
16.078
新設積ブロック
格子型フェンスH=1500
既設積ブロック擁壁
緑地
カーブミラー
L字溝
緑地
13.975
2.100
3.525
10.205
12.041
10.96
門扉:アルミ製H=1500
水路
水路
11.889
16.701
道路(幅員4.0M)
(市道)
格子型フェンスH=1500
既設積ブロック擁壁
新設積ブロック
鹿島川
(G22)
ELB 2P 50/20 WP
1次側プラント工事
便所詳細図 1/50

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 '96.11.27	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	鍋田 '96.11.27		
照・査	光後 '96.11.27	図面名称	建築電気設備
設計			配置図
製図	原		
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度	1/200
		第	角法
		標準図番号	
		図面番号	WR-145100
		出図年月日	
		整理番号	

A1

電気設備工事・凡例

記号	名称	摘要
⊠	制御盤、動力盤	鋼板製　指定色
▨	分電盤	鋼板製　指定色
⊟	警報盤	鋼板製　指定色
B	配線用遮断器箱	鋼板製
E	漏電遮断器箱	鋼板製
W	電力量計箱	鋼板製
$\oplus_F$	漏電警報器	
⊠	ハンドホール	中蓋重防水鋳鉄蓋付
◪	ケーブル埋設標	コンクリート製
⏚	接地	接地埋設標（コンクリート製）共
Ⓜ	電動機	
$\odot_{LF}$	電極棒	
$\odot_{FS}$	フロートスイッチ	
⊘	配線引出し口	壁又は天井　WPは防雨入線プレート付
⊘	配線引出し口	床　ローテーション共
⊘	ジャンクションボックス	Fケーブル用
⊠	プルボックス	WPは防雨入線プレート付
□	ジャンクションボックス	WPは防雨入線プレート付
$□_{AC}$	ジャンクションボックス	エアコン用
$□_F$	ジャンクションボックス	換気扇、ファンコイル用
$□_{SS}$	シーリングスイッチ	
▭	蛍光灯	
○	白熱灯・コンパクト蛍光灯	
⊛	高輝度放電灯	
▭	非常用照明器具	蛍光灯
●	非常用照明器具	
⊖	誘導灯	避難口
⊖⊖	誘導灯	通路
$⊖_S$	誘導灯	客席
⊙	引掛シーリング	埋込　丸型ハンガ付　コンセント付
□	足元灯	
▲	ガス漏れ警報器	

記号	名称	摘要
⊕	コンセント	傍記数字は、口数
$⊕_{ET}$	コンセント	アースターミナル付
⊕	コンセント	床埋込　寺田型ワンタッチ上下動式　2口
$⊕_{WP}$	コンセント	防雨型　'G'はｷｬｯﾌﾟが付'G'は防衛プレート付
⊕	コンセント	抜け止め型
⊕	コンセント	差込口形状は現場合せ　200V
$⊕_E$	コンセント	2P1E　15A
⊕	コンセント	2P1　15A　床埋込上下動式
•	点滅器	傍記数字は極数　ネーム付
◦	パイロットランプ	
⊛	リモコンセレクタスイッチ	傍記数字は回路数
$•_R$	リモコンスイッチ	
$•_A$	自動点滅器	
$•_{THE}$	温度スイッチ	
$•_{HUM}$	湿度スイッチ	
✓	調光器	
$•_{WC}$	換気扇消し遅れスイッチ	
$•_L$	ひかるスイッチ	ONピカ　3線式
$•_H$	ホタルスイッチ	OFFピカ　ネーム付
$•_T$	タイマースイッチ	0～120分　連続ON
$•_{TIM}$	24時間タイマースイッチ	埋込型　4動作
$•_D$	一時点灯スイッチ	0～5分　ｽﾗｲﾄ　松下：WN5472
□	ブザー	
◪	チャイム	
◉	押釦	
▭	端子盤	鋼鈑製　指定色
⊙⊙⊙	電話アウトレット	天井・壁・床（ローテーション共）
$⊙_{PT}$	電話アウトレット	公衆電話用
Ⓣ	電話機	制御用
$⊙_M$	ﾓｼﾞｭﾗｰｼﾞｬｯｸ付ｱｳﾄﾚｯﾄ	（6極4芯）
D	テレビ機器収納盤	鋼鈑製　指定色
┬	テレビアンテナ	
⏚	増幅器	
◇	混合器	
⊂○⊃	分配器	
◁▷	分岐器	
◎	直列ユニット	BS-77F-7　端末は、BS-77F-R

記号	名称	摘要
◎	天井埋込スピーカー	
◎	天井直付スピーカー	
◑	壁付スピーカー	
⊗	壁付両面スピーカー	
▷∞	トランペットスピーカー	
⊘	アッテネーター	
$◎_{MJ}$ $◎_{MJ}$	マイクジャック	壁付、床付
▭	増幅器	
▭	コラムスピーカー	10W　（屋外型）
◷	電気時計	電池式
$⊠_{AL}$	オートリフター　制御盤	
▭	オートリフター　スイッチ	

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

注記

1 特記なき配線は下記による（埋設部分はCD管による）

EBT 0.4-2P	(PF16)
x 2	(PF16)
x 3	(PF16)
C	(PF16)
A TKEV 0.5-10P	(PF22)

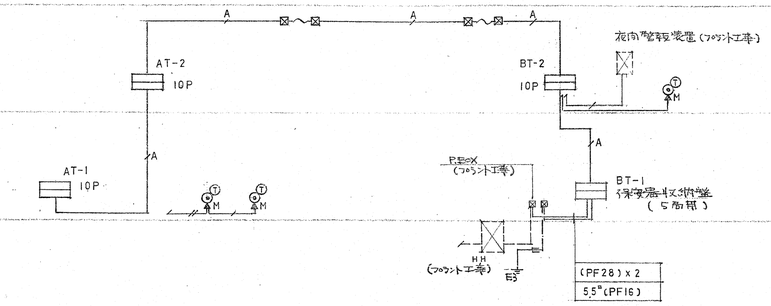
注記

1 特記なき配線は下記による（埋設部分はCD管による）

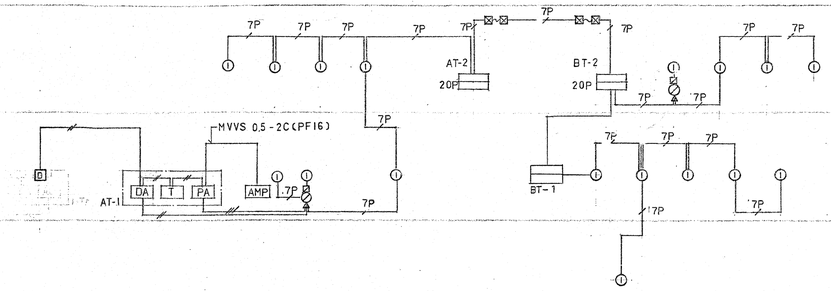
TIVF 0.4-2C	(CD16)
TIVF 0.4-3C	(CD16)
7P CPEV 0.9-7P	(CD28)

2 機器

①	相互式インターホン 24局用	DA	ドアホンアダプタ
D	ドアホン	T	電源アダプタ
◻	ターミナルボックス	PA	ページングアダプタ



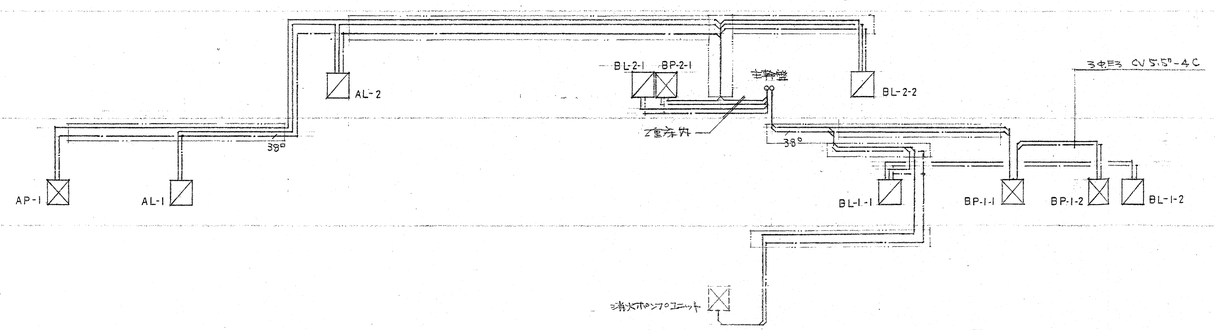
電話 系統図



インターホン 系統図

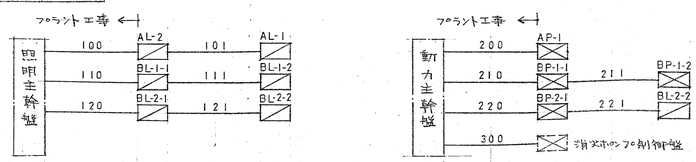
1 幹線は下記表による。特記なき盤への立下げ、立上りは配管内4本納とする。
2 特記なきアース線は 1.6φ とする

NO	盤	配線	配管	
101	1中 AL-1	CVT 38φ	(54)	AL-2 より
100	〃 AL-2	CVT 100φ	(82)	(直ち線は プラント工事)
110	〃 BL-1-1	CVT 38φ	(54)	(プラント工事)
120	〃 BL-2-1	〃	〃	〃
121	〃 BL-2-2	CV 14sq-3C	(36)	BL-2-1 より
111	〃 BL-1-2	CV 14sq-3C	(36)	BL-1-1 より
200	3中 AP-1	CVT 38φ	(54)	(直ち線はプラント工事)
210	〃 BP-1-1	CV 22sq-3C	(36)	(プラント工事)
211	〃 BP-1-2	CV 5.5sq-4C	(28)	BP-1-1 より
220	〃 BP-2-1	CVT 60φ	(54)	(プラント工事)
221	〃 BL-2-2	CV 14sq-3C	(36)	BP-2-1 より
300	〃 消火P	FP 22sq-3C	(36)	(プラント工事)



幹線 系統図

幹線接続図



工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.月	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬田	96.11.25	
照査	老後	96.11.27	図面名称 建築電気設備 系統図－1
設計			
製図	安山	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	第 角法	標準図番号
図面番号 WR-145300		△1

出図年月日	整理番号

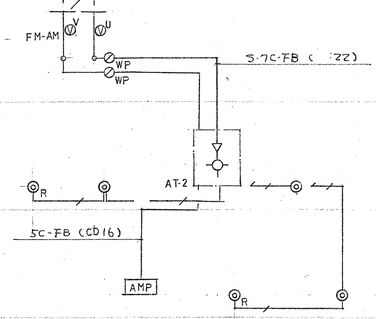
A1

NES NE9700a △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

ラジオアンテナ（SUS）
FM・SEL　AMホイップアンテナ
壁面取付マスト 3.5m（SUS）

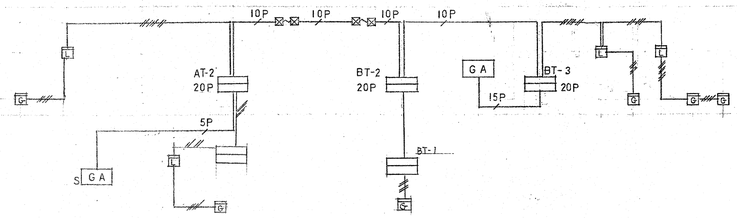
TVアンテナ（SUS）
V-12EL　U-22EL(処理機)
壁面取付マスト 3.5m+4SUS）



5-5C-FB（PF16）

TV共同聴視　系統図

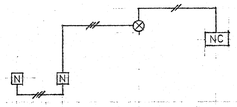
機器	
GA	ガス漏れ受信機　LPG用 予備電源内蔵 1級回路数
GAs	副受信機　5回路
T	中継器 表示灯付
G	ガス漏れ警報器　DC 24V用



AE 0.9-4C（PF16）
AE 0.9-2C+3C（PF16）
AE 0.9-3Cx2（PF16）
AE 0.9-3C+4C(PF16)
5P　AE 0.9-5P（PF22）
10P　AE 0.9-10P（PF28）

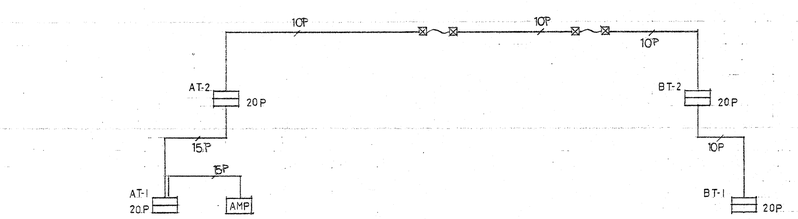
ガス漏れ警報　系統図

機器	
NC	呼出し表示器　1箇
⊗	表示灯
N	呼出し押釦



AE 0.9-2C（PF16）
AE 0.9-3C（PF16）

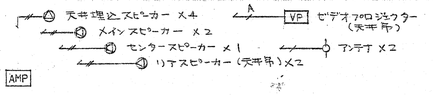
呼出表示　系統図



AE 0.9-2C（PF16）
AE 0.9-3C（PF16）
AE 0.9-4C（PF16）
AE 0.9-2C+3C（PF16）
11P　AE 0.9-11P（PF22）
10P　AE 0.9-10P（PF28）

放送　系統図

全館放送 増中器 仕様
・業務用ロッカー型　240W
・10局＋一斉　・マイク挿込
・AM・FM チューナー
・ミュージックタイム　・タイマー
・カセットデッキ　・CDプレイヤー
・ページング
・予備電源内蔵



AE 0.9-2C（PF16）
5C-FB（PF16）
A　5C-FB x5

会議室放送装置　系統図

AV設備 機器
・ビデオプロジェクター：100インチ、天井吊、リモコン操作
・S-VHS VTR：HC-F2
・サラウンドアンプ：最大出力 フロント、リア、センター各120W
・メインスピーカー　：45～25,000 Hz　最入力200W
・リアスピーカー　：2ユニット
・センタースピーカー：2ウェイ3スピーカー
・
・PAアンプ　：60W
・ワイヤレスチューナー：2ch
・カセットデッキ　：ダブルカセット
・ワイヤレスマイク　：スピーチ用
・マイク充電器　：急速充電方式
・
・機器ラック　：

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬里	96.11.27	
照査	光澤	96.11.27	図面名称 建築電気設備 系統図－2
設計		・・	
製図	安山	96.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	第　角法	標準図番号
図面番号 WR-145400		△0
出図年月日	整理番号	

A1

NES NF2016A

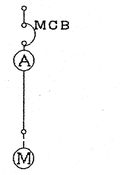
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	BL-2-2 変更	村田 瀬田	9.9.24

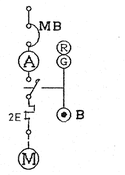
動力結線図及盤仕様

Ⓐは赤色指針付

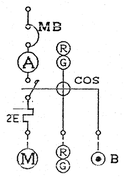
保護用しゃ断器は全てトリップ接点付とする。

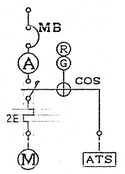
A1	電源供給（AMあり）	B1	1台直入手元（AMあり）
A2	電源供給（AMなし）	B2	〃（AMなし）



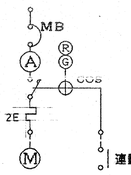


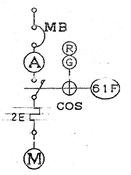
C1	1台直入遠方手元	D	1台直入自動試験
C2	1台直入遠方手元（連動接点あり）		





E	1台直入連動単独	F1	1台直入給水
		F2	1台直入排水





盤名称 給容量	電気方式	幹線	盤結線	記号	負荷 名称	容量 KW	制御盤機能 遮断器 MCB	M B	MELB	ELB	起動方式	操作 ON OFF	操作 COS	表示 RG			満水	減水	故障	備考
AP-1 屋外型	3φ3w	CVT 38□	61F W	A2	AC外被(OU-1)	15.7				3P 225/125										
				A2	排水ポンプ制御盤	0.8				3P 50/30										
BP-1-1	3φ3w	CVT 22□	ELB 3P 100/75 61F W	A2	シャッター	0.4	3P 50/15													
				A2	ヨビ					3P 50/20										
				E	多翼ファン	1.5	3P 50/20					○	○	○					○	排気ファンに連動
				D	排気ファン	1.6	3P 50/20					○	○	○					○	内蔵24時間タイマによる自動
				A2	操作電源		2P 50/20													
				A2	BP-1-2		3P 50/30													
BP-1-2	3φ3w	CV 5.5□	ELB3P 50/30 61F W	A2	シャッター	0.4	3P 50/15													
				A2	エアー型コンプレッサ	1.5	3P 50/30			3P 50/30										
				B2	排気ファン	0.4	3P 50/15					○	○						○	
				B2	〃	0.4	〃					○	○						○	
				B2	〃	0.4	〃					○	○						○	
				B2	〃	0.4	〃					○	○						○	
				B2	〃	0.4	〃					○	○						○	
				B2	〃	0.4	〃					○	○						○	
				A2	ダムウェーター	1.5	3P 50/30													
				A2	操作電源		2P 50/20													
BP-2-1	3φ3w	CVT 60□	61F W	A2	AC外被(OU-2)	12.7				3P 225/125										
				A2	AC外被(OU-3)	6.04				3P 100/60										
				A2	BL-2-2	5.0	3P 100/50													
BL-2-2 別体1中部分と一体			61F W	A2	ドラフトチャンバー	1.5				3P 50/30										
				A2	ヨビ	3.5				3P 50/30										

注1 発停押しボタンは、自己保持式とする。

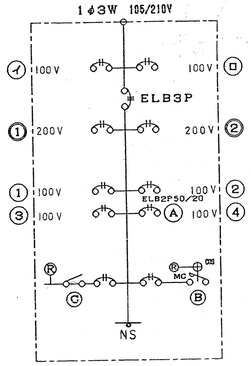
2 ELBの感度電流は主幹用 100mmA 分岐用 30mmA とする。

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.11.29	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬田 96.11.29	図面名称	建築電気設備 動力盤結線図
照査	永治 96.11.27		
設計			
製図	電 d. 8.11.18		
設計部署	ランドエンジニアリング部 建築電気設計室	尺度	第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-145500 ⚠
		出図年月日	整理番号

NES NF3706A ⚠

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	BL-2-2 変更	村田	9.9.24



注1 タイマー及び自動点滅器は補助リレーにより分岐回路のMCのON、OFFを行い、時間設定は現場指示による。

2 分岐回路の Ⓐ Ⓑ Ⓒ は下記による。

A ：ELB回路 （分岐回路をELBとする。）
B ：MC 回路 （Ⓑ×2は1分岐回路にMCを2台持つ物を示す。）

漏電ブレーカー 感度電流 動作時間
主幹用 ： 100 mmA . 0.1 sec
分岐用 ： 30 mmA . 0.1 sec

分電盤表

盤名称	AL-1 埋込型			AL-2 埋込型 (送りMCB 3P 100/100)			BL-1-1 壁掛型 (防湿) (送りMCB 3P 100/75)			BL-2-1 自立型 (送り MCB 3P100/75)			BL-2-2 壁掛型 (BL-2-1 3P回路と一体)			BL-1-2 壁掛型 (防じん型)		
主開閉器	1Φ ELB 3P 100/75 13,604 KVA			ELB 3P 100/75 12,057 KVA			ELB 3P 225/125 16,456 KVA			ELB 3P 225/125 18,570 KVA			ELB 3P 100/50 (30mA 0.1sec) 15,725 KVA			ELB 3P 100/60 7,920 KVA		
回路番号	分岐MCB	容量	回路名称	備考	容量	回路名称	備考	容量	回路名称	備考	容量	回路名称	備考	容量	回路名称	備考	容量	回路名称	備考
イ	2P20A		ヨビ			ヨビ		200	誘導灯		150	次数						ヨビ	
ロ	〃		〃			〃			ヨビ			ヨビ						〃	
ハ	〃																		
ニ	〃										1,035	誘導灯(階段)	200V						
①	2P20A	1,530	事務所廊下灯		2,520	会議室電灯		2,340	通路階段電灯	ELB	2,790	前処理脱臭電灯	ELB				2,760	水銀灯	
2	〃	300	AC内機	ELB	1,035	水位検室 廊下		1,990	〃	ELB	1,800	吸着脱臭室 〃					810	誘導灯電灯	
3	〃	1,500	給湯器	ELB	420	AC内機	ELB	1,710	ガンプロ室電灯	ELB	1,800	前処理脱水 〃					1,080	ホッパー上室電灯	ELB
4	〃		ヨビ	ELB	1,500	給湯器	ELB	2,160	受入室電灯		810	重機室 換気 〃					720	製品庫ホッパー上部	ELB
5	〃		〃			ヨビ	ELB	2,160	〃		360	AC内機	ELB				200	昇降装置	
6	〃		〃			〃		1,440	誘導灯	ELB	1,500	給湯器	ELB					ヨビ	ELB
7	〃								ヨビ	ELB		ヨビ						〃	
8	〃							60	AC内機	ELB		〃						〃	
9	〃								ヨビ										
10	〃								〃										
①	1P20A	1,160	便所換気扇 灯	ELB 2P	880	屋外 誘導灯		936	玄関飛散灯		795	浴室 電灯	ELB 2P	1,500	中央実験台		600	ファン (1F)	
2	〃	1,498	廊下給湯室灯	ELB 2P	640	廊下電灯			ヨビ		1,080	廊下電灯		1,500	ドラフトチャンバー		50	〃 (2F)	
3	〃	566	玄関換灯	ELB 2P	992	AC ファン			〃		1,400	ファン		1,500	サイド実験台		900	誘引ファン コンセント	ELB 2P
4	〃	450	AC ファン		1,150	コンセント	ELB 2P	300	地下コンセント	ELB 2P	630	〃		1,500	〃		300	製品庫コンセント	ELB 2P
5	〃	750	玄関廊下コンセント		1,050	廊下各所コンセント		700	補生部屋コンセント	ELB 2P	60	非常灯		1,500	遠心分離機		500	〃 (DW用)	
6	〃	750	男子便室 WCコンセント	ELB 2P	750	倉庫室 コンセント		750	便所換入室コンセント	ELB 2P	1,150	給湯室 コンセント	ELB 2P	1,600	高圧蒸気減面機			ヨビ	ELB 2P
7	〃	1,150	脱衣 コンセント	ELB 2P	600	WC男女 コンセント	ELB 2P	450	監視室 コンセント		300	電気室 コンセント		575	蒸留水製造 セ			〃	
8	〃	1,150	湯沸室 コンセント	ELB 2P	450	倉庫室 コンセント			ヨビ	ELB 2P	750	中央監視コンセント		1,500	サイド実験台			〃	
9	〃	600	浴槽床暖室コンセント		150	電動スクリーン			〃		450	前処理脱臭 〃	ELB 2P	1,000	マッフル炉			〃	
10	〃	450	事務所コンセント		100	TV ブースター	ELB 2P		〃		1,200	廊下便所コンセント	ELB 2P	950	定温恒い槽器			〃	
11	〃	450	〃			ヨビ	ELB 2P				300	5Fコンセント		600	電子天秤 冷蔵庫				
12	〃	750	自動ドア 照明	ELB 2P		〃						ヨビ	ELB 2P	1,500	予備コンセント				
13	〃	100	呼出表示			〃						〃		300	コンセント				
14	〃		ヨビ			〃						〃		200	ガス会沈槽				
15	〃	300	AMP									〃			ヨビ				
16	〃	500	コピー機												ヨビ				
17	〃	150	インターホン												ヨビ				
18	〃		ヨビ	ELB 2P															
19	〃		〃																
20	〃		〃																

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬田	'96.11.29	図面名称 建築電気設備 分電盤結線図
照査	若狭	'96.11.27	
設計		・・	
製図	吉山	96.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 / 第角法 / 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-145600 ⚠
			出図年月日 / 整理番号

NES NF5016A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

47,500

7,000 | 6,000 | 3,000 | 7,000 | 7,000 | 6,500 | 7,000 | 7,000

38,500

6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 6,000 | 7,500

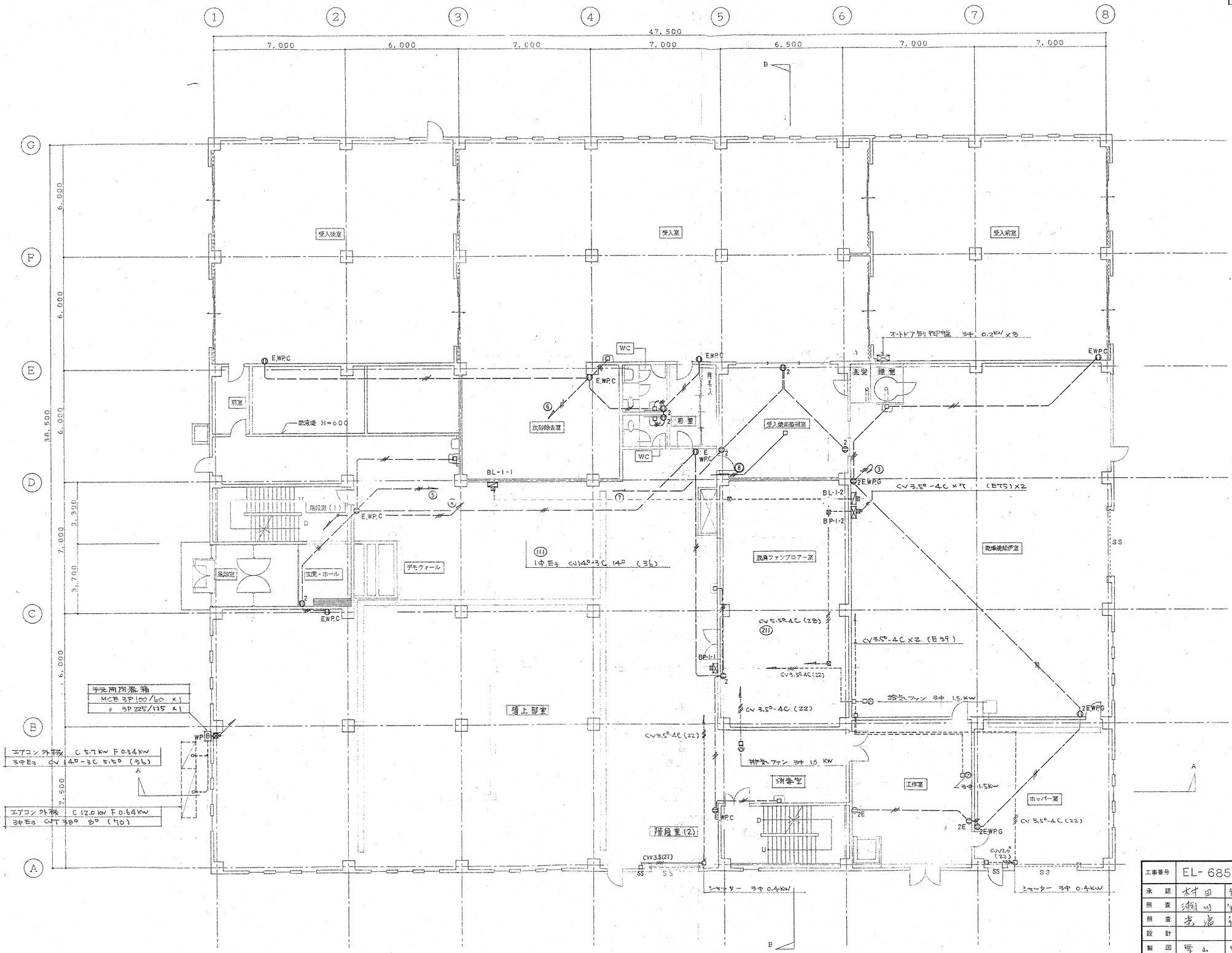
予備貯留槽
雑排水槽
予備貯留槽
し尿貯留槽
受水槽
浄化槽汚泥受入槽
浄化槽汚泥用沈砂槽
し尿受入槽
し尿沈砂槽
汚泥貯留槽
消火ポンプユニット
5キロ7.5kW
階段下倉庫
E.W.P.C
階段(1)
ポンプ室
し尿中継槽
浄化槽汚泥中継槽
浄化槽汚泥貯留槽
第2反応槽
生物膜分離
循環槽
生物膜分離
処理水槽
機械室
凝集膜分離処理水槽
汚泥濃縮槽
中和槽
凝集膜分離循環槽
第1反応槽
凝集膜分離処理水槽
ろ布洗浄水槽兼
活性炭処理水槽
接触槽
放流槽
E.W.P.C
階段(2)

注1 特記なき配管記号は 系統図による他
下記による.
——— 20×2 (CD16)
——/——— 20×3 (CD16)
——//——— 20×5 (CD22)
——·—— F20-2C
——/·—— F20-3C
---------- 露出 (VE管) 使用
□ 埋込ボックス・コンセント付.
2 焼却炉室, ホッパー室上部の露出配管は ネジ無し薄鋼電線管とする.
3 水槽壁及び地階外壁への埋設配管 は行わないこと.

工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬川	96.11.27	
照査	岩渡	96.11.27	図面名称 建築電気設備 幹線・動力・コンセント設備 処理棟 地下1階平面図
設計		・・	
製図	雪山	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-146010 △0
			出図年月日 整理番号

NES NR70164 A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	風切り変更	[illegible]	9.9.24



工事番号	EL-6851	
承認	木村	96.11.29
照査	瀬川	96.11.29
照査	米倉	96.11.27
設計		〃
製図	安 [illegible]	8.11.8
設計部署	ラビルエンジニアリング㈱ 建築設計室	

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備 幹線・動力・コンセント設備 処理棟 1階平面図

NKK 日本鋼管株式会社

尺度	第角法	標準図番号
1/100		

図面番号: WR-146110 ⚠

出図年月日 | 整理番号

NES NF3016A ⚠

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠1	水質試験室間切り変更、コンセント	村田	9.9.24

47,500

7,000 | 6,000 | 7,000 | 7,000 | 6,500 | 7,000 | 7,000

38,500

6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,000 | 3,300 | 3,700 | 6,000 | 7,500

屋根 | トップライト | 目隠ルーバー | 冷却冷凍場 | E WP | 2E.WPC | 渡り廊下 | 廊下 | 倉庫 | 階段室(1) | 男子WC | 女子WC | 前処理脱水機室 | 乾燥機械室上部吹抜 | 中央監視室 | 給湯器用 | 給湯室 | 2E.WP.C | CR 200W | BL-1-2 | BP-1-2 | ドラフトチャンバー 3φ 1.5kW | 中央監視盤 | 水質試験室 | 電気室 | ガス給湯器用 | ベランダ | 目隠ルーバー(取外式) | 2PIE 20A | 2倉庫内 CV 14Ø-3C 55Ø CVT 38Ø 8Ø | 煙突 | 2.0×5 (E25) | CV 3.5Ø-4C×7 (E75) | [CV 3.5Ø-4C( )]×3 | [CV 3.5Ø-4C( )]×3 | 排気ファン 3φ 0.4kW ×5 | 排気ファン 3φ 0.4kW ×5 | BL-1-2 | BP-1-2 | CV 38Ø (E25) | 2.0 (E25) | 手スリ | 2E.WP.G | 製品庫 | ホッパー室上部 | D | クウェーター用 3φ 1.5kW MCB 3P 50/30 | 階段室(2)

2階平面図

7,000 | 6,000

階段室(1) | 倉庫

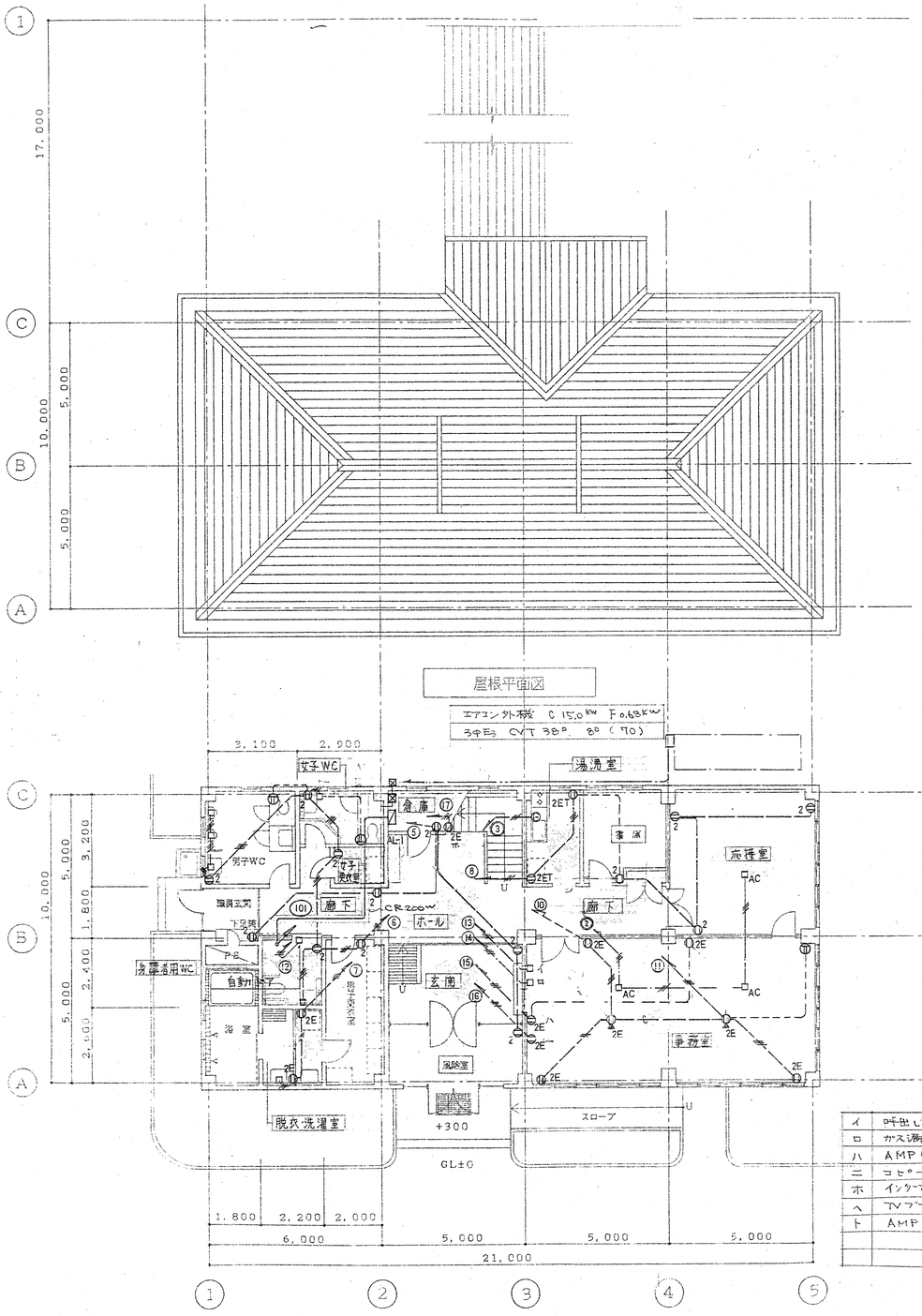
3階平面図

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.11.29	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	須田 96.11.27	図面名称	建築電気設備 幹線・動力・コンセント設備 処理棟 2・3階平面図
照査	高橋 96.11.27		
設計			
製図	雪山 8.11.18		
設計部署	ラビルエンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/100
		第角法	
		標準図番号	
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-146210 ⚠1
		出図年月日	
		整理番号	

NES NP3916A ⚠

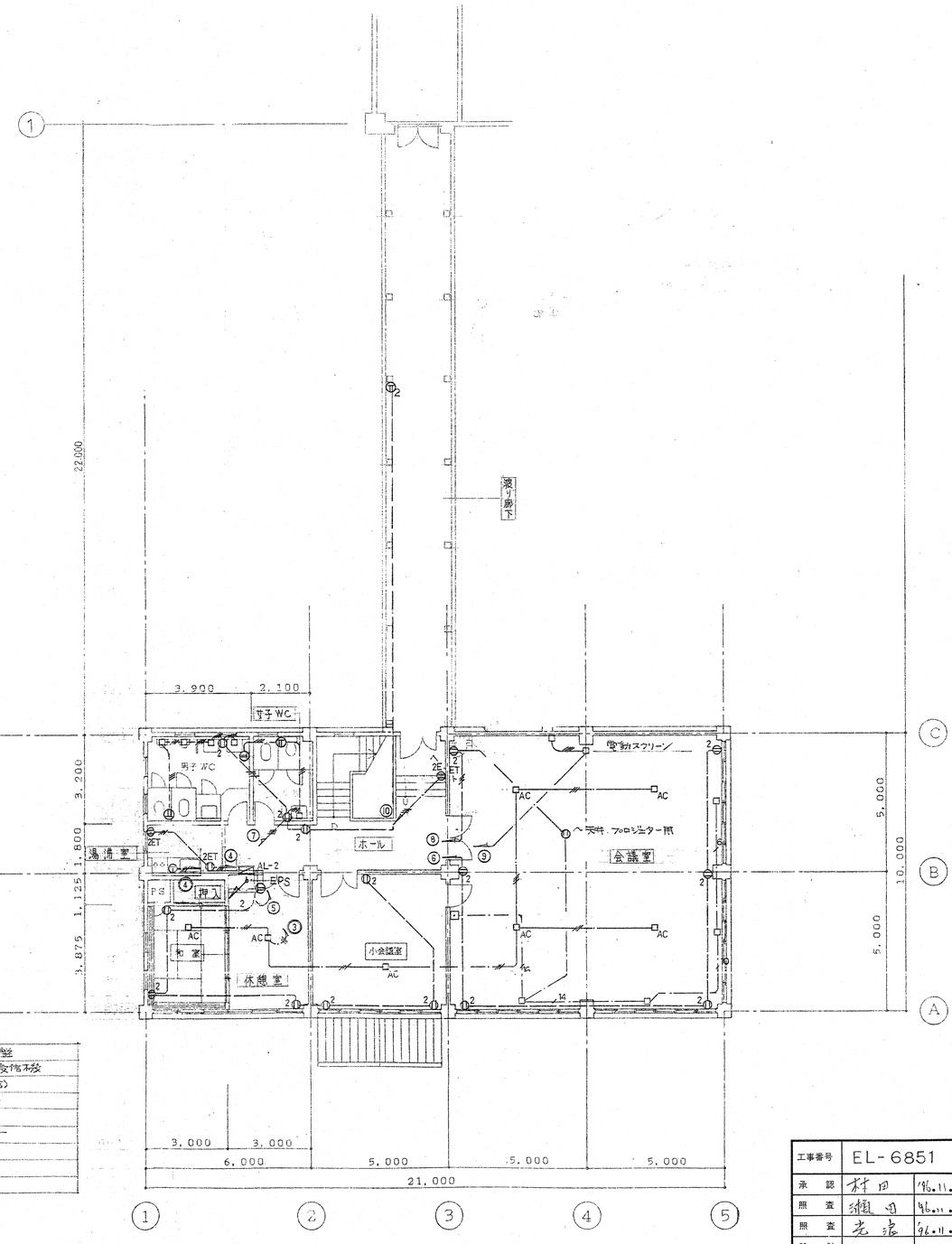
28

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



1階平面図

イ	呼出し表示盤
ロ	水漏れ検知装置
ハ	AMP(全館)
ニ	コピー機
ホ	インターホン
ヘ	TVブースター
ト	AMP



2階平面図

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.日	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬田	96.11.25	
照査	光浪	96.11.27	図面名称 建築電気設備 幹線・動力・コンセント設備 管理棟 1・2階平面図
設計		・・	
製図	雪山	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

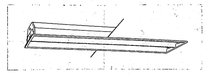
NKK 日本鋼管株式会社

尺度	1/100	第 角法	標準図番号
図面番号	WR-146320	△0	
出図年月日		整理番号	

NES NF2016A △

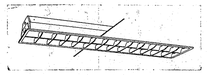
Ⓐ 下面開放 埋込型

A 42	FL40W-2	A 42B	FL40W-2(B)
A 41	FL40W-1	A 41B	FL40W-1(B)
A 22	FL20W-2	A 22B	FL20W-2(B)



Ⓑ ルーバー付 埋込型

B 42	FL40W-2		
B 42B	FL40W-2(B)		
B 24	FL20W-4		



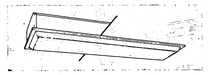
Ⓒ OAルーバー付 埋込型

C 43	FL40W-3	FRS14-L1Y2同等	

クラスⅡ

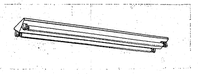
Ⓓ 乳白アクリルカバー付 埋込型

D 43	FL40W-3		
D 22	FL20W-2		



Ⓔ 逆富士型

E 22	FL20W-2	E 41S	FL40W-1(S)
E 42	FL40W-2	E 42S	FL40W-2(S)
E 42B	FL40W-2(B)	E 22S	FL20W-2(S)
E 41	FL40W-1	E 42SB	FL40W-2(SB)

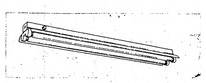


Ⓕ ガード付トラフ型

F 41	FL40W-1		
F 42	FL40W-2		
F 42WP	FL40W-2(WP)		

Ⓖ 反射笠付型

G 42	FL40W-2	G 42B	FL40W-2(B)
G 42WP	FL40W-2(WP)	G 42SB	FL40W-2(SB)
G 42S	FL40W-2(S)	G 42P	FL40W-2(P)
		G 22	FL20W-2



Ⓗ ダウンライト

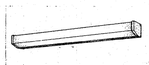
H	FDL27W

Ⓘ 軒下用ダウンライト

I 13	FDL 13W

Ⓙ ミラー灯

J	FL20W-1



Ⓚ 流し元灯

K	FL20W-1

Ⓛ メタルハライド(広照型)

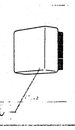
L	MF400W	変電力対応防爆型	

安定器内蔵 直付ホルダー
オートリフター(10kg) 付

Ⓜ 浴室灯

M	FCL30W-1

防湿型



ガラスグローブ つや消し

Ⓝ 屋外灯

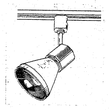
N	FDL18W

防雨型

ガラスグローブ 乳白 つや消し

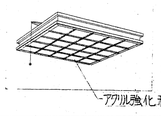
Ⓞ スポットライト

O	ミニハロゲン85W-1



Ⓟ 和風灯

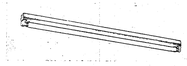
P	FL20W-5



アクリル強化和紙ばり

Q トラフ型

Q 41	FL40W-1

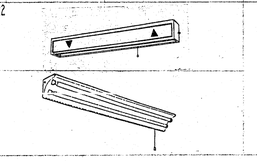


Ⓥ 非常用照明器具

V	ハロゲン13W

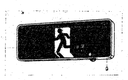
Ⓦ 階段通路誘導灯

W 41	FL40W-1	W 42	FL40W-2
W 22	FL20W-2		



Ⓧ 避難口誘導灯

X 1	FL10W-1(片面)	X 1WP	FL10W-1(WP)
X 2	FL10W-1(両面)	X 1WP	FL10W-1(WP)
X 1P	FL10W-1(P)		



Ⓨ 室内通路誘導灯

Y 1	FL10W-1(片面)	Y 2P	FL10W-1(両面P)
Y 2	FL10W-1(両面)		
Y 2WP	FL10W-1(WPP)		

Ⓩ 廊下誘導灯

Z	FL10W-1

照明器具特記事項

1. 照明器具姿図において(B)と記入のあるものは非常用電源内蔵型非常用照明とする。建築基準法及び消防法適合品。

FL40W-1	非常時(50%)点灯 トラフ型は25%点灯
FL40W-2	非常時(40W-1 50%)点灯
FL20W-1	非常時(55%)点灯
FL20W-2	非常時(20W-1 55%)点灯
FL40W-1	防湿 防食型は25%

2. 適合する器具は公共施設用照明器具とする。

3. 照明器具姿図において記号は下記とする。

WP：防湿、防雨型
S：ステンレス製 防食型
P：パイプ吊

4. 供給電圧及び力率
   1). FL32W以下は、100Vグロースタータ式 低力率
   2). FL40W以上は、200Vラピットスタート式 高力率
   3). IL(白熱灯)100V、ミニハロゲン 100V
   4). MF(メタルハライド)200V 高力率

図面来歴

記号	記事	署名	年月日
△			

頁	記号	図面番号	仕様	形名	電圧	数量	備考
	A用(共用)						
	A42		FLR42×2 埋込器具(下面開放)	FKR-42710-RS			3Fロビー 3Fホール 3F廊下
	A22		FLR22×2 埋込器具(下面開放)	FR-22750-GH16			3F廊下 3Fホール前室
	A22B		FL20×1 (FL20×1) 非常灯内蔵 防水型非常灯	FKS-22750-GL16			3Fホール
	A42B		FLR40×2 (FLR40×1) 非常灯内蔵 防水型非常灯	FKRS-42710-RS			3F会議室前
	B42		FLR42×2 埋込器具 ルーバー付	FKR-42711-RS			3F階 ホール
	B42B		FLR40×2 (FLR40×1) 非常灯内蔵 防水型非常灯	FKRS-42711-RS			3F階 ホール
	C43		FLR43×2 埋込器具 (ルーバー付)	FR-43515K-RS			FR-43540+F-4280・OA3 ・中央監視室 3F
	E42	FSG4-402	FLR40×2 直管40W器具	FT-42306-RS			3F階 1 B1F
	E42B	SK1-FSG4-402	FLR40×2 (FLR40×1) 非常用照明器具・個別点灯形	FTS-42306-RS			3F階 1 2
			FLR40×2 (FLR40×2) 非常用照明器具・個別点灯形	FTJ-42315N-RS16	100		
	E22		FL20×2 直管20W器具	FT-33001-GL16	100		1F 3F階 前室
	F42	FSG1-402	FLR40×2 笠付・片開き	FT-42013N-RS			3F電気室内部
			埋込ボード	FBG-41F			
	F42WP	FSG1MP-402	FLR40×2 防雨形笠付器具	FT-42081M-RS			屋外ファンコマダー用
			埋込ボード	FBG-41F			
	G42	FSR1-402	FLR40×2 直付笠付器具	FT-42111-RS			工作室
	G42WP	FSR1RP-402	FLR40×2 防雨形笠付器具	FT-42184M-RS			D1F 1F機上部点検ハッチ前 3F倉庫電気室前
	G42S	FSR1RPA-402	FLR40×2 防雨形器具	FT-42183K-RS			FT-42083+R-4280 1F 防火扉 防火戸
	G42WPB		FLR40×2 (FLR40×1) 非常用照明器具・個別点灯形	FTJ-42184M-BS			1F 埋込階段
	G42B	SK1-FSR1-402	FLR40×2 (FLR40×1) 非常用器具 防水型非常灯	FTS-42111-RS			1F 工作室
	G42P	FSR1-402	FLR40×2 直付笠付器具	FT-42111-RS			1F 便所前
			非常灯	PW-412P			
	H		FDL27EX 埋込形ダウンライト	FLD-2792-ELB	100		3F階段
	I 13		埋込形ダウンライト	FLD-1381NK(W)B	100		3F階
	J		FL20×1 埋込形ブラケット	FB-2002	100		1F 3F階 3F前室
	K		FL20×1 埋込形ブラケット	FB-2323	100		3F階段前
	L		HIDランプ 400W	SN-4044A			吹抜階段PF見上げ 2F
			メタハーワイドランプ	MF400-L-1/BU-P			
			バラストカバーケース	HB-4012-200HW-B	200		
			防雨器具	HUD-2237-200	200		
	O		スポットライト	IHB-2037R(W)	100		ダウンリール
			ハーネスリング	JD110V85NW-EH			
	W41	KS1-FSF10-401	FLR40×1 (FLR40×1) 非常用照明器具・個別点灯形	FTS-41801NK-RS			FTS-41801NK+CO-4100N 3Fロビー 1)
	管理機						
	A42		FLR42×2 埋込器具(下面開放)	FKR-42710-RS			管理室 3F小会議室 作業室
	A41	FRS2-402	FLR40×1 埋込器具(下面開放)	FR-41474NK-RS かばくもん			FTS-41801+R-4150N 倉庫内 1F倉庫
	A22		FL20×2 埋込器具(下面開放)	FR-22750-GH16	100		非常2灯用
	A42B		FLR40×2 (FLR40×1) 非常灯内蔵 防水型非常灯	FKRS-42710-RS			3F小会議室 1F事務室
	B42		FLR42×2 埋込器具 ルーバー付	FKR-42711-RS			3F会議室
	B42B		FLR40×2 (FLR40×1) 非常灯内蔵 防水型非常灯	FKRS-42711-RS			3F会議室
	H		FDL27EX 埋込形ダウンライト	FLD-2792-ELB	100		3F階段
	I 13		埋込形ダウンライト	FLD-1381NK(W)B	100		入口
	J		FL20×1 埋込形ブラケット	FB-2002	100		男女便所
	K		FL20×1 埋込形ブラケット	FB-2323	100		給湯室
	V		ミニハロゲンシリンダ ミニハロゲン誘導灯	IEM-13101	100		3階 1F 12階F
	W	SK1-FST10-202	FL20×2 (FL20×1) 非常灯内蔵・階段通路誘導灯	FTS-22814NK-GL16	100		FTS-22803NK+CO-2213 階段
	B24		FLR24×4 埋込器具 (ベンフィル付)	FR-24751-GH16	100		1F2F棟WP
	E22		FL20×2 直管20W器具	FT-33001-GL16	100		1F2F
	N		FHL18TEX-N 埋込形ブラケット	FUB-1815GN(K)	100		機械室EV用
	P		FL20×2 シーリングライト	FPH-14352K	100		3F階段
	Q41	FSS1-401	FLR40×1 下向き器具	FT-41021NK+T-410C			FT-41021NK+T-410C 3F会議室
	Q41	FSS1-401	FLR40×1 下向き器具	FT-41021NK-RS			

工事番号	EL-6851
承認	村田 96.11.29
照査	瀬田 96.11.29
照査	岩滝 96.11.27
設計	
製図	田 d. 8.11.18
設計部署	ラビルエンジニアリング部 建築設計室

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称：「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称：建築電気設備 照明器具姿図

尺度 / 第 角法 / 標準図番号

図面番号：WR-147000 △0

出図年月日 / 整理番号

NES NF3706A

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

47,500
7,000 6,000 3,000 7,000 7,000 6,500 7,000 7,000

6,000 6,000 6,000 38,500 7,000 6,000 7,500

予備貯留槽
雑排水槽
予備貯留槽
浄化槽汚泥受入槽
浄化槽汚泥受入槽
し尿貯留槽
し尿流ち槽
し尿受入槽
受水槽
汚泥貯留槽
2,850
(W41)
ポンプ室
階段(1)
WP3
WP3
(X1WP)
(Y2WP-P)
(G42WP)×16
(G42WP)×26
し尿中継槽
浄化槽汚泥中継槽
(Y2WP-P)
浄化槽汚泥貯留槽
第2反応槽
生物膜分離循環槽
生物膜分離処理水槽
凝集膜分離処理水槽
ろ布洗浄水槽兼活性炭処理水槽
撹拌槽
放流槽
機械室
混和槽
膜分離分離循環槽
中和槽
第1反応槽
凝集沈殿槽
3WP
3WP
(X1WP)
階段(2)
(E42)
(W41)

注1 特記なき配管符号線は下記による
- 2.0×2.3.4 (CD16)
- 2.0×5～9 (CD22)
- 2.0×2.3 (VE16)露出
- 2.0×4～6 (VE22) 〃
- 2.0×7～10 (VE28) 〃
- レースウェイ内 2.0 (()記載数字は配線数)
- F 2.0-2C
- F 2.0-3C
- F 2.0-2C×2

2. 乾燥焼却炉室、ホッパー室上部、の露出配管は、ネジ無し薄鋼電線管とする。

3. 水槽壁及び地階外壁への埋込配管は行わないこと。

工事番号	EL-6851		
承認	村田	96.11.29	
照査	瀬田	96.11.29	
照査	光浪	96.11.27	
設計		・・	
製図	雪山	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称 建築電気設備 照明設備 処理棟 地下1階平面図

尺度 ＊ 第 角法 標準図番号

図面番号 WR-147110 △1

出図年月日 整理番号

NES NF7016A △

A1

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	消毒室 扉吊り変更により スイッチ移動、操作盤追加	梅[illegible]	9.9.24

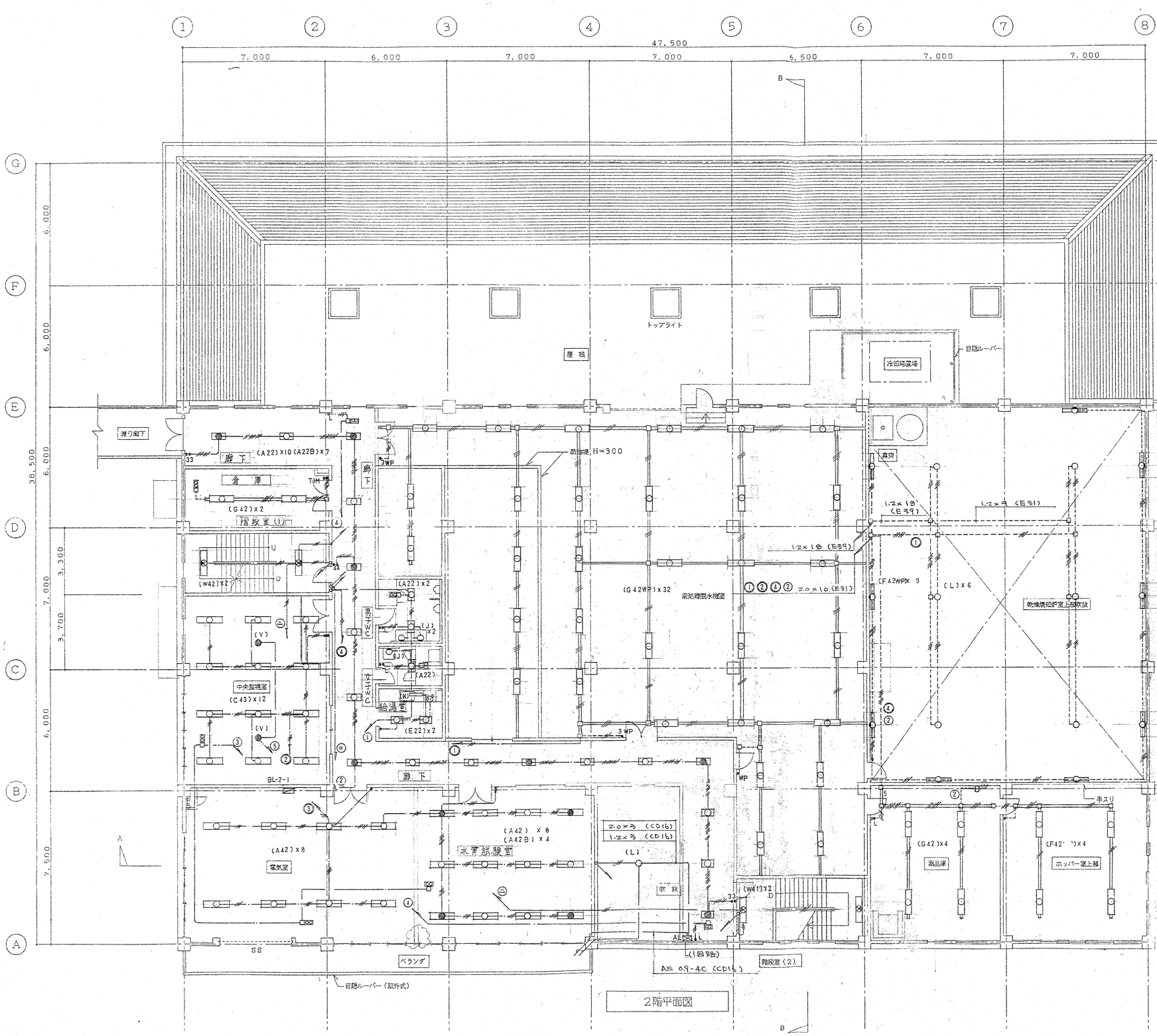
47,500
7,000 6,000 7,000 7,000 6,500 7,000 7,000
38,500
6,000 6,000 7,000 3,300 3,700 6,000 2,500

受入検室
受入室
受入前室
(G42S)x12
(G42S)x20
(G42S)x12
WC
前室
(E22)
(E22)x2
用具入
20x9 (レースウェイ45)
20x3 (CD28)
20x6 (CD22)
更衣 便女
(G42S)x4
泥砂除去室
(V)
受入前室換気扇
(G42WP)x4 (G42WP.B)x1
階段室(1)
BL-1-1
11①②③①
AE 0.9-10P (E25)
20x3 (E19)
AL5回路
BL-1-2
脱臭ファンフロアー室
(W42)
(W42)
(H1) x3
(B42B)
(B42)
(1)x2
(0)x4
デモトール
風除室
玄関・ホール
(F42)x8
乾燥焼却炉室
SS
3W x5
(G42WP.B)
(G42WP)
消毒室
工作室
(G42)x7
(G42B)x1
(F42)x4
ホッパー室
(W42)x4
階段室(2)
搬上部室
A
B

工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	
照査	浦田	96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	青沼	96.11.29	図面名称 建築電気設備 照明設備 処理棟 1階平面図
設計			
製図	安 d.	8.11.18	
設計部署	ビルエンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社		尺度 1/100	第 角法 標準図番号
		図面番号 WR-147210	⚠1
		出図年月日	整理番号

NES NF3016A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	水質試験室面積変更	村田	9.9.24



工事番号	EL-6851		
承認	村田	96.11.29	
照査	小関	96.11.28	
照査	光津	96.11.27	
設計		・・	
製図	西山	8.11.18	
設計部署	システムエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称 建築電気設備 照明設備 処理棟 2・3階平面図

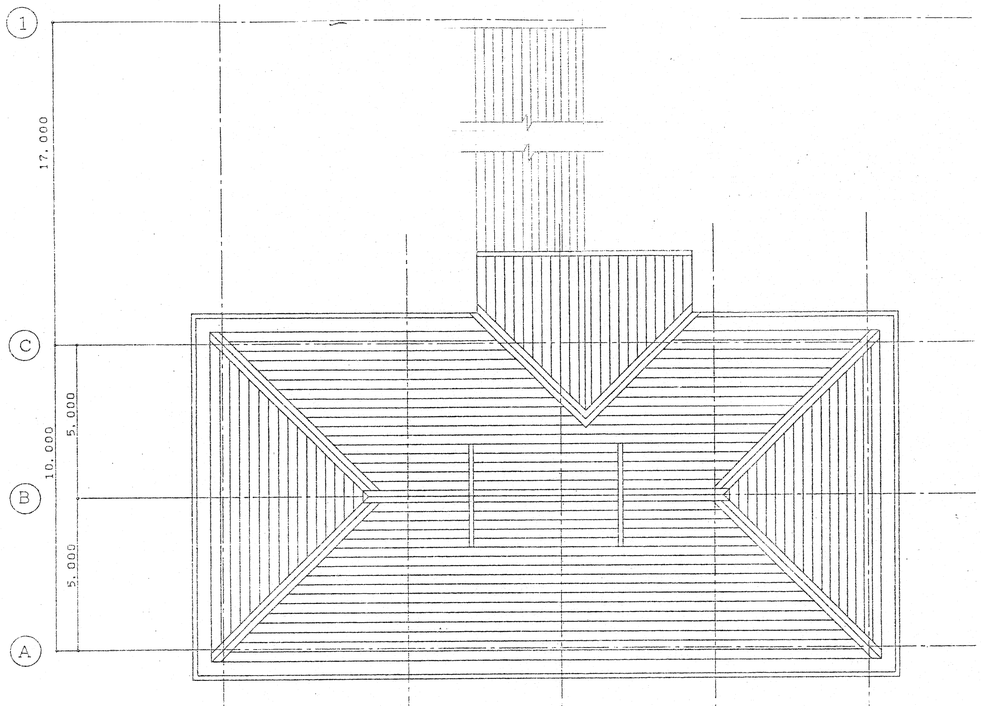
尺度 1/100 | 第 角法 | 標準図番号

図面番号 WR-147310 | 1

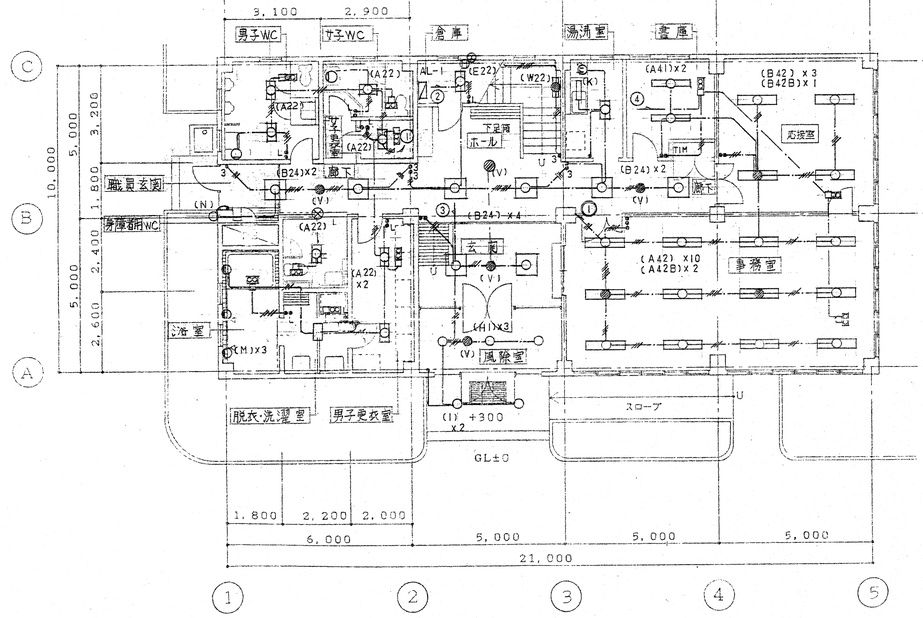
出図年月日 | 整理番号

NES NF3016A

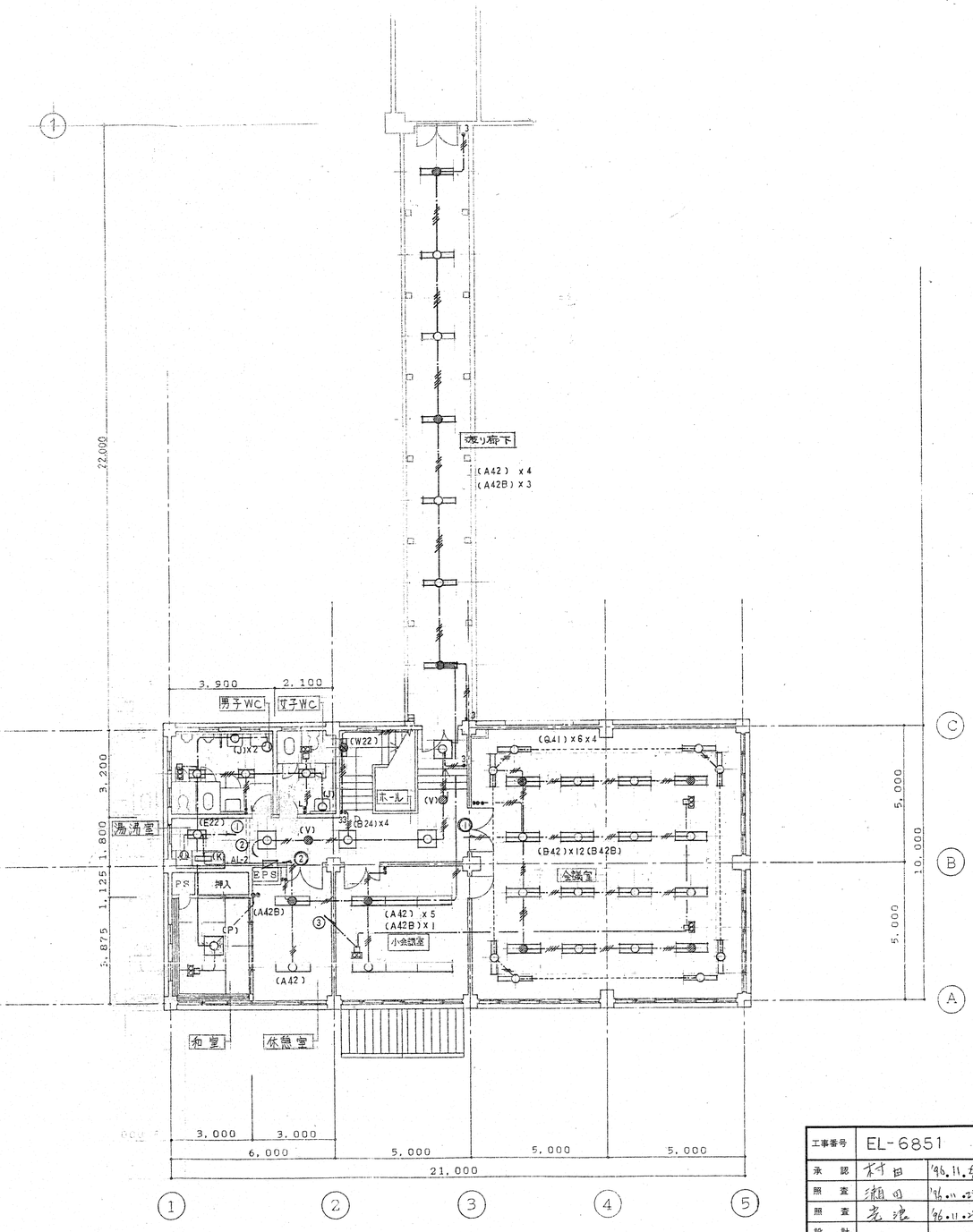
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



屋根平面図



1階平面図



2階平面図

工事番号	EL-6851		
承認	村田	'96.11.29	
照査	瀬田	'96.11.27	
照査	老津	'96.11.27	
設計		〃	
製図	雪〃	〃	96.11.18
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「鹿鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備 照明設備 管理棟 1・2階平面図

尺度	第 角法	標準図番号
1/100		

図面番号: WR-147420 △0

出図年月日 | 整理番号

NES NF97016A △

A1

34

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

47,500

7,000 | 6,000 | 3,000 | 7,000 | 7,000 | 6,500 | 7,000 | 7,000

38,500

6,000 | 6,000 | 6,000 | 7,500 | 7,000

子備貯留槽
雑排水槽
子備貯留槽
浄化槽汚泥用沈砂槽
浄化槽汚泥受入槽
し尿貯留槽
し尿沈砂槽
し尿受入槽
受水槽
汚泥貯留槽
階段(1)
ポンプ室
し尿中継槽
浄化槽汚泥中継槽
第2反応槽
生物膜分離循環槽
生物膜分離処理水槽
浄化槽汚泥貯留槽
機械室
凝集膜分離処理水槽
調和槽
凝集膜分離循環槽
中和槽
第1反応槽
凝集沈殿槽
ろ過洗浄水槽兼活性炭処理水槽
接触槽
放流槽
階段(2)

注 1. 特記 配管配線は、系統図による。

2. 乾燥焼却炉室、ホッパー室上部の露出配管は、ネジ無し薄鋼電線とする。

3. 水槽壁、及び地階外壁への埋込配管は行わないこと。

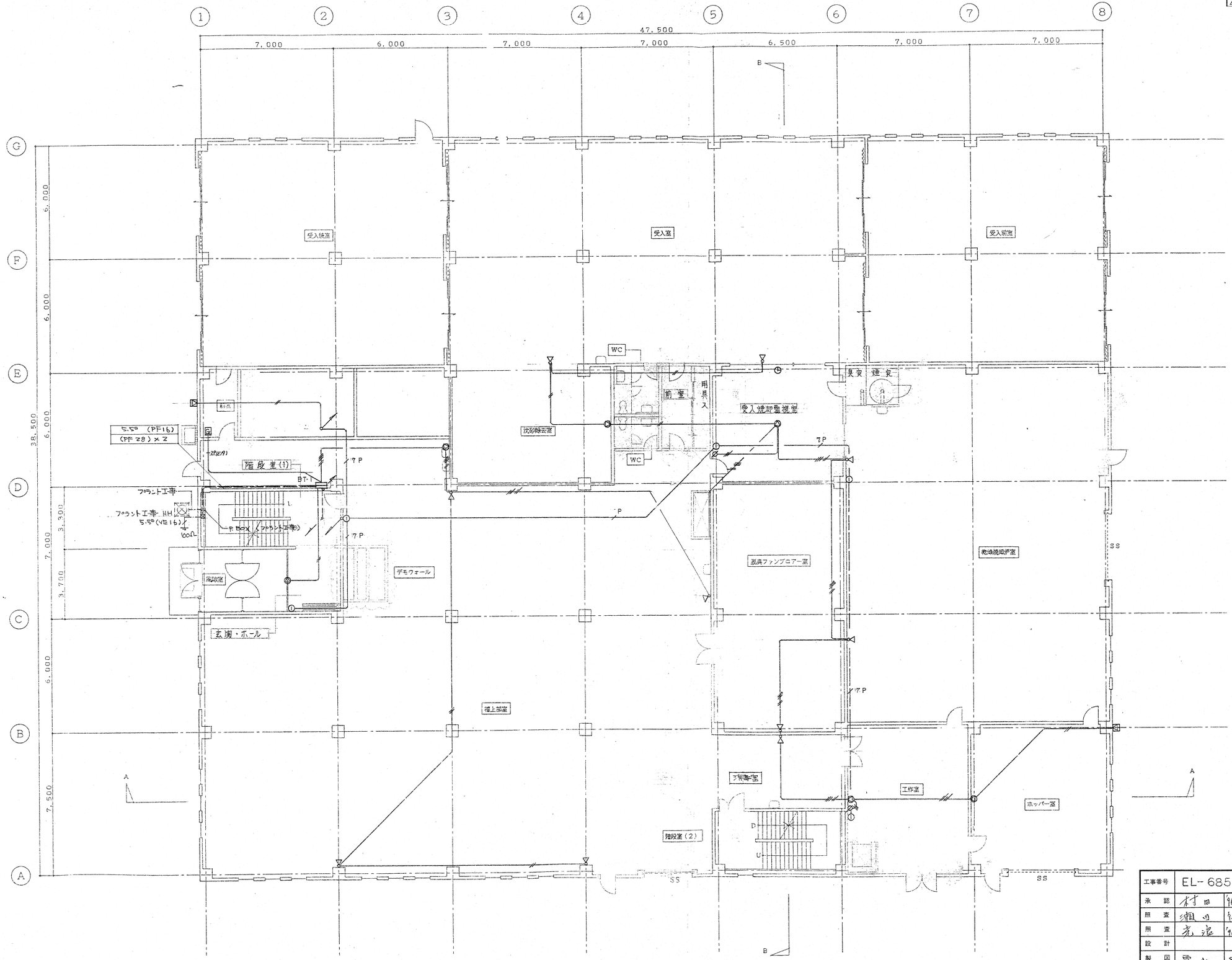
工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'96.11.29	工事名称 「鹿鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	細田	'96.11.29	
照査	光浪	'96.11.27	図面名称 建築電気設備 弱電設備 処理棟 地下1階平面図
設計		・・	
製図	雪山	96.11.18	
設計部署	ﾋﾞﾙｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ部 建築設計室		尺度 1/100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-148010 △0
			出図年月日 整理番号

NES NP3706A △

A1

35

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	消音室囲の変更		9.9.24



工事番号	EL-6851		
承認	村田	'96.11.29	
照査	細川	'96.11.28	
照査	高橋	'96.11.27	
設計		・・	
製図	雪	8.11.18	
設計部署	シビルエンジニアリング事業部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備 弱電設備 処理棟 1階平面図

尺度	第角法	標準図番号
1/100		

図面番号: WR-148110 ⚠1

出図年月日 | 整理番号

NES NF3916A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	水質試験室間仕切変更		99.2.4

47,500
7,000 6,000 7,000 7,000 6,500 7,000 7,000

38,500
6,000 6,000 7,000 7,500

3,500 3,700

屋根
トップライト
冷却塔置場
自現ルーバー
煙突
渡り廊下
廊下
BT-2
倉庫
防油堤 H=300
花崗岩敷 変更（プラント工事）
男子WC
女子WC
給湯室
AE 09-15P(CD 28)
UHF S7C-FB アンテナ
中央監視室
電気室
水質試験室
ベランダ
目現ルーバー（取外式）
前処理脱水機室
乾燥焼却炉室上部吹抜
吹抜
薬品庫
ホッパー室上部
手スリ
階段室（2）
2階平面図

7,000 6,000
階段室（1）
書庫
3階平面図

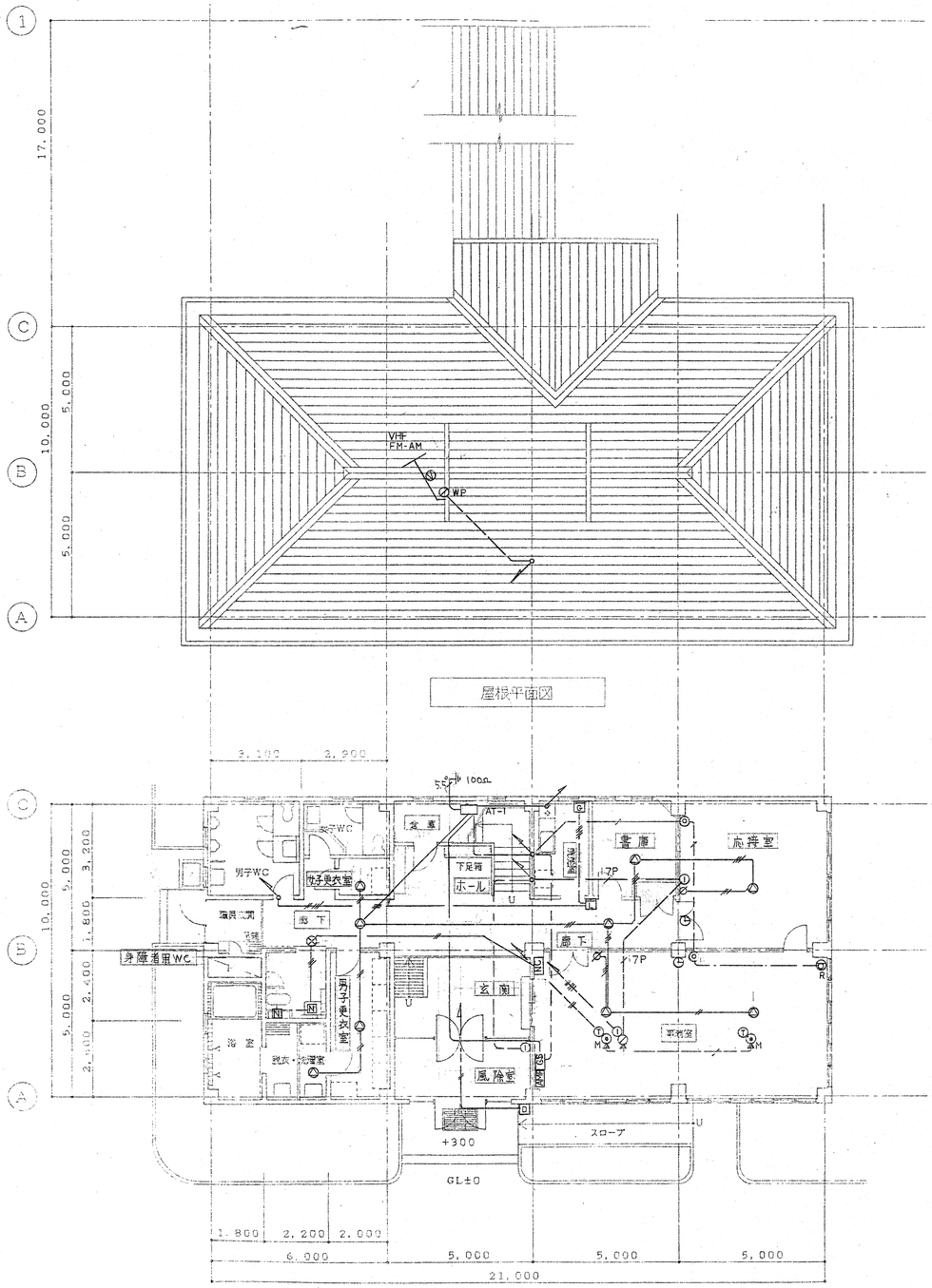
工事番号	EL-6851	
承認	村田	96.11.29
照査	須磨田	96.11.29
照査	米澤	96.11.27
設計		
製図	安山	96.11.18
設計部署	ランドエンジニアリング㈱ 建築設計室	

御注文先：鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称：「鹿鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称：建築電気設備 弱電設備 処理棟 2・3階平面図
尺度：1/100　第　角法　標準図番号
図面番号：WR-148210　⚠
出図年月日　整理番号

NKK 日本鋼管株式会社

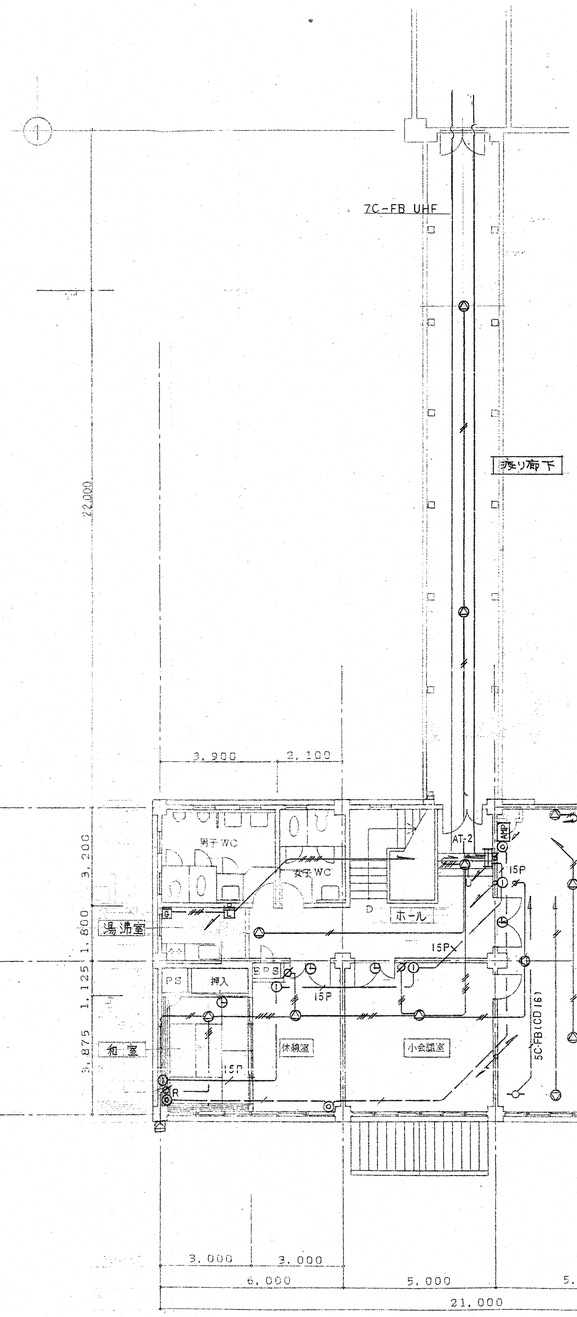
NES NF3016A ⚠

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



屋根平面図

1階平面図



2階平面図

工事番号	EL-6851	
承認	古寺田	96.11.29
照査	瀬田	'96.11.29
照査	若津	'96.11.27
設計		・・
製図	寺山	8.11.18
設計部署	ジゼルエンジニアリング㈱ 建築設計室	

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備 弱電設備 管理棟 1・2階平面図

尺度	第角法	標準図番号
1/100		

図面番号: WR-148320 △0

NKK 日本鋼管株式会社

出図年月日 | 整理番号

NES NY2016A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			

火災報知機・防排煙　設備

⊠	受信機	P型1級 20回線　　移報接点付
⊟	副受信機	20回線
Ⓟ	発信機	P型1級
○	表示灯	AC 30V 2W
Ⓑ	電鈴（ベル）	DC 24V 150mm
Ⓢ	煙感知器	2種埋込　イオン化式"コ"傍記は、光電式
Ⓢ	煙感知器	2種　点検ボックス　イオン化式
◡	スポット型感知器	差動式　2種
◡o	スポット型感知器	定温式　特種　　"G"傍記は、ガード付
◡	スポット型感知器	定温式　1種
◡	スポット型感知器	定温式　1種　防水型
⧖	分布型感知器	差動式、空気管式、収納箱入り
▭	空気管	
T	試験器	スポット用
———	警戒区域	
(NO)	警戒区域番号	
R	消火ポンプ始動装置	フリッカー方式
∩	終端抵抗	
▭	機器収納箱	消火栓ボックス組込型　　ⓅⒷ収納
▭	機器収納箱	WP は屋外型　指定色塗装　ⓅⒷ収納
Ⓚ	出火室表示灯	
Ⓢ	煙感知器	3種 露出　イオン化式
Ⓔ	自動閉鎖装置	防火扉用
$Ⓔ_A$	自動閉鎖装置	防火扉用　アーム式
$Ⓔ_{SS}$	自動閉鎖装置	防火シャッター用
K	切替器	
(10)	表示番号	

注1　特記なき配管配線は、系統図よる他、下記による。

——-f——　——-f——　——-///——　——-///——

AE1.2-2C, 3C, 4C, 5C　　HP　傍記は、HPケーブル使用

——f——　——f——　——///——　——///——

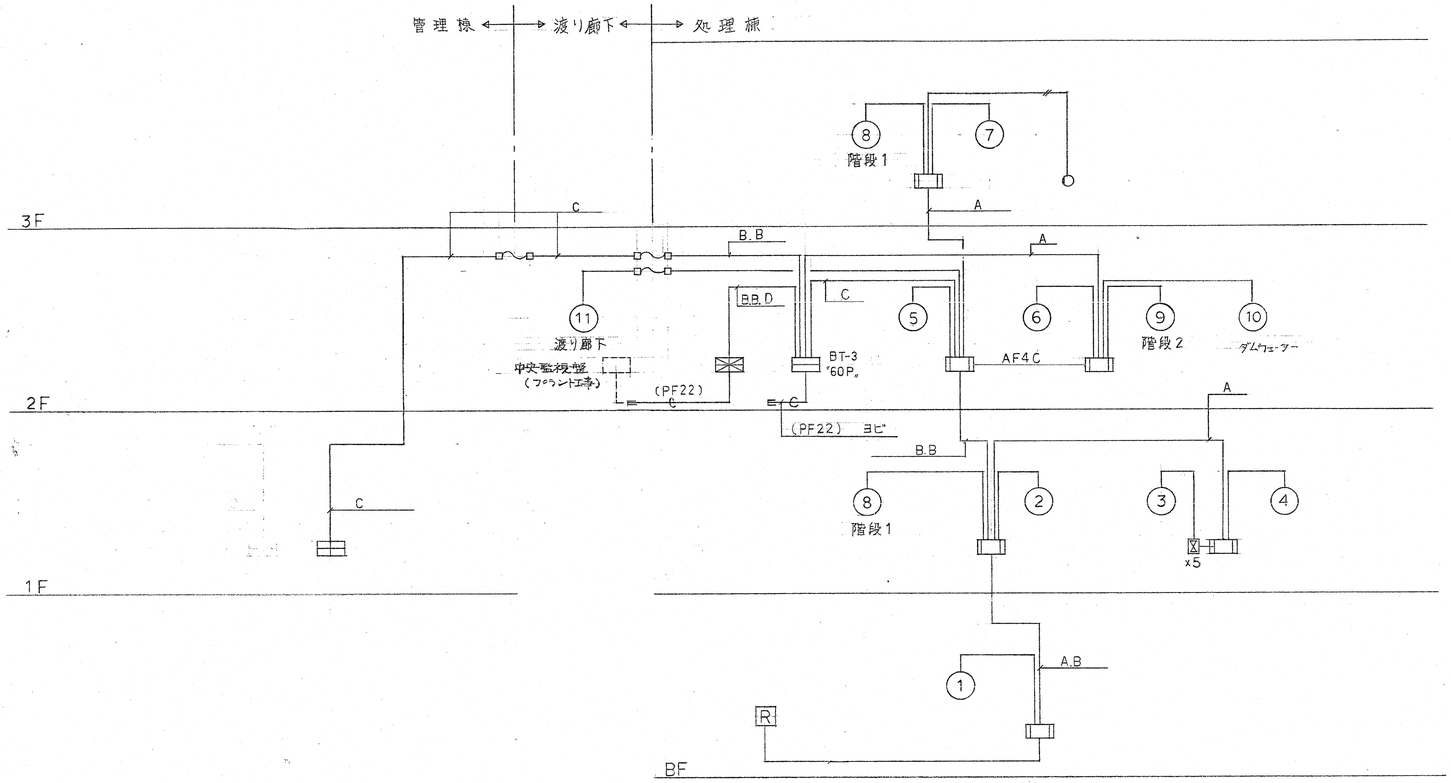
AE1.2-2C, 3C, 4C, 5C　(CD16)　HP　傍記は、HPケーブル使用

2　ケーブル工事にて、ケーブルを壁、床等に埋設する部分、又は、壁、梁等を貫通する部分は、適合する電線管に収納すること。

3　屋内露出配管は VE管を使用する。

4　焼却炉室、ホッパー室上部の露出配管はネジ無し薄鋼電線管とする。

5　水槽壁及び地階外壁への埋設配管は行わないこと。



A	HP 0.9 - 5P (CD22)
B	HP 0.9 - 10P (CD28)
C	HP 0.9 - 20P (CD28)

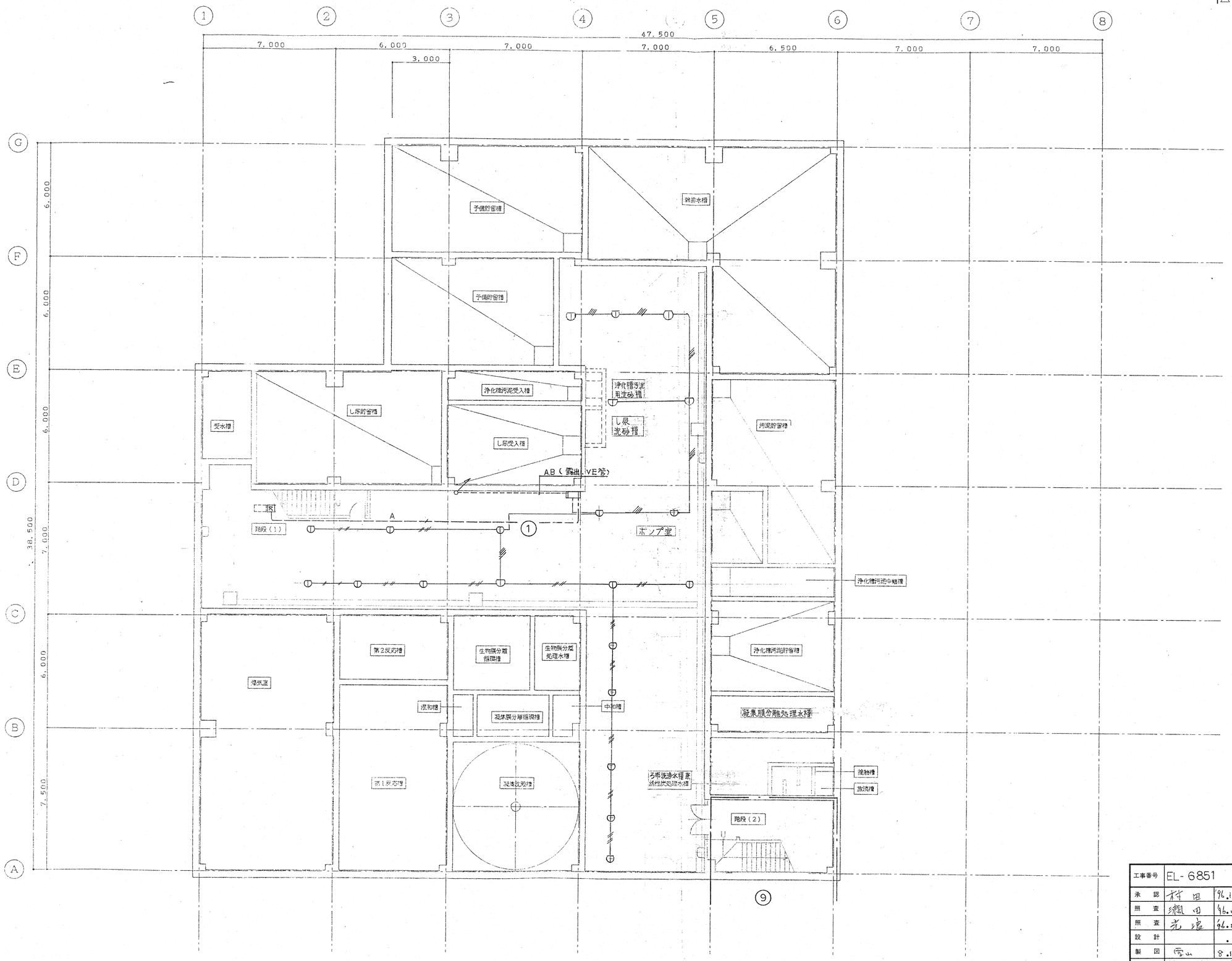
自動火災報知設備系統図

工事番号	EL-6851		御注文先　鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	96.11.29	工事名称　「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	磯田	96.11.27	
照査	老塩	96.11.27	図面名称　建築電気設備　自動火災報知設備　凡例・系統図
設計		・・	
製図	安山	8.11.18	
設計部署	エンジニアリング部 建築設計室		
NKK 日本鋼管株式会社			尺度　第　角法　標準図番号
			図面番号　WR-149000　⚠0
			出図年月日　整理番号

NES NF9016A △

35

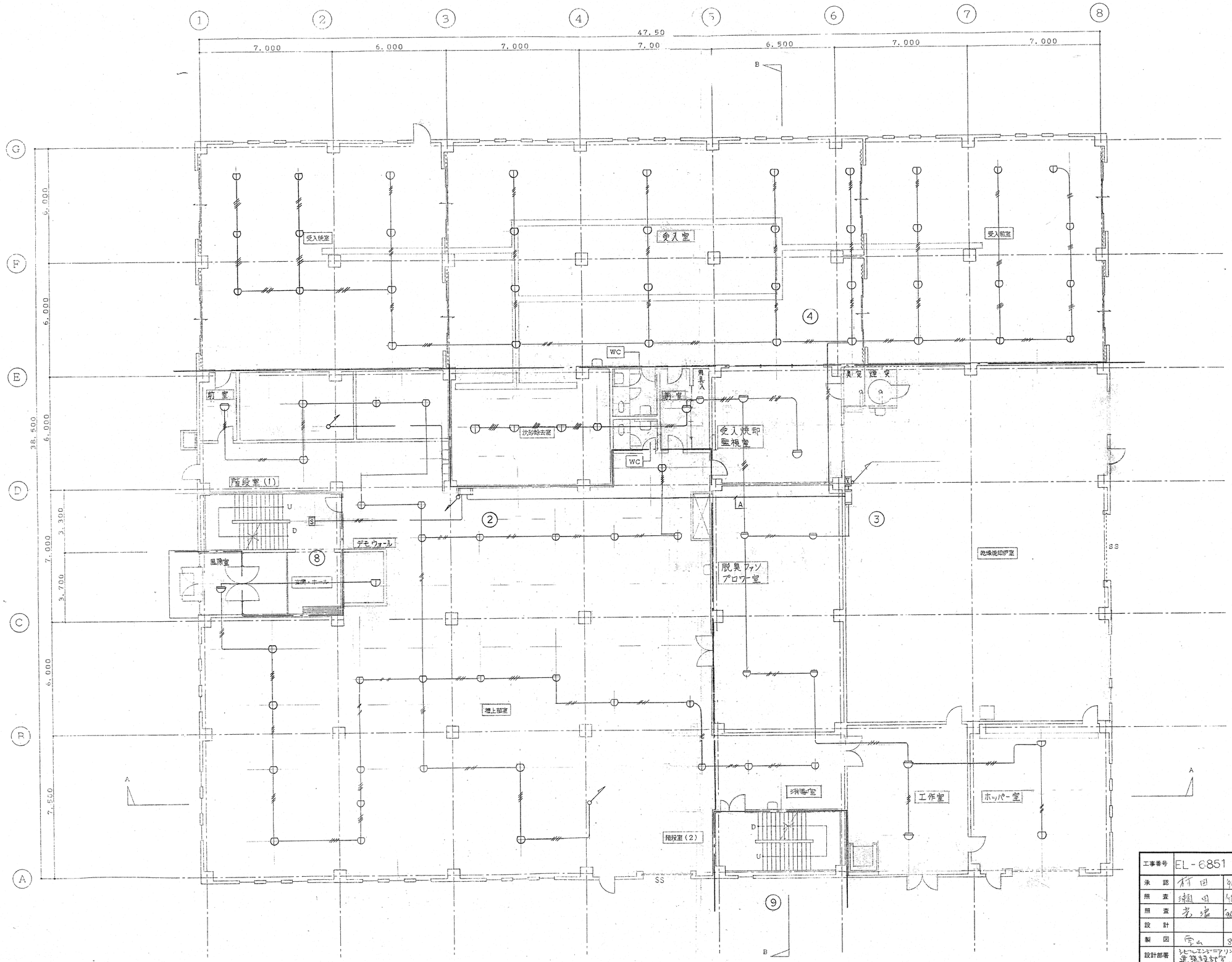
図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



工事番号	EL-6851		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'96.11.29	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	織田	96.11.29	
照査	光浪	96.11.27	図面名称 建築電気設備 自動火災報知設備 処理棟 地下1階平面図
設計		・・	
製図	宮山	96.11.18	
設計部署	設備エンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/100 第 角法 標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-149110 △0
			出図年月日 整理番号

NES NF3706A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	消毒室 間切り変更	村田	9.9.24



工事番号	EL-8851		
承認	村田	96.11.29	
照査	瀬川	96.11.27	
照査	栄津	96.11.27	
設計			
製図	雪山	8.21.18	
設計部署	ジビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 藤鹿衛苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備 自動火災報知設備 処理棟 1階平面図

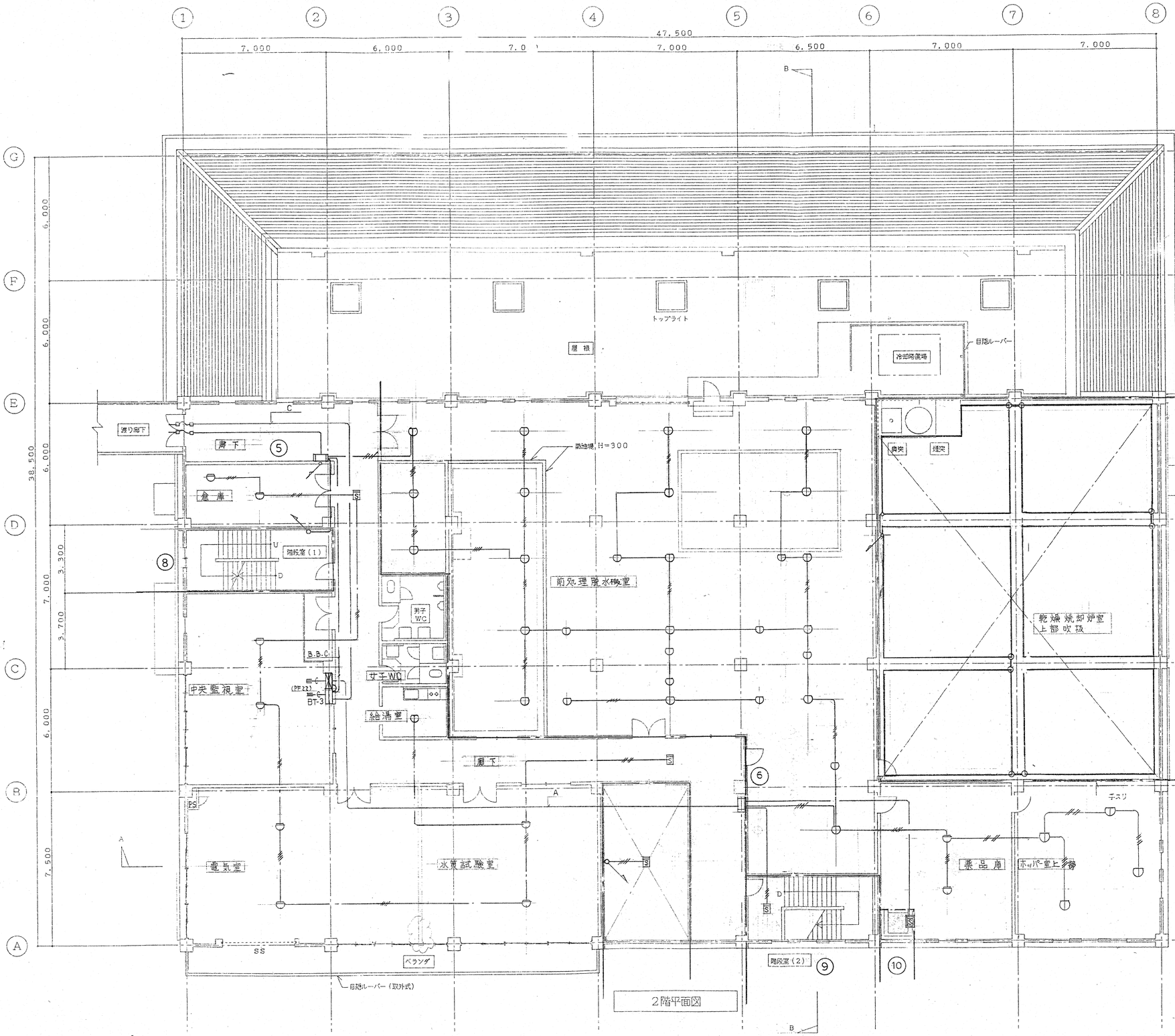
尺度	第 角法	標準図番号
1/100		

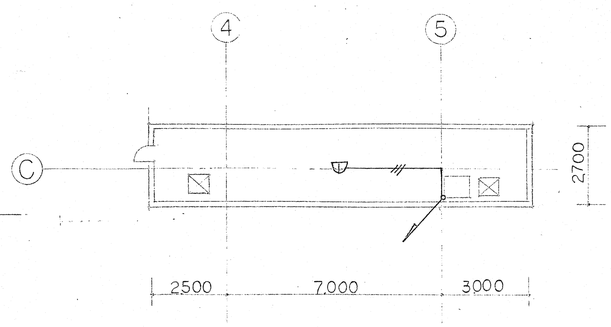
図面番号: WR-149210 ⚠1

出図年月日 | 整理番号

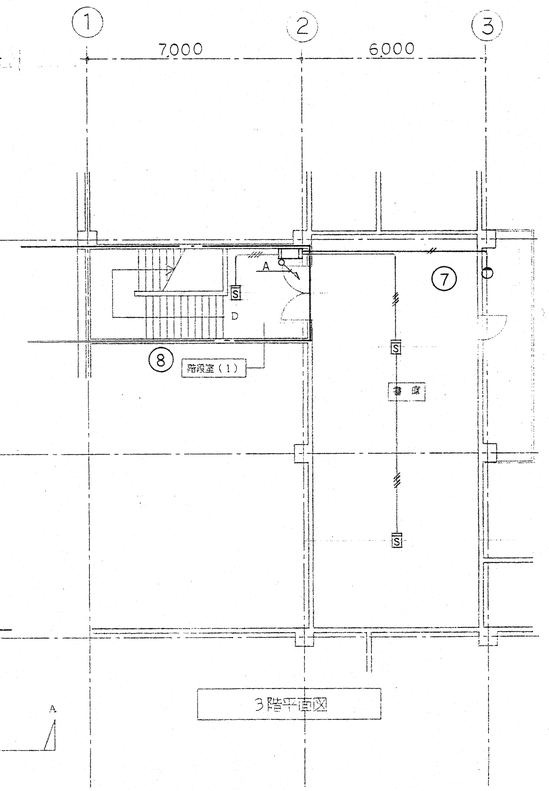
NES NE9706A A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
⚠	水質試験室囲い変更	村田 仁	9.9.24





越屋根平面図



工事番号	EL-6851		
承認	村田	'96.11.25	
照査	瀧川	'96.11.27	
照査	光源	'96.11.27	
設計			
製図	安山	8.11.18	
設計部署	エンジニアリング部 建築設計室		

御注文先: 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿

工事名称: 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事

図面名称: 建築電気設備
自動火災報知設備
処理棟 2・3階平面図

NKK 日本鋼管株式会社

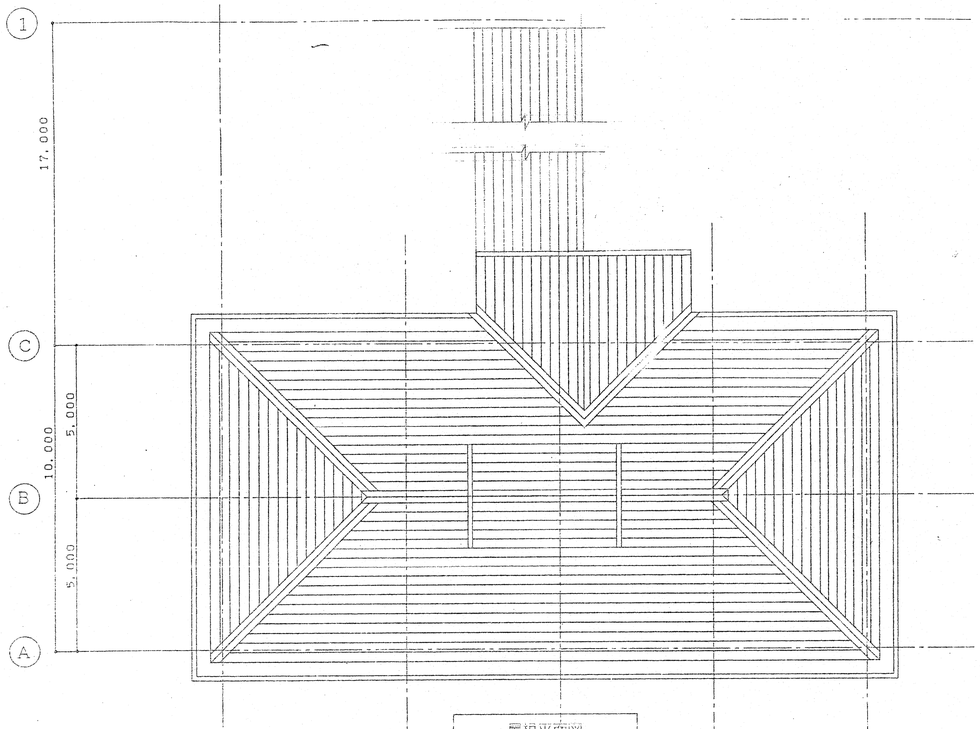
尺度	第角法	標準図番号
1/100		

図面番号: WR-149310 ⚠1

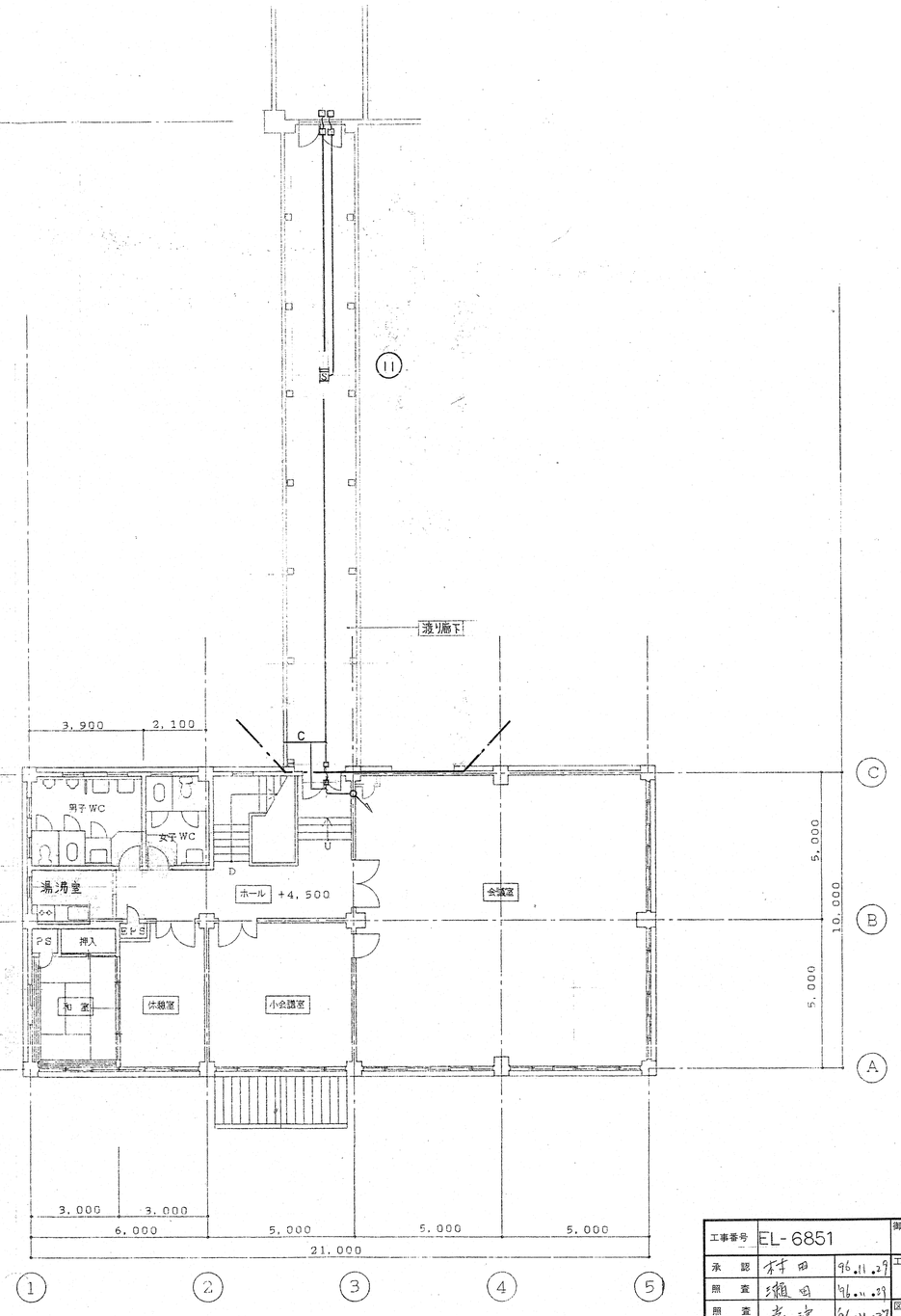
出図年月日 | 整理番号

NES NR9016A

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△			



1階平面図

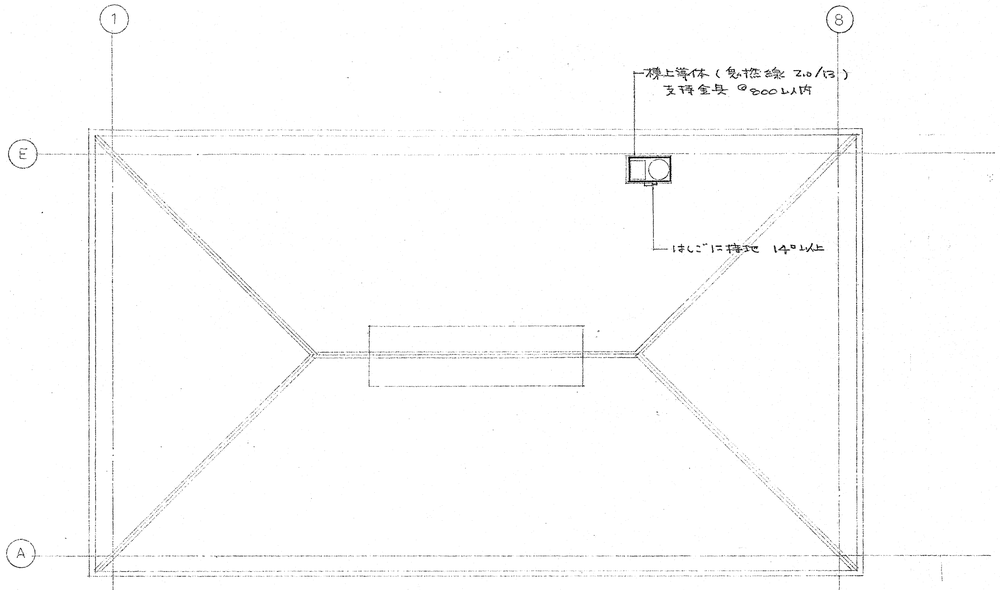


2階平面図

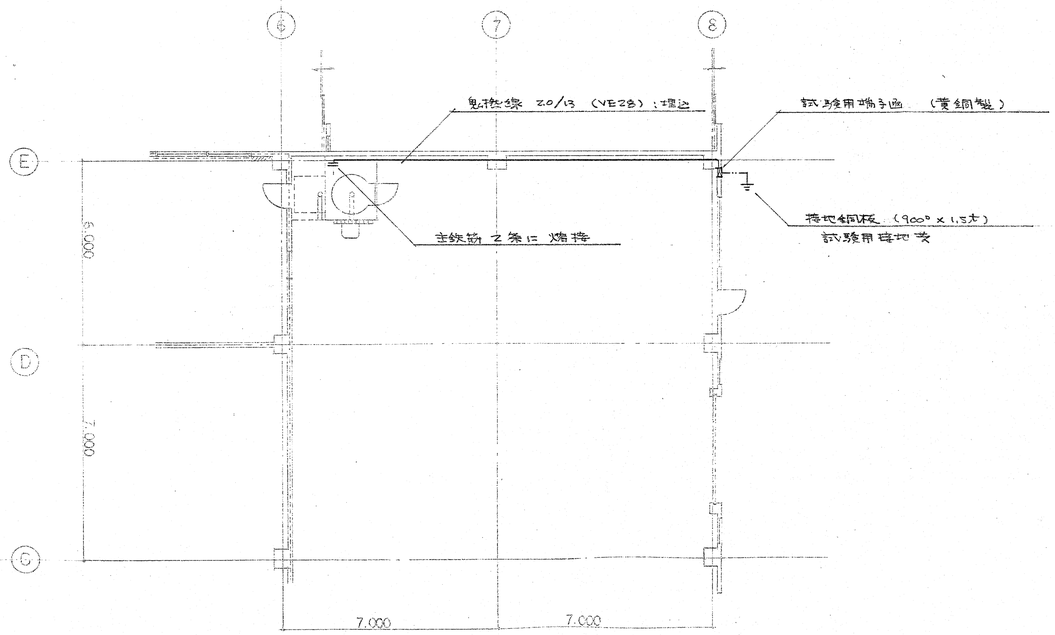
工事番号	EL-6851	御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田 96.11.27	工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	織田 96.11.27		
照査	岩渕 96.11.27	図面名称	建築電気設備 自動火災報知設備 管理棟　1・2階平面図
設計			
製図	安山 8.11.18		
設計部署	エンジニアリング部 建築設計室	尺度	1/100　第　角法
NKK 日本鋼管株式会社		図面番号	WR-149420 △0
		出図年月日	整理番号

NES NY30106A

A1



屋根伏図　1/200



1F 部分図　1/100

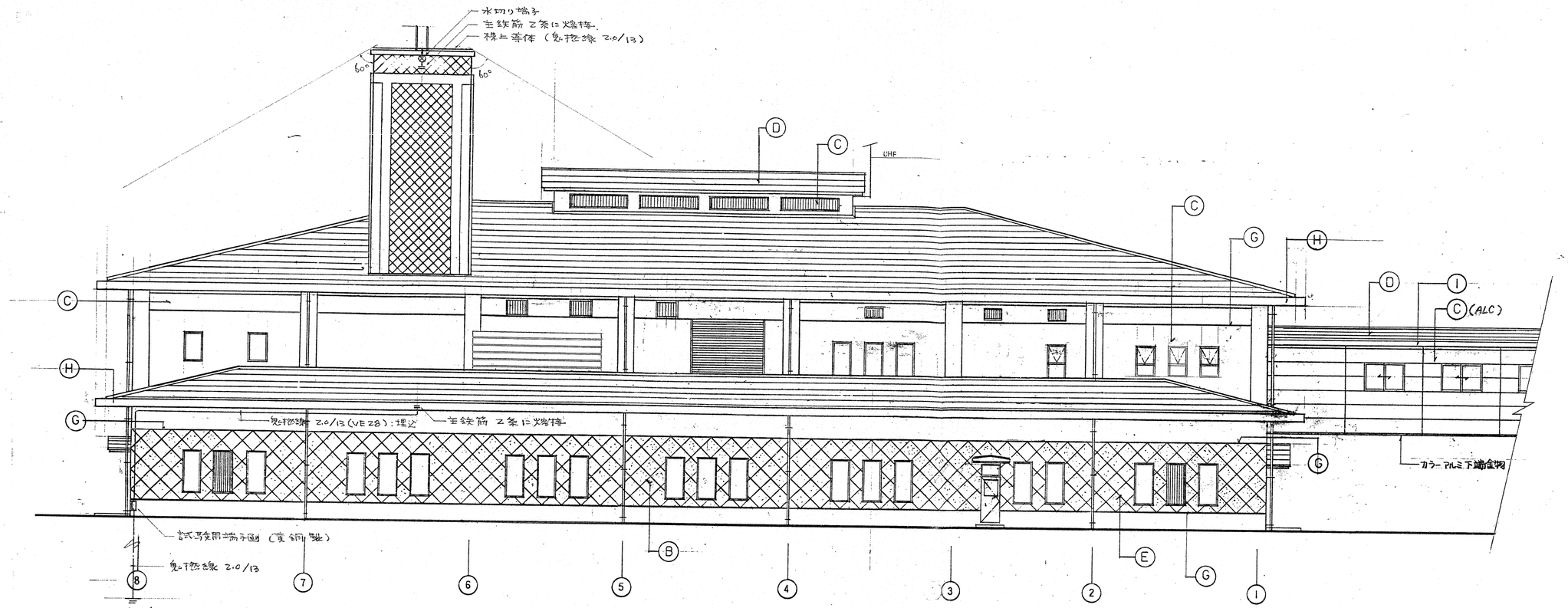
記号	図面来歴 記事	署名	年月日
△			

注 1　接地極は、銅板 900×900×1.5t とし、避雷導線との
接続は、黄銅 ロー付 加工とする。又必要により 補助
接地極を 埋設する
2　接地個所には 埋地埋設標（黄銅製）を取付ける。
3　接地極は、常水面下、又は 地下3m以上の 深さに 埋設する
4　避雷導線から 1.5m 以内に 接近する、鬼笘、鉄はご
鉄骨などの 金属体は、接地し、使用する 導線は 14φ
以上の 銅線とする。

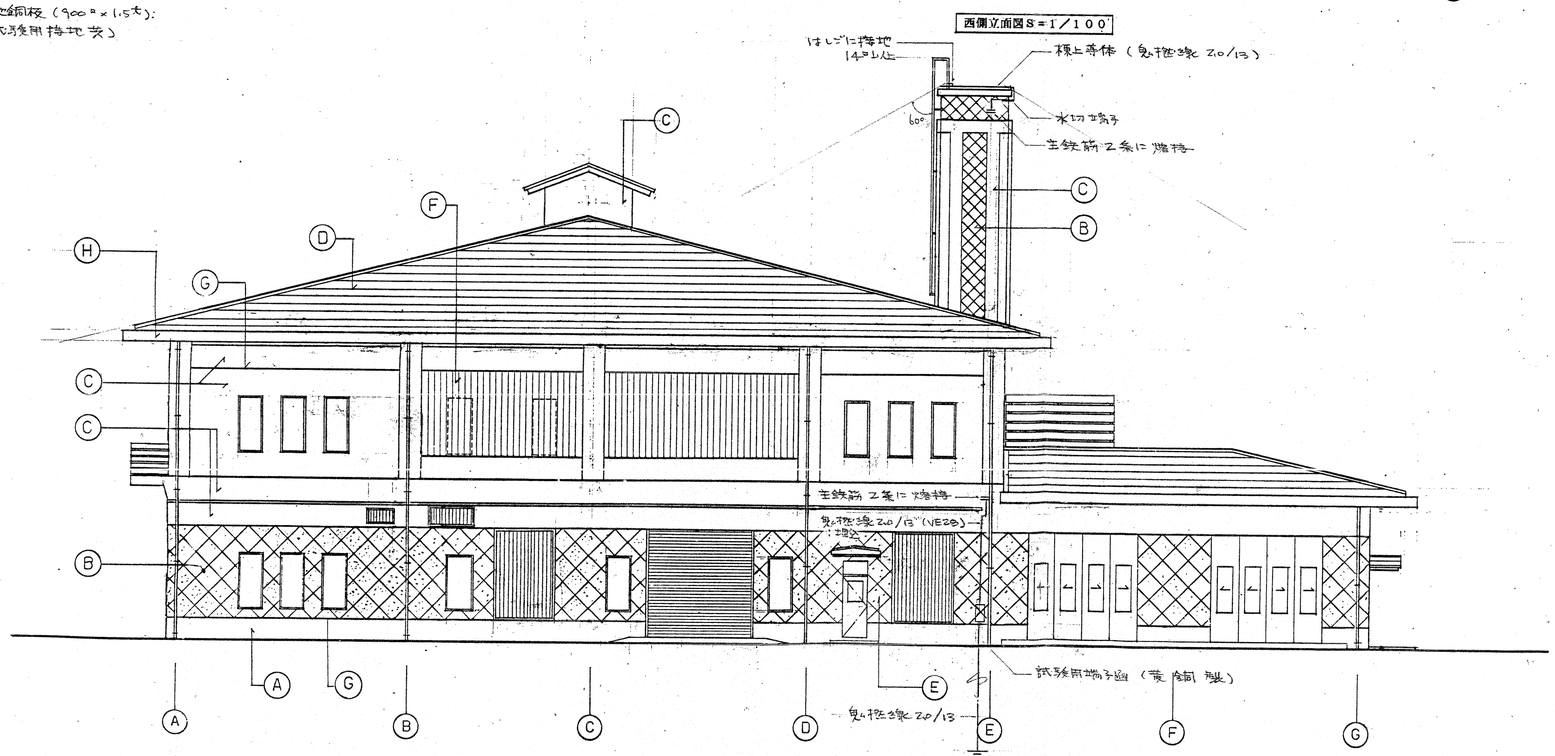
工事番号	EL-6815		御注文先 鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
承認	村田	'97.3.31	工事名称 「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
照査	瀬川	'97.3.31	図面名称 建築電気設備 避雷針設備 処理棟 屋根伏図・1階平面図
照査	光浪	'97.3.31	
設計		・・	
製図		・・	
設計部署	ビルエンジニアリング部 建築設計室		尺度 1/200　第 角法　標準図番号
NKK 日本鋼管株式会社			図面番号 WR-149610　△0
			出図年月日　整理番号

NES NF7016A △

図面来歴			
記号	記事	署名	年月日
△1			



西側立面図 S＝1／100



北側立面図 S＝1／100

工事番号	EL－6851		
承認	村田	'97.3.31	
照査	細田	'97.3.31	
照査	高濱	'97.3.31	
設計			
製図			
設計部署	シビルエンジニアリング部 建築設計室		

NKK 日本鋼管株式会社

御注文先	鹿島・藤津地区衛生施設組合殿
工事名称	「藤鹿苑」第1し尿処理施設建設工事
図面名称	建築電気設備 避雷針設備 処理棟　立面図
尺度	1／100
第角法	
標準図番号	
図面番号	WR－149710
出図年月日	
整理番号	

△0

46/45.1